Wiiの裏ワザがわかる本

晋遊舎
100%ムック
シリーズ

定価1,280円

付録CD-ROM付き
Windows7/Vista
XP/2000/Me/98対応

イザ!というときのコピーディスク
Back Up GAME

すべてのゲームがプレイできる!!

分解不要! ソフトだけですべてデキる!!

ハード改造不要の 最新 究極テクニック

SDカードとパソコンがあればOK
NoMoney 特別な機材は必要ナシ
&
遊びの幅が大きく広がる
MoreEnjoy 裏ワザでしかできない楽しみ方を多数紹介!!



今日からはじめる
裏ワザビギナーでも大丈夫!!
すべての手順を
写真で解説

point1
ゲーム改造やセーブデータコピーがデキる!

point2
ファミコンなどのレトロゲームを遊ぶ!

point3
動画・音楽ファイルを視聴する!

point4
ゲームキューブもバックアップ&プレイする!

システムバージョン
4.2J対応

- 本誌で紹介しているソフトウエアや手順を利用することによって、ゲーム機などが正常に動作しなくなる可能性があります。その場合、発売元メーカーの保証が受けられなくなります。ソフトウエアの使用、手順の実践は必ず自己責任のもとで行なってください。

- ゲームソフトやゲーム機BIOSを複製しての配布・売買は著作権法に違反する行為です。取り扱いには十分に注意してください。

- 本誌に掲載している情報、ならびに本誌付属のCD-ROMに収録しているWebサイトやソフトウエアは、2010年6月15日現在に確認がとれるものとなっています。本誌発行後、Webサイトの内容変更や閉鎖によりアクセスできなくなる場合や、ソフトウエアのバージョンが古くなる場合があります。

- 編集部では収録しているソフトウエアの使い方やトラブルについて、電話による対応を一切行なっておりません。何かお気づきの点がございましたらFAX、またはメールにてお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

- FAX：03-3518-4191／メールアドレス：mook@shinyusha.co.jp

Wiiの裏ワザがわかる本

晋遊舎
100%ムックシリーズ



Wiiの裏ワザでデキること

本誌は「Copy Game」、「Emulator」、「Free Soft」の3章構成になっている。それぞれの章の解説でデキることは下記のとおり。裏ワザでしか楽しめない面白さを体感しよう。

Chapter1：Copy Game ▶ p.19

ゲームをSDカードやHDD、DVD-Rへコピーして遊ぶ！

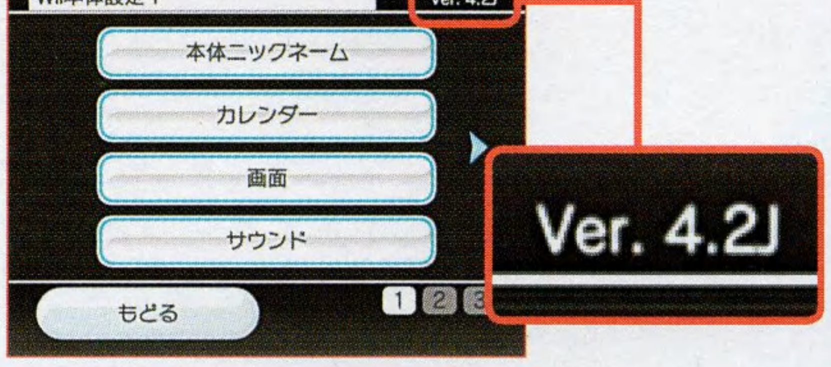




ゲームのコピーには、バックアップ以外にもメリットがたくさんある。コピーするメディアごとの特徴もあるので、自分なりのコピースタイルを確立しよう。

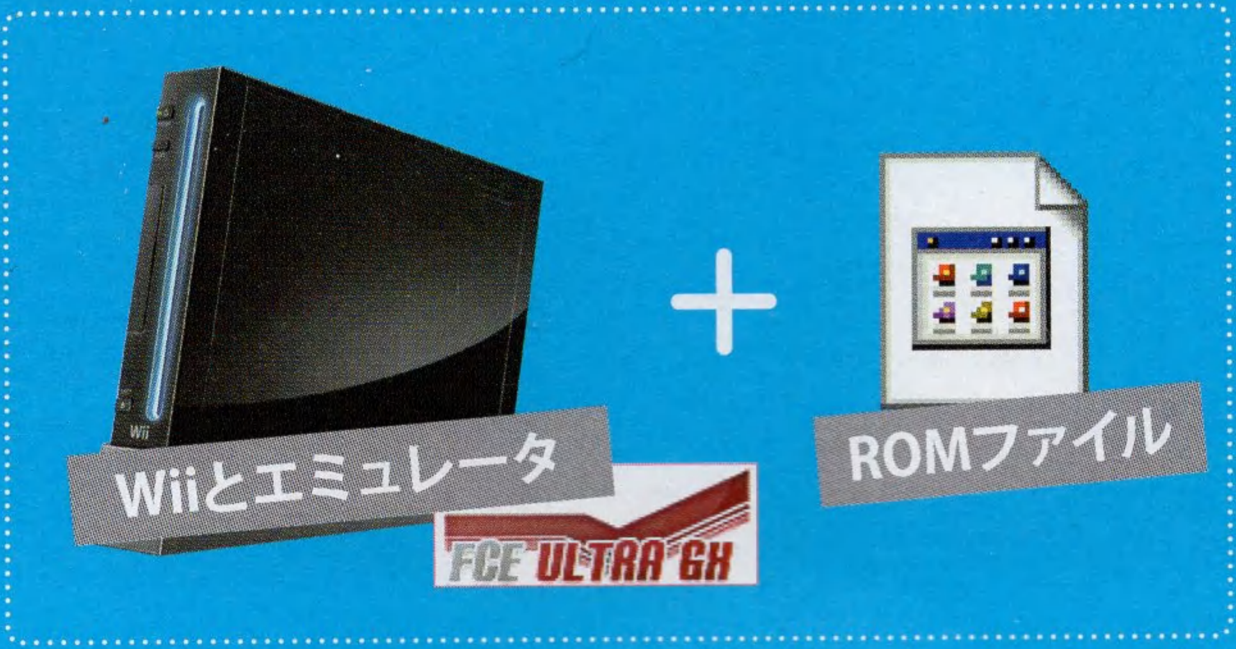
本誌の裏ワザが使えるのは4.2JのWiiだけ！

Wiiで裏ワザを行なうには、本体バージョン（誌面ではファームウエアと表記）がVer.4.2Jであることが必須条件になる。2010年6月22日に最新のVer.4.3Jが配信されているが、アップデートしてしまうと裏ワザが行なえなくなってしまう。また、2010年6月22日以降に発売されるゲームはVer.4.3J対応になり、本体は出荷状態でVer.4.3Jになる可能性がある。十分注意しよう。

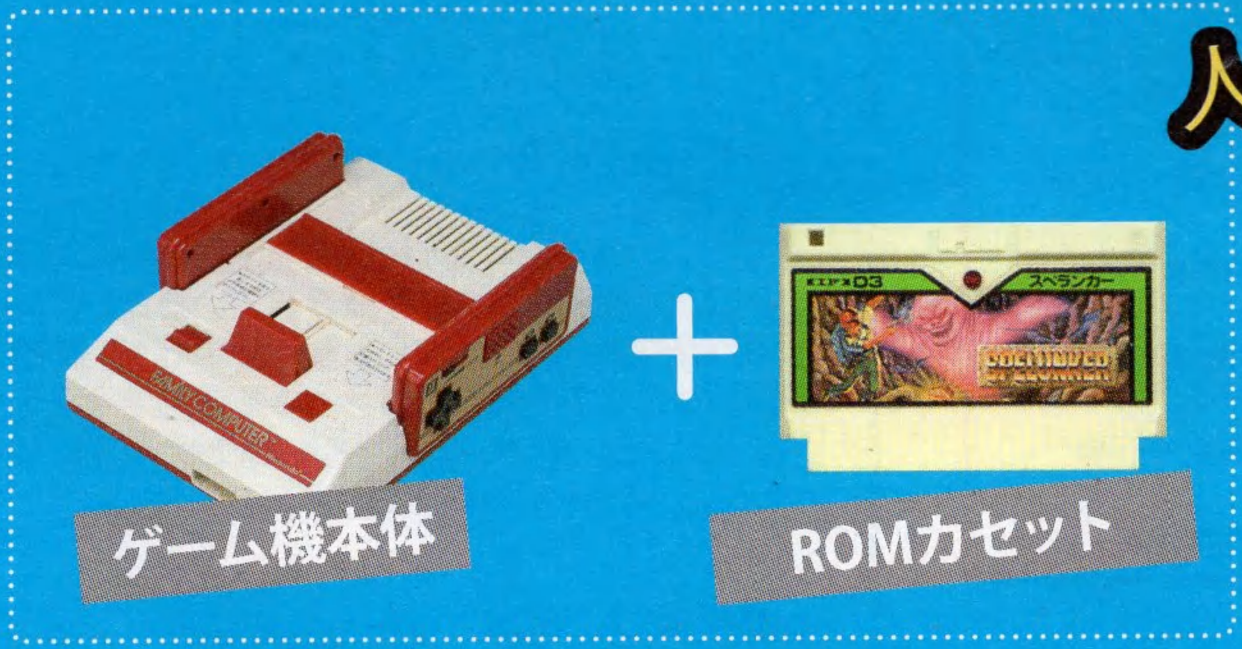


Chapter2 : Emulator ▶ p.67

ファミコンなどのレトロゲームをWiiでプレイする！







「エミュレータ」とは、本来とは異なる環境でハードウエアを再現するソフトのこと。Wiiのエミュレータは、ファミコンやスーファミ、メガドライブなどをWii上でプレイ可能にするゲーム機のエミュレータだ。

Chapter3 : Free Soft ▶ p.89

ゲーム改造やDVD再生、オリジナルゲームを楽しむ！









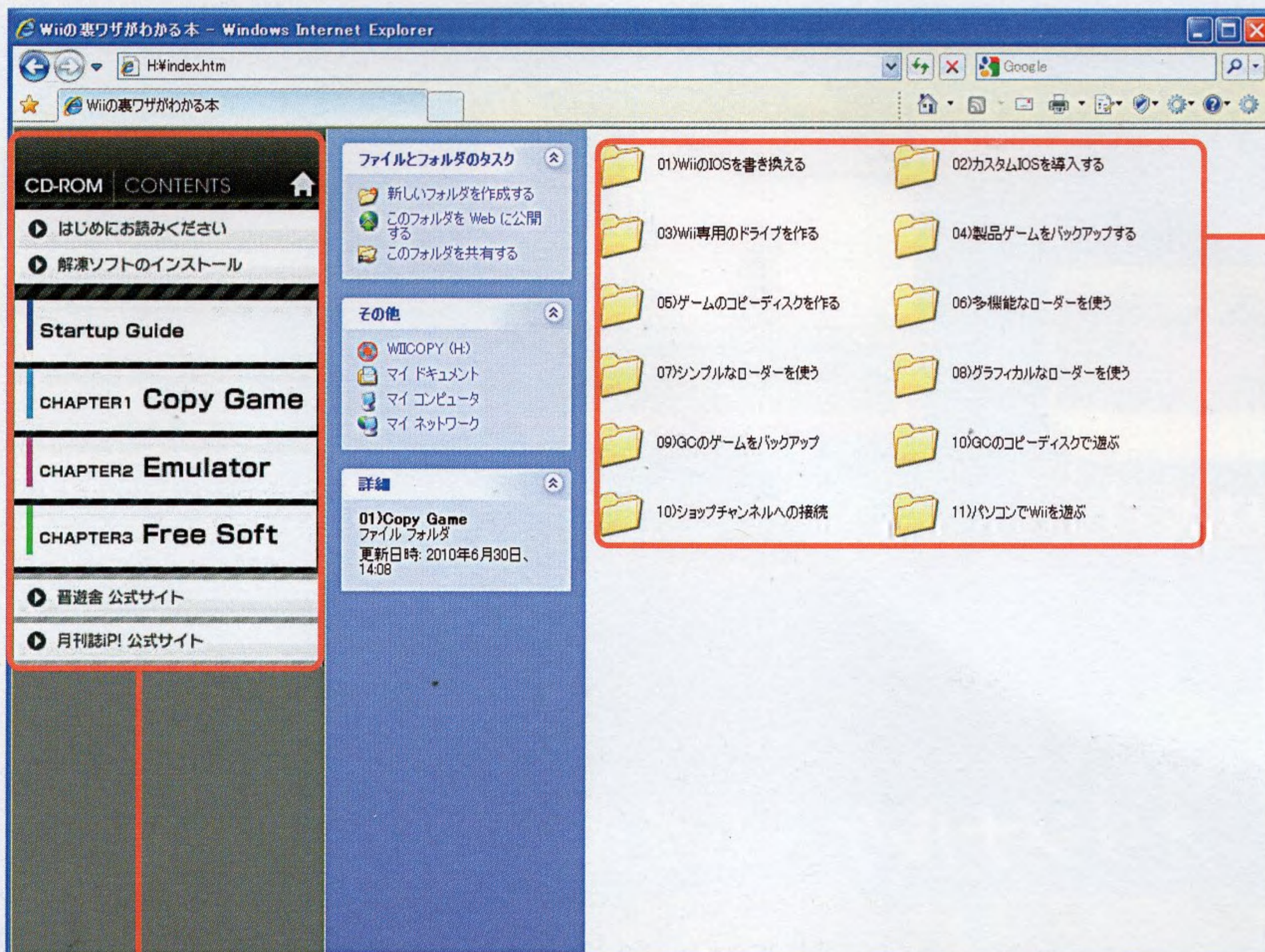
フリーソフトは実用的なものからゲームまで、実に多種多様である。これらを導入することで、Wiiのエンタテイメント性はより大きく広がるのだ。



付録CD-ROMの使い方

本誌で紹介している各ツールやソフトウエアは、付録CD-ROMに収録のインターネットリンクによって手軽に入手できるようになっている。（一部ソフトウエアはCD-ROMに本体を収録）そこでまずは、当コーナーを一読し、付録CD-ROMの使い方をマスターしておこう。さらにここでは、CD-ROM収録のコンテンツを有効に活用するための基本知識も掲載している。CD-ROMの使用方法と合わせて覚えておこう。

Windowsパソコン



各コーナーメニュー

ブラウザの左側には、CD-ROM収録コンテンツのメニューボタンが並んでいる。いずれかのボタンを押すことで、右側に選んだメニューの収録コンテンツが表示される。トップ画面に戻るには、メニュー上部の「CD-ROM CONTENTS」の右にあるアイコンをクリックしよう。

収録コンテンツ

ブラウザの右側には、選択したメニューのコンテンツが表示される。収録されているコンテンツの種類は、下記のようなものが中心だ。誌面のテクニックに必要なファイルを選んでうまく活用しよう。なお、各ファイルの使用方法については、6ページを参照のこと。

●圧縮ファイル



ZIPやRAR形式の圧縮ファイル。再配布可能なツールやソフトの日本語化パッチなどはこの形式で収録されている。

●インターネットリンク



Webサイトへのショートカットといえるリンクファイル。裏ツールのほとんどは、このファイルから配布サイトへ移動する。

●実行ファイル

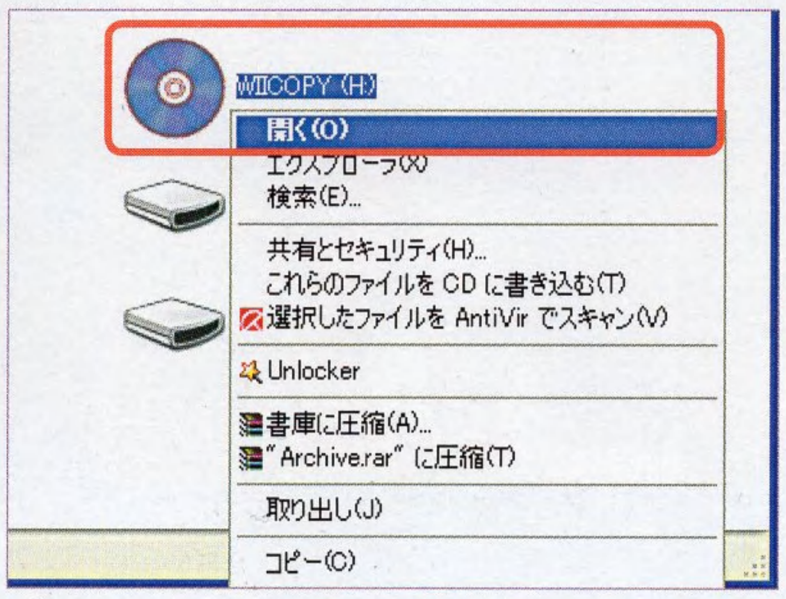


フリーソフトのインストーラは、EXE形式の実行ファイルとして収録してある。インストーラはダブルクリックで起動できる。

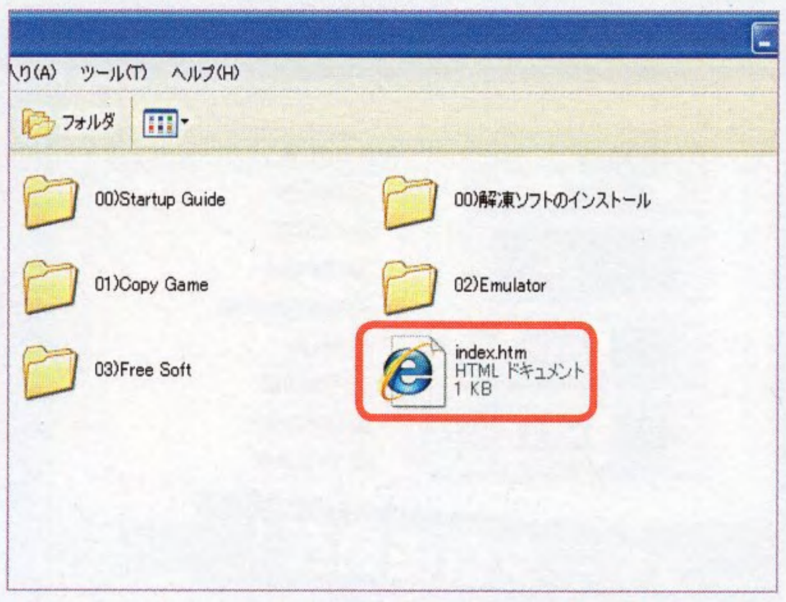
CD-ROMが自動起動しない場合は……

Point

本誌付録のCD-ROMは、パソコンのドライブにセットすると自動で起動するようになっている。しかしパソコンの設定によっては自動的に起動しない場合がある。このようなときは「マイコンピュータ」からCD-ROMを右クリックして「開く」を選び、「index.htm」をダブルクリックすればOKだ。



「開く」メニューはCD-ROMドライブのアイコンを右クリックすると表示できる。

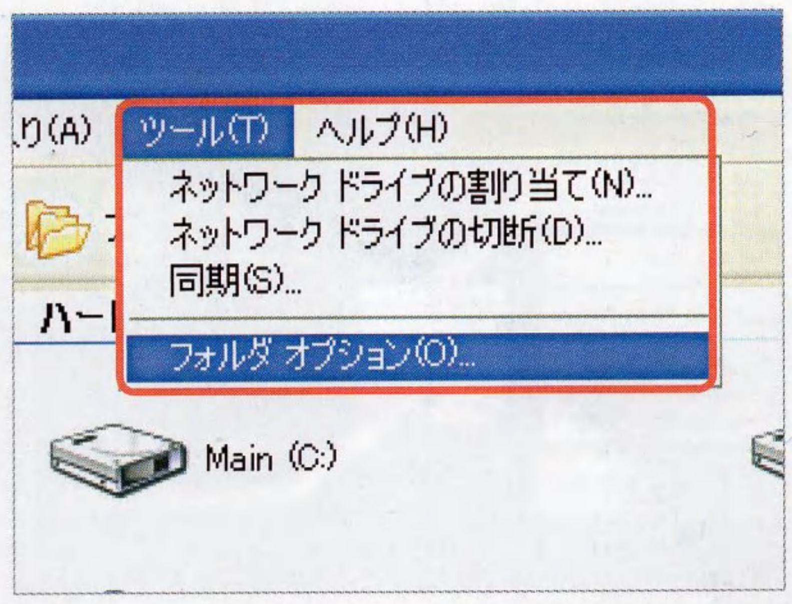


「index.htm」のダブルクリック後、警告画面が表示されたら「はい」を選択しよう。

拡張子を表示させる

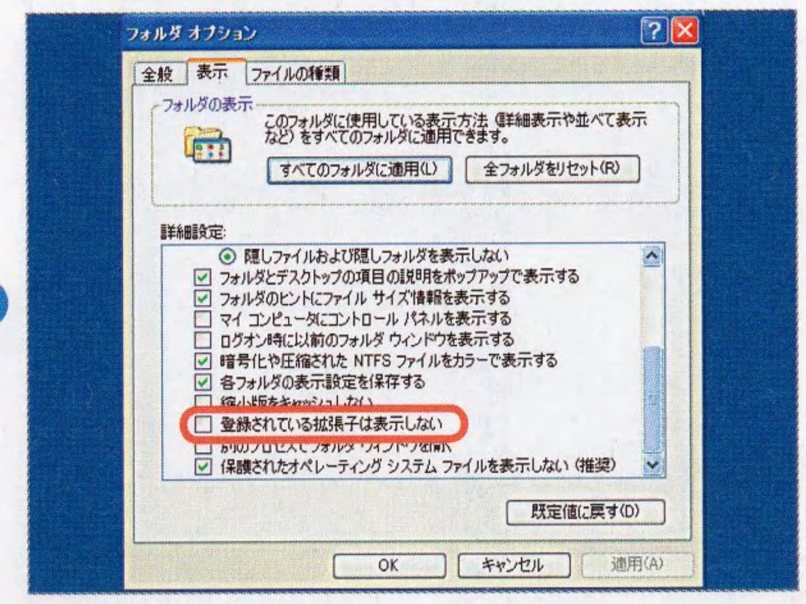
Windowsの初期設定では一部の拡張子が表示されない。拡張子はファイルの種類を表わすもので、この情報がひと目でわからないと不便な面が多い。右の方法を参照して拡張子を表示する設定にしよう。

1 フォルダオプションを開く



デスクトップ上にある適当なフォルダを開き、メニューから「ツール」→「フォルダオプション」を選択する。

2 設定を変更する



「表示」のタブを選択。表示された項目から「登録されている拡張子は表意しない」のチェックを外し、「OK」をクリックする。

「UAC」を無効にする

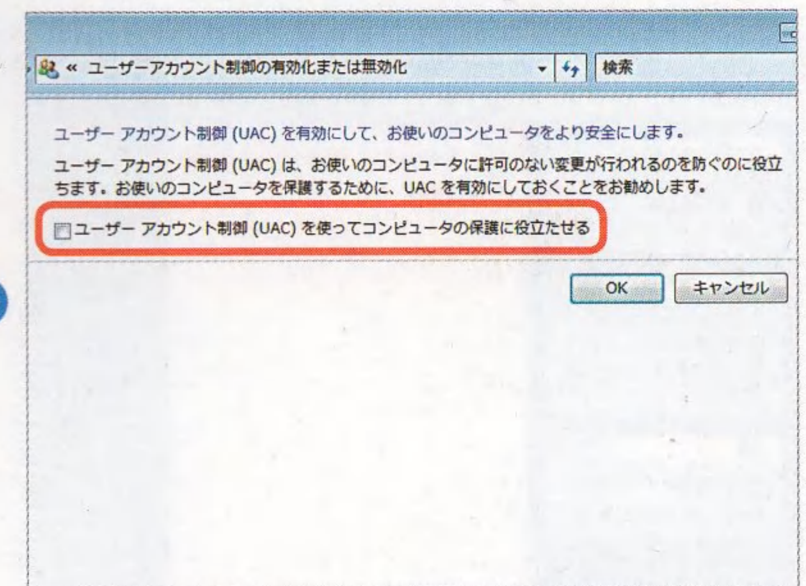
Windows VistaやWindows 7では「UAC」（ユーザーアカウント制御）が有効だと、一部のソフトのインストールと起動ができない場合がある。そのため、あらかじめ無効にしておく。

1 コントロールパネルを開く



スタートメニューから「コントロールパネル」→「ユーザーアカウント」を選択。

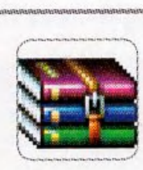
2 「UAC」を無効にする



ユーザーアカウントの変更画面で「ユーザーアカウント制御の有効化または無効化」を選び、写真の画面のチェックを外せばよい。

解凍ソフトをインストールする

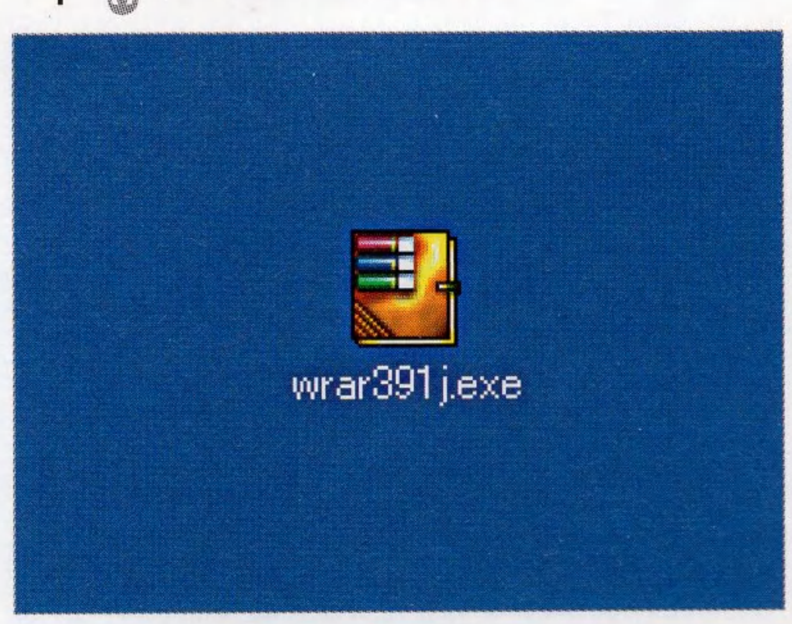
本誌で紹介しているツールのほとんどは圧縮ファイルで配布されている。解凍ソフトは事前にを導入しておこう。



WinRAR 日本語版 Ver.3.93

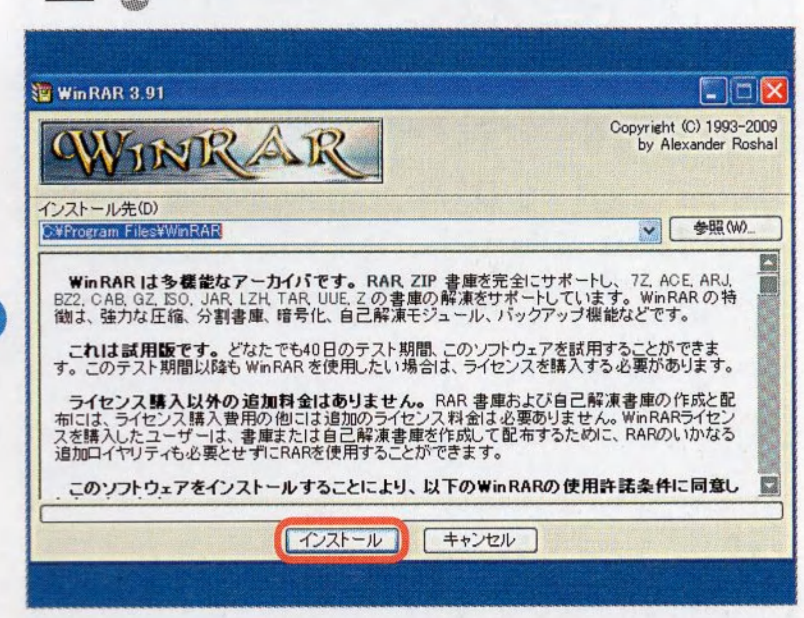
作者名●RarSoft/WinRAR Japan
ファイル名●wrar393j.exe
URL●http://www.diana.dti.ne.jp/~winrar/

1 解凍ソフトを入手



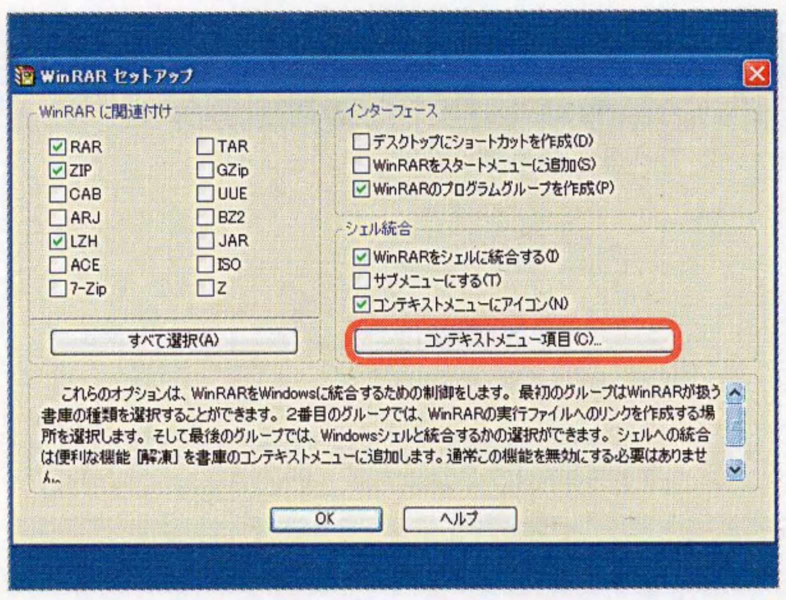
解凍ソフトは付録CD-ROMに収録されている。メニューの「解凍ソフトのインストール」から「wrar393j.exe」をパソコンにコピー。

2 インストーラを起動



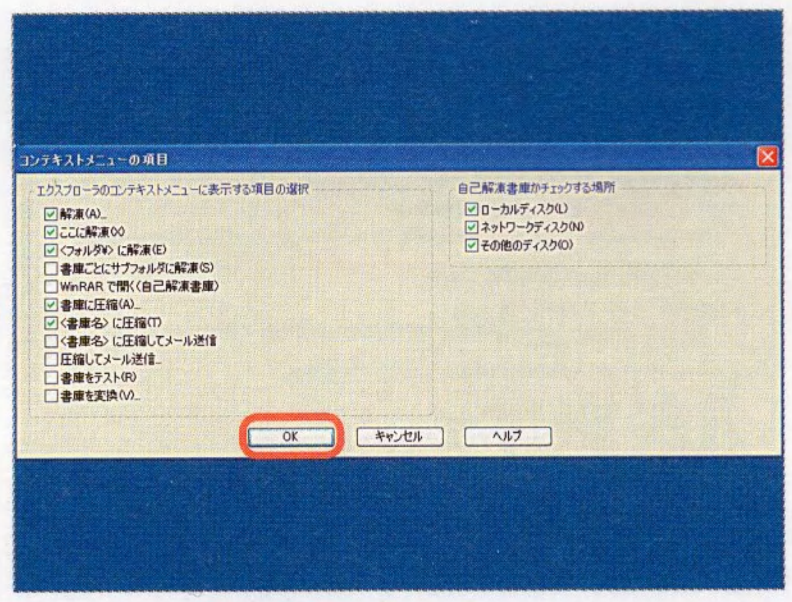
「wrar393j.exe」をダブルクリックして起動。使用許諾が表示されるので、一読して「インストール」ボタンをクリックする。

3 関連付け設定をする



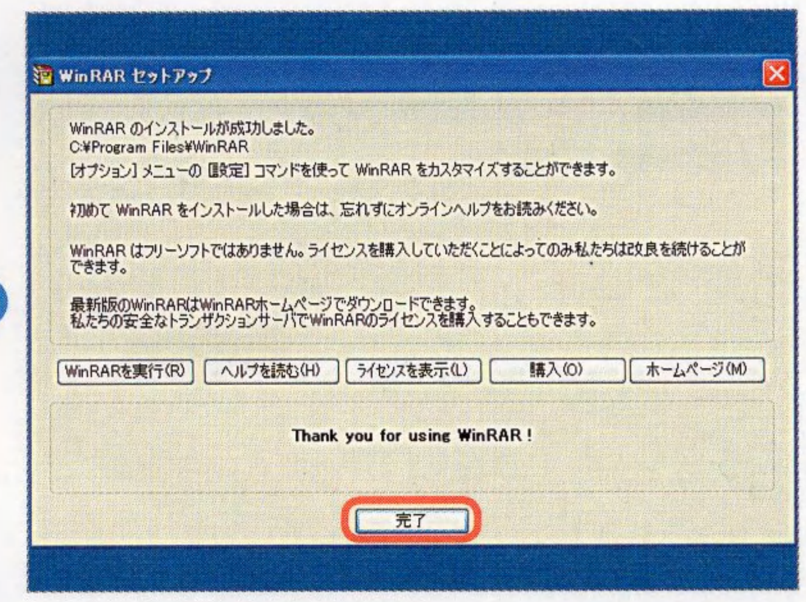
続いてファイルの関連付けを行なう。写真を参考に不要なチェックを外す。チェックが終わったら「コンテキストメニュー項目」をクリック。

4 コンテキストメニューを設定



コンテキストメニューとはマウスの右クリックで表示できるメニューのこと。これも写真を参考にチェックを入れる。終わったら「OK」を押す。

5 インストール完了



各設定を終えたら「OK」をクリック。すると写真の画面になる。「完了」をクリックしてセットアップウイザードを終了させよう。

収録ソフトの導入方法

パソコンにインストールして使用するソフトは、導入のためのインストーラを必ずパソコンにコピーしてから起動しよう。付録CD-ROM上で起動すると、うまくインストールされない場合があるからだ。

1 CD-ROMを開く



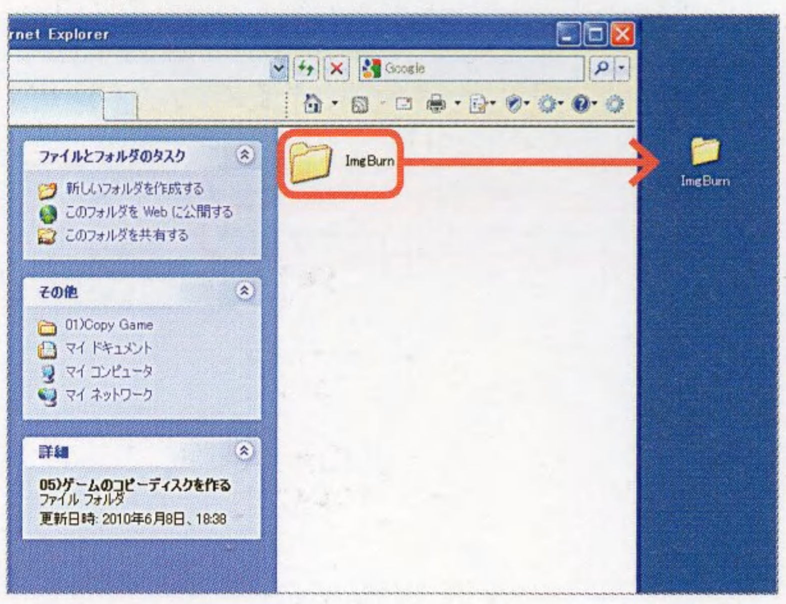
パソコンのドライブに付録CD-ROMをセットし、メニュー画面を表示させる。自動起動しない場合は、4ページを参考に起動させよう。

2 コーナーを選択する



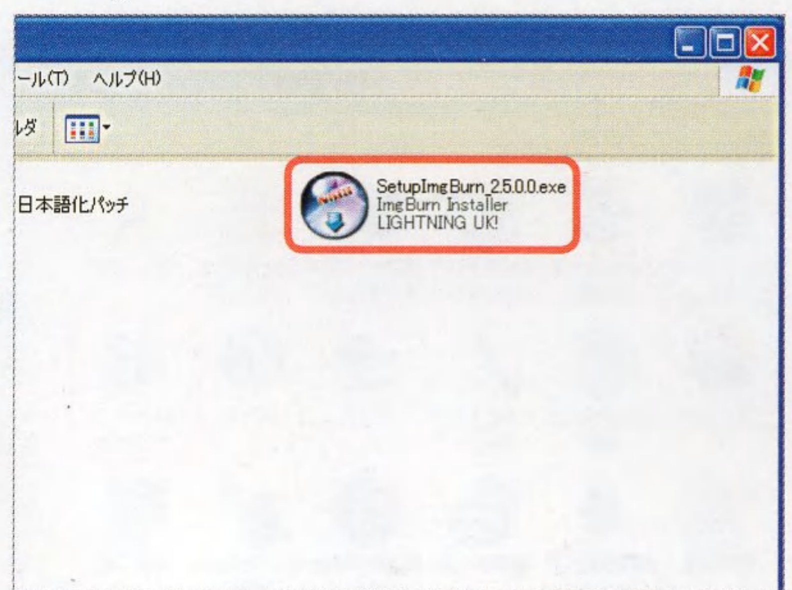
誌面を参考に、ソフトが収録されているコーナーを左のメニューから選択する。

3 ソフトをパソコンにコピー



収録されているソフトをパソコン上にドラッグ&ドロップしてコピーする。フォルダごとでもよいし、インストーラ単体でもよい。

4 インストーラを起動



インストーラは通常、実行ファイル（EXE形式）になっている。マウスでダブルクリックし、セットアップウイザードを起動する。

5 インストールする

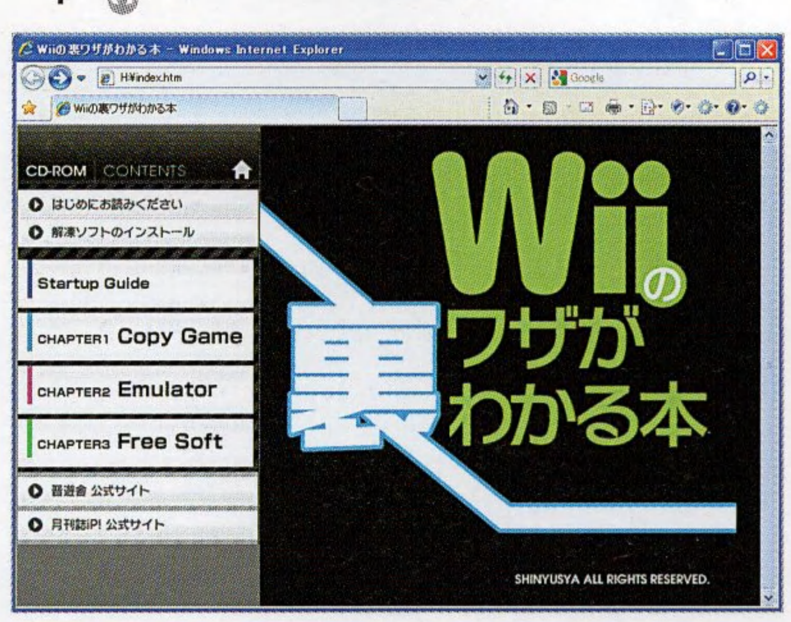


セットアップウイザードの指示に従って、ソフトをインストールする。設定する項目等は誌面の記事やウイザードを参照しよう。

収録リンクの利用方法

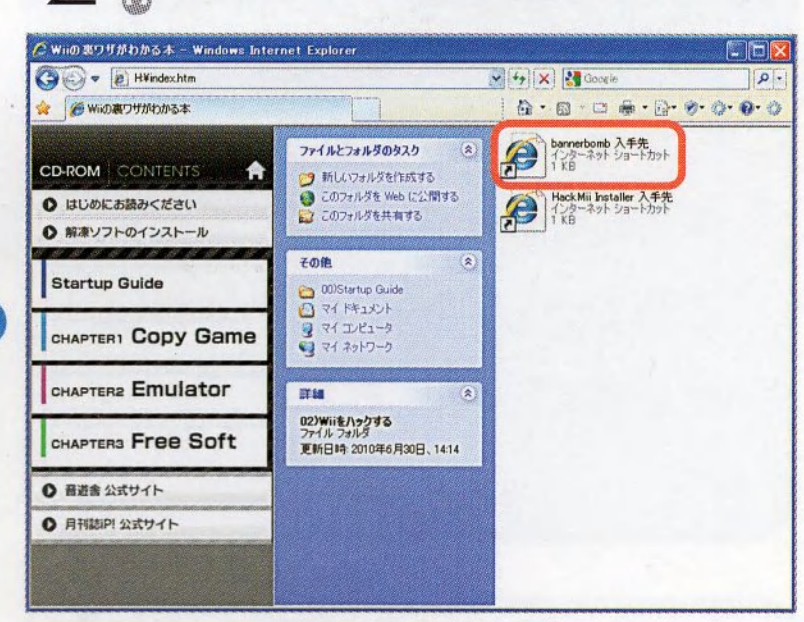
付録CD-ROMには、ツールの配布サイトや参考情報のサイトなどのインターネットリンクが多数収録されている。目的のサイトを表示させたい場合は、CD-ROM上で収録リンクをダブルクリックすればOKだ。

1 コーナーを選択する



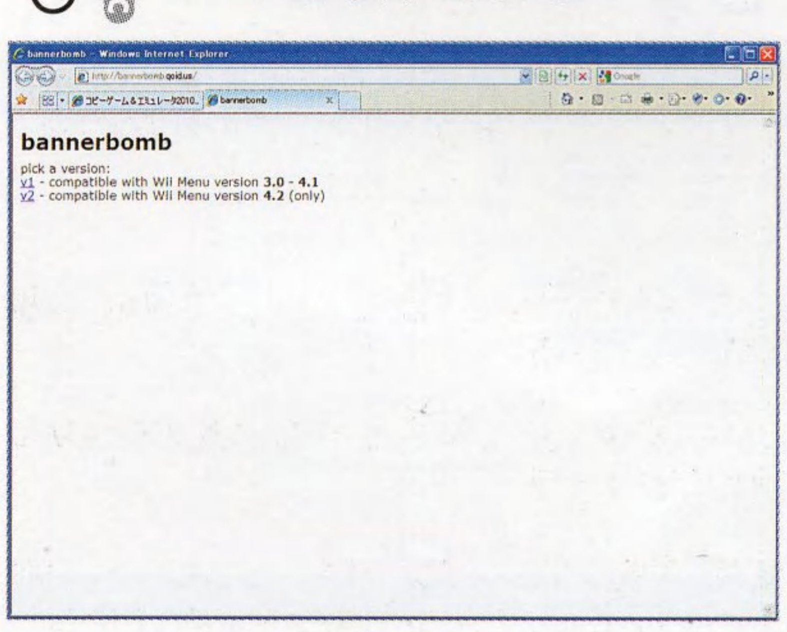
パソコンのドライブに付録CD-ROMをセットし、メニュー画面を表示させる。目的のコーナーを左メニューから選択しよう。

2 収録リンクをダブルクリック



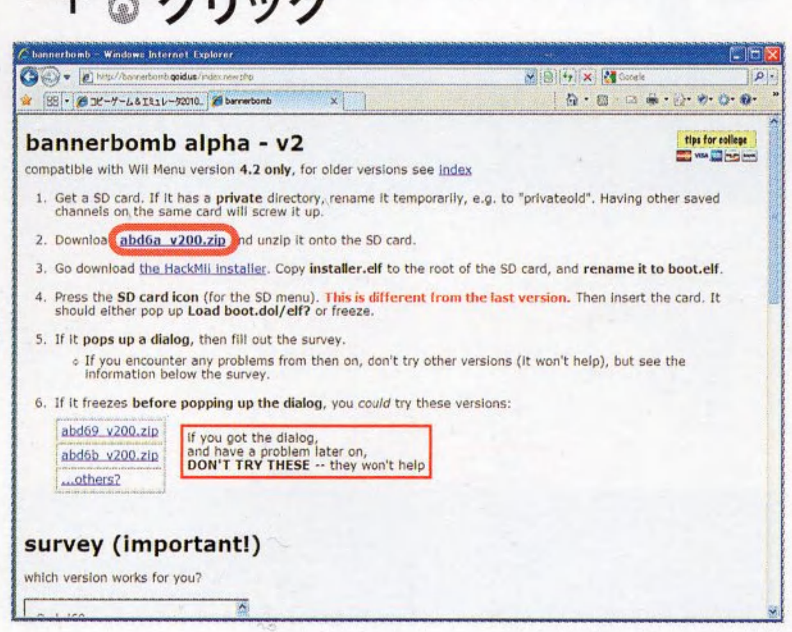
目的のサイトのインターネットリンクを見つけたら、そのままダブルクリックする。

3 ページが表示される



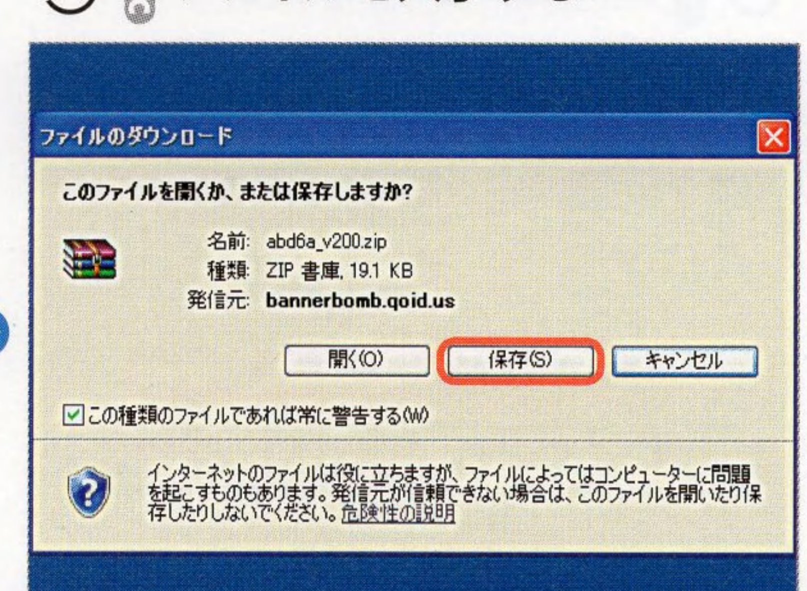
ブラウザが自動で起動し、インターネットリンクに記載されたサイトが表示される。

4 ダウンロードリンクをクリック



配布サイトでツールを入手する場合は、ダウンロードリンクをクリックする。

5 ファイルを入手する



ファイル保存のダイアログが表示されるので、任意の場所にダウンロードする。保存場所に迷った場合はデスクトップを指定しよう。

本誌の見方を知る



各テクニックの解説ページでは、使用する機器やソフトの収録方法、手順で使うハードといった各種の情報を「アイコン」で表記している。実際に本誌を使用する際は、表記されている各アイコンが、どのような意味を持っているのか、しっかりと把握しておこう。また、各Chapterのアイコン表記は、基本的に共通したものを使用しているが「Chapter2 Emulator」のみ、独自のアイコン表記となっているので注意しよう。

誌面の見方（Startup guide、Chapter1、Chapter3）



機器アイコン

コーナー内で必要となる"機材"を示すアイコン。これが点灯している機材は、以降の手順で使用する。あらかじめ準備しておこう。各アイコンの意味は下記の通りだ。

- Wii：Wii本体
- PC：パソコン
- SD：SDカード
- Card reader：カードリーダ
- Game：製品ゲーム
- media：DVDメディア
- etc：その他の機器

頻繁に使用する機材はアイコン化されているが、その他の機材は「etc」になっている。このアイコンが点灯している場合、必要な機材が本文に記載されている。

補足情報

誌面中の「Point」と「Attention」は、紹介中の手順の補足情報が記載してある。各情報の内容については下記の通り。

- Point：トラブルやワンポイントテクニックなど、作業する際の参考となる情報を記載。
- Attention!：作業する際、とくに"注意"してほしい情報を記載。必ず一読しておこう。

手順アイコン

各コーナーで紹介する手順には、Wiiで実行するもの、パソコンで実行するもののふたつがある。どちらの作業なのか、アイコンで明示してあるので、間違えないようにしよう。

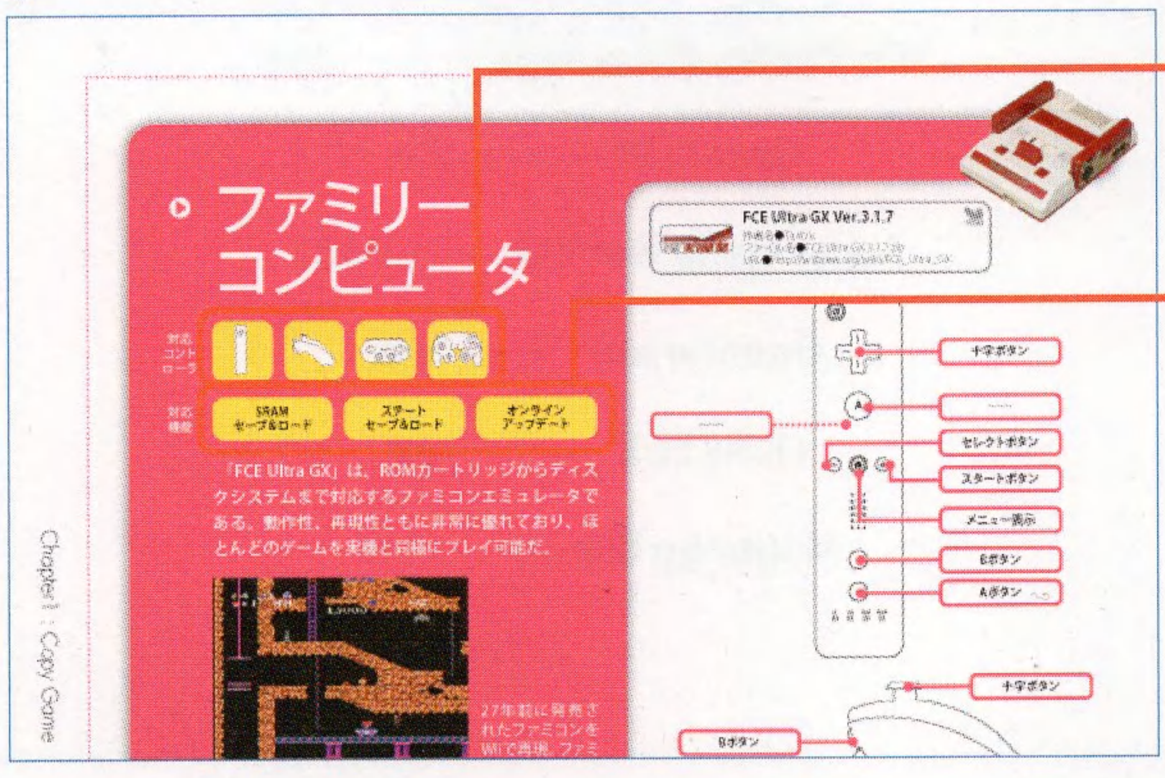
- Wii：Wiiでの作業
- PC：パソコンでの作業

ソフトデータ

各コーナーで使用するソフトは、ソフト本体もしくはソフトの入手先のリンクが、付録のCD-ROMに収録されている。どちらを収録しているかは、データのアイコンで判別できる。

- SOFT：CD-ROMに「ソフト収録」
- LINK：CD-ROMに「リンク収録」

アイコンの見方（Chapter2）



対応コントローラ

エミュレータが対応するコントローラをアイコンで表示。アイコンは右から、「Wiiリモコン」「ヌンチャク」「クラシックコントローラ」「ゲームキューブコントローラ」。

対応機能

エミュレータが搭載している機能をアイコンで表示。各機能については下記を参照。

- SRAM セーブ&ロード：このアイコンが点灯している場合は、Wii内蔵のSRAMにセーブデータが保存できる。
- ステート セーブ&ロード：アイコンが点灯している場合、ステートセーブ&ロード、いわゆるどこでもセーブ機能がエミュレータに搭載されている。
- オンライン アップデート：アイコンが点灯している場合は、エミュレータのバージョンアップがオンラインでできる。

CONTENTS

Let's Go!!

Startup guide

必要な機材を準備する…………10
Wiiをハックする…………12
Wiiをバックアップする…………16

introduction

Wiiの裏ワザでデキること…………2
付録CD-ROMの使い方…………4
解凍ソフトの使い方…………6
ファイルの操作方法…………7
Column…………88

Chapter1

Copy Game

WiiのIOSを書き換える…………20
カスタムIOSを導入する…………26
Wii専用のドライブを作る…………28
製品ゲームをバックアップする…………33
ゲームのコピーディスクを作る…………39
多機能なローダーを使う…………42
シンプルなローダーを使う…………46
グラフィカルなローダーを使う…………49
GCのゲームをバックアップ…………52
GCのコピーディスクで遊ぶ…………56
ショップチャンネルへの接続…………60
パソコンでWiiを遊ぶ…………62

Chapter2

Emulator

ファミリーコンピュータ…………68
スーパーファミコン…………70
ゲームボーイアドバンス…………72
ニンテンドーDS…………74
ニンテンドー64…………76
PCエンジン…………78
セガマスターシステム…………80
メガドライブ…………82
セガサターン…………84
プレイステーション…………86

Chapter3

Free Soft

チートコードでゲームを改造する…………90
DVD-Videoを再生する…………94
動画・音楽ファイルを再生する…………96
チャンネルを作成する…………98
セーブデータをコピーする…………102
KOF Flames of Courage…………104
OpenBOR…………106
Super Mario War Wii…………107
OpenTyrian…………108
QUAKEGX…………109
Marjongg Wii…………110

Let's Go!!

StepUp

必要な機材を用意する

Wii　PC　SD　Card reader　Game　media　etc

Wiiは「Wiiハック」というテクニックを使うことで、コピーゲームが起動可能になるが、このテクニックを使用するには、Wii本体以外にもいくつかの機材が必要だ。ここでは「Wiiハック」やコピーゲーム起動に必要となる各種機器について解説していくぞ。

No Soft

No Soft

必要最低限の機材をそろえる

Wiiハックやコピーゲーム起動を実行するうえで、必ず用意しておきたい機材がある。Wii本体以外は、おもにパソコンの周辺機器ばかりなので、該当機器がある場合は、それらを活用してもいいだろう。

大半の機材は家電量販店で入手可能

Point

Wiiハックやコピーゲーム起動で使用する各機材は、いずれも家電量販店やパソコンショップでそろえることができる。必要機材が足りない場合は、近場のお店で購入しよう。なお、パソコンパーツは販売店によって価格差が大きい。より安値で入手したい場合は、インターネットの価格比較サイトを利用してみよう。



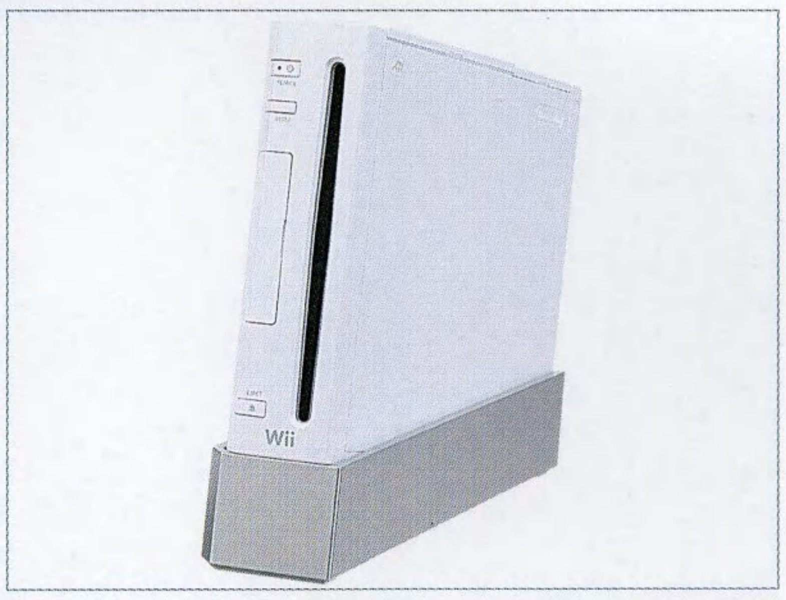
本誌付録CD-ROMには、SDカードの価格比較サイトのリンクや、オススメのカードリーダのリンクを収録したので活用してほしい。

Windowsパソコン



ハックツールの入手やゲームデータの保存に使用する。Windows XP以降で、USB 2.0対応の端子を搭載していれば申し分ない。

Wii本体



ファームウエア（以下、FW）のバージョンが「4.2J」以下のものを用意する。最新の4.3Jでは、本誌のテクニックが使えないので注意。

SDカード



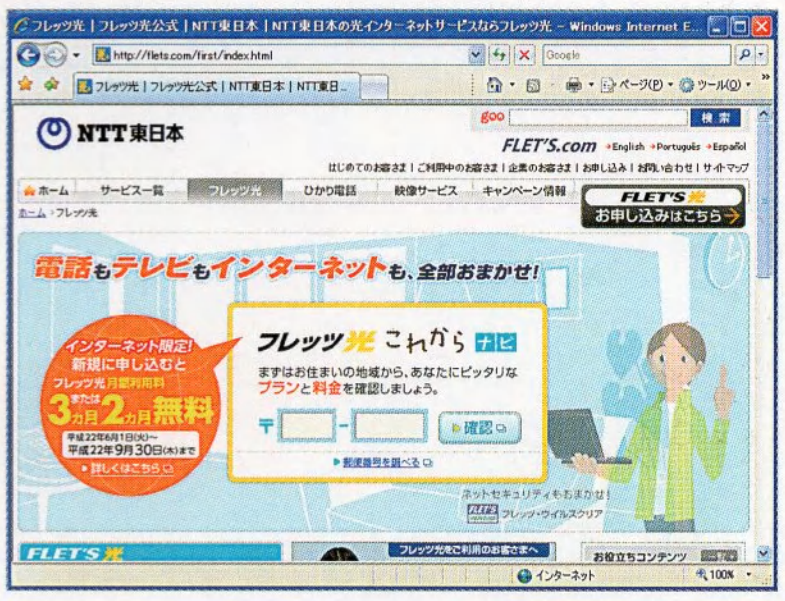
SD仕様



SDHC仕様

128MB程度のものが最低でも1枚必要。また、ゲームコピー用に8GB以上のSDHC仕様SDカードを、さらに1枚用意しよう。

インターネット接続環境



ネット接続環境は、本誌のテクニックを使用するのに必要不可欠。基本的にはADSL以上の接続環境があれば問題ない。

無線LAN機器



Wiiでのネット接続に使用する。有線LAN接続ではハックツール使用中にエラーがでることもあるので、無線機器を使うのがベターだ。

SDカードリーダ



SDカードをパソコンやWiiで読み込むときに使用する。4GB以上のSDカードを使う場合は、SDHC仕様に対応するカードリーダが必要だ。

起動可能なメディアを知る

コピーゲームの起動に使用できるメディアは、SDカード、USBメモリ、USB接続のハードディスク、DVD-Rの4種類だ。いずれも一長一短があるので、新規購入する場合はそれぞれの特徴を把握しておこう。

SDカード



手元にSDカードが1枚ある場合、大容量のSDカードを1枚買い足すだけでよいというのが最大の長所。容量単価が高いのが欠点だ。

USBメモリ



最大で256GBの容量があるUSBメモリ。容量単価は高めだが、手軽に扱える点が大きな魅力だ。ただし機種によっては使えないことも。

Wiiとの相性に注意 Attention!

SDカードリーダやUSBメモリ、外付けハードディスクは、Wiiとの相性が悪いとドライブが認識されない、フリーズするといった問題が発生する。新規で購入する場合は、付録CD-ROMにも収録している「ストレージの動作確認検証サイト」を参考にして、問題が発生しにくい製品を選択しよう。

外付けUSBハードディスク



最大で2TBという大容量が大きな特徴。容量単価も他のメディアに比べて安め。Wiiとの相性によって認識されないこともある。

DVDメディア



容量単価がもっとも安く、ゲーム1本をメディア単位で明快に管理できるのが長所。ただし、一部のWiiでは起動不可なのが難点だ。

無線LAN機器の選び方

ハックテクニックの準備でもっともつまづきやすいのが、無線LAN環境の構築だ。現状で環境がなく、新規購入する場合は、接続のしやすさや無線LANの用途など考慮したうえで、購入機器を選択しよう。

任天堂純正品



任天堂の純正機器は2種類。パソコンの知識に乏しくても比較的簡単にWiiを無線接続できるが、他の機器には使えないのが難点だ。

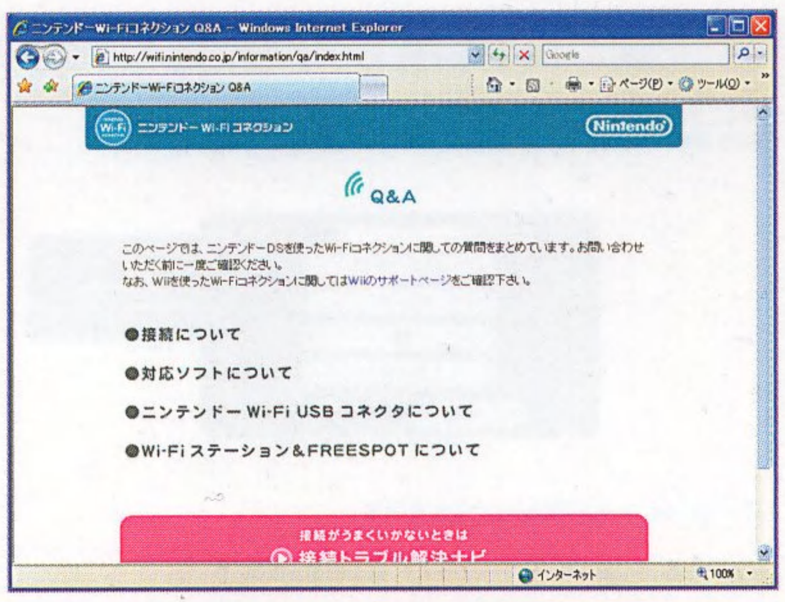
一般メーカー品



パソコンやPSPなど、他のWii以外の機器でも無線LANを使用したい場合は、一般メーカー品を選ぼう。ただし設定は難解な場合が多い。

無線LAN接続で困ったときは、任天堂のサイトをチェック!! Point

任天堂のホームページでは、ニンテンドーWifiコネクションの接続ガイドや、接続のQ&Aなどを公開している。製品を購入したが、接続できないといった場合は参照してみよう。また、そのほかに一般メーカー品の動作確認リストも公開されているので、購入時の参考にするとよい。



ニンテンドーWifiコネクションのQ&Aページ。リンク先は付録CD-ROMに収録しているぞ。



一般メーカー品の無線LAN動作確認リスト。動作確認済みの機器を選べば確実だ。

Wiiをハックする

Wii　PC　SD　Card reader　Game　media　etc

コピーゲーム起動ツールをはじめ、各種裏ツールを起動可能にするのが「Homebrew Channel」（以下、HBC）だ。本誌の各テクニックを使用するにはHBCのインストールが必要不可欠となる。ここでは「Wiiハック」の初歩であるHBCの導入方法を解説しよう。

bannerbomb Ver.200
作者名●Comex
ファイル名●abd6a_v200.zip
URL●http://bannerbomb.qoid.us/

Wii HackMii Installer Ver.0.6
作者名●BootMii
ファイル名●hackmii_installer_v0.6.zip
URL●http://bootmii.org/

FWを確認する

本誌の方法でHBCを導入する場合は、Wii本体のFWバージョンが「4.2J」でなければならない。それ以前ならゲームソフトを使って4.2Jに更新しよう。なお、最新の4.3Jは現時点でHBCの導入はできない。

1 Wiiのオプションを開く



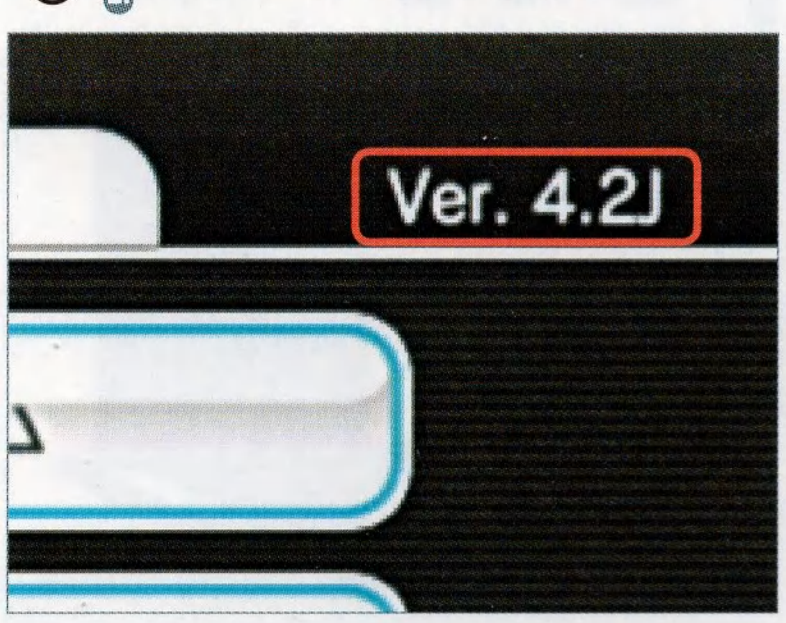
まずは、手持ちのWii本体のFWバージョンを確認してみよう。Wiiメニューの画面の右下にある「Wiiオプション」を開く。

2 本体設定を選択



Wiiオプションの画面になったら、右側の「本体設定」を選んで、Aボタンを押す。

3 FWバージョンを確認



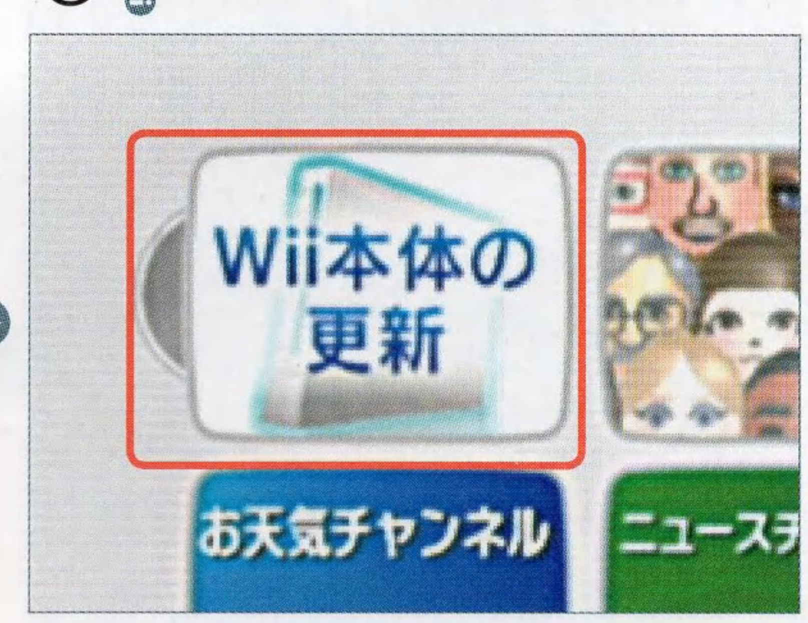
メニュー画面の右上に、Wii本体のFWバージョンが表示されているので確認する。ここが「4.2J」なら手順4と5は飛ばして進む。

4 「4.2J」更新ソフトを用意する



4.2J以前の場合は、4.2Jにアップデートできる「New スーパーマリオ」「マリオギャラクシー2」といったソフトを用意しよう。

5 FWを4.2Jにアップデート

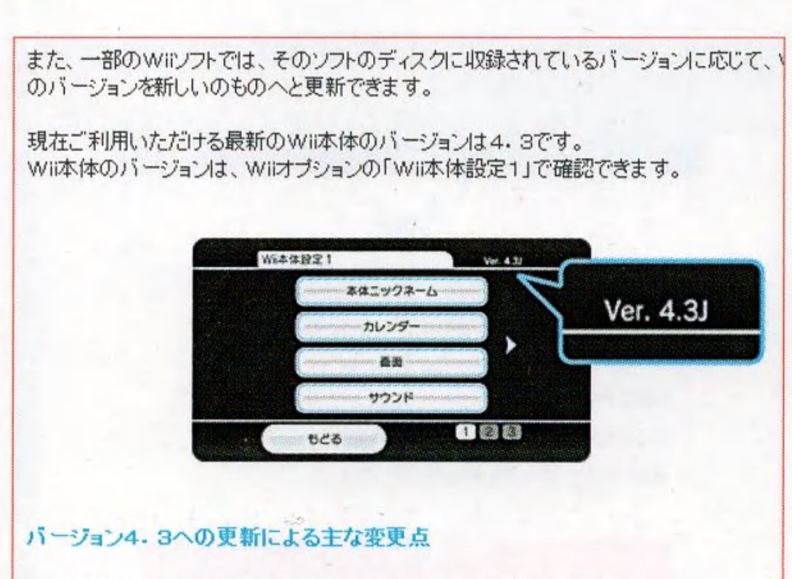


ゲームソフトを使ってFW4.2Jにアップデートする。なお、2010年6月下旬以降のゲームは「4.3J」の可能性があるので使用しないこと。

Wii本体の最新FW「4.3J」はハック不可能！

Attention!

2010年6月22日に実施された、Wii本体のFWバージョンアップ。今回の更新はWiiの「動作品質の改善」となっているが、実際はHBCの導入を不可能にするための対策だったりする。すでに「4.3J」にしてしまった場合は、HBCの導入をはじめ、各テクニックが使えないことを覚えておこう。

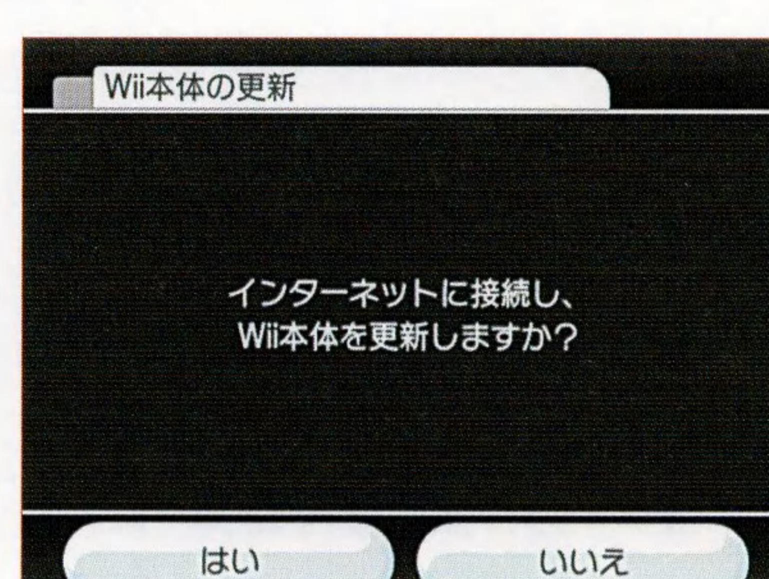

また、一部のWiiソフトでは、そのソフトのディスクに収録されているバージョンに応じて、いのバージョンを新しいものへと更新できます。

現在ご利用いただける最新のWii本体のバージョンは4．3です。
Wii本体のバージョンは、Wiiオプションの「Wii本体設定1」で確認できます。

バージョン4．3への更新による主な変更点

●より快適にWiiをお楽しみいただけるよう、動作品質を改善しました。

最新のFW4.3Jの更新内容を表示する任天堂のホームページ。ある意味、品質改善だが……。

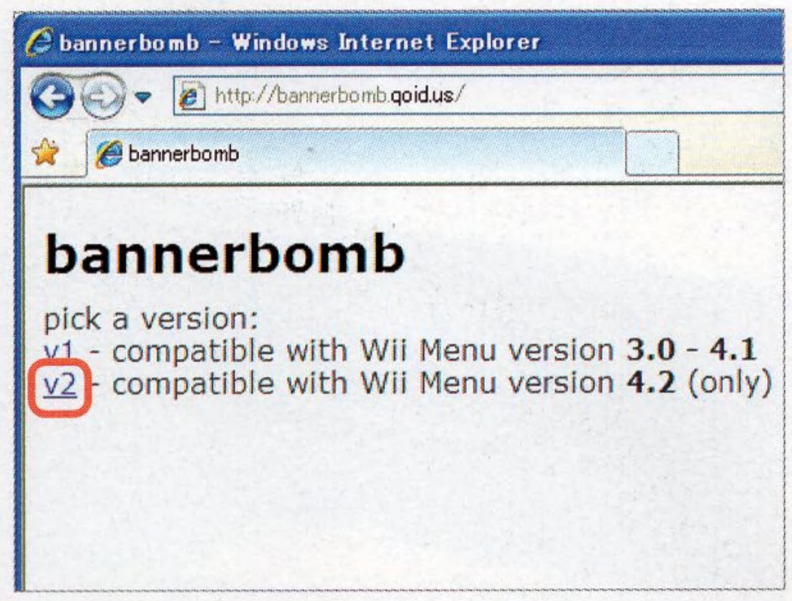


Wiiハックを実行するなら、FW4.3Jへのアップデートは絶対にやめよう。

ハックツールを用意する

HBCの導入に必要なツールはふたつある。まずはこれらを入手し、SDカードへコピーしよう。なお、ハックツールは所定の場所に正しくコピーしないと起動できないので注意しよう。

1 ブートツール配布サイトにアクセス



付録CD-ROM収録のリンクから「bannerbomb」の配布サイトに移動。「v2」をクリックして、導入の解説ページに移動する。

2 ダウンロードする



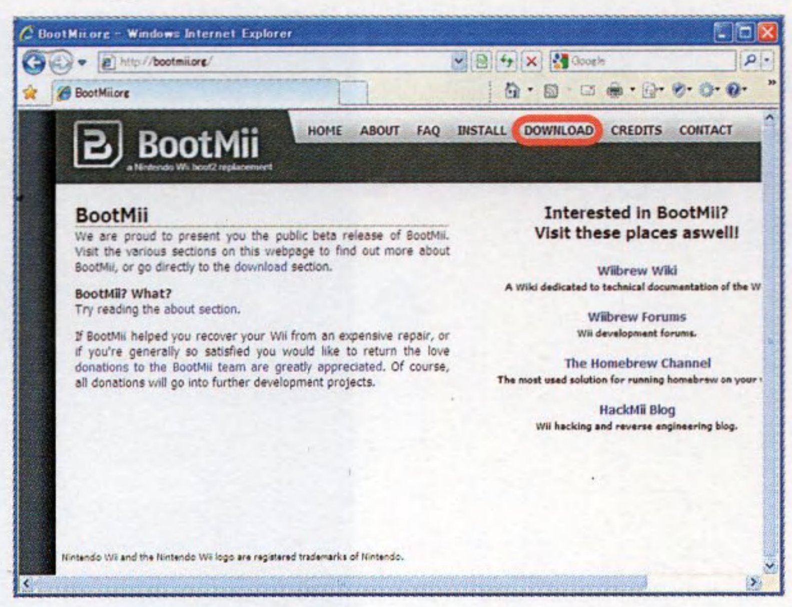
導入解説の2番の文章中にある「abd6a_v200.zip」のリンクをクリック。bannerbombをダウンロードする。

3 ブートツール配布サイトにアクセス



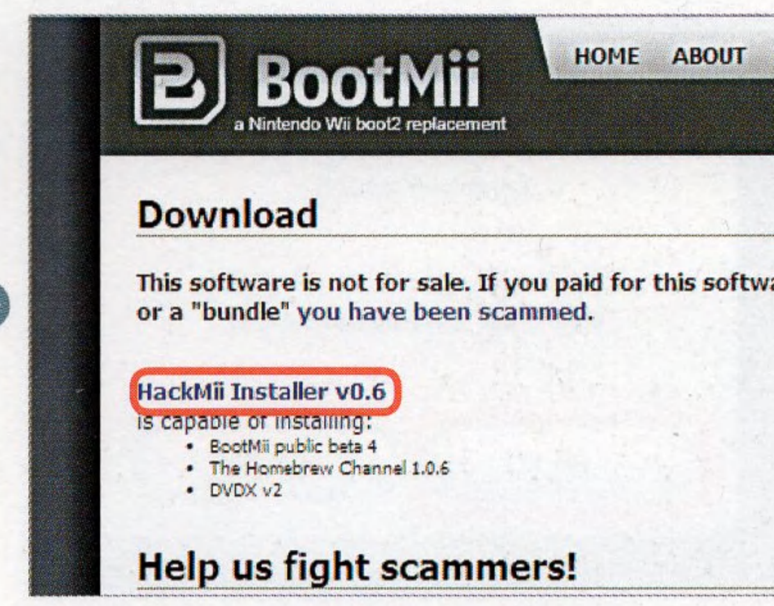
続いて、導入解説の3番の文章中にある「the HackMii installer」のリンクをクリック。

4 ダウンロードページへ移動



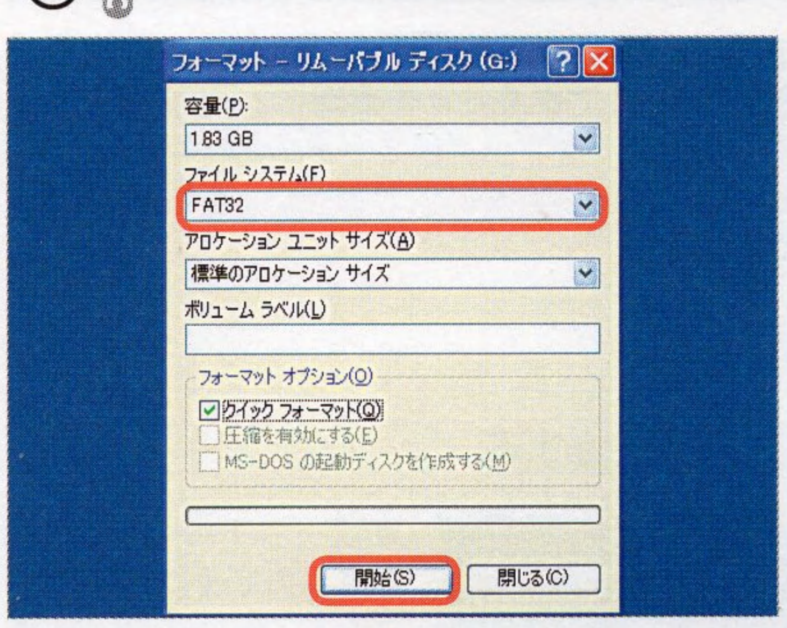
トップページ上部の「Download」リンクをクリック。HackMii installerのダウンロードページへ移動する。

5 ダウンロードする



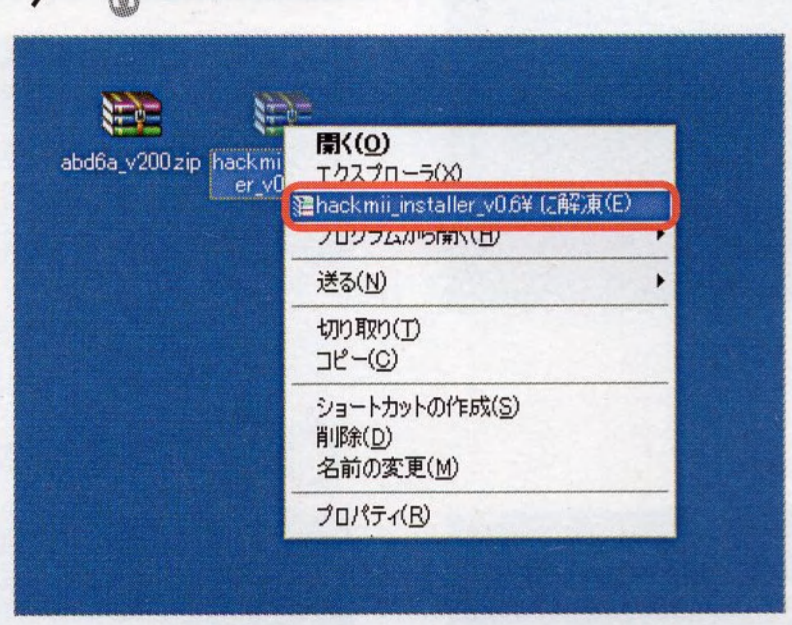
「HackMii Installer v0.6」のリンクをクリックして、ファイルをダウンロードする。

6 SDカードをフォーマットする



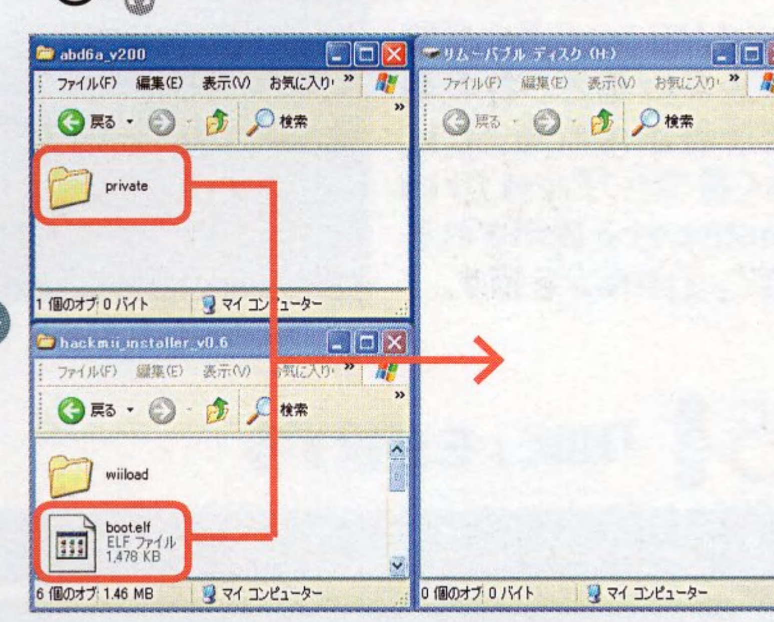
パソコンにSDカードを接続。「FAT32」形式でフォーマットする。SDカードに大事なファイルがある場合は、あらかじめ退避しておく。

7 各ツールを解凍する



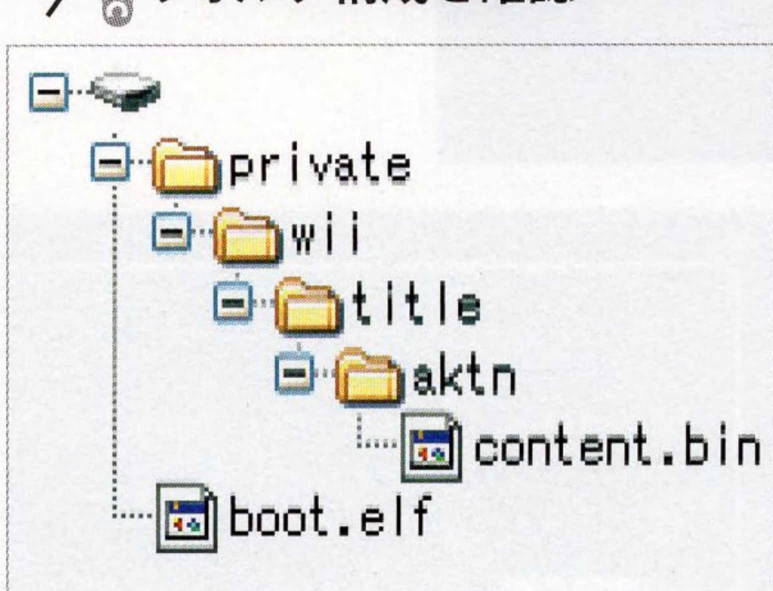
入手したbannerbombとHackMii Installerは圧縮ファイルになっているので、解凍ソフトでデスクトップ上に解凍する。

8 ツールをSDカードにコピー



bannerbombのフォルダから「private」フォルダを、HackMii Installerのフォルダから「boot.elf」をSDカードのルートにコピー。

9 フォルダ構成を確認

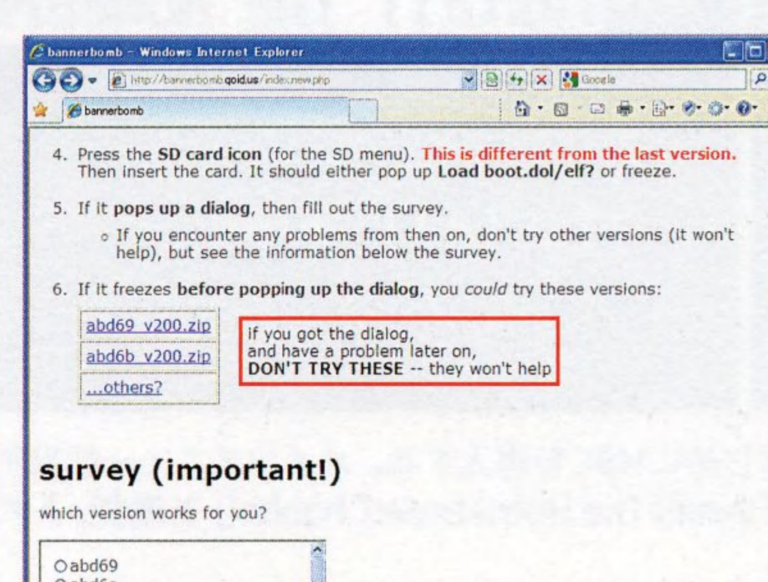


SDカードに保存された各種ツールが、上の写真と同じフォルダ構造になっていればOKだ。

うまくブートできないときは別バージョンを使う

Point

HBCの導入は、Wii本体のバグを利用し、bannerbombでHackMii Installerをブートする形で行なう。しかしWiiとの相性が悪いとbannerbomb使用後にフリーズすることがある。この場合は、写真のリンクから入手可能な別のバージョンのbannerbombで、HackMii Installerのブートを試してみよう。

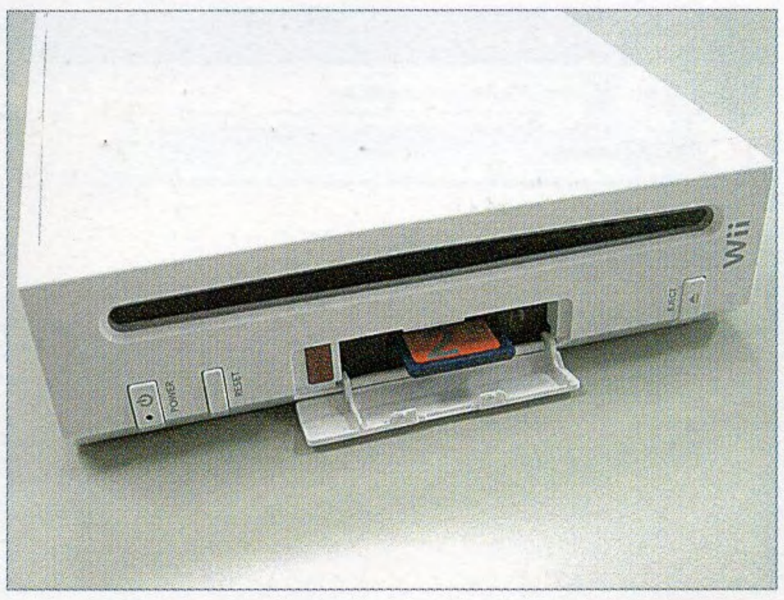


Ver.200の別バージョンは2種類ある。上から順番に試してみよう。

Wiiハックを実行する

ハックツールの準備ができたら、WiiにHBCを導入しよう。なお、各ツールの画面表記はすべて英語となっている。誤った操作をしないよう紹介する手順を参考にひとつずつ確実に進めていこう。

1 Wii SDカードをセットする



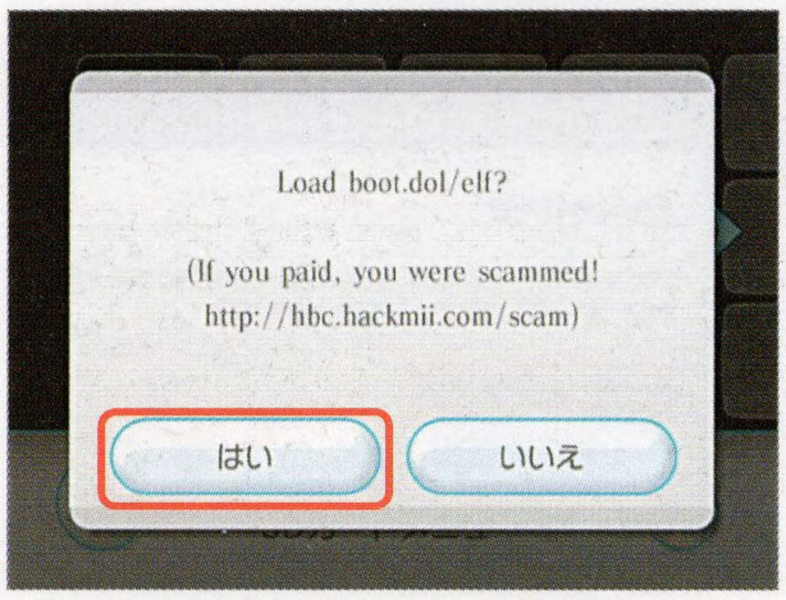
あらかじめ準備したツール入りのSDカードをWii前面のSDカードスロットにセットする。

2 Wii WiiでSDカードを開く



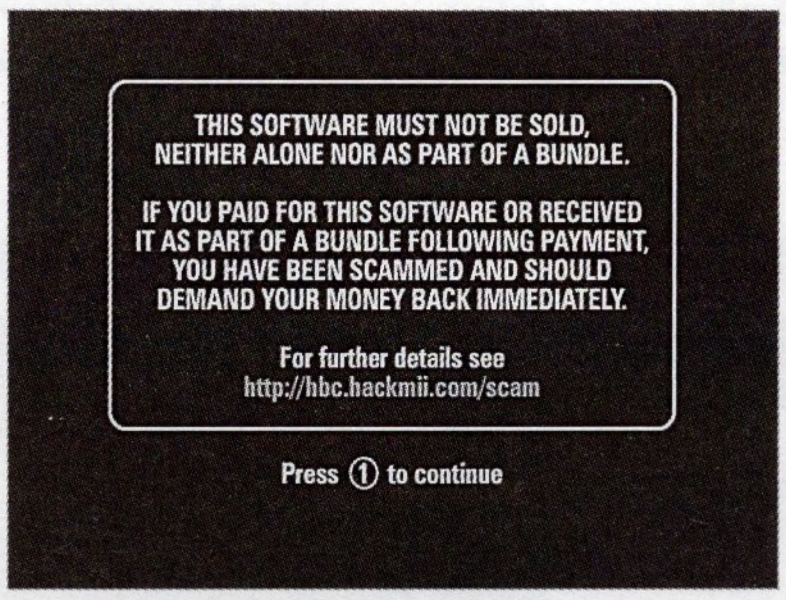
Wiiメニューの左下にあるSDカードアイコンを選んで、Aボタンを押す。選択できない場合は、SDカードが正しくセットされているか確認。

3 PC インストーラを起動する

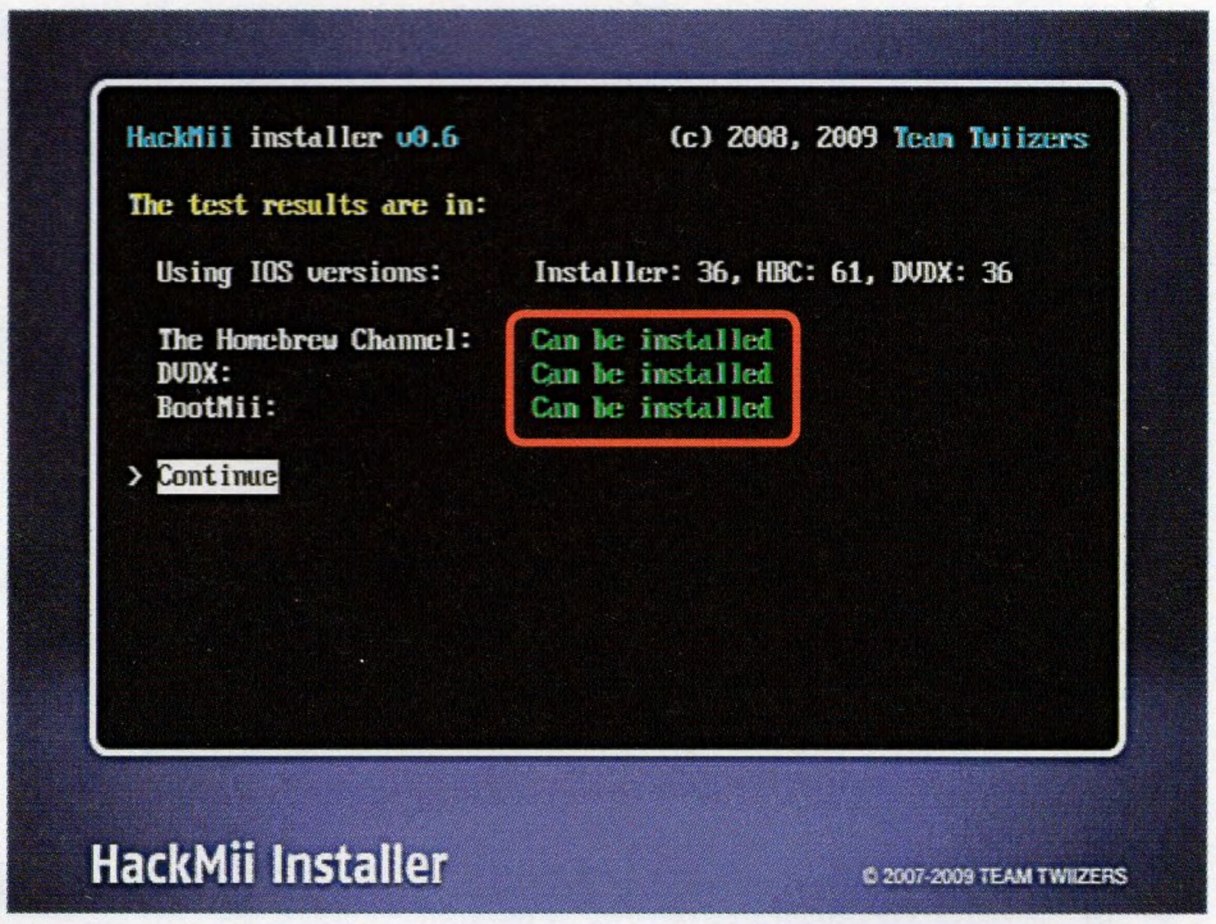


SDカードが正しく読み込まれると、左の画面が表示される。ここで「はい」を選択し、Aボタンを押す。

HackMii Installerが読み込まれると、右の画面が表示される。しばらく待つと「Press ① to continue」と表示されるので、①ボタンを押す。

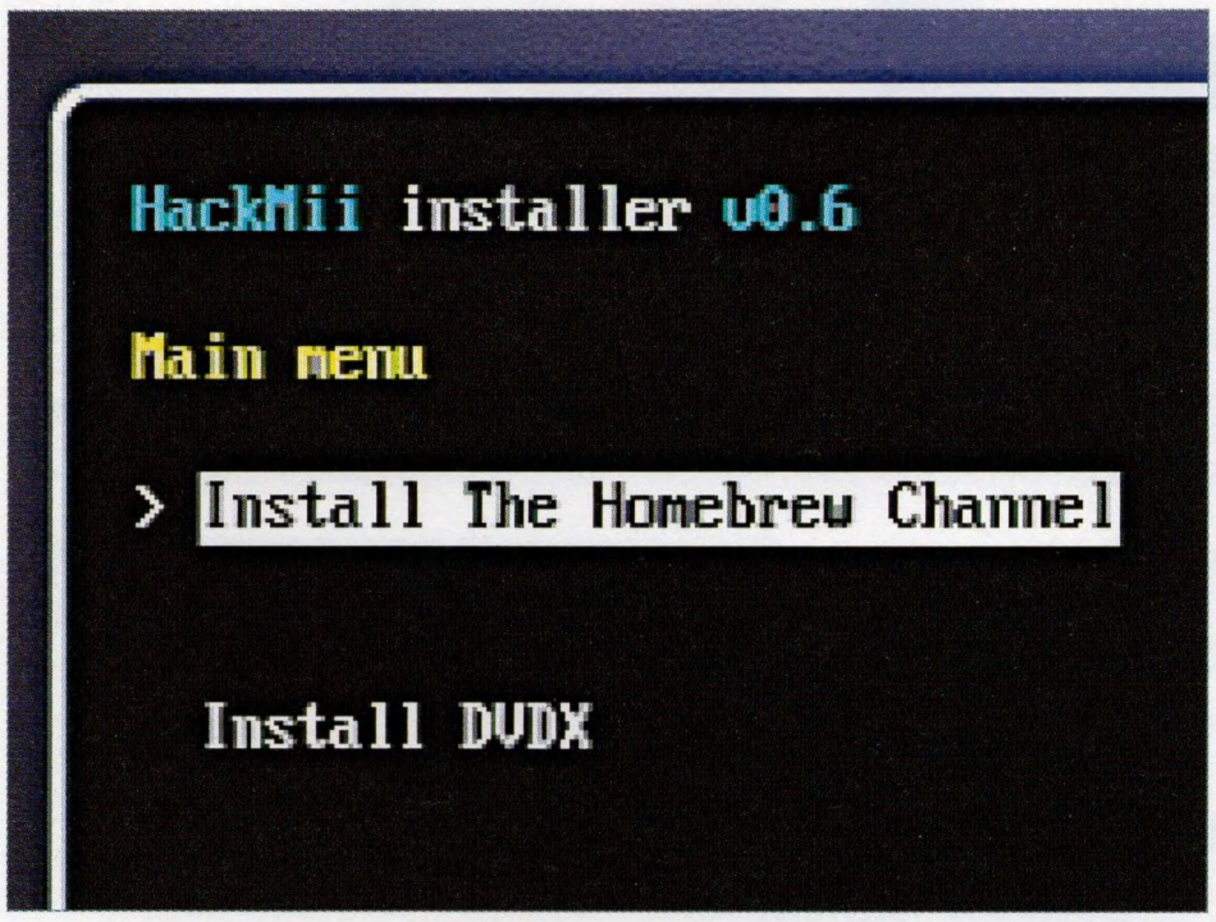


4 Wii インストールチェック画面で確認



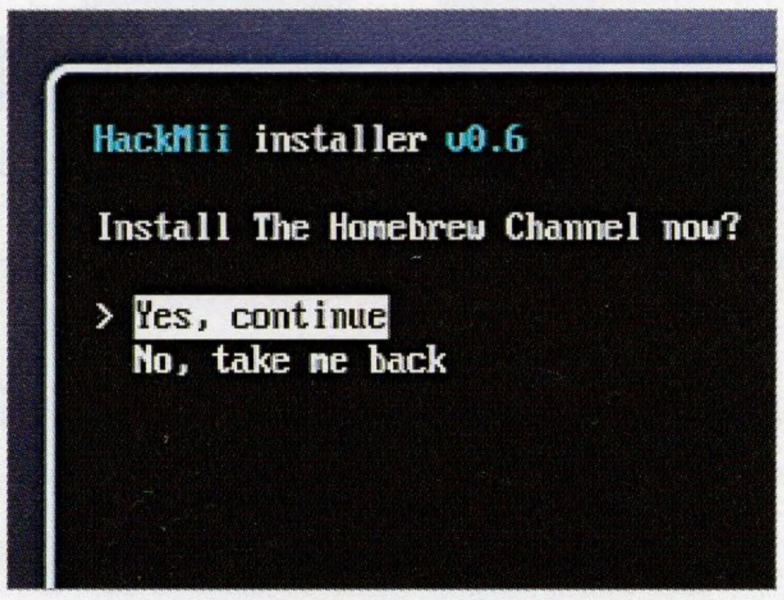
HackMii Installerが起動すると、インストール可能なプログラムが確認できる。表示された文字の色が「緑色」であることを確認し、Aボタンを押して先に進めよう。ちなみに、WiiのバックアップができるBootMiiの文字が「紫色」のときは、「Boot2」版のBootMiiが導入できない。この場合は手順11で「IOS版」を選択しておこう。

5 Wii 「HBC」を選択する

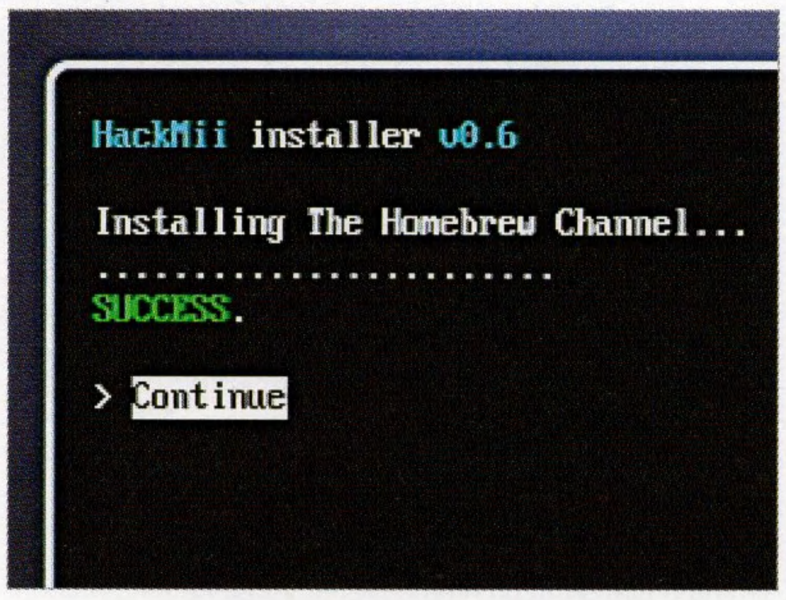


はじめにHBCを導入する。メインメニューが表示されたら、十字ボタンで「Install The Homebrew Channel」を選択。Aボタンを押す。

6 Wii 「HBC」をインストールする

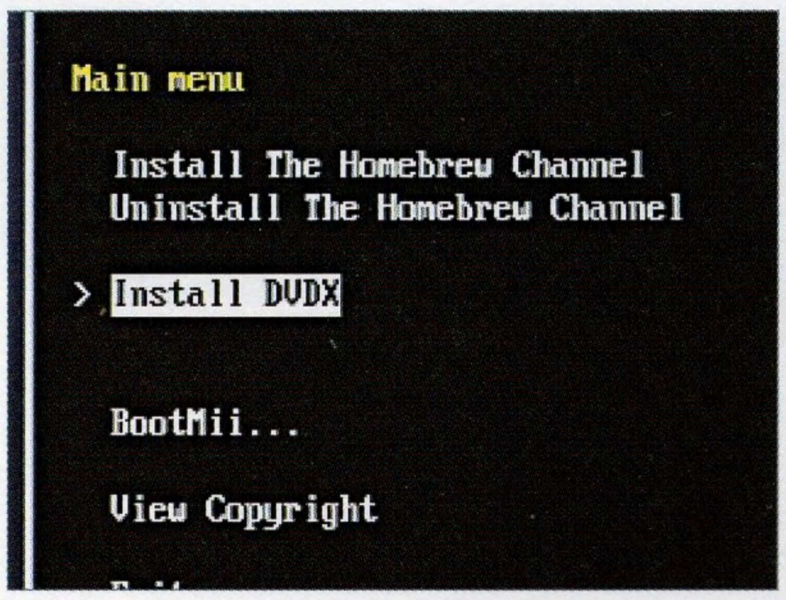


確認メッセージが表示されるので十字ボタンで「Yes, Continue」を選択、Aボタンを押す。これでHBCのインストールがはじまる。



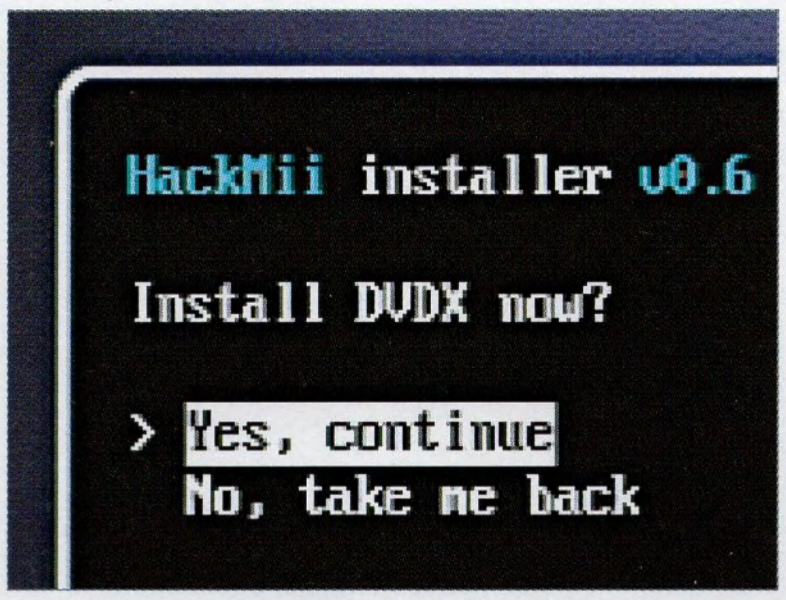
画面に「SUCCESS」と表示されれば、インストールは成功だ。Aボタンを押してメインメニューに戻ろう。

3 「DVDX」を選択する



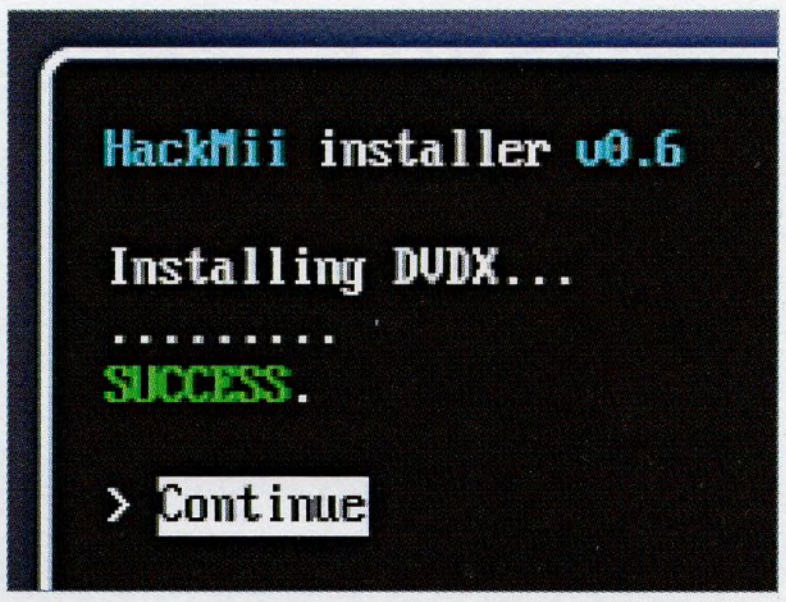
次に、WiiでDVD-Videoなどが再生可能になるDVDXをインストールする。「Install DVDX」を選択し、Aボタンを押す。

4 「DVDX」をインストールする



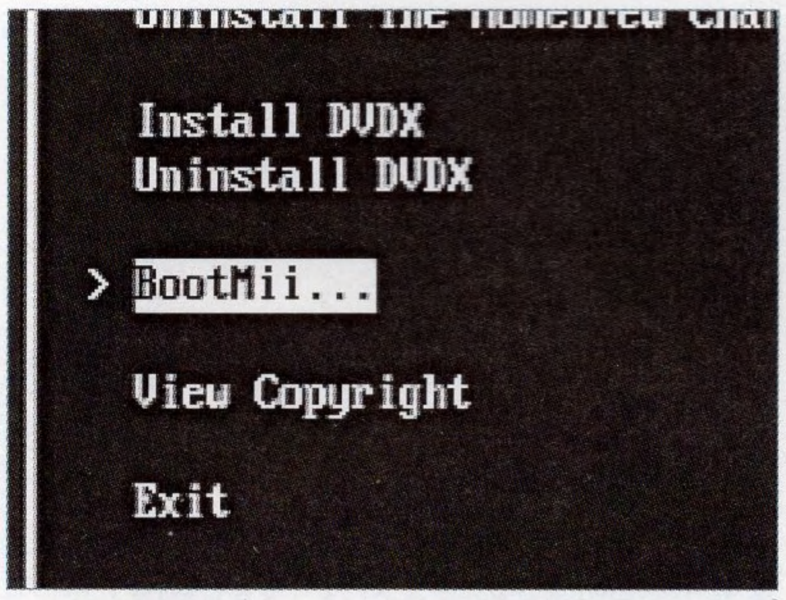
HBCの導入時と同様、確認メッセージが表示される。「Yes, Continue」を選択してAボタンを押し、インストールをはじめる。

5 インストールを確認



画面に「SUCCESS」と表示されれば、インストールは成功だ。Aボタンを押してメインメニューに戻ろう。

10 「BootMii」を選択する



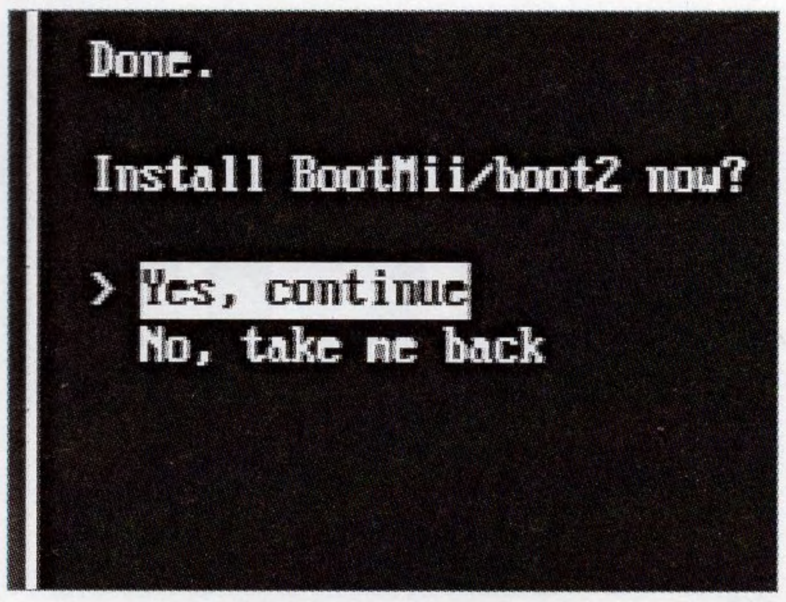
手順4でBootMiiの項目が緑色であれば、Wii故障時に重宝するboot2インストールが可能だ。「BootMii...」を選択、Aボタンを押す。

11 インストールメニューを選択



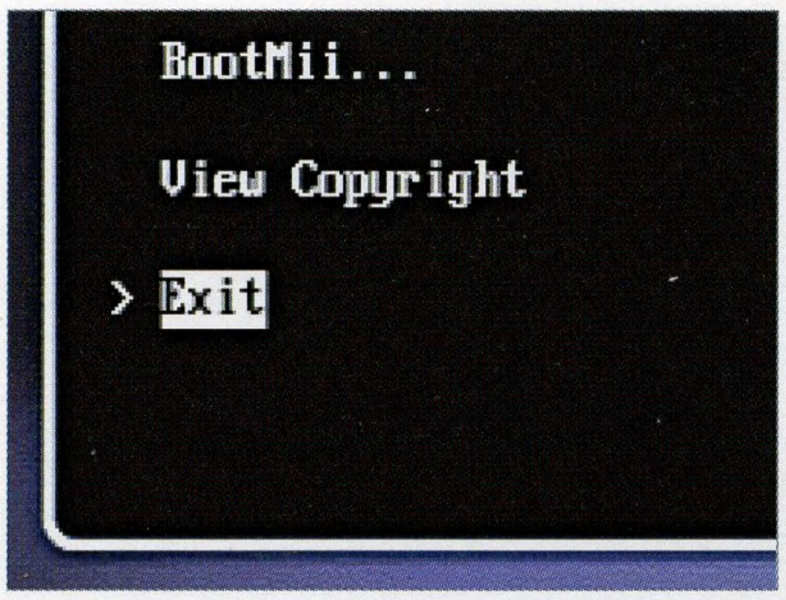
BootMiiメニューに移動したら、インストール形態を選択。ここでは「Install BootMii as boot2」を選択、Aボタンを押す。

12 「BootMii」をインストール



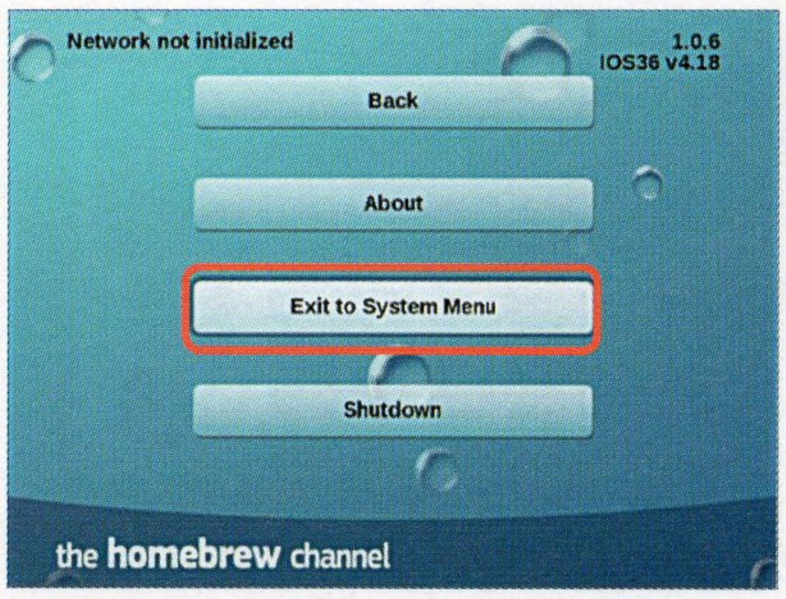
「Yes, Continue」を選択してインストールを実行する。読み込み後に再度確認が出るので、このときも「Yes, Continue」を選ぶ。

13 インストーラを終了する



「SUCCESS」と表示されたらAボタンを押し、続いて「Return tu the main menu」を選択。「Exit」を選んでインストーラを終了させる。

14 Wiiメニューに戻る



HBCの画面でBボタンを押すと、HBCのメニューが呼び出せる。「Exit to System Menu」を選んでAボタンを押し、Wiiメニューに戻る。

15 「HBC」を確認する



Wiiメニューに戻ると、HBCがチャンネル登録されているはずだ。Wiiリモコンでチャンネルを選択すると、写真のようなHBCの起動メニューが表示される。「はじめる」からHBCを再度起動してみよう。

Wiiをバックアップする

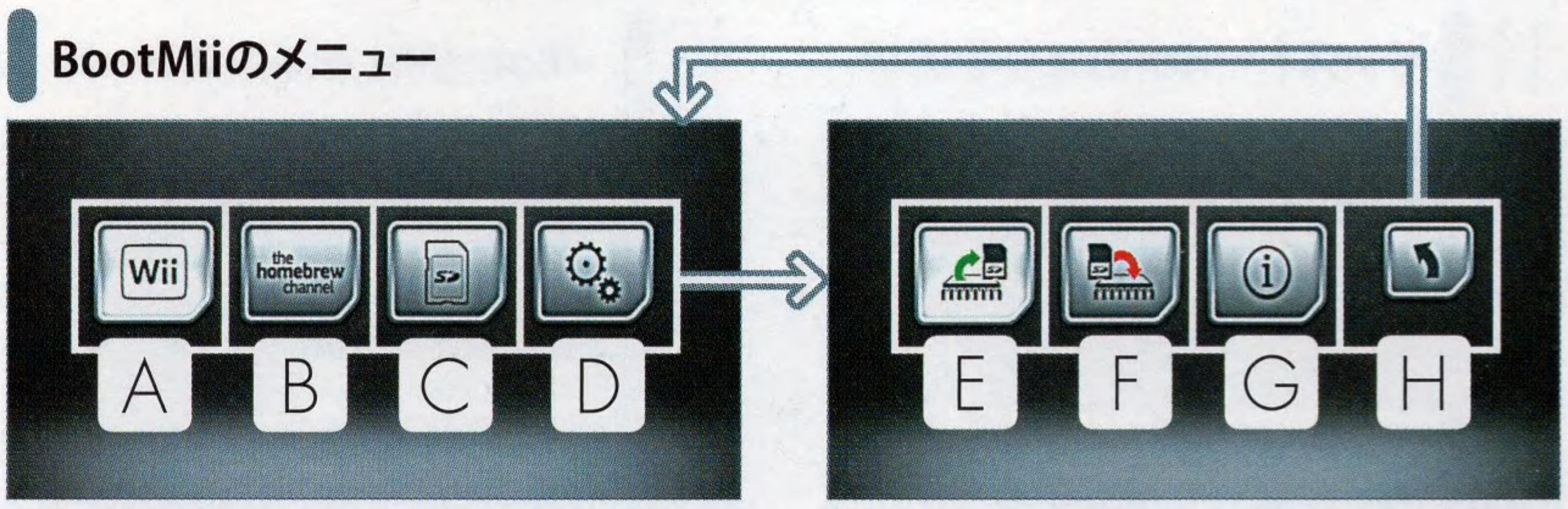
Wii　PC　SD　Card reader　Game　media　etc

HackMii Installerで導入できるBootMiiは、Wii本体の重要なメモリ情報「NAND」をバックアップし、それを元にリストアできるツール。Boot2版ならBootMiiをSDカードから直接起動できるため、Wiiが操作不能になってもリストアできるのだ。

No Soft

No Soft

BootMiiのメニュー

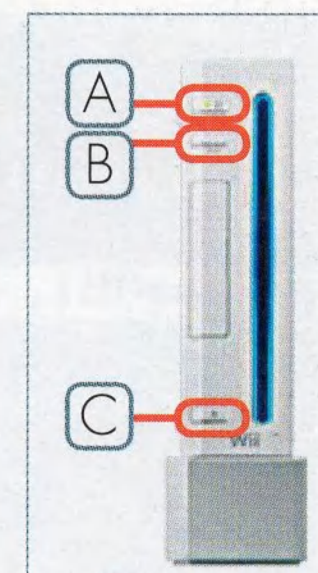


A Wiiチャンネルの起動
B HBCの起動
C SDカードの閲覧
D メニュー移動

E Wiiのバックアップ
F Wiiのリストア
G 作者情報
H 戻る

BootMiiの操作





BootMiiは、ゲームキューブのコントローラ、もしくはWii前面の3つのボタンで操作する。Wiiリモコンでは操作できないので注意したい。

A 選択
B 決定
C START

バックアップデータを作る

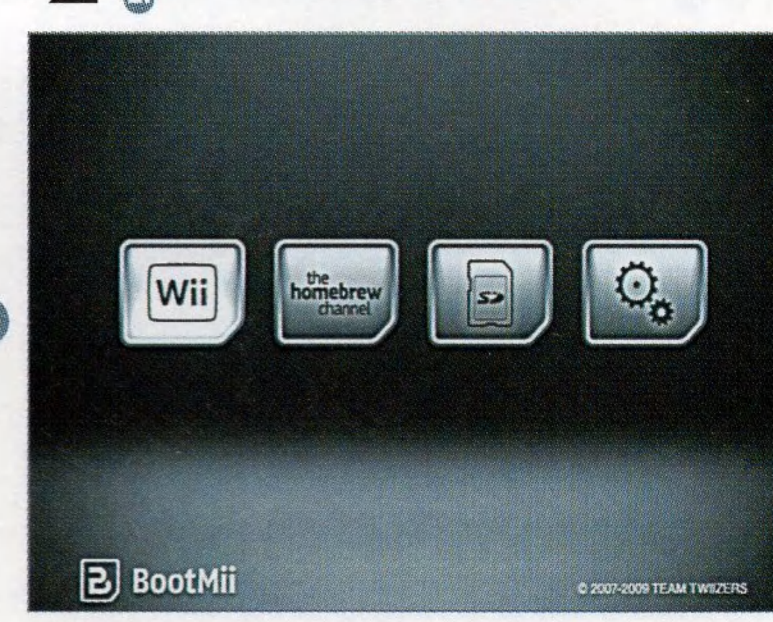
HBC導入直後は、不測の事態に備えて、BootMiiでNANDのバックアップを取得しておくとよい。バックアップ取得後のSDカードのデータは、すべてをパソコンにコピーし、大事に保管しておこう。

1 SDカードをセットする



Boot2版を導入すると、BootMii起動用のファイルが保存される。これらのファイルが保存されたSDカードを、Wiiにセットする。

2 Wiiの電源を入れる



SDカード内にBootMii起動用ファイルが保存されていると、BootMiiがWiiの電源を入れた直後に起動する。

3 「システムユーティリティ」を選択



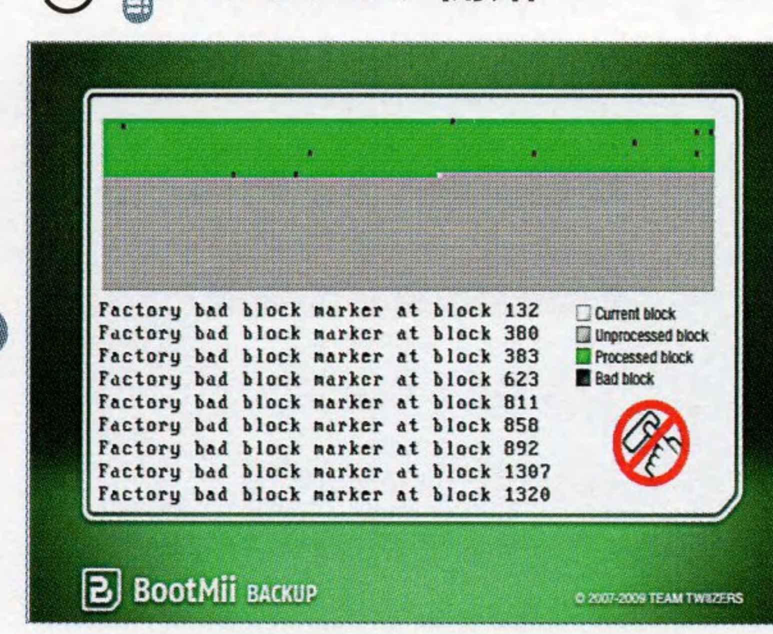
ゲームキューブのコントローラか、Wiiの本体で「システムユーティリティ」メニューを選択。決定ボタンを押す。

4 バックアップメニューを選択



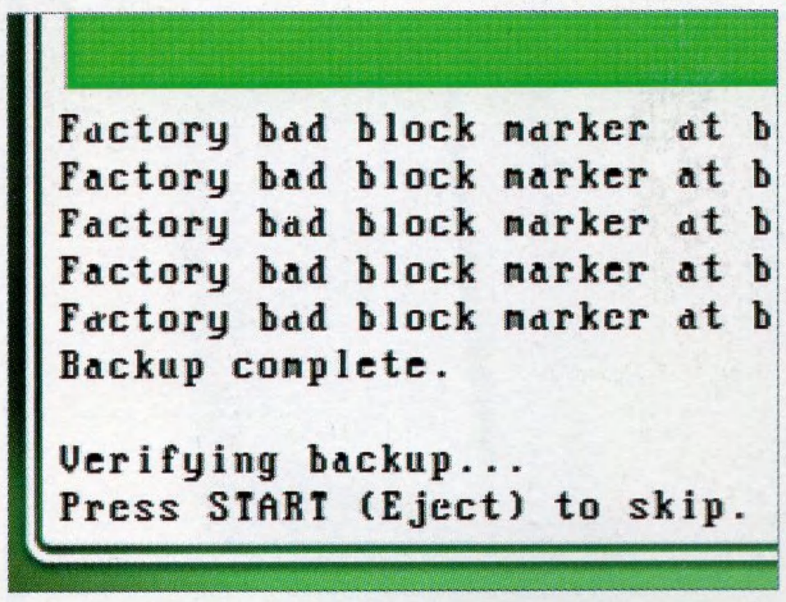
メニューが変わるので、次は「バックアップ」メニューを選択。決定ボタンを押す。

5 バックアップ開始



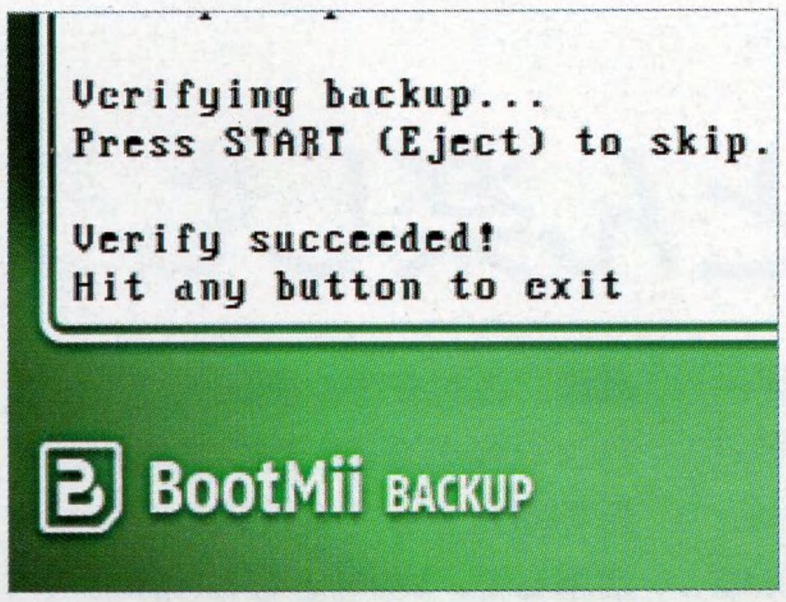
手順4の直後にバックアップが開始される。作業が終わるまで待ち、その間はWiiの電源が落ちないように注意しよう。

6 Wii ベリファイが実行される



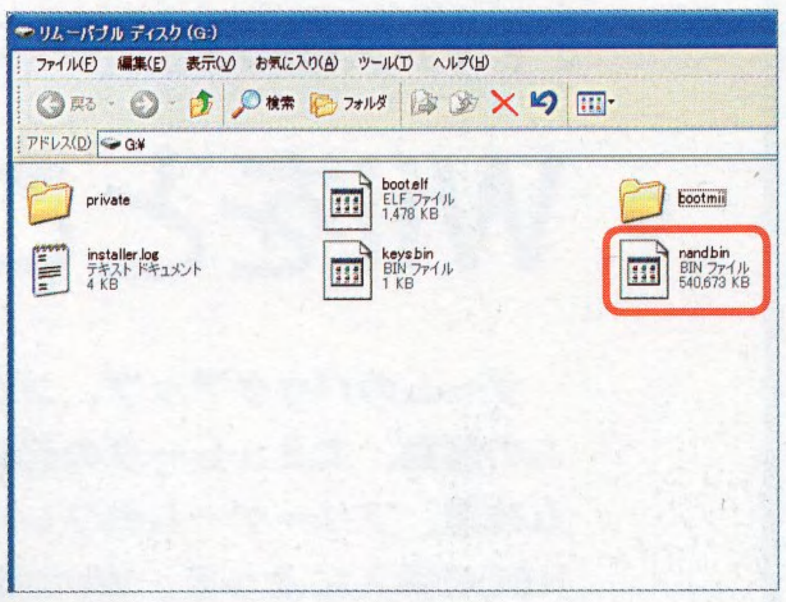
バックアップ完了後、確認のためのベリファイ作業が実行できる。スキップもできるが、念のためSTARTボタンで実行しておくとよい。

7 Wii バックアップ終了



ベリファイが終了すると、バックアップ作業が完全に終了する。いずれかのボタンを押してBootMiiのメニューに戻ろう。

8 Wii 「NAND」ファイルを確認



SDカードをパソコンに接続。取得した「nand.bin」を確認する。SDカード内にあるファイルは、すべてをパソコンにコピーしておこう。

Wiiをリカバリーする

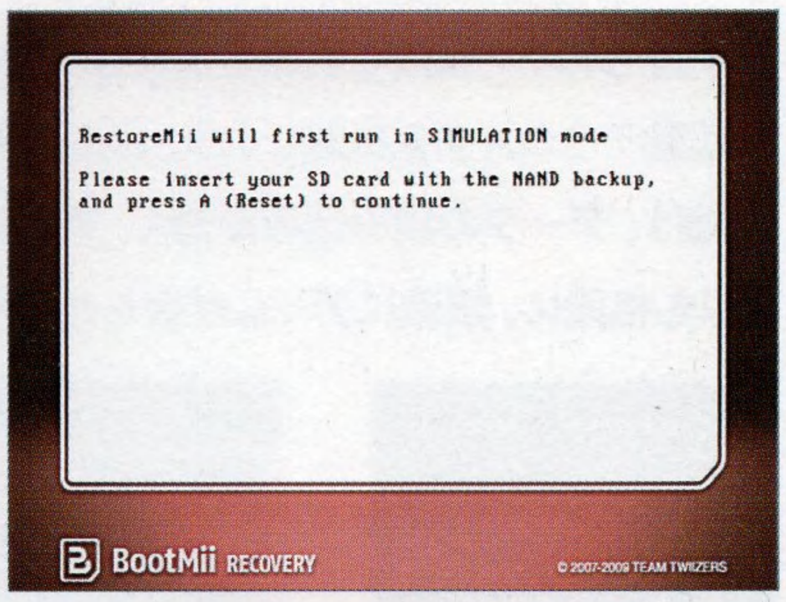
Wiiのリストアを実行する場合は、あらかじめパソコンにコピーしておいたすべてのファイルをSDカードにコピーしよう。その際、BootMii以外のファイルがある場合は、念のため退避しておくとよい。

1 Wii リカバリーメニューを選択



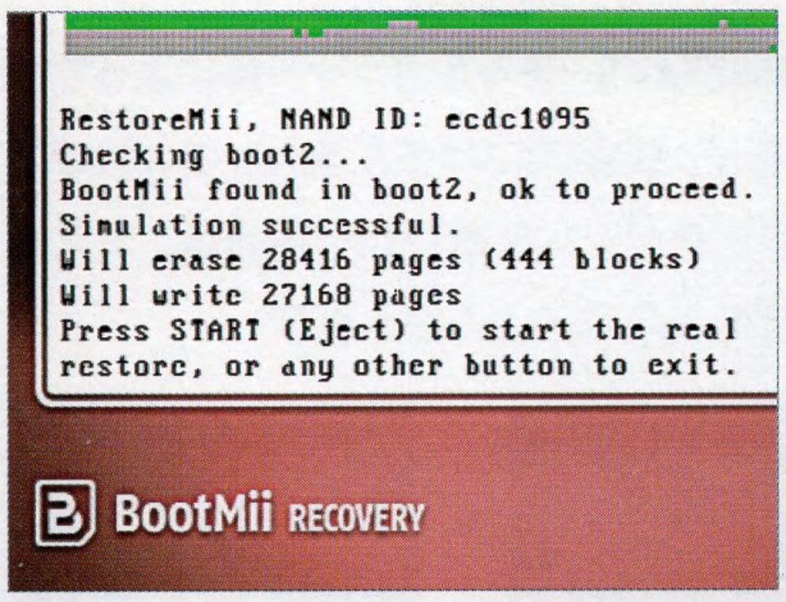
NANDファイルが入ったSDカードをWiiにセットし、電源を入れる。BootMiiが起動したらリカバリーメニューを選択する。

2 Wii データチェック開始



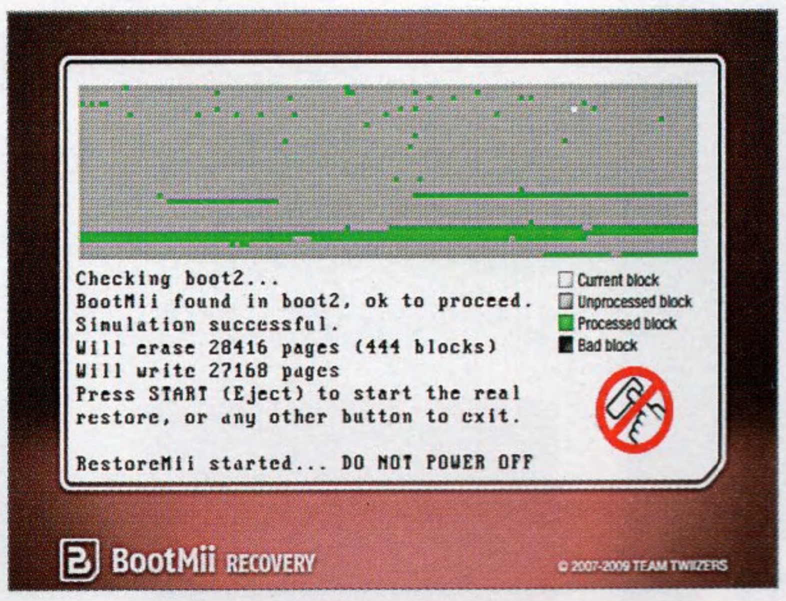
最初に現状のNANDとSDカード内のNANDの比較チェックが実行される。Aボタンを押して作業を続行しよう。

3 Wii 開始ボタンを押す



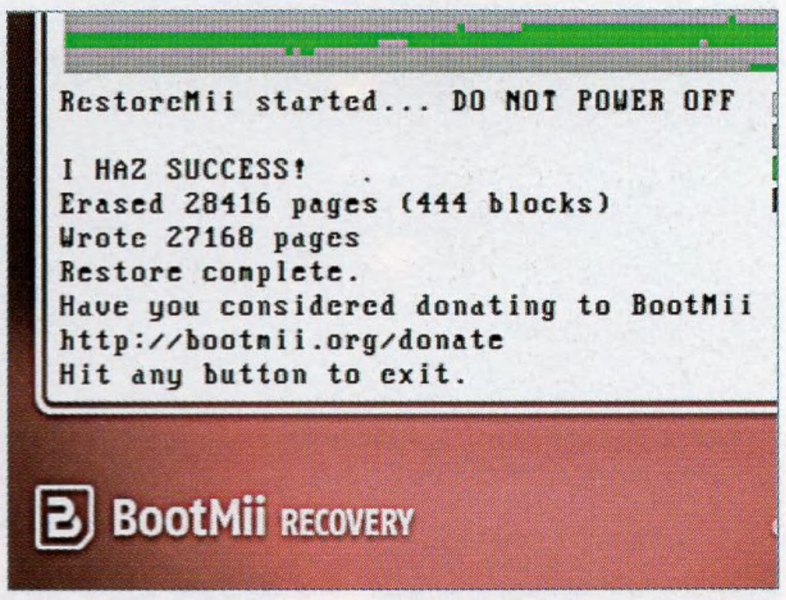
現状のNANDとSDカード内のNANDに違いがあれば、リストアが実行できる。STARTボタン（Wii本体ではEJECTボタン）を押して実行。

4 Wii リカバリー開始



SDカードのNANDファイルを元に、リストアが実行される。終了するまで、Wiiの電源が落ちないように注意しよう。

5 Wii リカバリー終了

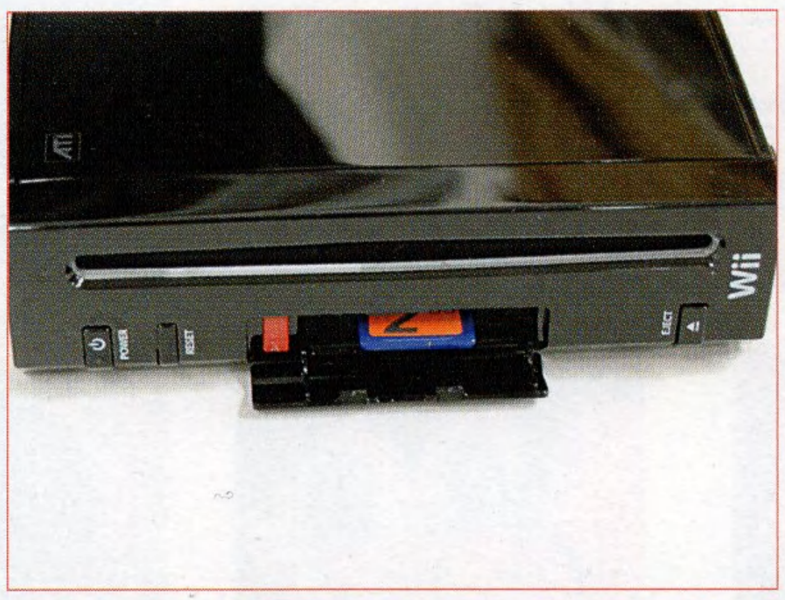


写真の画面でレストア完了。これでNAND取得時の状態にWiiが戻ったはずだ。何らかのボタンを押してツールを終了させよう。

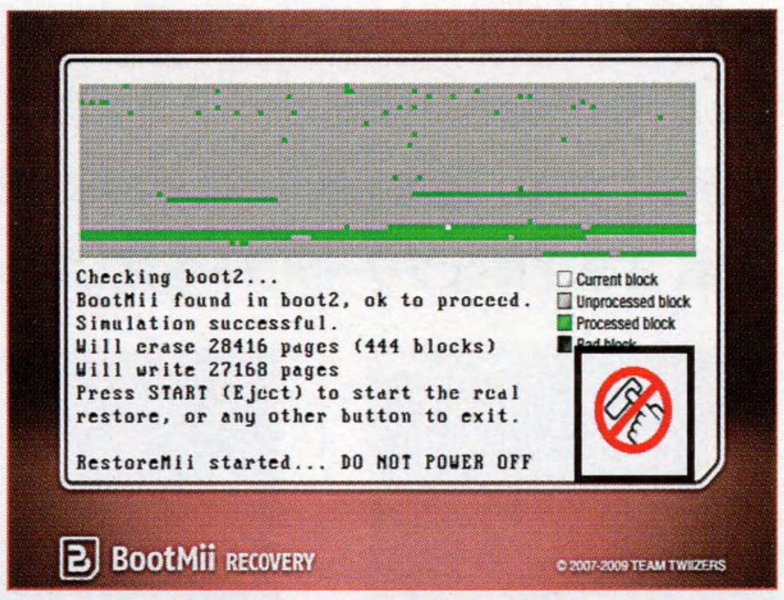
BootMii使用時の注意点

Attention!

BootMiiで取得できるNANDファイルは、個々のWiiの情報が記録されており、取得したWiiにしか利用できない。たとえば、Wii「A」のNANDをWii「B」に使用すると、Wii「B」は起動不可になってしまう。複数のWiiのNANDファイルを所有している場合は使用するNANDを間違えないように十分注意しよう。



他のWiiのNANDファイルを使ったレストアは絶対に行なわないように。

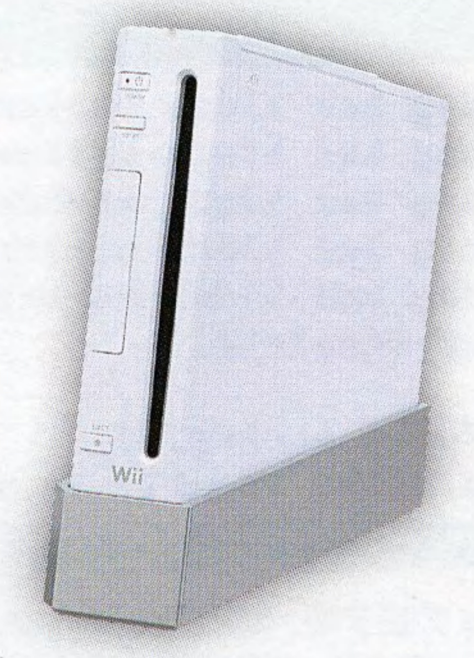


バックアップやレストア中の電源にも注意。写真のマーク表示中はWiiに触らないこと。

ハック後の

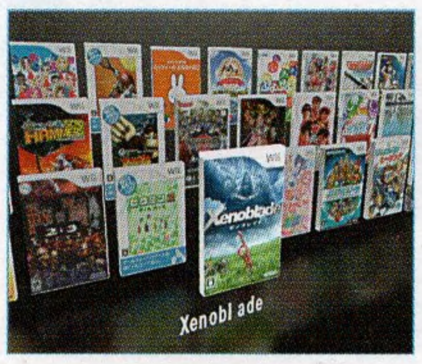
Wiiをとことん楽しもう!!

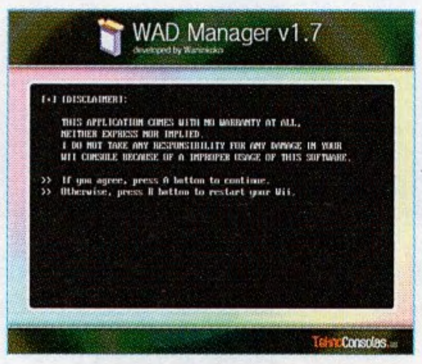
ゲームのバックアップ、コピーゲームの起動、エミュレータの起動、ゲーム改造、フリーゲームのプレイ……。HBCの導入によって、Wiiの楽しみの幅は、これまで以上に大きく広がる。ハック後のWiiを手にしたあとは、本誌で紹介するさまざまなテクニックを活用して、Wiiをとことん楽しもう。

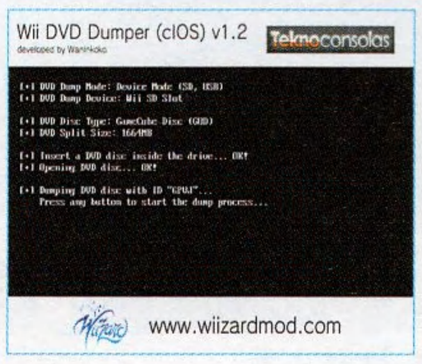


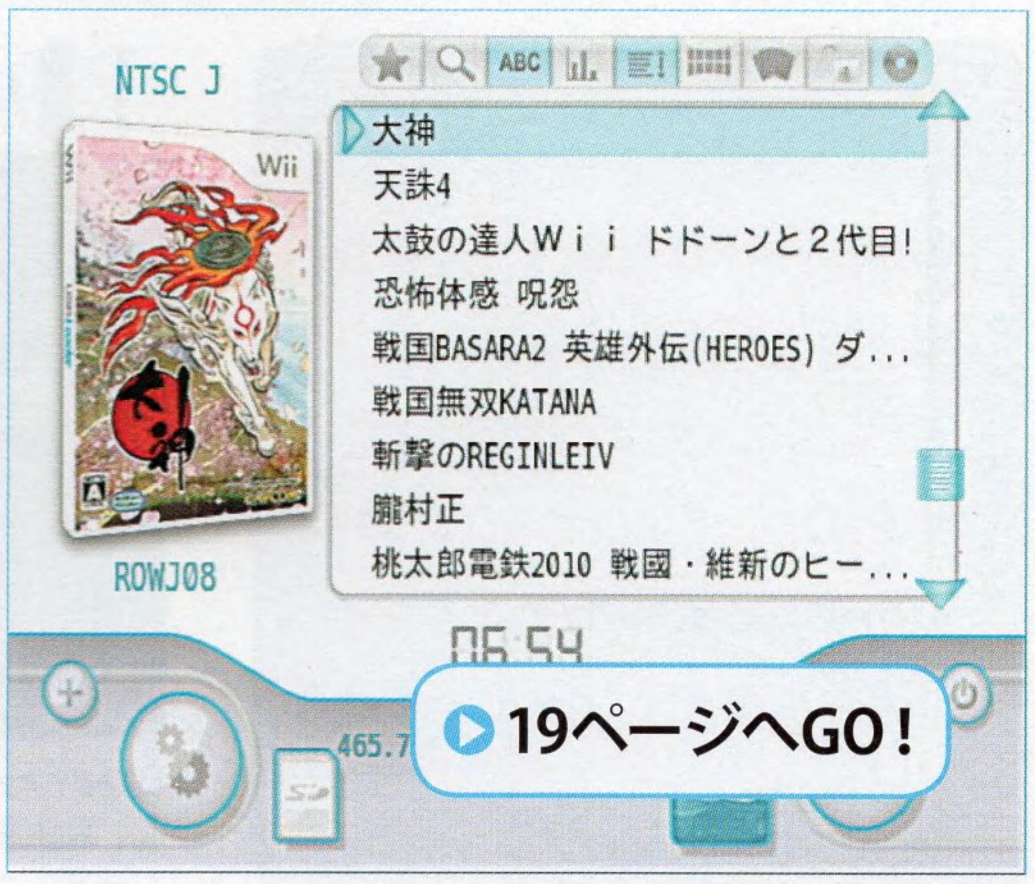
製品ゲームをバックアップ&プレイ!

手持ちのゲームをこれまでよりも快適にプレイしたい人は、コピーゲーム起動テクニックを実践しよう。USB接続の外部ストレージからのゲーム起動は、データの読み込みが速く、ディスク読み込みの騒音もなし。通常よりも格段に、快適にゲームが楽しめるぞ。











エミュレータでレトロゲームを楽しむ!

ゲーム史を彩る名作ゲーム。Wiiではバーチャルコンソールによってレトロゲームの配信を行なっているが、数量的にはまだまだ。ファミコンをはじめとする名ハードのさまざまなゲームを遊びたい場合は、エミュレータの起動に挑戦しよう。Wiiであの名作がよみがえるぞ。







フリーソフトを活用する!

有志作成のフリーソフトを利用すれば、チートコードによるゲームの改造、DVD-Videoの再生、セーブデータのコピー、フリーゲームのプレイなどが楽しめる。通常のWiiでは絶対にできない、+α的な活用をしたい場合は、さまざまなフリーソフトを試してみよう。









Chapter1 : Copy Game
Chapter2 : Emulator
Chapter3 : Free Soft

Chapter1

Copy Game

WiiのIOSを書き換える 20
カスタムIOSを導入する 26
Wii専用のドライブを作る 28
製品ゲームをバックアップする 33
ゲームのコピーディスクを作る 39
多機能なローダーを使う 42
シンプルなローダーを使う 46
グラフィカルなローダーを使う 49
GCのゲームをバックアップ 52
GCのコピーディスクで遊ぶ 56
ショップチャンネルへの接続 60
パソコンでWiiを遊ぶ 62

WiiのIOSを書き換える

Wii　PC　SD　Card reader　Game　media　etc

「IOS」はWiiのOSにあたるプログラム。コピーゲーム起動などの各テクニックは、このIOSを改造版にすることで使用可能になるが、ハック直後の状態のWiiでは導入できない。そこでまず、作業用のIOS作成や既存のIOSの削除といったIOSの書き換え作業を行なう。

NUS Downloader Ver.1.4 beta
作者名●WB3000 (and lukegb)
ファイル名●NUSD_v14Beta.zip
URL●http://code.google.com/p/nusdownloader/downloads/list

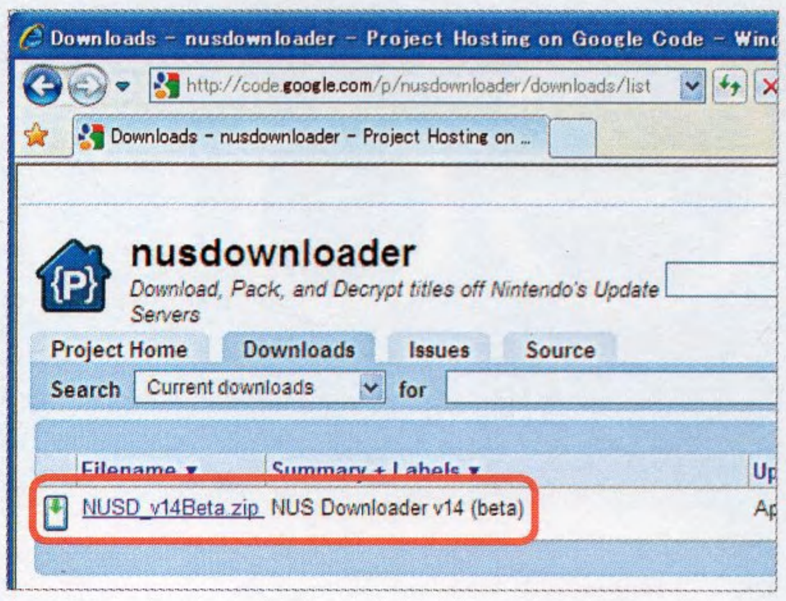
Trucha Bug Restorer Ver.1.12
作者名●WiiPower
ファイル名●TBR1.12.zip
URL●http://www.mediafire.com/?zzizmxhtzzn

AnyTitle Deleter MOD Ver.6
作者名●toma/Red Squirrel
ファイル名●AnyTitleDelterMODv6.rar
URL●http://www.mediafire.com/?kyjzoxcznmh

ツールを用意する

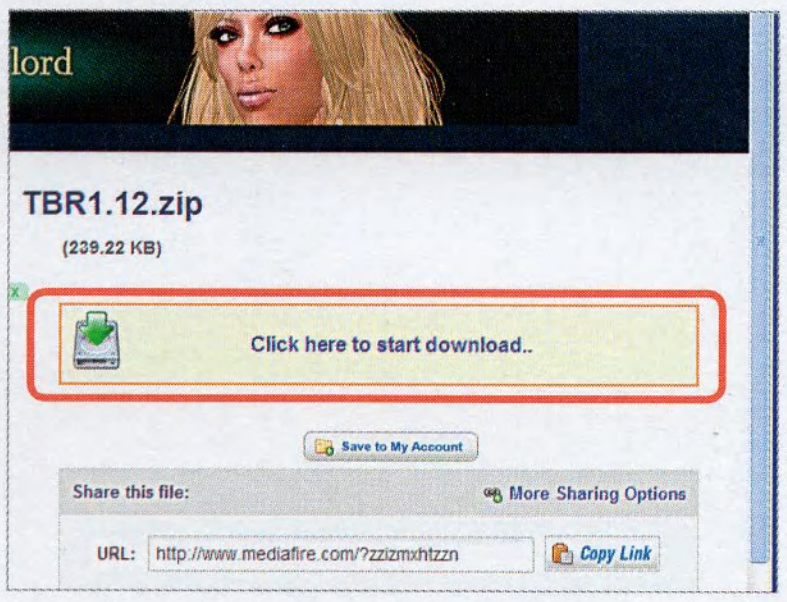
はじめにIOSの書き換えに必要な各種ツールとIOSファイルを入手しよう。入手後はツールをWiiで読み込むためにSDカードへコピーするが、その際のフォルダ構造にはルールがあるので注意すること。

1 PC IOSダウンロードツールを入手する



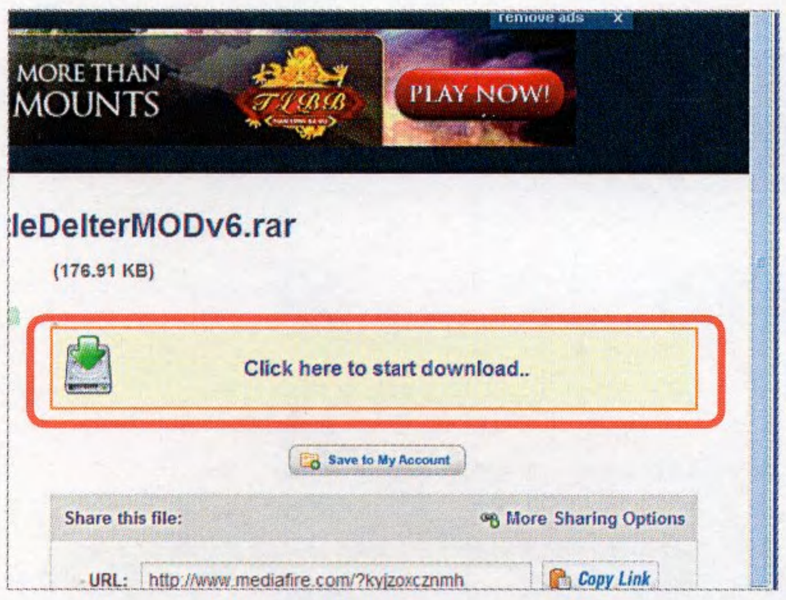
CD-ROM収録のリンクから配布サイトに移動。「NUSD_v14Beta.zip」のリンクをクリックし、「NUS Downloader」をダウンロードする。

2 PC IOS書き換えツールを入手する



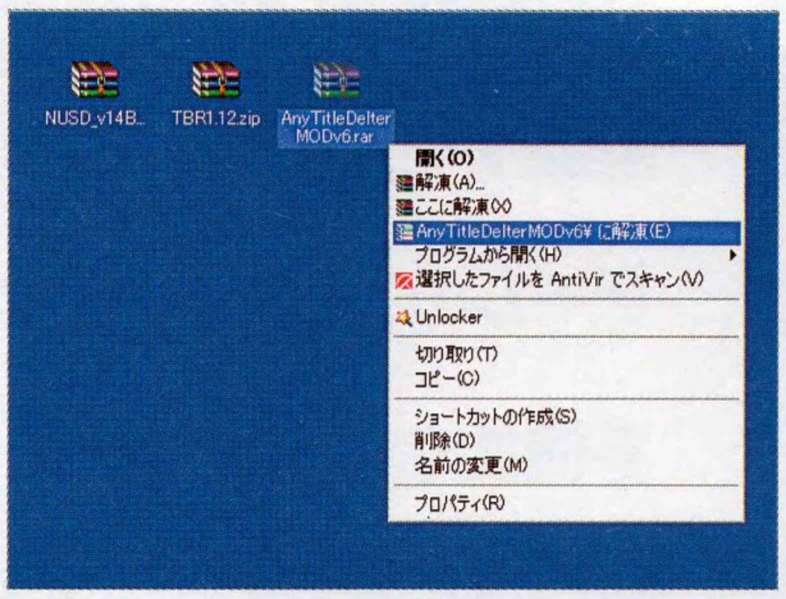
再度、CD-ROM収録のリンクから配布サイトに移動。「Click here to start download..」をクリックして「Trucha Bug Restorer」を入手。

3 PC IOS削除ツールを入手する



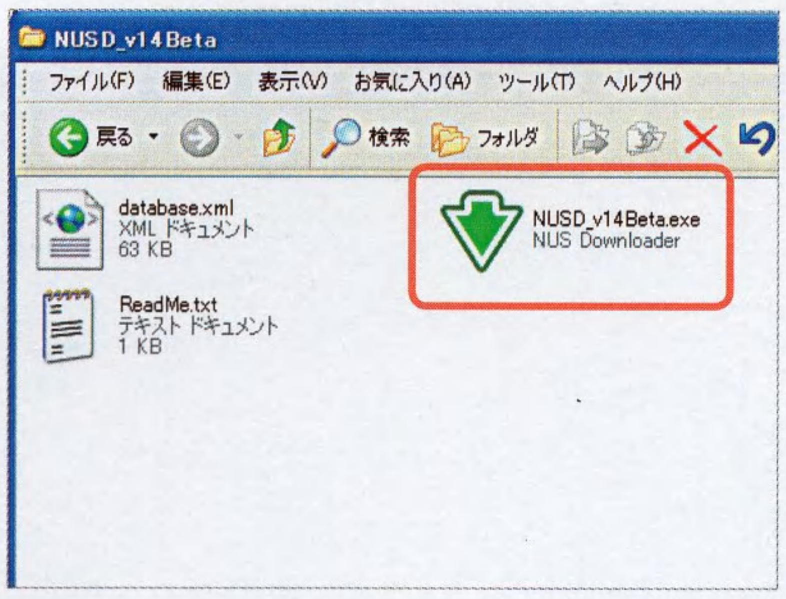
同様にCD-ROM収録のリンクから配布サイトに移動。「Click here to start download..」をクリックして「AnyTitle Deleter MOD」を入手。

4 PC 各ツールを解凍しておく



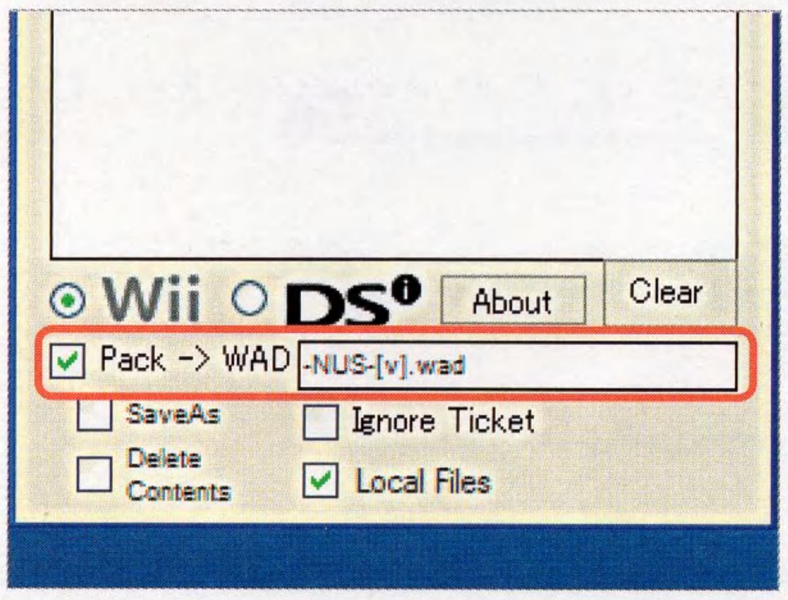
ダウンロードしたファイルは圧縮されているので、右クリックメニューから「【ファイル名】に解凍」を選択し、すべて解凍する。

5 PC IOSダウンロードツールを起動する



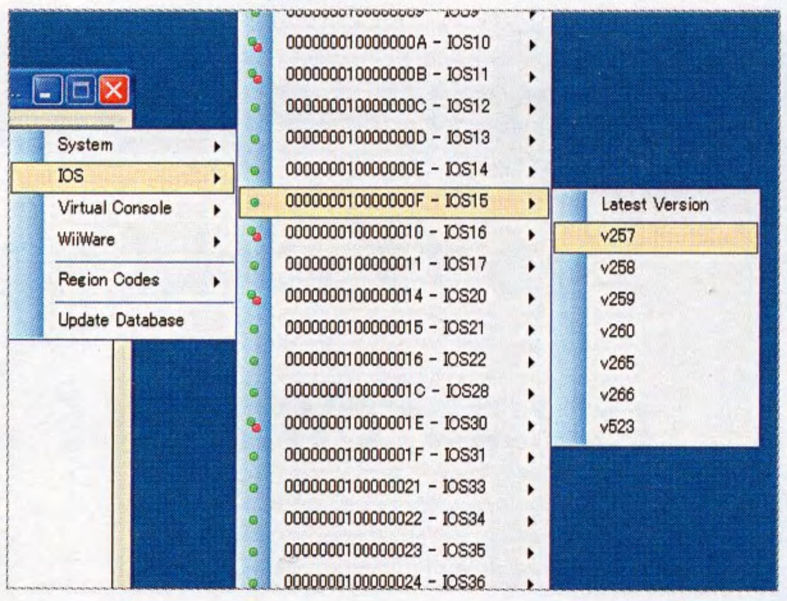
解凍したIOSダウンロードツールのフォルダを開く。なかにある「NUSD_v14Beta.exe」をダブルクリックしてツールを起動。

6 PC 入手形式を指定する



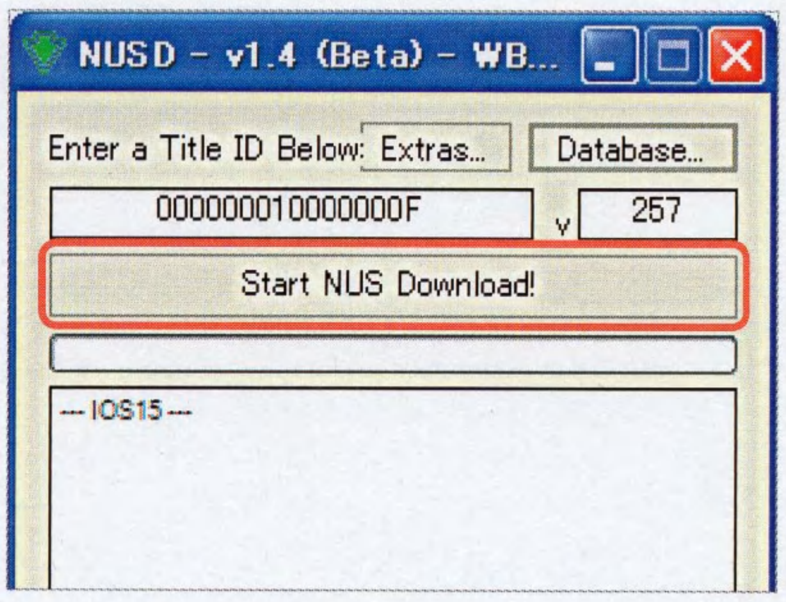
ツール下部にある「Pack -> WAD」のチェックボックスをオンにする。これで、IOSファイルがWAD形式でダウンロードできる。

7 PC 「IOS15-64-v257.wad」を指定する



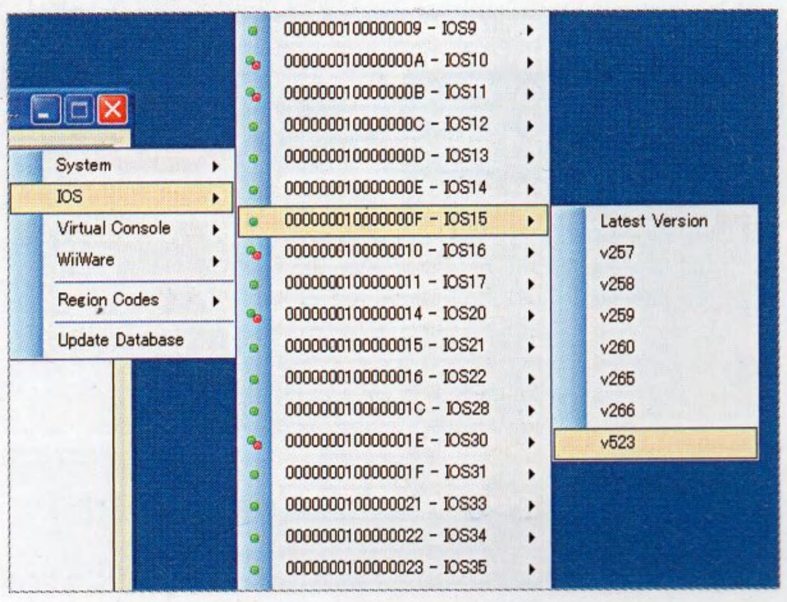
ツール右上にある「Databese」をクリックし、「IOS」→「～IOS15」→「v257」を選択。これで「IOS15-64-v257.wad」が指定される。

8 PC ダウンロードする



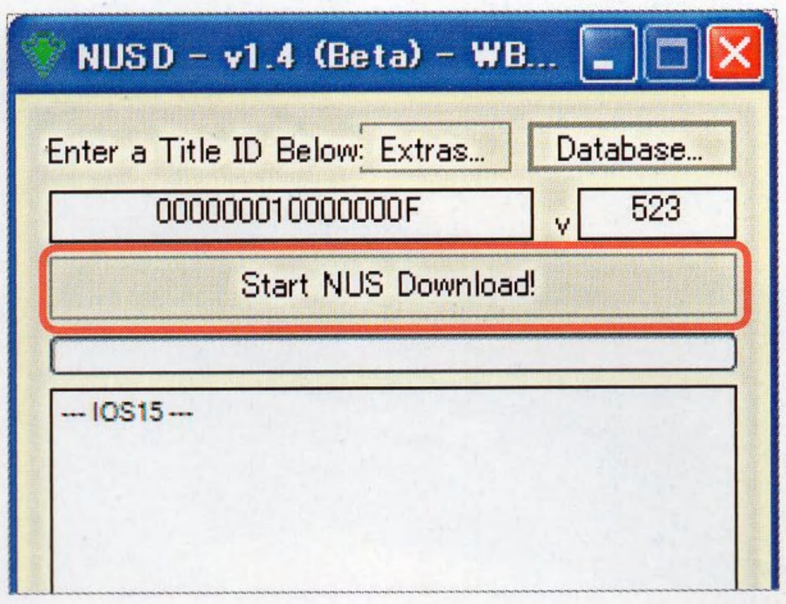
ツール上部にある「Start NUS Download!」ボタンをクリック。「IOS15-64-v257.wad」をダウンロードする。

9 PC 「IOS15-64-v523.wad」を指定する



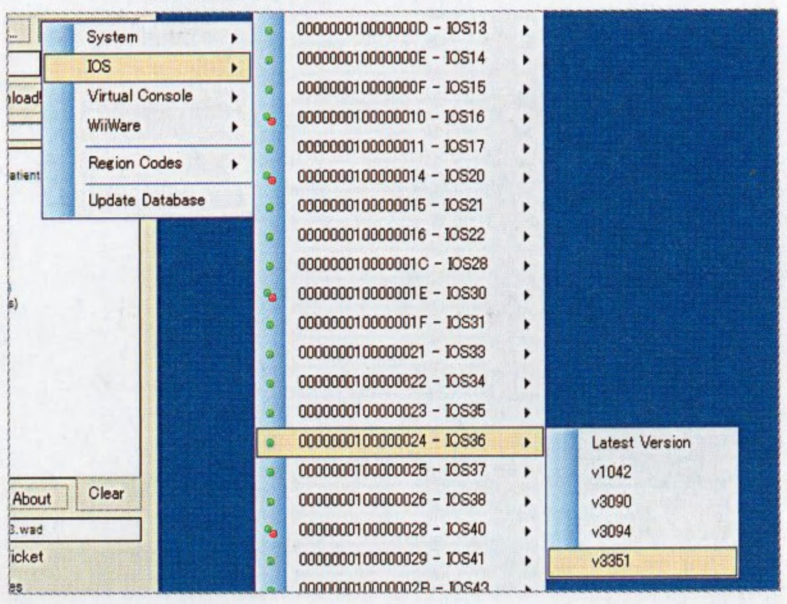
次に「IOS15-64-v523.wad」を指定する。手順7と同様に「Databese」ボタンをクリックし、「IOS」→「～IOS15」→「v523」を選択。

10 PC ダウンロードする



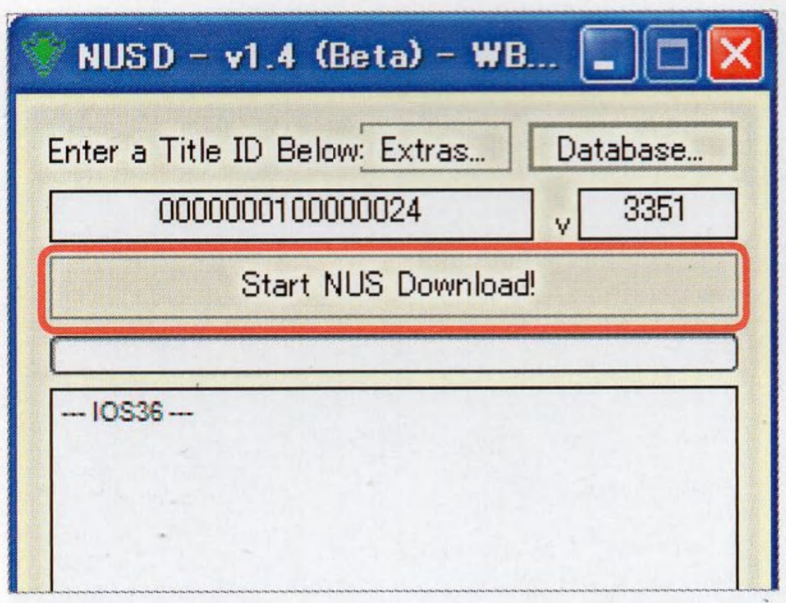
「Start NUS Download!」ボタンをクリックして「IOS15-64-v523.wad」をダウンロード。

11 PC 「IOS36-64-v3351.wad」を指定する



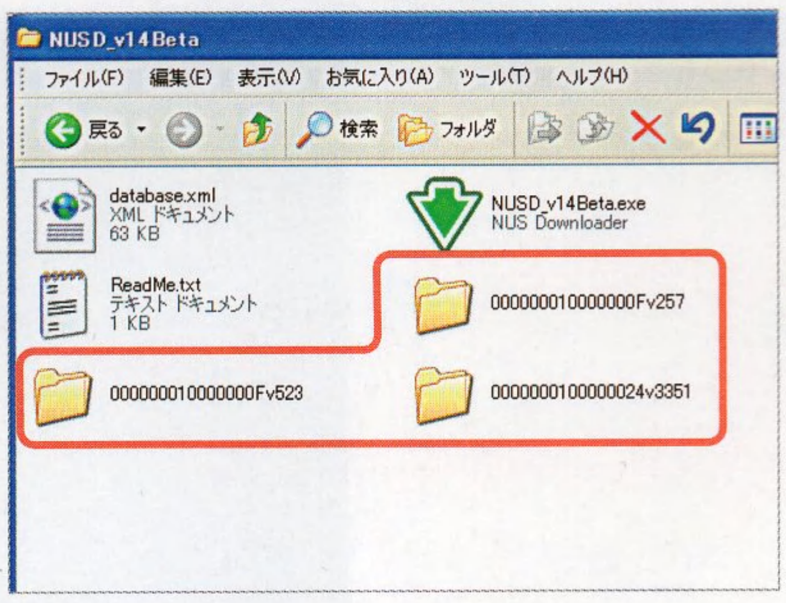
今度は「IOS36-64-v3351.wad」を指定する。「Databese」ボタンをクリックし、「IOS」→「～IOS36」→「v3351」を選択する。

12 PC ダウンロードする



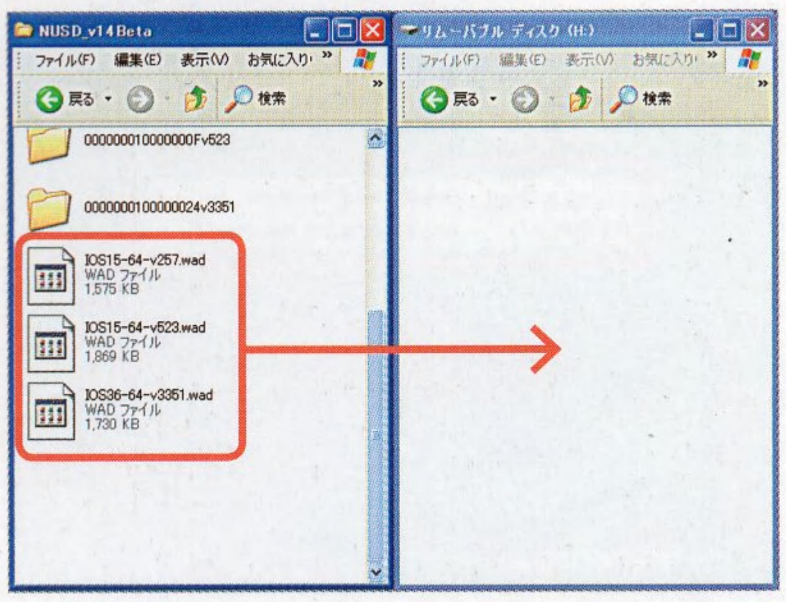
「Start NUS Download!」ボタンをクリックして「IOS36-64-v3351.wad」をダウンロード。

13 PC ダウンロードしたファイルを取り出す



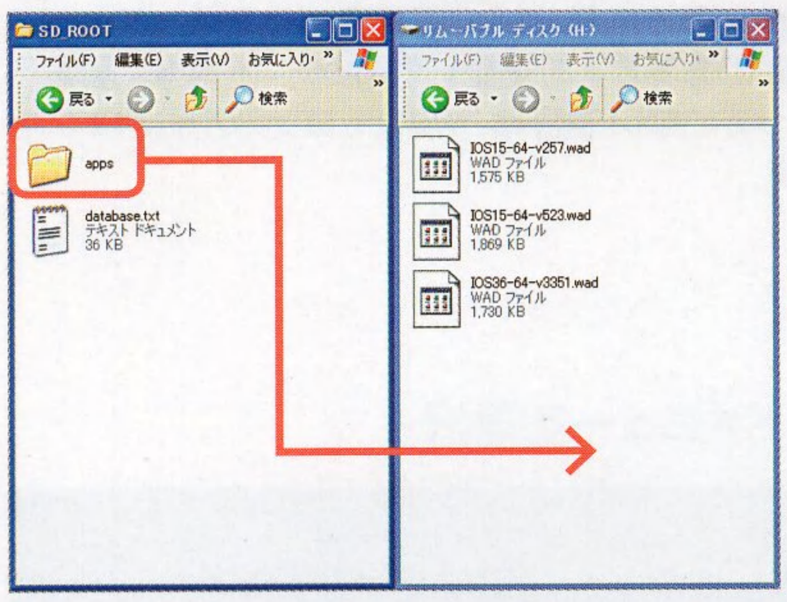
NUS Downloaderのフォルダ内に新規フォルダが保存されているので、内部からダウンロードした各IOSのWADファイルを取り出す。

14 PC 3つのIOSファイルをSDカードにコピー



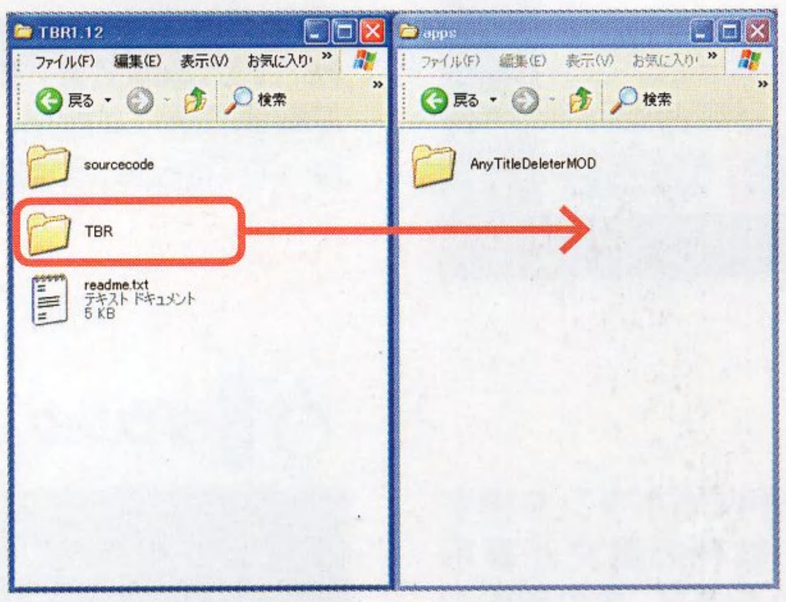
パソコンにSDカードを挿入し、ルート（一番上の階層）に入手したIOSのWADファイルをすべてコピーする。

15 PC IOS削除ツールをSDカードにコピー



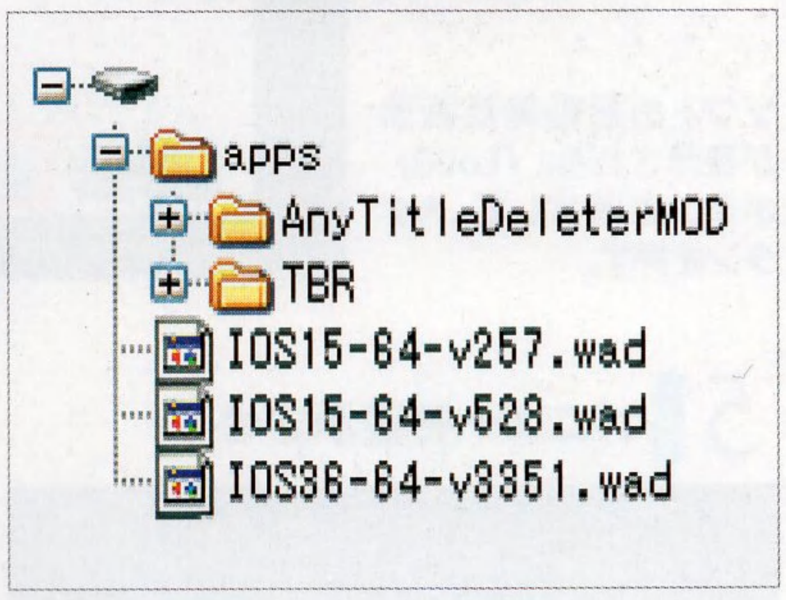
解凍した「AnyTitleDelterMODv6」のフォルダ内にある「apps」フォルダを、SDカードのルートにまるごとコピーする。

16 PC IOS書き換えツールをSDカードにコピー



解凍した「TBR1.12」フォルダ内の「TBR」フォルダを、SDカードにコピーした「apps」フォルダの中にコピーする。

17 PC SDカードのフォルダ構造を確認

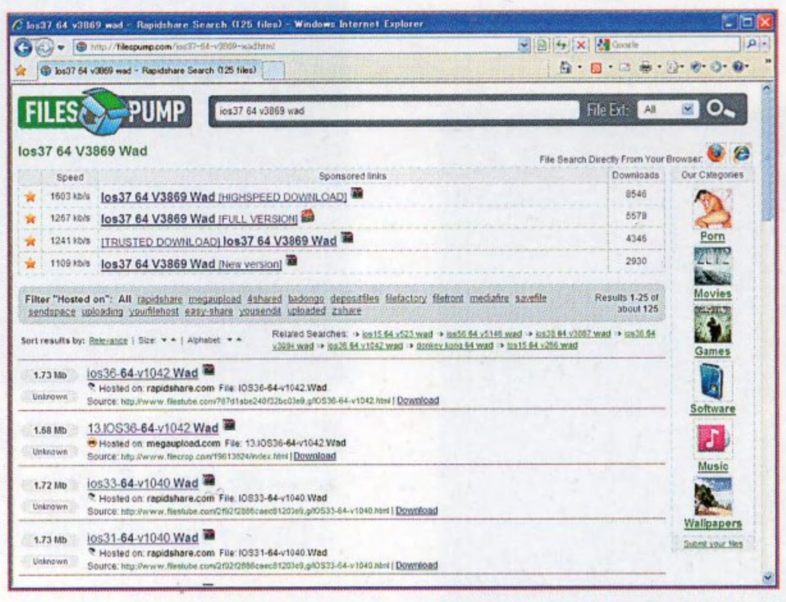


SDカードに保存された各種ツールが、上の写真と同じフォルダ構造になっていればOKだ。

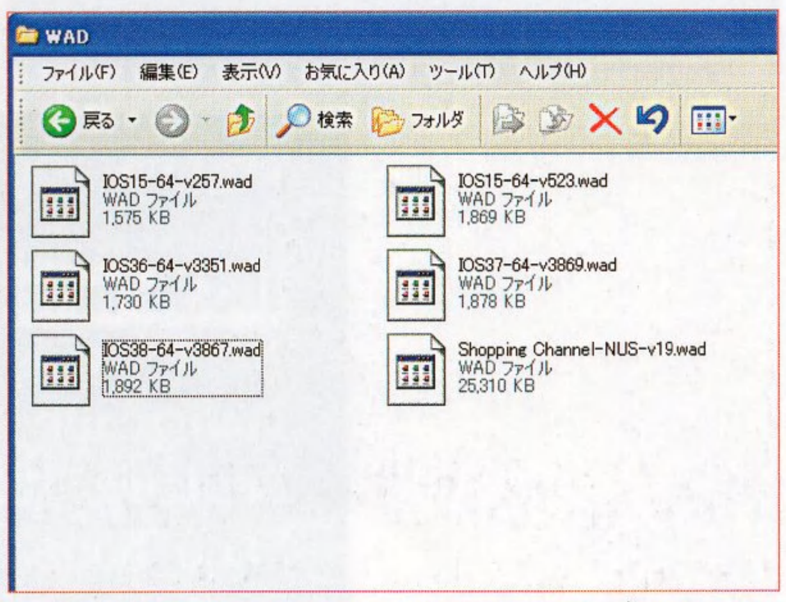
IOSファイルの取り扱いに注意しよう

Attention!

NUS Downloader でダウンロードできる各種のIOSファイルは、任天堂が配布している著作物だ。そのため、不特定多数の第三者へ譲渡したり、インターネット上にアップロードしたりするのは違法となる。入手後は厳重に管理する、使用後に削除するなど、取り扱いは慎重に行なおう。



ツールと一緒にIOSファイルを2次配布するサイトも。これらからの入手は絶対しないこと。

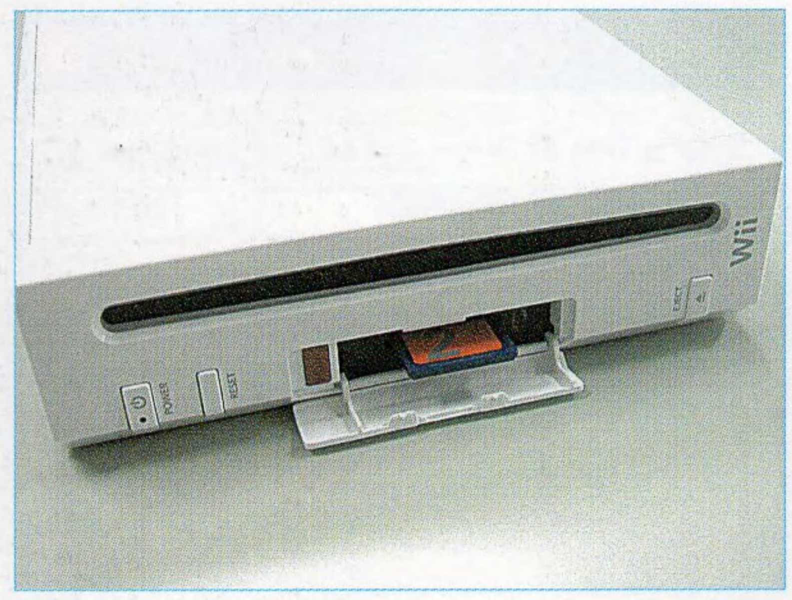


入手不可となったときのために、ファイルを保存しておくのもよい。ただし流出には注意。

IOSを書き換える

書き換えに必要なツールがSDカードに用意できたら、実際にWiiでIOSの書き換えを実行する。各ツールは表記がすべて英語だが、操作そのものは単純なので、間違えないようにじっくり進めていこう。

1 WiiにSDカードをセット



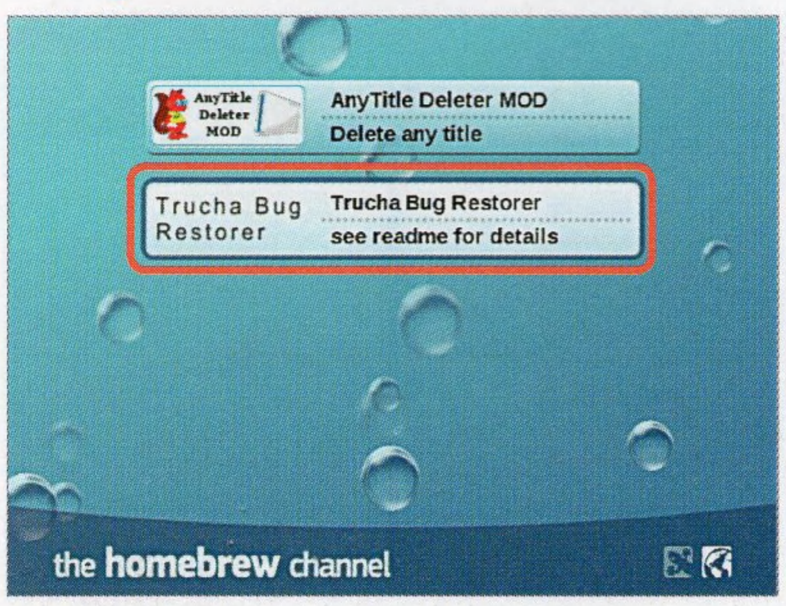
あらかじめ準備したツール入りのSDカードをWii前面のSDカードスロットにセットする。

2 HBCを起動する



WiiメニューからHBCを起動する。ちなみにHBCの起動と手順1のSDカードのセットは、順番が逆になっても問題ない。

3 IOS書き換えツールを起動する

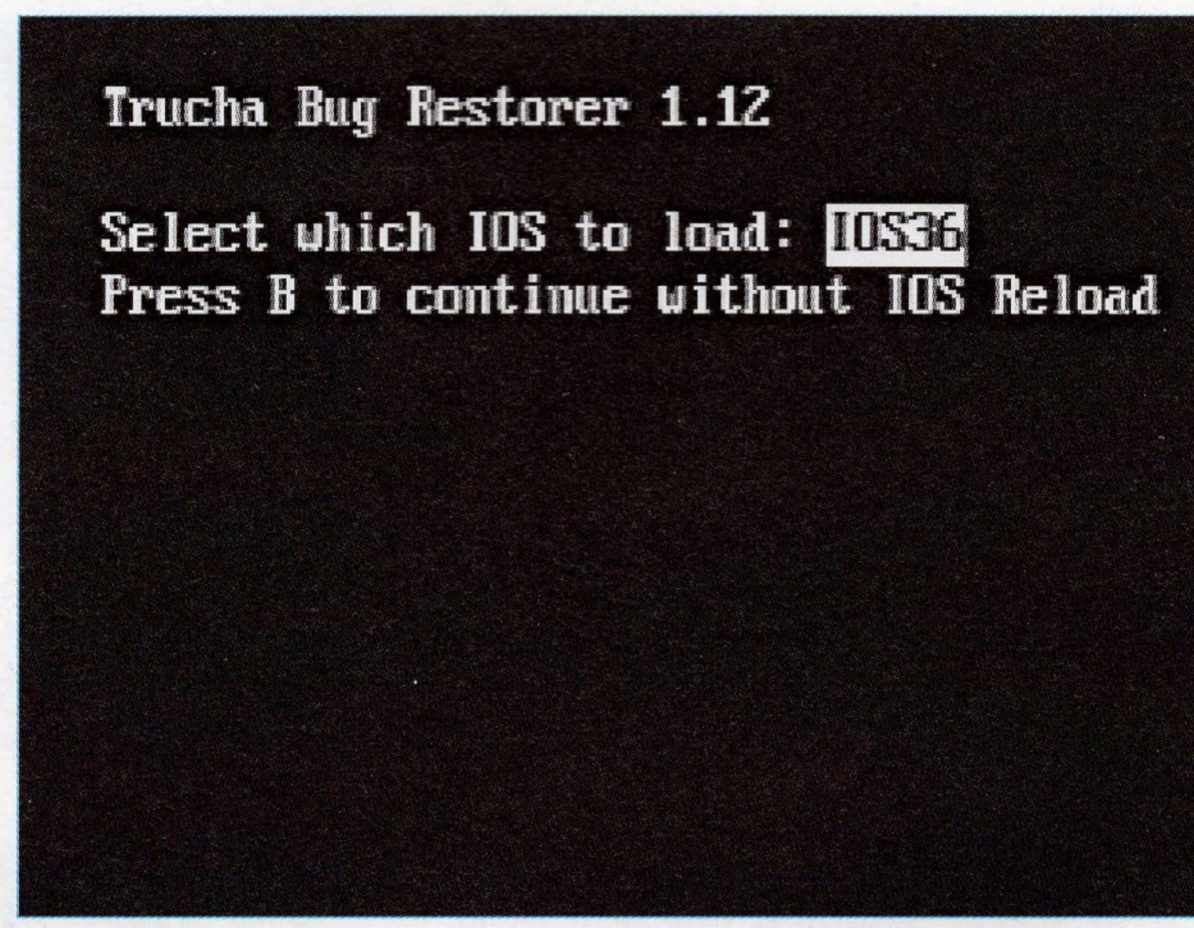


メニュー画面で「Trucha Bug Restorer」を選び、Aボタンで決定する。



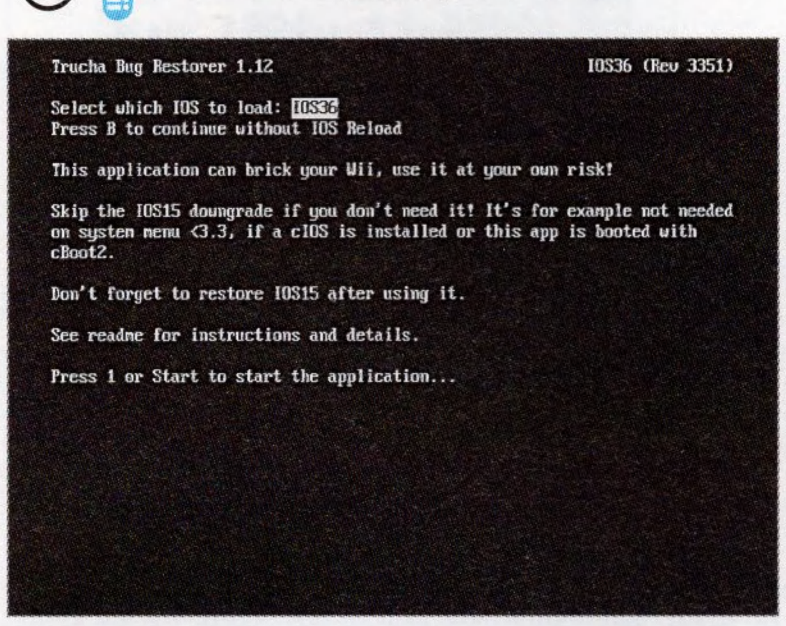
ソフトの起動確認画面が表示される。「Load」ボタンを選択して、Aボタンを押す。

4 IOSを選択する

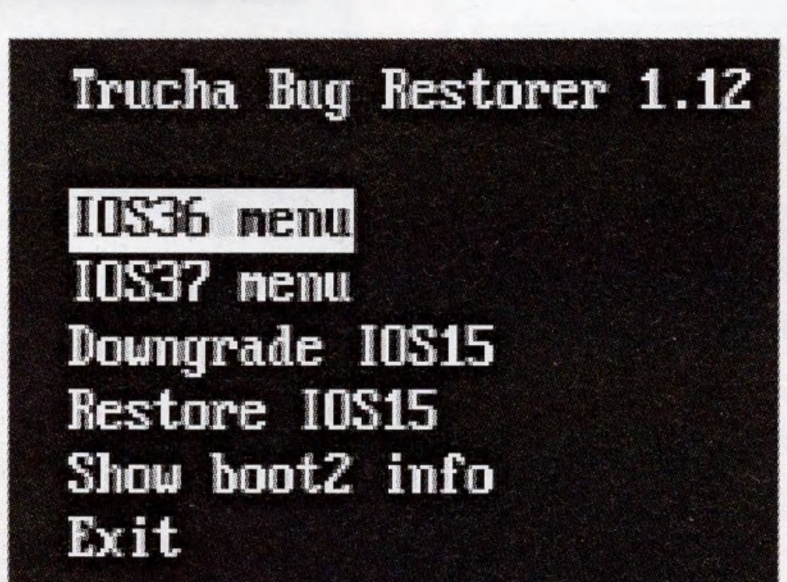


「Trucha Bug Restorer」が起動すると、IOSの選択画面になる。画面の反転している部分が「IOS36」であることを確認してAボタンを押す。なお、反転表示が「IOS36」となっていない場合は、Wiiリモコンの左右ボタンを使って「IOS36」を選択する。

5 メニューを表示させる

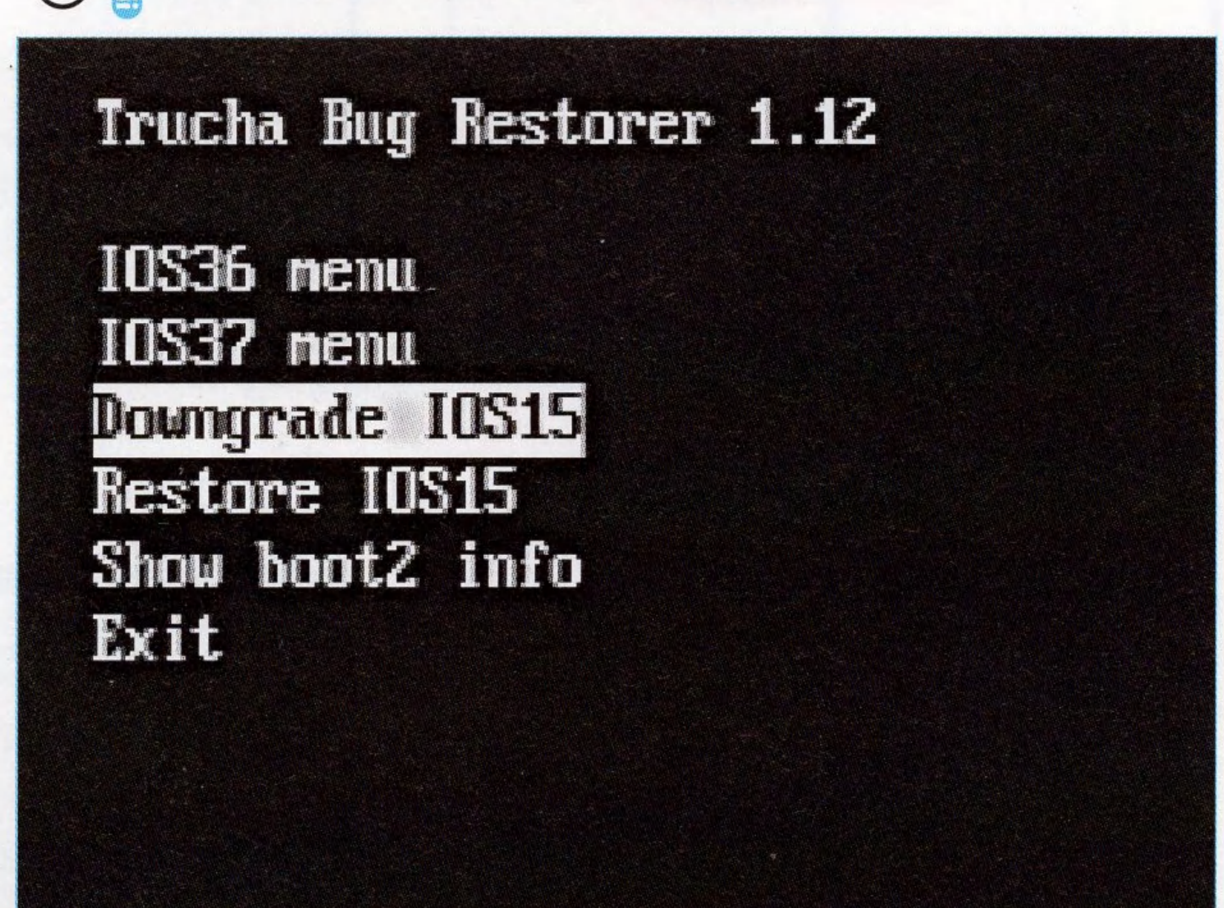


手順4でAボタンを押すと、数行の英文が表示されたあと、右の画面で停止する。ここで①ボタンを押す。



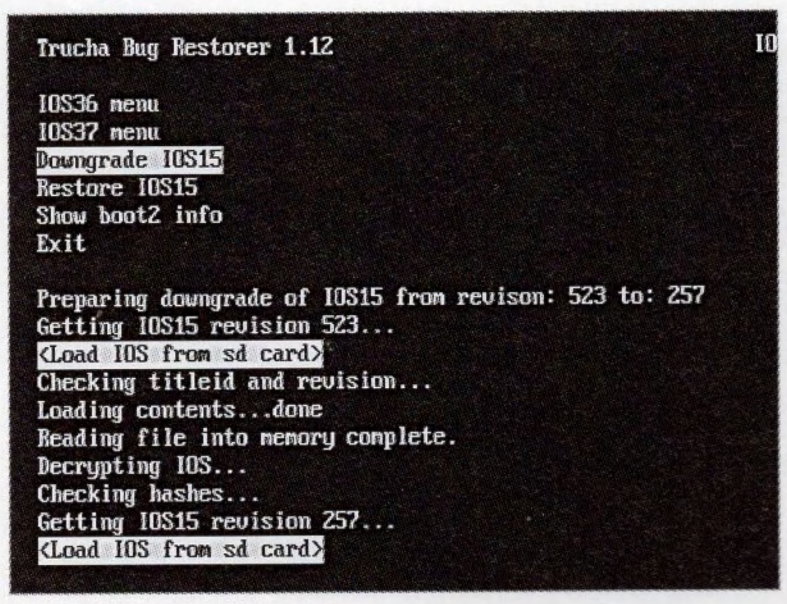
すると、写真のようなメニュー画面になる。

6 ダウングレードメニューを選択

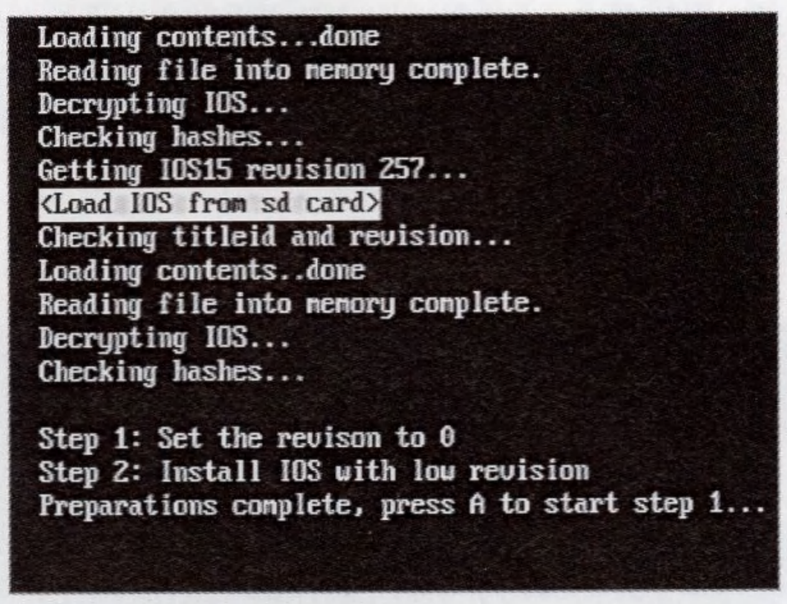


最初に作業用の新規IOS作成する。そのためにはまず、既存のIOS15を一時的にダウングレードさせる必要がある。そこで、メニューから「Downgrade IOS15」を選択し、Aボタンを押す。

7 ダウングレードを実行する

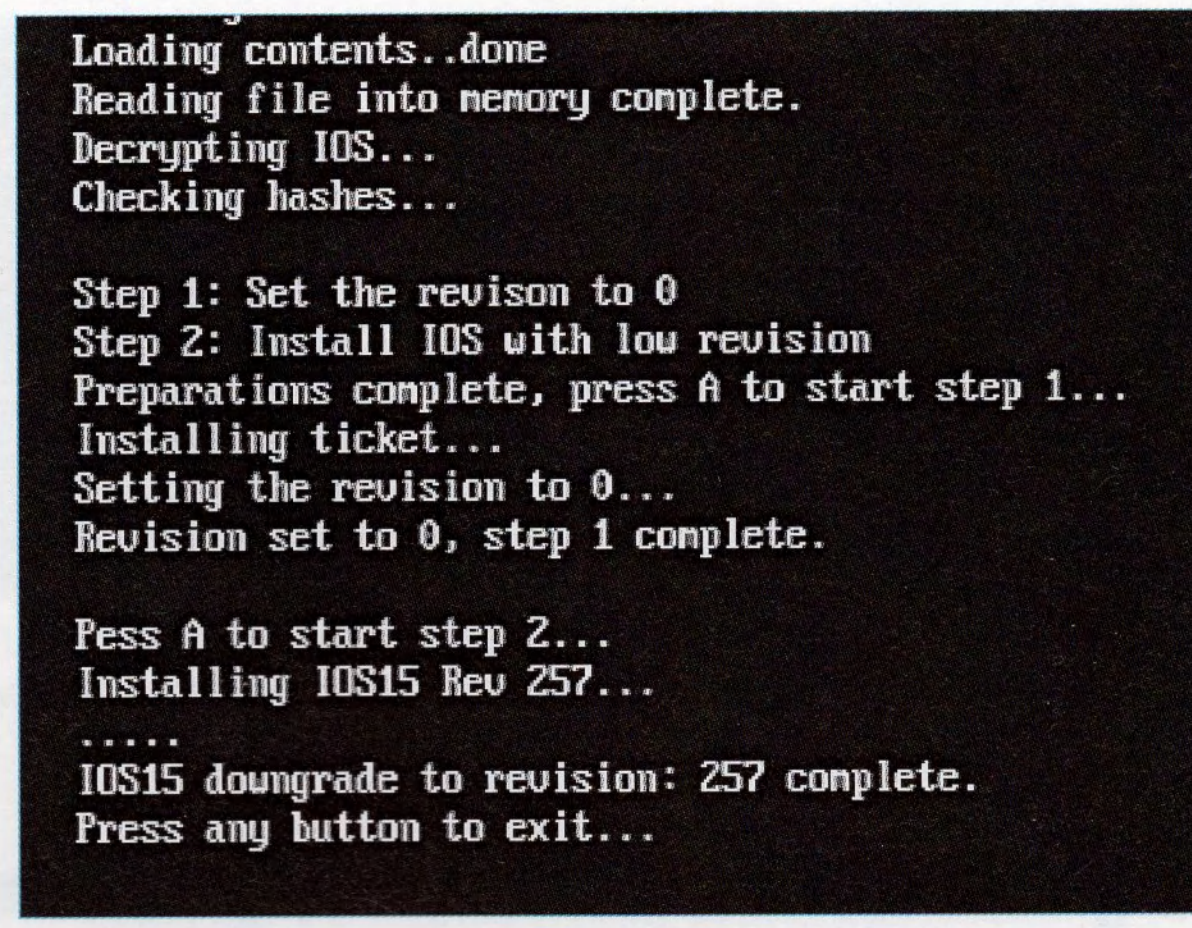


ダウングレード実行後、IOSファイルの読み込み先選択画面で停止（合計2回）する。反転している文字が「Load IOS from sd card」の状態でAボタンを押す。



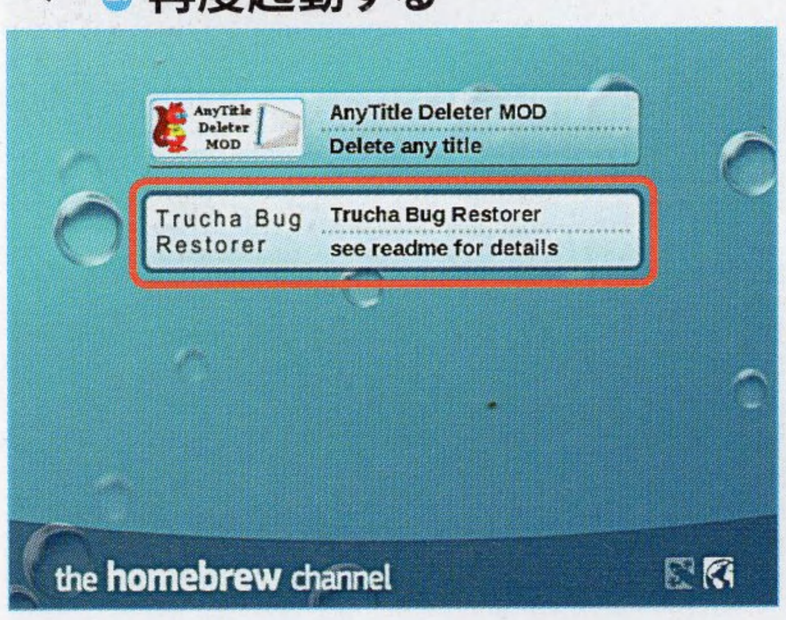
写真の画面で停止したら、Aボタンを押してダウングレードを実行する。ステップ1が終了すると画面が停止するので、Aボタンを押してステップ2を進める。

8 ダウングレードを終える



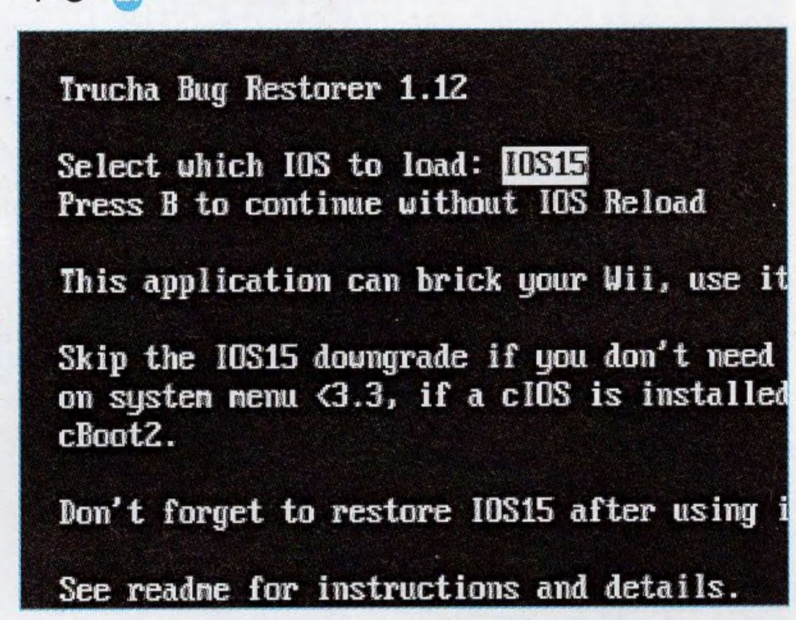
写真の画面で停止したらダウングレード作業は完了。いずれかのボタンを押すと、HBCのメニュー画面に戻る。

9 IOS書き換えツールを再度起動する



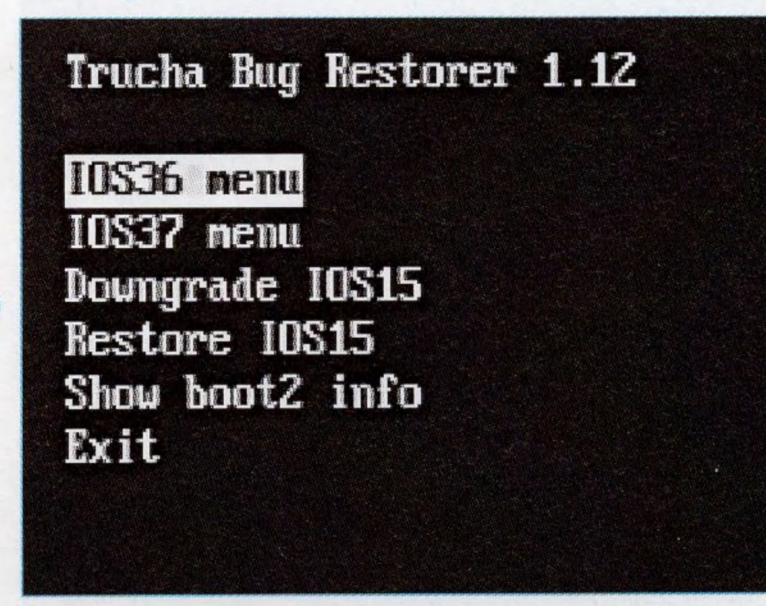
メニューから「Trucha Bug Restorer」を選択して、再度起動する。

10 IOSを選択する



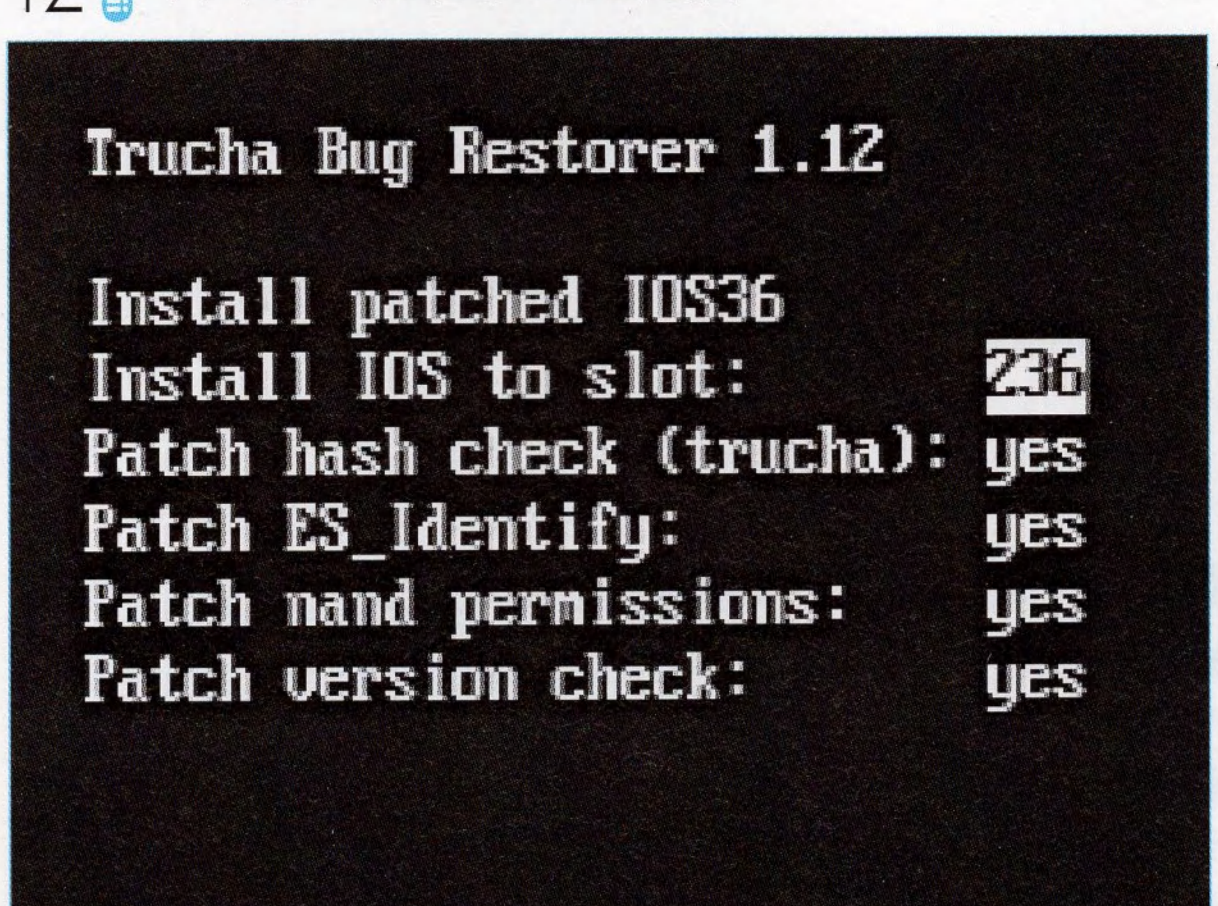
IOSの選択画面が表示されたら、十字ボタンで「IOS15」に変更する。選択するIOSが手順4とは異なるので注意しよう。

11 IOS36メニューを選択



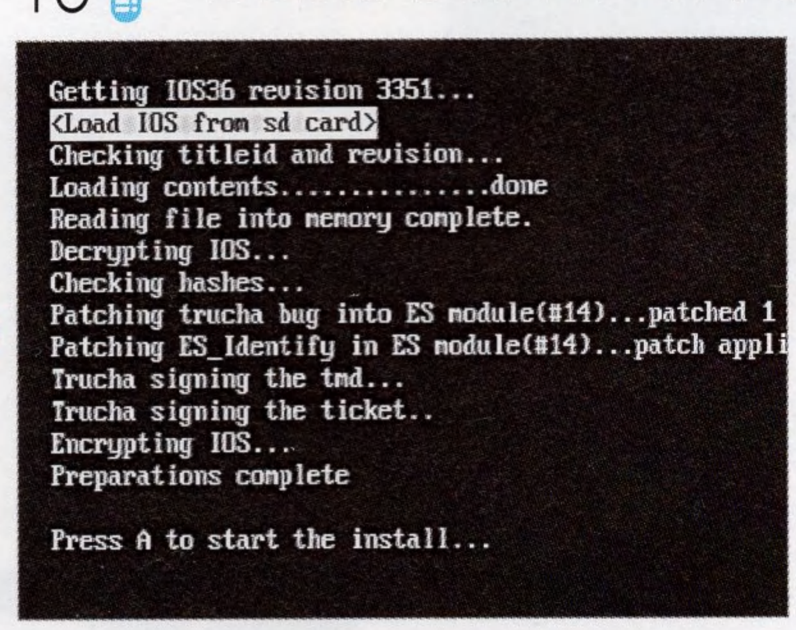
メニュー画面で「IOS36 menu」を選択する。

12 インストールするIOSを選択

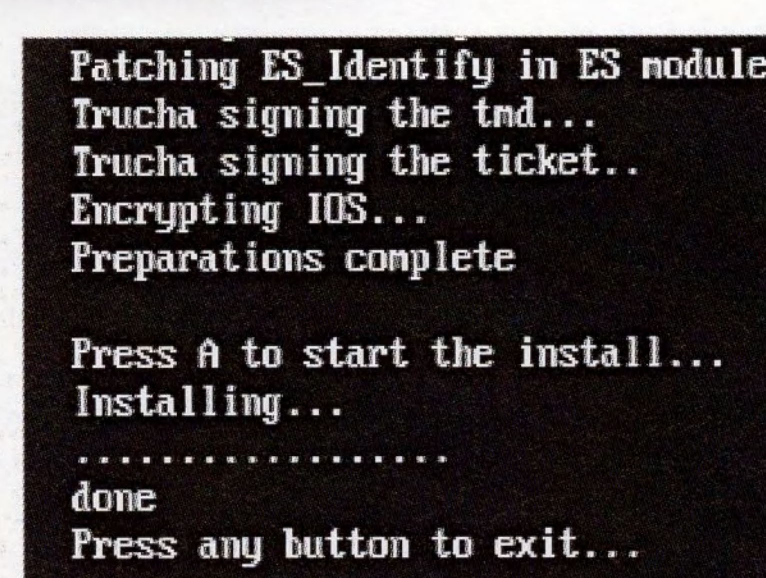


写真の画面に移動したら、「Install IOS to Slot:」を「236」に、その下の4つの項目をすべて「Yes」に設定する。設定を終えたあと、「Install patched IOS36」を選択し、Aボタンを押す。

13 「IOS236」をインストールする



手順12でAボタンを押すと、IOSファイルの読み込み先選択がある。手順7と同様に「Load IOS from sd card」を選択する。IOSの読み込み終了後に画面が停止するので、Aボタンを押す。これで作業用IOSである「IOS236」のインストールが開始される。



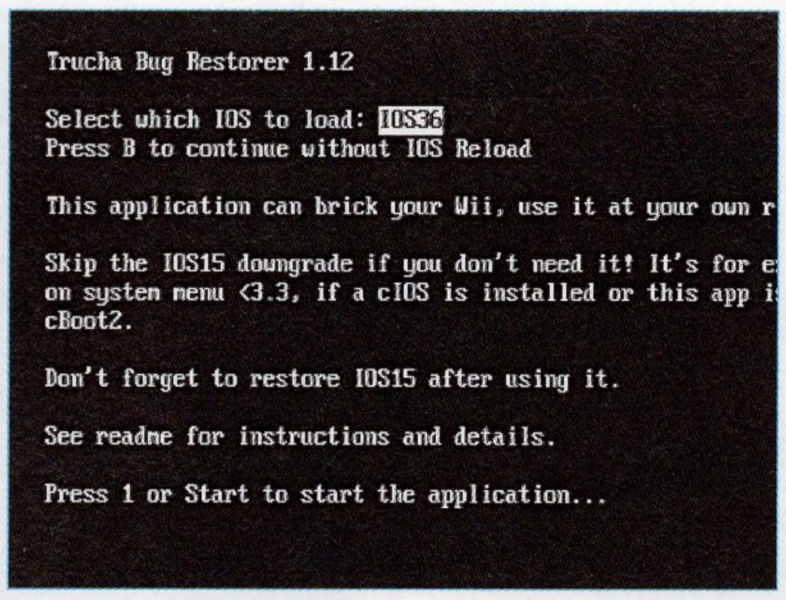
「done」の文字が表示されると、インストールは完了。いずれかのボタンを押して、ツールを終了させる。

14 Wii IOS書き換えツールを再度起動



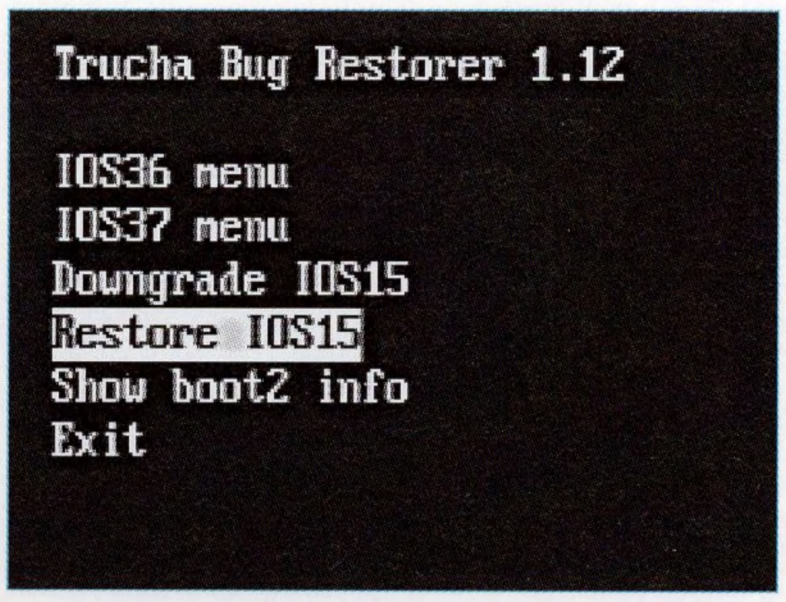
HBCに戻るので、メニューから「Trucha Bug Restorer」を選択して、再度起動する。

15 Wii IOSを選択する



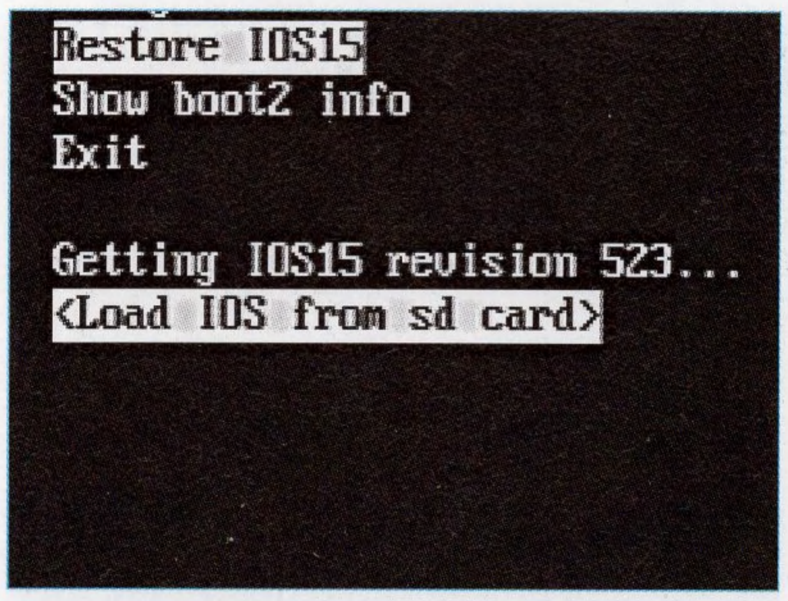
IOSの選択画面では「IOS36」選択する。Aボタンで IOSを決定後、①ボタンを押してメニュー画面を表示させる。

16 Wii リストアメニューを選択



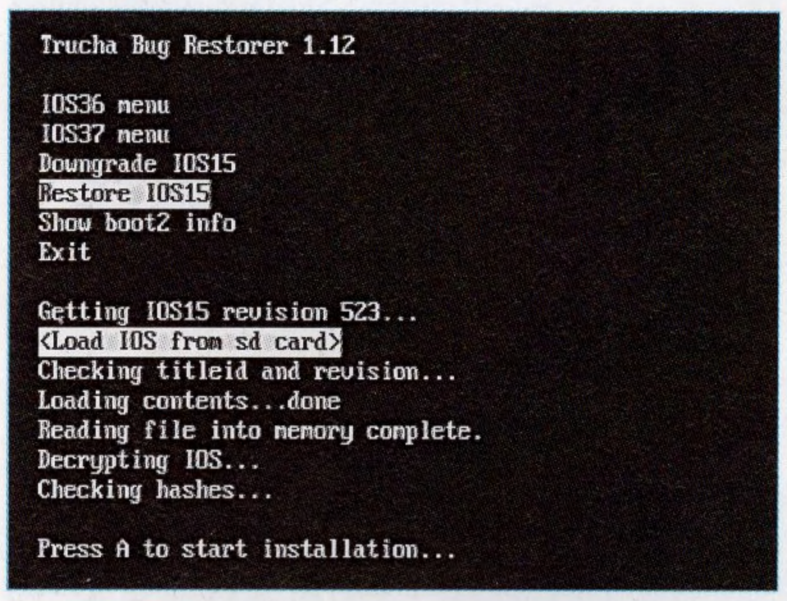
IOS236のインストールが完了したので、ダウングレードしたIOS15をリストアする。メニューで「Restore IOS15」を選ぶ。

17 Wii ファイルのロード先を選択



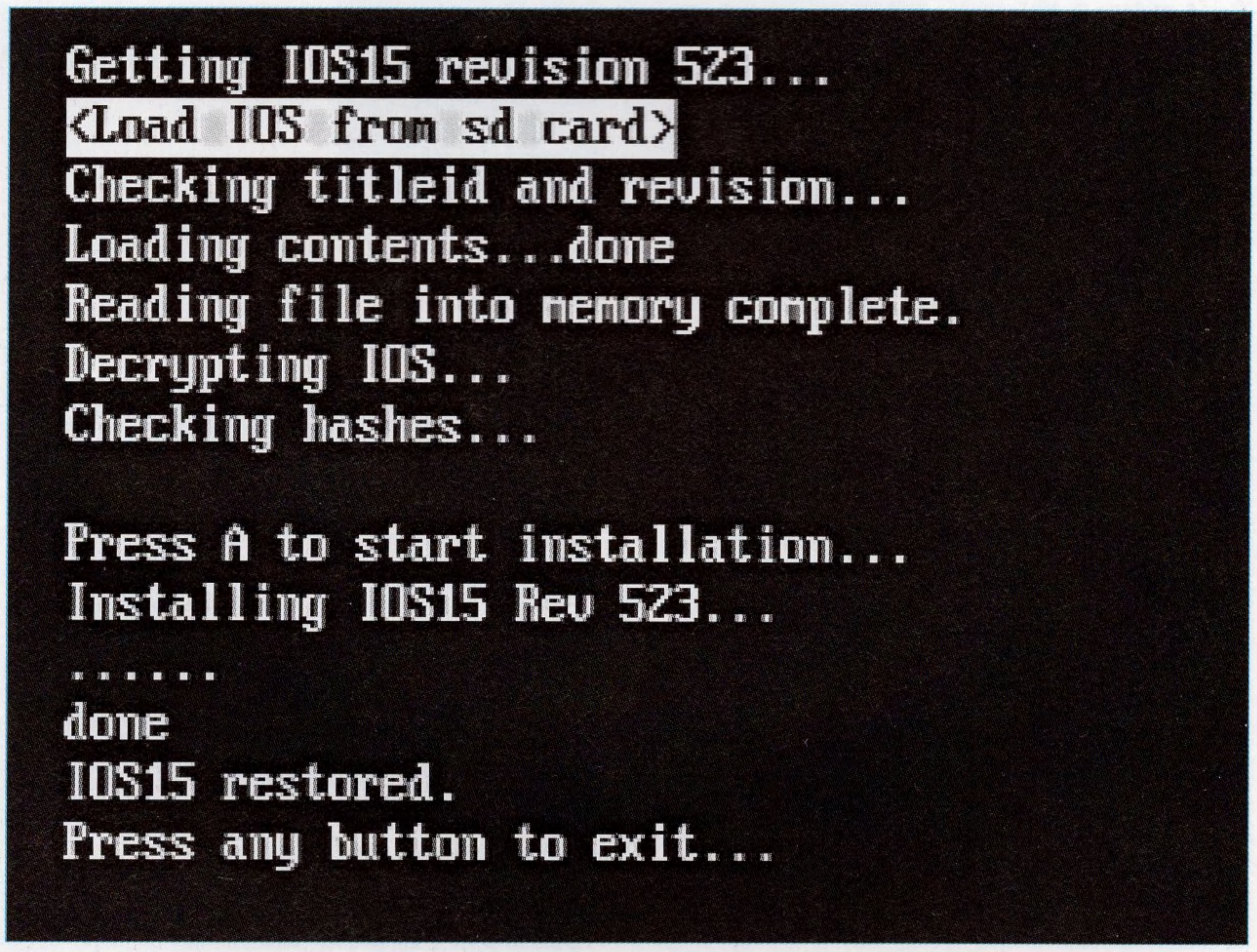
IOSファイルの読み込み先選択で画面が停止するので、「Load IOS from sd card」を選択。Aボタンを押して、先に進める。

18 Wii リストアを開始する



「Press A to start installation...」と表示されたら準備完了。Aボタンを押してリストア開始。

19 Wii リストア完了

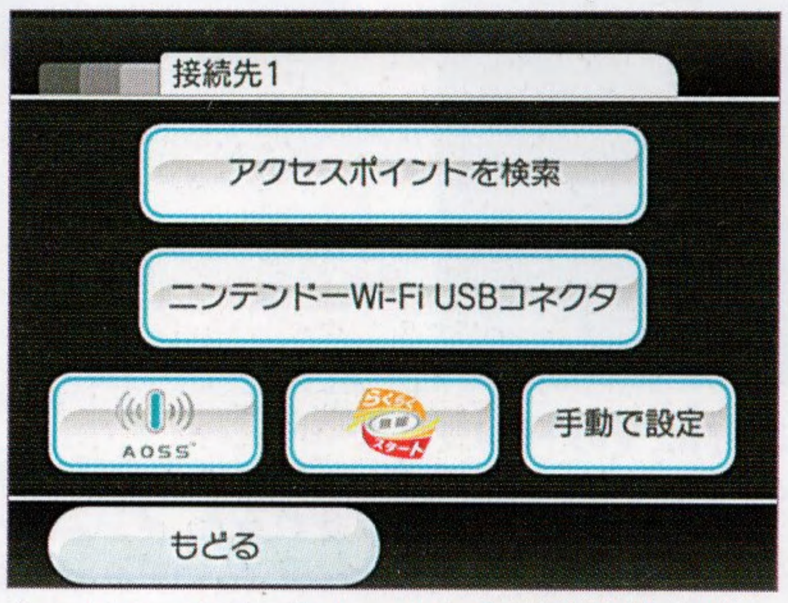


画面上に「IOS15 restored.」という表示が出れば、IOS15のリストアは完了。いずれかのボタンを押して「Trucha Bug Restorer」を終了させる。

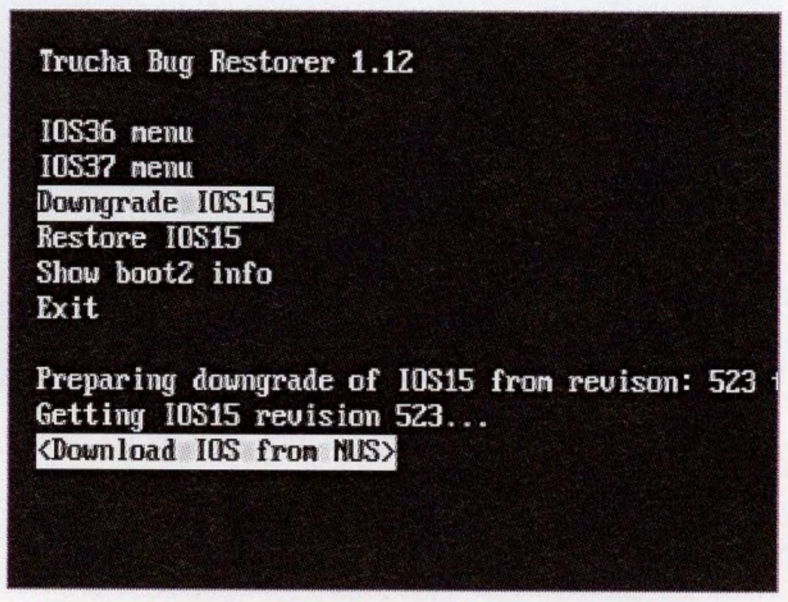
ネットワークインストールもできる

Point

本誌のIOSの書き換え手順では、IOS15のダウングレードやリストア、IOS236の作成で必要なIOSファイルを「NUS Downloader」で入手している。ところがこの作業、Wiiがインターネット接続できる状態なら省くことが可能だ。作業を簡略化したいならば、ネットワークインストールを利用してみよう。



ネットワークインストールを利用する場合は、作業前にWiiのネット接続設定を済ませよう。



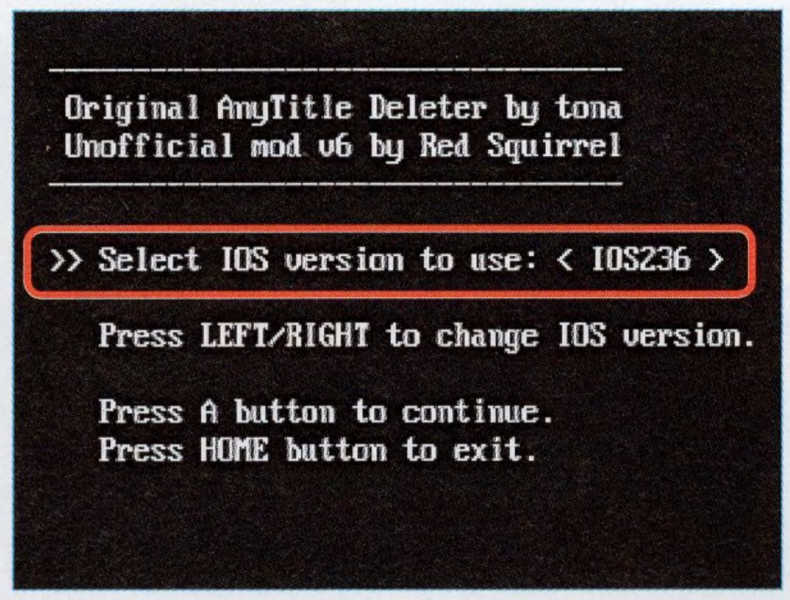
ネット利用する際は、読み込み先設定で「Download IOS from NUS」を選択する。

20 IOS削除ツールを起動する



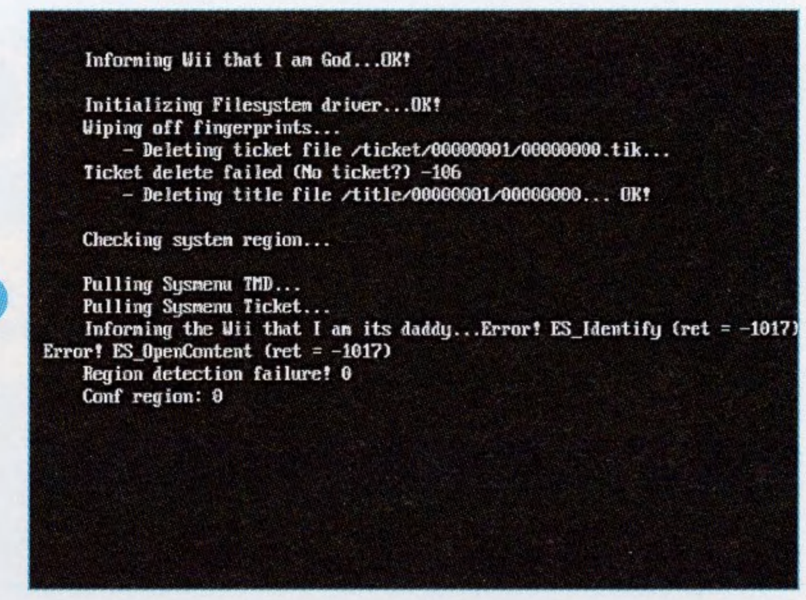
HBCに戻ったら、今度はメニューで「AnyTitle Deleter MOD」を選択して起動する。

21 「IOS236」を選択する



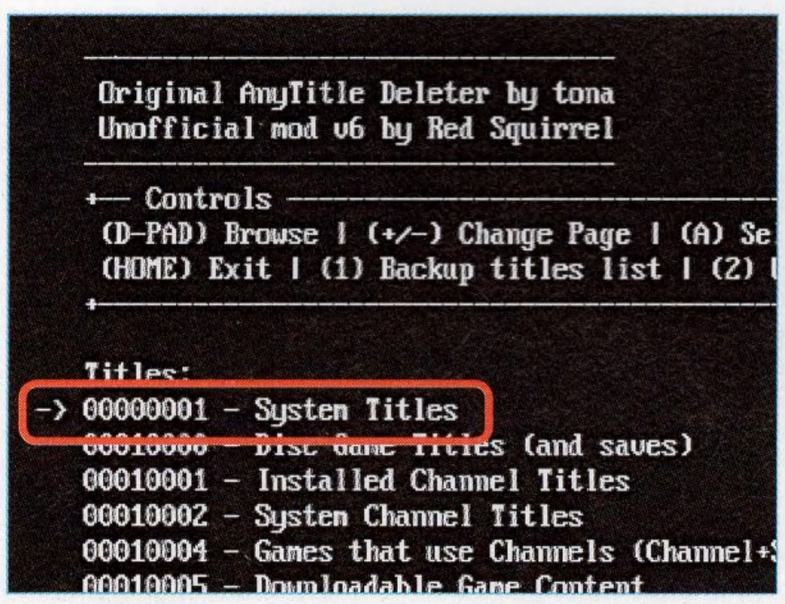
はじめにIOSの選択画面が表示される。十字ボタンで「IOS236」に設定する。

22 エラー画面をスキップする



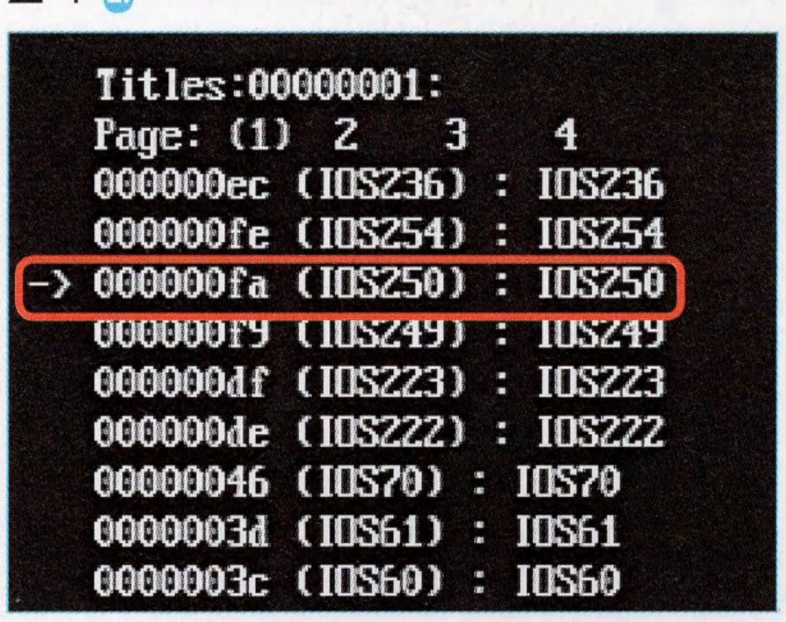
エラーメッセージが表示されるが、Aボタンを押してスキップしていく。ちなみにAボタンは合計で3回押すことになる。

23 「System Titles」を選択する



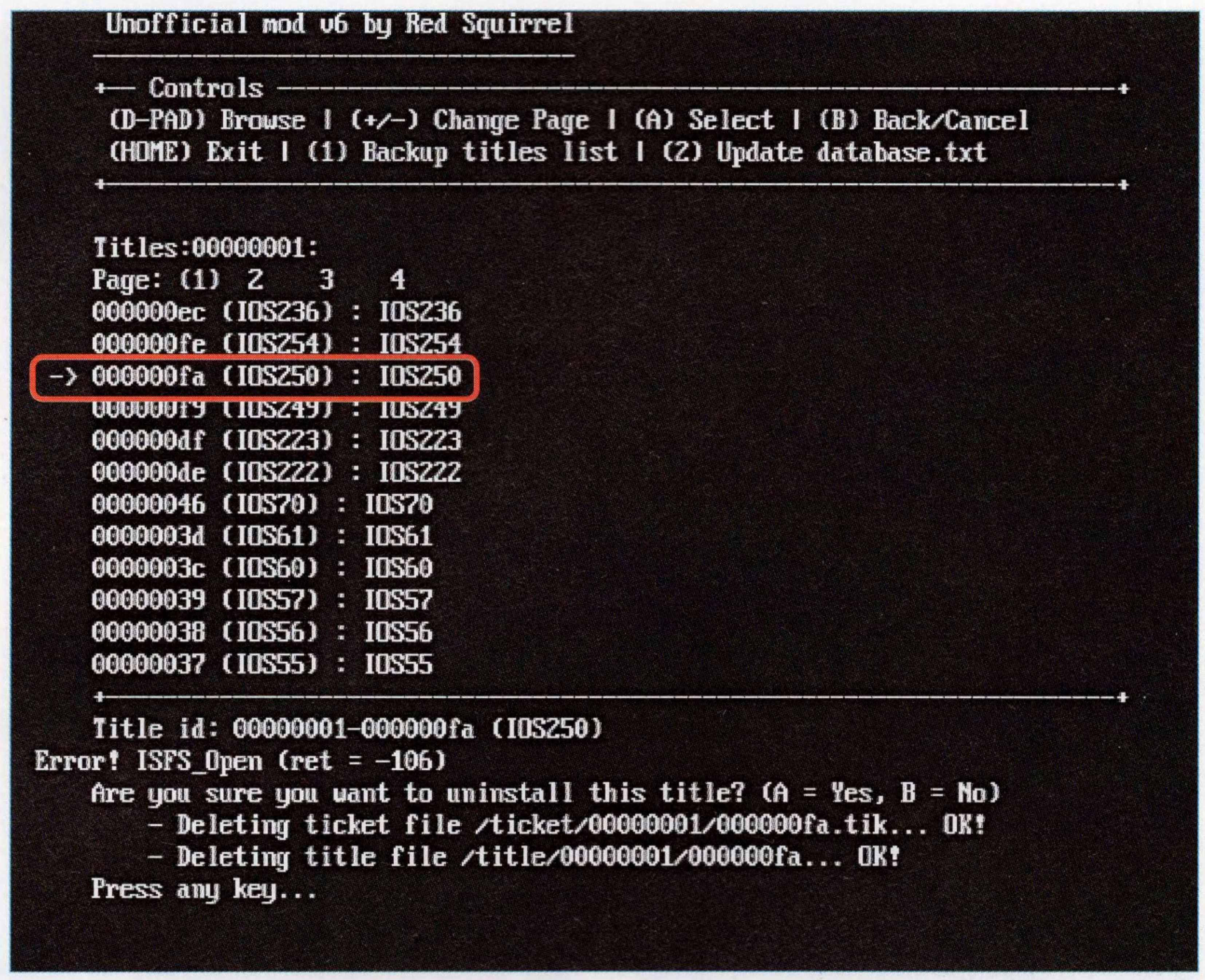
表示されるリストから「00000001 - System Titles」を選択し、Aボタンを押す。

24 IOSを選択する



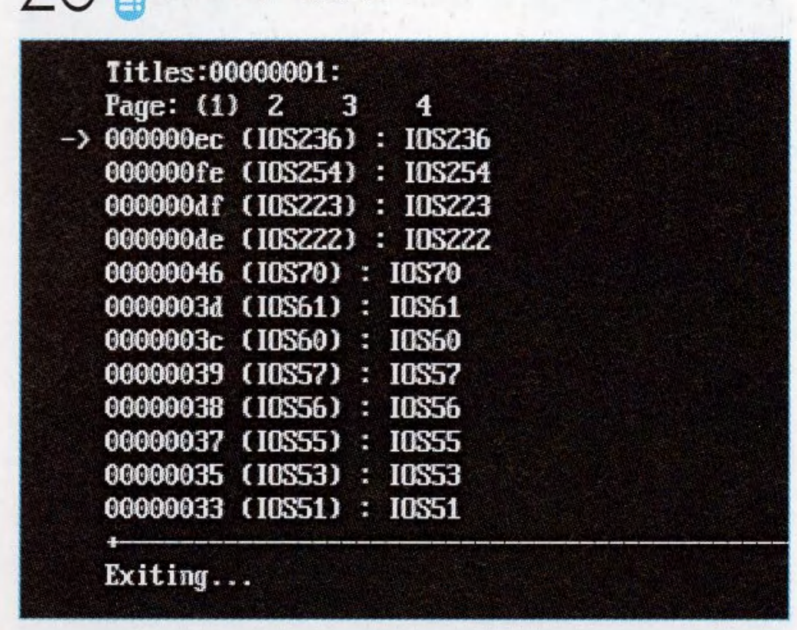
ここで削除するIOSを指定する。削除するIOSは複数あるが、まずは「IOS250」を選択してAボタンを押す。

25 IOSを削除する



「～ uninstall this title? (A=Yes, B=No)」という表示で画面が停止したら、Aボタンを押す。これで「IOS250」が削除できる。同様の手順で「IOS249」も削除しておこう。なお、このあとのカスタムIOS導入などで不都合が出た場合は「IOS222」「IOS223」を削除すると、解決できる場合がある。

26 HBCに戻る

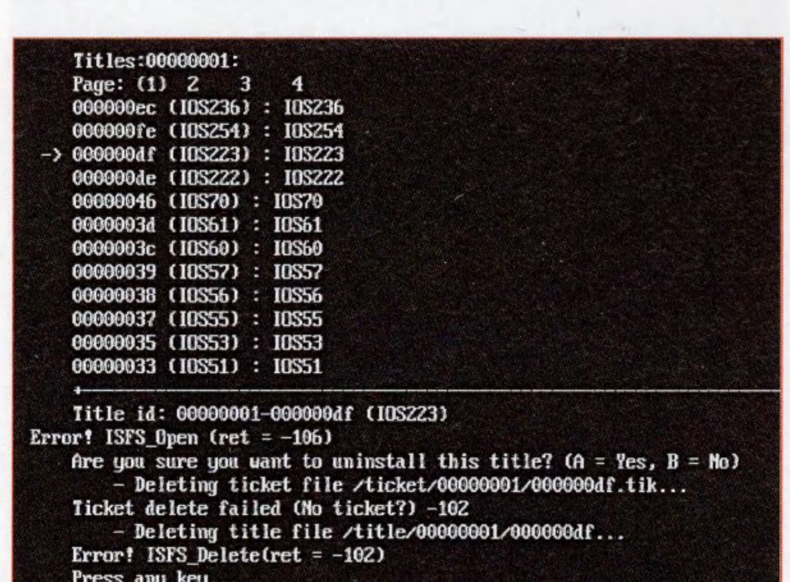


IOSのリストで「IOS250」「IOS249」がなくなっていたら、削除は完了。Wiiリモコンの「Homeボタン」を押して、HBC戻ろう。

IOSの書き換えは慎重に実行しよう

Attention!

IOSの書き換えは、WiiのOSを直接変更するという性質上、場合によってはWiiが動作しなくなるということもありうる。とくに、必要不可欠なIOSを削除するといったクリティカルなミスをしてしまうと、Wiiが復旧できない可能性も出てくる。IOSの書き換え作業はできるだけ慎重に、確実に進めよう。



手順12のパッチ設定で「Yes」に変更し忘れると、IOS削除の際にエラーで進めなくなる。

カスタムIOSを導入する

Wii　PC　SD　Card reader　Game　media　etc

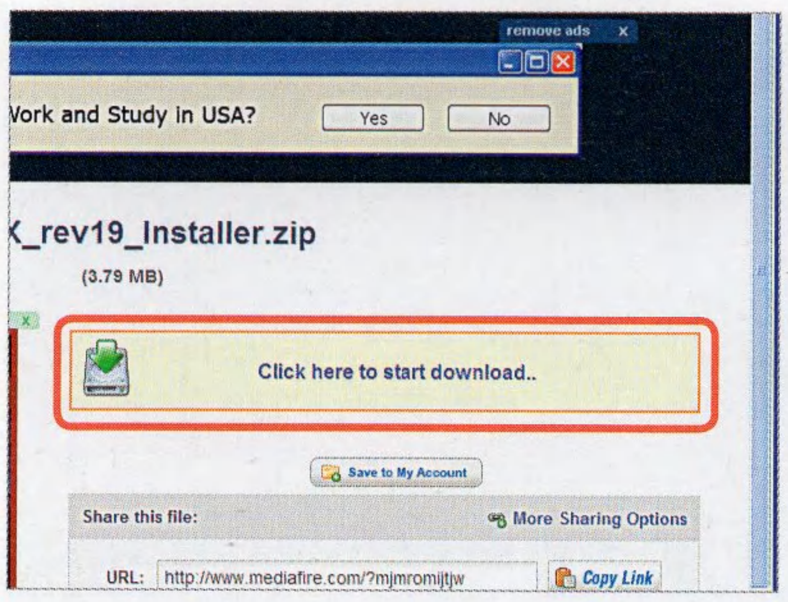
コピーゲームの起動といった各テクニックに必須となるカスタムIOS（以下、cIOS）。ここでは、主要の「249」と「250」、一部のゲーム起動に使う「223」を導入する。なお、この工程ではWiiでのネット接続が必要。無線LAN機器の設定は事前に済ませておこう。

Wii Custom IOSX rev 19 Installer
作者名●Waninkoko
ファイル名●cIOSX_rev19_Installer.zip
URL●http://www.mediafire.com/?mjmromijtjw

cIOS Hermes 202/222/223/224 v5.1 Installer
作者名●Hermes
ファイル名●cios_installer.zip
URL●http://www.mediafire.com/?z0z23jmmqok

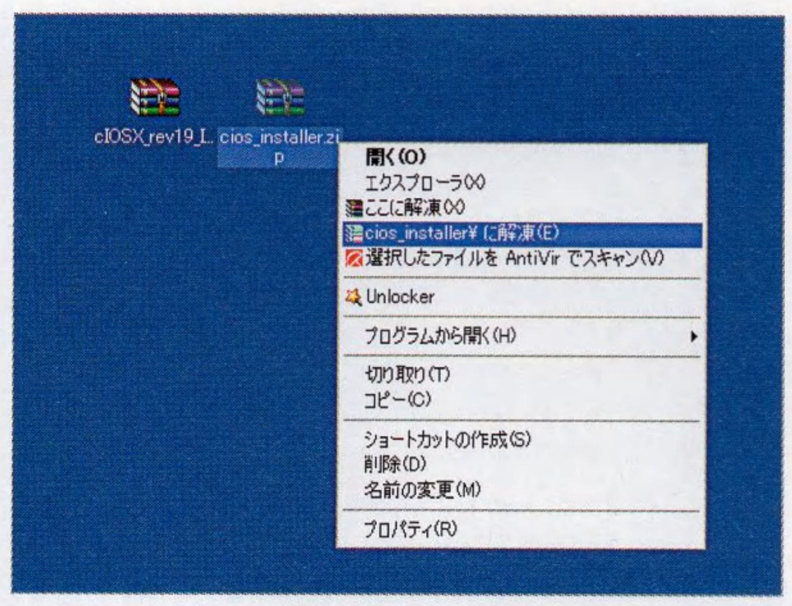
No Soft

1 PC 2種類のcIOSインストーラを入手



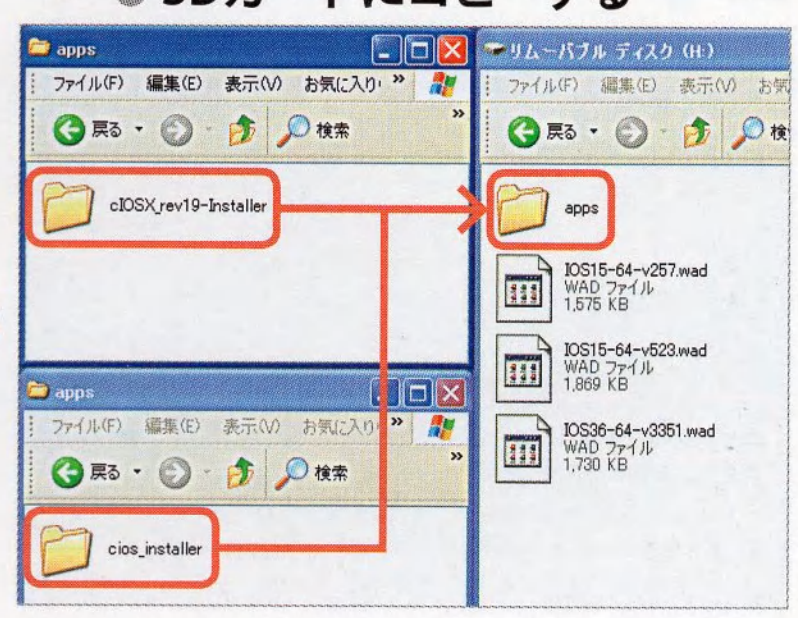
CD-ROM収録のリンクから配布サイトに移動。「Click here to start download..」をクリックして2種類のインストーラを入手する。

2 PC 各ツールを解凍する



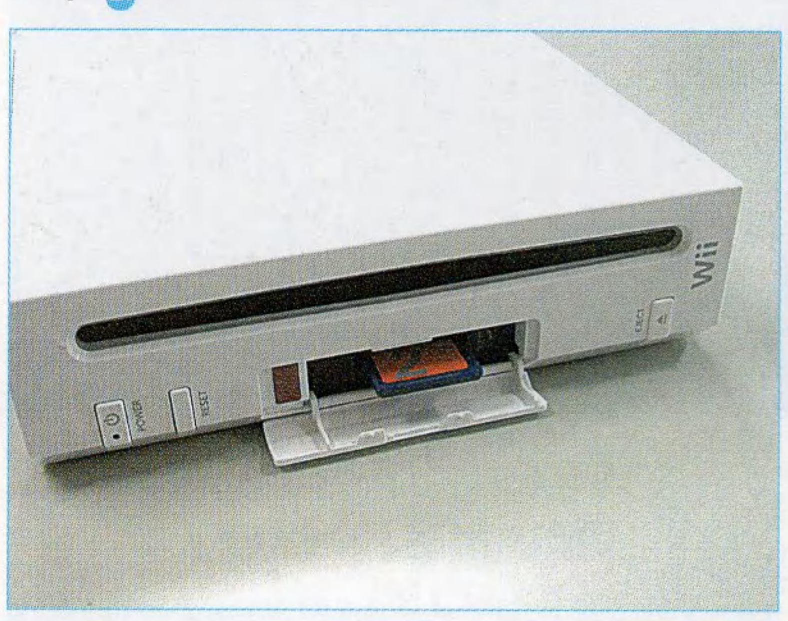
ダウンロードしたファイルは圧縮されている。右クリックメニューから「【ファイル名】に解凍」を選択し、すべて解凍する。

3 PC 各ツールをSDカードにコピーする



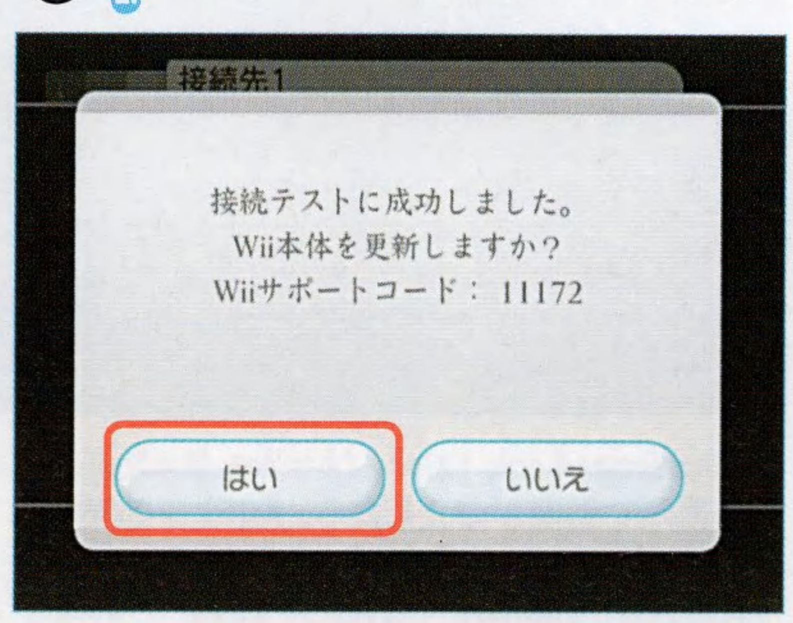
解凍したインストーラをSDカードの「apps」フォルダにコピーする。SDカードはIOSの書き換えで使用したものをそのまま使おう。

4 Wii WiiにSDカードをセット



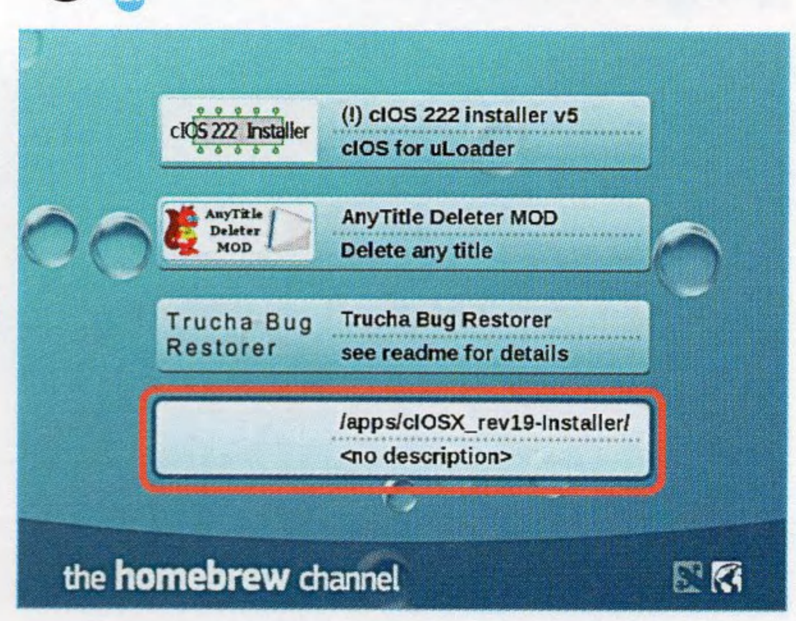
インストーラをコピーしたSDカードを、Wii前面のSDカードスロットにセットする。

5 Wii ネットワーク設定をしておく



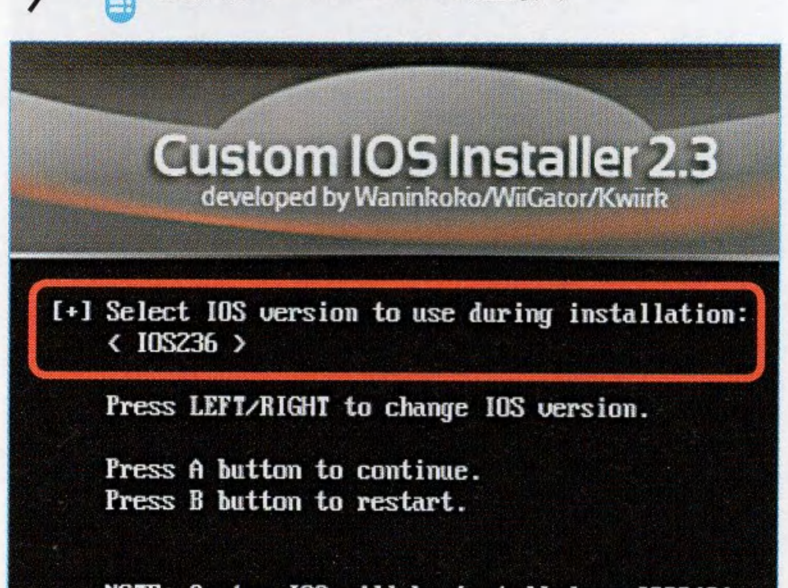
無線LAN機器をセットし、Wiiのネットワーク設定を行なっておく。なお、接続テストは必ず実行し、“成功”させておこう。

6 Wii cIOSインストーラ①を起動



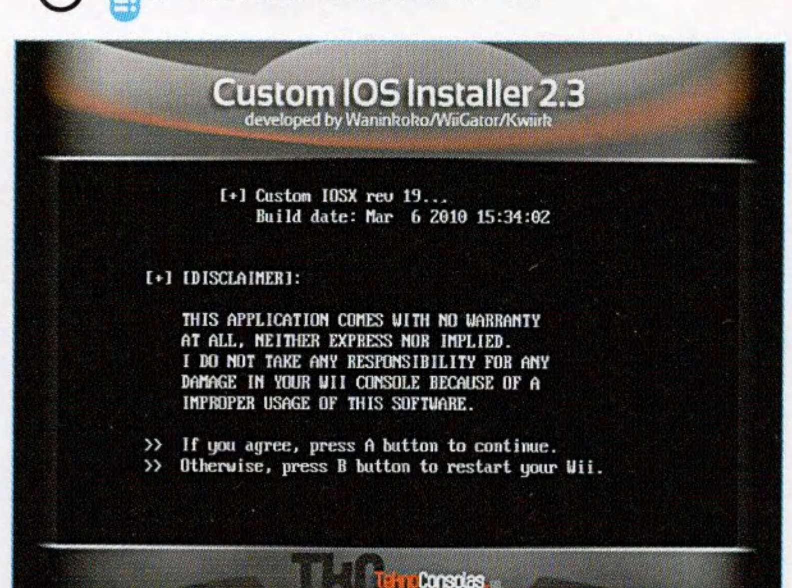
HBCを起動し、メニューから「/apps/cIOSX_rev19-Installer/」を選択。「Wii Custom IOSX rev 19 Installer」のインストーラを起動する。

7 Wii 使用するIOSを選択



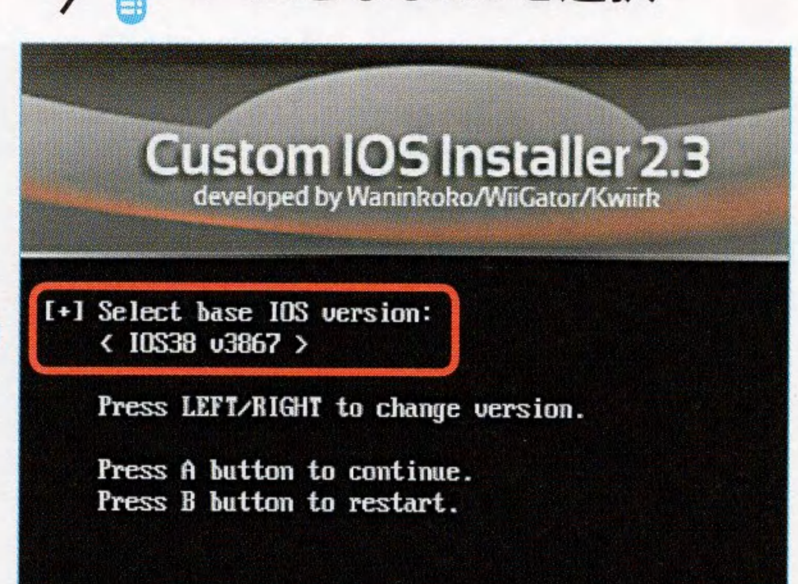
IOSの選択画面が表示されるので、十字ボタンで「IOS236」を選ぶ。ここでIOS236が選べない場合は、IOS236の作成に失敗している。

8 Wii 注意文を確認する



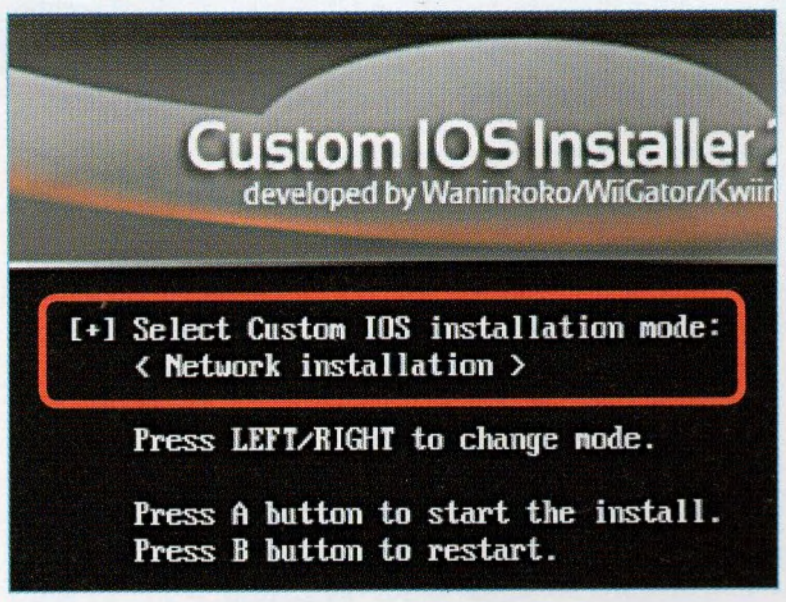
本インストーラを使用することによる注意文が表示される。Aボタンを押して先に進む。

9 Wii ベースとなるIOSを選択



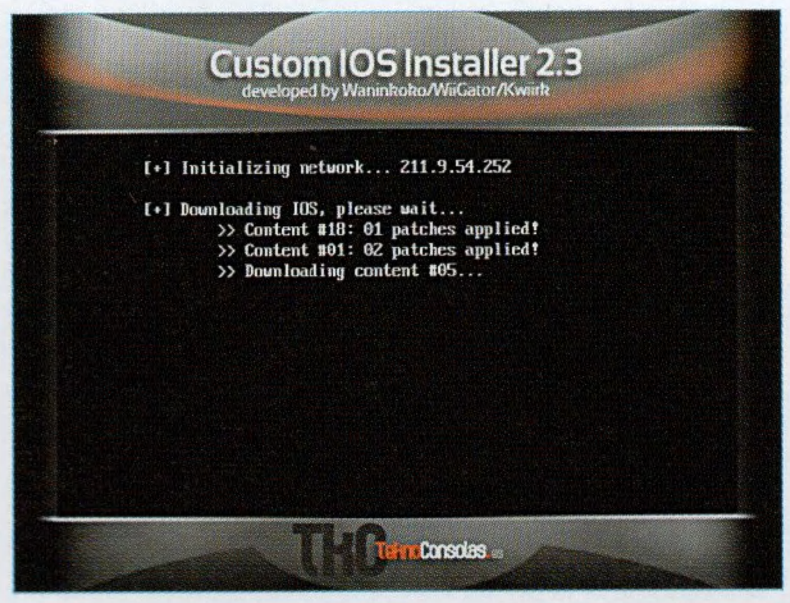
cIOSインストール時に使用する、ベースIOSを選択する。十字ボタンで「IOS38 v3867」を選び、Aボタンを押す。

10 Wii インストール方法を選択



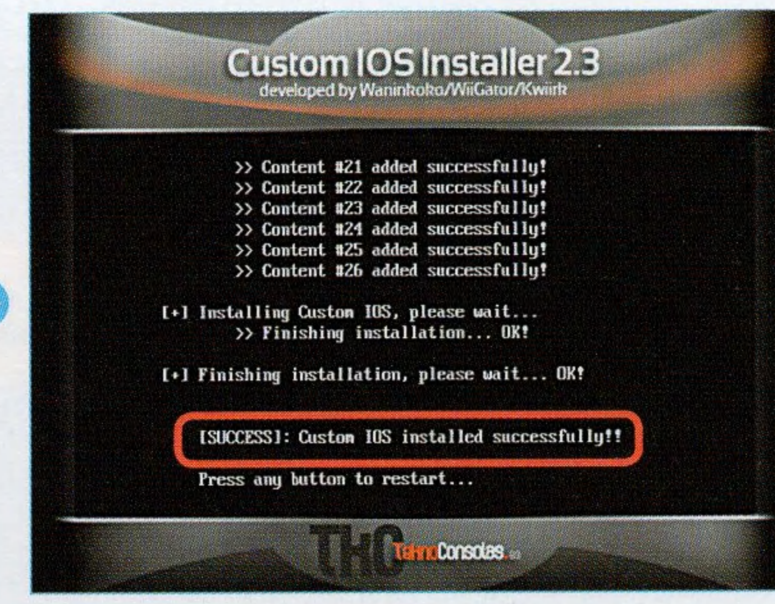
インストール方法の選択画面になるので、十字ボタンで「Network installation」を選択。Aボタンを押す。

11 Wii インストール開始



「cIOS249」「cIOS250」のインストールが開始される。エラーが出てしまう場合は、Wiiのインターネット接続設定を再確認しよう。

12 Wii インストーラを終える



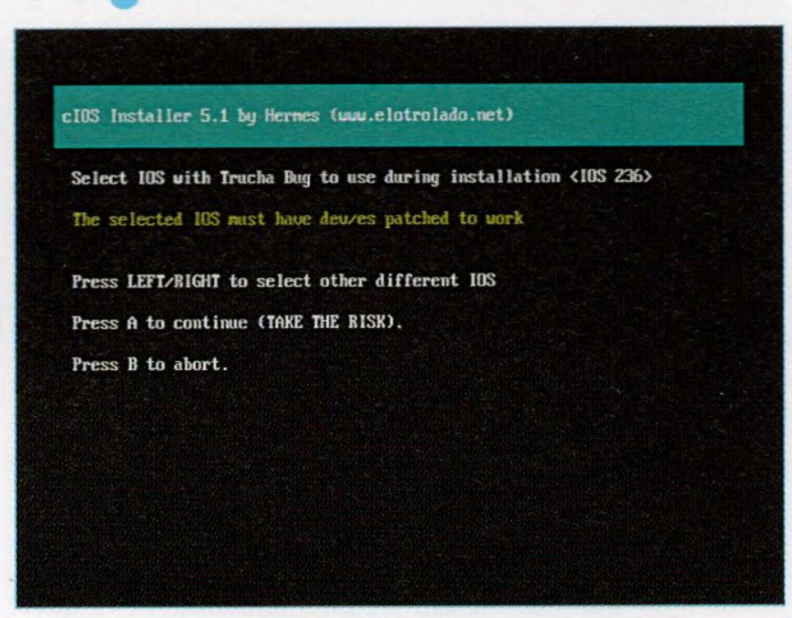
画面に［SUCCESS］の文字が表示されれば、インストール成功。このあと、いずれかのボタンを押せば、HBCに戻る。

13 Wii cIOSインストーラ②を起動



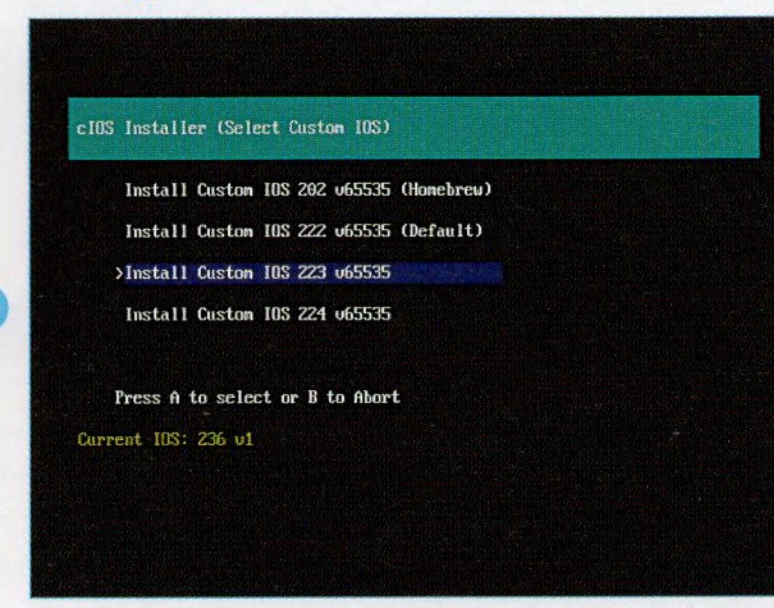
HBCのメニュー画面から「(!)cIOS 222 installer v5」を選択。「cIOS223」を導入するためのインストーラを起動しよう。

14 Wii インストール先のIOSを選択



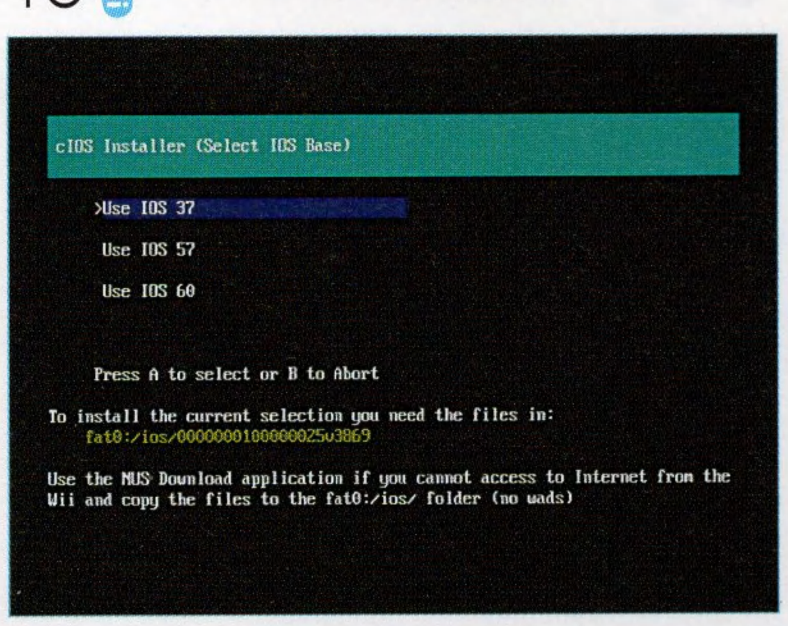
まずはインストール時に使用するIOSを選択する。ここではIOS236、もしくはIOS249を指定してAボタンを押す。

15 Wii インストールするcIOSを選択



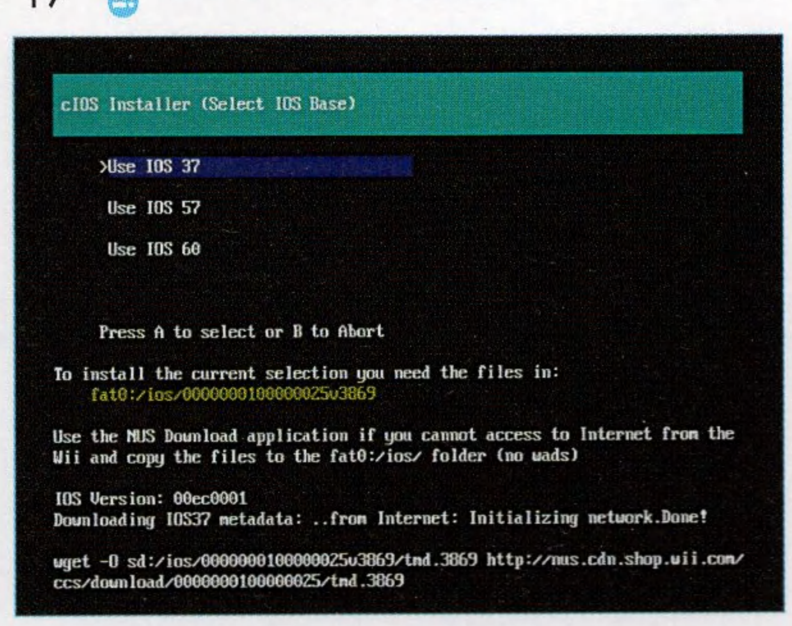
導入するcIOSの選択画面が表示されるので、「Install Custom IOS 223 v65535」を選択。Aボタンを押して先に進める。

16 Wii ベースのIOSを選択



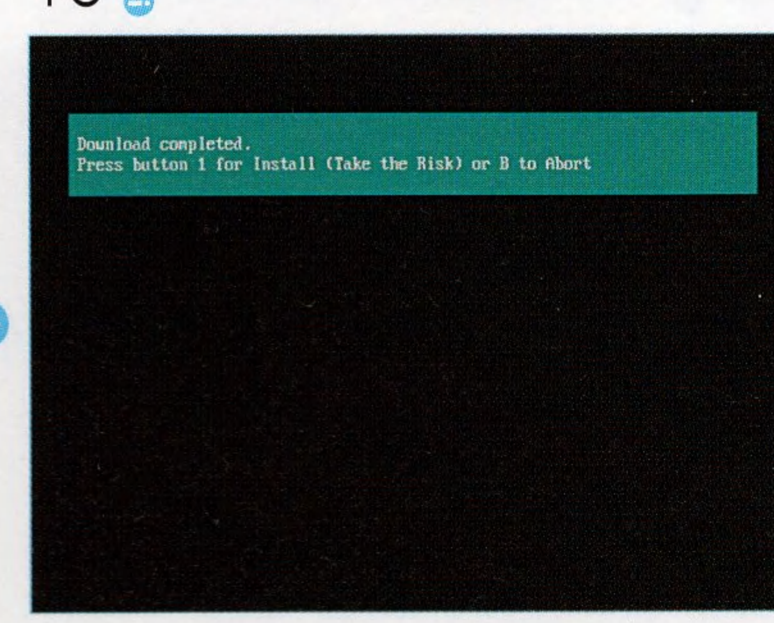
次に、cIOS作成時のベースに使用するIOSを選ぶ。ここでは「Use IOS 37」を選択して、Aボタンを押す。

17 Wii ダウンロード開始



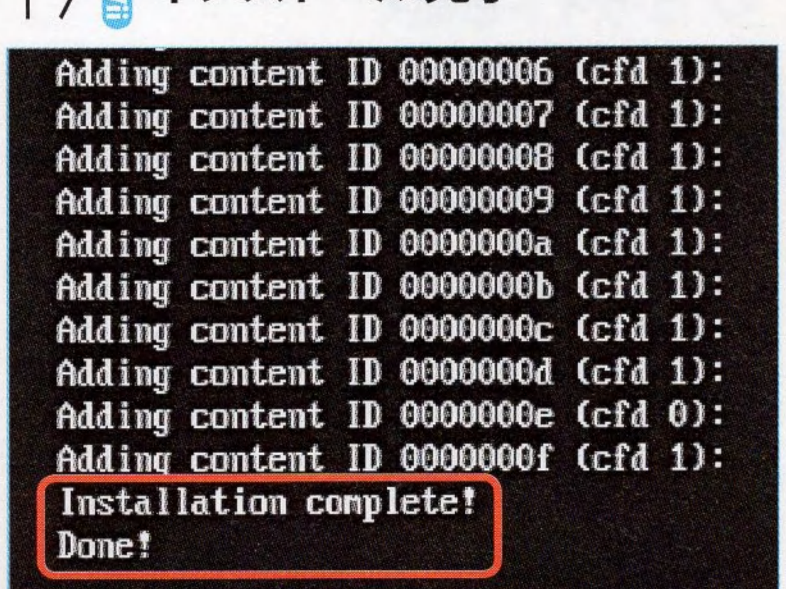
Wiiがネットに接続し、必要なファイルの収集を開始する。ネットワークの初期化に失敗した場合は、ネットの接続設定を確認しよう。

18 Wii インストール開始



必要ファイルのダウンロードが終わると、写真の画面で停止する。ここで①ボタンを押すと、cIOS223のインストールが開始される。

19 Wii インストール完了



画面が動作し、「Installation complete!」と表示されれば、インストールは成功。そのまま自動でHBCに戻るので待つ。

ゲームキューブ関連の機器は外す

Attention!

cIOS223を導入する際は、Wii本体からゲームキューブ関連の機器（コントローラ、メモリーカード）を取り外しておこう。これらの機器が接続されていると、手順16でIOSを選択した直後にフリーズしてしまう。BootMiiの操作などでキューブのコントローラを接続した人は、忘れずに外しておこう。



エラーの原因にもなるゲームキューブの関連機器。外し忘れに注意しよう。

Wii専用ドライブを作る

Wii PC SD Card reader Game media etc

Wiiは「WBFS」という独自の形式を採用しており、この形式のドライブがなければゲームのバックアップができない。そのため、まずはWindows上でWBFS形式へのフォーマットやデータ管理ができる「WBFS Manager」を導入し、WBFS形式のドライブを作成しよう。

Microsoft .NET Framework 3.5
作者名●Microsoft
ファイル名●dotNetFx35setup.exe
URL●http://msdn.microsoft.com/ja-jp/netframework/default.aspx

WBFSManager Ver.3.0.1 RTW
作者名●AlexDP
ファイル名●WBFSManager3.0.1-RTW-x86.zip
URL●http://wbfsmanager.codeplex.com/

WBFS Manager Ver.3.0用日本語化パック Ver.0.9
作者名●wbfsm◆WiiFSLtbOI
ファイル名●WBFSManager35B0.9.zip
URL●http://www.mediafire.com/?owdmaimy2ez

.NET Frameworkを導入

WBFS Managerを使用するには、マイクロソフト社が提供する「.NET Framework 3.0」以降が必要だ。すでに導入済みの場合は問題ないが、未導入の場合はここで紹介する手順を参照して正しく導入しよう。

1 配布サイトに移動



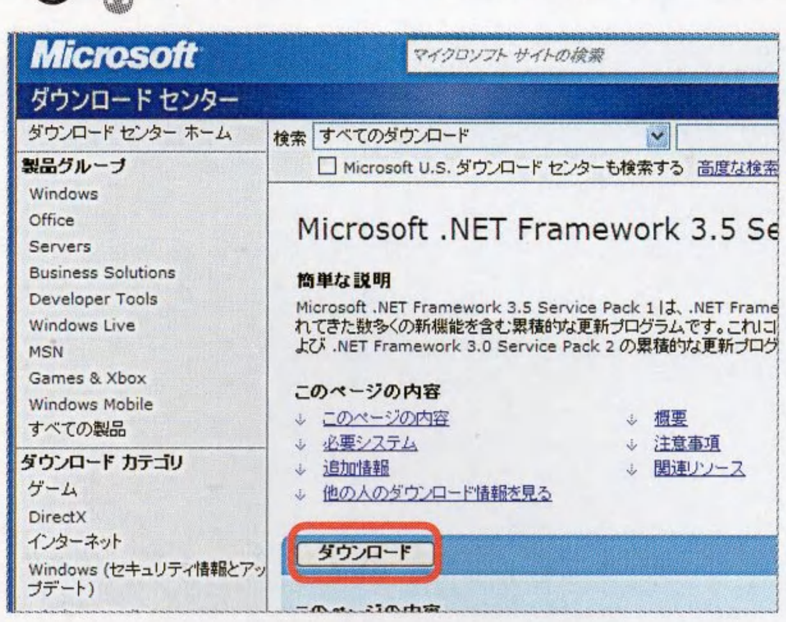
CD-ROM収録のリンクから配布サイトに移動。ダウンロード欄の「.NET Framework 3.5」のリンクをクリックする。

2 ダウンロードページに移動



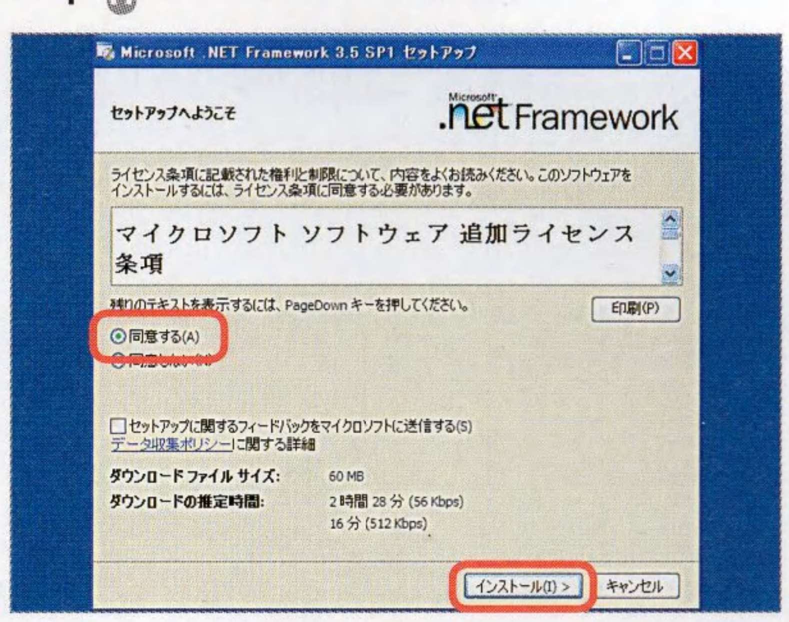
次にページの中ほどにある「Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1」のリンクをクリックする。

3 インストーラを入手する



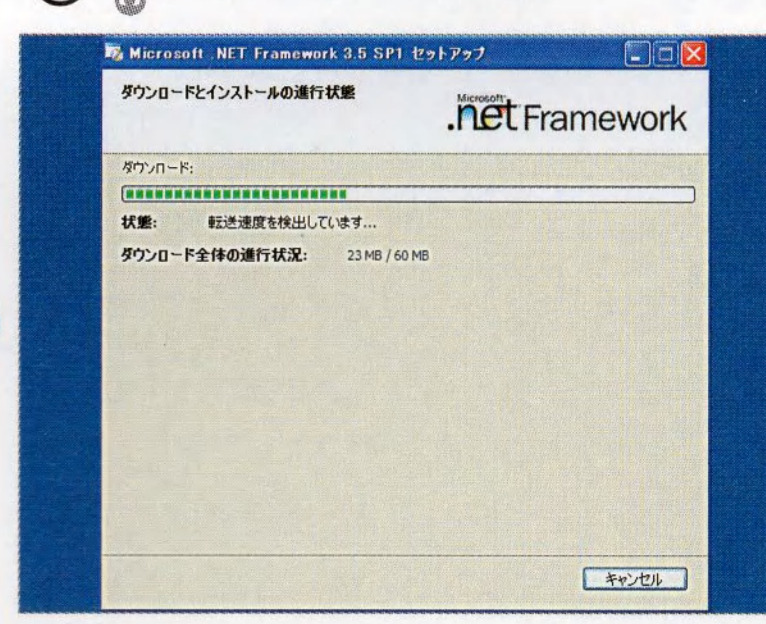
ダウンロードセンターに移動したら「ダウンロード」ボタンをクリック。インストーラを入手する。保存先はデスクトップでよい。

4 ライセンスに同意する



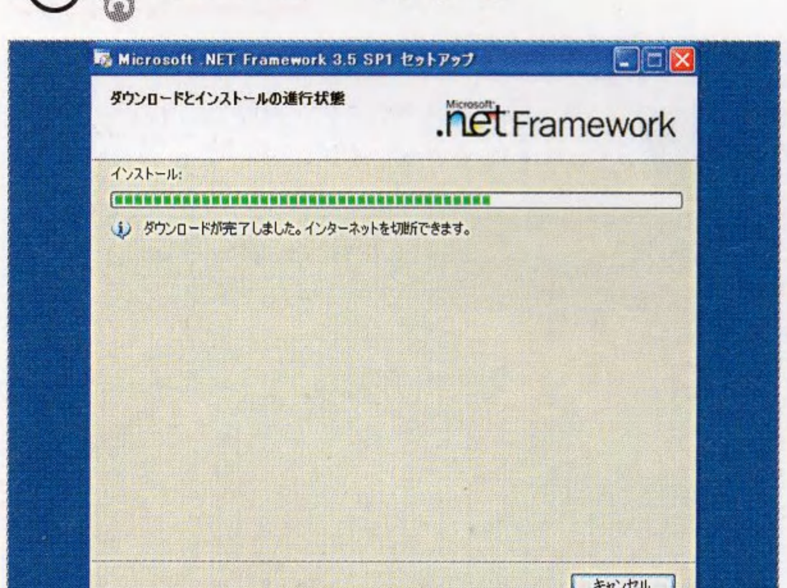
インストーラを起動。ライセンス条項が表示されるので、一読後に「同意する」をチェック。「インストール」をクリックする。

5 ダウンロード開始



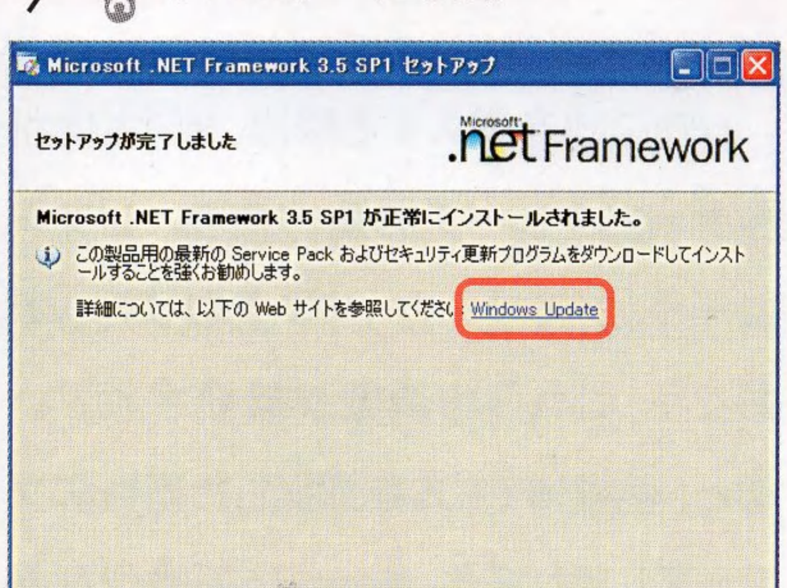
必要なファイルのダウンロードがはじまる。終了までにはある程度の時間が必要だ。なお、予測時間は当てにならないので無視しよう。

6 インストールする



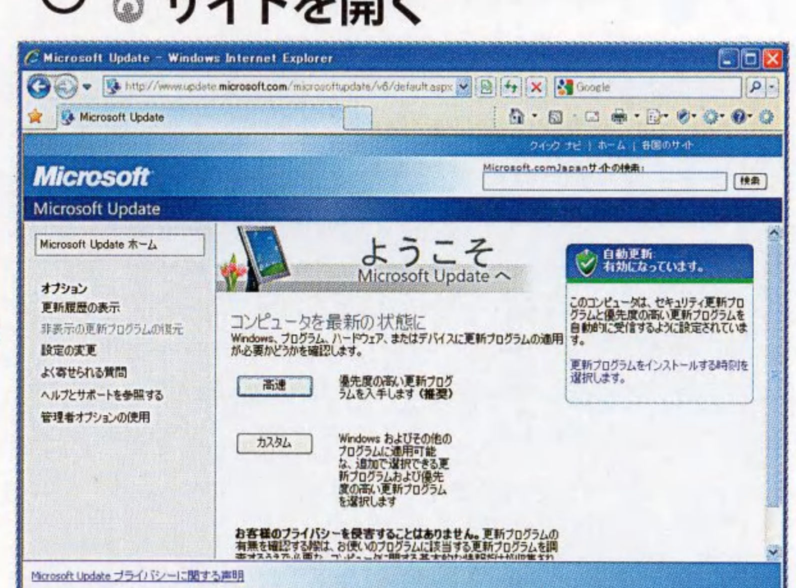
ファイルのダウンロードが終了すると、そのまま自動でインストール開始。インストール完了まででには時間を要するので辛抱強く待つ。

7 インストール完了



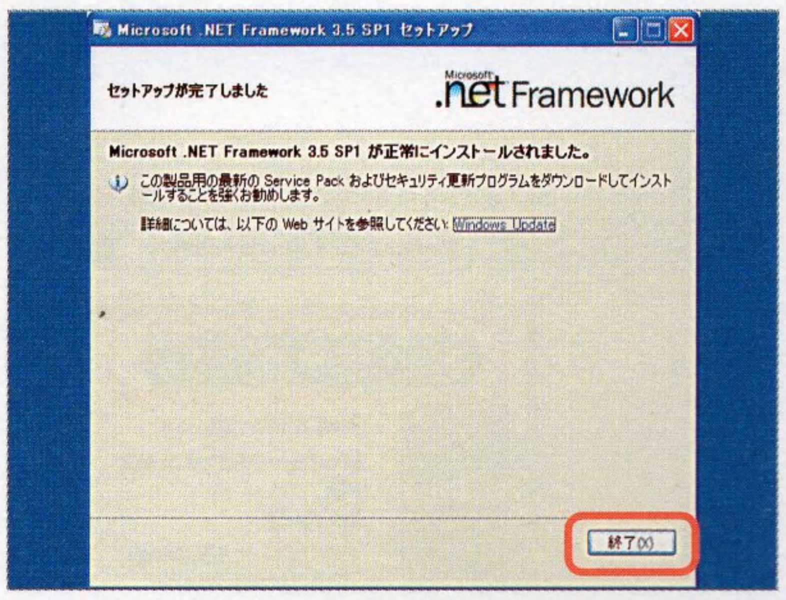
写真の画面の表示でインストール完了。画面上の「Windows Update」をクリックし、続けてプログラムのアップデートを行なう。

8 「Windows Update」のサイトを開く



手順7でリンクをクリックすると、ブラウザが自動起動して「Windows Update」のサイトを表示するはずだ。

9 インストーラを終了させる



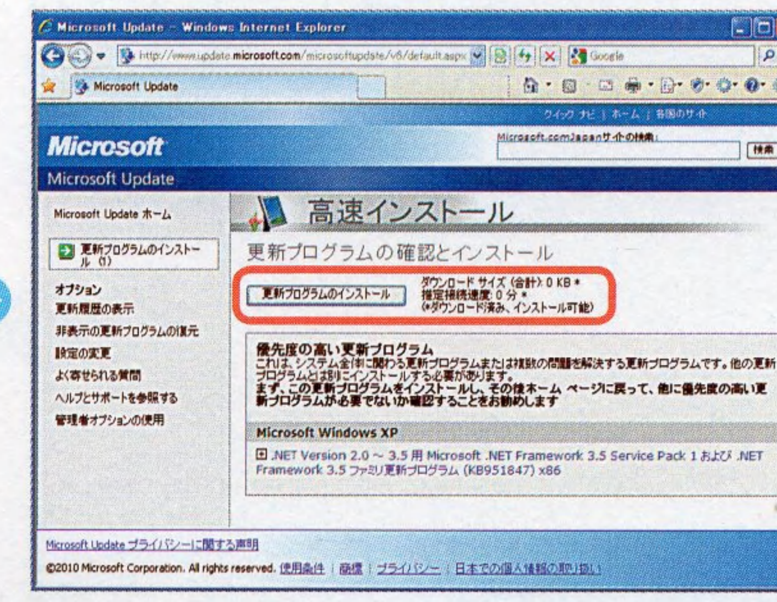
アップデート作業に進む前に、起動したままのインストーラを終了させておく。このままだとアップデート時にエラーとなるからだ。

10 更新状況を確認



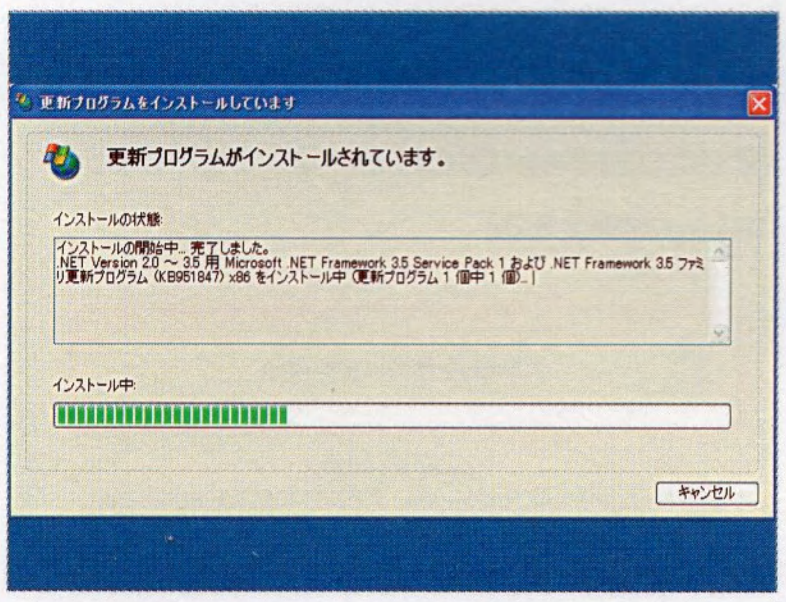
Windows Updateのサイトを表示したブラウザに戻る。ページ上の「高速」ボタンをクリックし、更新状況を確認する。

11 更新プログラムを確認



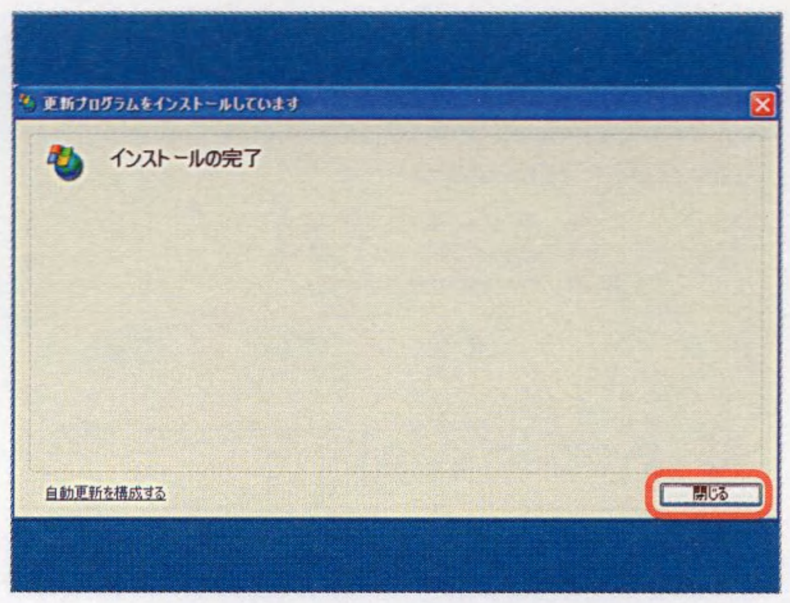
更新プログラムが見つかるので「更新プログラムのインストール」ボタンをクリック。

12 インストールする



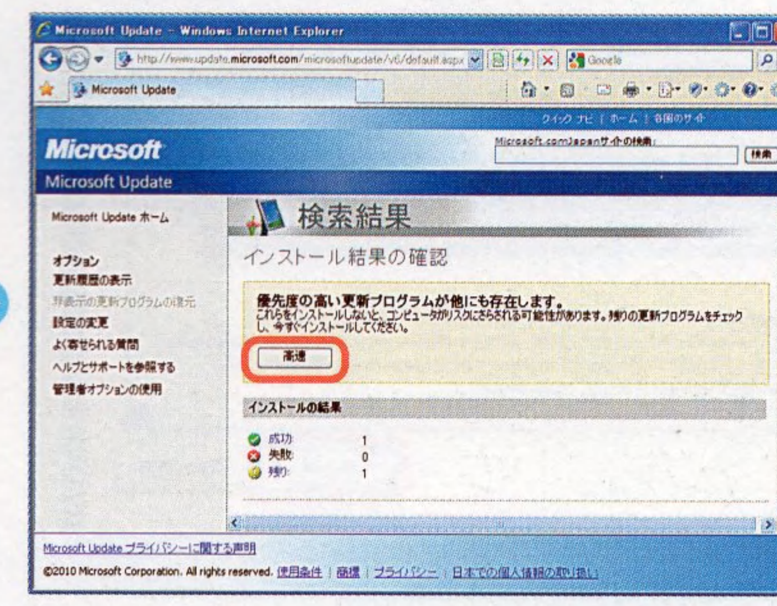
更新プログラムのインストールがはじまる。終了するまでしばらく待つ。

13 インストール完了



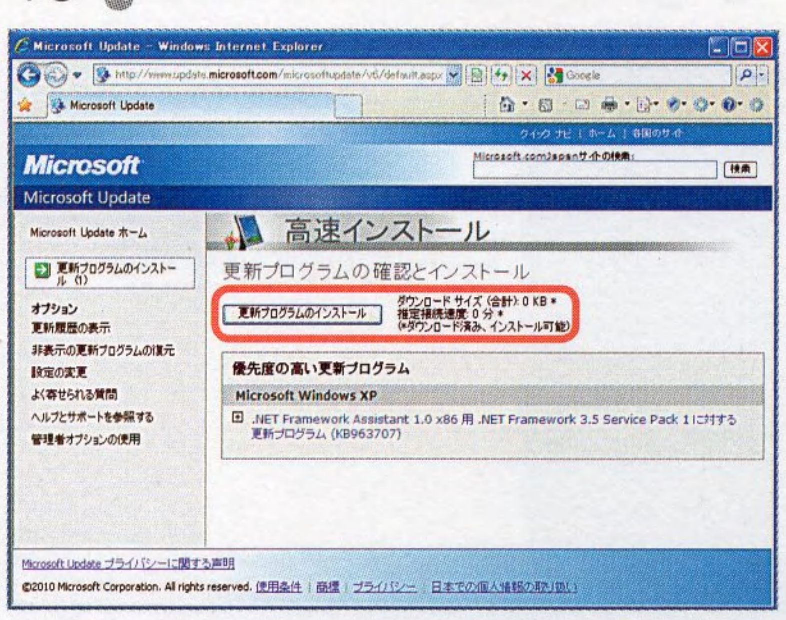
インストール完了と表示されたら「終了」ボタンをクリック。インストーラを終了させる。

14 更新プログラムを再検索



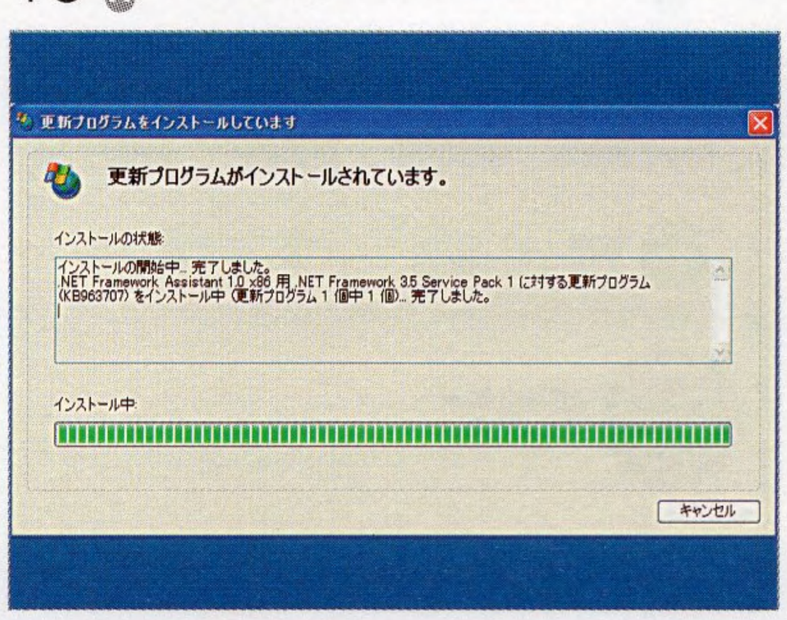
更新プログラムがさらに見つかるので、「高速」ボタンをクリックして再検索する。

15 更新プログラムを確認



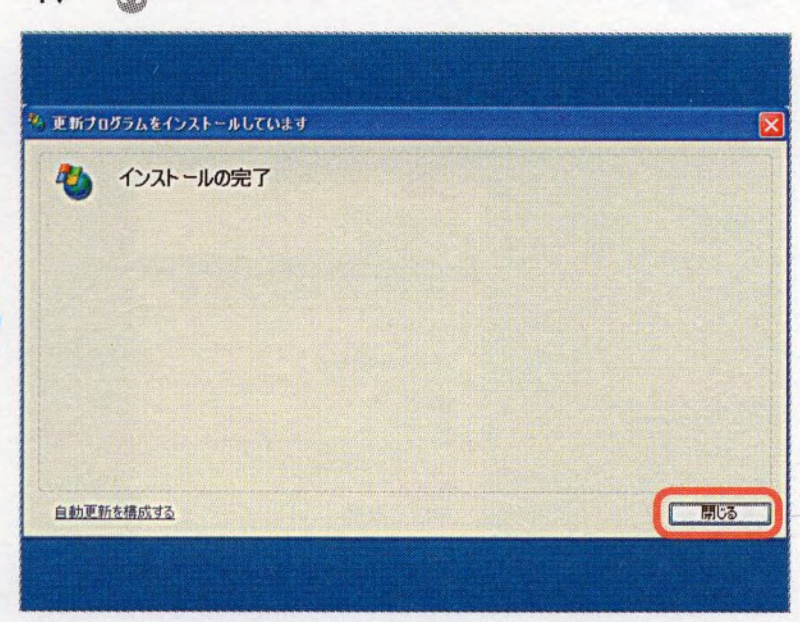
ふたつめの更新プログラムが見つかるので、手順11と同様に「更新プログラムのインストール」ボタンをクリック。

16 インストールする



再度、更新プログラムのインストールがはじまる。終了するまでしばらく待つ。

17 インストール完了



インストール完了と表示されたら「終了」ボタンをクリック。インストーラを終了させる。

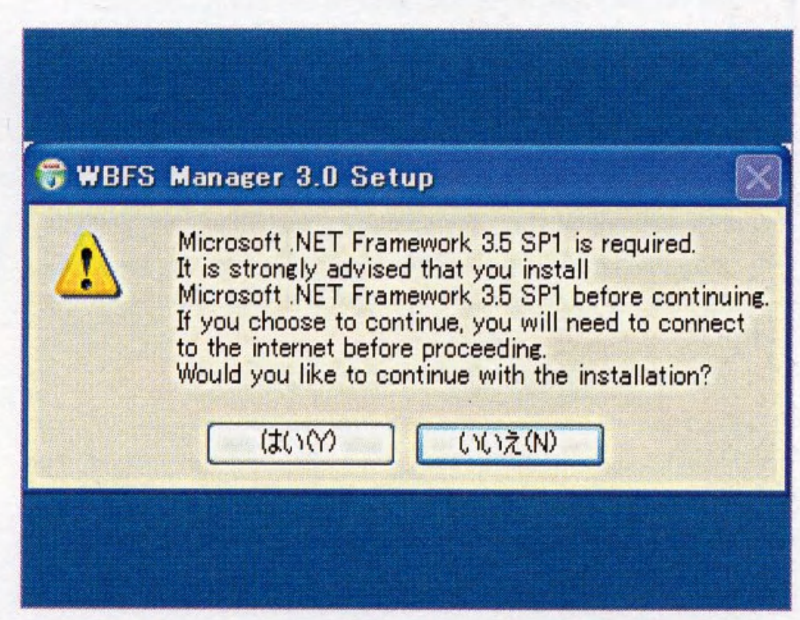
.NET Frameworkがうまくインストールできないときは……？

Point

.NET Frameworkは過去バージョンがパソコン内に残っていると、インストールエラーが発生したり、正常にインストールされずにWBFS Managerが起動しなかったりする。この場合は「アプリケーションの追加と削除」で関連するプログラムをすべて削除し、再インストールを試みるとよい。



再インストール時は、.NET Framework関連のプログラムを完全に削除しよう。

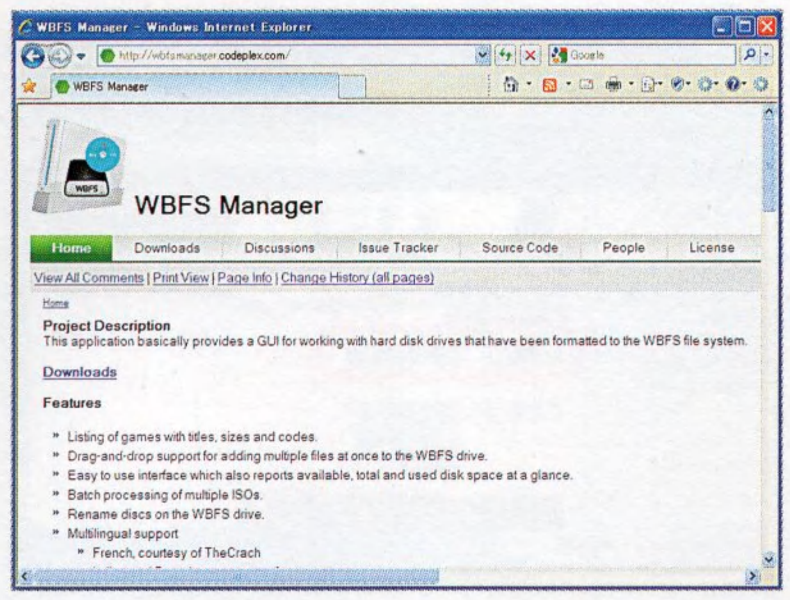


WBFS Managerのインストーラで導入すると、正常にインストールできない。

WBFS Managerを導入

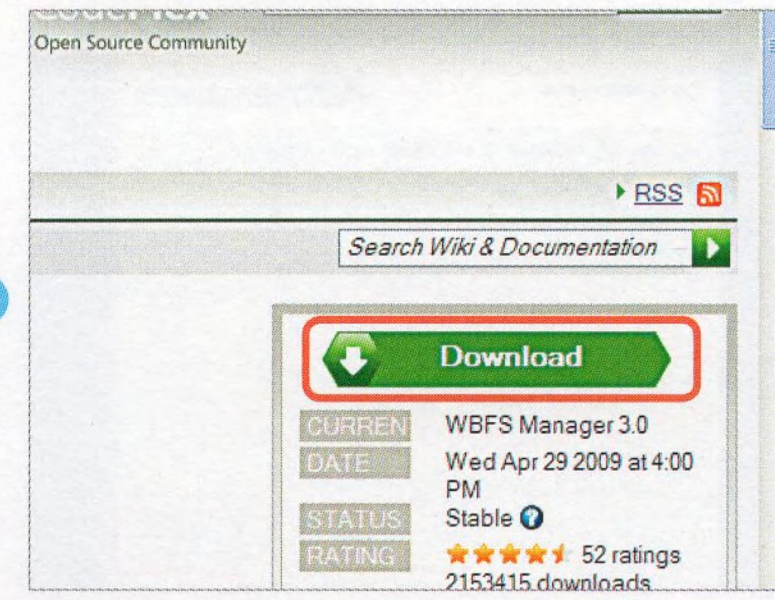
WBFS Manager導入は、他のWindowsソフトと同様にインストーラを使って行なう。セットアップウイザードは英語表記だが、難しい設定項目はないのでインストール時に困ることはないはずだ。

1 配布サイトに移動



CD-ROM収録のリンクからインストーラの配布サイトに移動する。

2 ダウンロードリンクをクリック



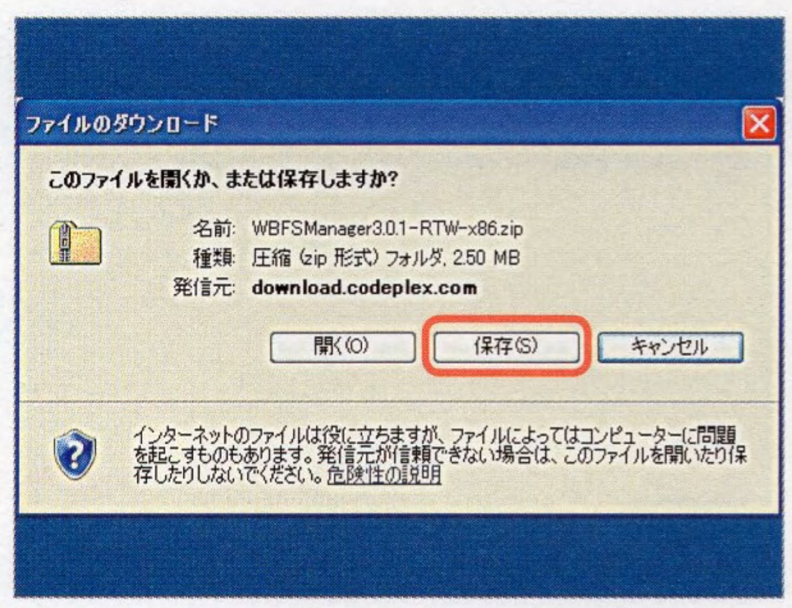
インストーラのダウンロードリンクはトップページの左側にある。緑色の「Download」ボタンをクリックする。

3 使用許諾を確認する



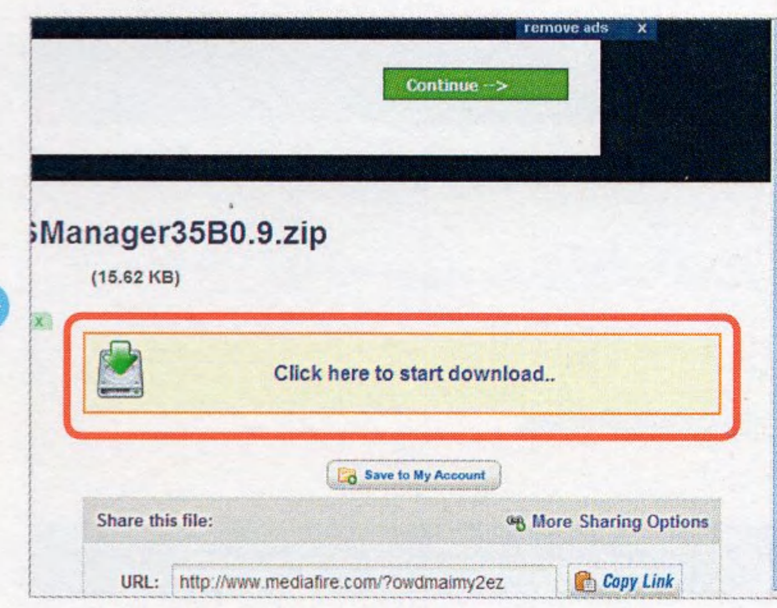
ブラウザ上に英語の使用許諾が表示される。右下の「I Agree」のボタンをクリックする。

4 インストーラを入手



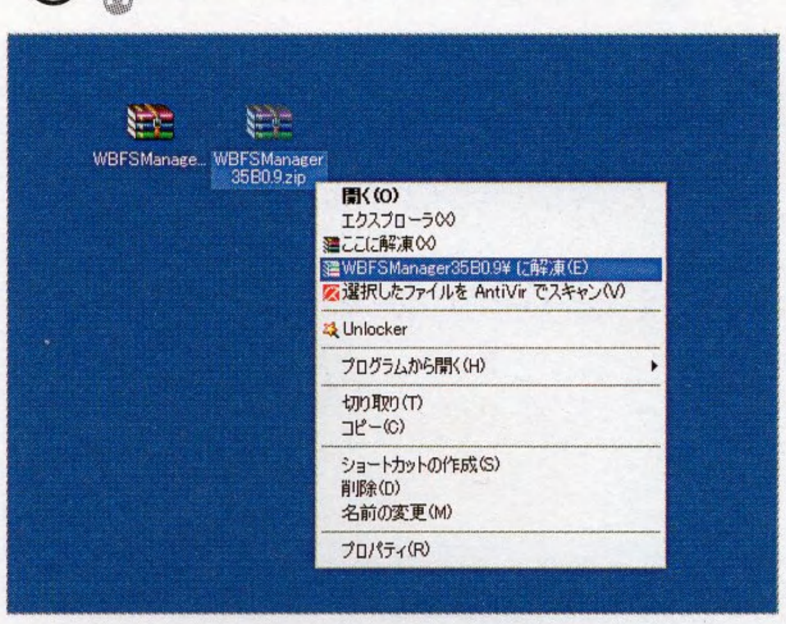
ファイル保存のダイアログが表示されるので、保存ボタンをクリック。すぐに使用するので保存場所はデスクトップにしておこう。

5 日本語化パックを入手



CD-ROM収録のリンクから配布サイトへ移動。「Click here to start download..」をクリックして日本語化パックを入手する。

6 入手ファイルを解凍する



入手したインストーラと日本語化パックは圧縮されている。両方とも解凍しておこう。

7 インストーラを起動



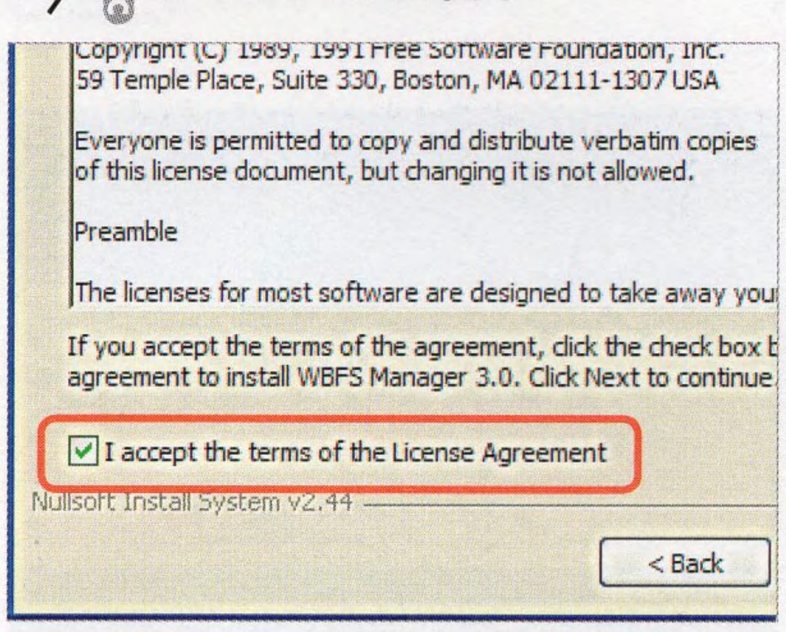
解凍したWBFS Managerのフォルダないにある「setup.exe」をダブルクリック。インストーラを起動する。

8 セットアップを開始する



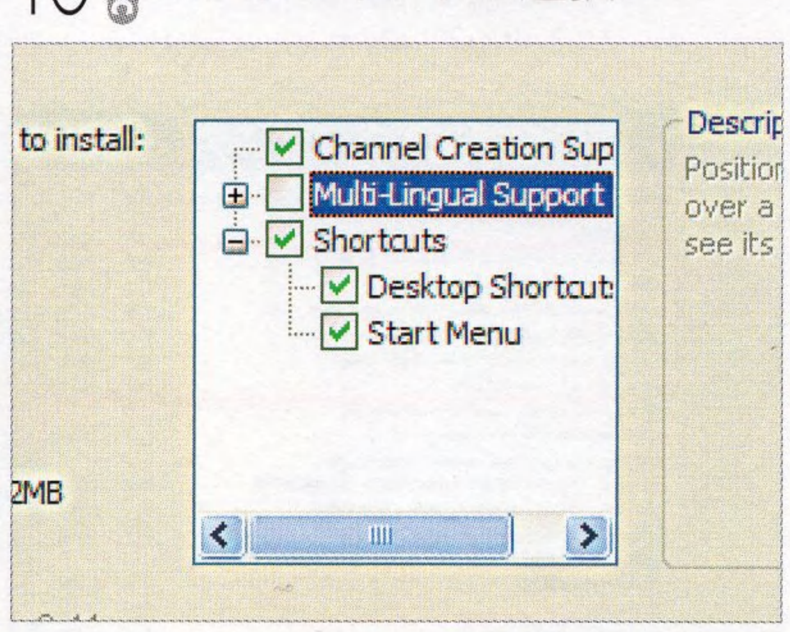
セットアップウイザードが表示されるので、「Next」ボタンをクリックして先に進める。

9 ライセンスを確認



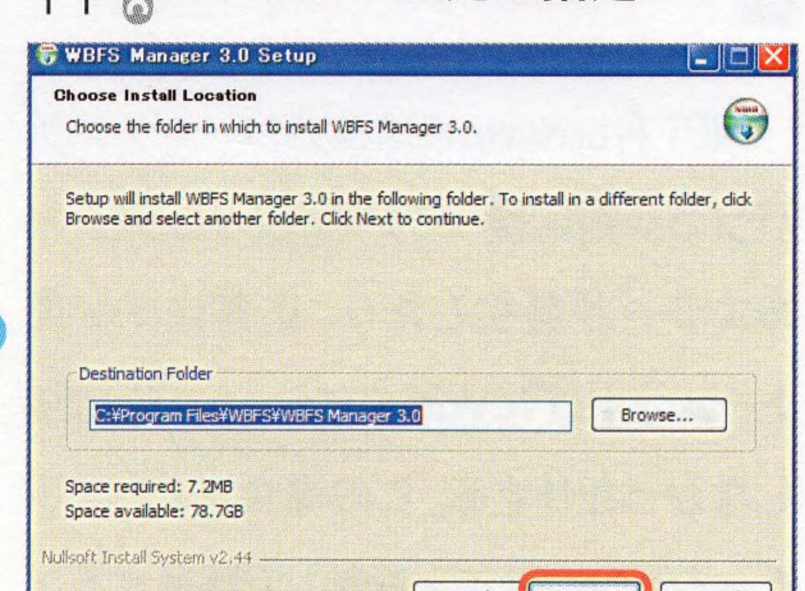
英語のライセンスが表示されるのでざっと目を通す。「I Accept ～」にチェックを入れて「Next」ボタンをクリック。

10 コンポーネントを選択



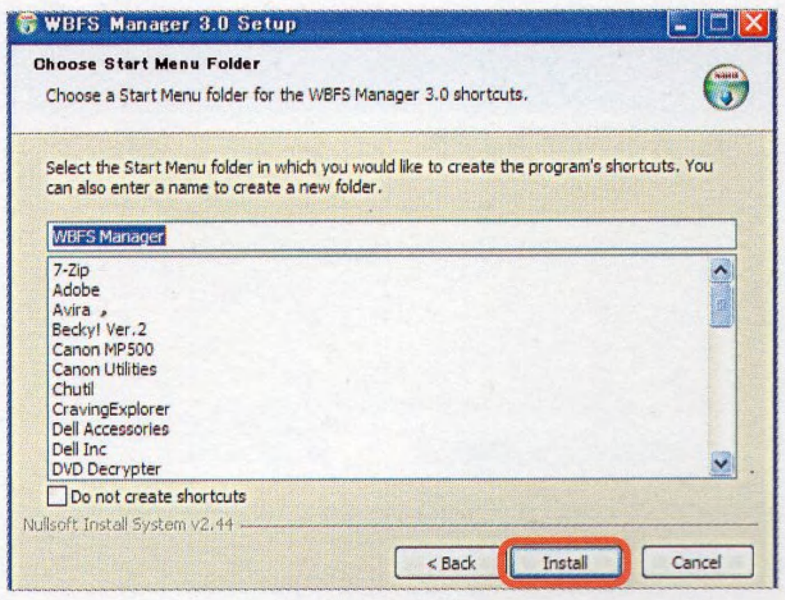
インストールする項目を選択する。2番目の項目の「Murti-Lingual ～」は、別途導入するのでチェックは外してしまって問題ない。

11 インストール先を指定



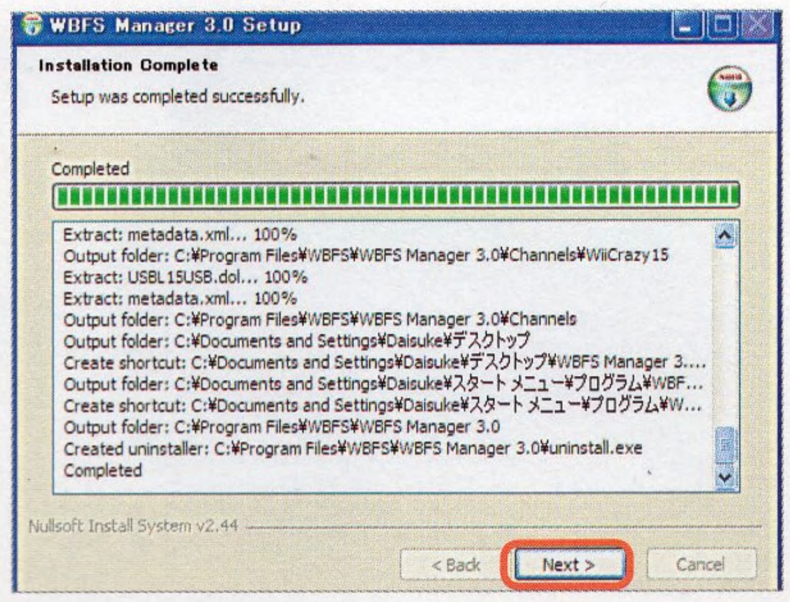
インストール先を変更しない場合は「Next」をクリック。このあと日本語化パックをコピーするので、プログラムの導入場所は覚えておこう。

12 PC スタートメニューの設定



スタートメニューに登録するかどうかを設定できる。初期状態のままで問題ないので、「Install」をクリックして次に進む。

13 PC インストール開始



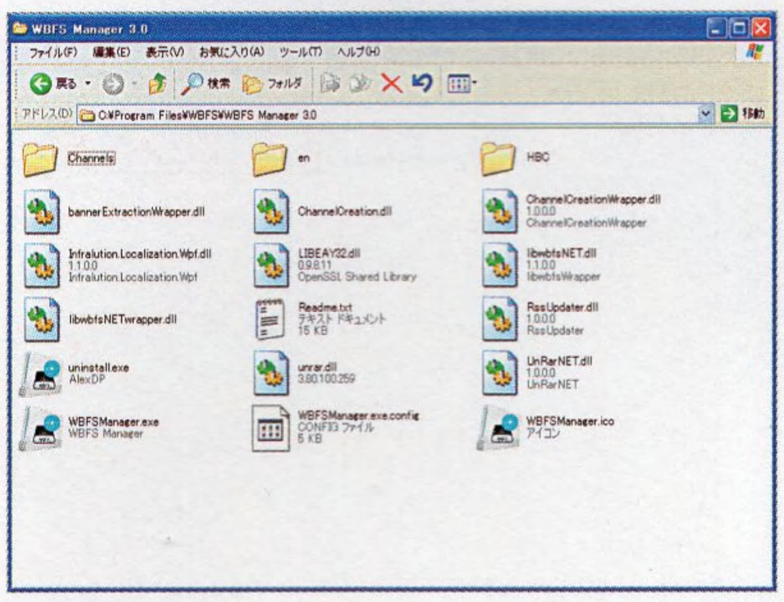
すべての設定を終えると、インストールが開始される。インストールが終了すると、画面が停止するので「Next」をクリックして進める。

14 PC インストール完了



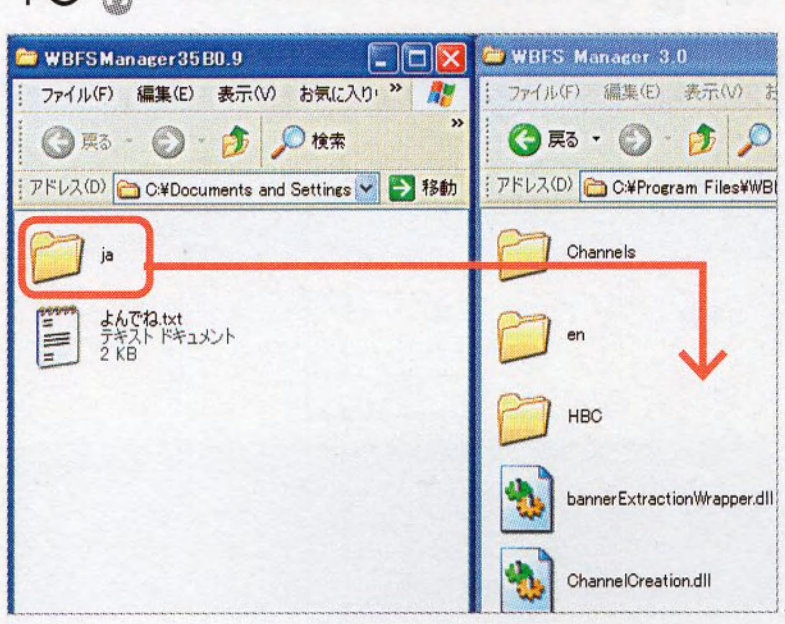
写真の画面の表示でインストール完了。Readmeファイルを表示しない場合は、チェックを外したあとに「Finish」をクリックする。

15 PC インストール先のフォルダを開く



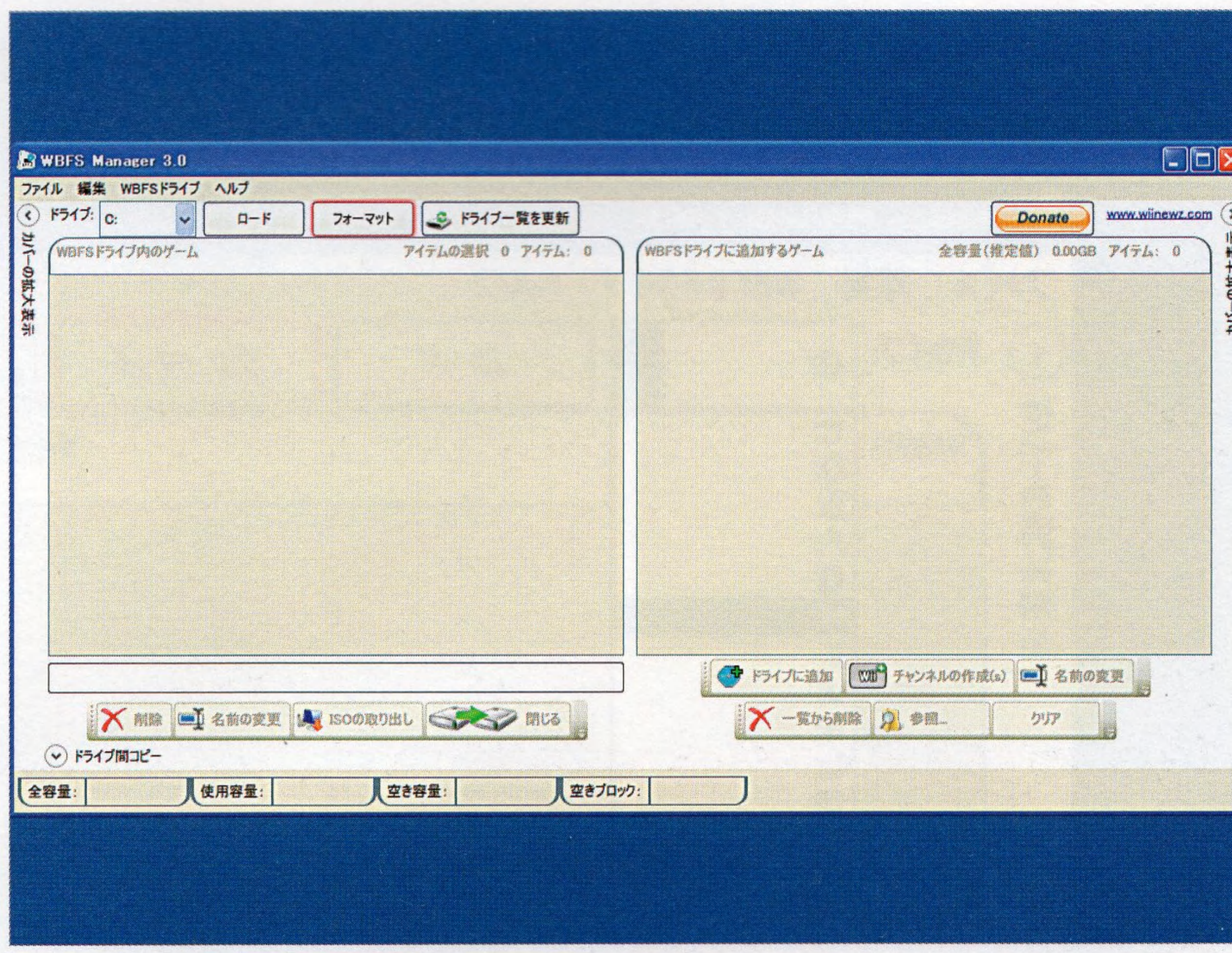
「マイコンピュータ」→「Cドライブ」→「Program Files」→「WBFS」→「WBFS Manager 3.0」の順にフォルダを開いていく。

16 PC 日本語化パックをコピー



手順15で開いたフォルダ内に、解凍した日本語化パック内の「ja」フォルダをコピーする。

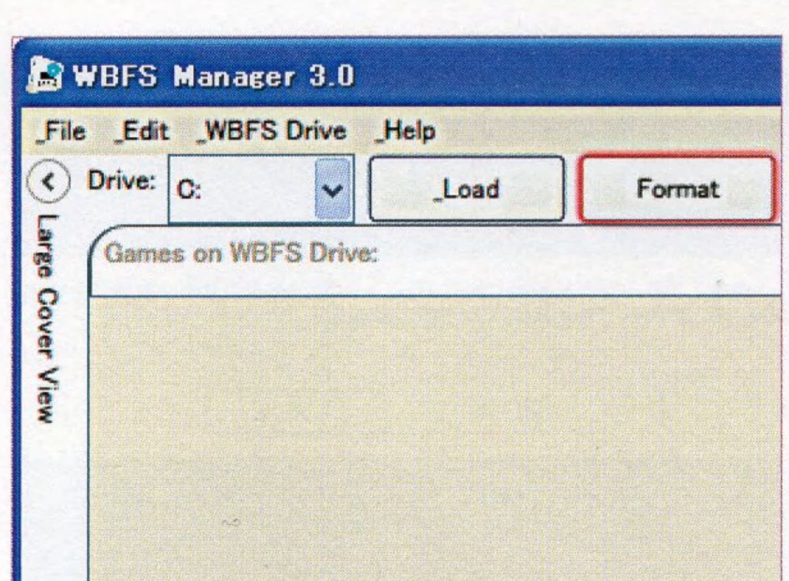
17 PC WBFS Managerを起動する



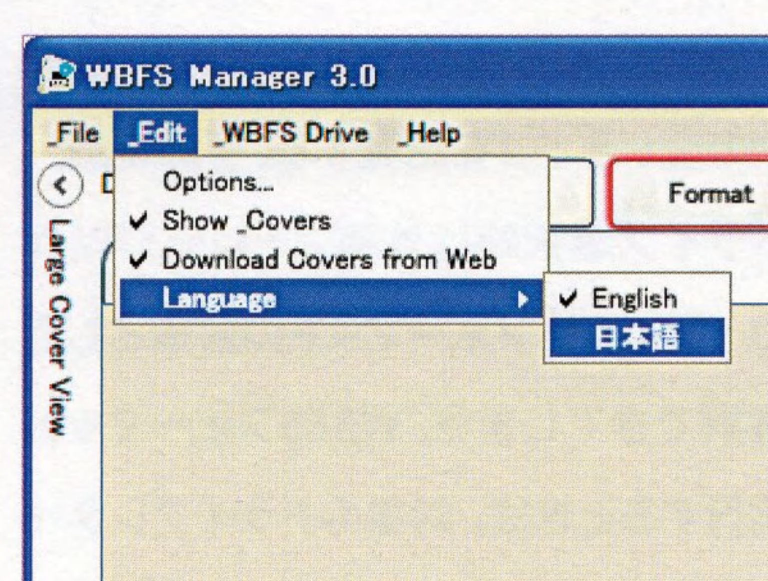
実行ファイルもしくはデスクトップ上に作成したショートカット、スタートメニューなどからWBFS Managerを起動する。ここで起動できない場合は、.NET Frameworkの導入に失敗している。

WBFS Managerが日本語化されないときは…… Point

WBFS Managerは、日本語化パックの導入後に初回起動すれば、メニューまわりが日本語化された状態で起動する。しかし、何らかの理由により英語表記の状態で起動してしまった場合は、メインメニューから表示言語を「日本語」に手動変更しよう。



英語表記で起動した場合は、日本語化パックが正しい場所に保存されているか確認しよう。



言語変更する場合は「Edit」→「Language」→「日本語」の順に選択していく。

Wii専用のドライブを作る

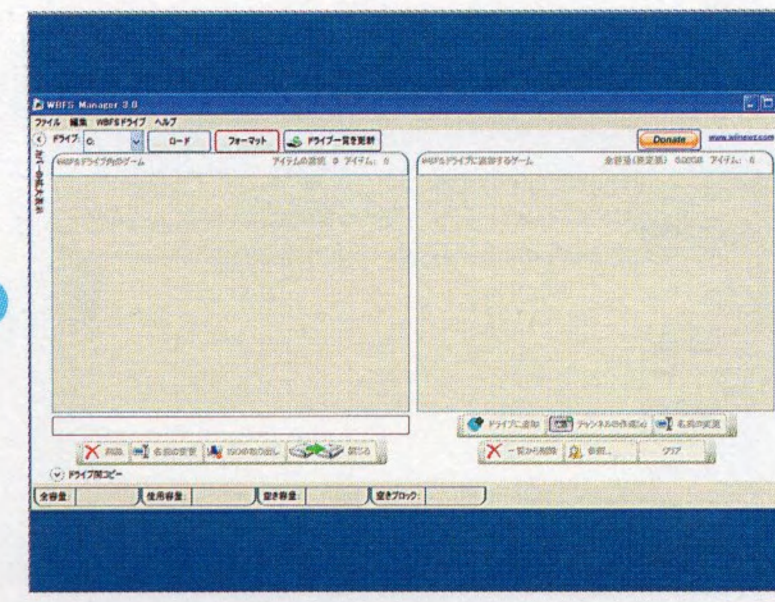
WBFS Managerの導入後は、Wii用のWBFSドライブを作成しよう。使用するストレージは、USBメモリ、SDカード、外付けハードディスクなど、好みのものでかまわない。ただし、容量は8GB以上のものがベターだ。

1 PC 外部ストレージを接続



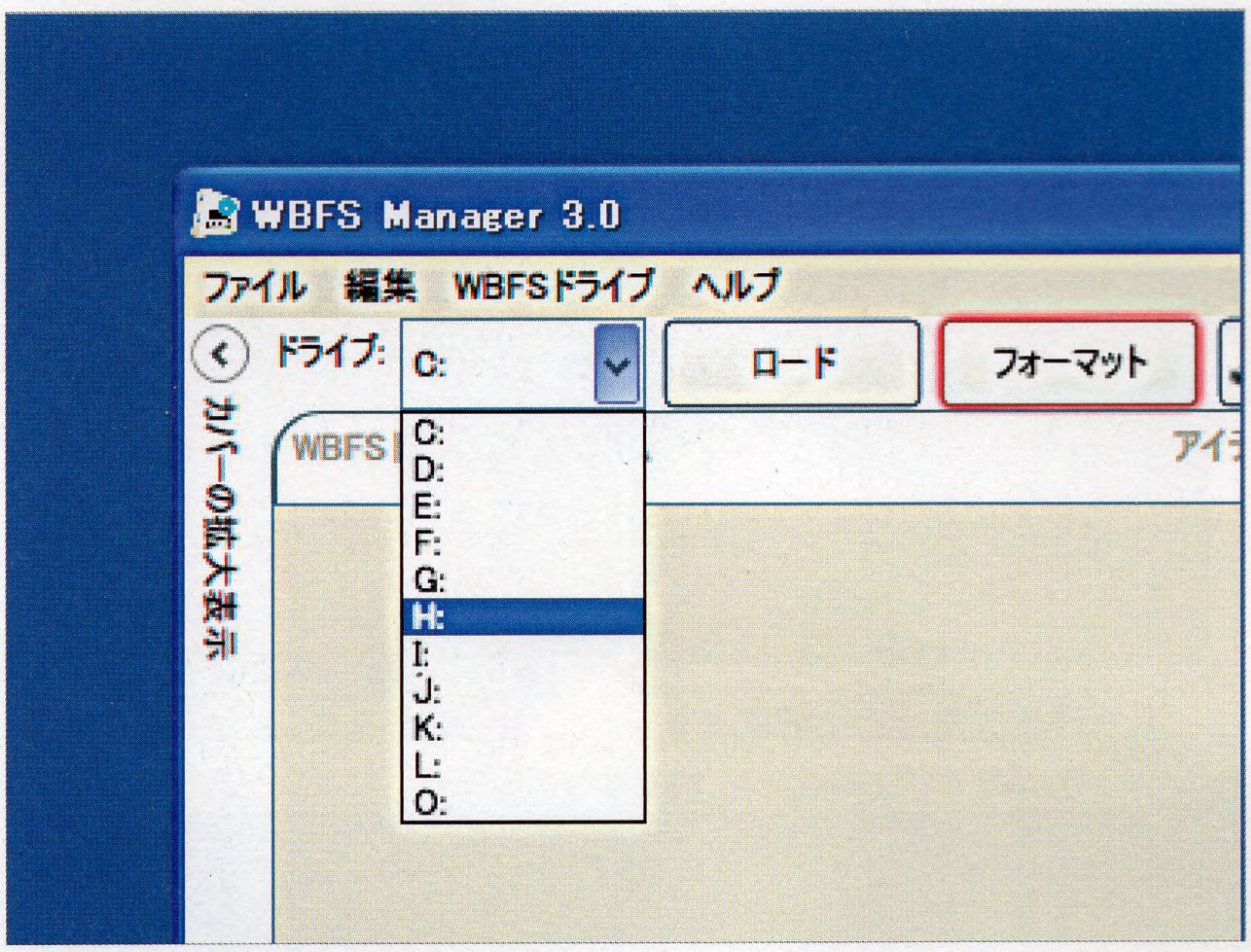
WBFS形式のドライブにする外部ストレージをパソコンへ接続。WBFS形式にしたストレージはWindowsでは使用できないので注意。

2 PC 「WBFS Manager」を起動



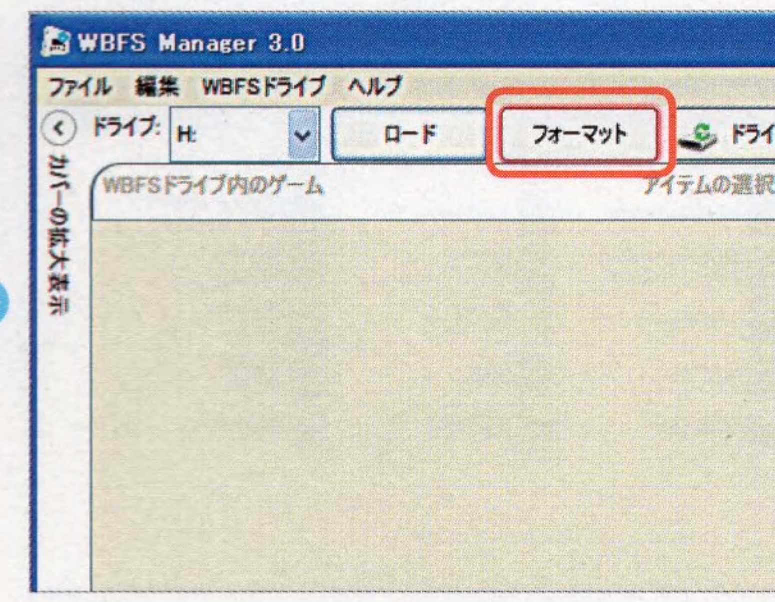
デスクトップのショートカットやスタートメニューから、WBFS Managerを起動する。

3 PC 接続したドライブを選択する



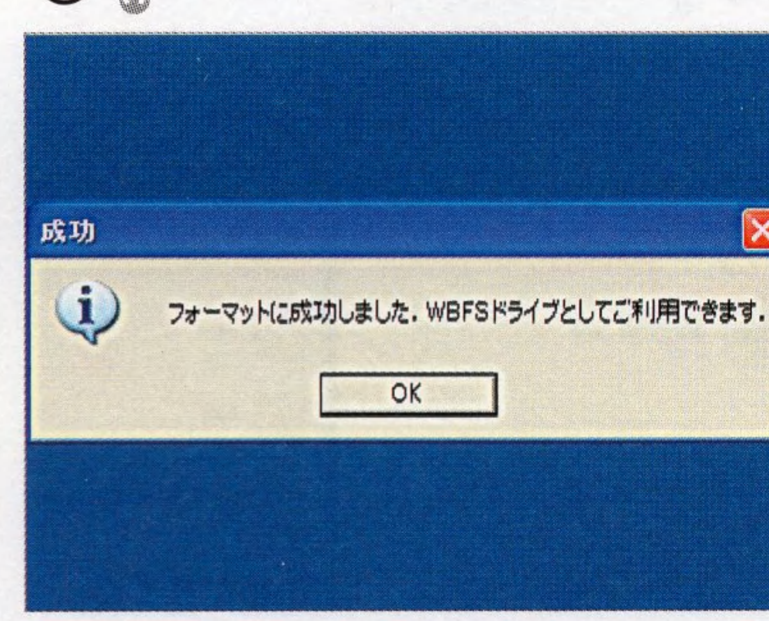
「ドライブ」のプルダウンメニューで、接続した外部ストレージを選択する。外部ストレージのドライブレター（C:、D:などの表記）がわからない場合は、マイコンピュータの「リムーバル記憶域があるデバイス」に表示されたドライブをひとつずつ開くなどして確認しよう。なお、このあとにフォーマットを実行する。ドライブの選択を間違えないように十分注意しよう。

4 PC フォーマット実行



「フォーマット」ボタンをクリックし、WBFSフォーマットを実行する。直前に確認があるので、不安要素があるなら再確認しよう。

5 PC フォーマット完了

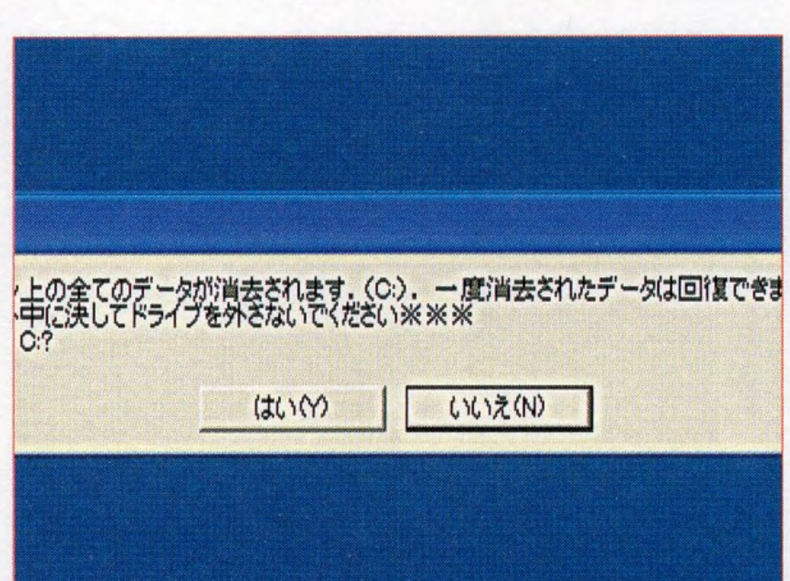


接続した外部ストレージにもよるが、フォーマット作業はすぐに終わる。写真のダイアログが表示されたら「OK」をクリック。

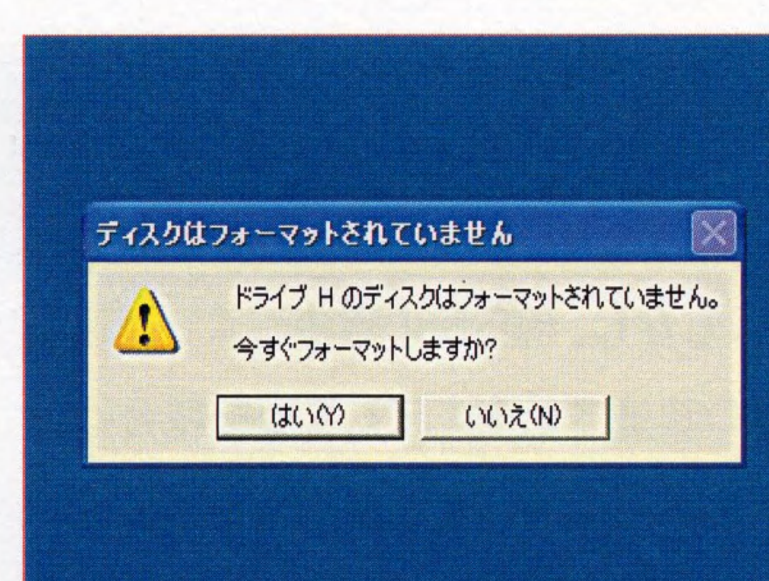
誤フォーマットに注意！

Attention!

WBFS Managerは、パソコンに接続中の全ドライブを認識する。そのため、ドライブ選択時は外部ストレージ以外のドライブもフォーマットの対象として選択できてしまう。WBFSフォーマット実行するときは、対象のドライブレターをしっかり確認し、誤フォーマットをしないように注意しよう。



フォーマット直前には警告ダイアログが表示される。ここでもドライブレターを確認！



逆に、WBFS形式のドライブをWindows形式にフォーマットしてしまわないよう注意。

製品ゲームをバックアップ

Wii　PC　SD　Card reader　Game　media　etc

cIOS導入済みのWiiとWBFS形式のドライブが用意できたら、次は製品ゲームのバックアップデータを作成しよう。バックアップ作成はコピーゲームの起動で使用する「ゲームローダ」で行なう。ここでは、バックアップの作成方法やパソコンへの保存方法を解説する。

USB Loader GX rev937 日本語スタータパック
作者名●Tantric/papa
ファイル名●GXr937_JpnStarterPack.rar
URL●http://www.megaupload.com/?d=GA6VI72A

Wii WAD Manager Ver.1.7
作者名●Waninkoko
ファイル名●WAD-Manager_v1.7.zip
URL●http://www.mediafire.com/?xid2iyyjqvl

No Soft

ゲームローダーを導入

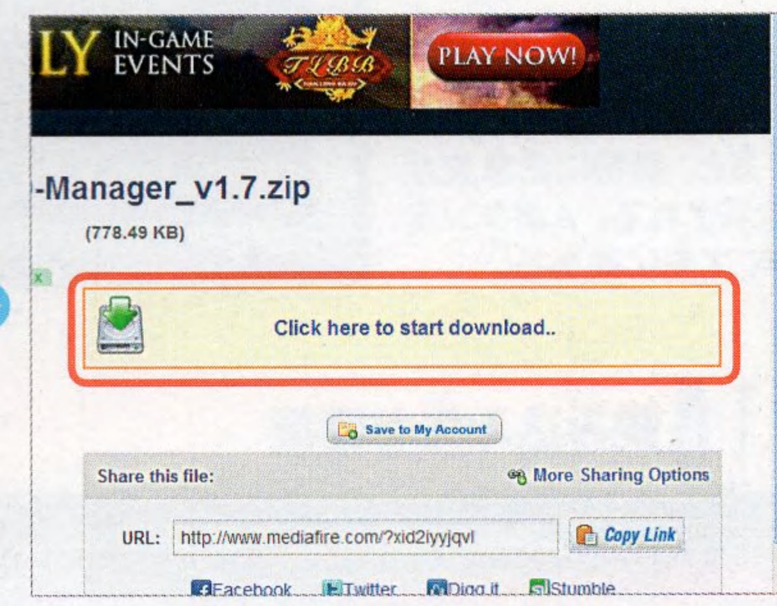
まずはバックアップ機能を備えるゲームローダーをWiiに導入しよう。ゲームのバックアップができるローダーは複数あるが、ここでは多機能ローダー「USB Loader GX」を使用した場合の方法を紹介する。

1 PC ゲームローダーを入手



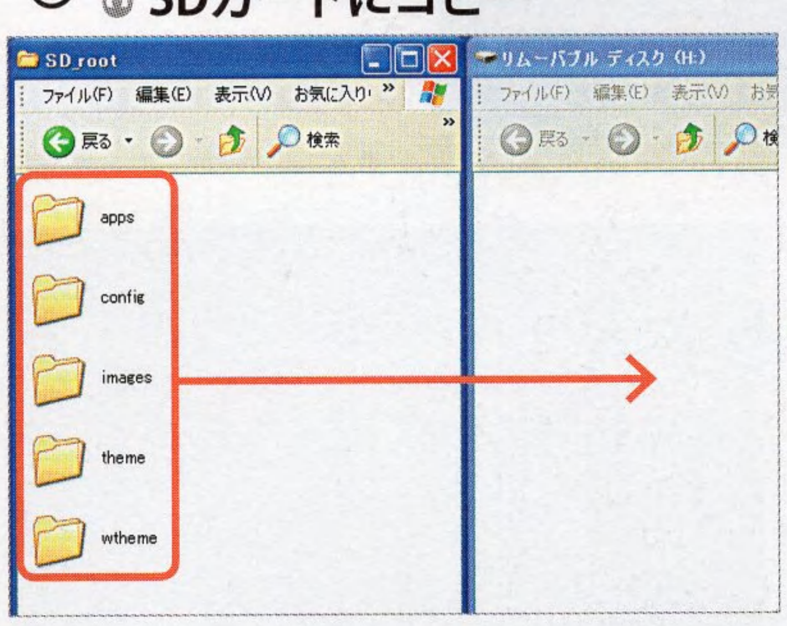
CD-ROM収録のリンクから配布サイトへ移動。アップローダサイトの文字認証をクリアし、「GXr937_JpnStarterPack.rar」を入手。

2 PC 「WAD Manager」を入手



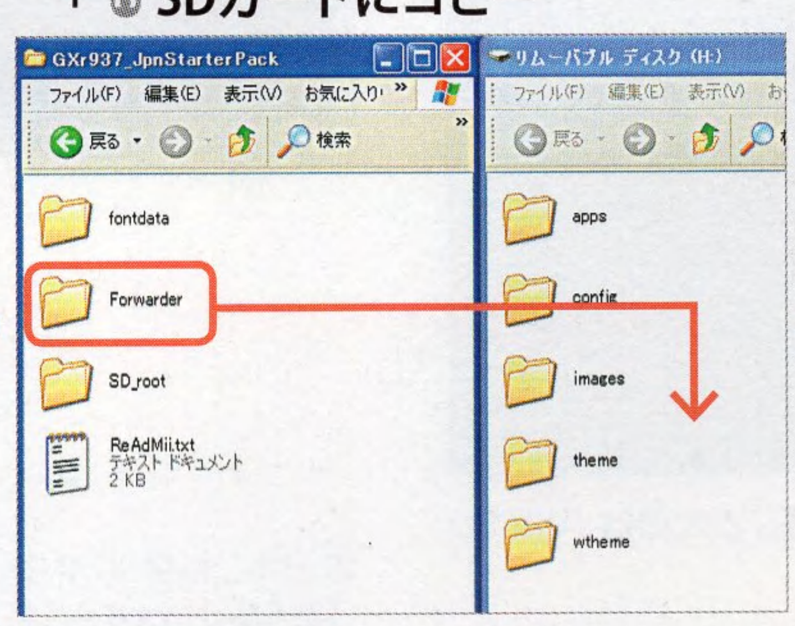
CD-ROM収録のリンクから配布サイトに移動。「Click here to start download..」をクリックし、「WAD-Manager_v1.7.zip」を入手。

3 PC ゲームローダーをSDカードにコピー



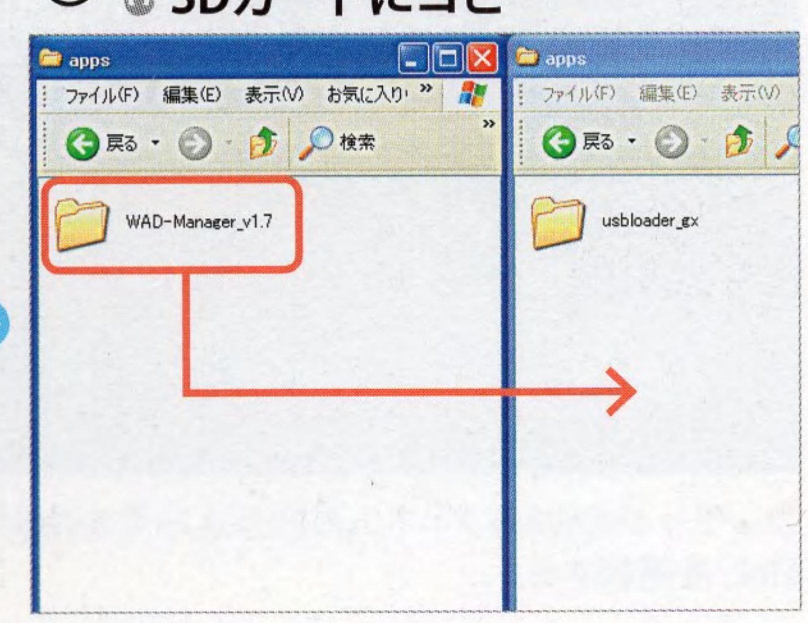
「GXr937_JpnStarterPack.rar」を解凍する。次に、「SD_root」フォルダ内のすべてのファイルをSDカードのルートにコピーする。

4 PC 「フォワーダ」をSDカードにコピー



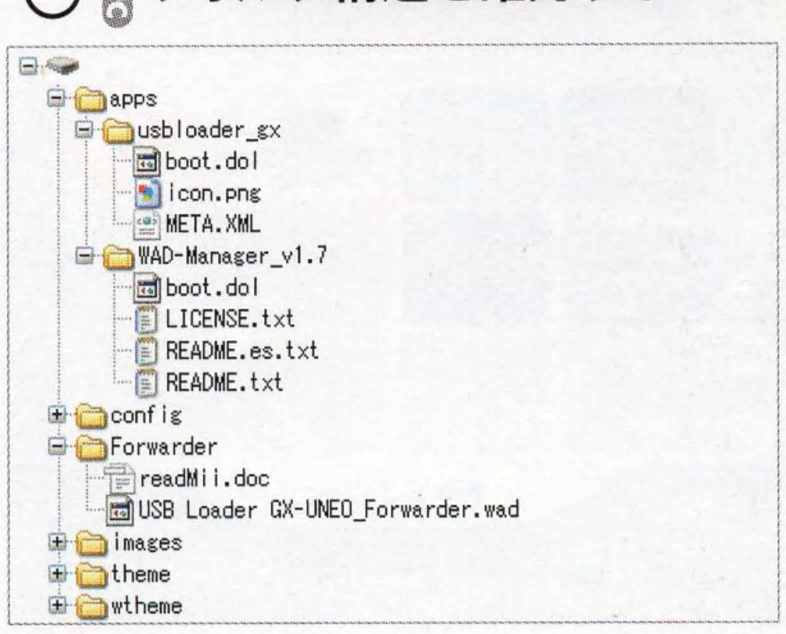
解凍した「GXr937_JpnStarterPack」内に保存されている「Forwarder」フォルダをSDカードnのルートにコピーする。

5 PC 「WAD Manager」をSDカードにコピー



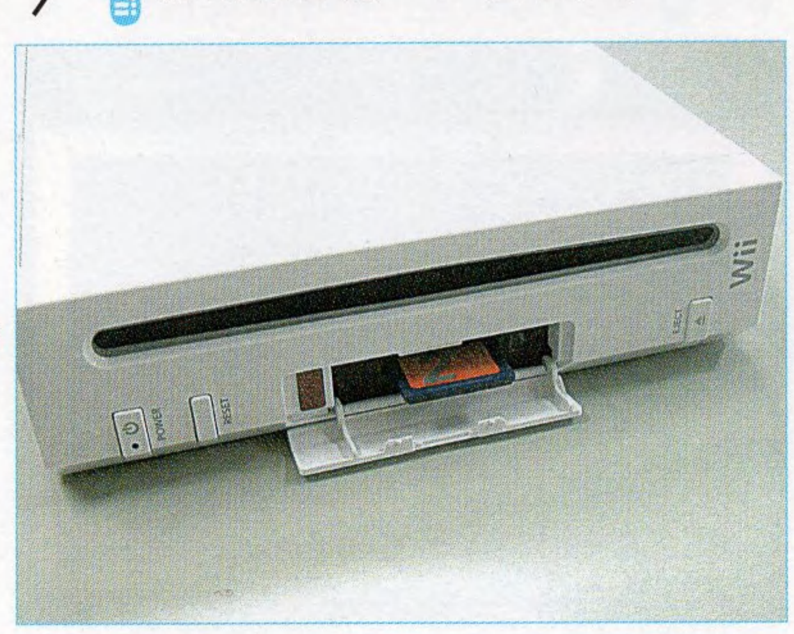
入手した「WAD-Manager_v1.7.zip」を解凍し、「WAD-Manager_v1.7」フォルダをSDカード内の「apps」フォルダ内にコピーする。

6 PC フォルダ構造を確認する



SDカードに保存した各種ツールが、写真と同じフォルダ構造になっているか確認する。

7 Wii WiiにSDカードをセット



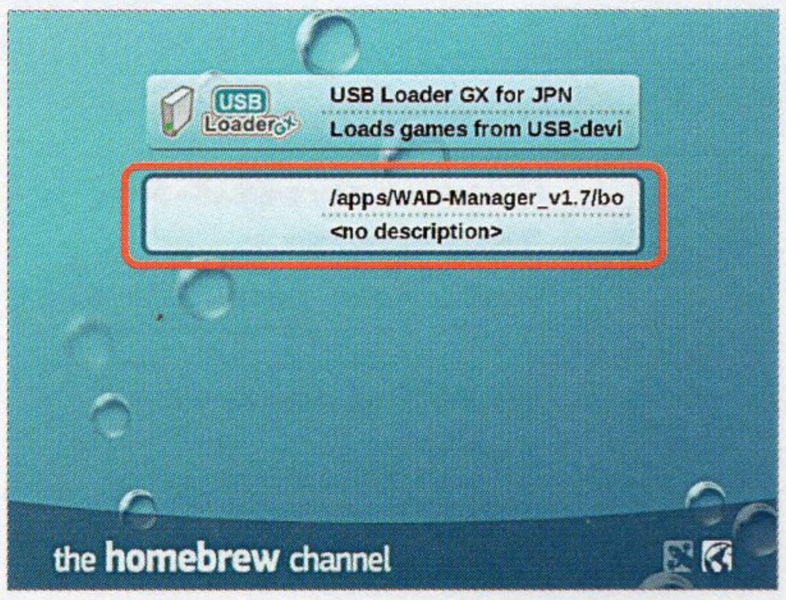
準備したツール入りのSDカードを、Wii前面のSDカードスロットにセットする。

8 Wii HBCを起動する

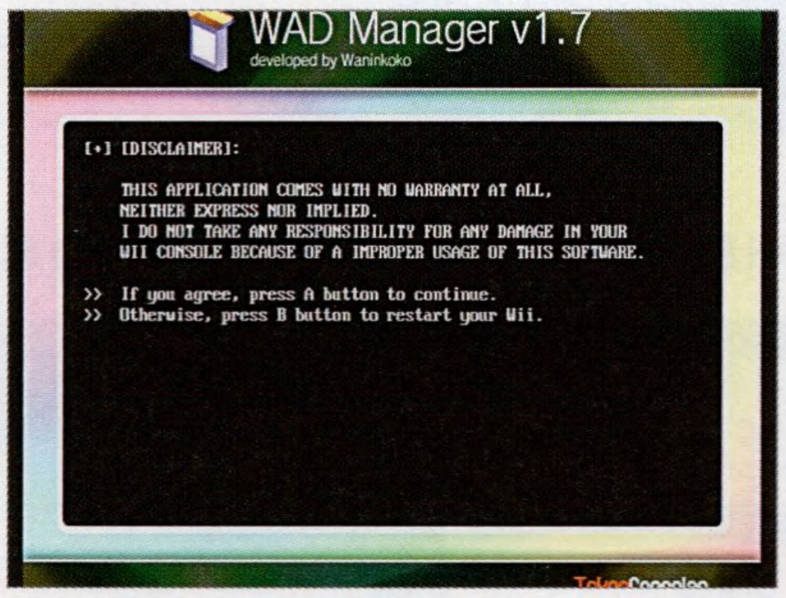


USB Loader GXをチャンネルから起動できるようにするため、フォワーダをインストールする。Wiiメニューから、HBCを起動。

9 「WAD Manager」を起動する

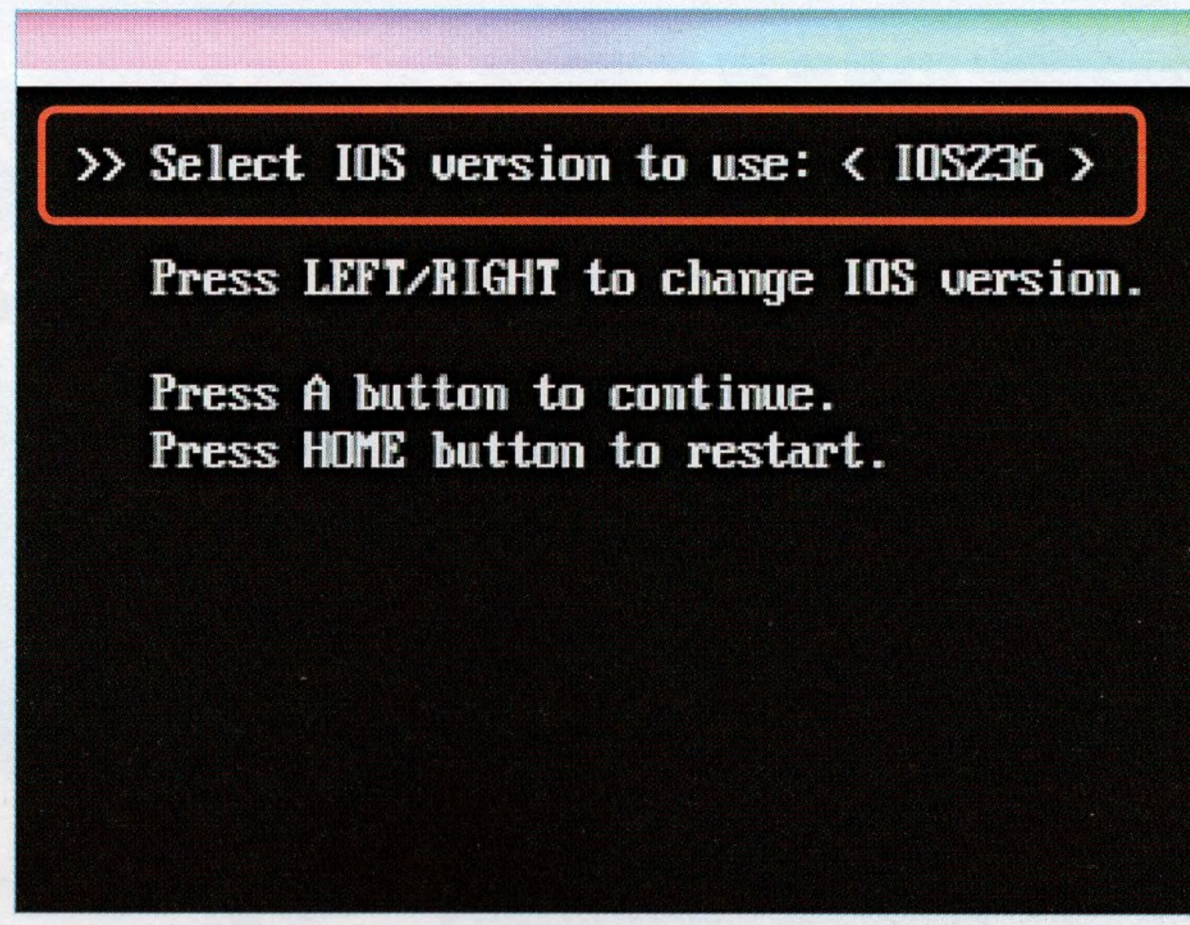


HBCメニュー画面から「/apps/WAD-Manager_～」を選択して、WAD Managerを起動する。



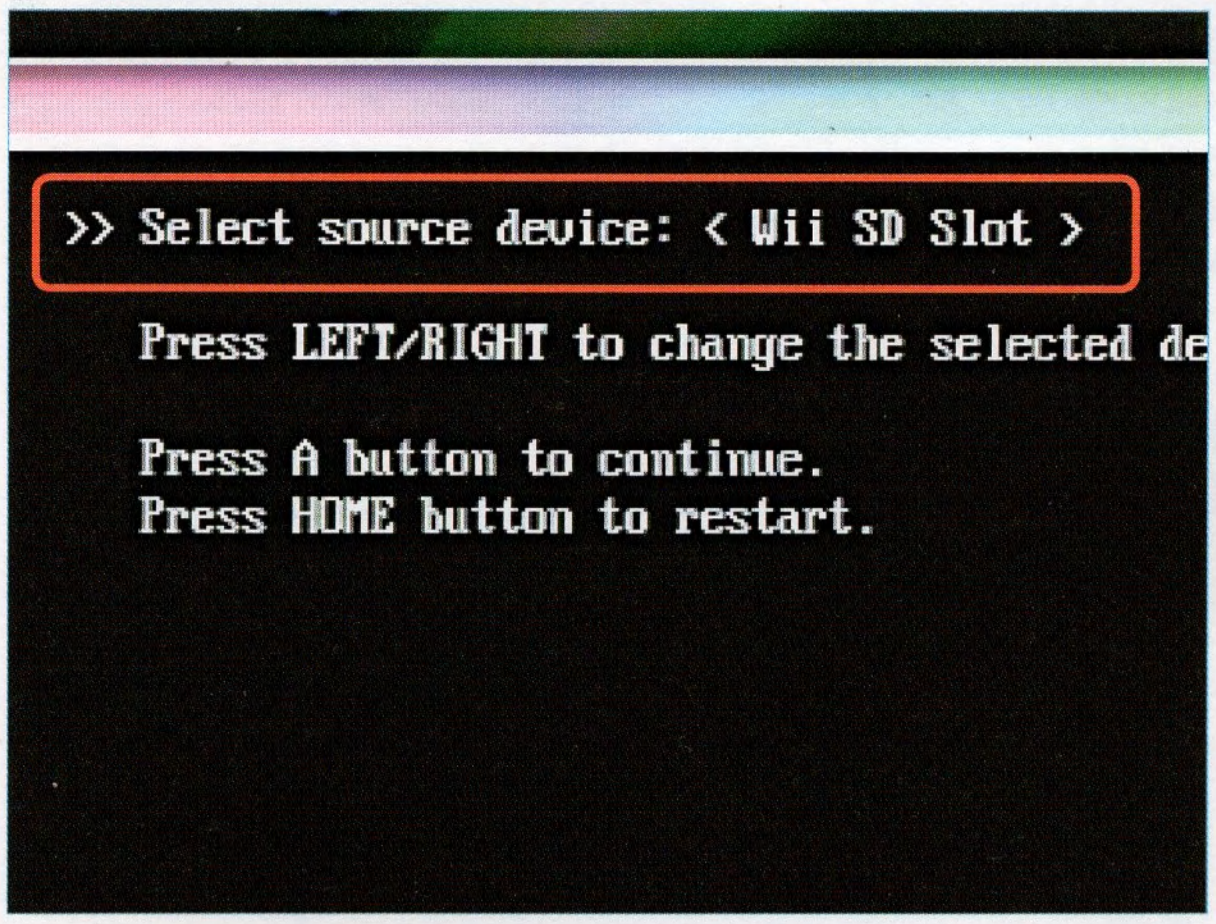
WAD Managerが起動すると、最初に注意文が表示される。Aボタンを押して先に進める。

10 IOSを選択



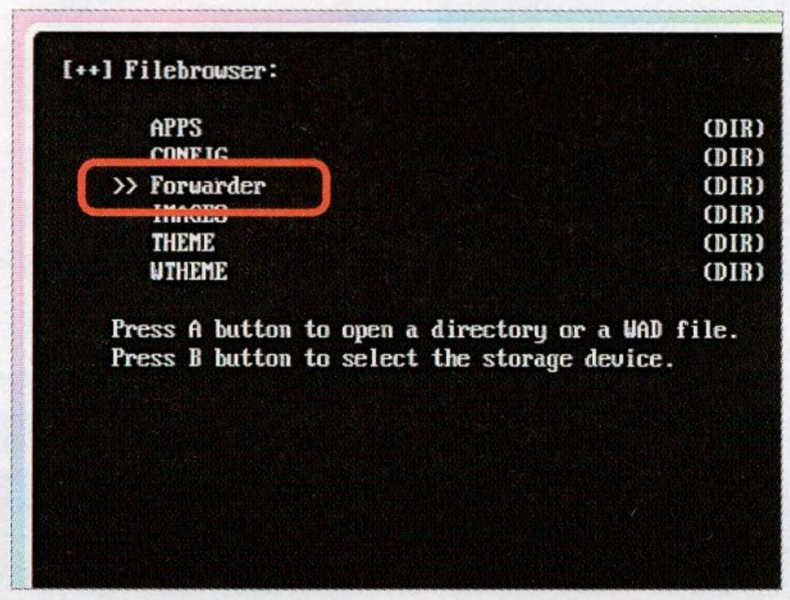
十字ボタンで使用するIOSを選択する。ここでは「IOS236」、もしくは「IOS249」を選択しよう。

11 読み込み先を選択

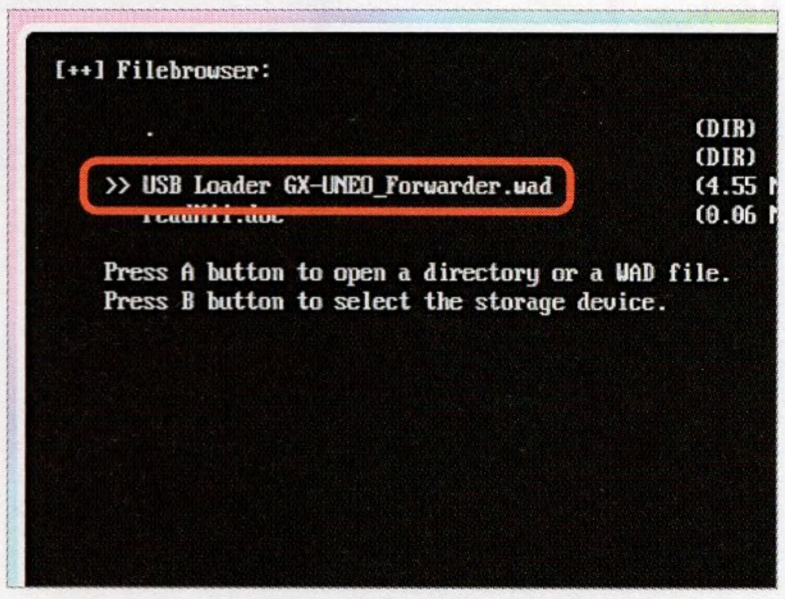


フォワーダのWADファイルの読み込み先を指定する。ここでは「Wii SD Slot」を選択する。

12 「フォワーダ」を選択

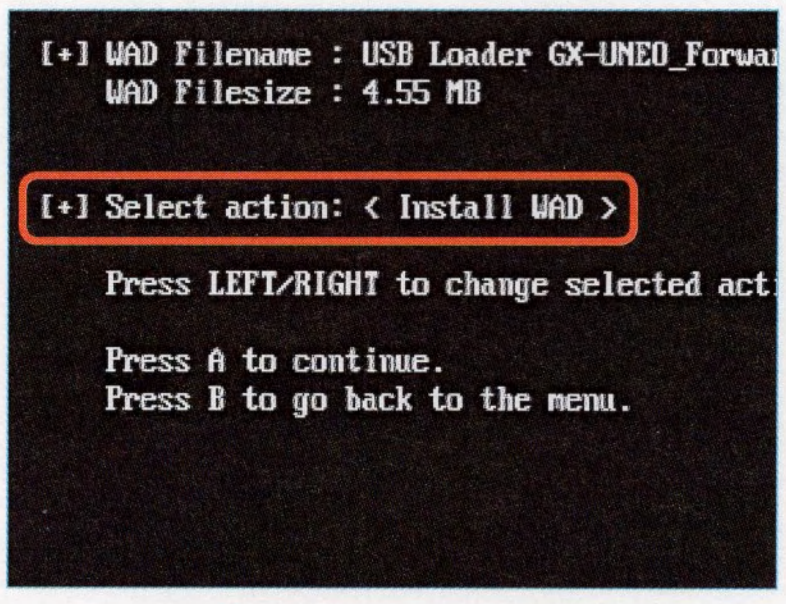


ファイラー表示になるので、十字ボタンで「Forwarder」を選択。Aボタンを押す。



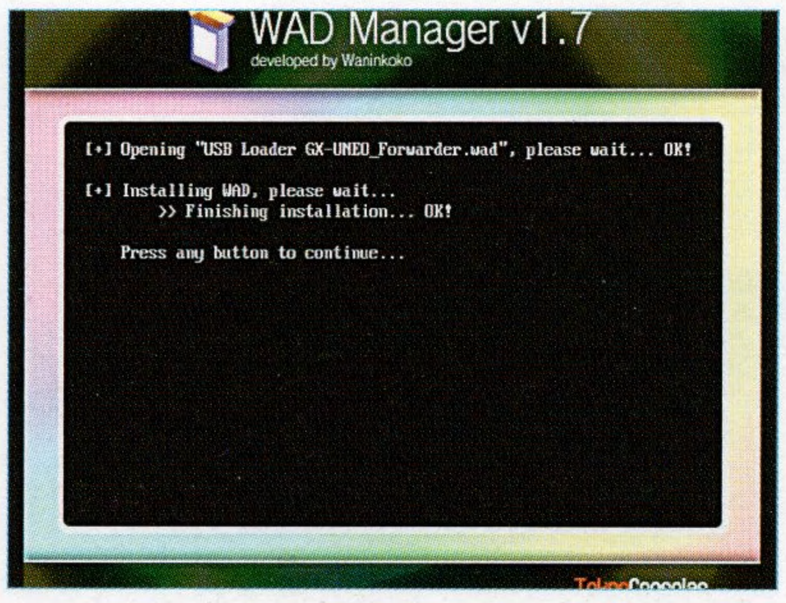
さらに十字ボタンで「USB Loader GX-UNEO_Forwarder.wad」を選択してAボタンを押す。

13 インストールを指定する



WADファイルをどのように処理するか指定する。ここではインストールするので「Install WAD」を選択し、Aボタンを押す。

14 インストールする



インストールはすぐに終了する。写真の画面が表示されれば、インストールは完了だ。

15 チャンネルを確認する



Wiiメニューに戻り、USB Loader GXのチャンネルが作成されているか確認しよう。

製品ゲームをバックアップ

USB Loader GXが導入できれば、製品ゲームをバックアップする準備がすべて整う。バックアップする際は、WBFS形式のドライブと製品版のゲームディスクを使用するので手元に用意しておこう。

1 Wii専用ドライブをセット



Wii背面のUSB端子に、WBFS形式のドライブを接続する。なお、Wii側のUSB接続端子は本体の外側に近い端子を利用すること。

2 ゲームローダーを起動



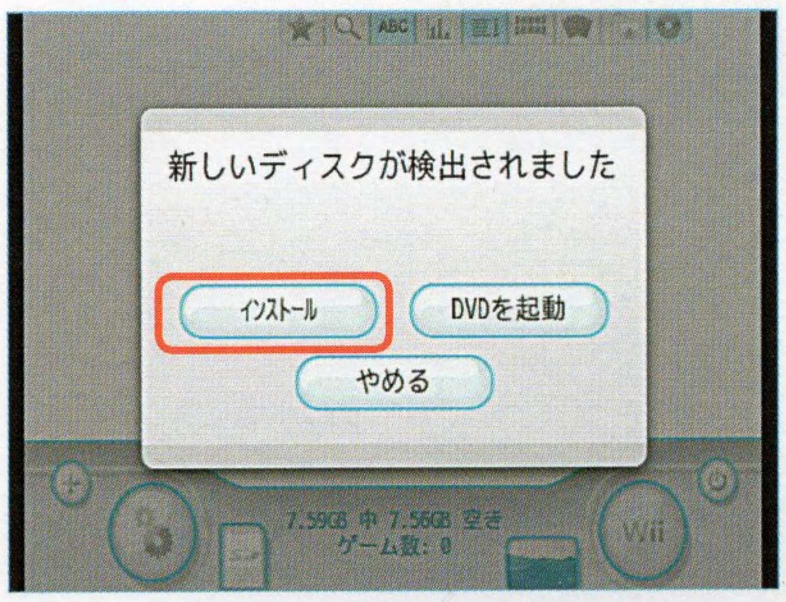
USB Loader GXを保存したSDカードが、Wiiにセットされていることを確認。続いて、Wiiメニューから USB Loader GXを起動する。

3 製品ゲームをWiiにセット



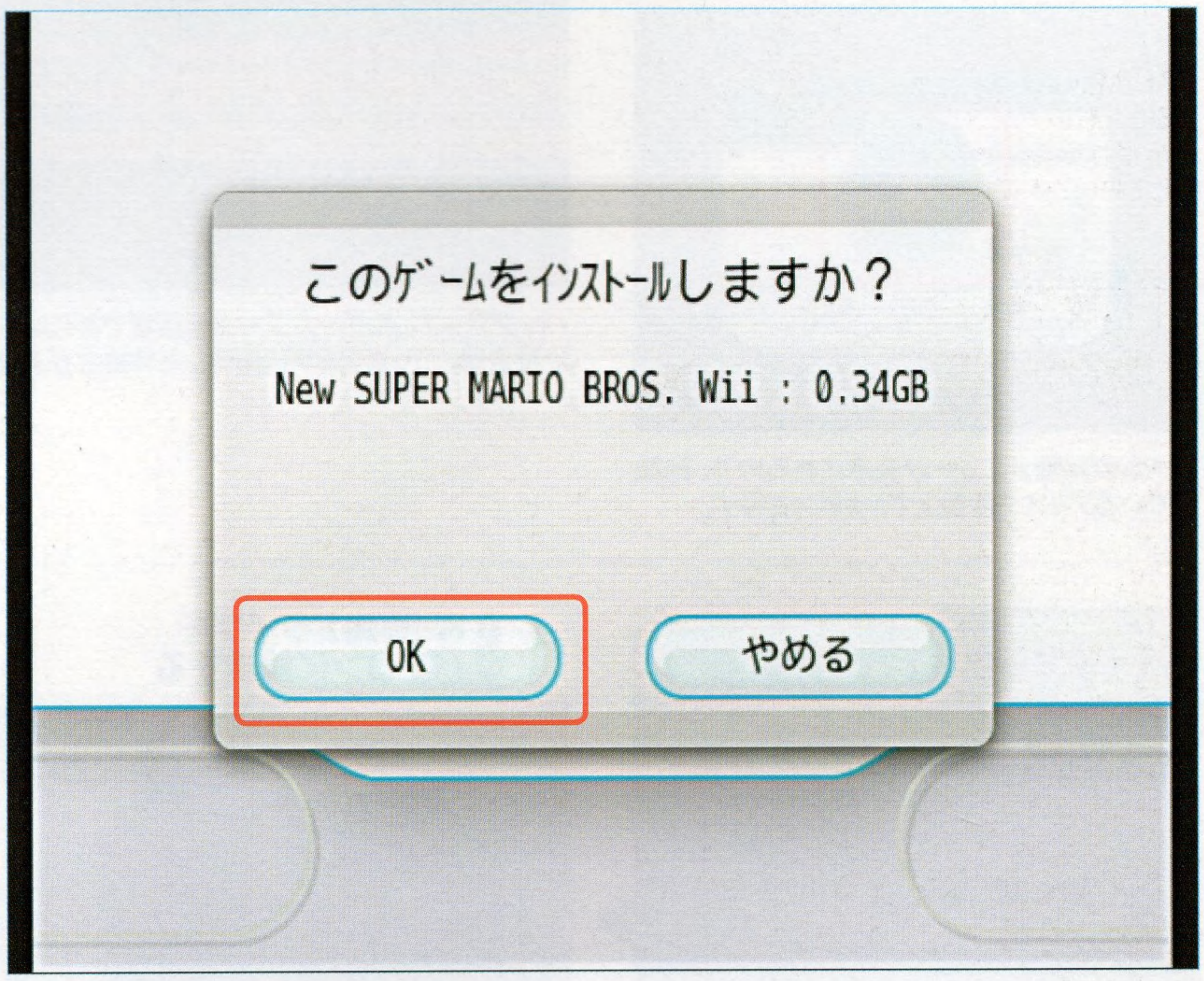
USB Loader GXのメイン画面が表示されたら、バックアップする製品版のゲームディスクをWiiにセットする。

4 バックアップメニューを選択



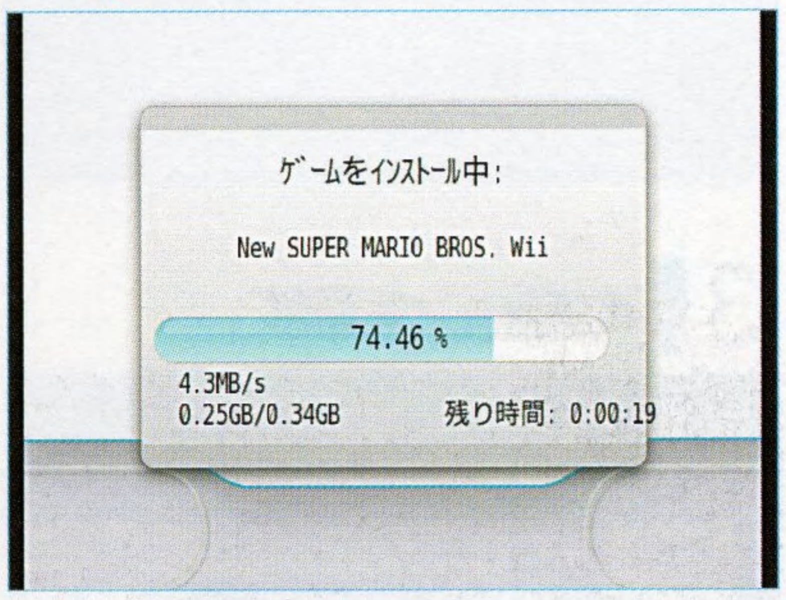
ゲームディスクが検出されると、画面にダイアログが表示される。Wiiリモコンで「インストール」を選択し、Aボタンを押す。

5 製品ゲームをバックアップする



データをインストール（＝バックアップ）するかのダイアログが表示される。セットしたゲームのタイトルを確認し、「OK」を選んでAボタンを押す。

6 バックアップ終了まで待つ



バックアップがはじまるのでしばらく待つ。終了までの時間はデータの容量で異なり、大容量のゲームは数時間が必要なことも。

Wii専用ドライブは先に接続する

Attention!

USB Loader GXをはじめとするUSB系のゲームローダーは、起動直後にWBFS形式のドライブを読み込む。このとき、Wiiにドライブがセットされていないとフリーズしてしまうのだ。USB系のローダーを使用する際は、起動前にWBFS形式のドライブを接続し、そのうえでローダーを起動するようにしよう。



写真はフリーズ時の画面。こうなるとWiiを強制電源オフしなければならなくなる。

7 Wii バックアップしたゲームを選択



バックアップが完了したら、バックアップが正常かを確認するため、テスト起動しよう。リストからゲーム名を選択して、Aボタンを押す。

8 Wii 「ディスク」を選択する



ゲームの起動メニューが表示されるので、回転しているディスク画像上でAボタンを押す。

9 Wii Wiiでコピーゲームが起動する



バックアップしたゲームデータが正常であれば、そのままゲームが起動する。なお、ゲームが起動しない場合は、バックアップに失敗した可能性がある。手順3からバックアップをやり直してみよう。

バックアップをパソコンに保存

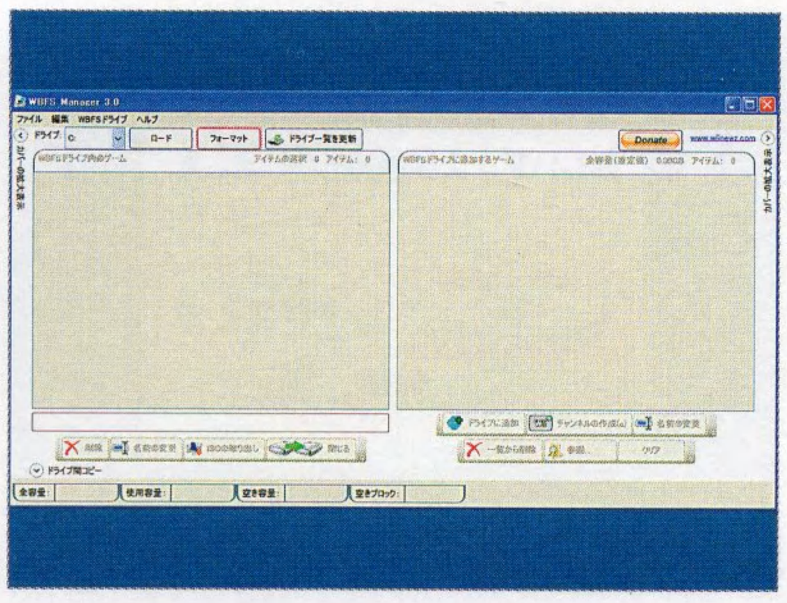
Wii専用のドライブが大容量ハードディスクなら問題ないが、数GBのUSBメモリやSDカードだとバックアップできるゲーム数に限界がある。そこで、プレイしないゲームはパソコンにデータを移そう。

1 PC Wii専用ドライブをパソコンに接続する



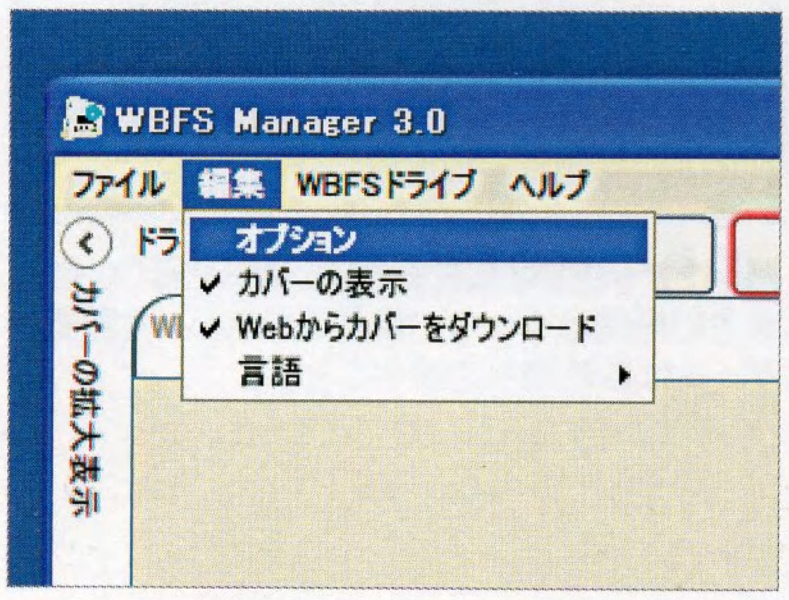
WBFS形式のドライブをWiiから取り外して、パソコンに接続する。

2 PC 「WBFS Manager」を起動



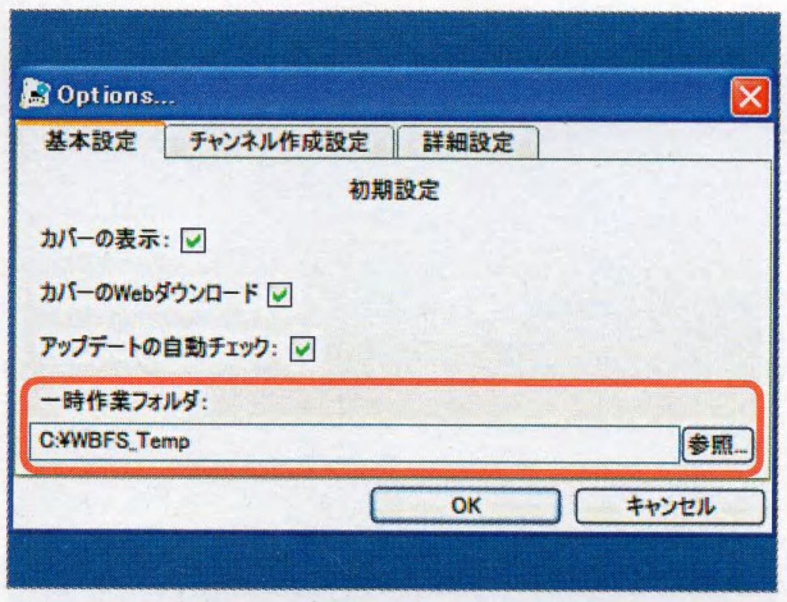
デスクトップのショートカットやスタートメニューから、WBFS Managerを起動する。

3 PC オプションを選択



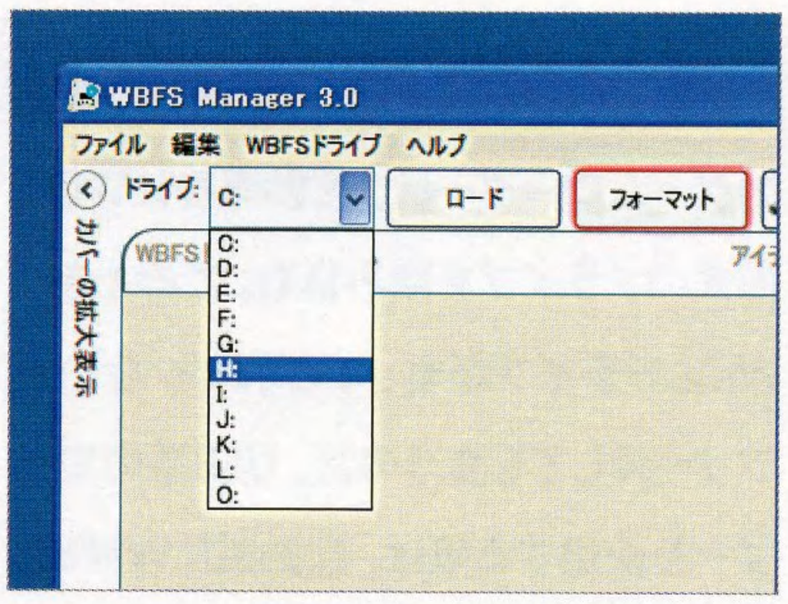
データ転送時のエラーを極力防ぐため、一時フォルダの設定を行なう。「編集」→「オプション」を選択し、設定画面を表示する。

4 PC 一時フォルダを設定する



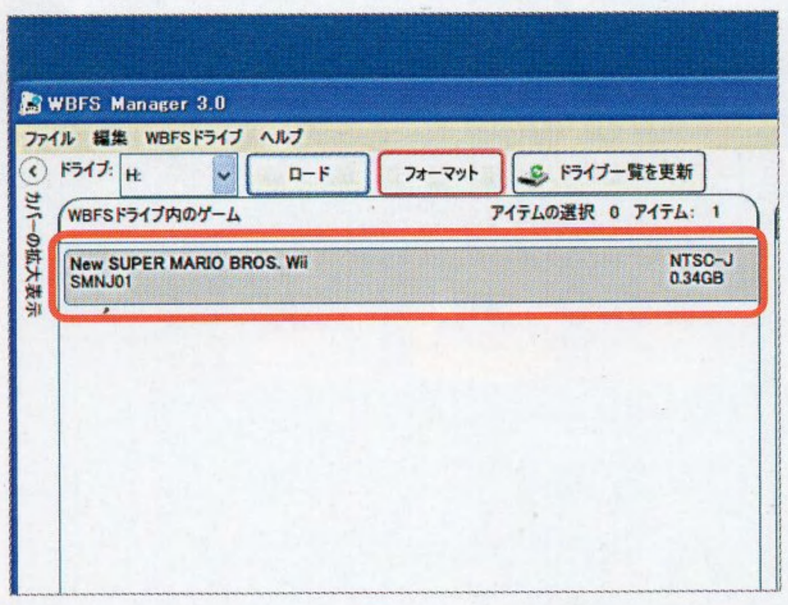
「基本設定」のタブにある一時作業フォルダを変更する。ゲームデータはサイズが大きいので容量に余裕があるドライブを選んでおく。

5 PC ドライブを選択



「ドライブ」のプルダウンメニューからWBFS形式のドライブを選択する。

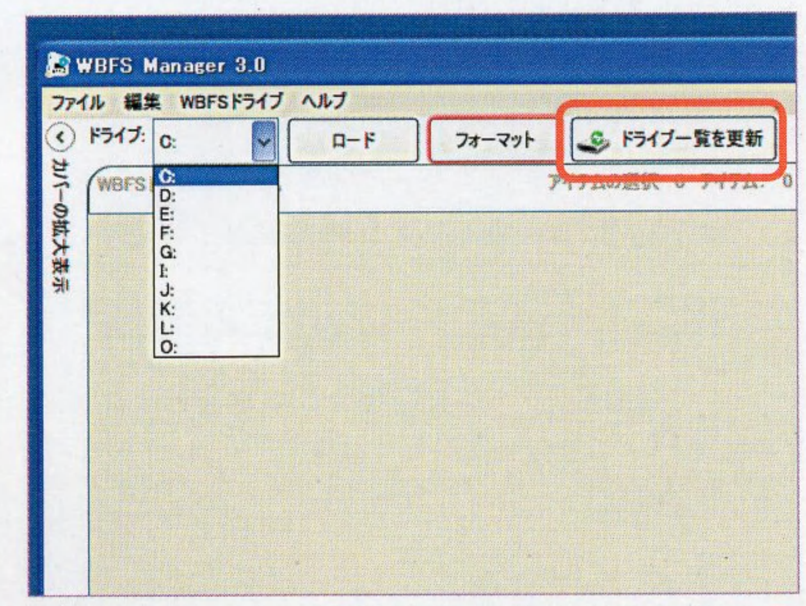
6 PC ドライブの内容をロード



「ロード」ボタンをクリックすると、選択したドライブの内容が表示される。先ほどバックアップしたゲームが表示されるはずだ。

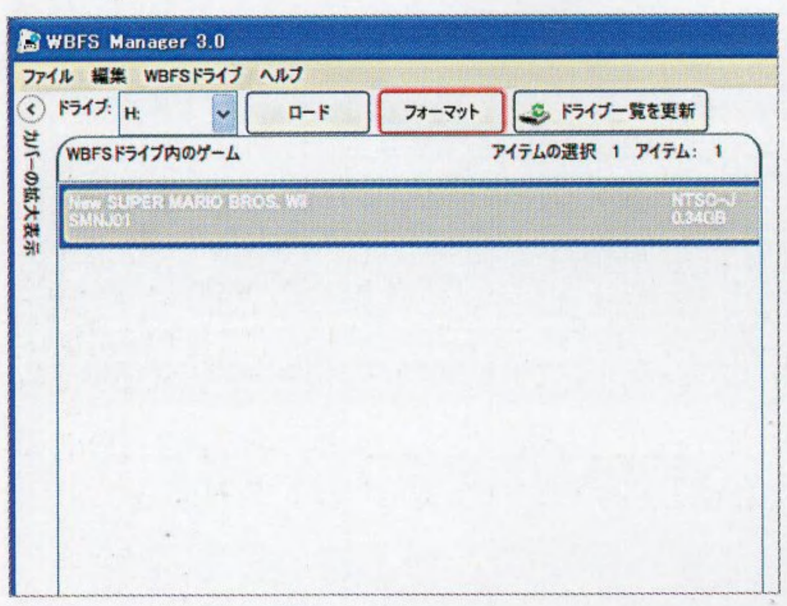
ドライブが認識されないときは？ Point

WBFS形式のドライブを接続したのに、「ドライブ」のプルダウンメニューに表示されない場合は、「ドライブ一覧を更新」をクリックすればよい。WBFS Managerはソフト起動時にドライブの接続状態を取得する。そのため、起動後に接続したドライブを認識するには接続情報の更新が必要なのだ。

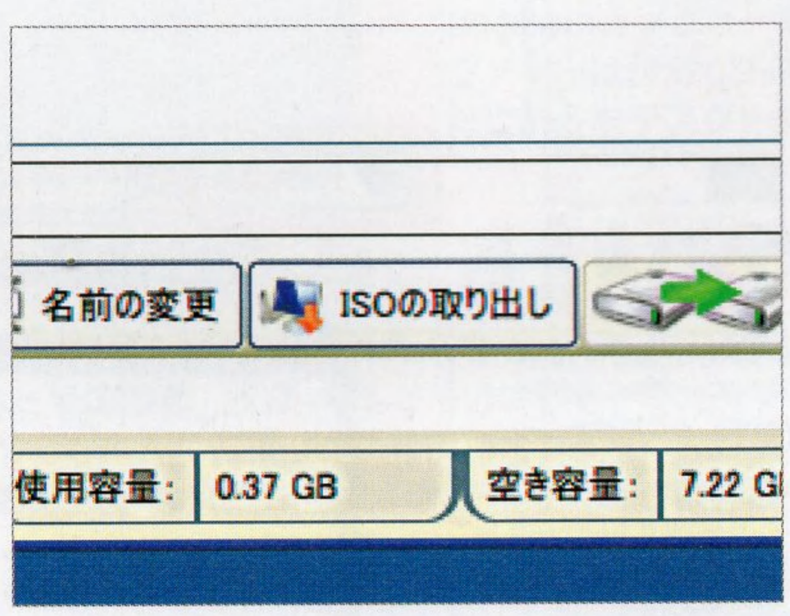


WBFS Manager起動後にドライブの着脱を行なった場合は、ドライブ一覧を更新しよう。

7 PC 保存するゲームを選択

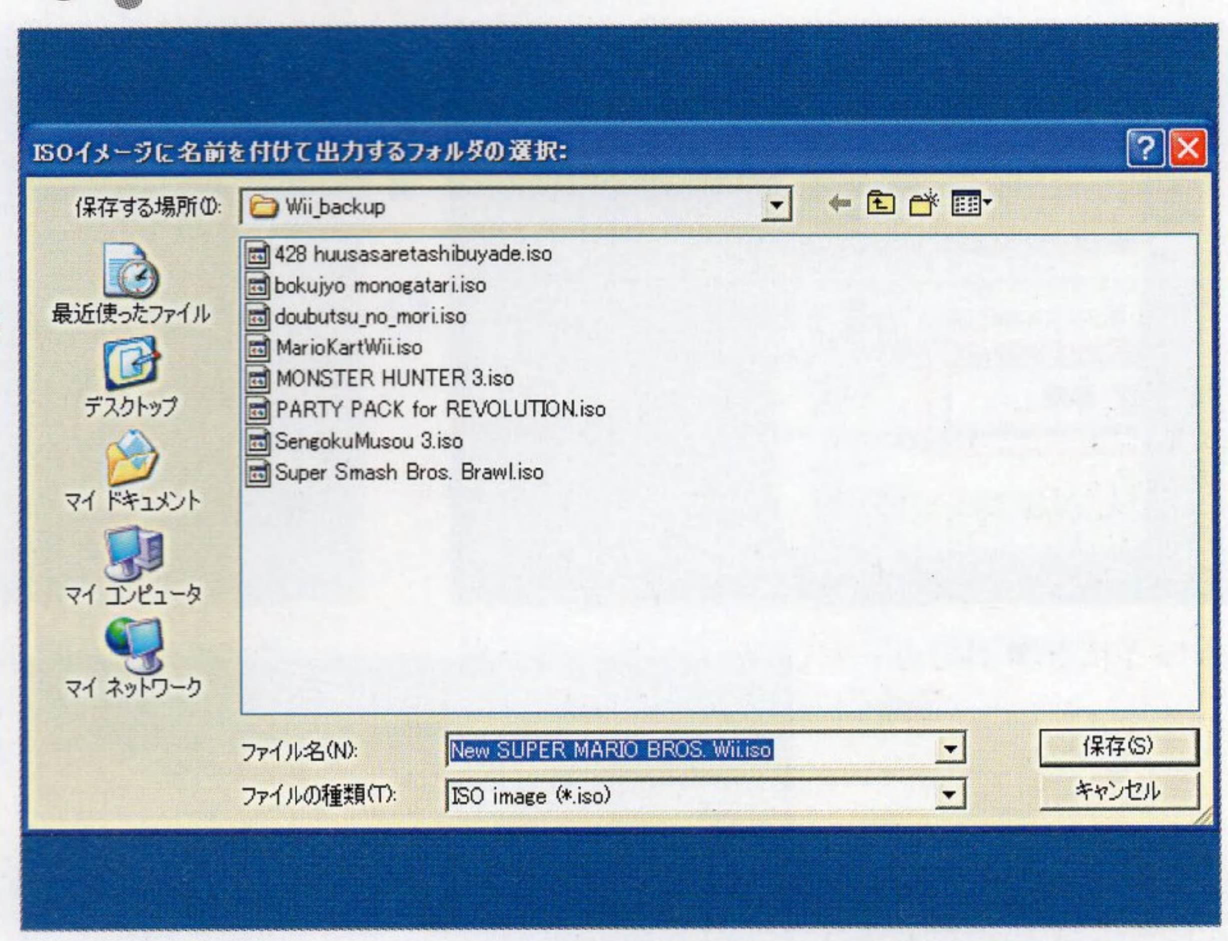


WBFSドライブ側のゲームリストから、パソコンに移したいゲームを選択する。



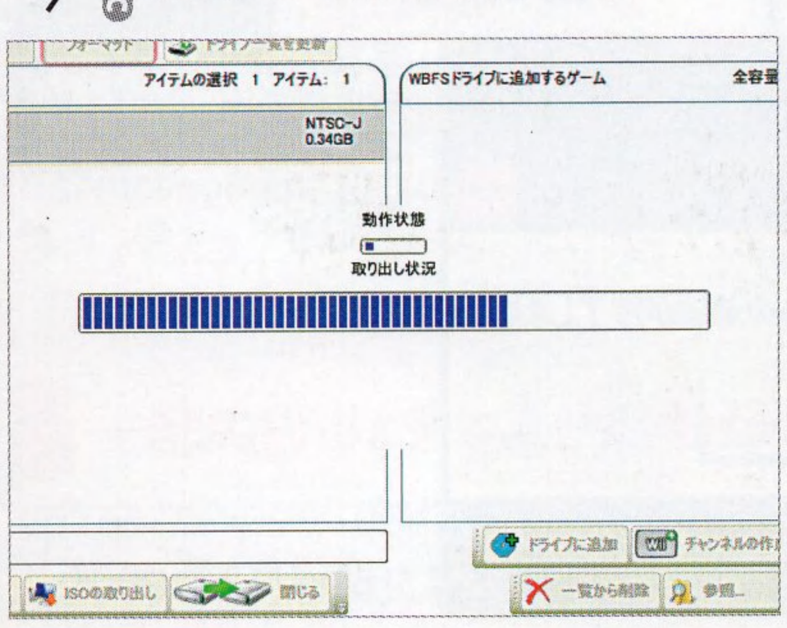
WBFSドライブ側のゲームリストの下にボタンが並んでいるので、その中にある「ISOの取り出し」ボタンをクリックする。

8 PC 保存先を選択する



ファイル保存のダイアログが表示されるので、バックアップデータの保存先を指定しよう。なお、保存されるISOファイルはDVD-ROMのイメージとなるので、ファイルサイズが4.37GBにおよぶ。保存先とするドライブの容量にも注意しておこう。

9 PC ISOファイルを取り出す

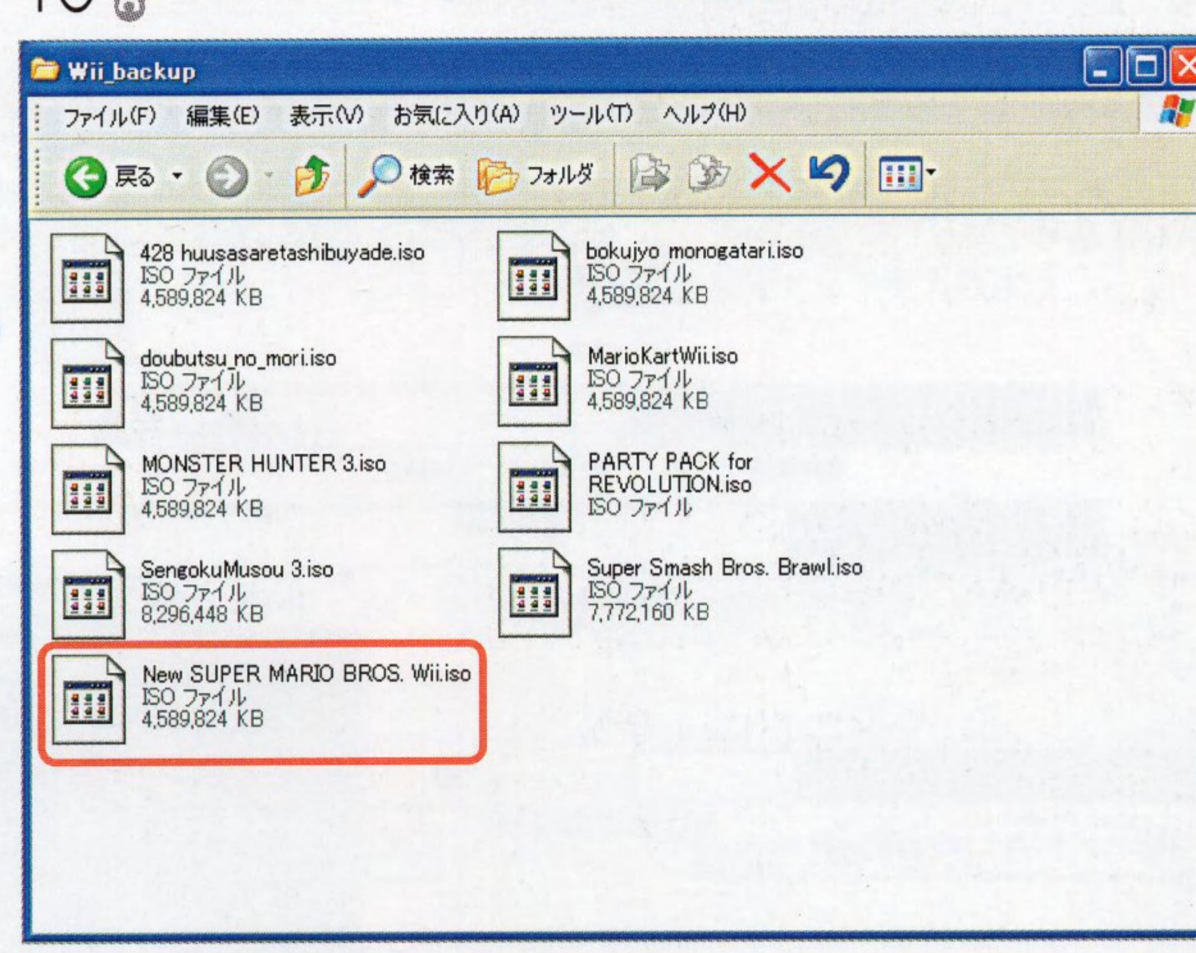


WiiのゲームデータはそのままではWindows上に保存できないため、ISO形式のイメージファイルに変換されて取り出される。



取り出し開始から数分待つと、写真のダイアログが表示される。これで、ゲームデータの取り出しは完了だ。

10 PC バックアップがパソコンに保存される



手順8で指定した場所を開き、取り出したゲームのISOファイルを確認しよう。ファイルの保存が確認できたら、WBFSドライブ側のゲームデータは削除してもよい。

データをWiiドライブに戻す

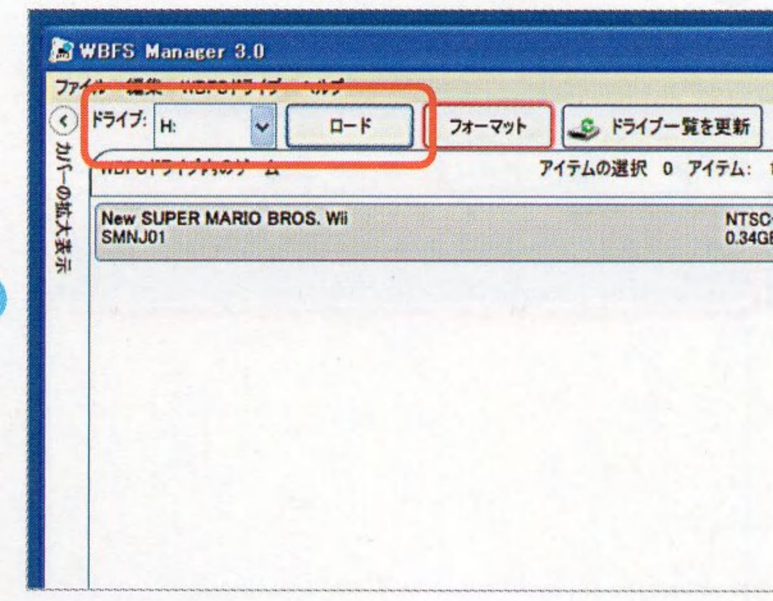
パソコンに保存したゲームをWBFS形式のドライブへ戻したいときは、WBFS Managerを利用しよう。ISOの取り出しと同様に、簡単にゲームデータをWBFS形式のドライブへコピーすることができるぞ。

1 Wii専用ドライブをパソコンにセットする



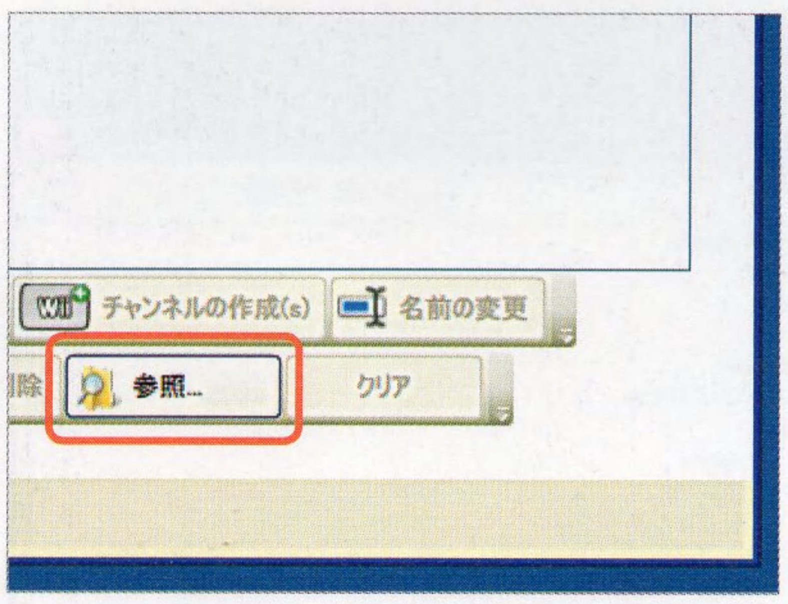
WBFS形式のドライブをパソコンに接続する。すでに接続されている場合はそのままでよい。

2 ドライブを認識させる

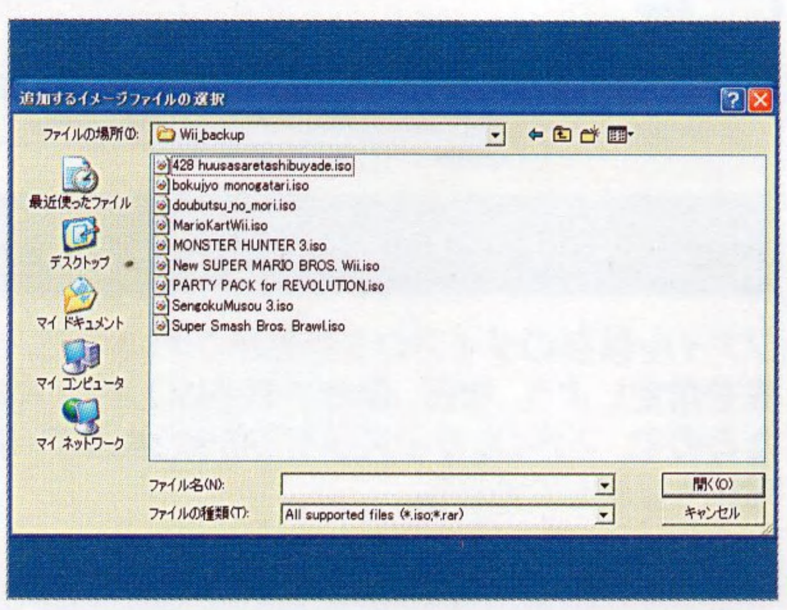


WBFS Managerを起動し、WBFS形式のドライブを選択。さらに「ロード」ボタンをクリックしてドライブの内容を表示する。

3 バックアップデータを指定する



右のウインドウの下にボタンが並んでいるので、その中にある「参照」ボタンをクリック。



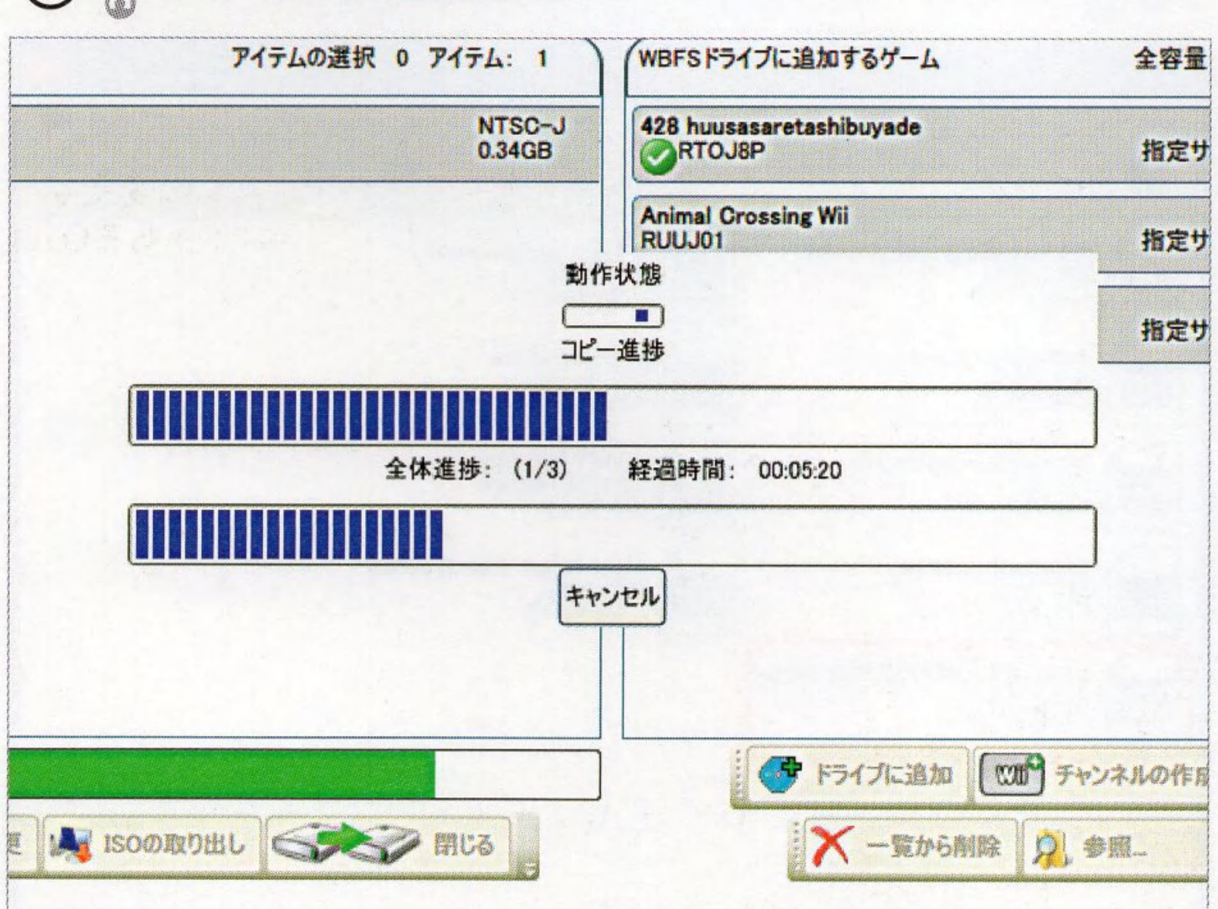
選択ダイアログが表示されるので、ドライブに戻したいゲームを指定する。その後、「開く」ボタンをクリックする。

4 ISOファイルを読み込む



選択したゲームが表示されるので「ドライブに追加」ボタンをクリックしてゲームデータをコピーしよう。なお、複数のゲームをまとめて読み込み、一括コピーすることも可能だが、読み込んだゲームの容量がWBFSドライブの容量を超えると正常にコピーされないので注意しよう。

5 ドライブに追加する

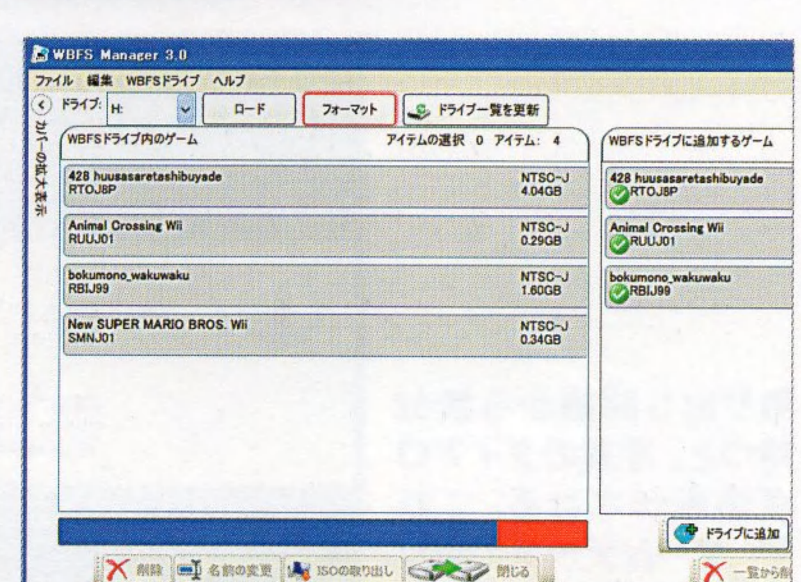


右のウインドウに表示されているすべてのゲームが、WBFSドライブにコピーされる。追加するゲームの数が多く、全体のデータ容量が大きくなった場合は、相応の時間を要するので注意しよう。

6 ゲームが追加される



写真のダイアログが表示されると、WBFSドライブへのゲームの追加は完了だ。



ドライブに追加したゲームは、WBFS Managerの左側のウインドウに表示されるぞ。

ゲームのコピーディスクを作る

Wii PC SD Card reader Game media etc

バックアップISOファイルをDVD-Rに書き込めば、製品ゲームのコピーディスクが作れる。もちろん、ディスク起動対応のローダーを使えば、コピーディスクからゲーム起動することが可能だ。ここでは、ライティングソフトの導入からコピーディスク作成までを解説する。

ImgBurn Ver.2.5.1.0
作者名●LIGHTNING UK!
ファイル名●SetupImgBurn_2.5.1.0.exe
URL●http://www.imgburn.com/

ImgBurn Ver.2.5.1.0 日本語ランゲージファイル
作者名●日本語化工房-KUP
ファイル名●imgburn2510_jp3.zip
URL●http://www.nihongoka.com/jpatch_main/imgburn

No Soft

ライティングソフトを導入

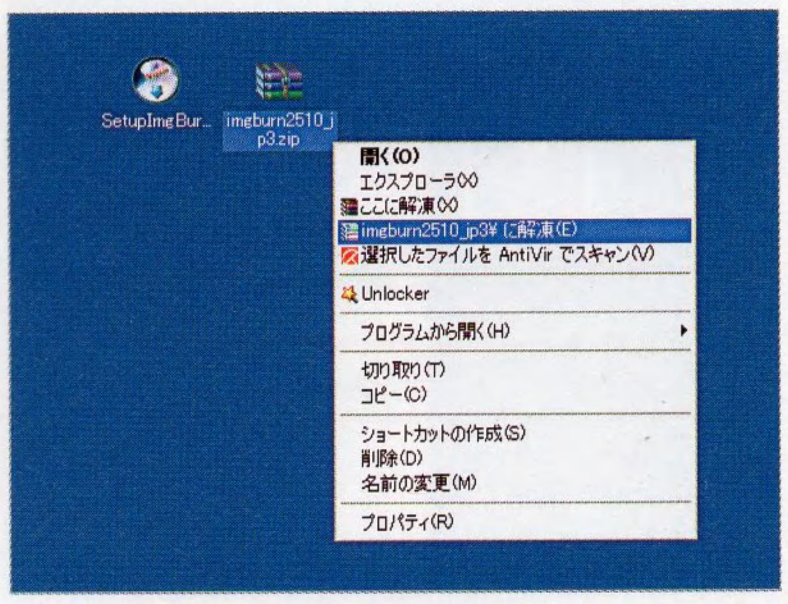
DVDのライティングソフトは複数があるが、本誌のオススメは「ImgBurn」だ。このソフトは書き込みの安定性に定評があり、2層ディスクの書き込みにも対応する。まずはこのソフトを導入しよう。

1 PC ライティングソフトを用意する



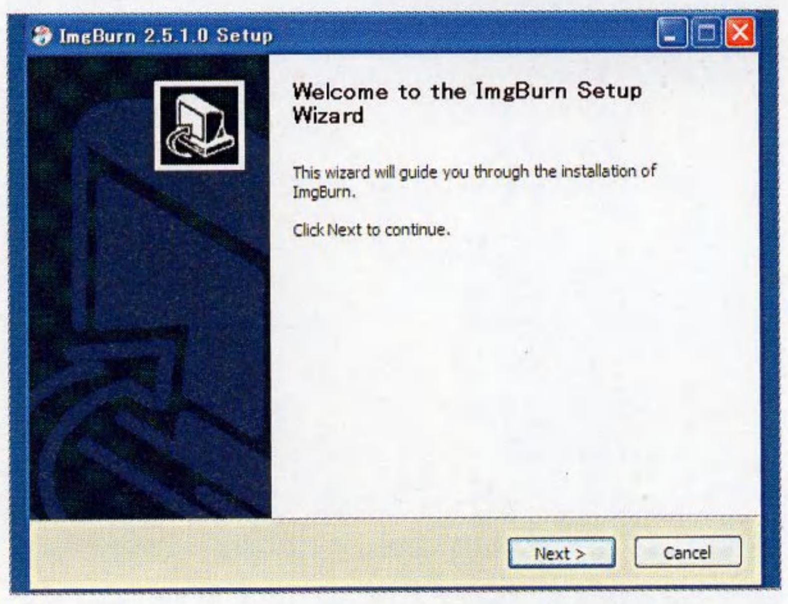
ImgBurnとメニューを日本語化するランゲージファイルは付録CD-ROMに収録している。まずはこれらをデスクトップにコピーしよう。

2 PC 日本語ファイルを解凍する



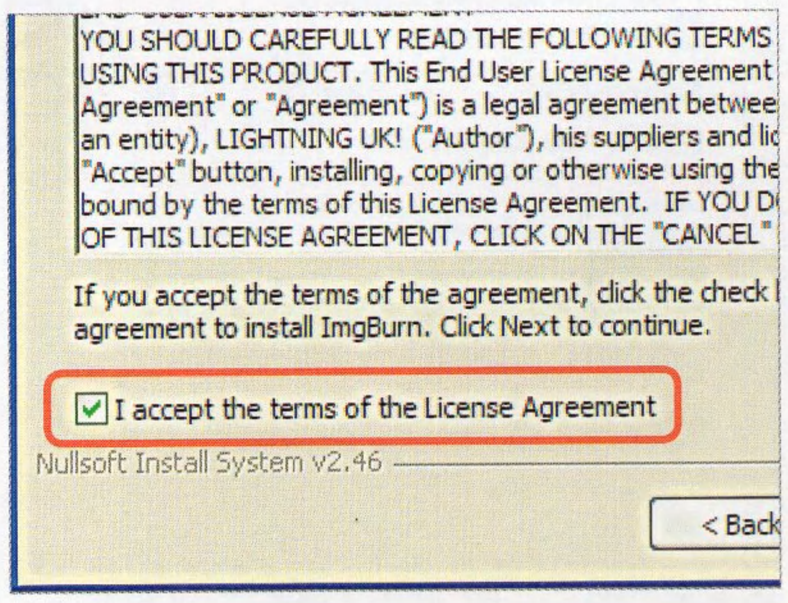
日本語のランゲージファイルは圧縮されているので、あらかじめ解凍しておく。

3 PC インストーラを起動する



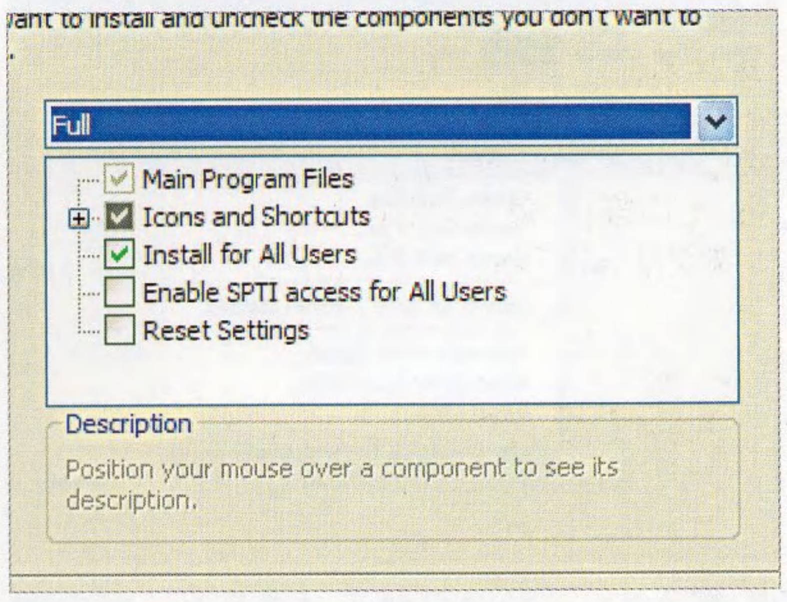
「SetupImgBurn_2.5.1.0.exe」をダブルクリック。インストーラを起動する。

4 PC ライセンスを確認する



ライセンスが表示されるので、ざっと確認して「I accept ～」にチェック。「Next」ボタンをクリックしてインストールを進める。

5 PC コンポーネントを選択

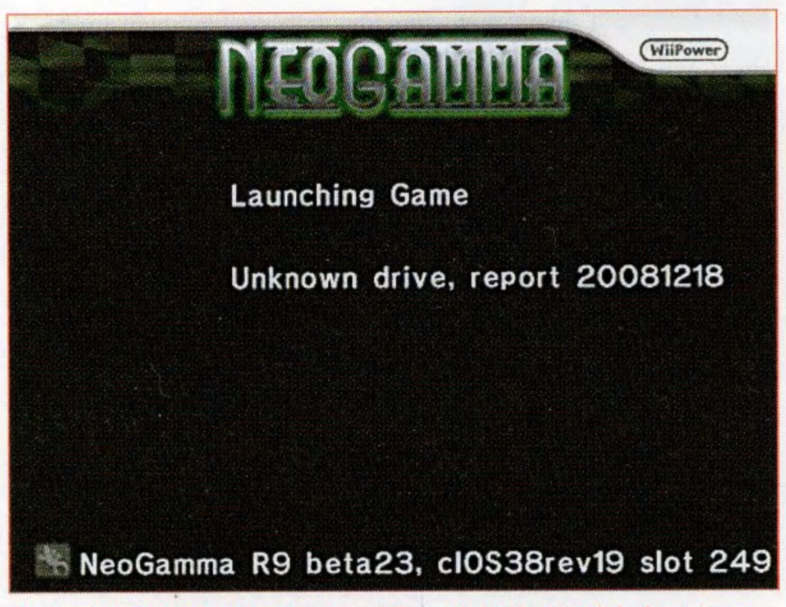


インストール項目を選択する。とくに変更する必要はないが、Vistaなどの「UAC」があるOSは「～ All Users」にチェックを入れよう。

一部のWiiはディスク起動ができない

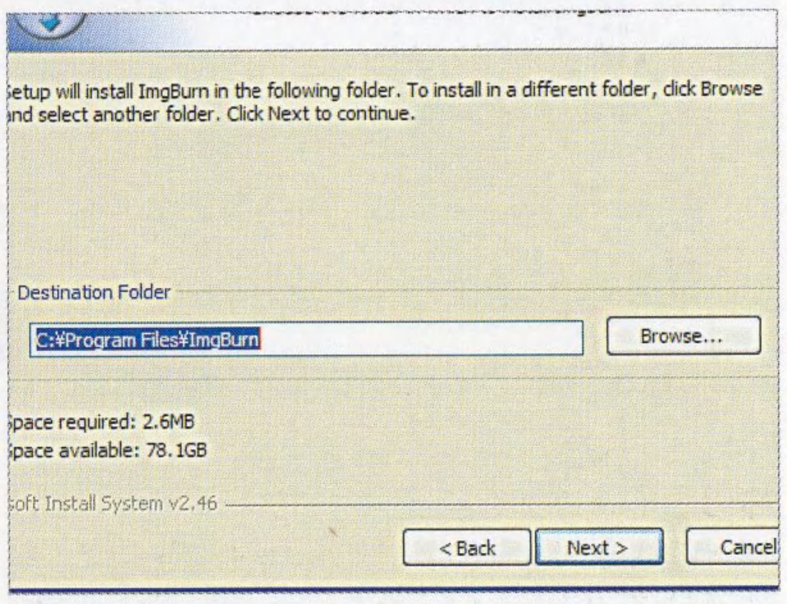
Attention!

2009年8月以降に製造・販売された比較的新しいWiiは、DVDドライブの内部基板にコピー対策が施されており、コピーディスクからの起動ができなくなっている。手持ちのWiiが対策済みの本体だと、せっかく作成したコピーディスクが無駄になってしまう。作成前は対策の有無を確認しておこう。



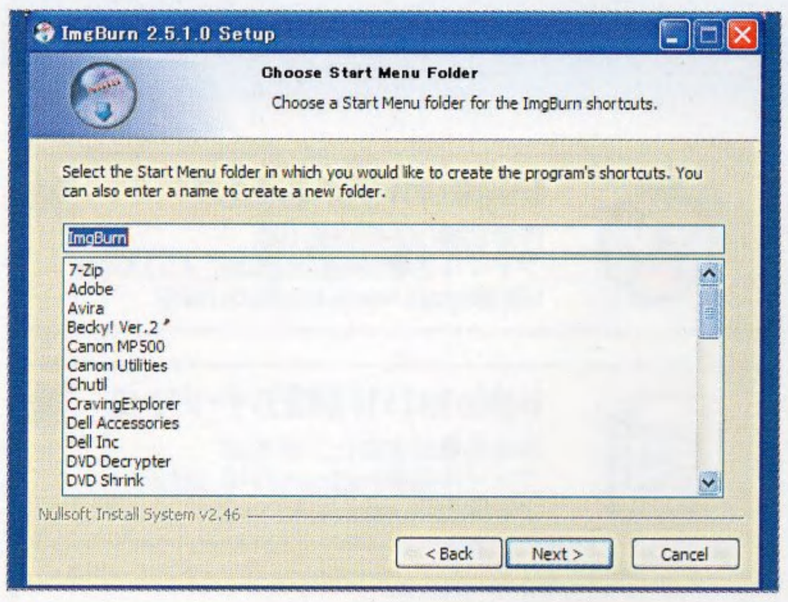
対策済みのWiiでは、ディスク起動対応のローダーを使ってもエラーとなってしまう。

6 PC インストール先を指定



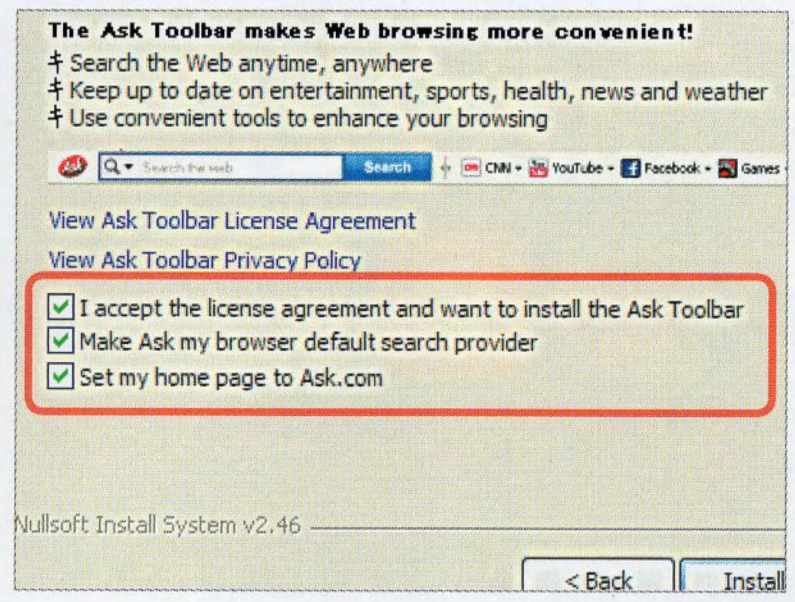
インストール先は変更する必要がないので、「Next」をクリックしてそのまま次へ進もう。

7 PC スタートメニューの設定



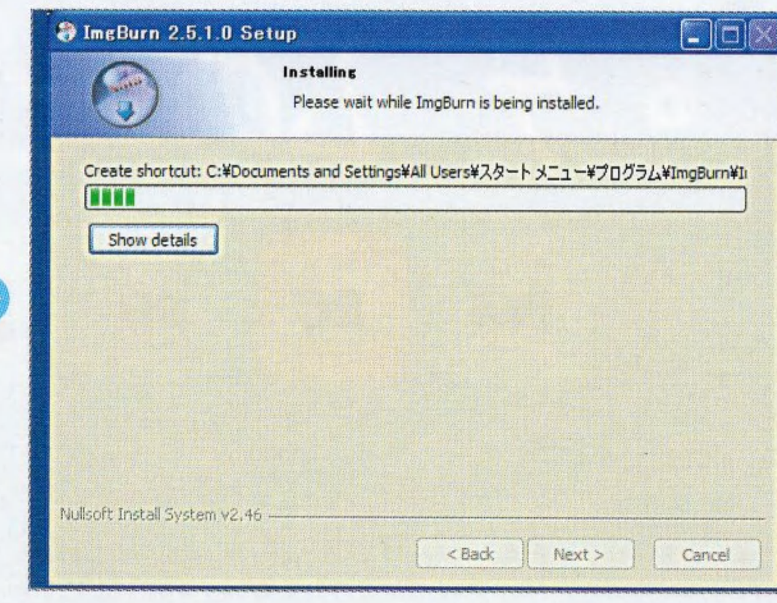
スタートメニューに登録するかどうかを設定できる。初期状態のままでよい。

8 PC バンドルソフトの設定



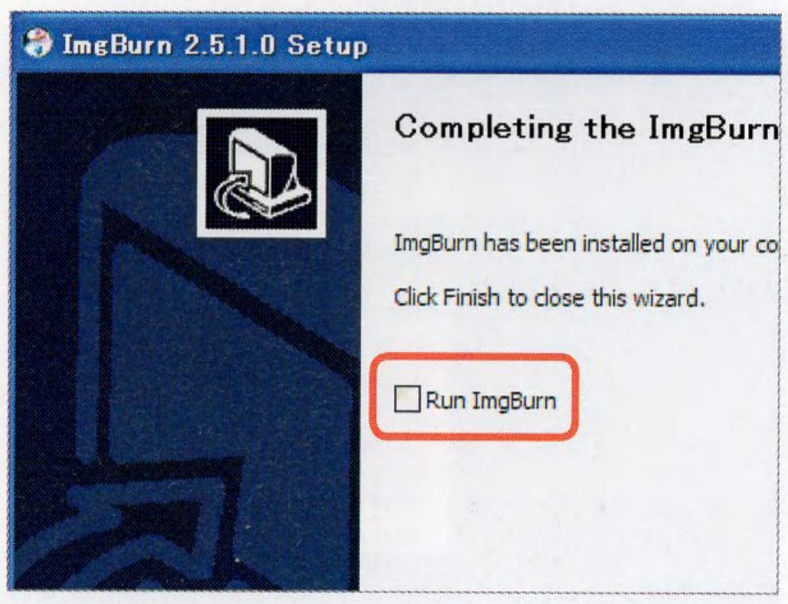
ImgBurnに同梱されているツールバーのインストール設定を行なう。インストールしない場合は「I accept ～」のチェックを外そう。

9 PC インストールする



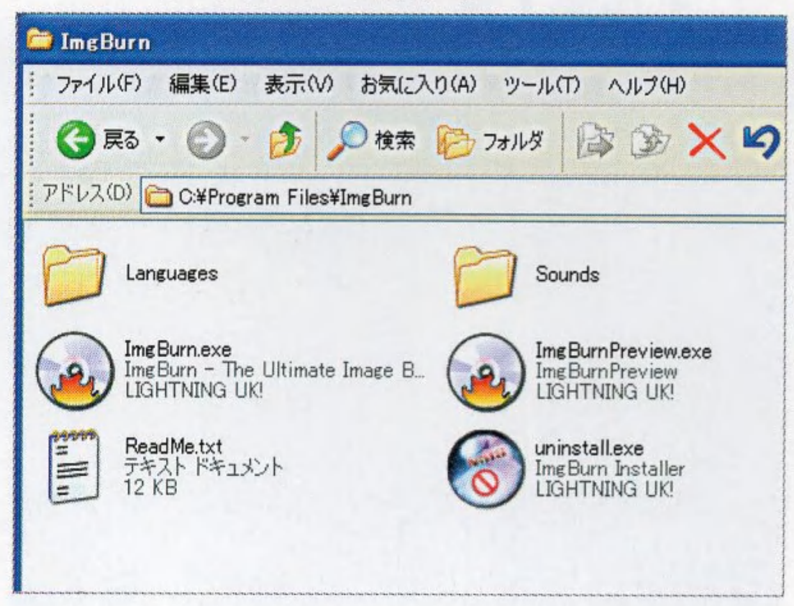
すべての設定を終えると、インストールが開始される。インストールはすぐに終了する。

10 PC インストール完了



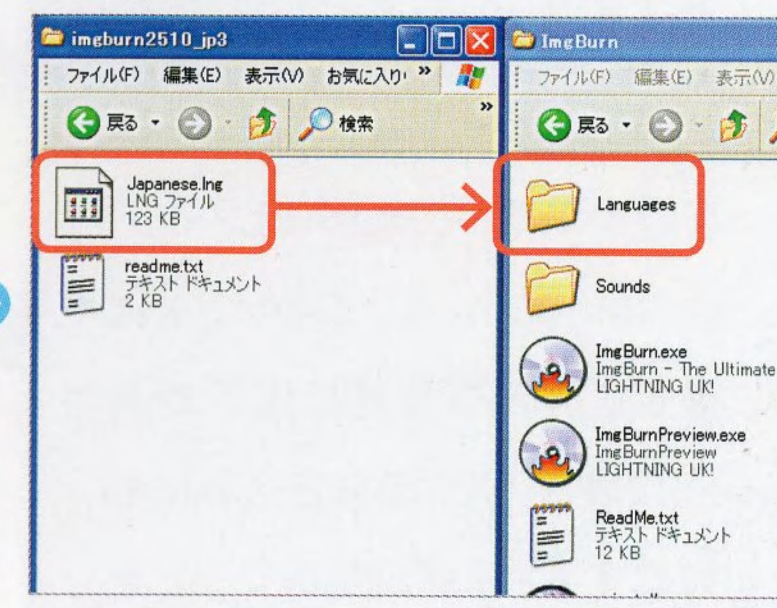
写真の画面が表示されると、インストールは完了。「Run ImgBurn」のチェックを外してインストーラを終了する。

11 PC インストール先のフォルダを開く



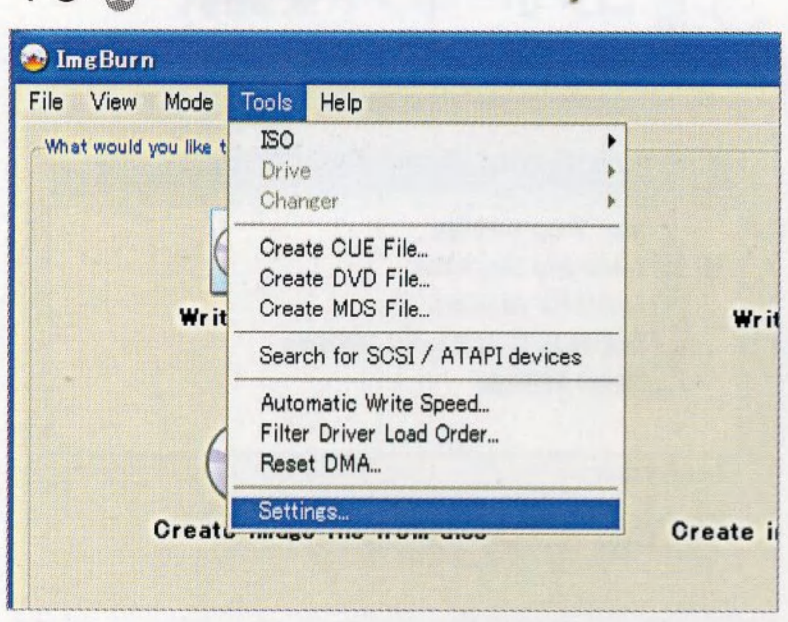
「マイコンピュータ」→「Cドライブ」→「Program Files」→「ImgBurn」の順にフォルダを開いていく。

12 PC 日本語ファイルをコピー



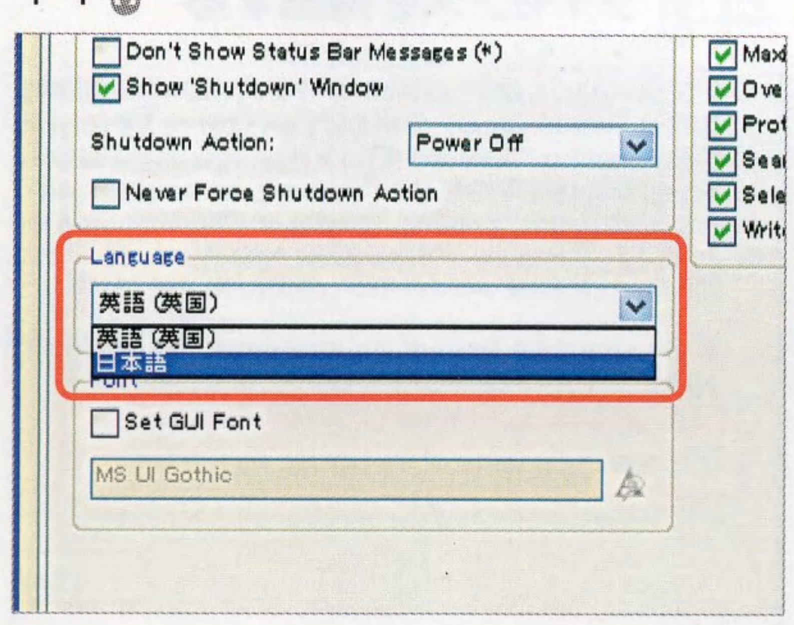
解凍した日本語ランゲージフォルダ内にある「Japanese.lng」を、インストール先にある「Languages」フォルダにコピーする。

13 PC 設定を開く



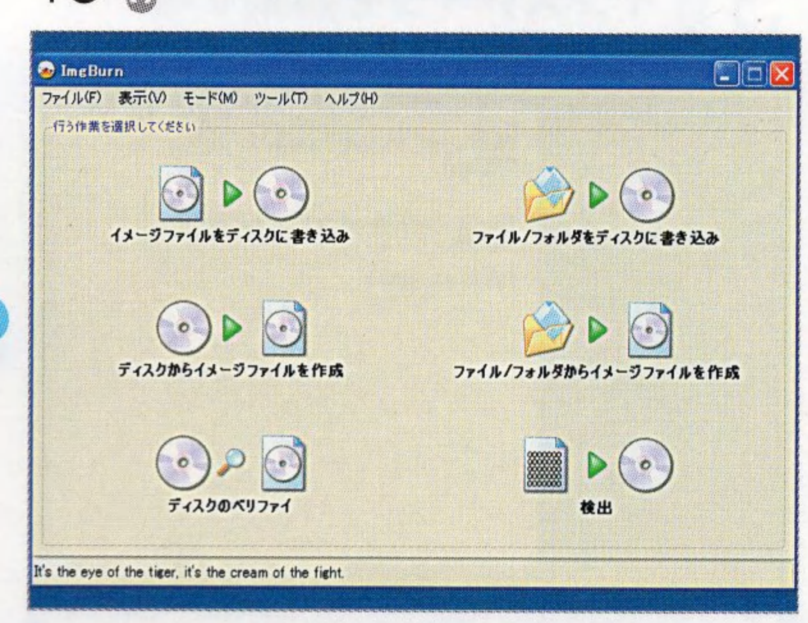
各種メニューを日本語化するため、設定画面を開く。ImgBurnを起動して、「Tools」→「Settings...」を選択。

14 PC 表示言語を変更する



設定の「General」タブに移動し、「Page1」の「Languages」項目を探す。プルダウンメニューから「日本語」を選択。

15 PC 日本語化を確認する



設定画面を閉じると、ImgBurnの各種メニューが日本語化されているはずだ。

ゲームのコピーディスクを作る

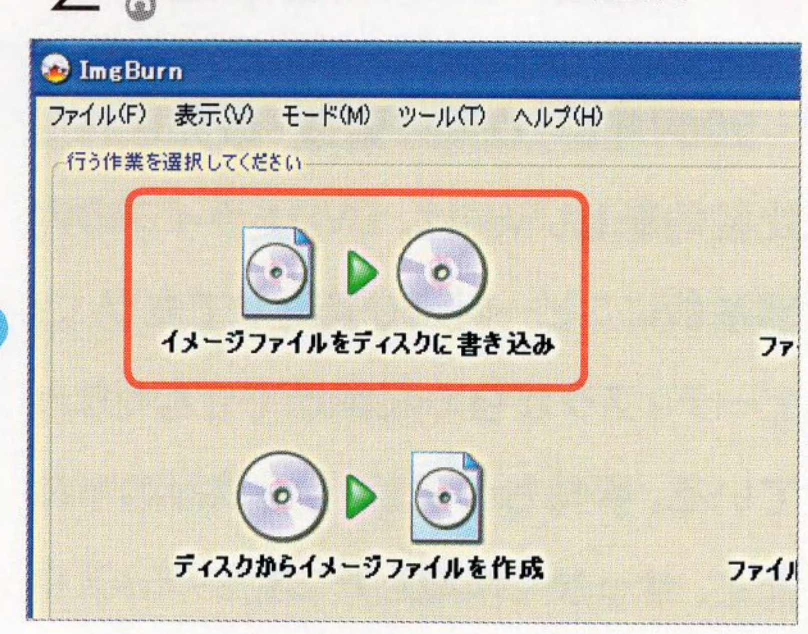
ライティングソフトの導入を終えたら、コピーディスクを作成する。コピーディスクの元となるDVDメディアは事前に用意しておこう。なお、書き込みエラーを極力抑えたい場合は、日本製のメディアを使うとよい。

1 PC パソコンのドライブにDVD-Rをセット



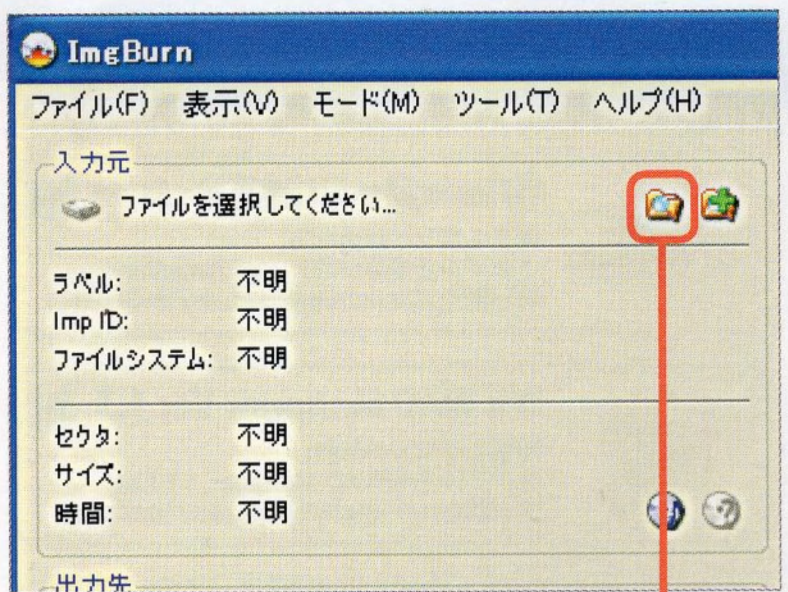
あらかじめ用意しておいたDVDのブランクディスクをパソコンにセットする。

2 PC 書き込みメニューを選択

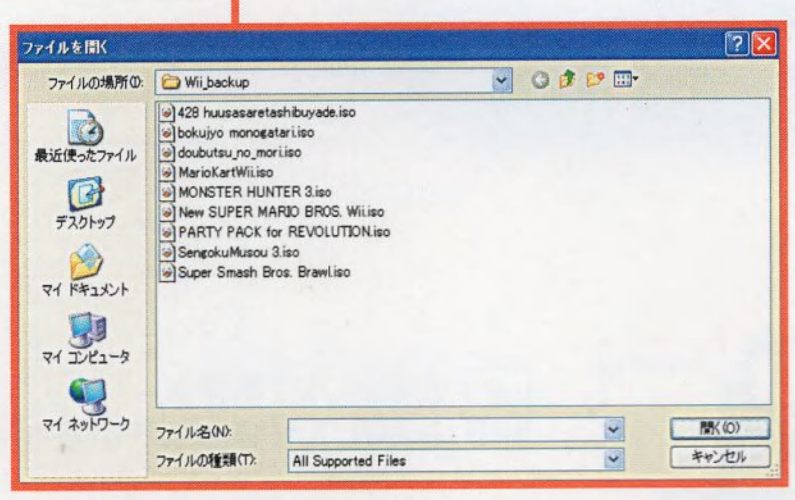


ImgBurnを起動。メイン画面の「イメージファイルをディスクに書き込み」ボタンをクリック。

3 ISOファイルを選択する



書き込み設定の画面に移動したら、ゲームのISOファイルを指定するため、フォルダアイコンをクリックする。

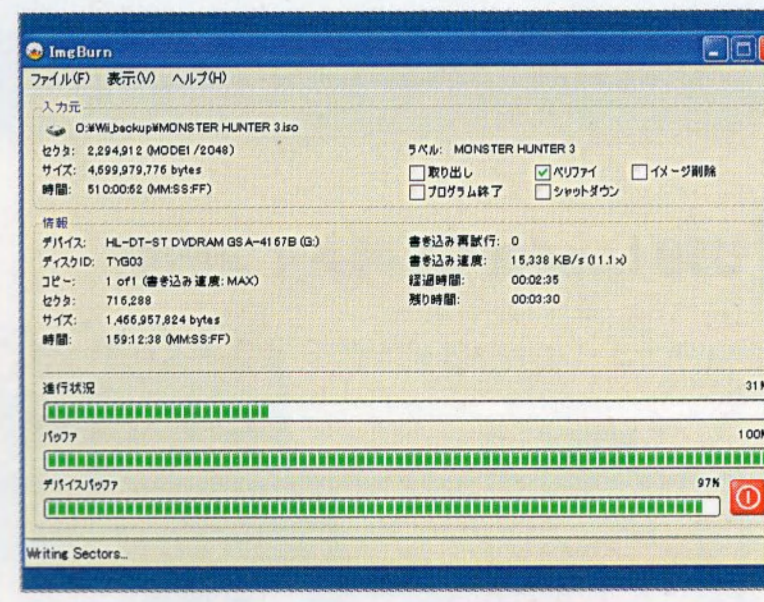


ファイルの選択ダイアログが表示されるので、DVDに書き込みたいゲームのISOファイルを選択する。

4 ライティングを開始する

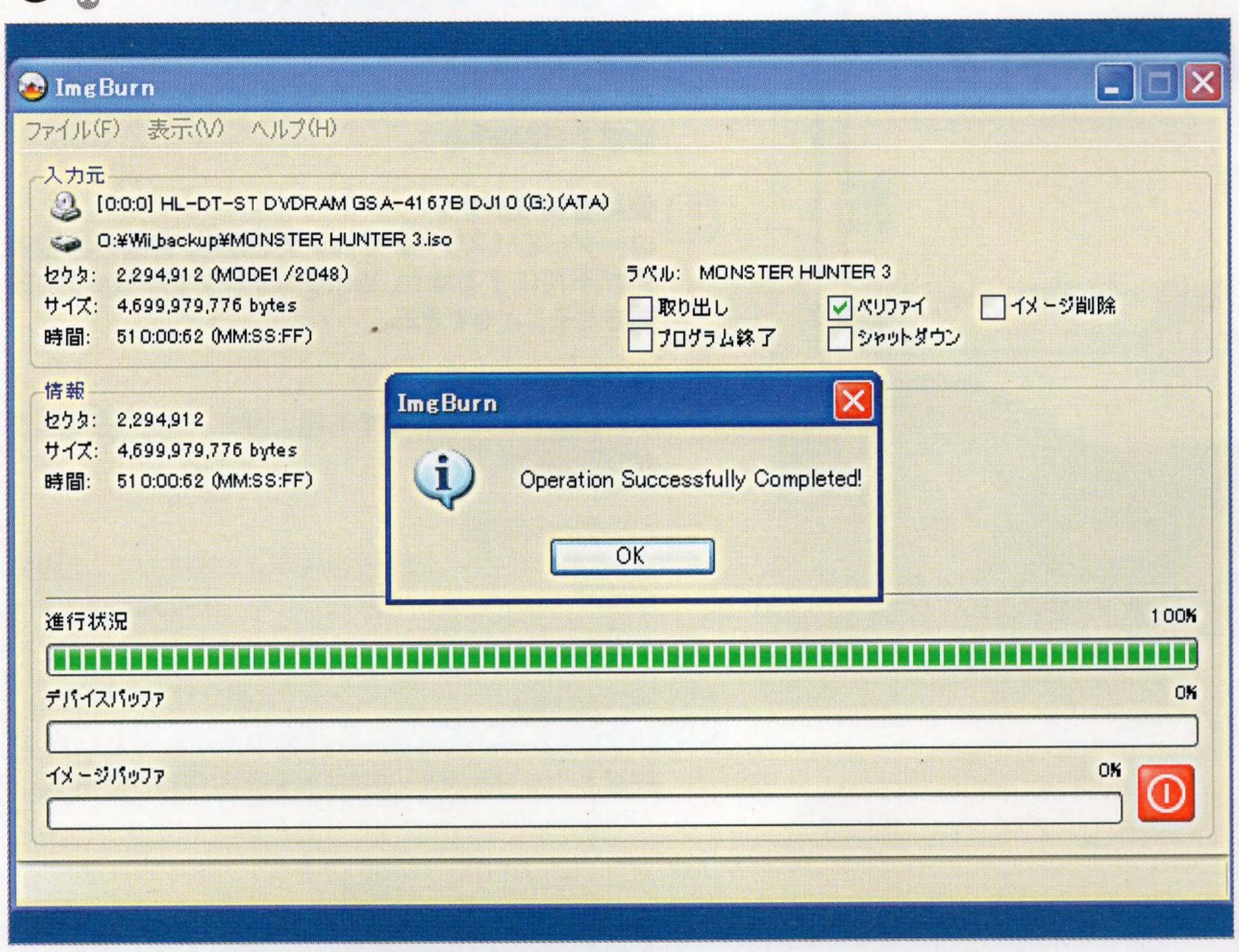


左下にある書き込み開始のボタンをクリックする。これでデータの書き込みが開始される。



書き込み中はパソコンでほかの作業を行なわないこと。書き込みエラー発生の原因にもなるからだ。なお、書き込みエラーが発生してしまった場合は、下のカコミを参照して再度書き込みを試みてみよう。

5 コピーディスク完成



「～Completed!」のダイアログが表示されれば、書き込みは終了。コピーディスク完成だ。

DVDメディアは「-R」を　Point!

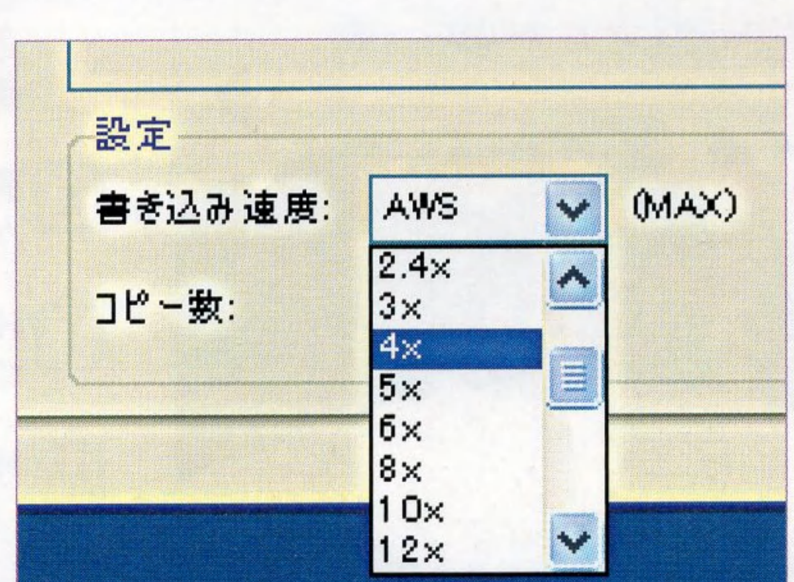
Wiiはほとんどのメディアを読み込めるが、安定性を求めるなら「-R」を利用しよう。



欲をいえば、書き込みも読み込みもエラーが少ない、国産メディアが望ましい。

ライティングエラーが出る場合は　Point

ゲームのISOファイルはDVDメディアに入るギリギリの容量であるため、メディアが粗悪、ドライブが不調、書き込みのバッファ不足……など、小さな要因で書き込みエラーが発生する。エラーが連発するようであれば、品質の高いメディアを使う、書き込みのドライブを変えるなどの対策を施そう。



DVDドライブが古い場合、書き込み速度を4倍程度に落とすと、安定して書き込めることも。



うまく書き込めないようなら、他のパソコンで試してみるのもひとつの方法だ。

多機能なローダーを使う

Wii PC SD Card reader Game media etc

製品ゲームのバックアップデータ、いわゆるコピーゲームは、ゲームローダーを使用することで起動できる。ここでは、数あるWii用ローダーのなかでも、多機能で人気が高く、本誌36ページで導入方法を紹介している「USB Loader GX」について解説しよう。

USB Loader GX rev937 日本語スタータパック
作者名●Tantric/papa
ファイル名●GXr937_JpnStarterPack.rar
URL●http://www.megaupload.com/?d=GA6VI72A

Wii WAD Manager Ver.1.7
作者名●Waninkoko
ファイル名●WAD-Manager_v1.7.zip
URL●http://www.mediafire.com/?xid2iyyjqvl

No Soft

USB Loader GX のメイン画面





A お気に入りボタン
お気に入り登録しているゲームだけを表示。

B 検索ボタン
保存されているゲームがワード検索できる。

C 並び順変更ボタン
リストの並び順が変更できる。左はアルファベット順、右はプレイ数順に並び変えられる。

D 表示変更ボタン
ゲームリストの表示方法が変更できる。表示形式は全部で3種類がある。

E 使用者制限ボタン
ローダーをパスワードでロックできる。各種の設定変更が不可にするほか、Wiiのペアレンタルロックと同期させることもできる。

F DVD起動ボタン
ゲームをディスク起動する際に押す。コピーディスクからの起動も可能。

G パッケージ画像
ゲームのパッケージ画像が表示されるエリア。上の文字はゲームデータの「リージョン」、下の文字は「ゲームID」を表している。

H ゲームリスト
USBストレージ内のゲームが表示される。パソコンと同じように、横のバーでリスト全体の操作ができる。

I ゲームをインストールボタン
製品ディスクからゲームデータを吸い出す際に押す。ちなみに、コピーディスクからのデータ吸い出しはできないようになっている。

J 設定ボタン
ローダーの設定画面が呼び出せる。基本設定や読込み設定、サウンド設定、最新版への更新、テーマの変更など、さまざまな設定が行なえる。

K 再読込ボタン
ゲームデータの再読み込みが実行できる。

L HBCランチャーボタン
ローダー上で「HBC」が操作できる。

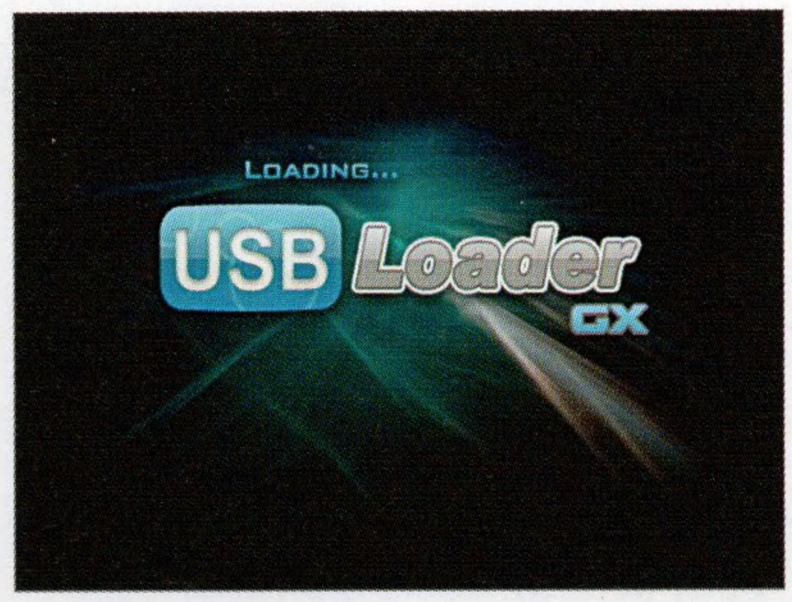
M HBC/Wiiメニューボタン
「HBC」もしくはWiiメニューへ移動できる。

N 電源オフボタン
Wiiの電源操作が実行できる。シャットダウン、スタンバイのいずれかが選べる。

ゲームをUSB起動する

USB Loader GXは、USB接続のストレージ、ディスク起動の両方に対応するローダー。メインのUSB起動は、ゲーム選択→起動メニュー表示→ディスク画像選択→ゲーム起動と手軽に実行できる点が特徴だ。

1 ゲームローダーを起動する



Wii背面にある"外側"のUSB端子にWBFS形式のドライブを接続。WiiメニューのチャンネルからUSB Loader GXを起動する。

2 ゲームを検索する



多数のゲームがある場合は、画面上部の「虫めがね」アイコンを選択。検索機能を使って保存されているゲームを絞り込もう。

3 ゲームを選択する



一覧リストから起動したいゲームを選択し、Aボタンを押す。なお、右側のバーを使えば、リストの上下スクロールが可能だ。

4 「ディスク画像」を選択



ゲームの起動メニューが表示されるので、回転しているディスク画像上でAボタンを押す。

5 ゲームが起動する

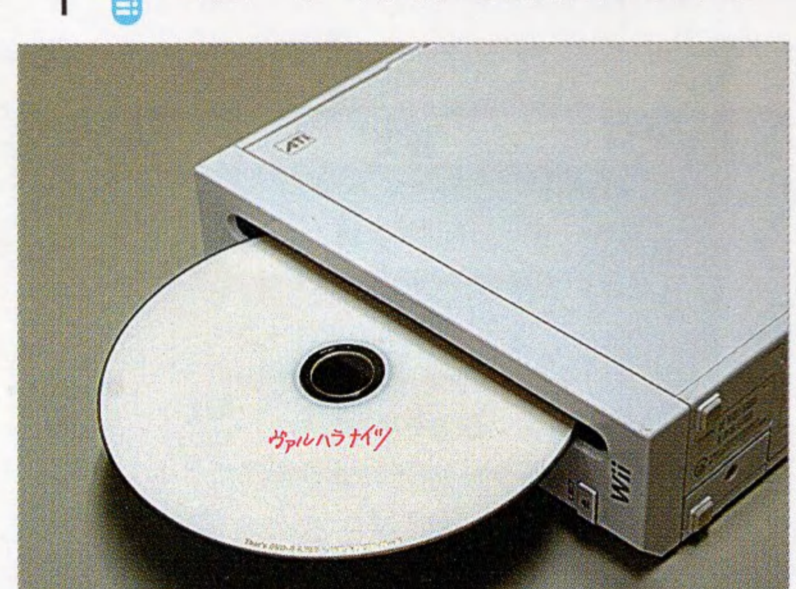


ゲームデータが正常なら、そのままゲームが起動する。ちなみにハック対策が施されているゲームは、起動前に回避するための設定が必要。詳しくは44ページを参照のこと。

ゲームをディスク起動する

コピーディスクの起動にも対応するUSB Loader GX。USB起動とは起動までの操作が異なるが、手軽に実行できる点は変わらない。また、ディスク起動でもハック対策の回避設定が行なえるのも大きな魅力といえる。

1 コピーディスクをWiiにセット



あらかじめ用意したコピーディスクをWiiにセットする。ちなみに、ディスクはあとからセットしても問題ない。

2 ゲームローダーを起動



WiiメニューのチャンネルからUSB Loader GXを起動する。HBCから起動してもよい。

3 「DVD起動」ボタンを押す



画面右上の「DVD起動」ボタンを選び、Aボタンを押す。これでWiiにセットしてあるコピーディスクが読み込まれる。

4 「ディスク画像」を選択



ゲームの起動メニューが表示されるので、回転しているディスク画像上でAボタンを押す。

5 ゲームが起動する

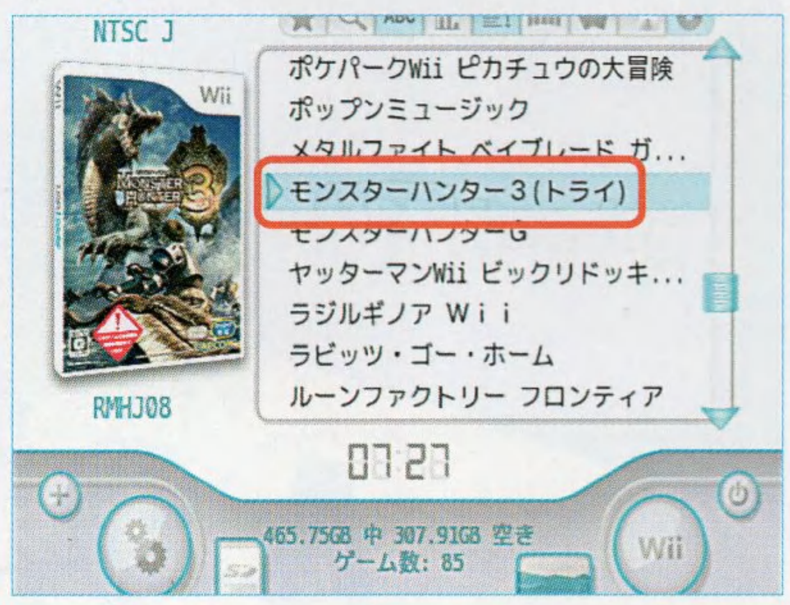


ゲームデータが正常なら、そのままゲームが起動。製品ゲームと同様に遊ぶことができる。

対策ゲームの起動設定

「モンスターハンター3 トライ」をはじめとする一部のゲームは、ハック対策が施されている。これらのゲームを正常にプレイするには、ゲームの起動設定を変更してハック対策を回避する必要があるぞ。

1 ゲームを選択する



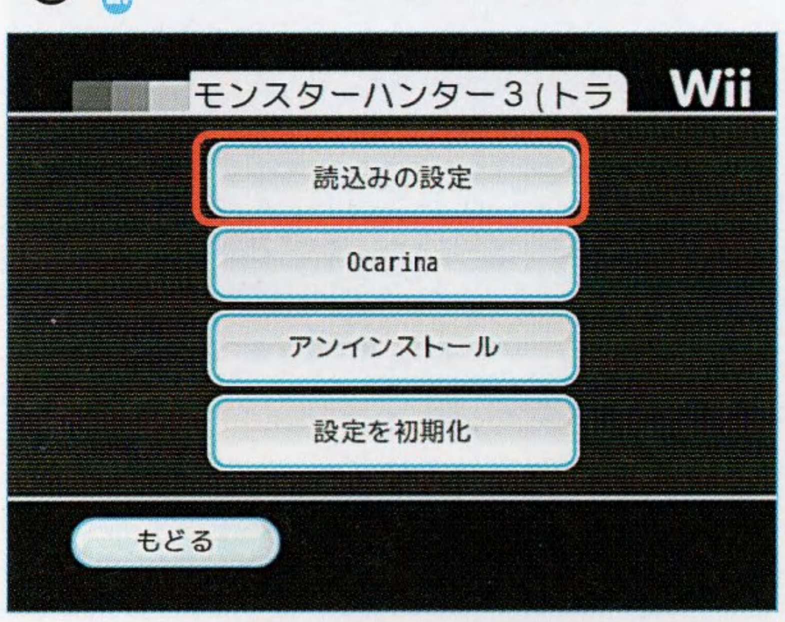
ゲームリストから、ハック対策や通常設定で起動できないゲームを選択する。

2 設定ボタンを押す



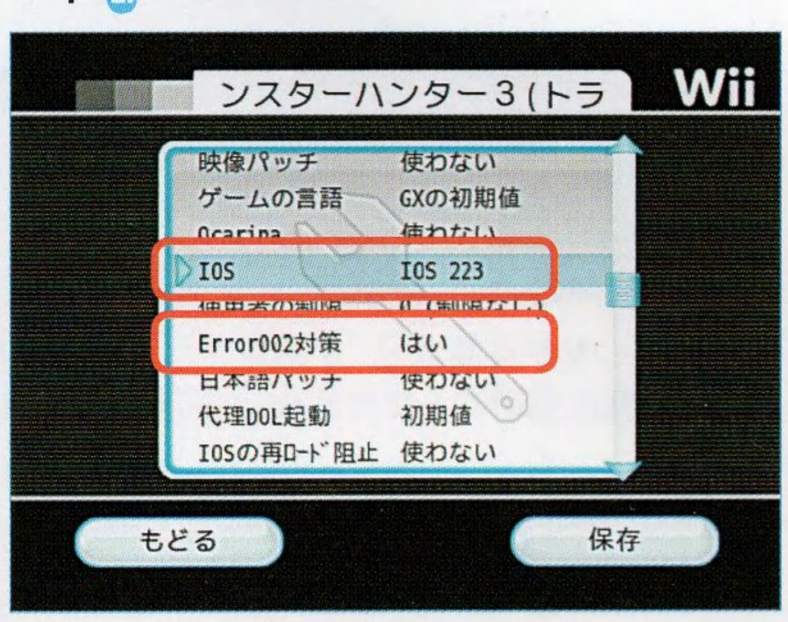
起動メニューが表示されたら「設定」ボタンを選んでAボタンを押す。

3 読み込みの設定を選択



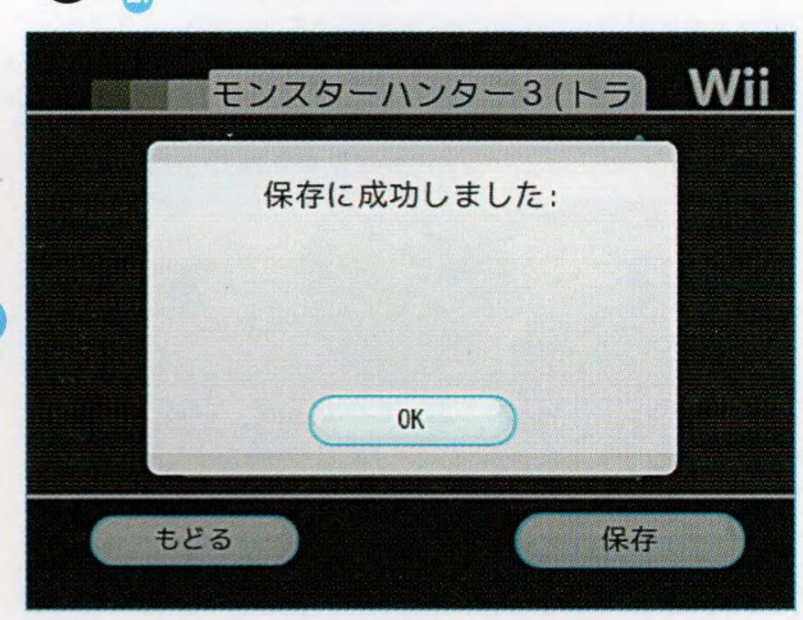
ゲーム個別の起動設定画面が表示されるので、「読込みの設定」を選択し、Aボタンを押す。

4 設定を変更する



モンスターハンター3 トライは「IOS」を「IOS223」に変更する。一部のゲームでは「Error002対策」を「はい」に設定する。

5 設定を保存する

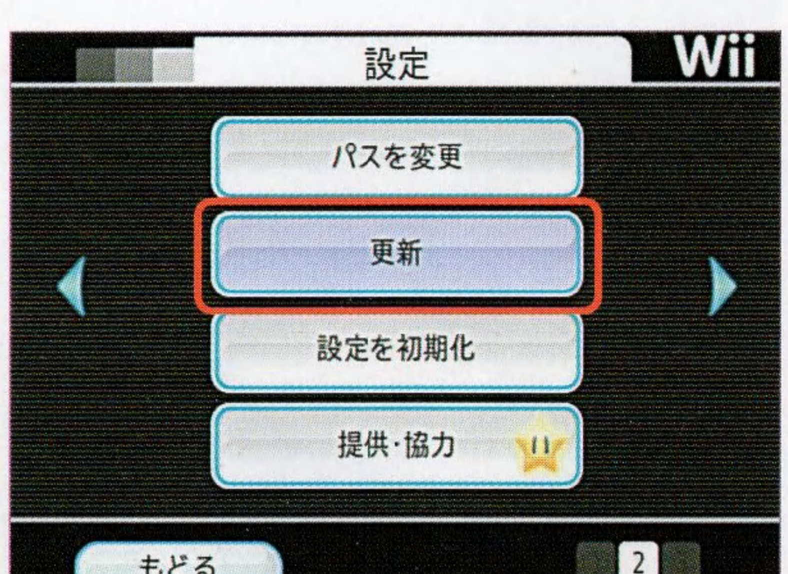


設定変更後、右下の「保存」ボタンを選択し、Aボタンを押す。画面に「保存に成功しました！」と表示されればOKだ。

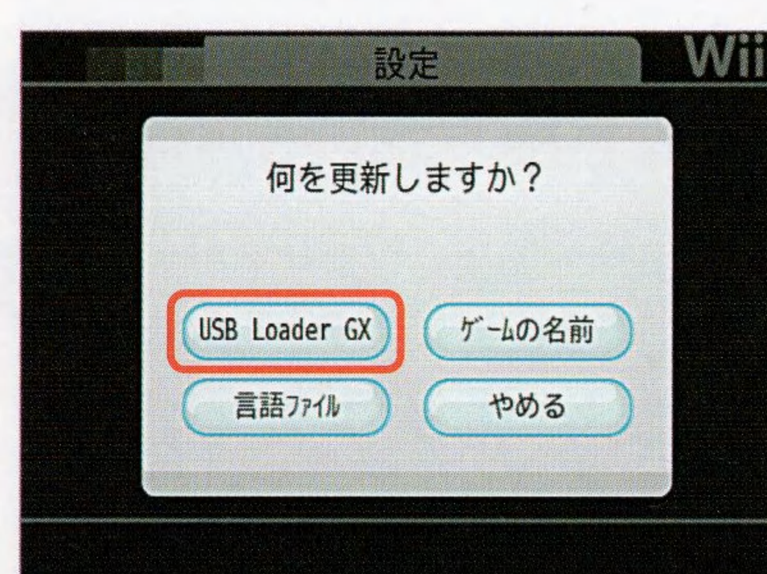
ネットワーク経由で最新版に更新できる

Point

USB Loader GXは、最新バージョンをネットワーク経由で取得する「オンラインアップデート機能」を搭載している。これまでの非公式ツールは、最新バージョンの情報入手やツールの導入をユーザー自身で行なう必要があったが、USB Loader GXではその手間が大幅に軽減されている。



オンラインアップデートする場合は、ローダー本体の「設定」を開いて「更新」を選択。

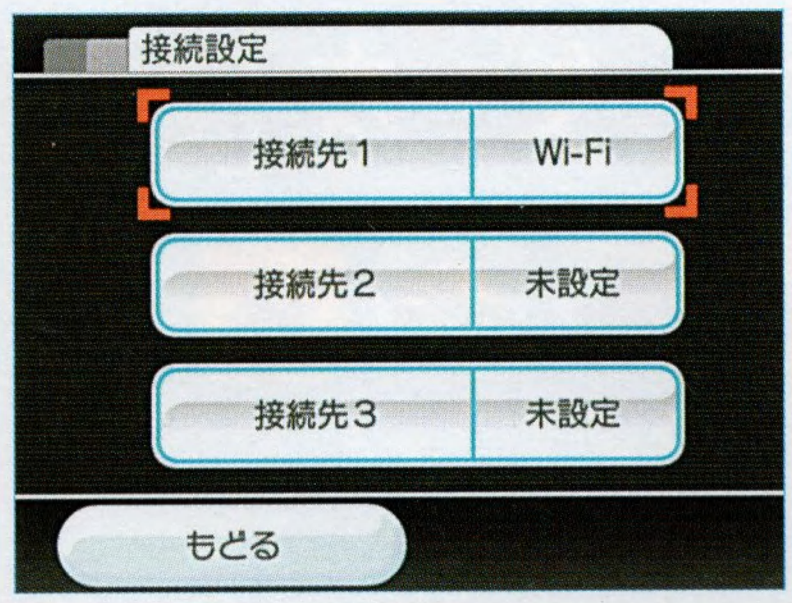


更新内容の選択で「USB Loader GX」を選ぶと、バージョンチェックと更新が行なえる。

ジャケット画像を入手する

USB Loader GXには、ジャケット画像やディスクラベル画像をネットから取得する機能が搭載されている。ゲームリストや起動メニューの見映えをよくしたい場合は、この機能で各種画像を入手しよう。

1 ネットワーク設定をしておく



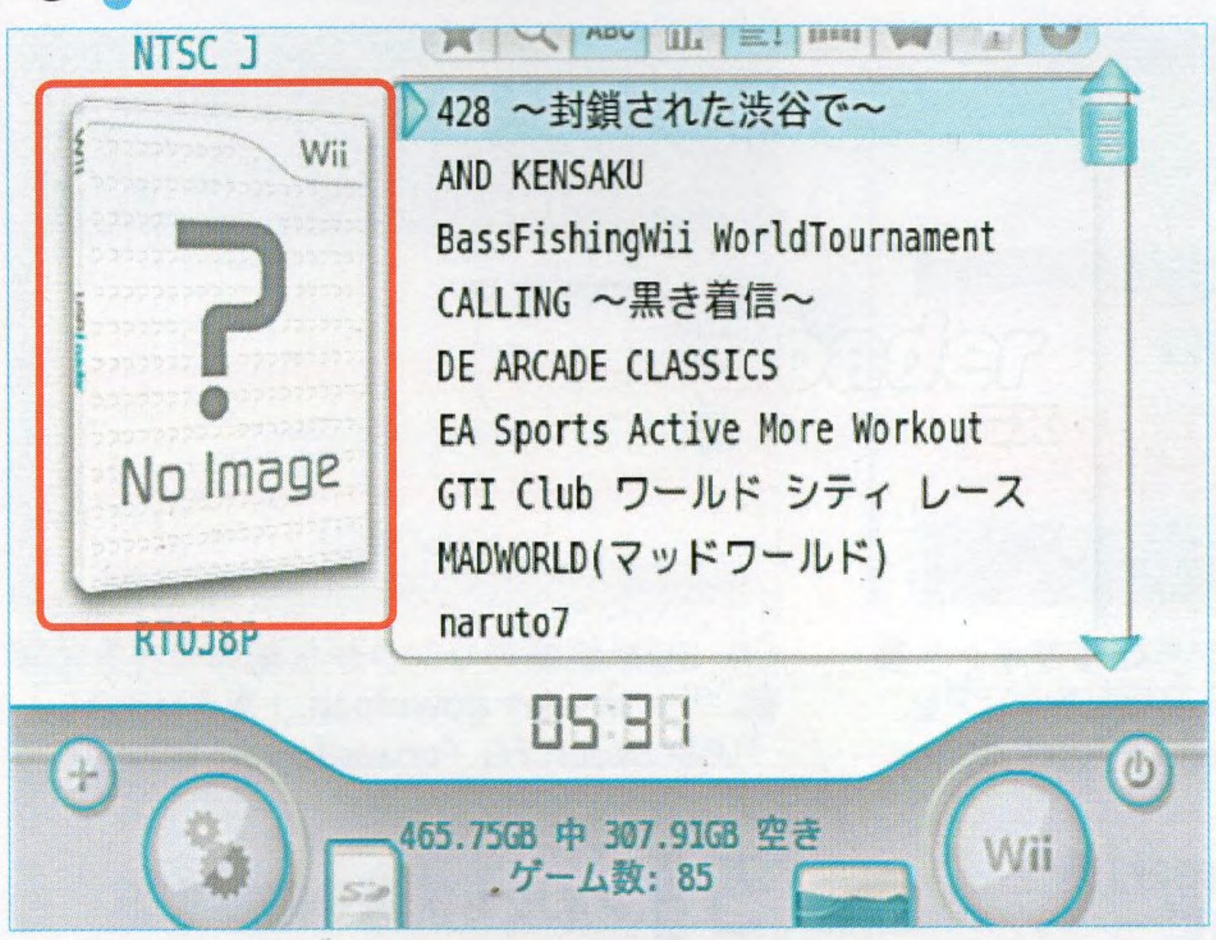
各画像はインターネットに接続して取得する。Wiiのネットワーク設定は事前に済ませよう。

2 ゲームローダーを起動する



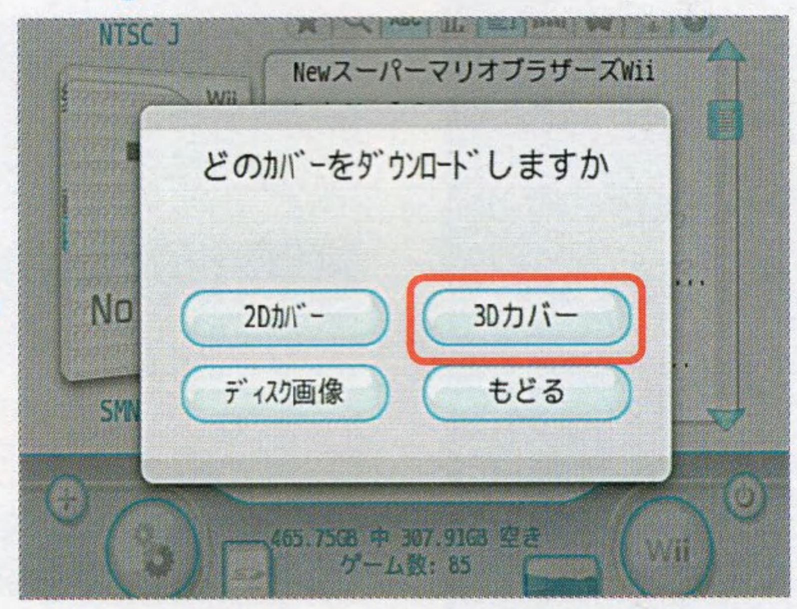
WiiメニューのチャンネルからUSB Loader GXを起動する。HBCから起動してもよい。

3 パッケージ画像を選択

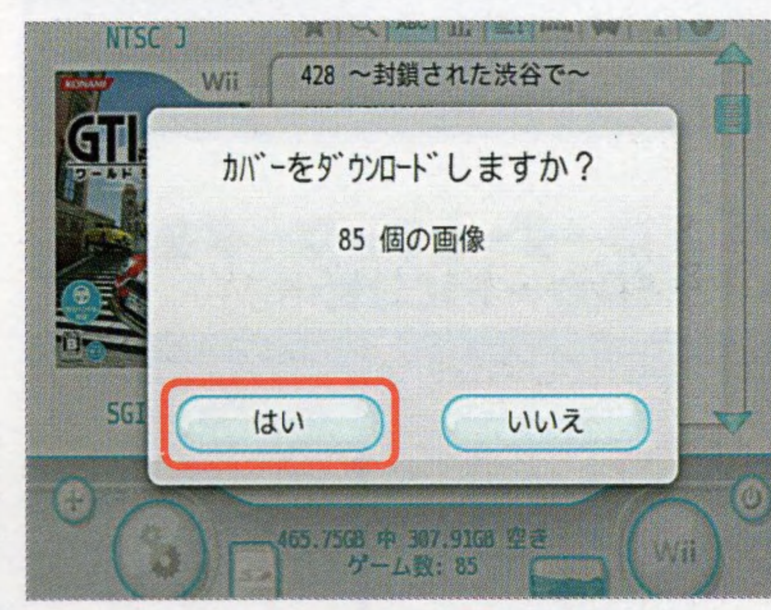


メイン画面でパッケージ画像を選択し、Aボタンを押す。パッケージ画像は、取得前なら「?」になっているはずだ。

4 画像の種類を選択

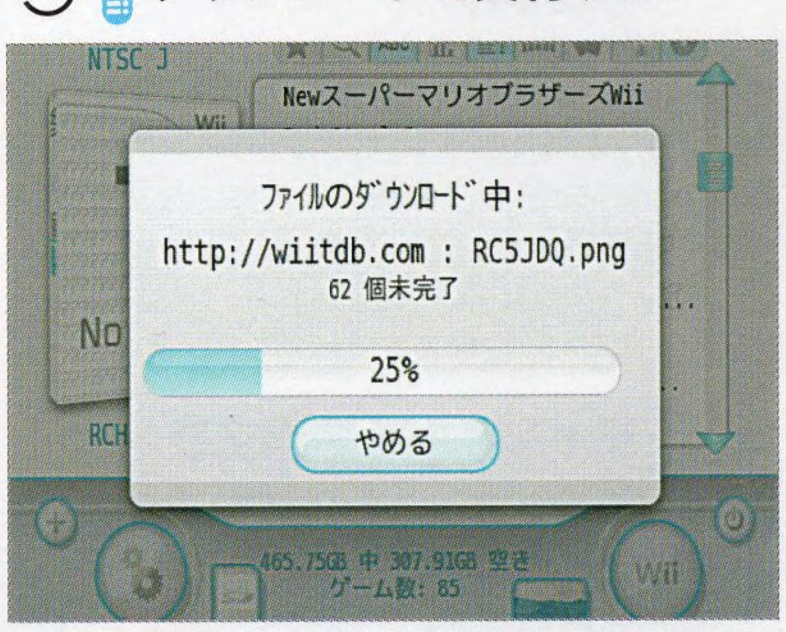


「2Dカバー」「3Dカバー」「ディスク画像」の3種類が取得できる。ちなみにカバー画像を2種類取得した場合は"3D"が優先される。

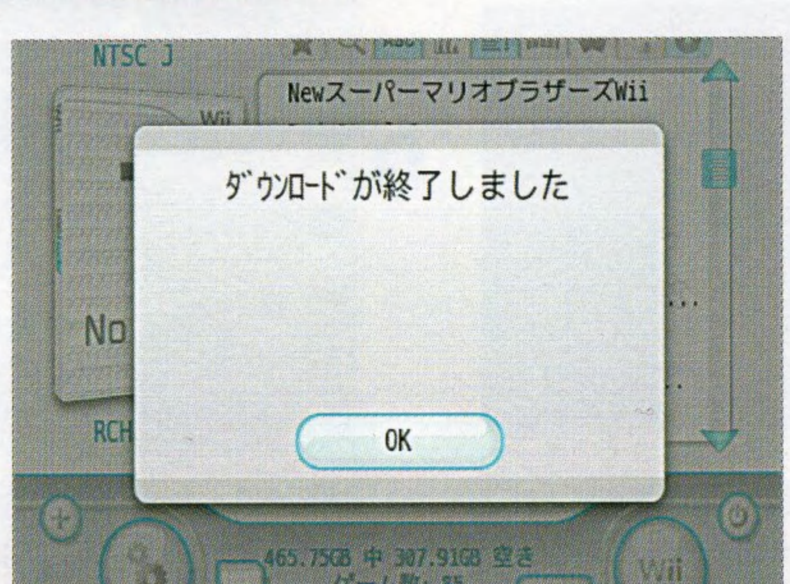


画像の種類を選択すると、ダウンロードの確認画面が表示。「はい」を選んでAボタンを押す。

5 ダウンロードを実行する



自動でネット接続されたあと、画像のダウンロードがはじまる。



ダウンロードの対象となるのは、WBFSドライブに保存されているすべてのゲーム。そのため保存しているゲームが多いと、終了までにかなりの時間を要する。

6 ジャケット画像が適用される



ダウンロード完了後、USB Loader GXのメイン画面に戻る。各画像が正常にダウンロードされていれば、ジャケット画像が適用されているはずだ。なお、取得した画像はWii前面のSDカードに保存されるぞ。

シンプルなローダーを使う

Wii PC SD Card reader Game media etc

十字ボタンでシンプルに、直感的な操作で扱えるゲームローダーが「Configurable USB Loader」（以下、CFG）だ。USB／ディスク起動、ゲームのバックアップ、ジャケット表示など、搭載する機能はUSB Loader GXとほぼ同じ。好みに合わせて使ってみよう。

Configurable USB Loader Ver.56J
作者名●DoctorClipper/papa
ファイル名●Cfg_USB_Loader_56J.rar
URL●http://www.megaupload.com/?d=5UZHXX1U

Configurable USB Loade Forwarder
作者名●Narolez
ファイル名●USBLoaderCFG_Forwarder.rar
URL●http://www.mediafire.com/?z2yimtmwnc2

Wii WAD Manager Ver.1.7
作者名●Waninkoko
ファイル名●WAD-Manager_v1.7.zip
URL●http://www.mediafire.com/?xid2iyyjqvl

ゲームローダーを導入する

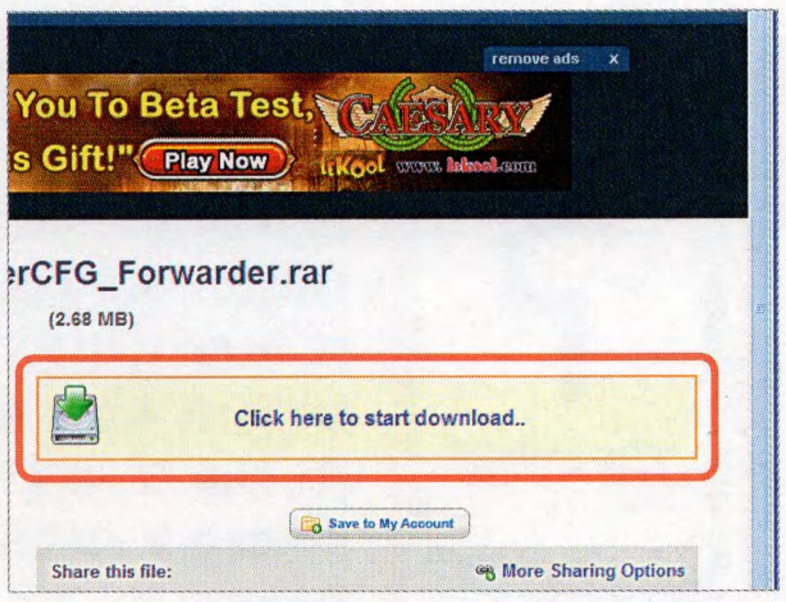
CFGを使用する場合は、他のツールやローダーと同様、本体と関連ファイルを入手し、SDカードの特定の場所にコピーする。また、CFGをチャンネル登録したい場合は、フォワーダをインストールしよう。

1 PC ゲームローダーを入手する



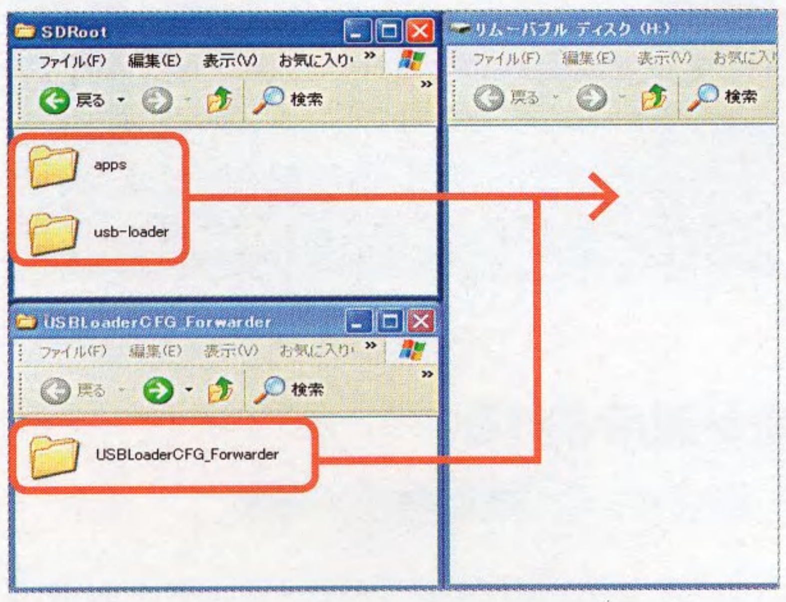
CD-ROM収録のリンクから配布サイトへ移動。アップローダサイトの文字認証をクリアし、「Cfg_USB_Loader_56J.rar」を入手する。

2 PC 「フォワーダ」を入手する



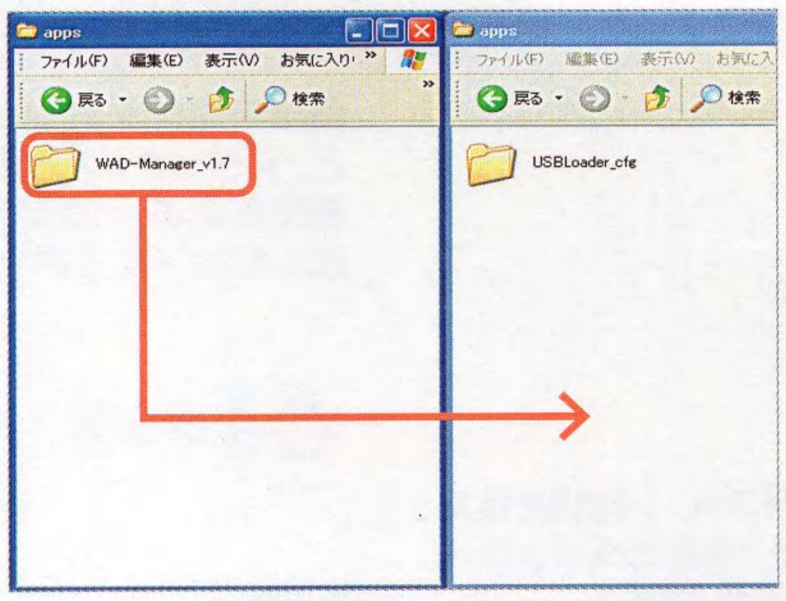
CD-ROM収録のリンクから配布サイトに移動。「～ to start download..」をクリックし、「USBLoaderCFG_Forwarder.rar」を入手。

3 PC ローダーとフォワーダをSDカードにコピー



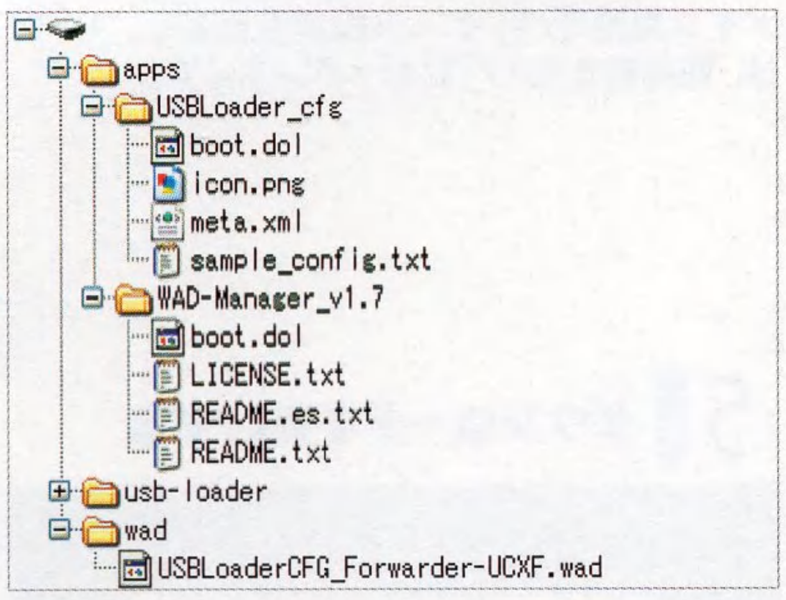
CFG本体の「apps」「usb-loader」フォルダ、フォワーダの「wad」フォルダをSDカードのルートにコピーする。

4 PC 「WAD Manager」をSDカードにコピー



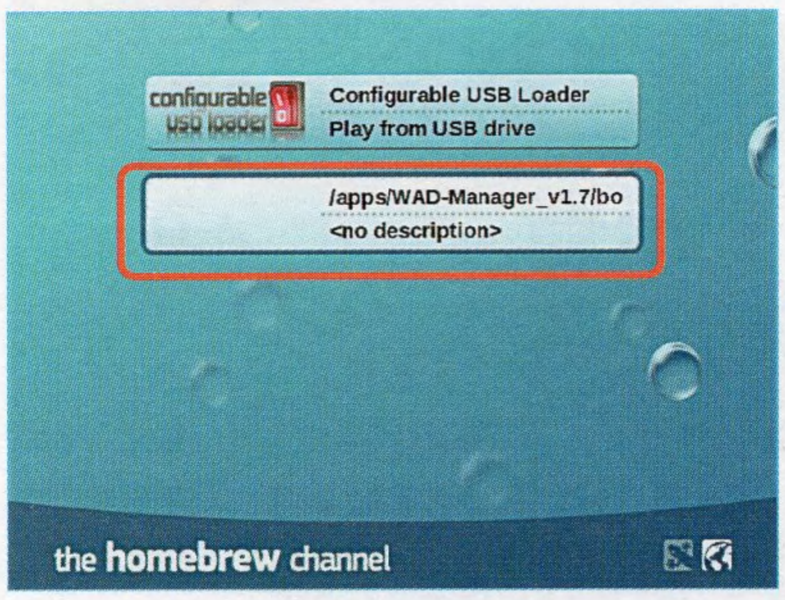
33ページで使用したWAD Managerを再度用意。「WAD-Manager_v1.7」フォルダをSDカード内の「apps」フォルダ内にコピーする。

5 PC フォルダ構造を確認する



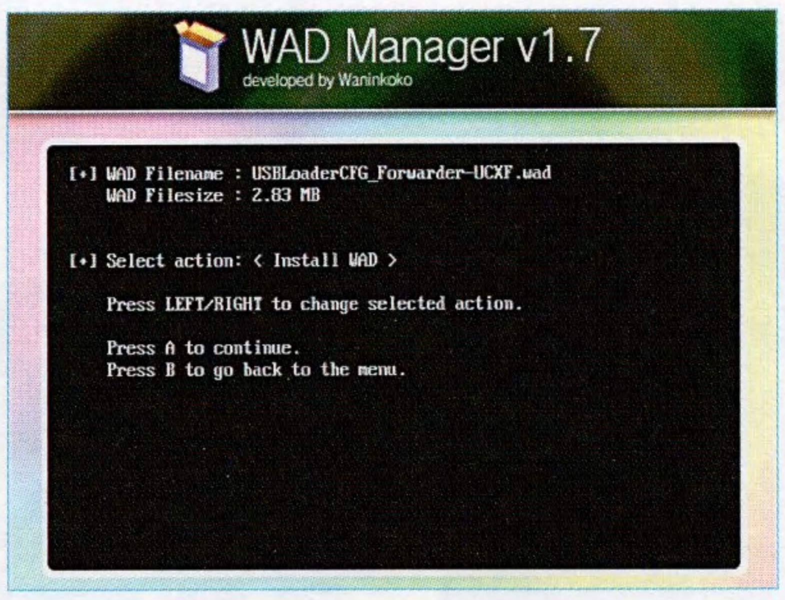
SDカードに保存した各種ツールが、写真と同じフォルダ構造になっているか確認する。

6 Wii 「WAD Manager」を起動する



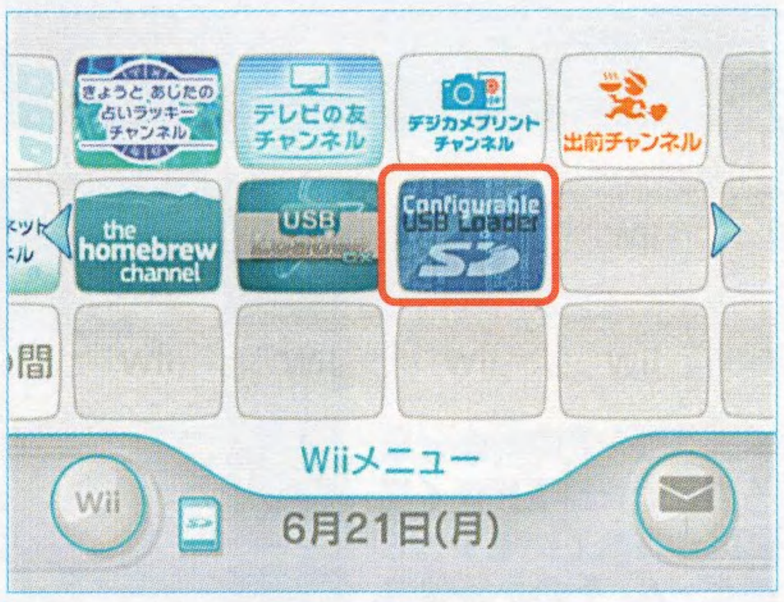
HBCを起動し、メニュー画面で「/apps/WAD-Manager_～」を選択。フォワーダをインストールするため、WAD Managerを起動する。

7 Wii 「フォワーダ」をインストール



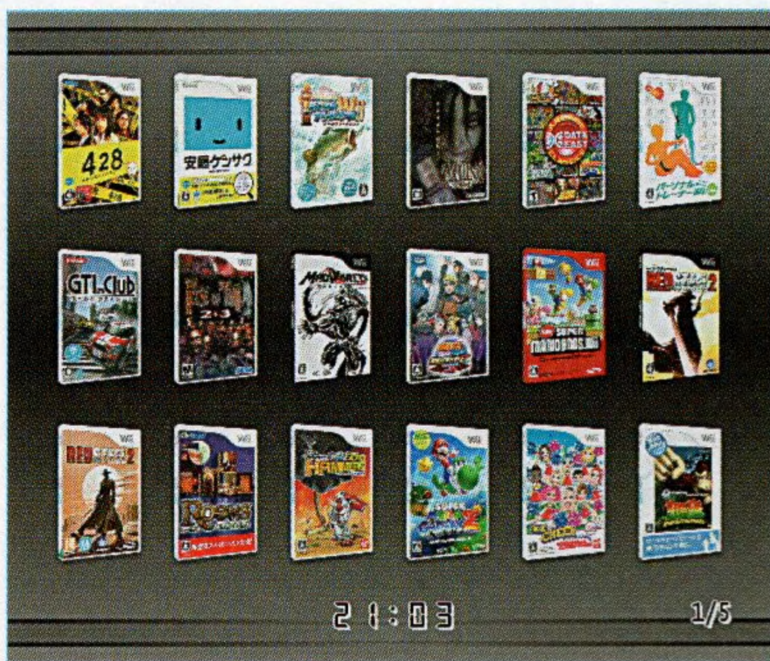
34ページの手順11～15を参考にCFGのフォワーダ「USBLoaderCFG_Forwarder-UCXF.wad」をインストールする。

8 Wii チャンネルを確認する



Wiiメニューに戻り、CFGのチャンネルが作成されているか確認しよう。

Configurable USB Loaderの操作と画面のつながり



CFG起動直後の画面。WBFSドライブ内のゲームがジャケット画像で一覧表示され、Wiiリモコンを動かすことでゲーム選択ができる。なお、十字ボタンの上下でジャケットの表示方法が変更できる。

－ボタン



CFGのメインメニュー。十字ボタンで項目を選択したあとにAボタンを押すと、選んだ機能の画面へ移動する。なお、ディスク起動はメインメニューからのみ実行できる。



CFG全体に関する基本設定画面。CFGの外観テーマの変更やジャケット画像のダウンロード、ゲームタイトルリストの取得、CFGのオンラインアップデートなどが行なえる。

Aボタン



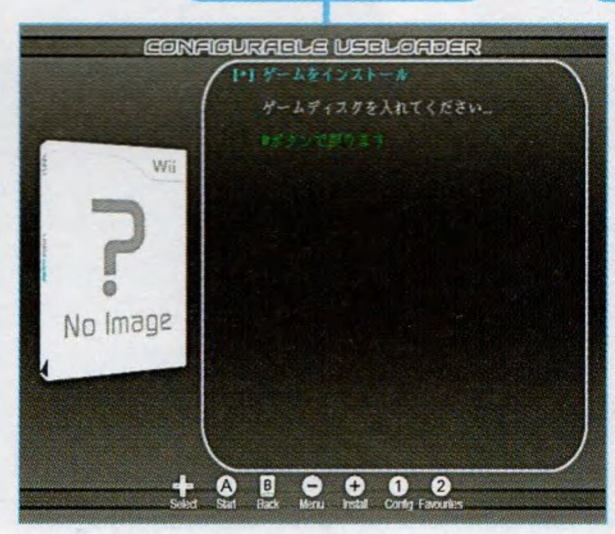
ゲームの起動確認画面。ここでさらにAボタンを押すと、ゲームが起動する。Bボタンでメインメニューへ、①ボタンで表示中のゲームの起動設定へ移動できる。

Bボタン



ゲームのリスト表示画面。ドライブ内のゲームを文字リストとして表示する。リスト上の移動は十字ボタンで行なえる。ジャケット画像で目的のゲームが見当たらない場合などに利用するとよい。

＋ボタン



ゲームインストール、すなわちバックアップの画面。ここで製品ディスクをセットすると、ゲームのバックアップが行なえる。

①ボタン

①ボタン



ゲーム個別の起動設定画面。ハック対策回避の設定やパッケージ画像のダウンロードなどが行なえる。設定変更後は②ボタンを押して設定保存すること。①ボタンを押すと、ローダー全体の基本設定へ移動できる。

ゲームを起動する

操作系統のシンプルさが特徴であるCFG。USB接続したドライブからは「ゲーム選択」→「Aボタン2回」という簡単操作でゲームが起動できる。また、コピーディスクの起動はメインメニューから実行可能だ。

1 ゲームローダーを起動する



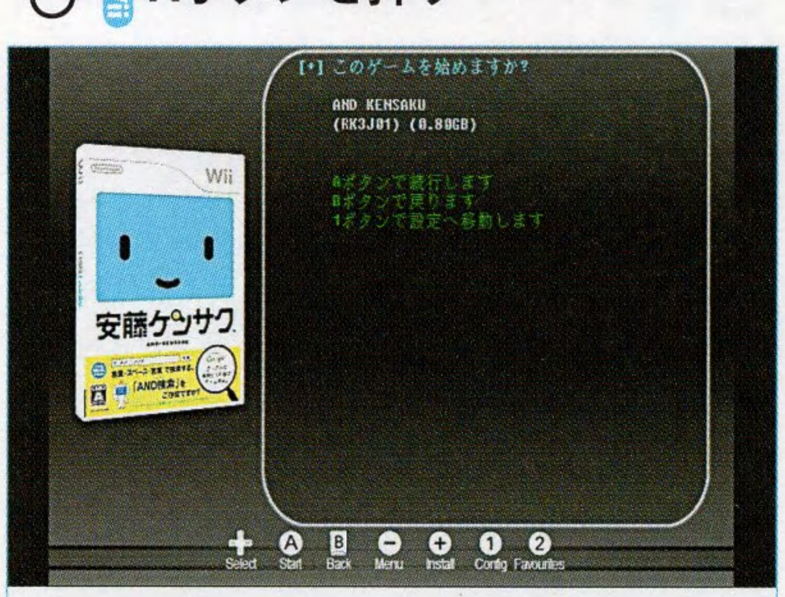
CFGを保存したSDカードがWiiにセットされていることを確認する。続いて、Wiiメニューから CFGを起動する。

2 ゲームを選択する



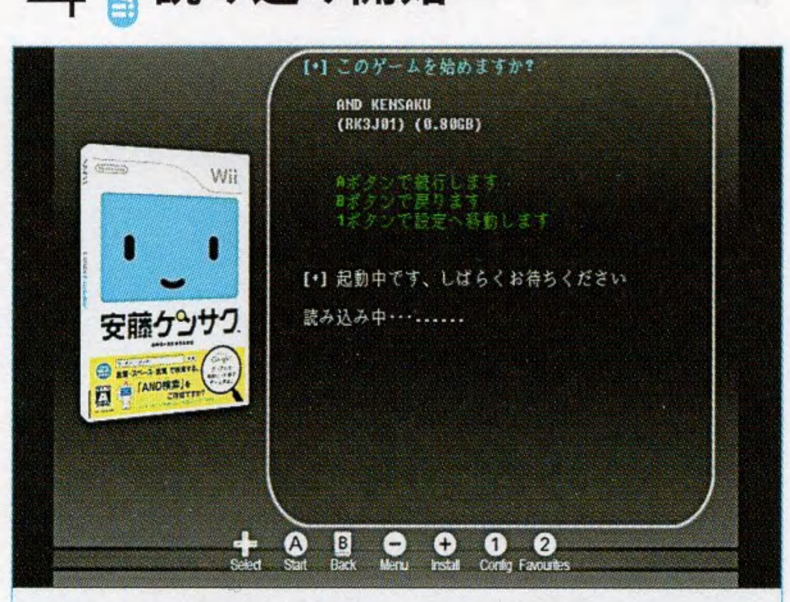
Wiiリモコンを操作して起動したいゲームを選択する。リストで選択したい場合は、Bボタンを押してリスト表示にしよう。

3 Aボタンを押す



ゲーム選択後にAボタンを押すと、起動確認の画面に移動する。選んだゲームでよければ、さらにAボタンを押す。

4 読み込み開始



ゲームデータが読み込まれる。ここで画面が止まってしまう場合、バックアップしたデータが壊れているか、対策ゲームの可能性がある。

5 ゲームが起動する



ゲームデータに問題がなければ、ゲームが起動する。あとはプレイするだけだ。

対策ゲームの起動設定

USB Loader GXと同様、CFGにもハック対策回避用の起動設定が行なえる。「モンスターハンター3 トライ」などの対策ゲームは、ゲームご別の起動設定画面から対応するIOSを選択して起動しよう。

1 ゲームを選択する



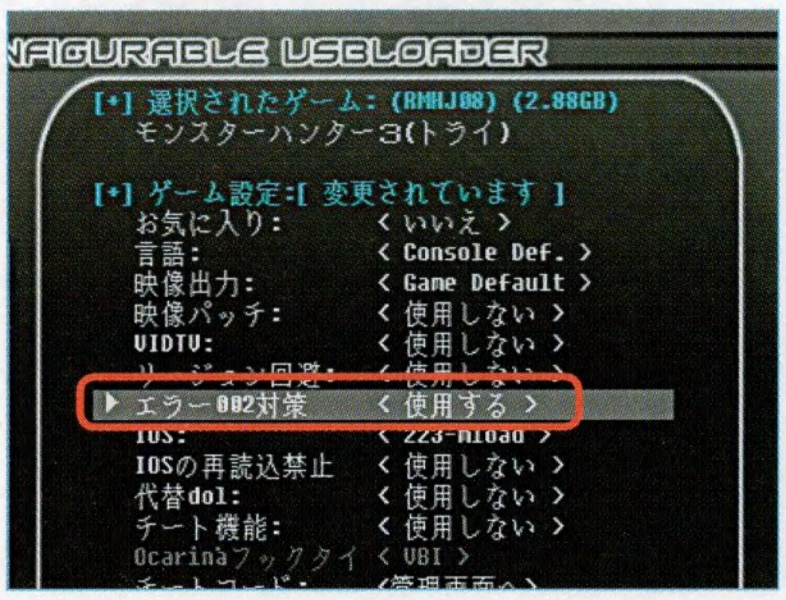
CFG起動後、ジャケット一覧やリストから、ハック対策されているゲームを選択する。

2 設定メニューを開く



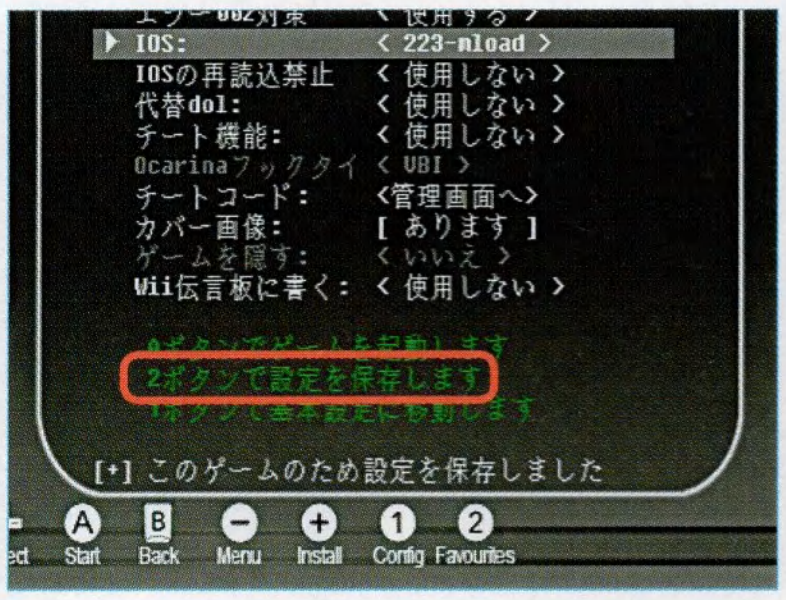
①ボタンを押し、ゲーム個別の起動設定画面に移動する。

3 設定を変更する



「エラー002対策」を「使用する」、「IOS」を「223-mload」など、ゲームの対策内容に合わせて起動設定を変更する。

4 設定を保存する



②ボタンを押して、変更した設定を保存する。これで、次にゲームを起動するときも設定した内容が使用される。

5 ゲームを起動する

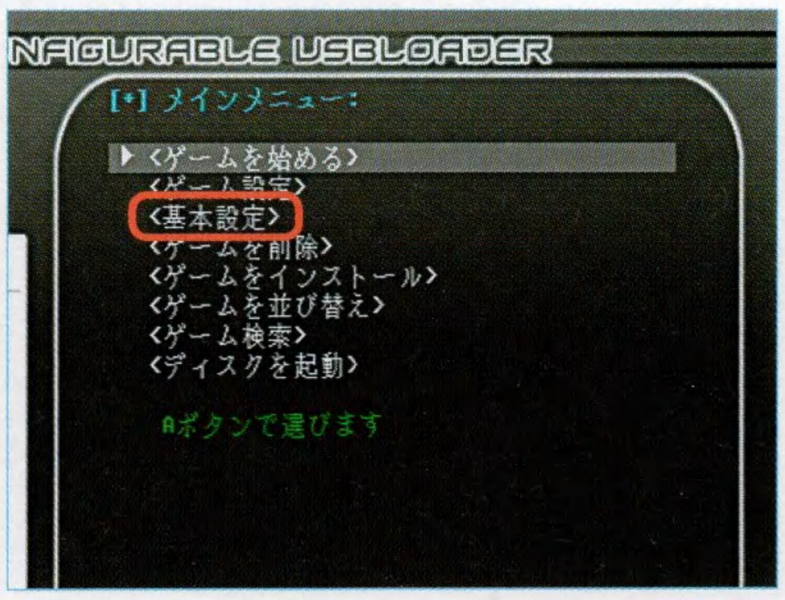


Aボタンを押してゲームを起動。データに問題がなければ、正常にプレイできるはずだ。

ジャケット画像を入手する

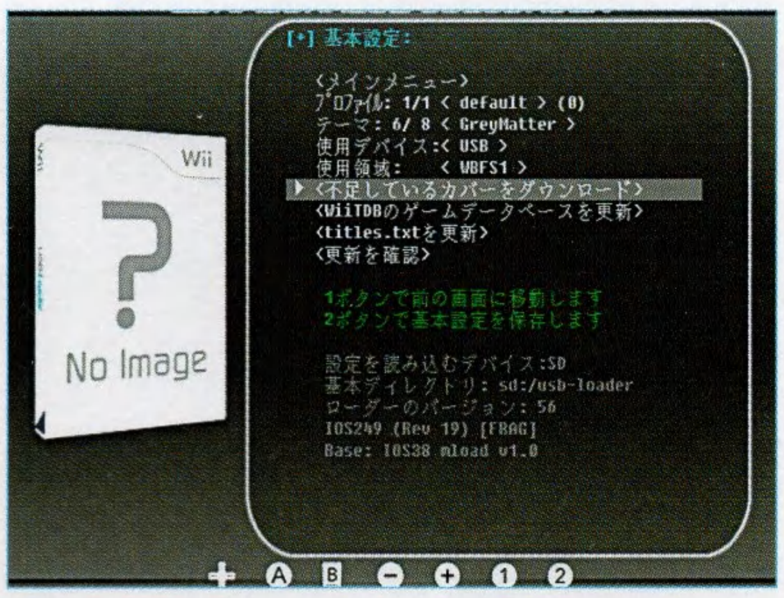
他のローダーと同様、CFGにもジャケット表示と画像の自動取得機能が搭載されている。メニュー画面にジャケット画像を表示したい場合は、ネット接続の設定をしたうえで、この機能を利用しよう。

1 ゲームを選択する



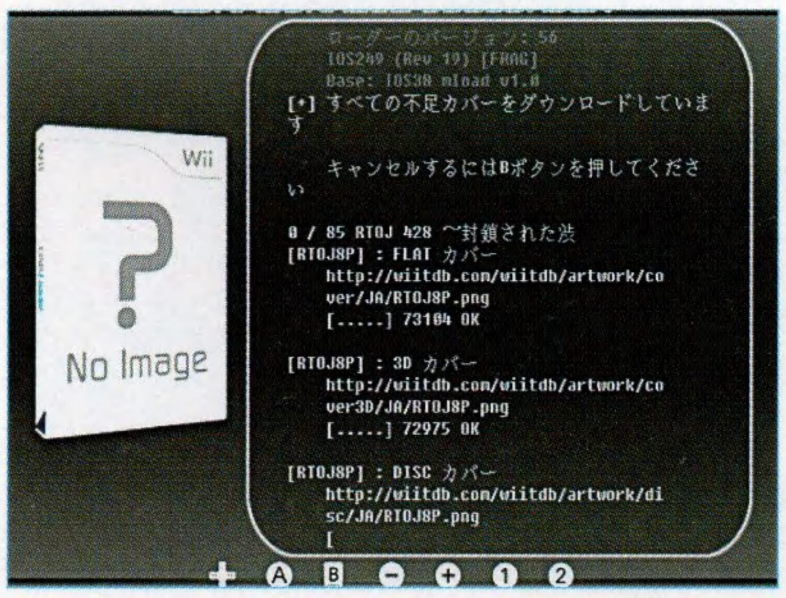
CFG起動後、「ー」ボタンを押してメインメニューを表示。「基本設定」の項目を選び、右ボタンもしくはAボタンを押す。

2 ダウンロードメニューを選択



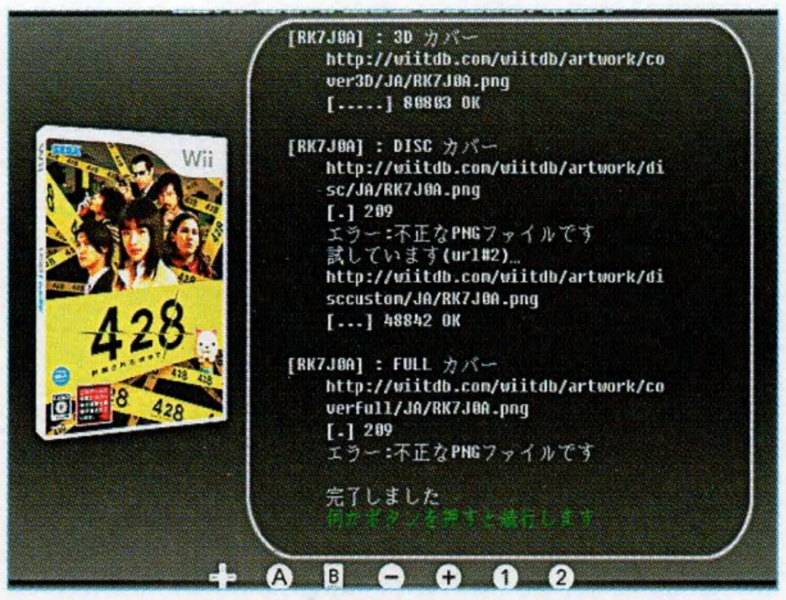
メニューから「不足しているカバーをダウンロード」を選択。右もしくはAボタンを押す。

3 ダウンロード開始



ダウンロードがはじまると、ドライブに保存されているゲームを検索し、不足している画像を自動でダウンロードする。

4 ダウンロード完了



不足画像をすべて入手すると、ダウンロードが完了する。終了までの時間はドライブに保存されているゲーム数によって大きく異なる。

5 ジャケット画像が適用される



ジャケット一覧へ戻ると、画像が表示されているはずだ。入手した画像はSDカード内の「usb-loader」→「covers」にあるぞ。

グラフィカルなローダーを使う

Wii PC SD Card reader Game media etc

多彩なジャケット表示、アイコンベースのメニューと、グラフィカルなインタフェースで人気急上昇中のローダーが「Wiiflow」だ。ディスク起動こそできないが、視覚的でわかりやすく操作しやすい点が大きな魅力。外観にこだわるなら一度は使いたいローダーだ。

Wiiflow ver2.0 rev52 日本語スタータパック
作者名●Hibernatus/papa
ファイル名●Wiiflow_v2.0_r52J_light.rar
URL●http://www.megaupload.com/?d=9RH6IJYQ

Wii WAD Manager Ver.1.7
作者名●Waninkoko
ファイル名●WAD-Manager_v1.7.zip
URL●http://www.mediafire.com/?xid2iyyjqvl

No Soft

ゲームローダーを導入する

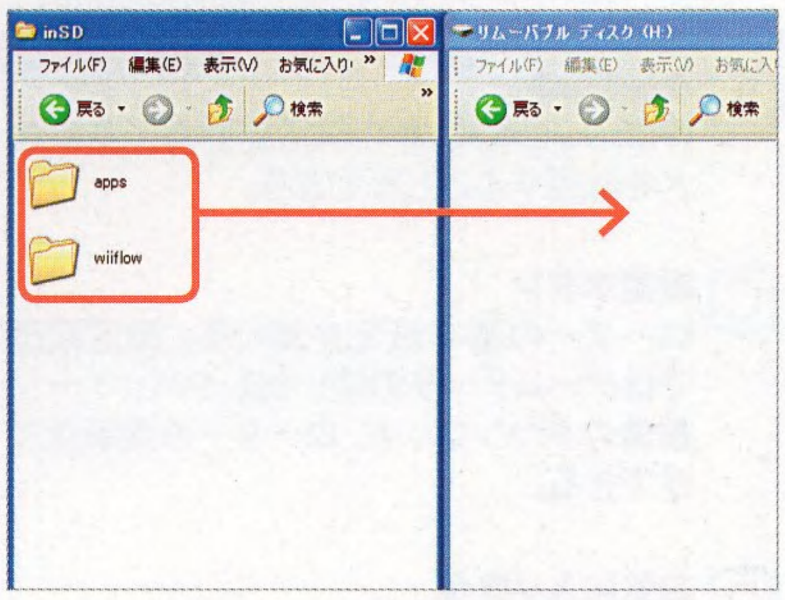
Wiiflowも他のローダーと同様、SDカードの「apps」フォルダに配置して使う。ローダーの配布ファイルにはフォワーダも同梱されているので、メインとして使用するならチャンネル登録も行なおう。

1 PC ゲームローダーを入手する



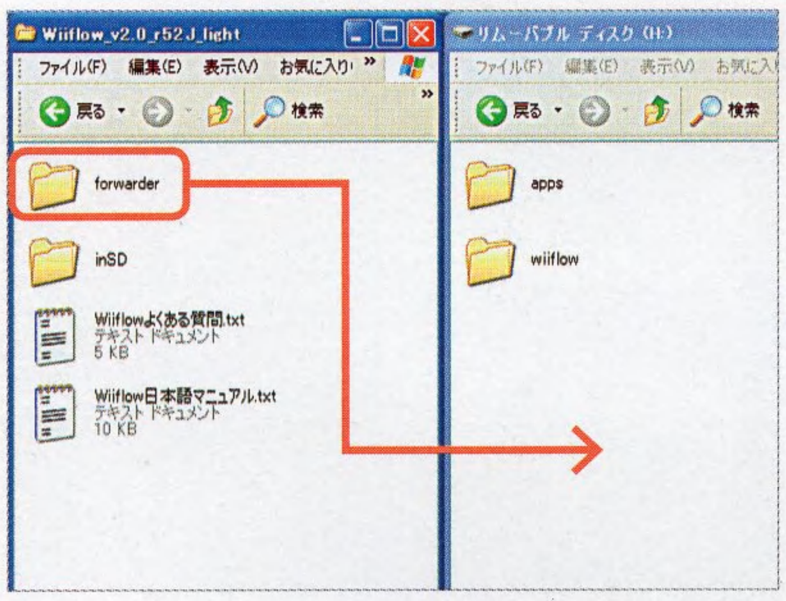
CD-ROM収録のリンクから配布サイトへ移動。アップローダサイトの文字認証をクリアし、「Wiiflow_v2.0_r52J_light.rar」を入手。

2 PC ゲームローダーをSDカードにコピー



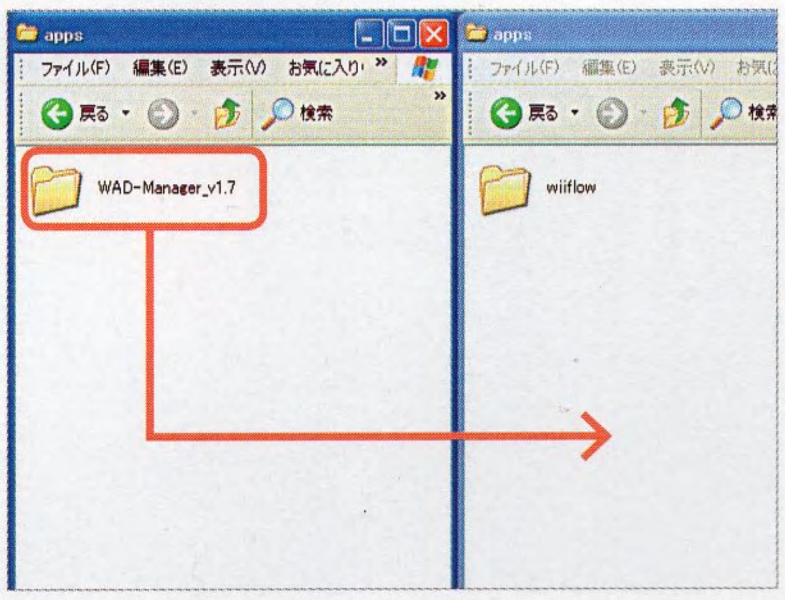
入手したファイルを解凍してフォルダを開き、「inSD」フォルダ内の「apps」「wiiflow」フォルダをSDカードのルートにコピーする。

3 PC 「フォワーダ」をSDカードにコピー



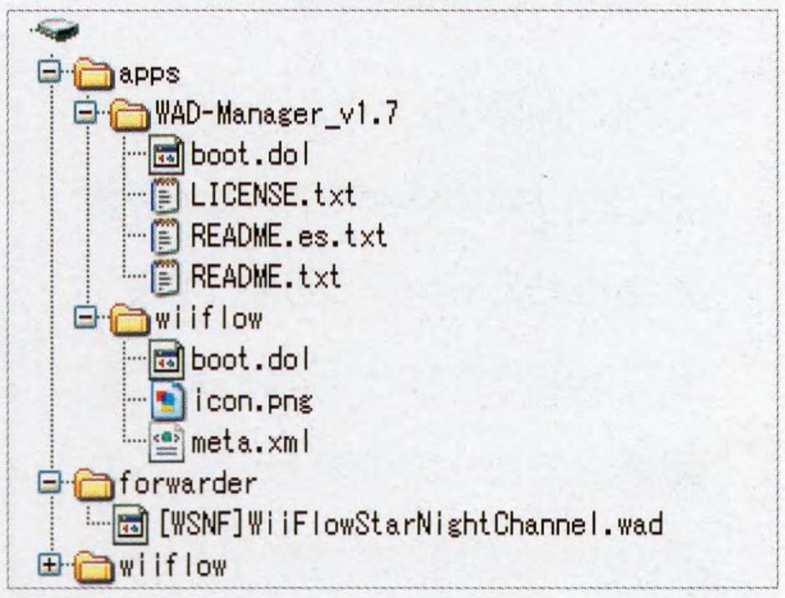
さらにひとつ上の階層にある「forwarder」フォルダをSDカードにコピーする。

4 PC 「WAD Manager」をSDカードにコピー



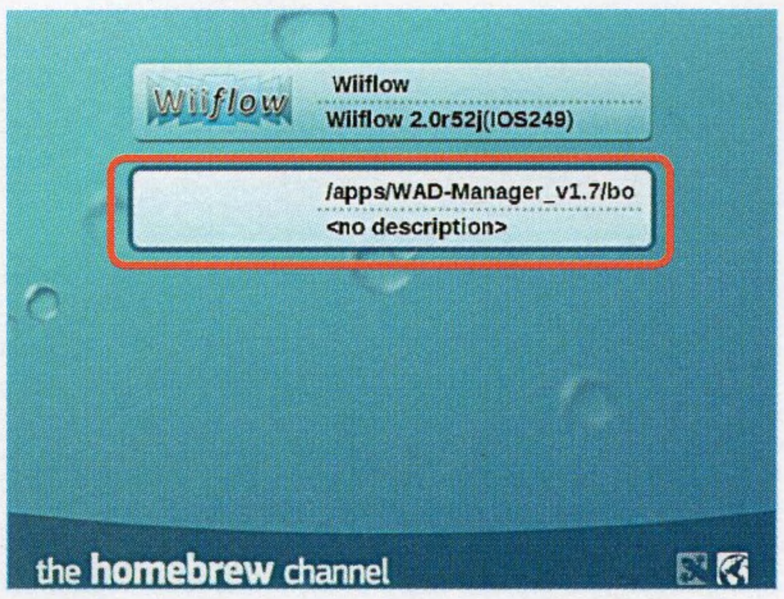
33ページで使用したWAD Managerを再度用意。「WAD-Manager_v1.7」フォルダをSDカード内の「apps」フォルダ内にコピーする。

5 PC フォルダ構造を確認する



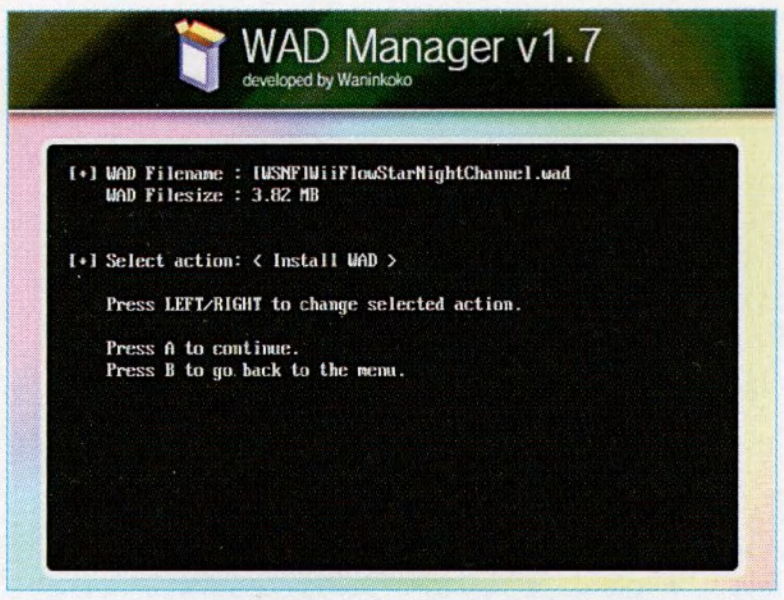
SDカードに保存した各種ツールが、写真と同じフォルダ構造になっているか確認する。

6 Wii 「WAD Manager」を起動する



HBCを起動し、メニュー画面で「/apps/WAD-Manager_～」を選択。フォワーダをインストールするため、WAD Managerを起動する。

7 Wii 「フォワーダ」をインストール



34ページの手順11～15を参考にWiiflowのフォワーダ「[WSNF]WiiFlowStarNightChannel.wad」をインストールする。

8 Wii チャンネルを確認する



Wiiメニューに戻り、Wiiflowのチャンネルが作成されているか確認しよう。

Wiiflow のメイン画面



Wiiflowのメイン画面。メニューは画面から隠れており、Wiiリモコンのポインタが近くに移動すると表示される。



ゲーム選択後の画面。十字ボタンの左右でゲームの切り替えが、Bボタンでメニュー画面に戻ることができる。

A **ゲーム一覧**
USBストレージ内に保存されているゲームの一覧。パッケージ画像で表示される。

B **クレジット**
Wiifrowの開発者や開発協力者の名前などを確認することができる。

C **設定ボタン**
ローダーの基本設定が開ける。設定画面ではゲームデータの吸い出しやパッケージ画像のダウンロード、ローダーの更新などができる。

D **お気に入り表示**
このボタンをオンにすると、お気に入り登録したゲームだけを表示できる。なお、お気に入りの設定は別途行なう必要あり。

E **Wiiチャンネル表示ボタン**
Wiiに登録されているチャンネルを表示する。選択したチャンネルはそのまま起動することもできる。ボタンを再度押すことにより、USBストレージの表示に戻る。

F **リセットボタン**
ローダーがリセットできる。ボタンを押したあとは「HBC」に戻る。

G **お気に入りボタン**
表示中のゲームをお気に入り登録できる。

H **使用者制限ボタン**
表示中のゲームに使用制限をかける。制限をかけたゲームは、ローダーをパスワードロックすると表示されなくなる。パスワードロックは基本設定で行ない、設定後にローダーを再起動することで使用制限が適用される。

画面表示の変更 Point



Wiifrowの最大の特徴が、派手な見た目のゲーム一覧。その表示パターンは豊富にあるぞ。

I **ゲーム設定ボタン**
ゲームごとの起動設定ができる。Error002の対応、使用IOSの設定、チートの適用といった各種設定が、ゲームごとに行なえる。

J **削除ボタン**
表示中のゲームをストレージから削除できる。

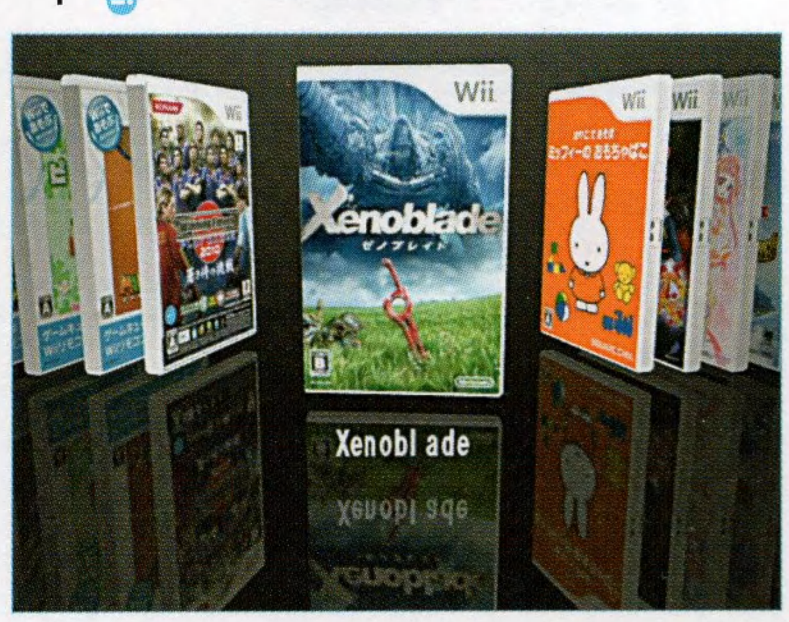
K **ゲーム起動ボタン**
表示中のゲームを起動する。

L **戻るボタン**
メイン画面に戻れる。

ゲームを起動する

ゲーム選択→「はじめる」ボタンと、Wiiflowのゲーム起動方法はとてもシンプルだ。Wiiリモコンのほかに十字ボタンでも起動メニューの選択ができるので、ゲームの起動が素早くできるのもうれしい。

1 ゲームを選択する



Wiiリモコンや十字ボタンを使って、起動したいゲームを選択する。

2 ゲーム起動ボタンを押す



Wiiリモコンや十字ボタンを使って、「はじめる」ボタンを選択。Aボタンを押す。

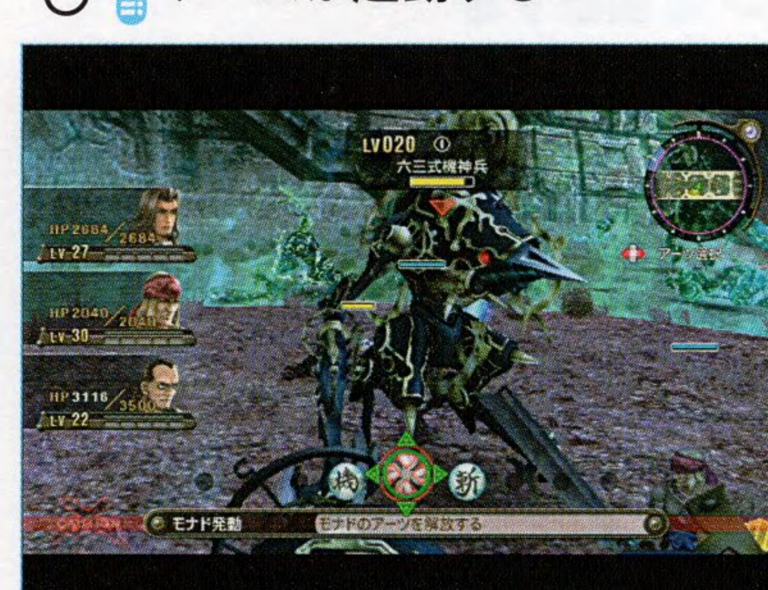
ローダー本体はSDカードに入れる Point

フォワーダを導入すると、チャンネルからローダーが起動できるが、このフォワーダはWii前面のSDカードからローダーを読み込むための、パソコンでいうショートカットのようなもの。そのため、SDカードにはローダー本体がないと起動できないのだ。ローダー起動時は本体の用意し忘れに注意しよう。



ローダーに対応するフォワーダが公開されている場合は、導入しておくと便利だ。

3 ゲームが起動する



データに問題がなければ、ゲームが起動する。あとはプレイするだけだ。

対策ゲームの起動設定

ハック対策回避用の起動設定は、Wiiflowでも行なえる。「モンスターハンター3 トライ」など該当するゲームで遊ぶときは、設定画面で回避する状態にしておこう。なお、変更した設定はローダーに保存すること。

1 ゲームを選択する



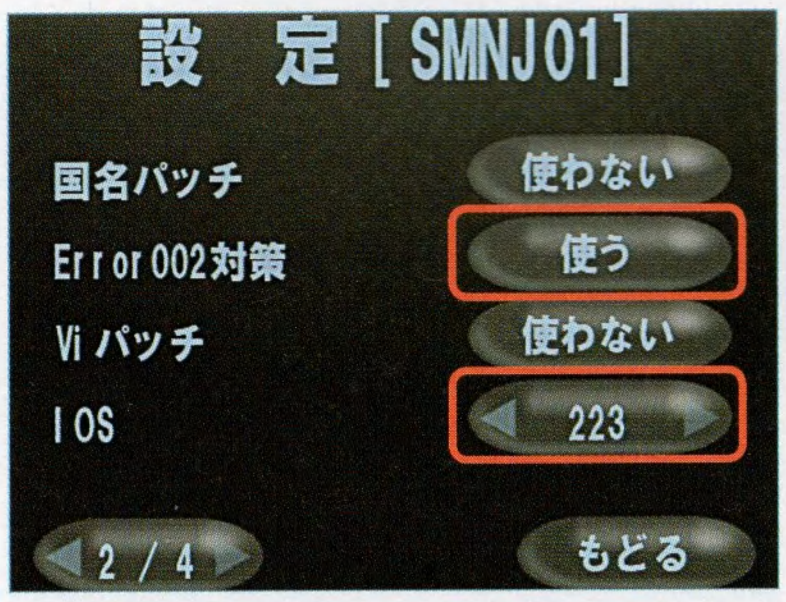
ハック対策があるゲームをメイン画面で選択。

2 設定メニューを開く



Wiiリモコンを操作してメニューを表示し、ギアの形をしたアイコンを選択。Aボタンを押して設定メニューを開く。

3 設定を変更する



左下の矢印ボタン、もしくは「+」「−」ボタンでページを移動する。「Error002対策」「IOS」の項目をゲームに応じて変更。

4 起動メニューに戻る



Bボタンを押して起動メニューに戻り、「はじめる」ボタンからゲームを起動する。

5 ゲームを起動する



回避用の設定が正しく行なわれていれば、対策されたゲームが正常にプレイできる。

ジャケット画像を入手する

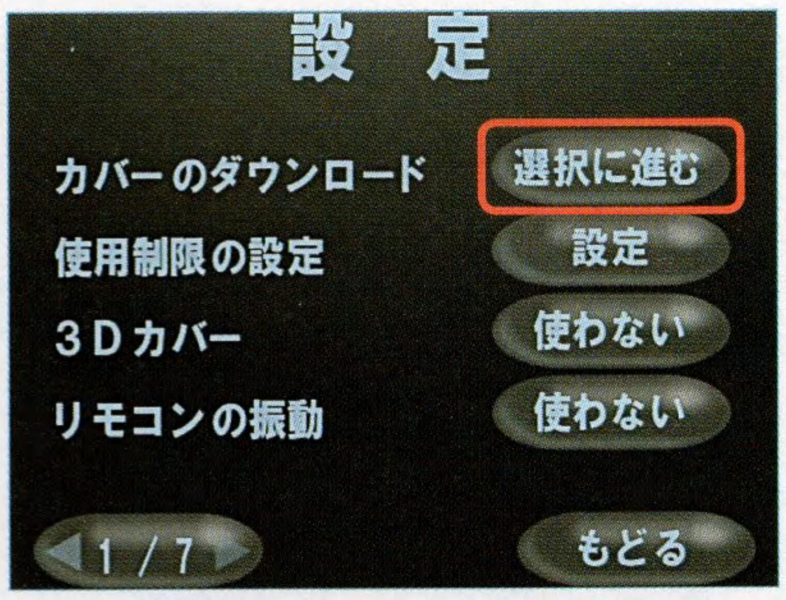
Wiifrowの特徴を最大限に活かすのなら、ゲームのジャケット画像は用意したい。Wiifrowにもネット接続によるジャケット画像の自動収集機能あるので、Wiifrow導入後は、ジャケット画像を入手しておこう。

1 設定メニューを開く



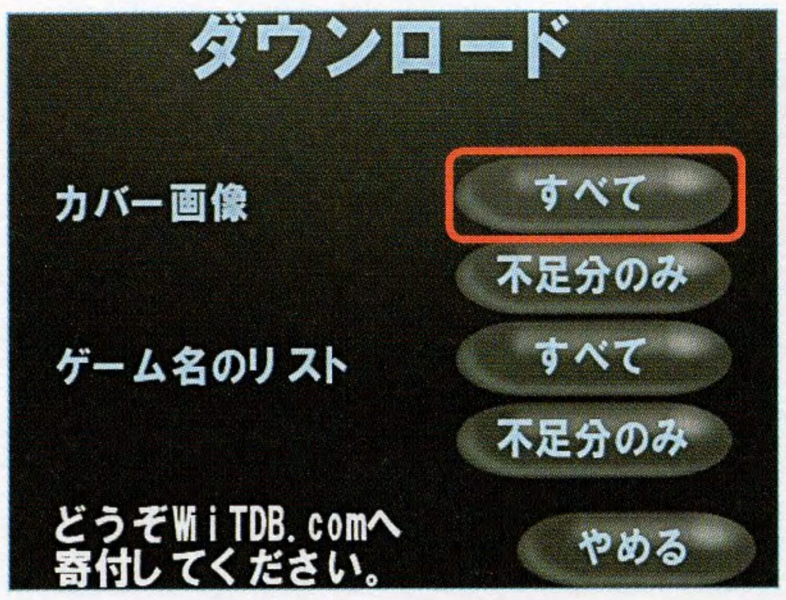
メイン画面でWiiリモコンを操作し、ギアのアイコンを選択。Aボタンを押してWiifrowの全体設定画面を表示する。

2 ダウンロードメニューを選択



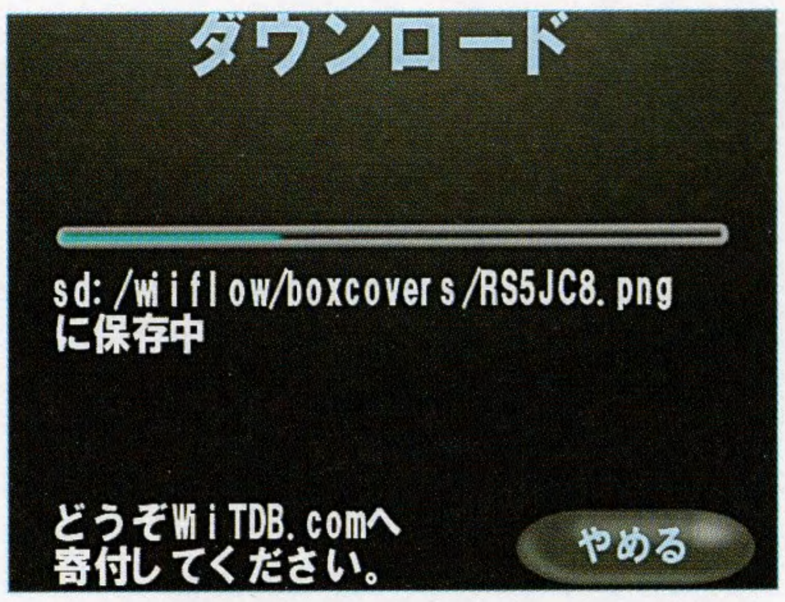
最初の画面にある「カバーのダウンロード」を選択。Aボタンを押す。

3 画像の種類を選択



ネット取得する画像の種類を選択する。ここでは「カバー画像」の「すべて」を選択。

4 ダウンロード開始



ダウンロード開始。完了までの時間はドライブに登録されているゲーム数で変わる。ちなみに80本の場合、1時間程度の時間を要した。

5 ジャケット画像が適用される



ダウンロード完了後、メイン画面に戻ると、取得したジャケット画像が適用されている。

GCのゲームをバックアップ

Wii PC SD Card reader Game media etc

ハック済みのWiiを使用すれば、ゲームキューブ（以下、GC）の製品ゲームもバックアップすることができる。もちろん、取り出したデータはコピーゲームとしてプレイすることが可能だ。ここからは、GCゲームのバックアップ方法について解説していこう。



cIOS-DVD-Dumper Ver.1.2
作者名●Waninkoko
ファイル名●cIOSDVDDumper_v1.2.zip
URL●http://www.mediafire.com/?mymngvzxj3y

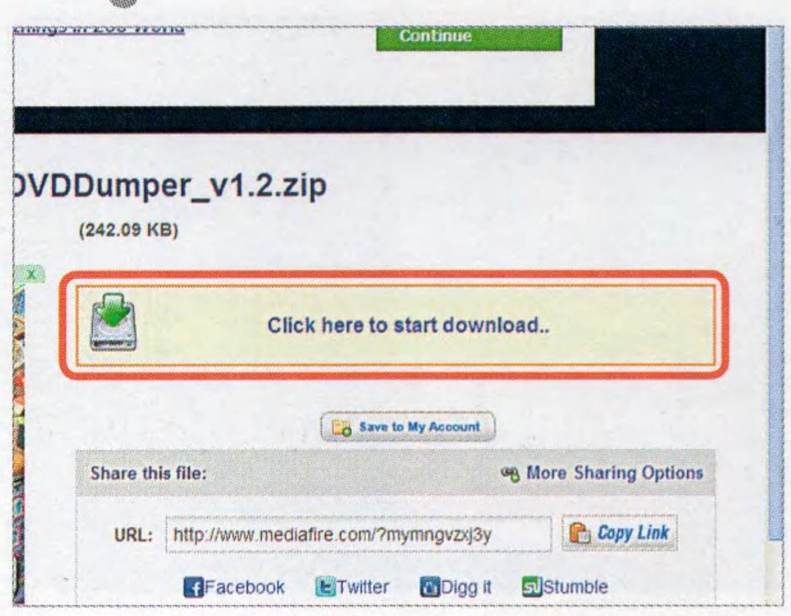
No Soft

No Soft

ツールを用意する

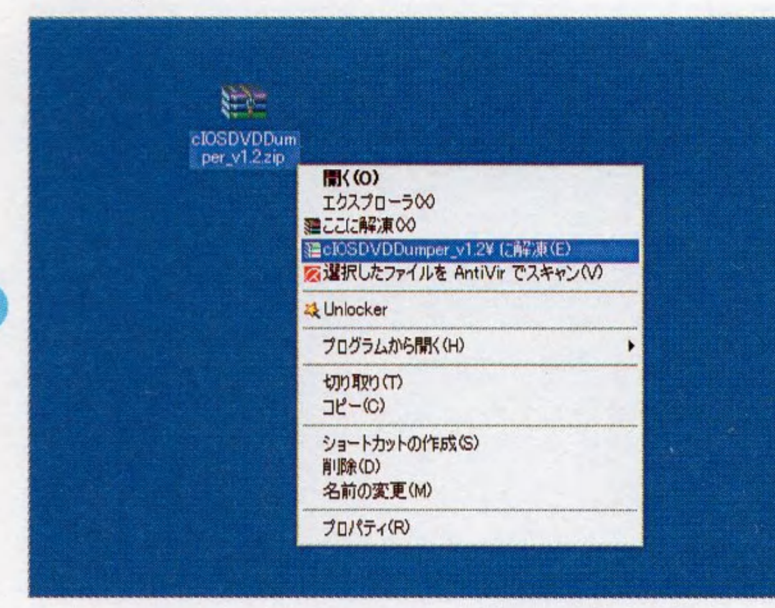
ゲームローダーから手軽にバックアップできるWiiとは異なり、GCのゲームはHBCで起動する専用ツールでバックアップする。まずは、必要なツールを入手してバックアップ作業の環境を整えよう。

1 PC データ吸い出しツールを入手



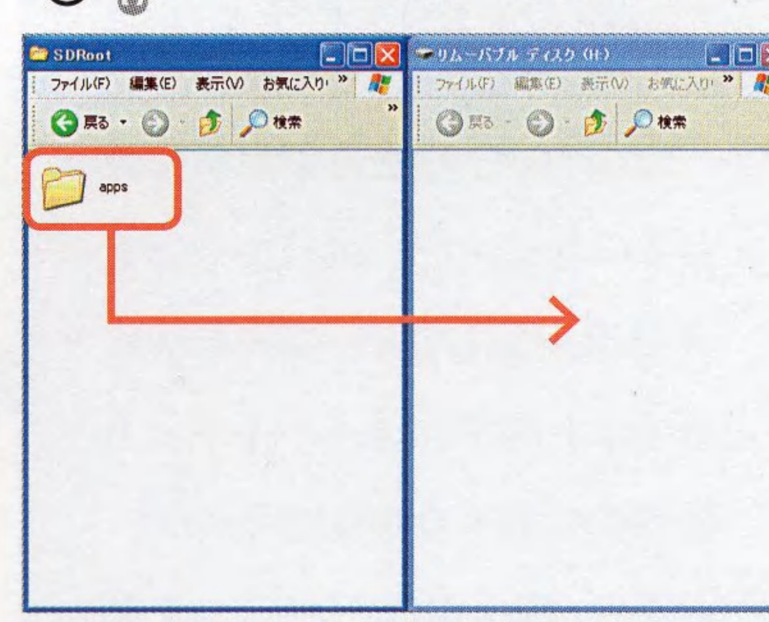
CD-ROM収録のリンクから配布サイトに移動。「～ to start download..」をクリックし、「cIOSDVDDumper_v1.2.zip」を入手する。

2 PC ツールを解凍する



入手した「cIOSDVDDumper_v1.2.zip」をデスクトップに解凍する。

3 PC ツールをSDカードにコピー



解凍したフォルダ内の「apps」フォルダをSDカードのルートにコピーする。

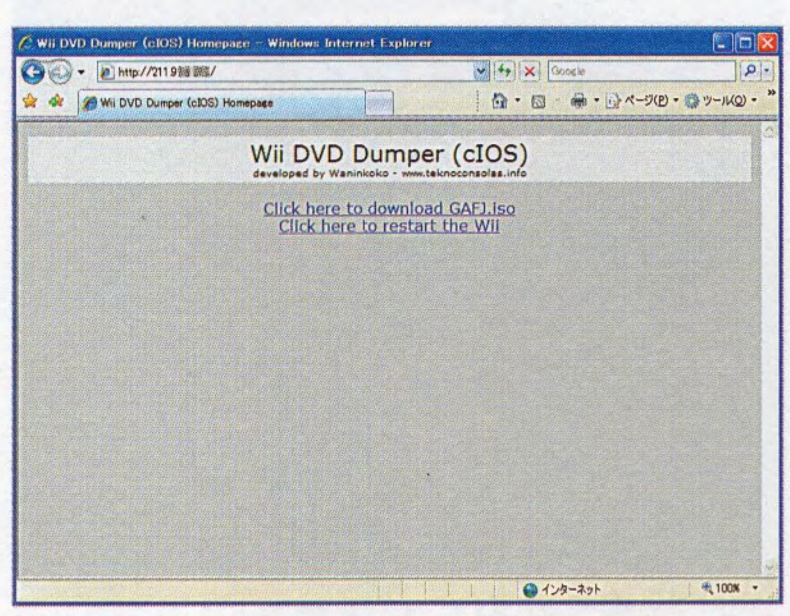
吸い出し方法は2種類ある

Point

Wii DVD Dumperによるバックアップは、データの取得方法によって完了までの時間が異なる。オススメはWifiを使ったインターネットでの取得だ。

●吸い出し時間の比較

方法	所要時間
SDカード経由	約3時間
Wifi経由	約1時間30分



Wiiがネット接続できる環境なら、Wifi経由でバックアップしたほうが断然早い。

SDカード経由で吸い出す

Wii前面のSDカードスロットから、SDカード経由でバックアップする方法がこれ。時間はかかるが、オフラインで手軽に実行できるのが特徴だ。なお、使用するSDカードは、2GB以上のものを用意しよう。

1 Wii WiiにSDカードをセット



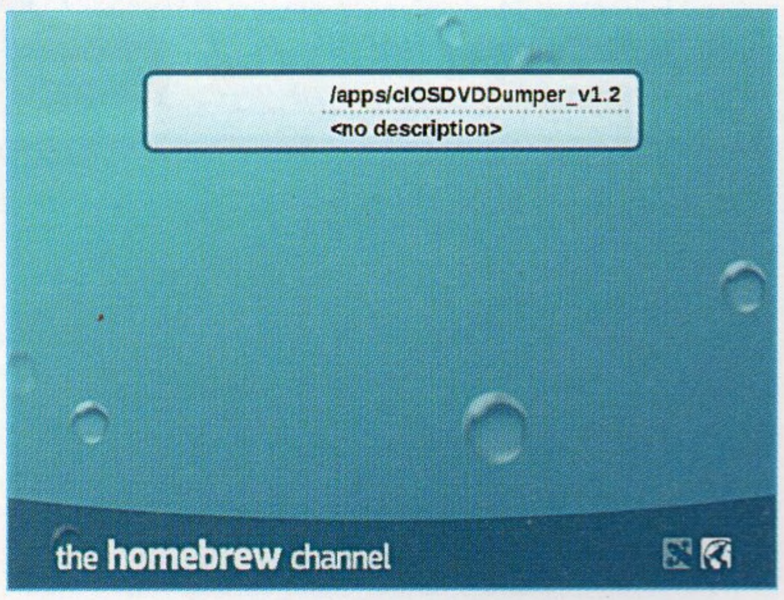
ツールが保存してあるSDカードを、Wii前面のSDカードスロットにセットする。バックアップデータはこのSDカードに吸い出される。

2 Wii HBCを起動する



WiiメニューからHBCを起動する。ちなみにHBCの起動と手順1のSDカードのセットは、順番が逆になっても問題ない。

3 データ吸い出しツールを起動する

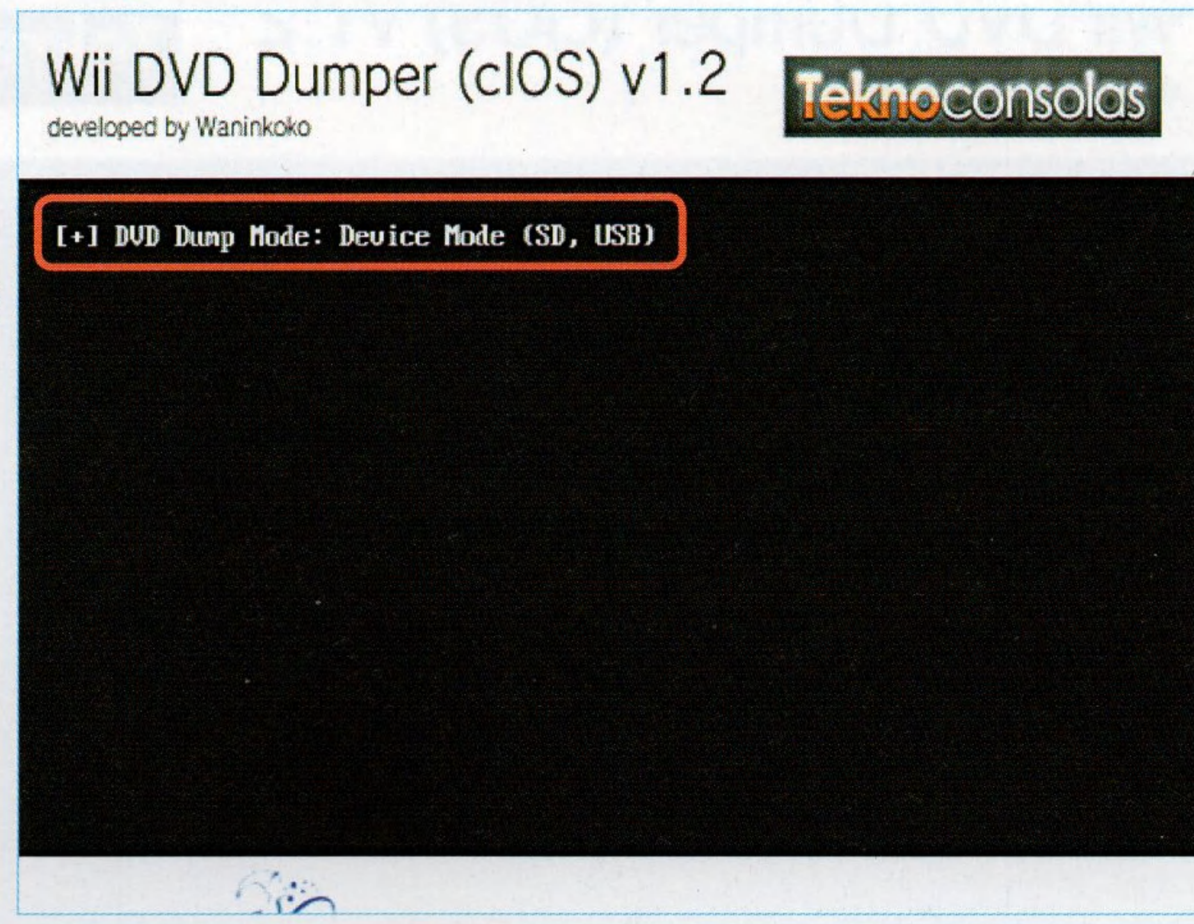


HBCのメニューで「/apps/cIOSDVDDumper_v1.2」を選択。Aボタンを押す。



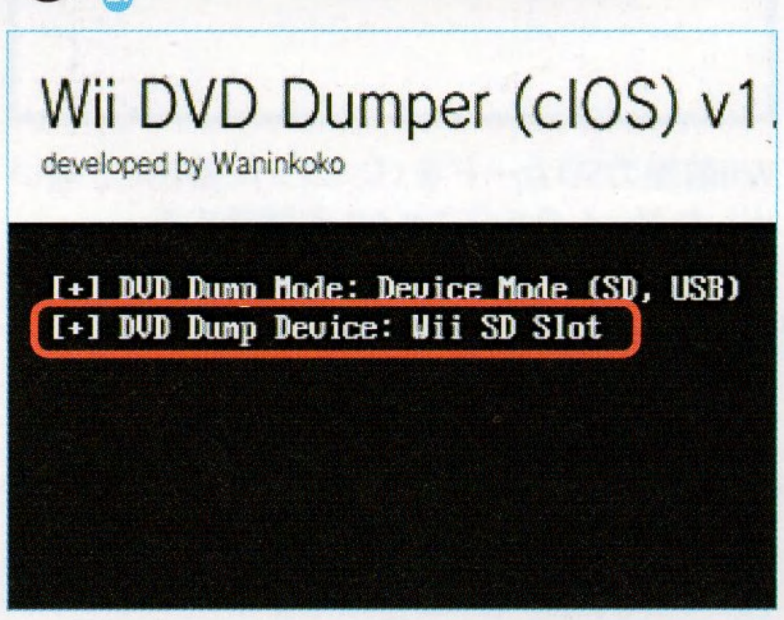
起動確認の画面が表示されるので、「Load」ボタンで起動する。

4 吸い出し方法を選択



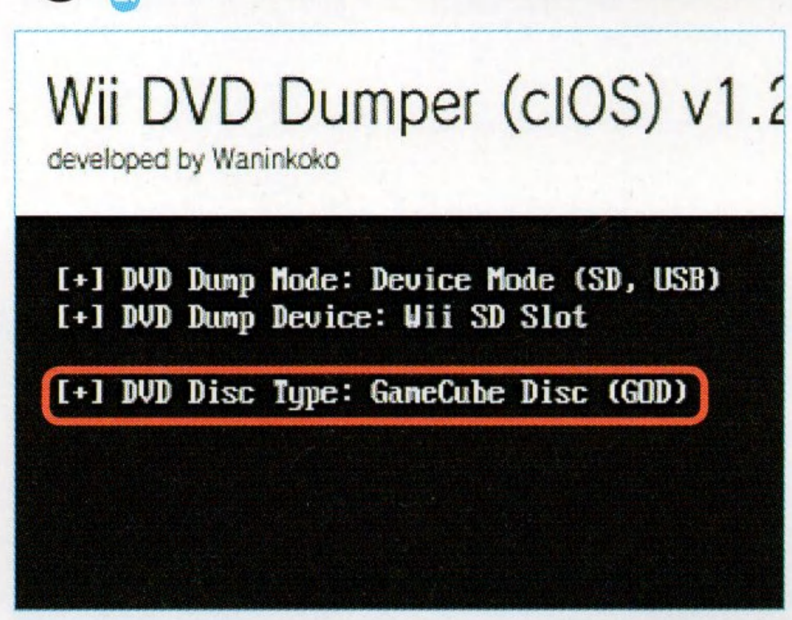
最初にバックアップデータの吸い出し方法を選択する。十字ボタンで項目を変更し、「Device Mode （SD, USB）」でAボタンを押す。

5 データの保存先を選択



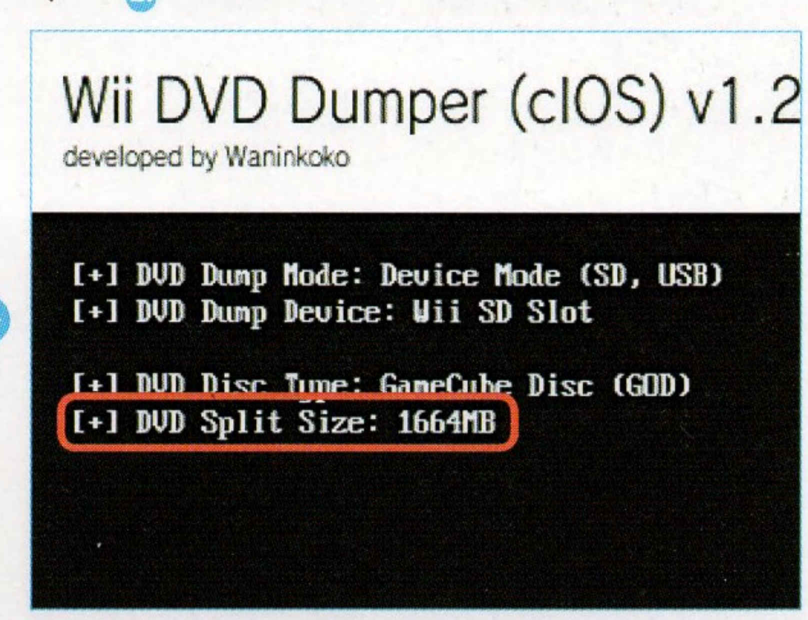
次に吸い出したデータの保存先を指定する。画面の項目が「Wii SD Slot」であることを確認し、Aボタンを押す。

6 ゲームディスクの種類を選択



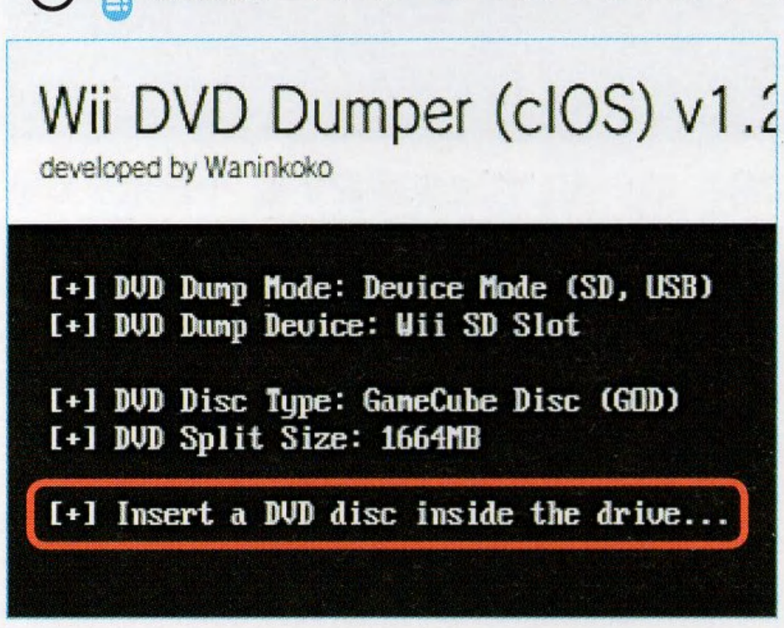
「GameCube Disc（GOD）」を選択し、Aボタンを押す。ちなみに、Wii DVD DumperはWiiのゲームディスクもバックアップできる。

7 分割サイズを指定する

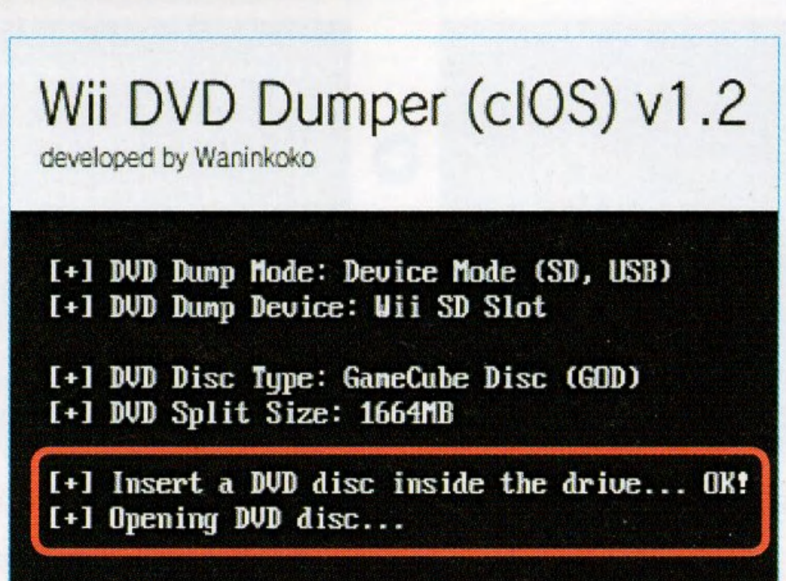


ファイル分割のサイズは1664MB以上にしておく。本ツールはファイル分割して吸い出せるが、結合に失敗することがあるからだ。

8 製品ディスクをWiiにセットする

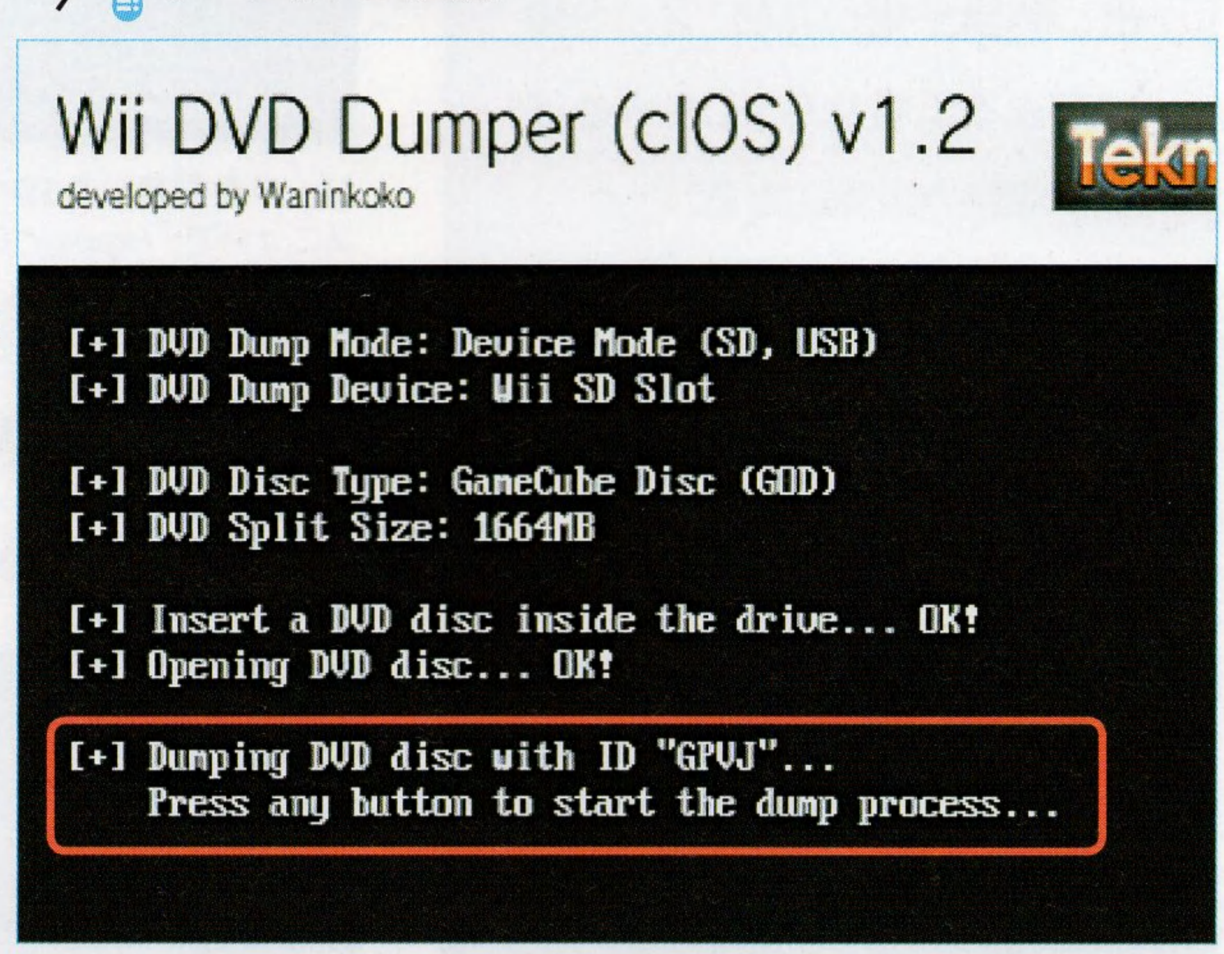


写真の表示で画面が停止したら、Wiiにゲームキューブの製品ディスクをセットする。



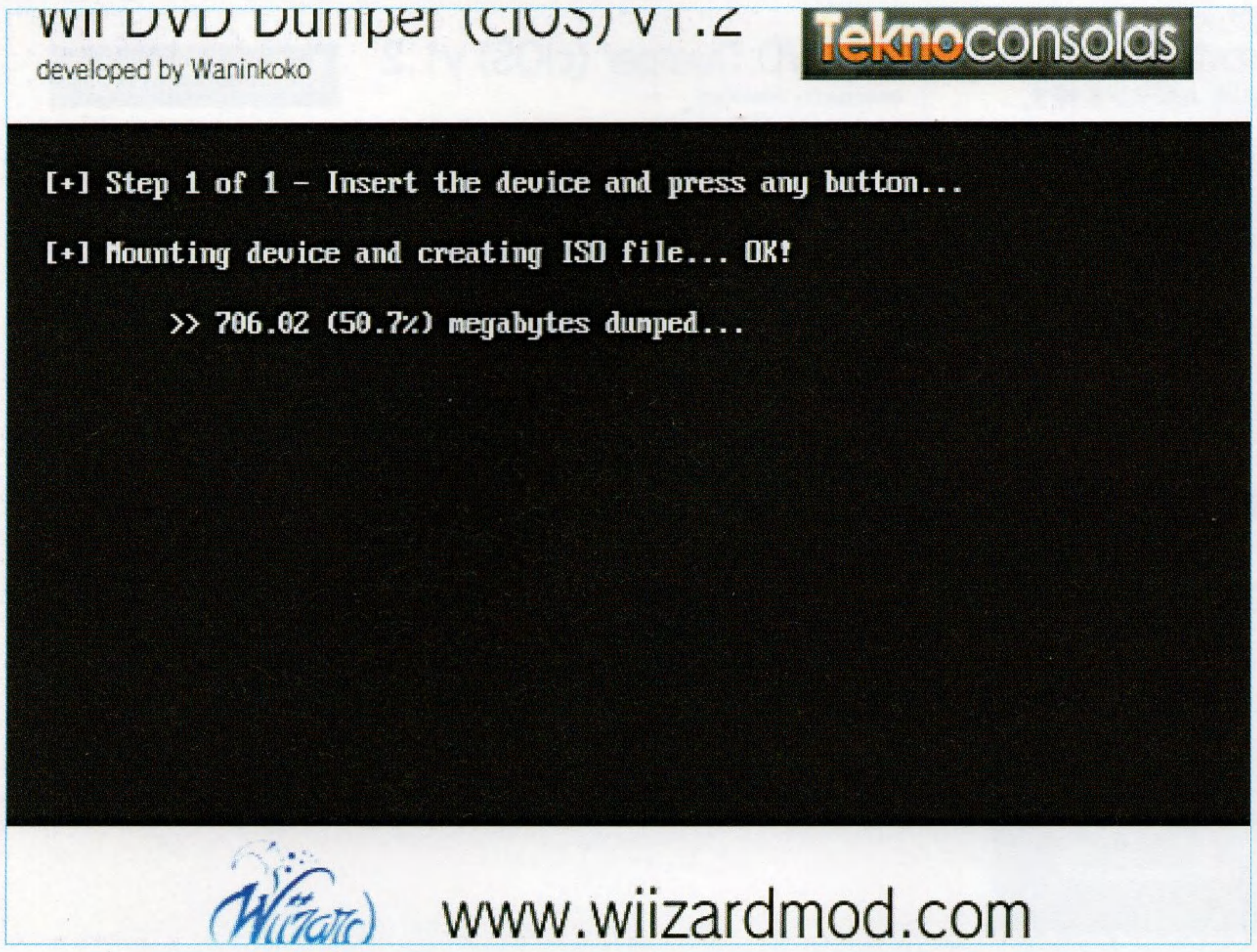
ディスクをセットすると、Wii DVD Dumperが解析を行なう。画面が変わるまで待つ。

9 ゲームIDを確認



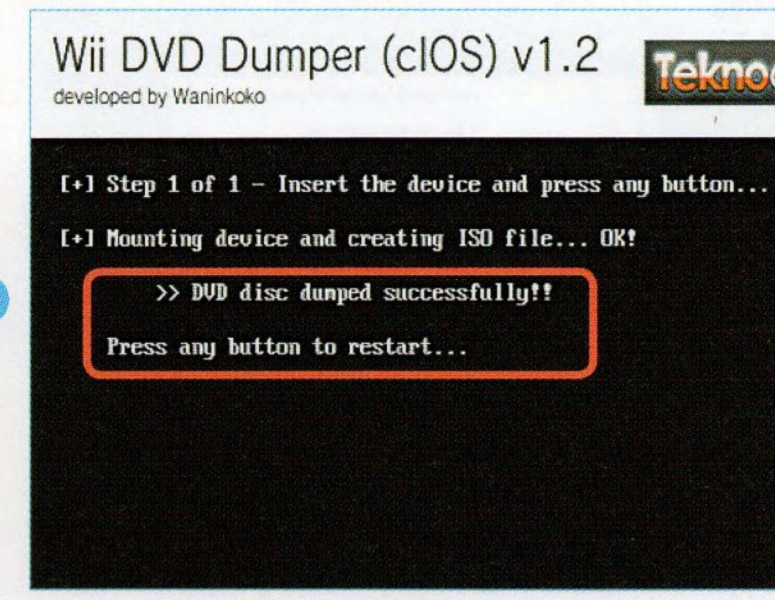
ディスクの解析が終了すると、セットしたディスクのゲームIDが表示される。いずれかのボタンを押せば、バックアップが開始できる。

10 Wii データの吸い出しを開始する



バックアップを開始すると、ゲームディスクからデータが読み込まれ、SDカードに保存されていく。終了までかなりの時間を要する（約3時間）ので、そのまま放置しておこう。

11 Wii 吸い出し完了



画面に「～ successfully!!」の表示が出れば、バックアップは完了。いずれかのボタンを押して、Wii DVD Dumperを終了する。

12 PC ISOファイルが完成

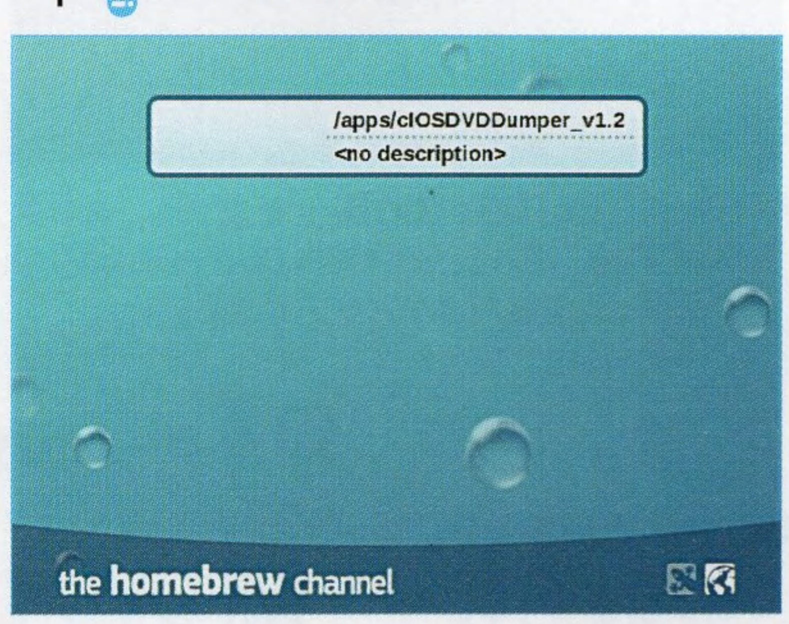


Wii前面のSDカードをパソコンに接続し、吸い出したゲームのISOファイルを確認する。

Wifi経由で吸い出す

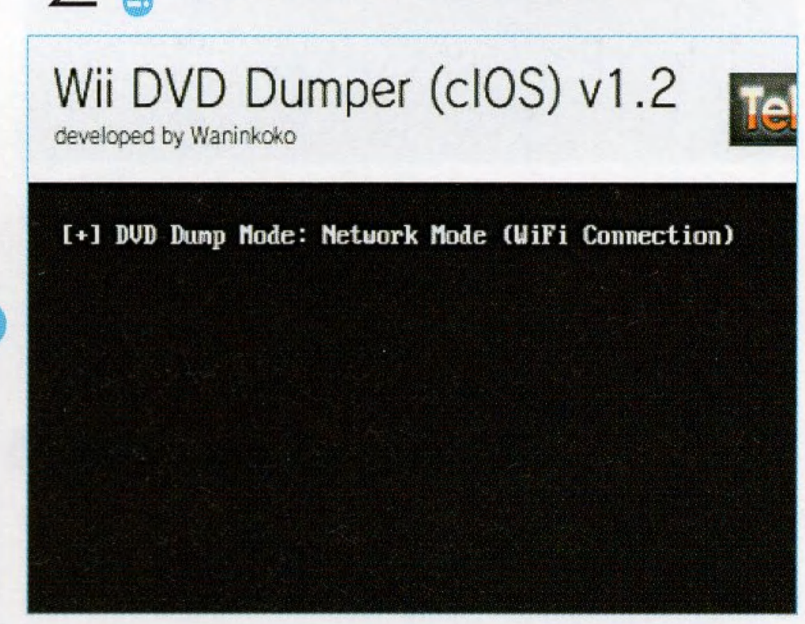
Wii DVD Dumperでは、吸い出したデータをWifiで転送し、パソコンで直接取得することもできる。SDカードに比べて吸い出し時間が短いため、ネット接続できる環境なら、こちらのほうが時間の短縮になる。

1 Wii ツールを起動する



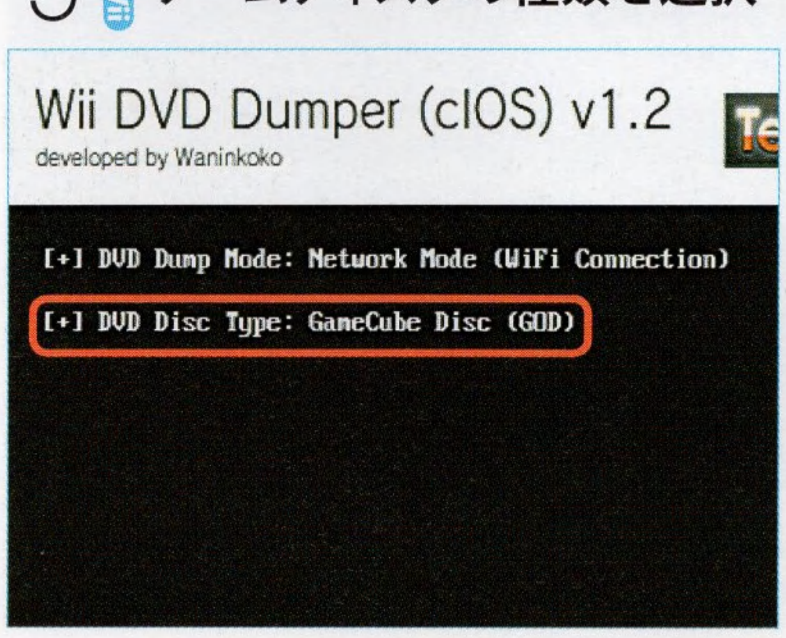
ツールを保存したSDカードをセットし、HBCのメニューで「/apps/cIOSDVDDumper_v1.2」を選択。Aボタンを押す。

2 Wii 吸い出し方法を選択



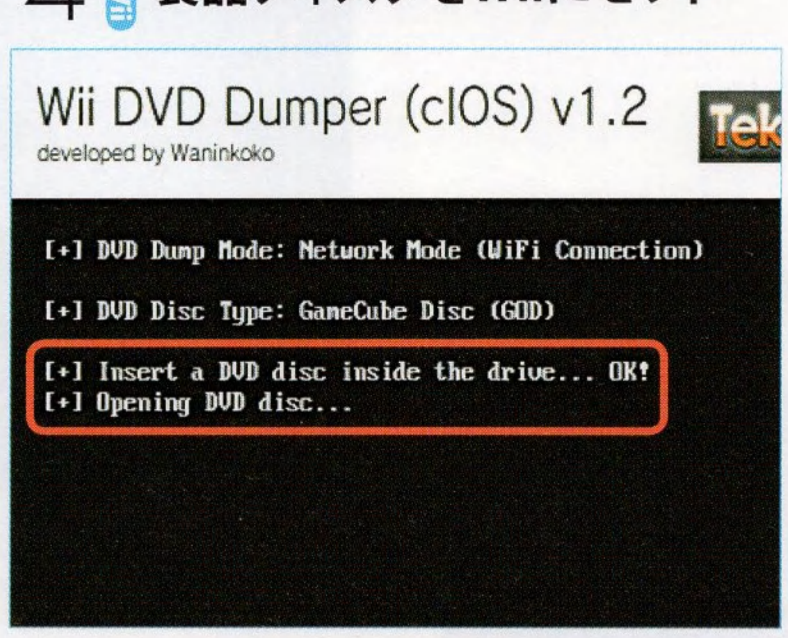
次に、吸い出し方法を選択する。十字ボタンで「Network mode（Wifi Connection）」に項目変更し、Aボタンを押す。

3 Wii ゲームディスクの種類を選択



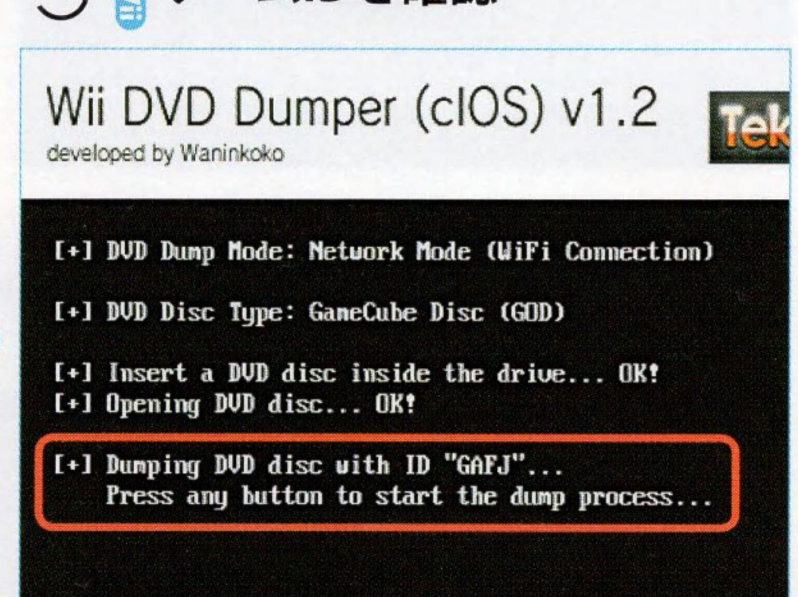
十字ボタンで「GameCube Disc（GOD）」を選択。Aボタンを押す。

4 Wii 製品ディスクをWiiにセット



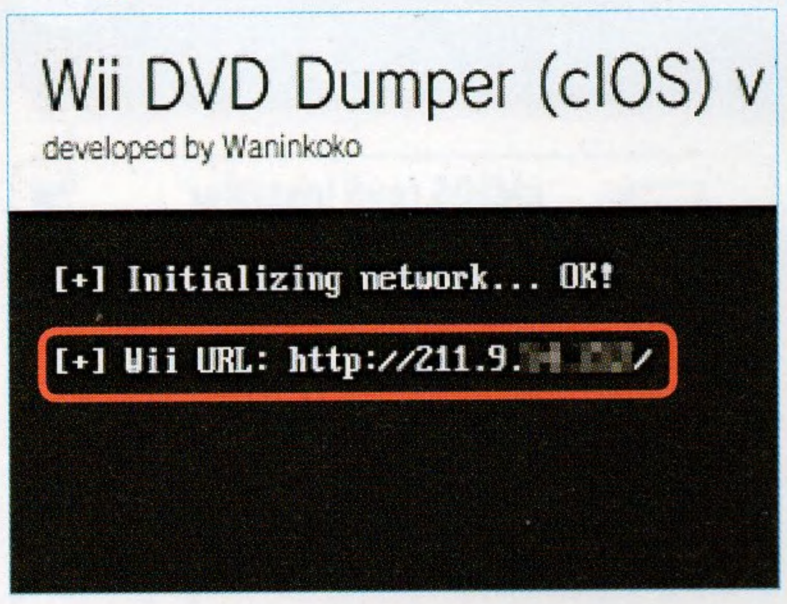
GCのゲームディスクをWiiにセットし、ディスクをWiiに読み込ませる。

5 Wii ゲームIDを確認



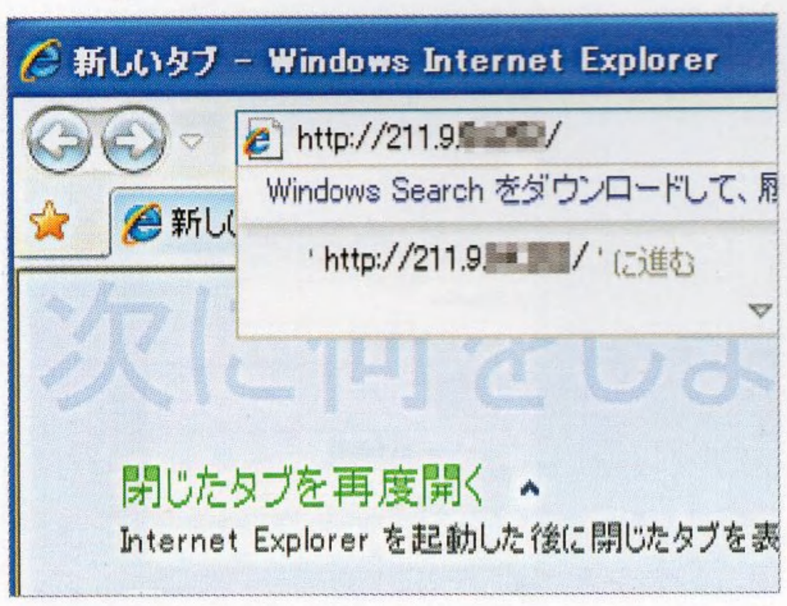
セットしたディスクのゲームIDが表示されるので確認する。その後、いずれかのボタンを押してバックアップ作業を開始しよう。

6 Wii ダウンロードURLを確認



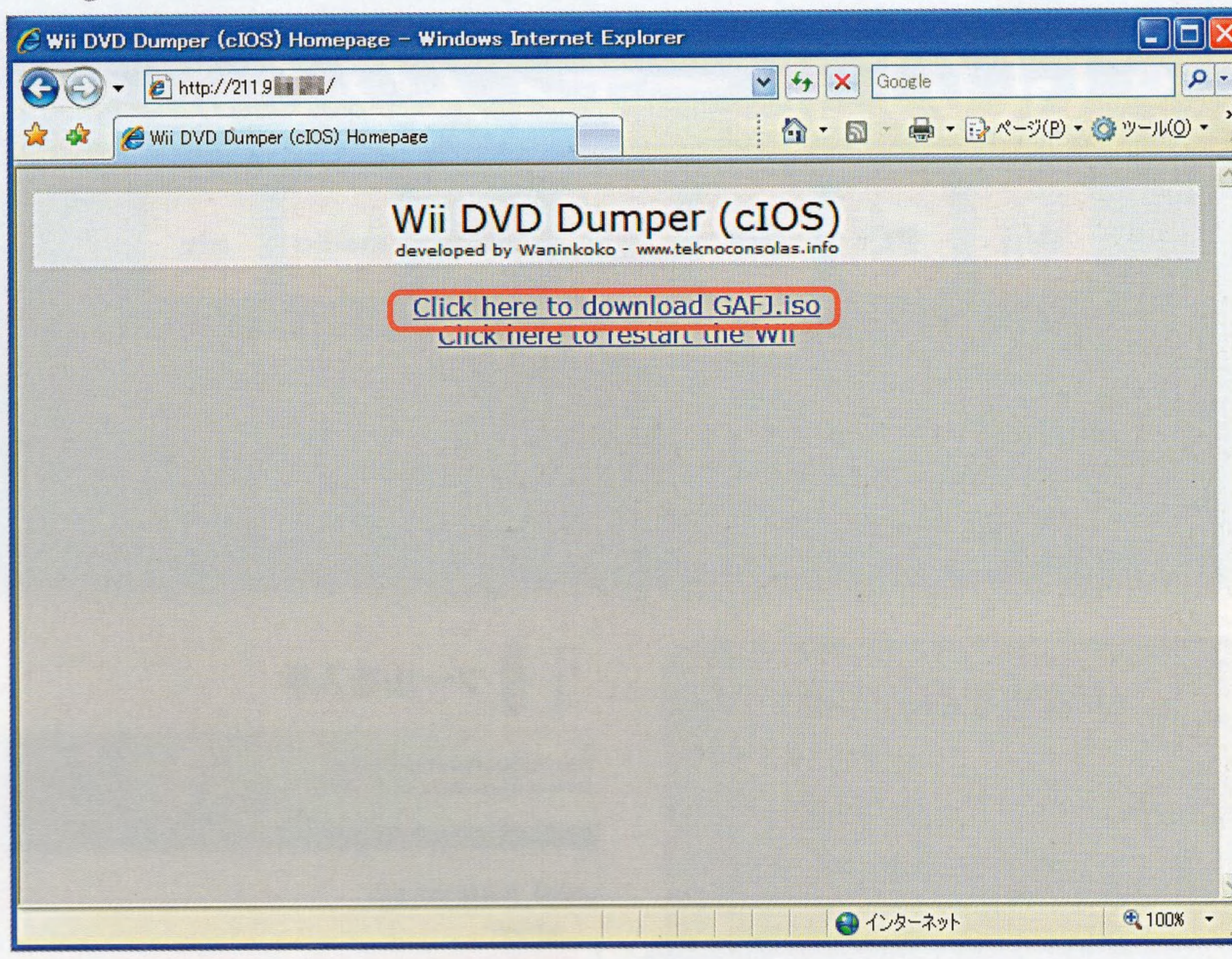
ネットワークの初期化に失敗したら、Wiiのネット設定を再確認する。接続に成功すると、アップロード先のURLが表示される。

7 PC ブラウザでアクセス



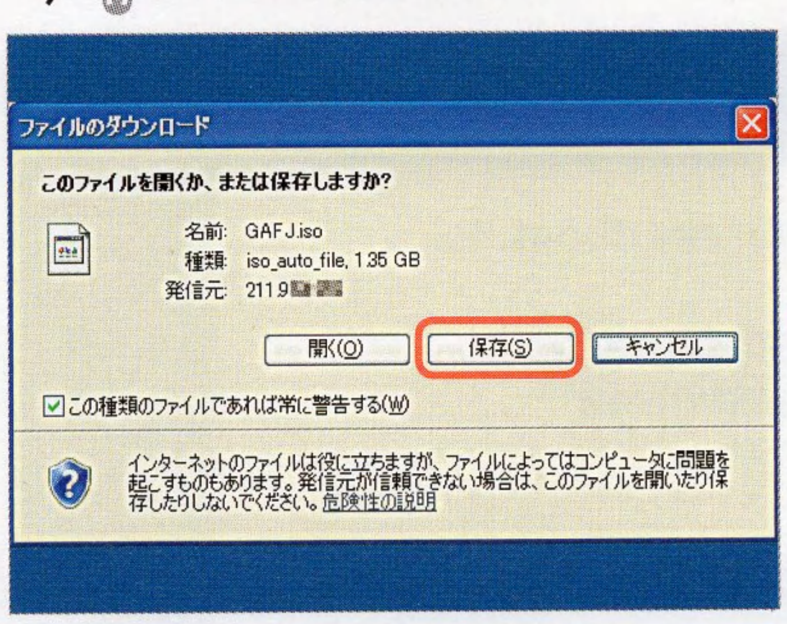
パソコンでブラウザを起動。手順6で表示されたURLを手動入力し、アクセスしよう。

8 PC ダウンロードリンクをクリック



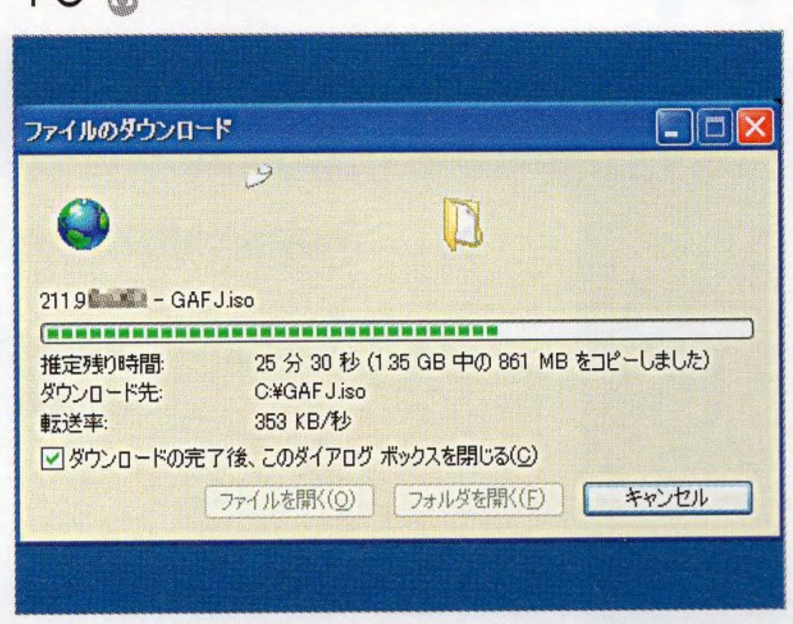
正しいURLを入力すれば、写真の画面が表示される。ふたつあるリンクのうち、上部の「Click here to download ～」をクリックする。

9 PC 保存先を選択する



バックアップデータの保存ダイアログが表示される。「保存」ボタンをクリックして、バックアップの保存先を指定しよう。

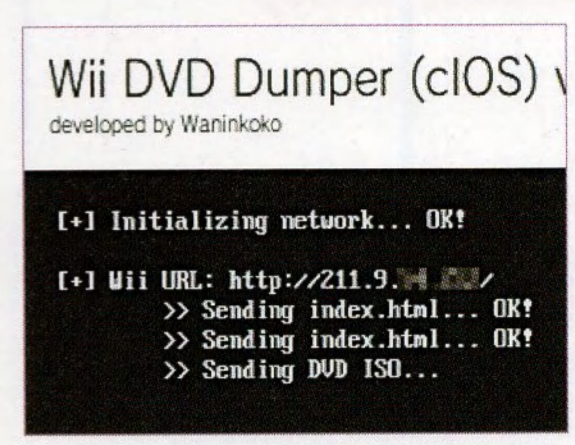
10 PC ダウンロード開始



データのダウンロードがはじまる。ネットワークの環境にもよるが、通常のGCゲームだと完了するまで1時間30分程度の時間を要する。

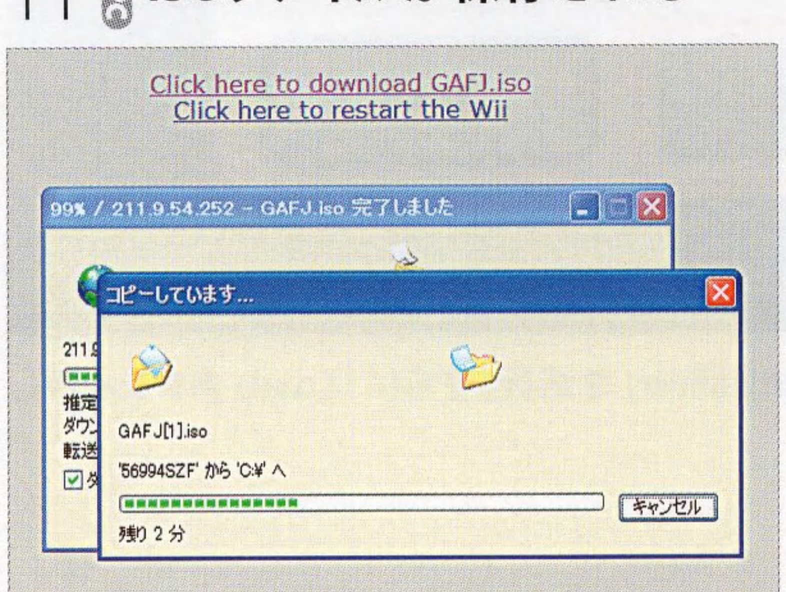
Wiiはそのままに Point

Wifi経由の方法では、Wiiとパソコンが連動して動作している。ダウンロード中はWiiを操作しないこと。



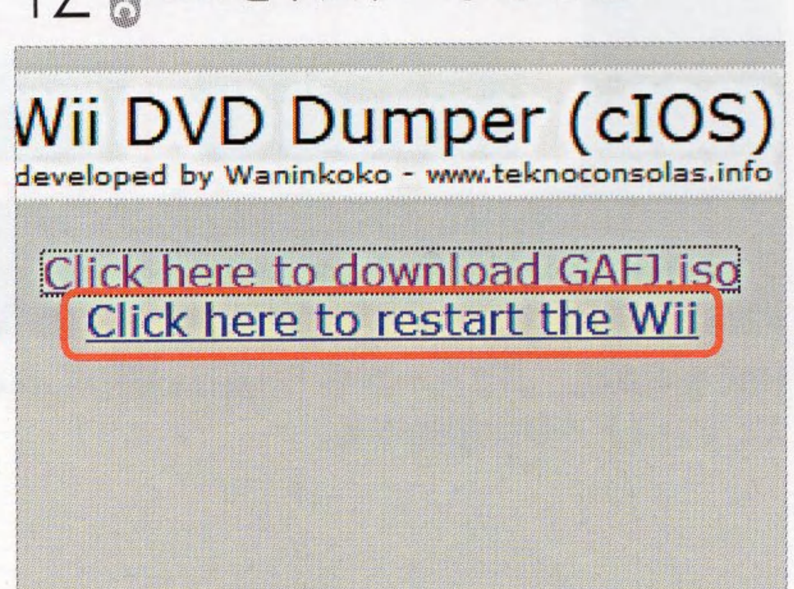
ダウンロード中のWiiの画面。ゲームデータをネットへ転送しているのがわかる。

11 PC ISOファイルが保存される



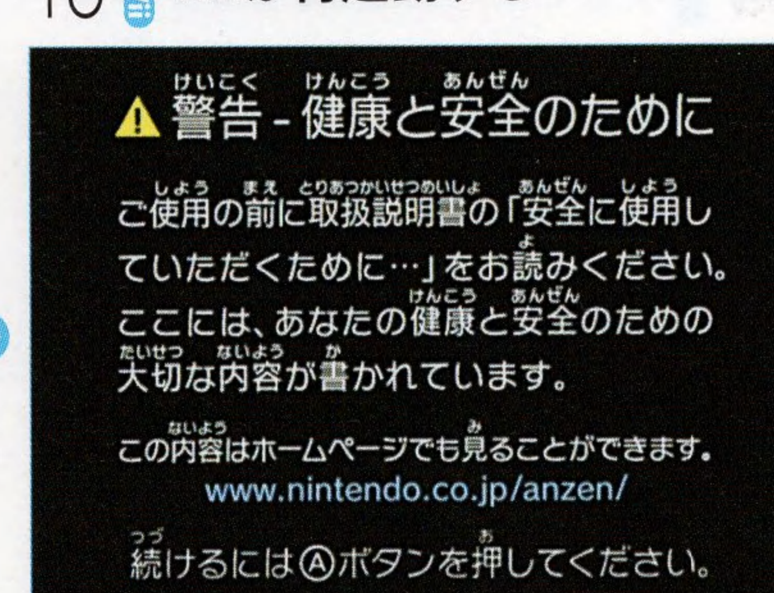
ダウンロードが完了すると、ゲームのISOファイルがパソコンに保存される。

12 PC Wiiをリスタートさせる



パソコンのブラウザ画面で「Click here to restart the wii」をクリックする。

13 Wii Wiiが再起動する



リンクをクリックしたという情報がWiiに送られ、Wiiが自動的に再起動する。

GCのコピーディスクで遊ぶ

Wii PC SD Card reader Game media etc

GCのバックアップデータで遊ぶには、特殊なcIOSと対応するゲームローダーの導入が必要だ。ここまで解説してきたWii用の環境ではゲーム起動不可なので注意したい。また、GCのゲームはディスク起動しかできない。対策ドライブのWiiではプレイできないぞ。

cMIOS rev5 Installer
作者名●Waninkoko
ファイル名●cMIOS_rev5_Installer.zip
URL●http://www.mediafire.com/?0cmojzz1jjr

NeoGamma Ver.R9 beta24
作者名●WiiPower
ファイル名●NeoGammaR9beta23.zip
URL●http://www.megaupload.com/?d=ZU1TWVV1

No Soft

cMIOSを導入する

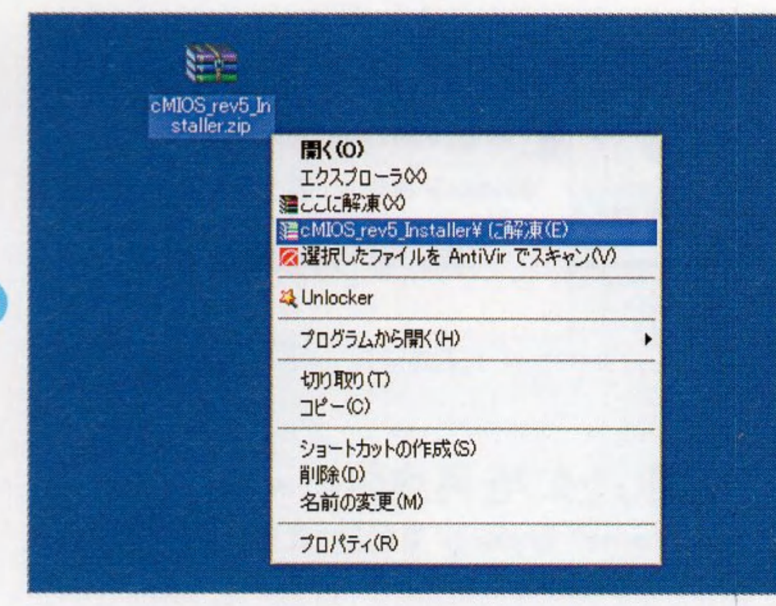
GCのコピーディスク起動に必要となるのが「cMIOS」だ。これはGC用のcIOSで、導入は専用のインストーラを使って行なう。なお、導入の際はネット接続するので、Wii本体の接続設定は事前に済ませておこう。

1 PC ツールを入手



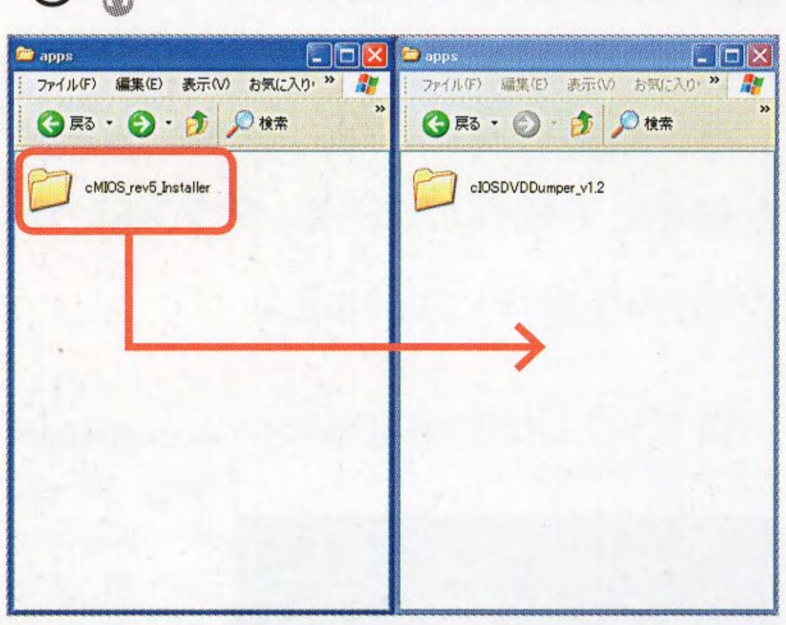
CD-ROM収録のリンクから配布サイトに移動。「～ to start download..」をクリックし、「cMIOS_rev5_Installer.zip」を入手する。

2 PC ツールを解凍する



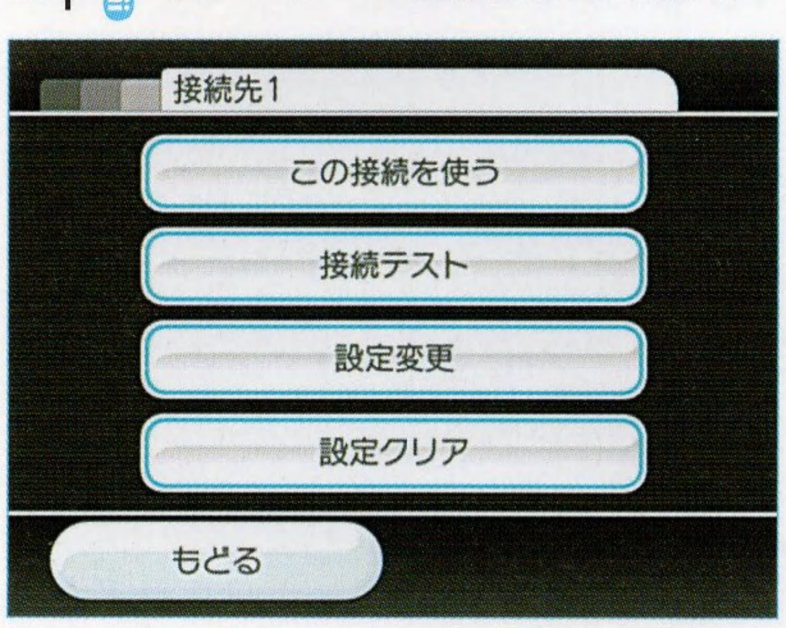
入手した「cMIOS_rev5_Installer.zip」をデスクトップに解凍する。

3 PC ツールをSDカードにコピー



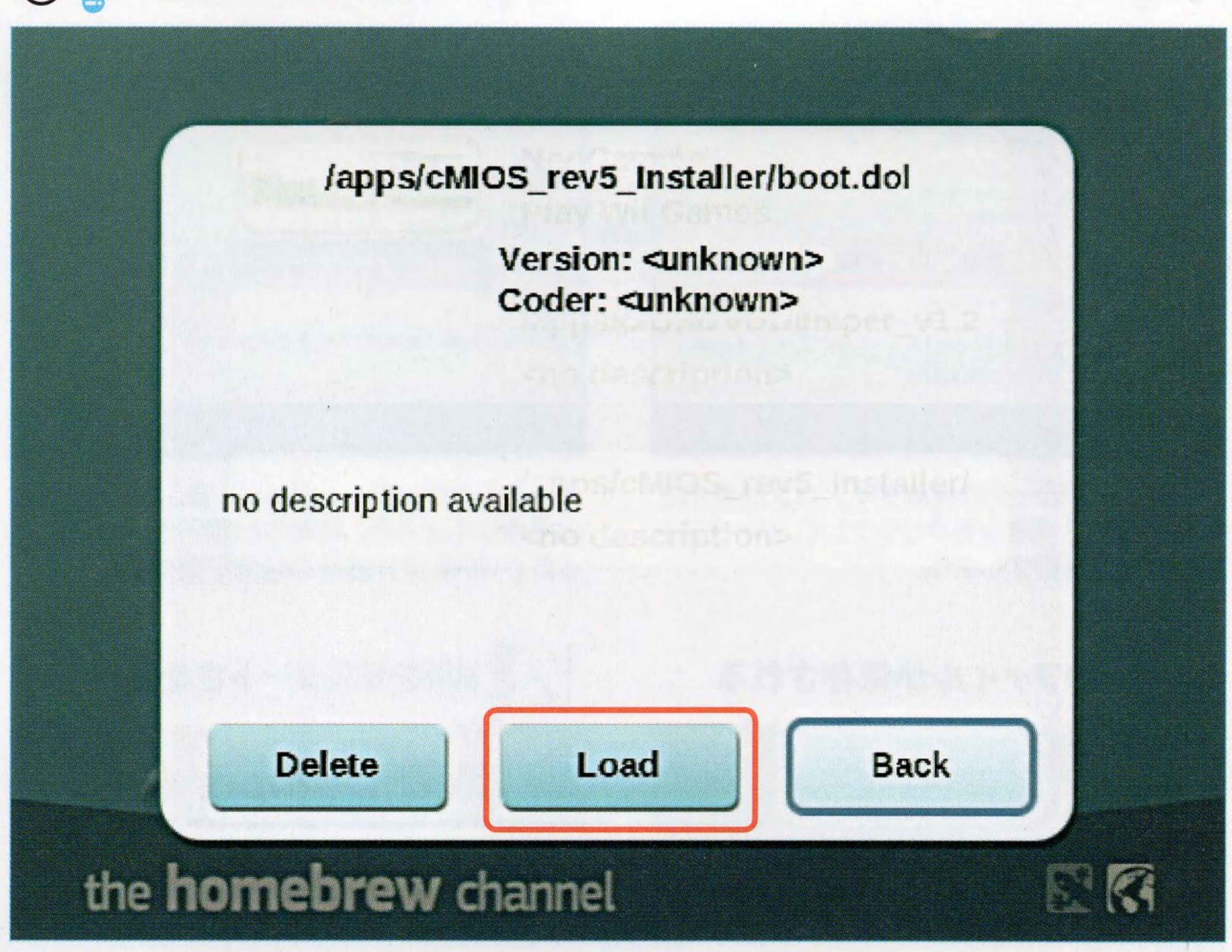
ツールが入っている「cMIOS_rev5_Installer」フォルダを、52ページで使用した状態のSDカードの「apps」フォルダにコピーする。

4 Wii ネットワーク設定をしておく



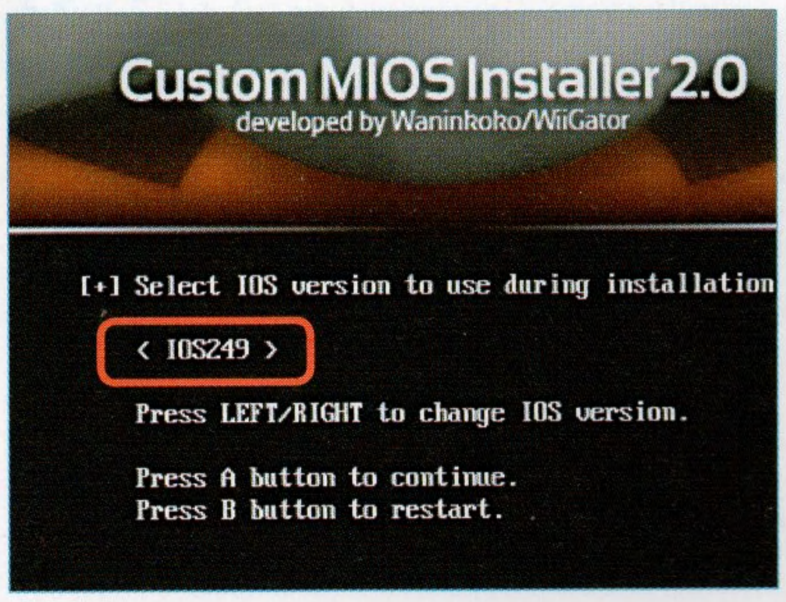
無線LAN機器をセットし、Wiiのネットワーク設定を行なっておく。接続テストは必ず実行し、成功させておこう。

5 Wii インストーラを起動する



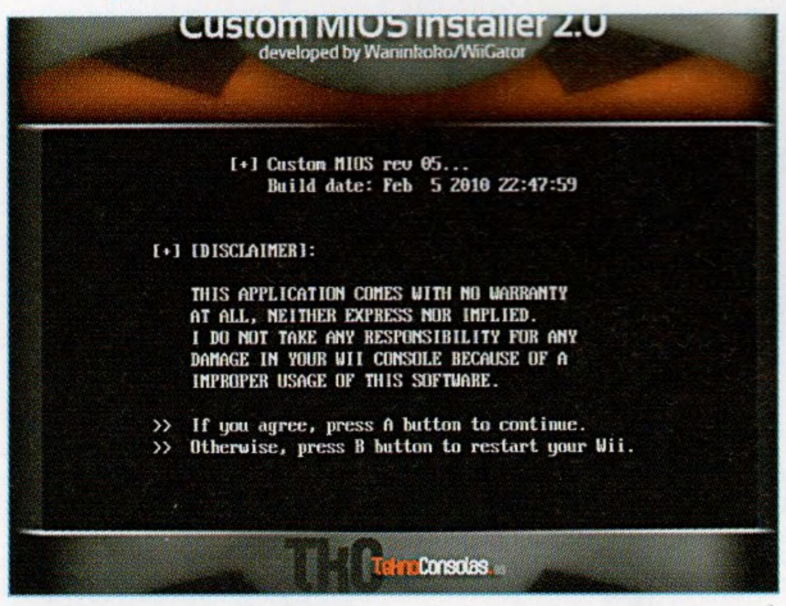
HBCを起動し、メニューから「/apps/cMIOS_rev5_Installer/」を選択。さらに「Load」ボタンを押して、インストーラを起動する。

6 「IOS」を選択する



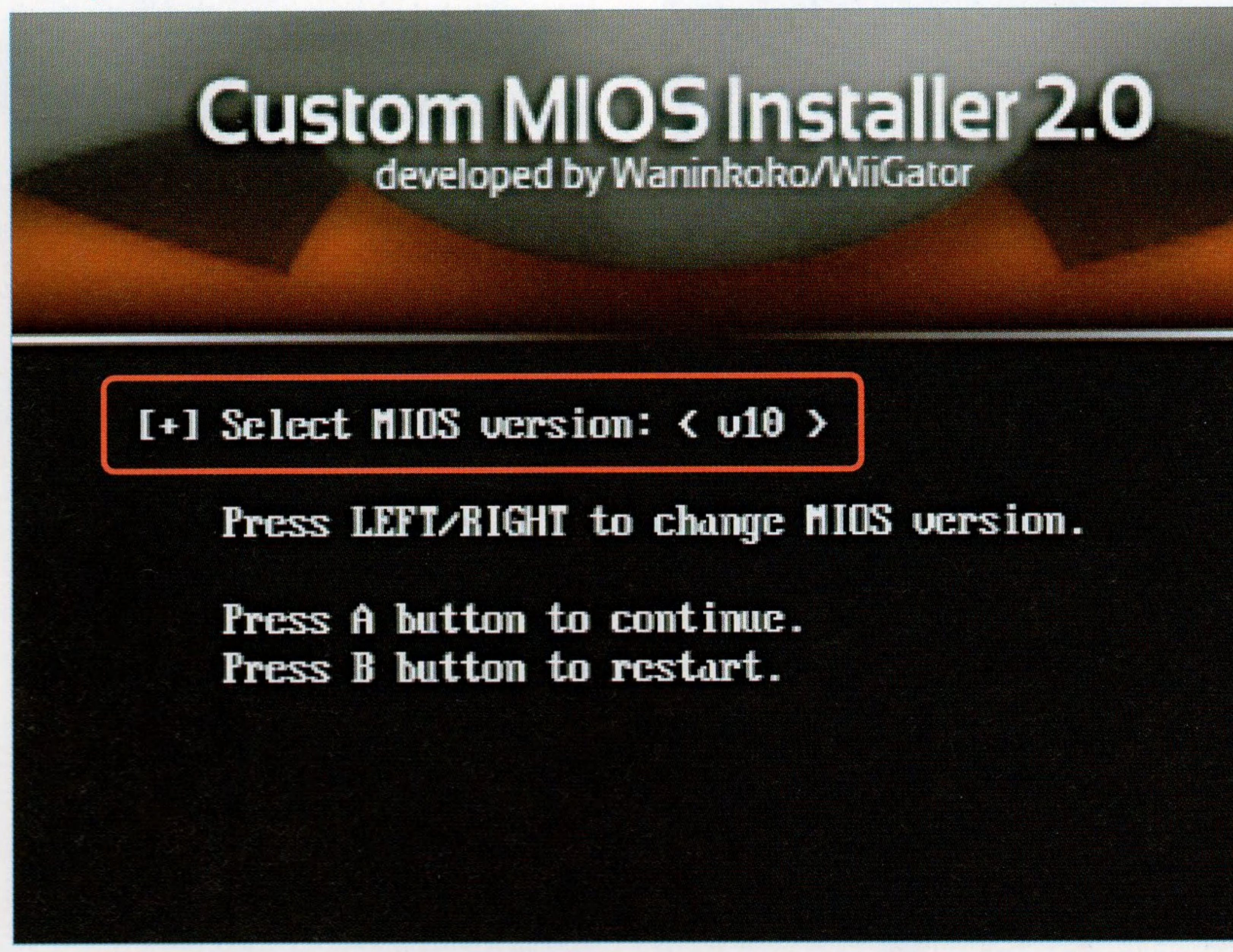
IOSの選択画面が表示されるので、十字ボタンで「IOS249」を選択。Aボタンを押す。

7 注意文を確認



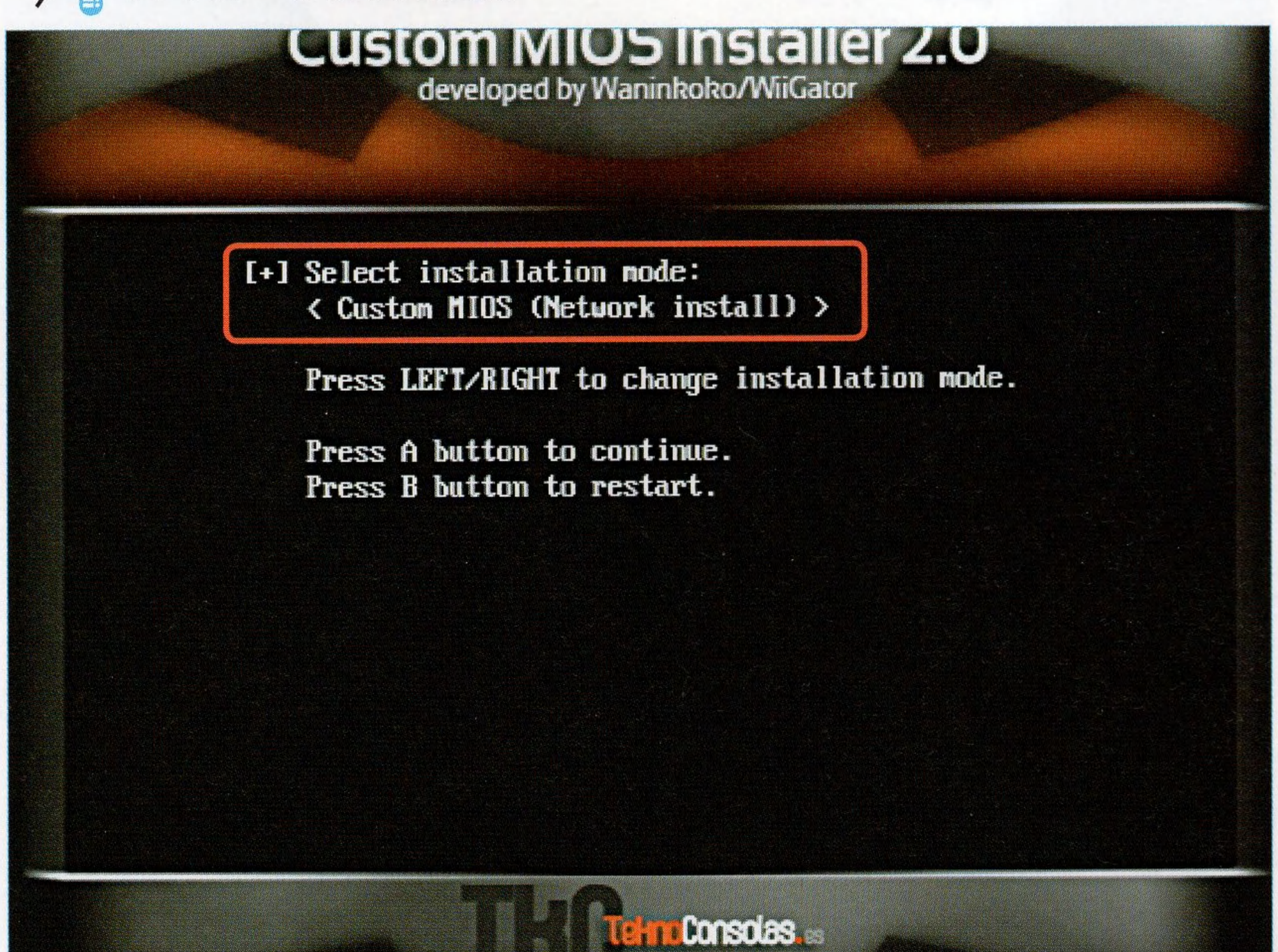
本インストーラを使用することによる注意文が表示される。Aボタンを押して先に進む。

8 バージョンを選択する



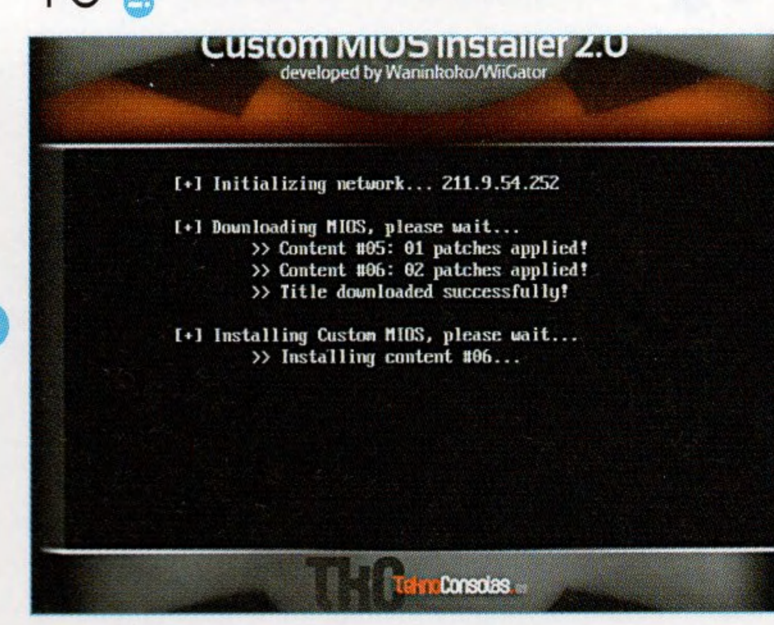
MIOSのバージョン選択画面が表示される。ここでは「v10」を選択。Aボタンを押して先に進める。

9 インストール方法を選択



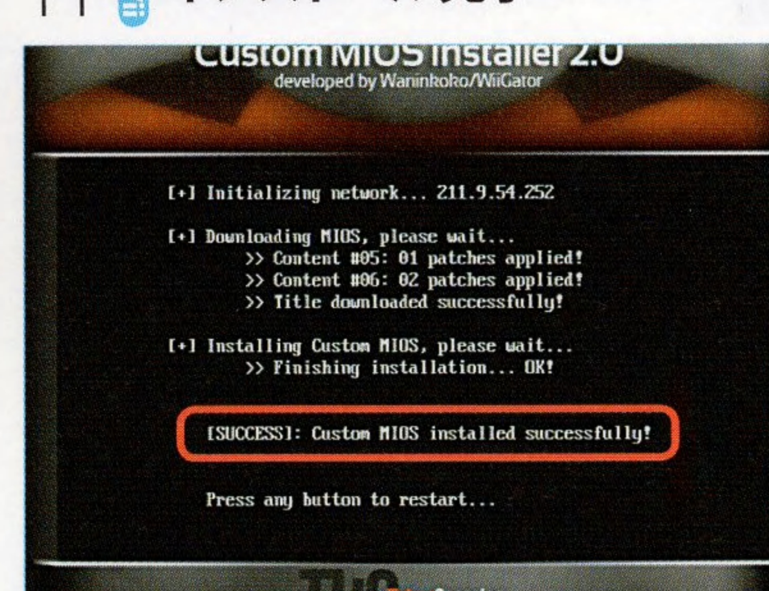
インストール方法の選択画面になる。十字ボタンで項目を操作し、「Custom MIOS（Network install）」を選択。Aボタンを押す。

10 インストール開始



「cMIOS」のインストールが開始される。エラーが出てしまう場合は、Wiiのインターネット接続設定を再確認しよう。

11 インストール完了

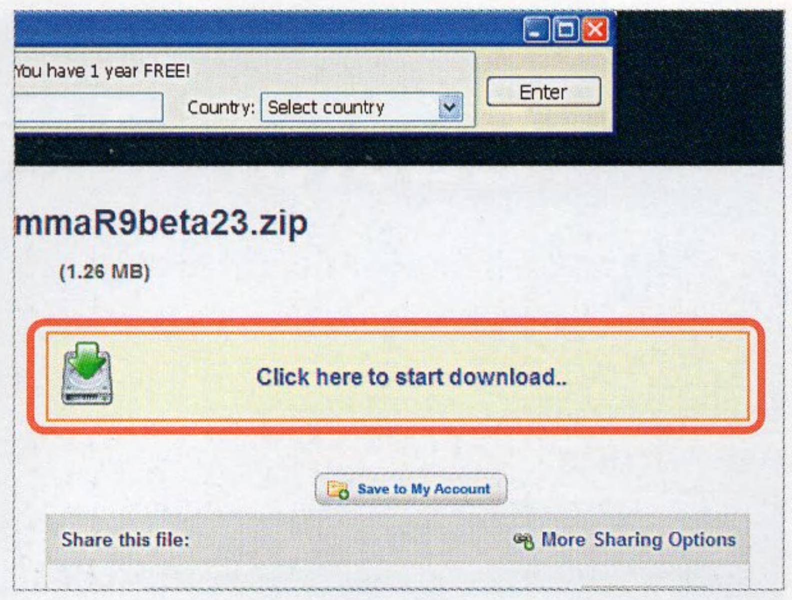


画面に［SUCCESS］の文字が表示されれば、インストールは成功だ。いずれかのボタンを押して、HBCに戻ろう。

GCのコピーディスクを起動

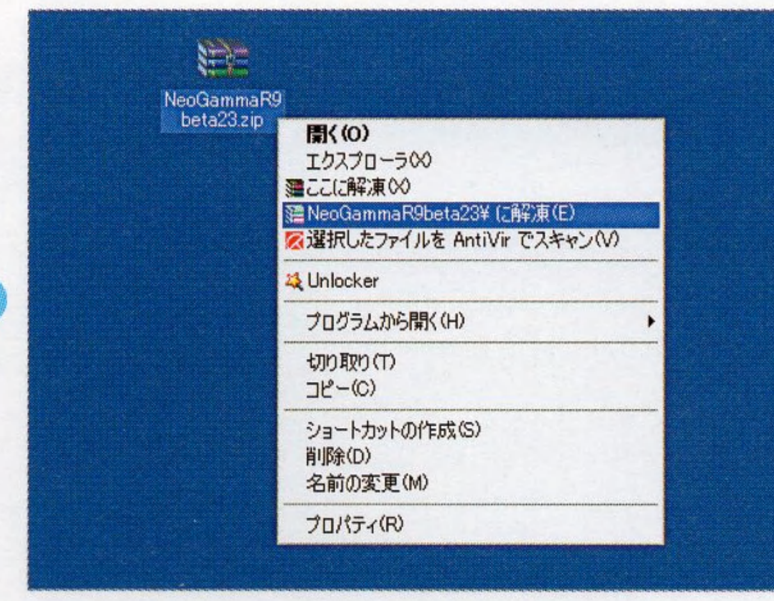
GCのコピーディスク起動に使用するローダーは、老舗のWii用ローダー「NeoGamma」。最近はGC関連の更新が多く、GC用ローダーとしてのイメージが定着してきている。導入からゲーム起動までを解説しよう。

1 PC ゲームローダーを入手



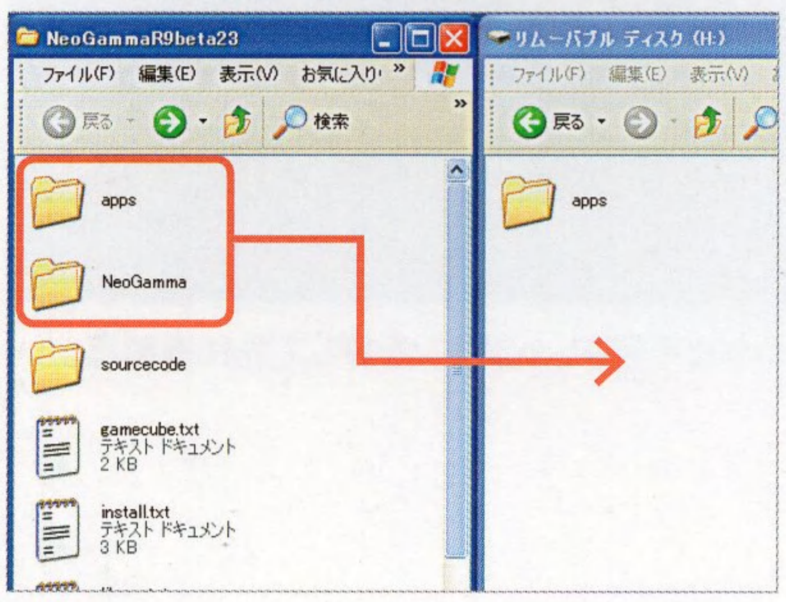
CD-ROM収録のリンクから配布サイトに移動。「～ to start download..」をクリックし、「NeoGammaR9beta24.zip」を入手する。

2 PC ゲームローダーを解凍する



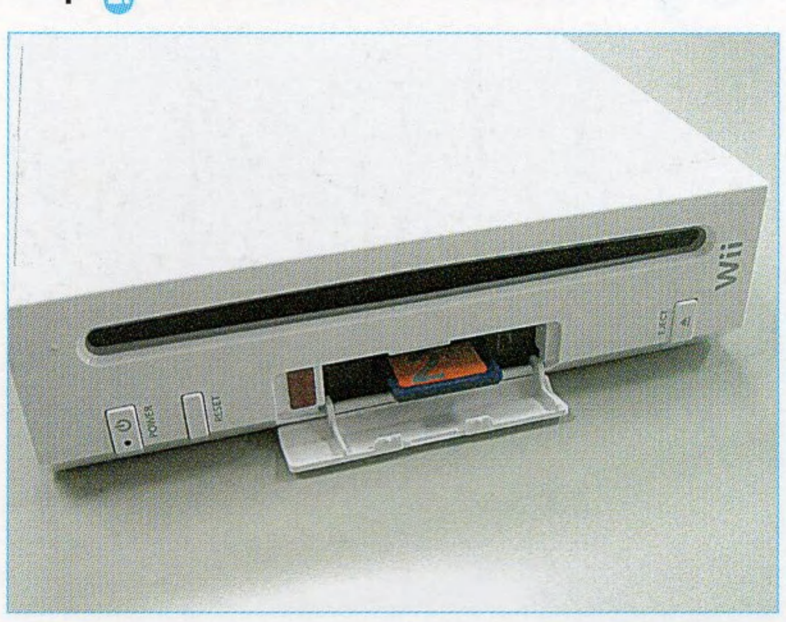
入手した「NeoGammaR9beta24.zip」をデスクトップに解凍する。

3 PC ゲームローダーをSDカードにコピー



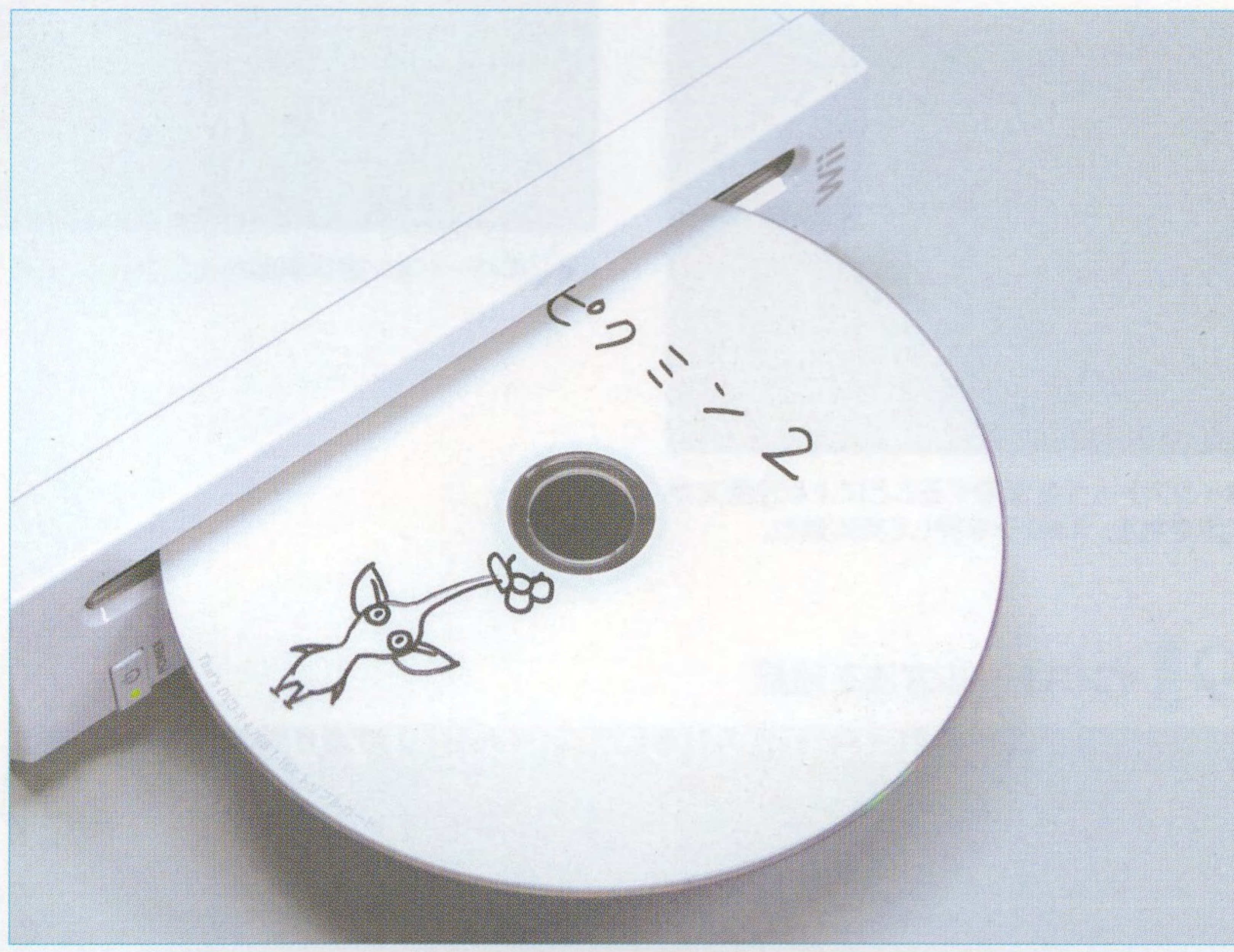
解凍したツールのフォルダ内にある「apps」「NeoGamma」フォルダを、SDカードのルートに上書きコピーする。

4 Wii WiiにSDカードをセット



NeoGammaをコピーしたSDカードを、Wii前面のSDカードスロットにセットする。

5 Wii Wiiにコピーディスクをセット



あらかじめ作成しておいたGCゲームのコピーディスクをWiiにセットする。

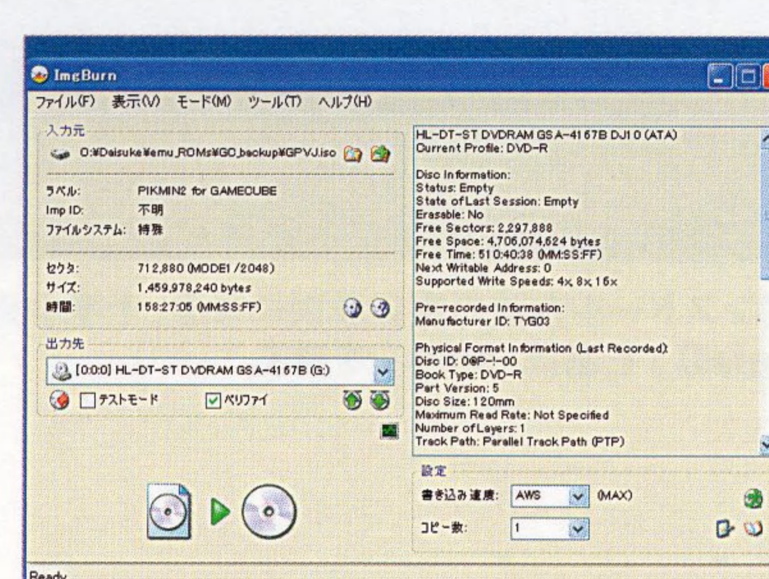
コピーディスクを用意しよう

Point

GCのバックアップデータがディスクから起動しかできないことは前述した通り。そのため、プレイ前には本誌の39～41ページを参考に、ゲームのコピーディスクを作成しておこう。ちなみに、GCのゲームがディスク起動しかできないのは、GCのゲームデータがWBFS形式のドライブに取り込めないからだ。



GCのゲームデータをWBFS Managerで開いても、正常に読み込めないのだ。



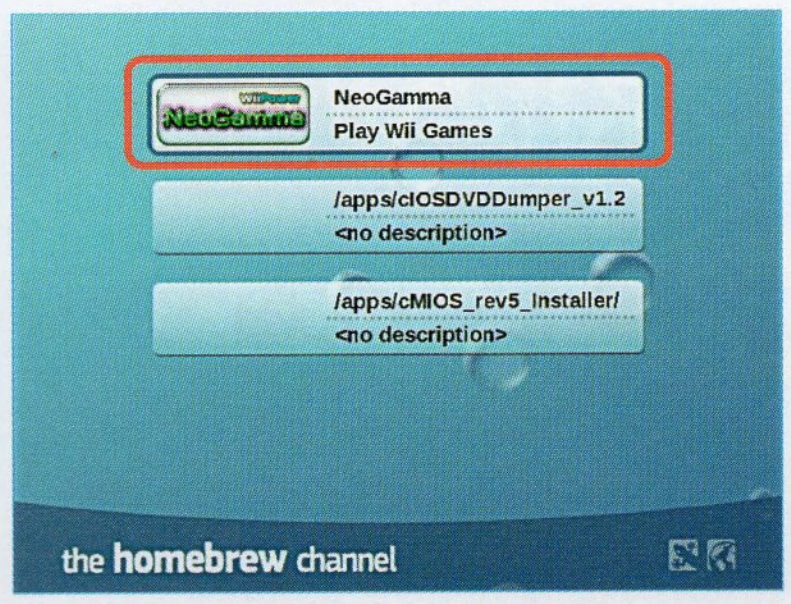
コピーディスクの作成方法はWiiと同じ。ライティングソフトは「ImgBurn」を使おう。

6 HBCを起動する



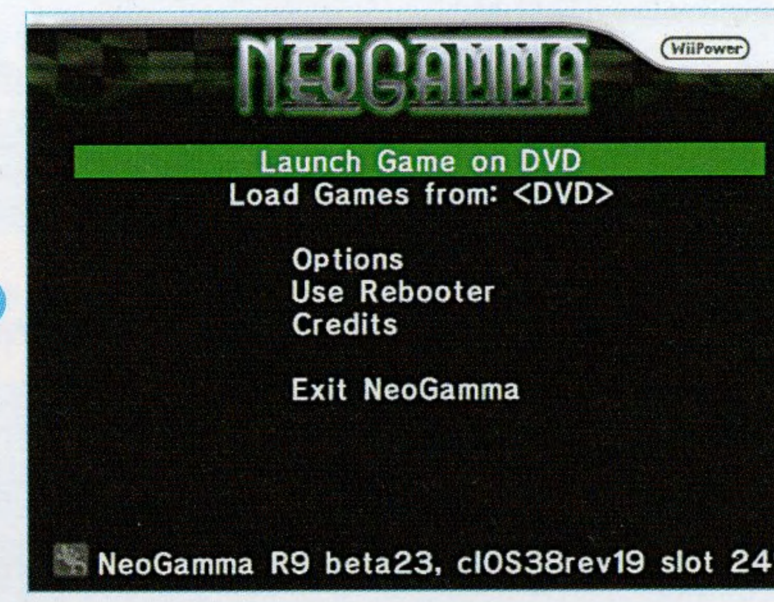
ゲームローダーのNeoGammaを起動するため、WiiメニューからHBCを起動する。

7 ゲームローダーを起動する



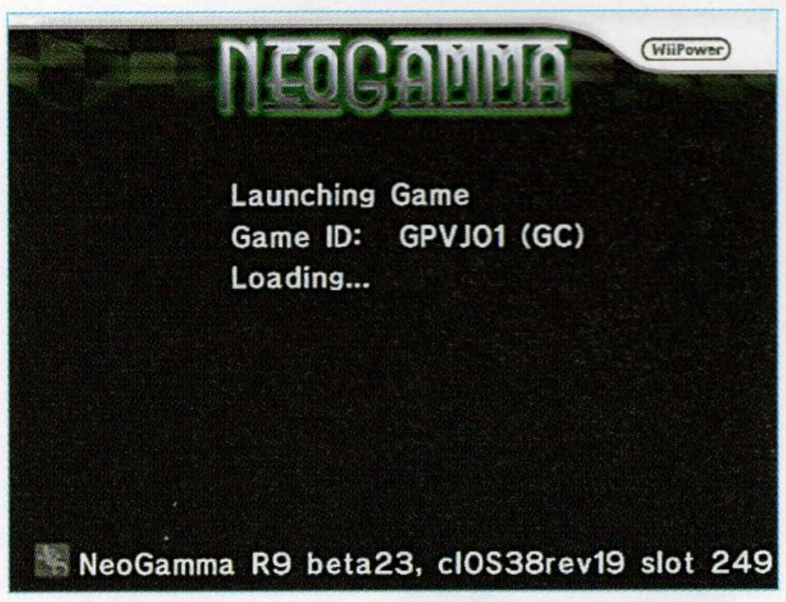
HBCのメニューで「NeoGamma」を選択。起動確認画面の「Load」でNeoGammaを起動。

8 起動メニューを選択



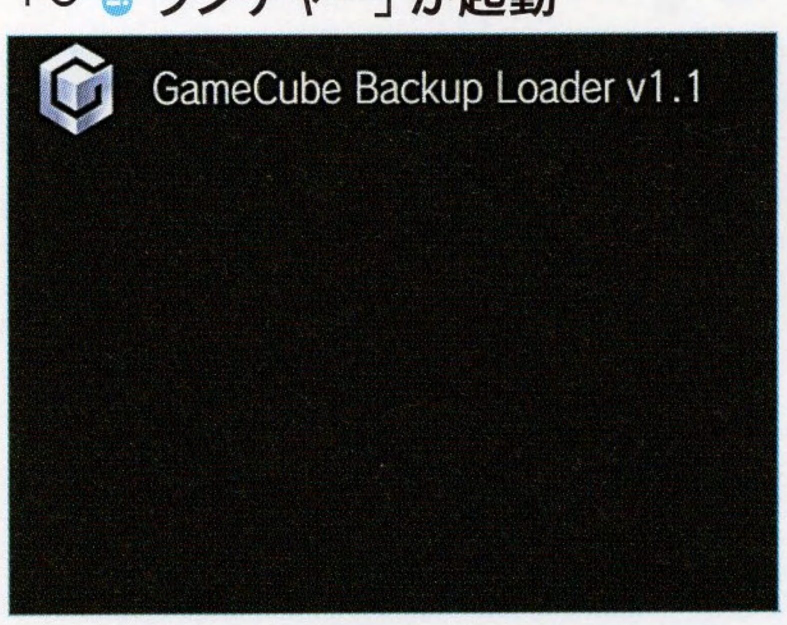
「Load Games from:」が「DVD」であることを確認し、「Launch Game on DVD」を選択。Aボタンを押す。

9 ディスクが読み込まれる



ディスクが読み込まれると、ゲームIDが表示。そのままゲームデータが読み込まれる。

10 「GCバックアップランチャー」が起動



GCゲーム用の起動ツール「GCバックアップランチャー」が起動する。

11 ゲームキューブのゲームが起動する!

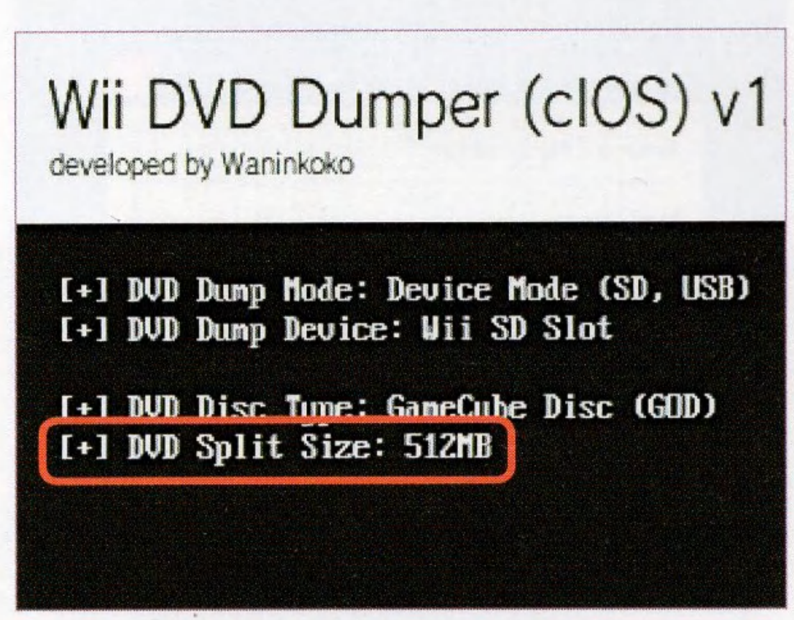


ゲームデータが正常であり、コピーディスクにも問題がなければ、GCのコピーゲームが起動する。

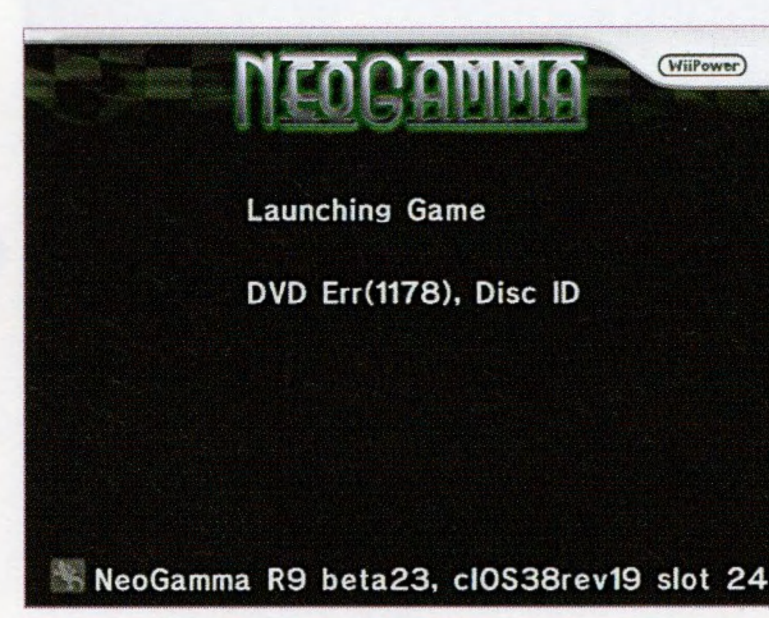
ゲームが起動しない場合は?

Point

ゲームが起動しない原因は、Wiiの環境によってさまざま。それゆえに明確な対処法はない。しかし、起動中にローダーがフリーズする場合は、cMIOSの導入やデータの吸い出し、ディスク作成のいずれかで失敗している可能性が高い。このようなときは起動環境の構築を最初からやり直してみよう。



サイズを分割してバックアップすると、ファイル結合時に失敗するケースがある。



コピーディスク対策が施されたドライブでは、写真のようなエラーメッセージが表示される。

ショッピングチャンネルへの接続

Wii PC SD Card reader Game media etc

2010年7月現在、FW4.2JのWiiは『Wii ショッピングチャンネル』に接続できない。FWを更新すれば、この問題は解決するが、その反面でコピーゲーム起動が不可になる。そこでここでは、FW4.2Jのままで『Wii ショッピングチャンネル』に接続する方法を解説しよう。

NUS Downloader Ver.1.4 beta
作者名●WB3000 (and lukegb)
ファイル名●NUSD_v14Beta.zip
URL●http://code.google.com/p/nusdownloader/downloads/list

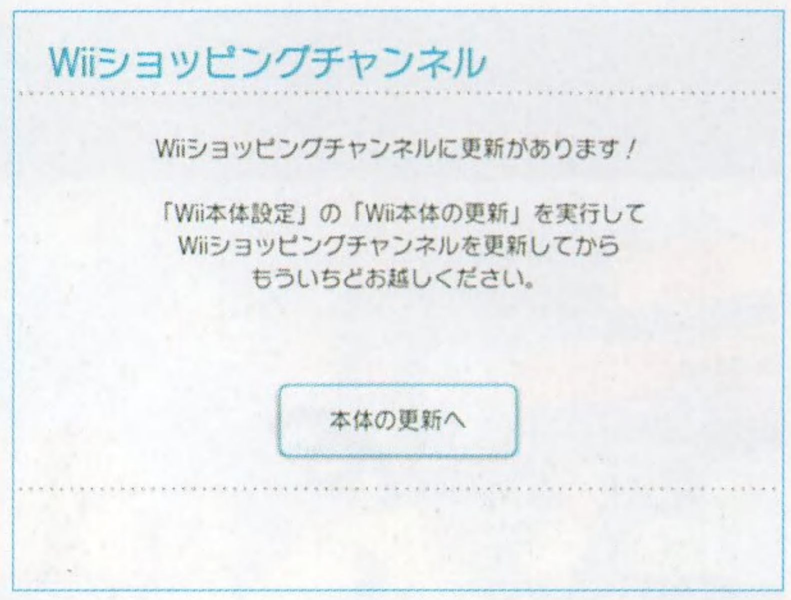
Wii WAD Manager Ver.1.7
作者名●Waninkoko
ファイル名●WAD-Manager_v1.7.zip
URL●http://www.mediafire.com/?xid2iyyjqvl

No Soft

ショッピングチャンネルの使用には更新が必要



WiiWareやバーチャルコンソール、無料のチャンネルなどが入手できる「Wii ショッピングチャンネル」。接続するには本体の更新が必要だ。

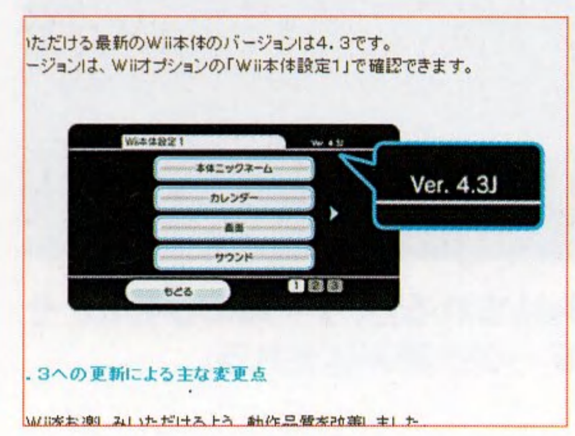


FW4.2Jで接続すると本体の更新が促されるが、ここで紹介するテクニックを使えば、更新は不要。うっかり更新しないように。

本体の更新はしない

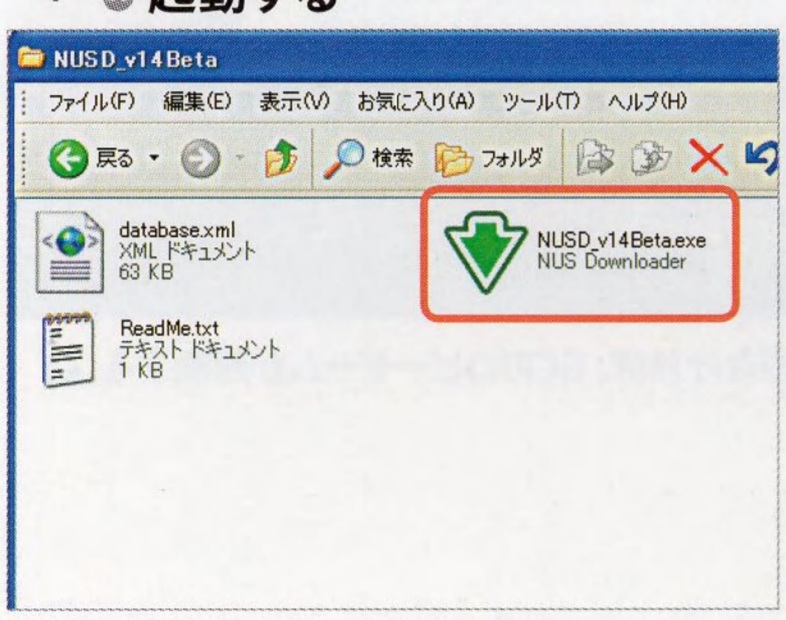
Attention!

最新FW4.3Jの更新内容は、ハック対策。本誌紹介のテクニックを使用したい場合は、更新はしないこと。



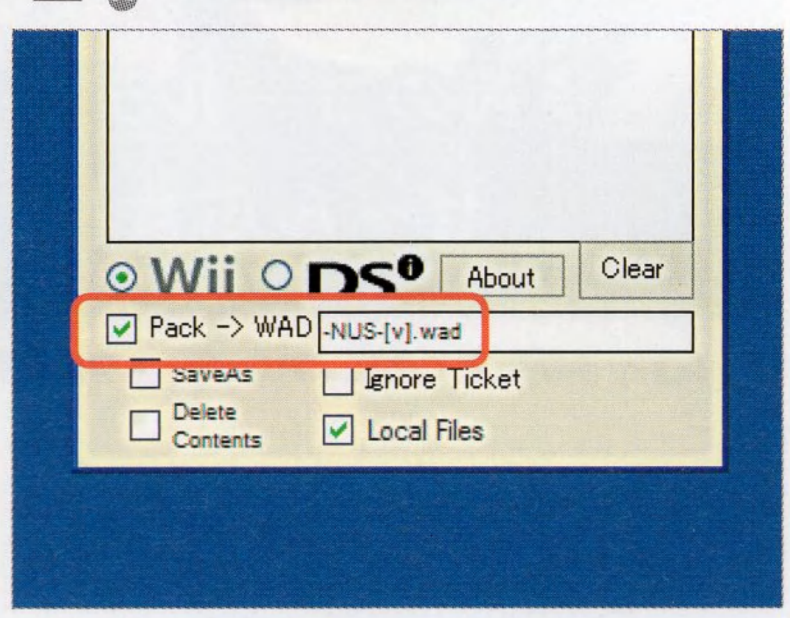
FW4.3Jのハックは現状で確立されていない。更新は見送ること。

1 IOSダウンロードツールを起動する



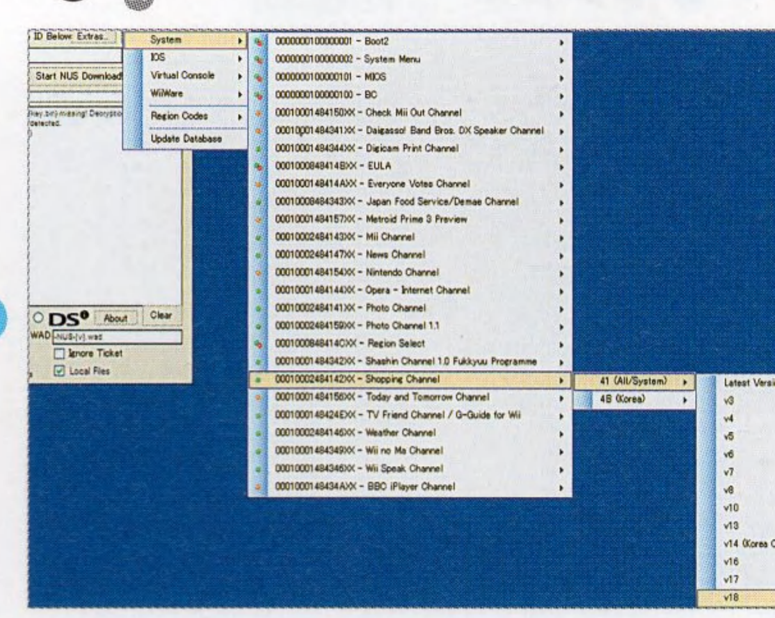
Wii ショッピングチャンネルの更新ファイルを入手するため「NUS Downloader」を起動。

2 入手形式を指定する



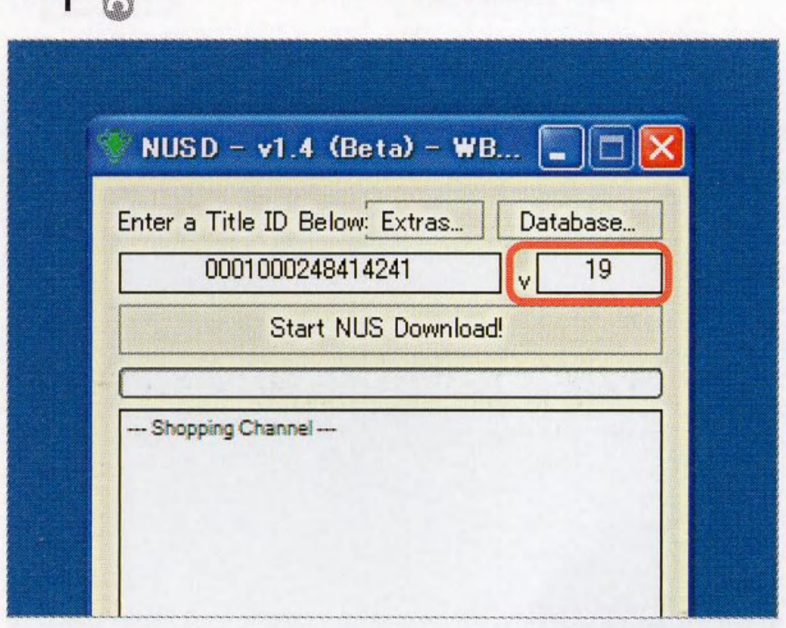
ツール下部にある「Pack -> WAD」のチェックボックスをオンにする。これで、更新ファイルがWAD形式でダウンロードできる。

3 システムファイルを指定する



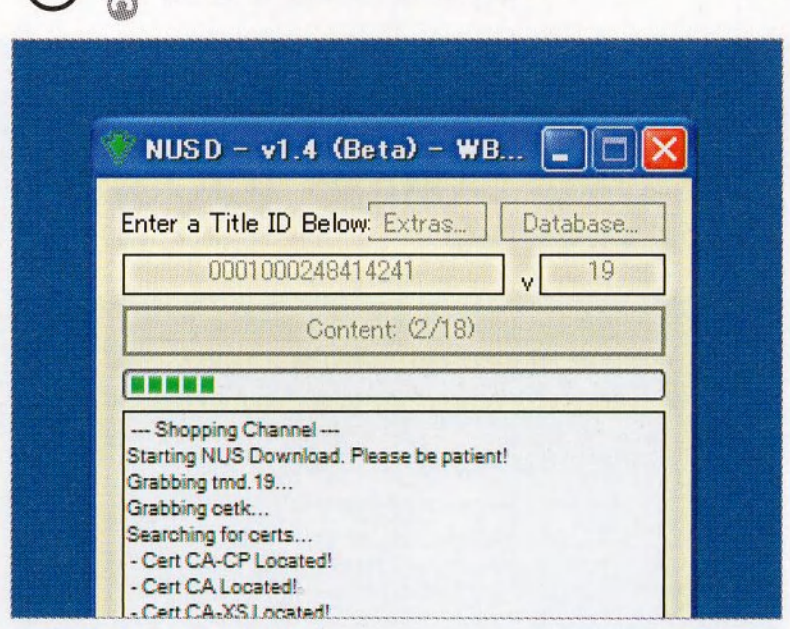
「Databese」をクリックし、「System」→「～Shopping Channel」→「41」→「v18」を選択。

4 バージョンを変更する



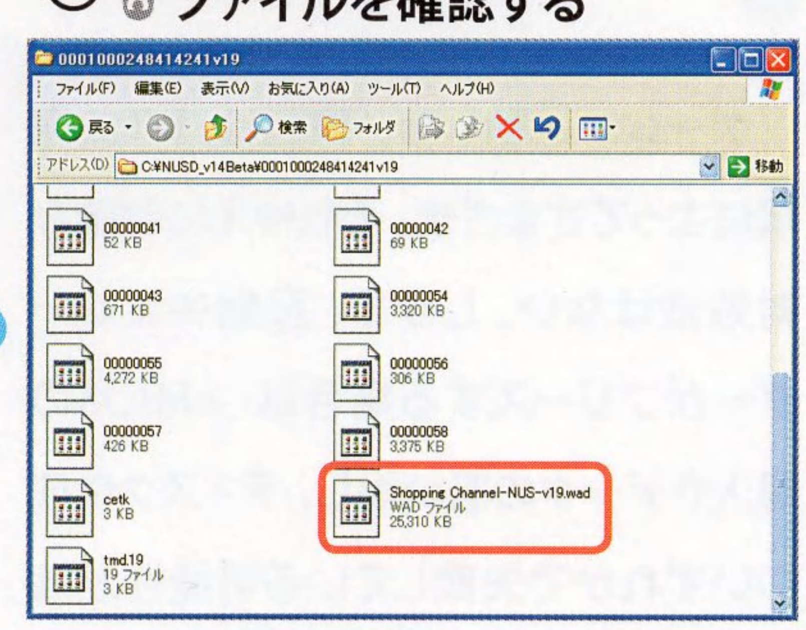
バージョン表記のウインドウをクリックして、「18」の表記を「19」に手動で変更する。

5 ダウンロードする



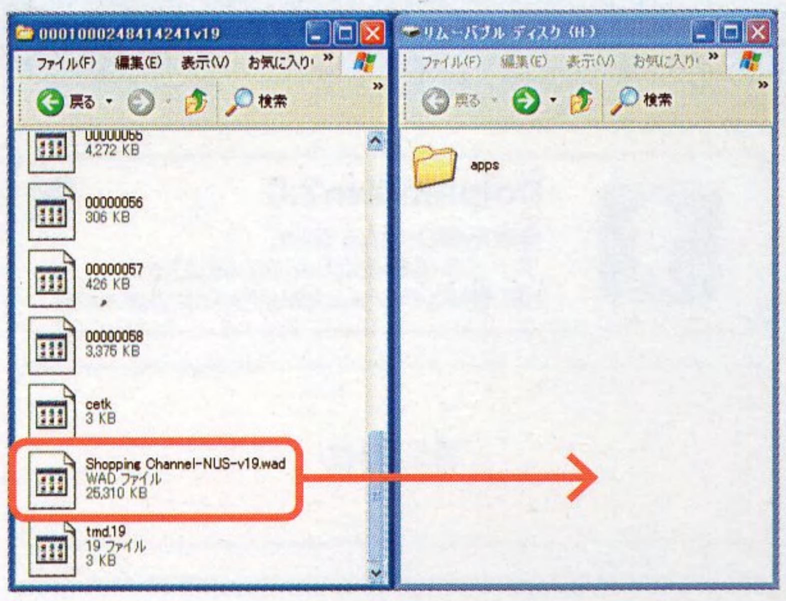
「Start NUS Download!」ボタンをクリック。「Shopping Channel-NUS-v19.wad」をダウンロードする。

6 ダウンロードしたファイルを確認する



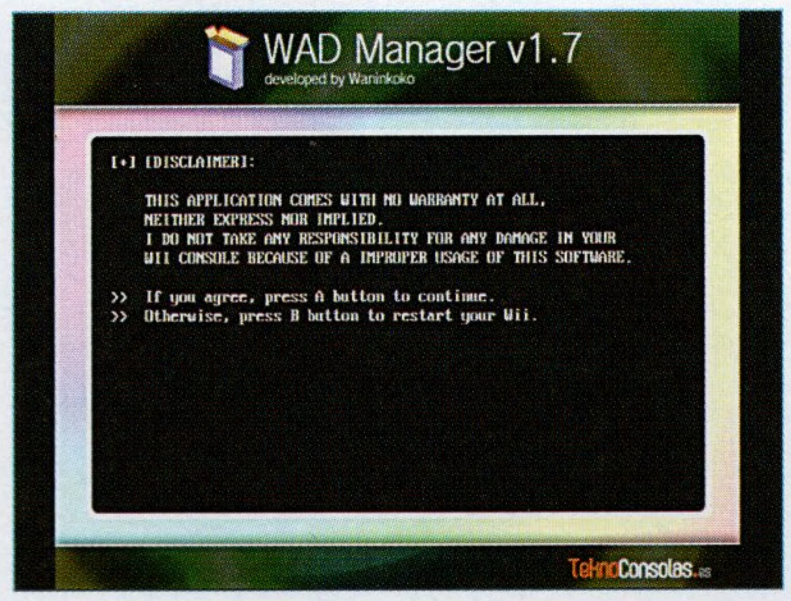
「NUS Downloader」のフォルダ内に新規フォルダが保存されているので、内部からダウンロードしたWADファイルを取り出す。

7 PC WADファイルを SDカードにコピー



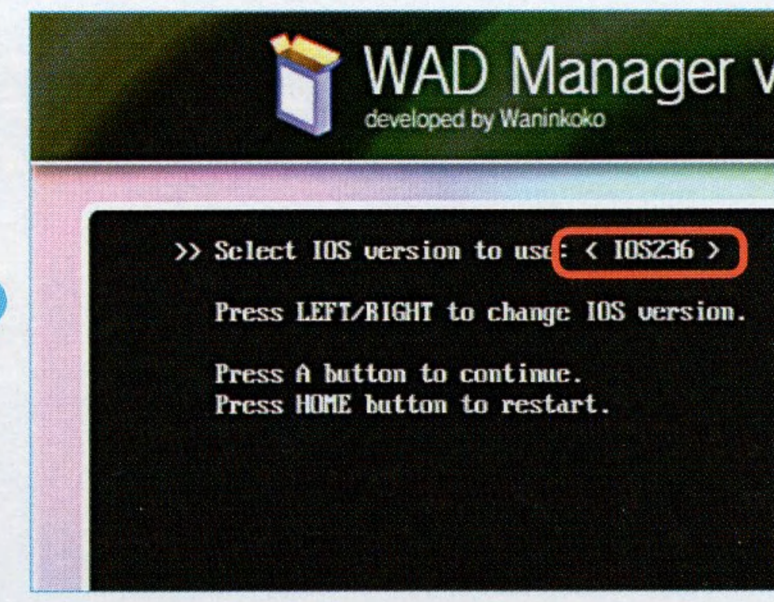
パソコンにSDカードをセット。SDカードのルートに入手したWADファイルをコピーする。

8 Wii 「WAD Manager」を起動する



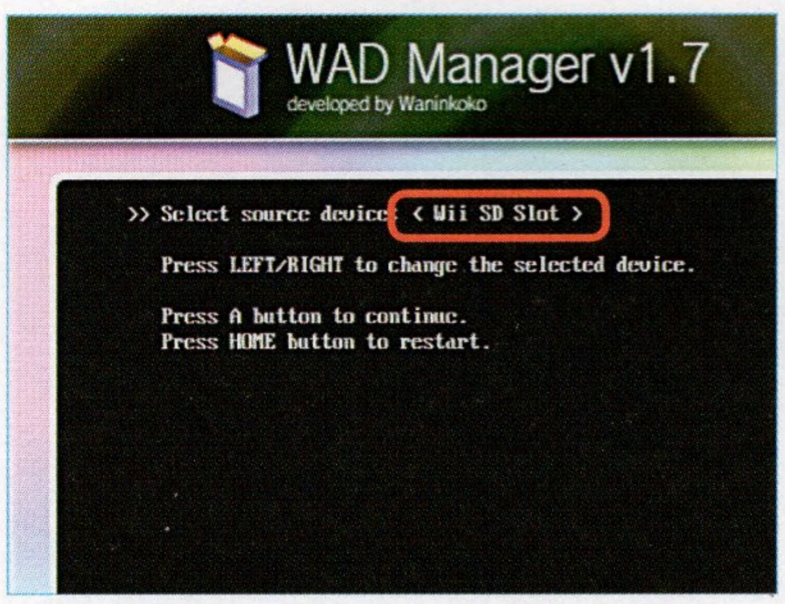
HBCからWAD Managerを起動。注意文が表示されたら、Aボタンを押して先に進める。

9 Wii IOSを選択



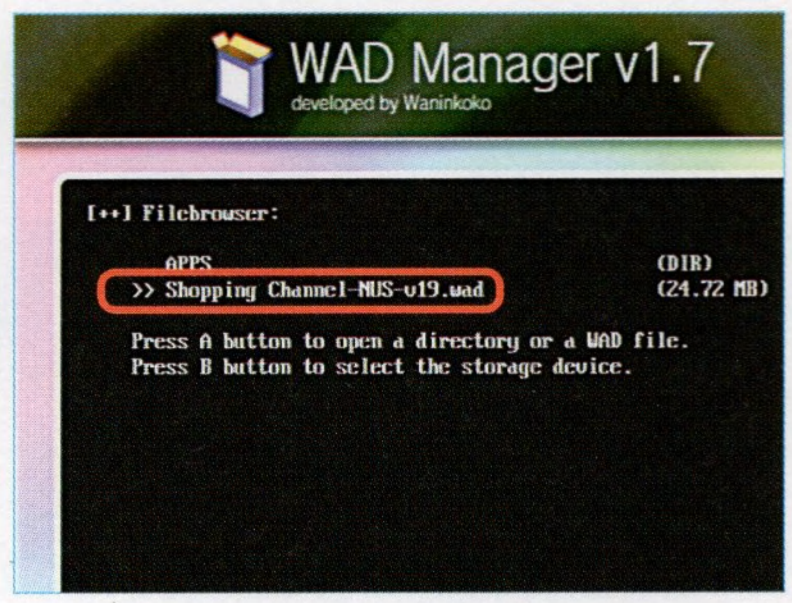
十字ボタンで使用するIOSを選択する。ここでは「IOS236」、もしくは「IOS249」を選択。

10 Wii 読み込み先を選択



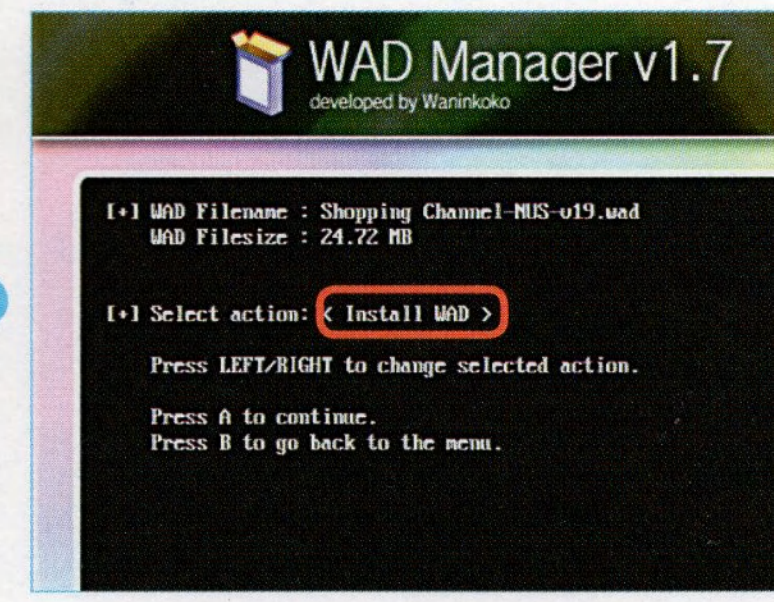
WADファイルの読み込み先を指定する。ここでは「Wii SD Slot」を選択する。

11 Wii WADファイルを選択



ファイラー表示になるので、十字ボタンで「Shopping Channel-NUS-v19.wad」を選択。Aボタンを押す。

12 Wii WADファイルをインストール



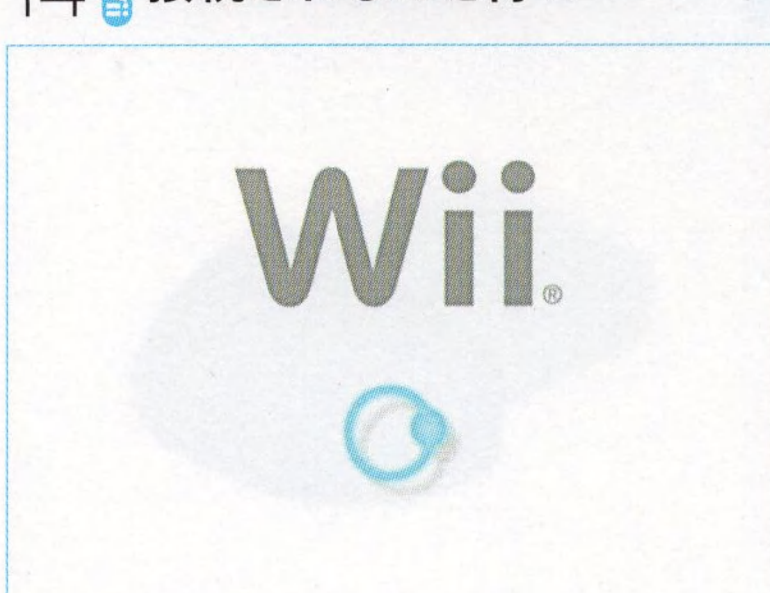
WADファイルをインストールするため、十字ボタンで「Install WAD」を選択。Aボタンを押してインストールを実行する。

13 Wii ショッピングチャンネルを起動



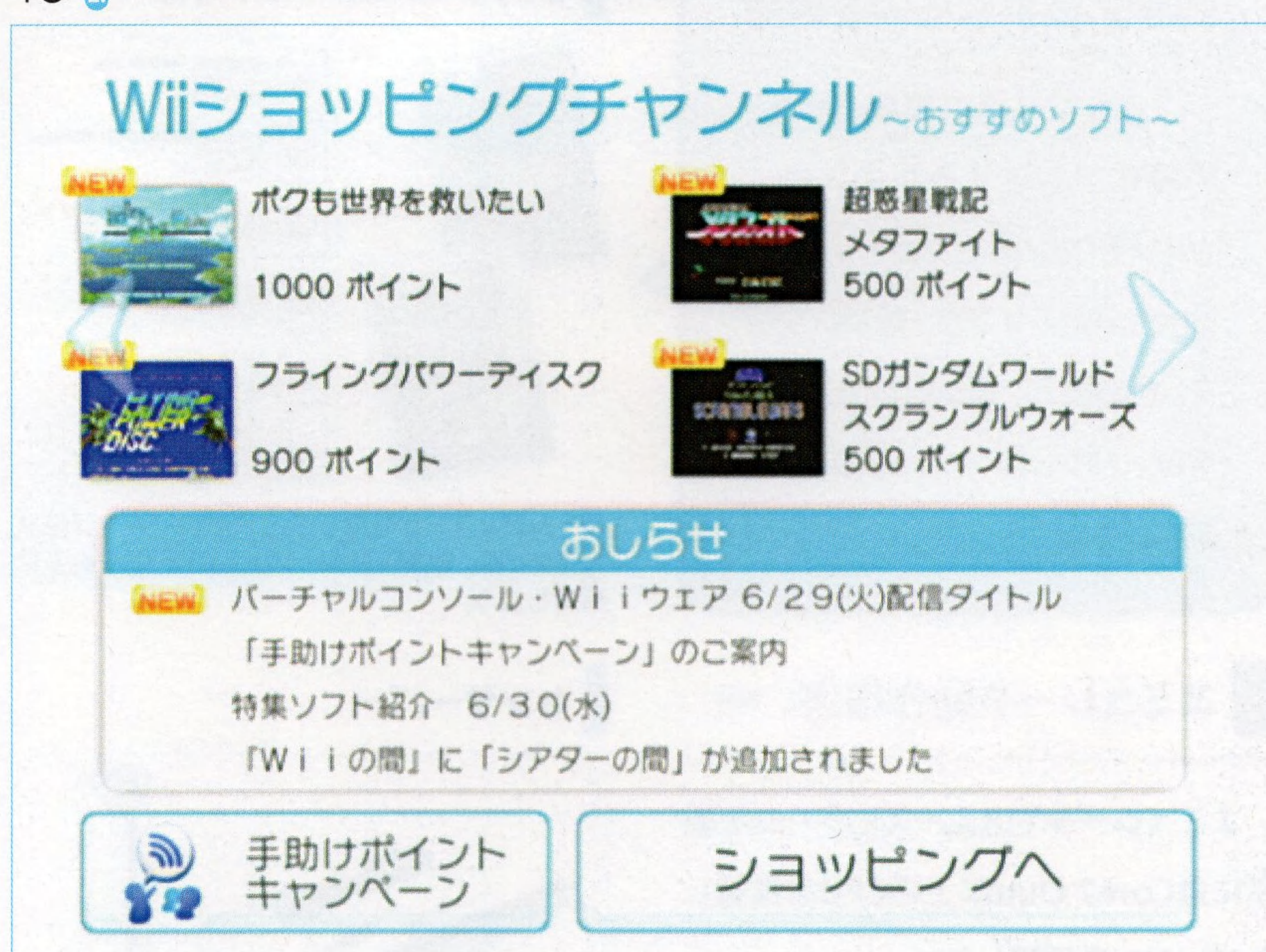
インストール後、Wiiメニューに戻り、チャンネルからWii ショッピングチャンネルを起動。

14 Wii 接続されるのを待つ



サーバーに接続されるまでしばらく待つ。ちなみに、本テクニックを使用する前は、この画面のあとに更新を促す画面が表示される。

15 Wii ショッピングチャンネルに接続成功



FW4.2Jの状態でWii ショッピングチャンネルに接続成功。ソフト購入といったショッピング利用も問題なく行なえる。

Wiiゲームをパソコンで遊ぶ

Wii PC SD Card reader Game media etc

パソコンでゲーム機の動作を再現するソフト「エミュレータ」を使いWiiゲームからコピーしたROMファイルを起動しよう。

快適にゲームをプレイするには高いパソコンスペックが必要だが、設定しだいで実機以上のグラフィックを表示することも可能だ。

Dolphin Ver.2.0
作者名●Dolphin Team
ファイル名●dolphin-2.0.win32.exe
URL●http://www.dolphin-emu.com/news.php

No Soft

No Soft

パソコン上でゲーム機を再現する「エミュレータ」を使おう



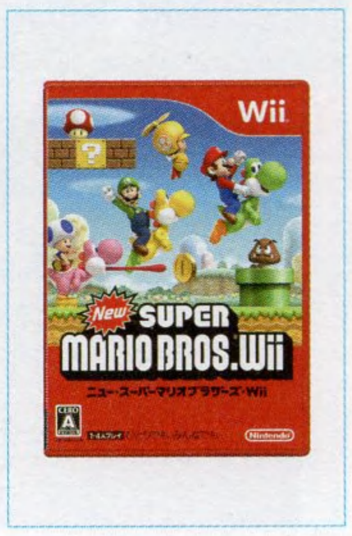
エミュレータには、どこでも自由にセーブ&ロードができるなど、実機にはない機能がある。

Wii本体



＋

ゲームディスク



＝

パソコン



＋



ROMファイル

通常、Wiiでゲームをプレイするには、Wii本体とゲームディスクを使用する。

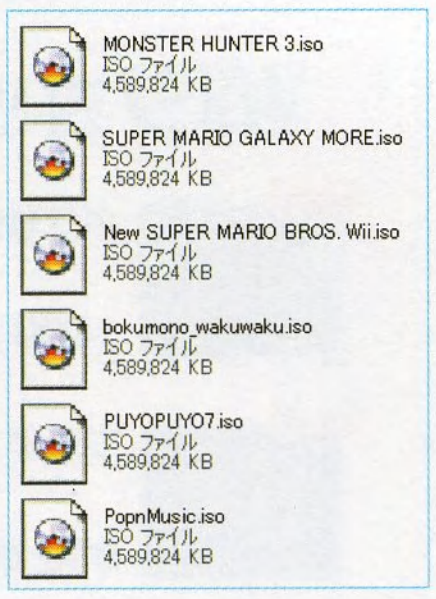
エミュレータの場合、パソコンがWii本体の役割を果たす。ディスクに相当するのが、バックアップしたROMファイルだ。

起動に必要なものを準備

エミュレータで実機のWiiと同様にプレイするためには、Wiiリモコンにセンサーバー、Bluetoothアダプタ（無線アダプタ）が必要だ。Bluetoothアダプタは、パソコンショップなどで購入できる。

WiiゲームのROMファイル





ゲームディスクから吸い出したISOイメージ形式のファイル。本誌33ページからの手順をもとに用意しよう。

Wii用コントローラ各種



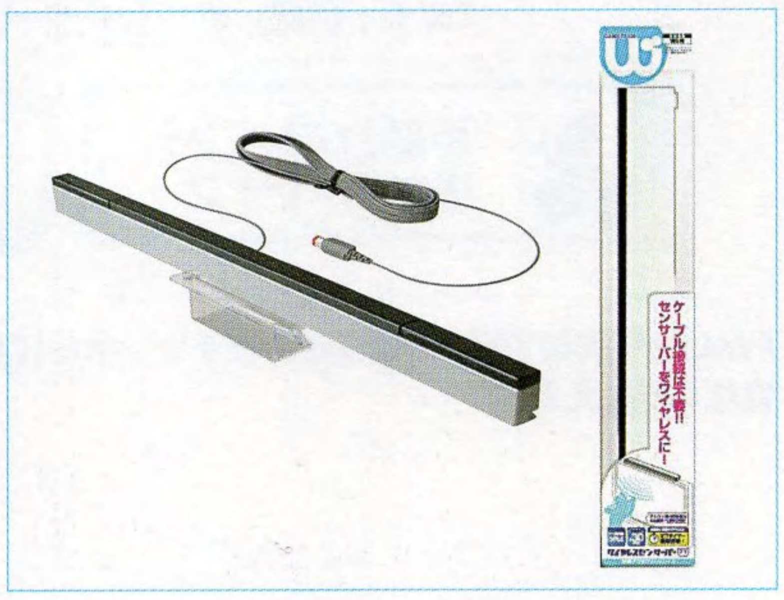
ゲームの操作に欠かせない各種コントローラは、純正のものを使用する。一応、パソコン用ゲームパッドやキーボードでの代用も可能。

エミュレータ動作環境 Point

エミュレータでスムーズにゲームを遊ぶにはCore2 Duo以上のCPUを搭載したパソコンを用意したい。

CPU	Intel Core2 Duo以降のCPU（E7000番台以降推奨）
GPU	3D描画に対応するチップセット
メモリ	1GB以上の空きメモリ
その他	最新のDirectXエンドユーザーランタイム

センサーバー



純正のセンサーバーだと、Wiiと接続して電源を入れておく必要があるため不便。サードパーティ製の電池式センサーバーが便利だ。

Bluetoothアダプタ



Wiiリモコンの入力を検知する無線アダプタ。本誌ではPLANEX製のBT-MicroEDR1Xを使用。

Bluetoothアダプタをセット

エミュレータを起動する前に、Bluetoothアダプタをパソコンにセットしておく。アダプタが認識しない場合、別途メーカーサイトからドライバを入手し、インストールしておくこと。

1 PC USBポートにBluetoothアダプタをセット



Bluetoothアダプタをパソコンにセットする。

2 PC アダプタをパソコンで認識



ドライバのインストールが行なわれるのを待つ。画面右下の通知領域に、青い小判型アイコンが表示されれば準備完了だ。

Windows7の場合は別途にドライバの導入が必要

Attention!

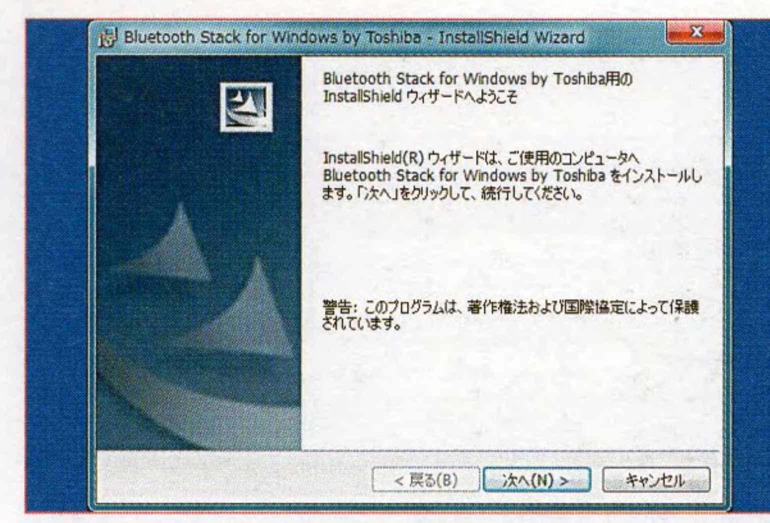
BT-MicroEDR1Xは、OSにWindows7を使用している場合、メーカーサイトから直接ドライバをダウンロードし、インストールしておく必要がある。これ以外のBluetoothアダプタでも、上記手順で自動認識されない場合は、メーカーサイトなどで対応OS環境をチェックしておくこと。

●メーカーサイト



Bluetooth ver2.1対応 USBアダプタ：BT-MicroEDR1X
http://www.planex.co.jp/product/bluetooth/bt-microedr1x/

●ドライバのインストール

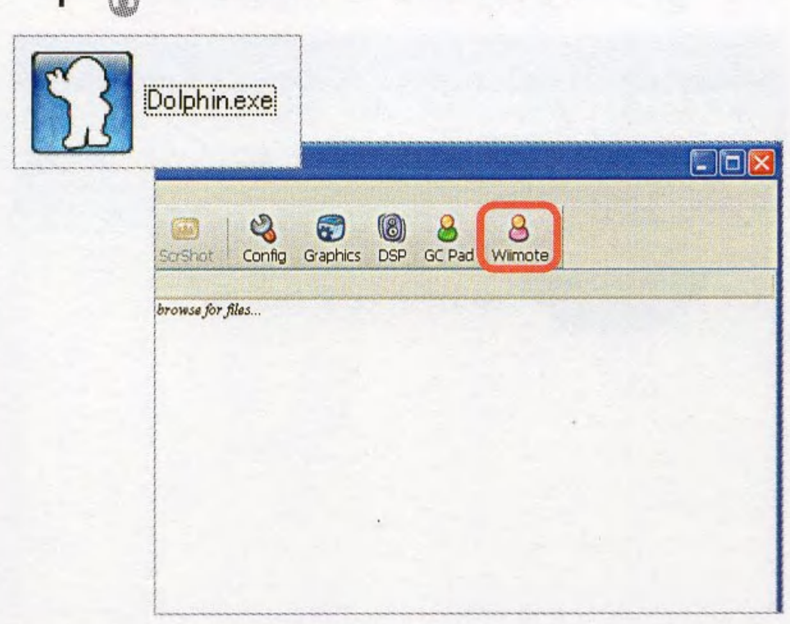


ドライバのインストーラをメーカーサイトからダウンロードし、実行しておこう。

Wiiリモコンの認識

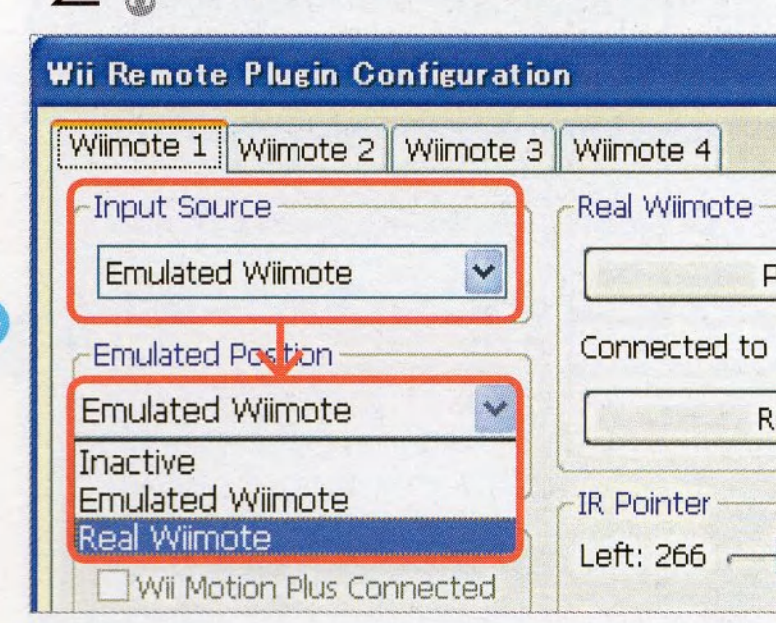
エミュレータでWiiリモコンの入力を検知できるよう、入力信号の認識を行なう。エミュレータ「Dolphin」をパソコン上の好きな場所に解凍して準備。この際、周囲にWii本体がある場合、電源は切っておこう。

1 PC エミュレータを起動



「Dolphin.exe」を起動し、「Wiimote」ボタンをクリック。Dolphinには32Bit版と64Bit版があるのでOS環境に合わせて使いわけること。

2 PC 入力デバイスを選択する



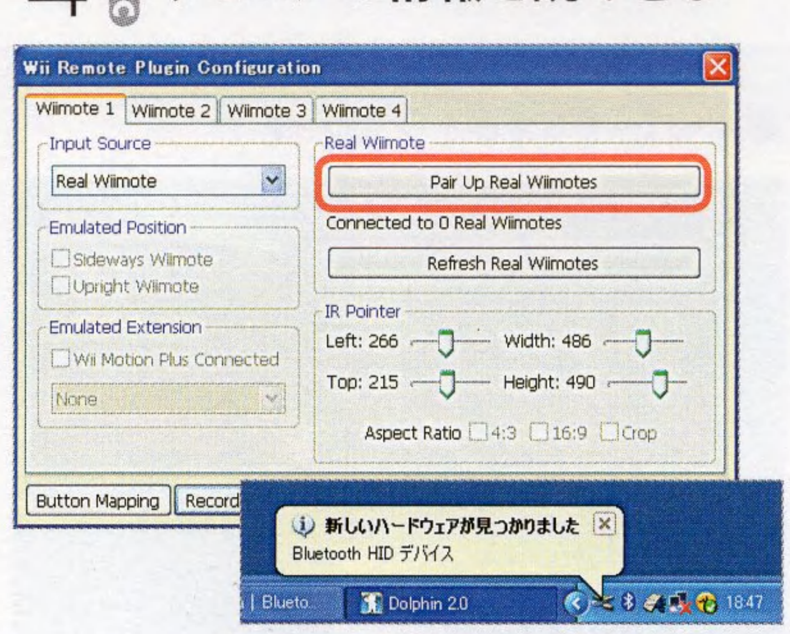
「Input Source」のプルダウンメニューから、「Real Wiimote」を選択する。

3 Wii Wiiリモコンのボタンを押す



周囲に電源の入ったWii本体がないことを確かめ、Wiiリモコンの「1」と「2」を同時に押す。下部のライトが点滅するのを確認しよう。

4 PC リモコンの情報を読みとる



ライトが点滅しているうちに「Pair Up Real Wiimotes」をクリック。新しくBluetoothデバイスが認識されればOK。

5 PC エミュレータとWiiリモコンを同期する

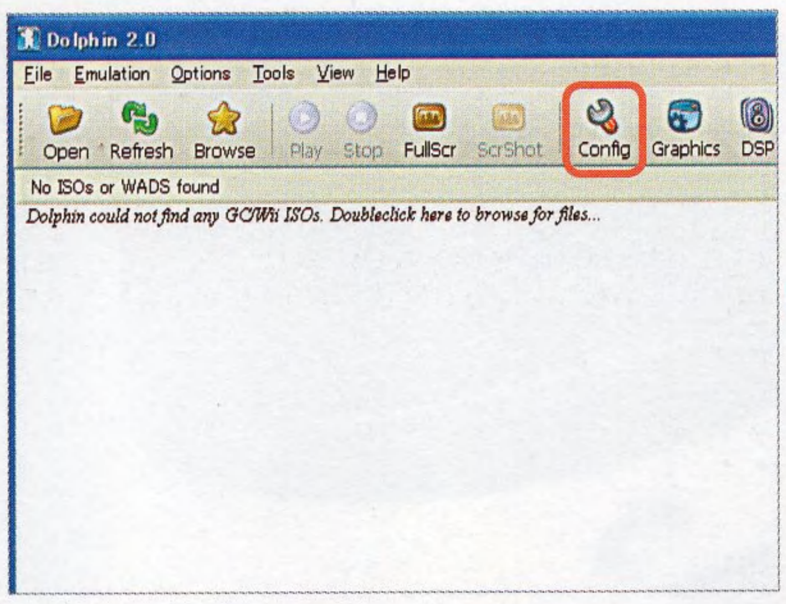


「Refresh Real Wiimotes」をクリックし、Wiiリモコンが振動すれば認識は完了。

ROMファイルの保存先を指定

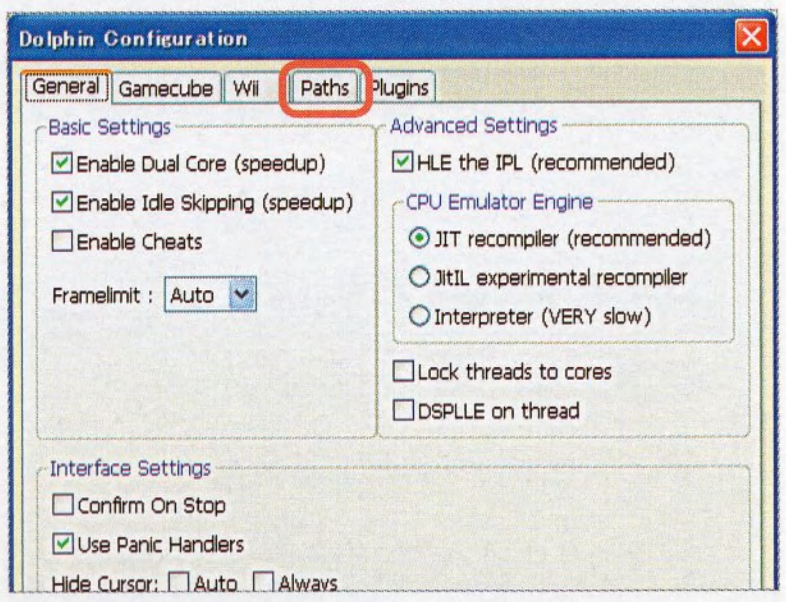
ROMファイルの保存先フォルダを指定し、ゲームリストを表示する。リスト上のゲームを一度起動すると、ROMファイル内のデータからアイコン情報が読み込まれるぞ。

1 コンフィグウインドウを開く



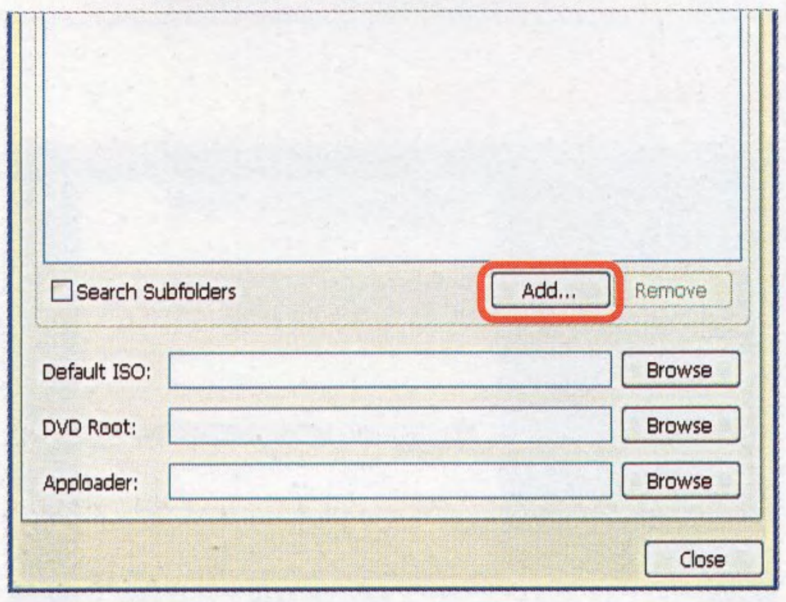
Dolphinのメインウインドウ右上にある「Config」ボタンをクリック。

2 パスの設定タブに移動



コンフィグウインドウの上部タブから、「Paths」を選択する。

3 フォルダの追加ボタンをクリック



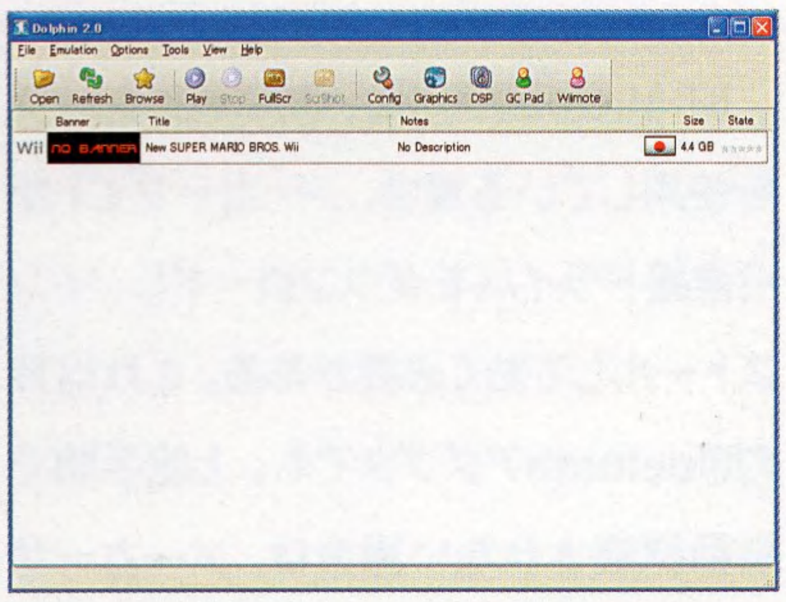
中央下部の「Add」ボタンをクリックし、フォルダの選択ウインドウを開く。

4 ROMの保存先フォルダを指定



ROMファイルの保存先フォルダを選択し、「OK」をクリック。複数のROMフォルダを指定することも可能。

5 ROMリストを更新する

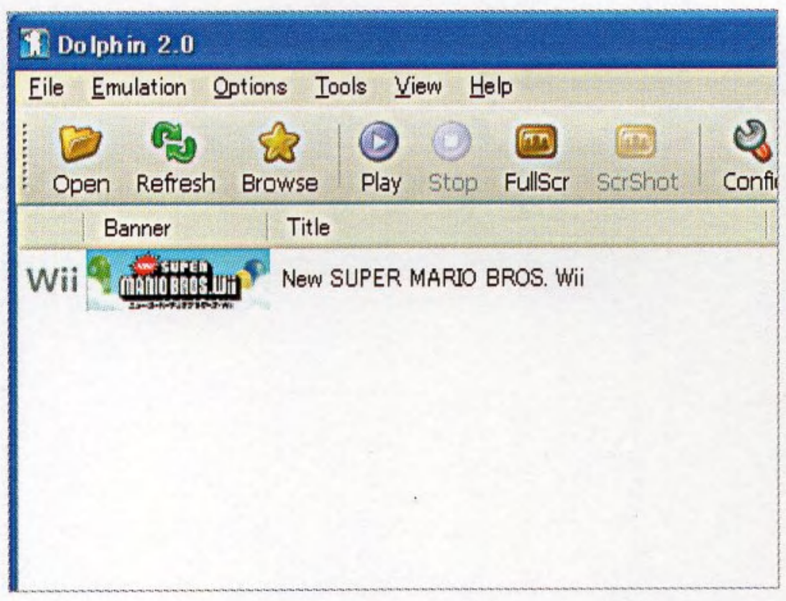


メインウインドウに戻ると、フォルダ内のROMファイルが読み込まれる。ゲームアイコンは一度起動すると表示される。

ROMリストからゲームを起動

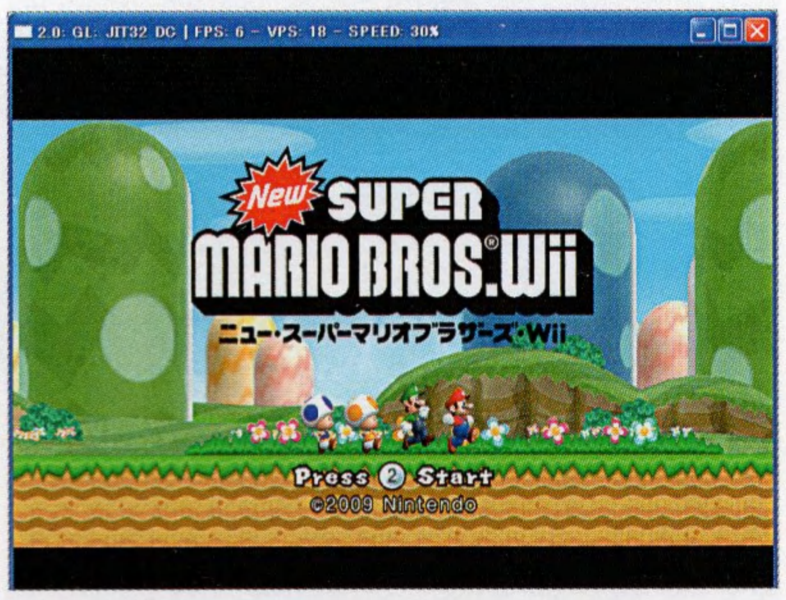
ROMリストからゲームを起動しよう。初期設定でも多くのゲームを起動できるが、一部のエミュレータ対策が施されたゲームをプレイするには、個別にオプション指定が必要だ。

1 リストからゲームを選択



リスト上のゲームを選択し、ダブルクリックで起動する。

2 ゲームを起動する



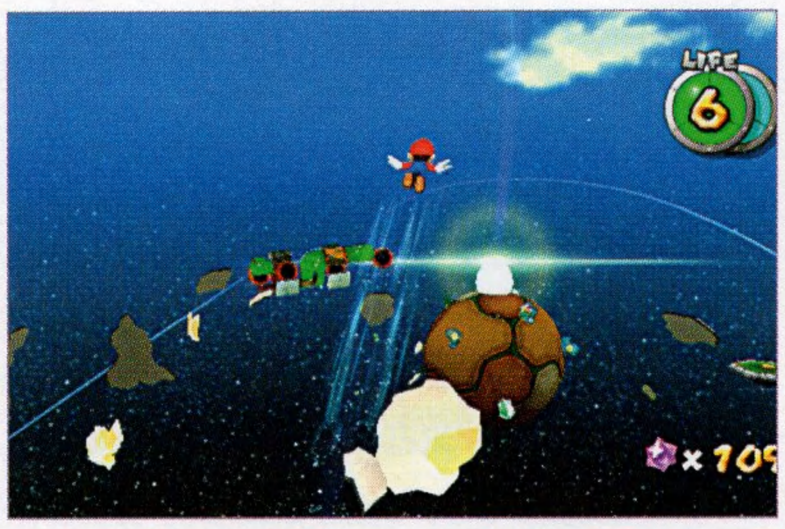
ROMファイルの読み込みが完了すると、ゲームウインドウが表示される。

人気ゲームの動作状況は？

Point

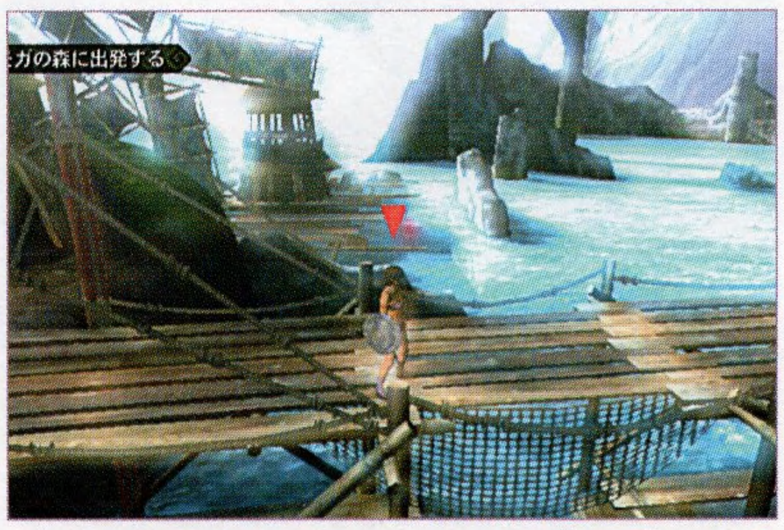
Dolphinは初期状態でも多くのゲームを起動できる優秀なエミュレータ。特別なエミュレータ対策が施されていない限り、発売されたばかりのゲームでも問題なくプレイすることが可能だ。一部のゲームで必要なプラグインの設定は、次ページの解説を参考に行なうこと。

●スーパーマリオギャラクシー2



3D表示が中心の最新ゲーム。動作は重いが、コア2クラスのCPUなら、かろうじてプレイ可能だ。

●モンスターハンター3（Tri）

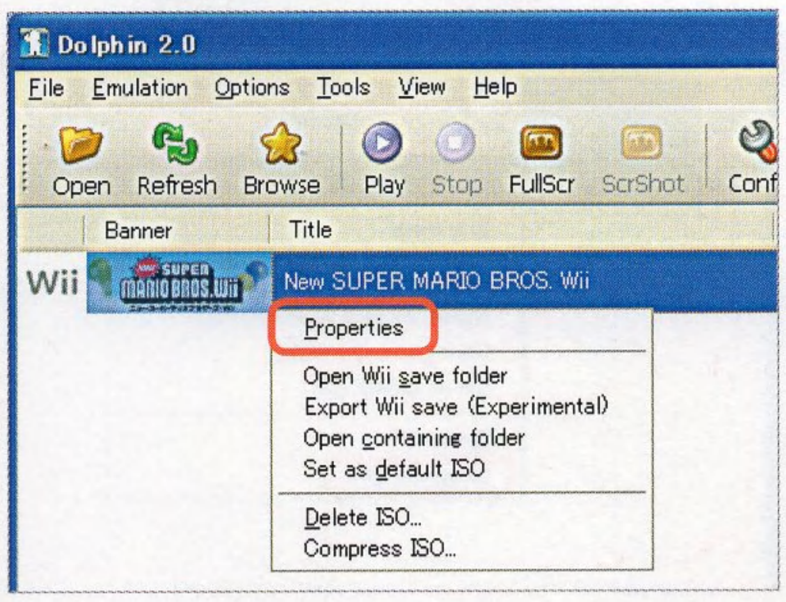


プレイするにはグラフィックプラグインを「Direct3D9」に設定する必要がある。

個別設定でエラーを回避

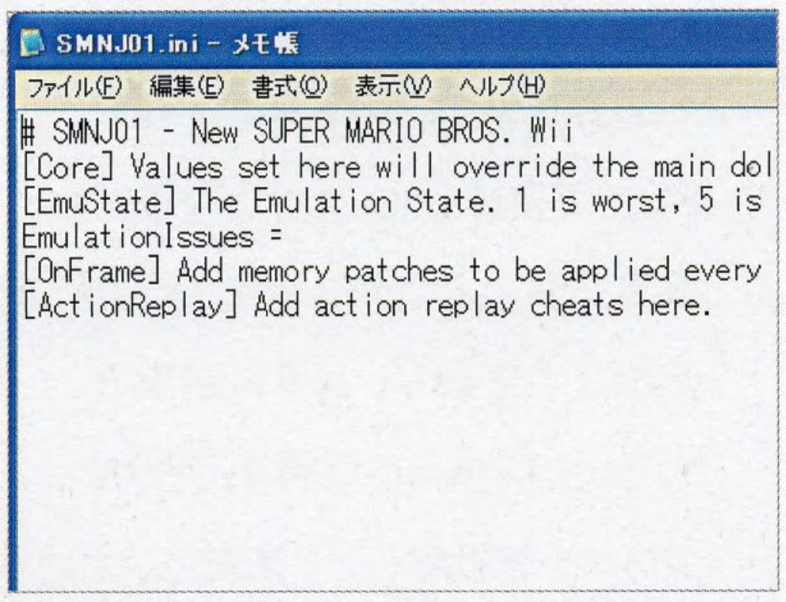
グラフィックプラグインや設定ファイルを個別に編集し、ゲームごとのエミュレータ対策を突破する手順を覚えよう。タイトルごとの設定内容は、ネット上で有志が編集しているWikiサイトを参考にすること。

1 ゲームごとの設定メニューを開く



リストからゲームを選び、右クリックメニューから「Propeties」を選択。

2 設定ファイルを開く



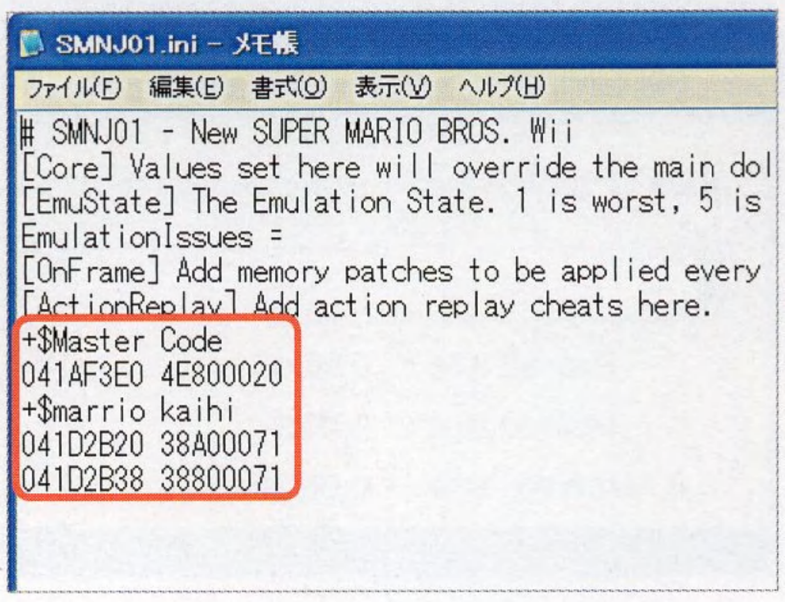
設定ウインドウ下部の「Edit Config」ボタンをクリックし、設定ファイルを開こう。

進行中にフリーズするゲームもある



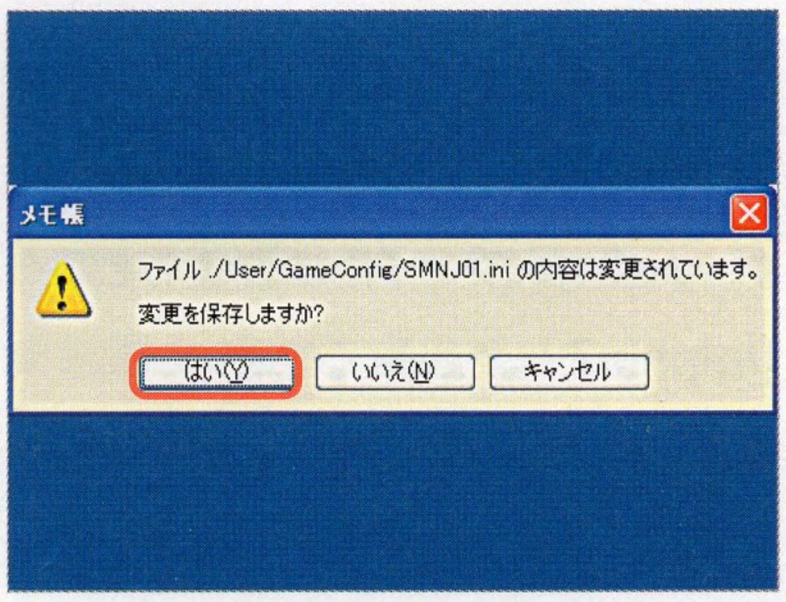
「New スーパーマリオWii」の場合、途中でWiiリモコンに関するエラーが出る。ゲームが起動できても油断は禁物だ。

3 設定ファイルを編集する



設定ファイル内の項目を、Wikiで指定しているとおりに編集。ここではエラー回避用のチートコードを入力。

4 設定ファイルを保存する

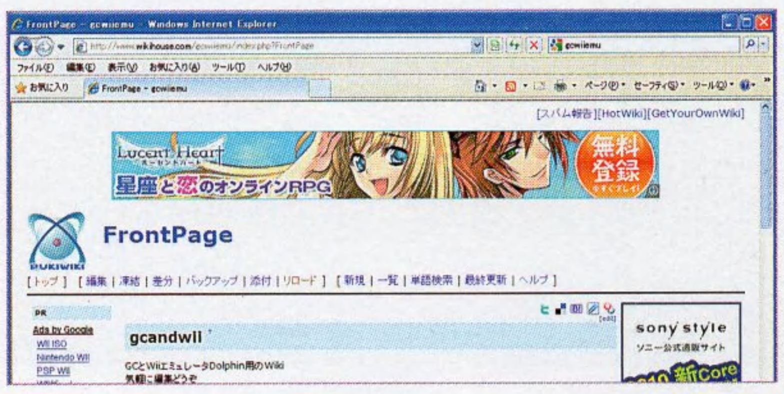


メモ帳を閉じ、ダイアログが表示されたら「はい」をクリック。

詳しい設定方法は

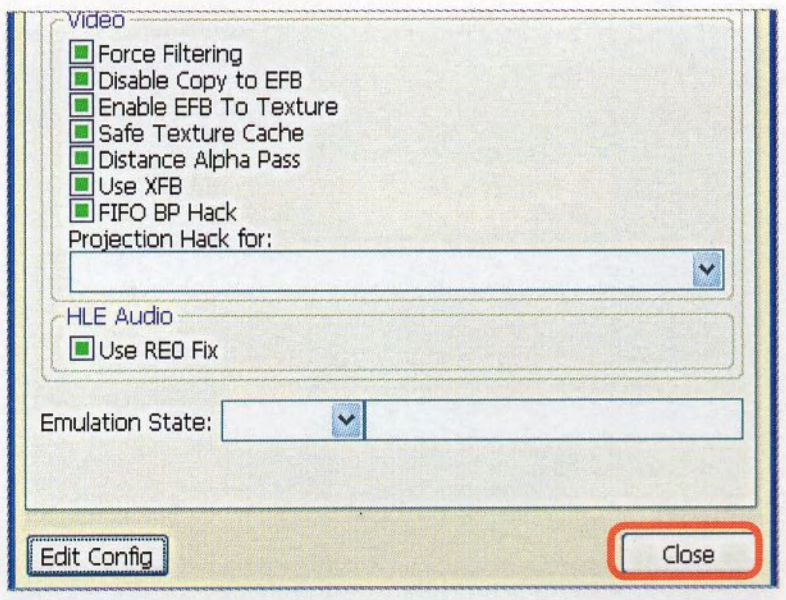
Point

ゲームタイトルごとに、動作状況とエラーの回避手順をまとめているWiki。まずはここをチェックしよう。



gcwiiemu Wiki
http://www.wikihouse.com/gcwiiemu/index.php?FrontPage

5 設定メニューを閉じる



「Close」ボタンで設定ウインドウを閉じる。また、「Config」メニュー内の「Enable Cheats」をオンにしておくこと。

6 ゲームを起動する



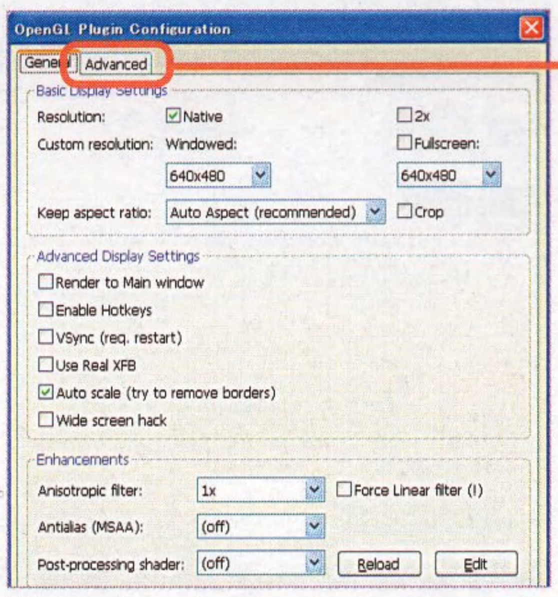
あとは通常通りゲームを起動すればOK。見た目ではわからないが、特定のステージ以降で起きるエラーを回避している。

グラフィックプラグインの設定で動作を軽くする

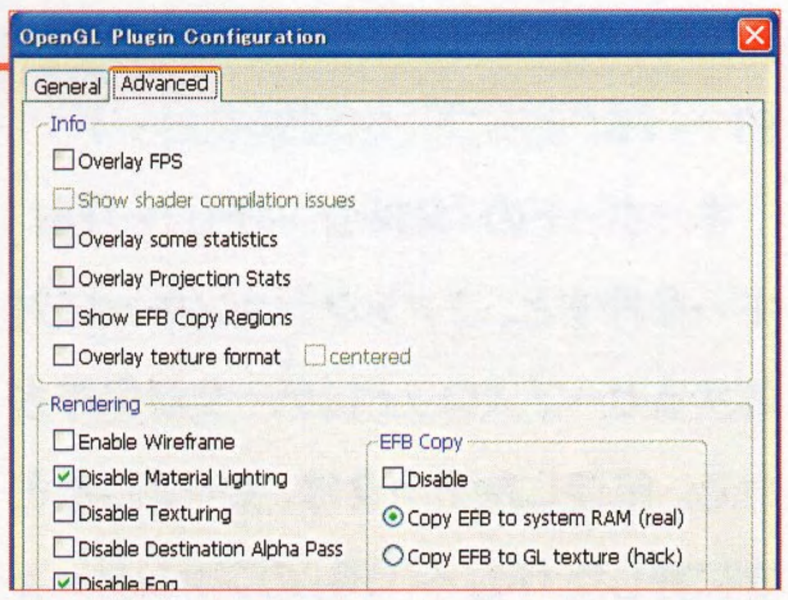
Point

Dolphinは現行ゲーム機のエミュレータだけあって動作が重く、ハイエンドパソコンでも、一部のゲームでは遅れが見られる。そこで、少しでも動作速度を改善するよう、プラグインの設定を行なおう。ここで紹介している設定なら、ゲームへの影響を最小限に抑えながら軽量化が可能だ。





プラグイン設定は「Graphics」ボタンから行なう。「Advanced」タブをクリック。

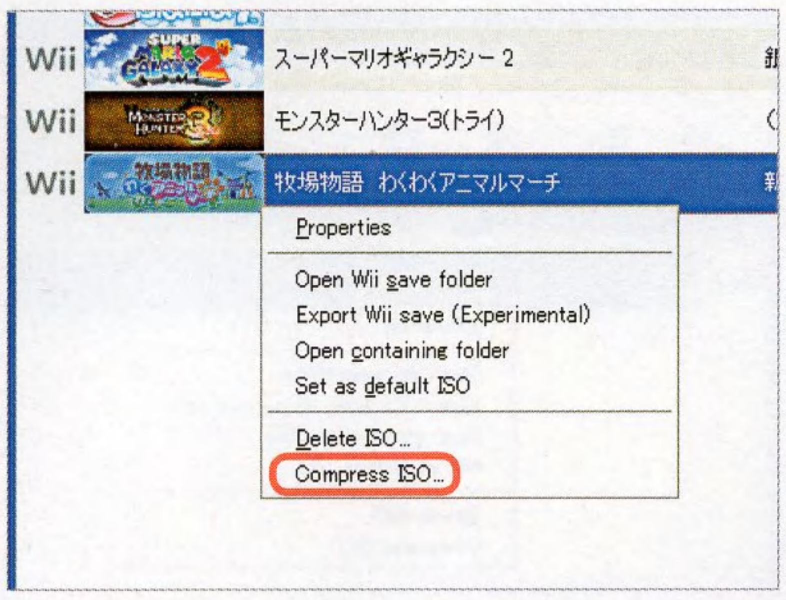


「Disable Material Lightining」と「Disable Fog」にチェックを入れよう。

容量を節約する

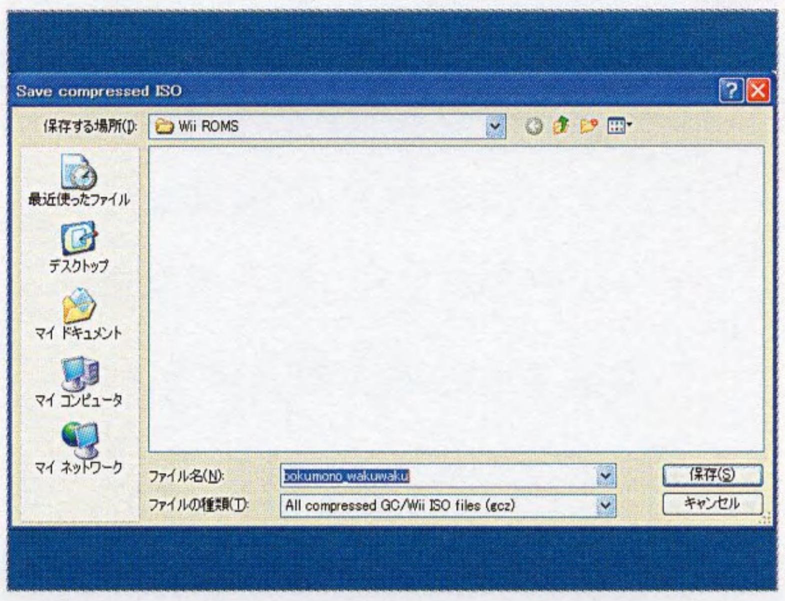
Wiiゲームからコピーした
ROMファイルは、DVDの最大容量に合うようダミーデータが追加されており、ムダに容量が大きい。Dolphinの機能でROMファイルを圧縮してしまおう。

1 圧縮するROMを選ぶ



Dolphin上のゲームリストから圧縮するROMファイルを選び、右クリックメニューから「Compress ISO」を選択。

2 ファイルの保存先を指定

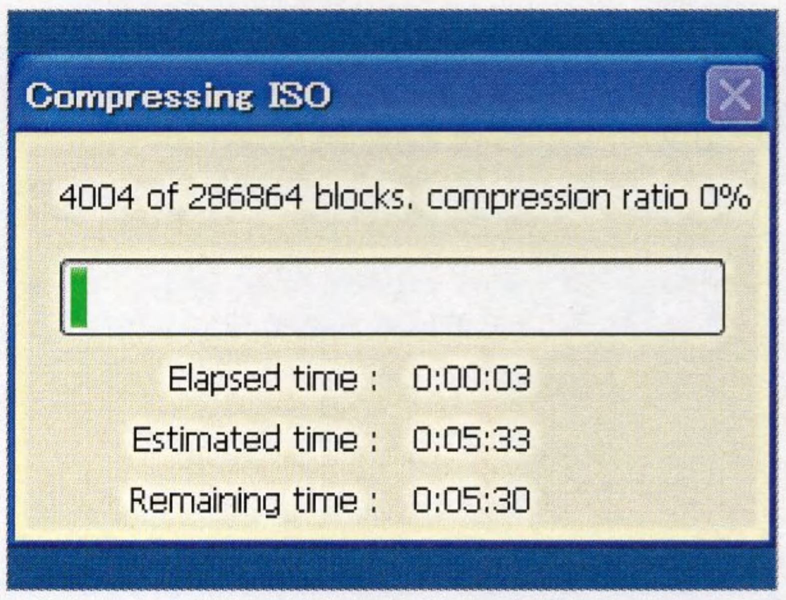


圧縮後のROMファイルを出力するフォルダを選択して「保存」をクリック。ISO形式のROMファイルと同じフォルダでもOK。

圧縮したROMの扱い Attention!

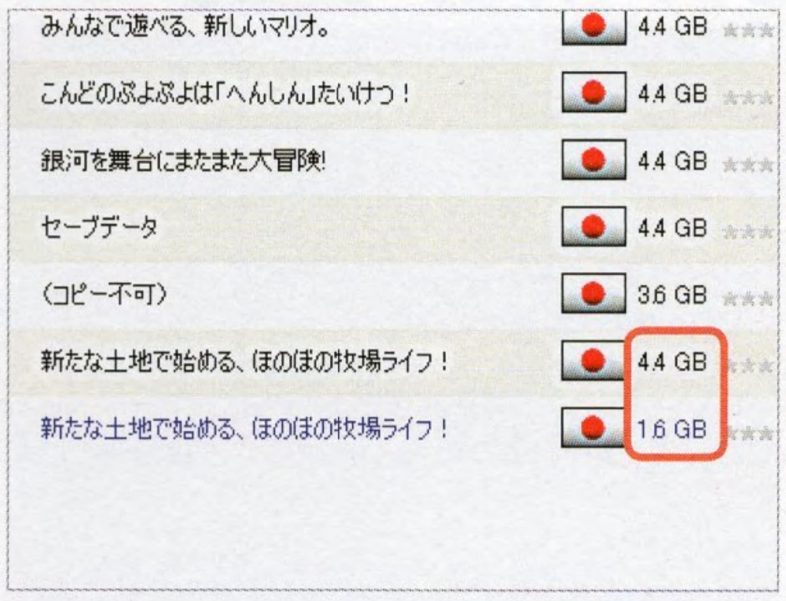
圧縮したファイルは、エミュレータ専用の圧縮形式、.gczで保存される。Wiiゲームの.gczファイルは現状のところDolphinでしか起動できない。圧縮後のゲームを選んで「Decompress ISO」を選択すると.gcm形式になるが、これをISO形式に変換するにはさらに専用のツールが必要だ。

3 ROMを圧縮する



ROMファイルの圧縮が終わるまで、しばらく待とう。圧縮にかかる時間は、もとのゲームサイズに応じて変化する。

4 圧縮完了！



圧縮が完了したら、リスト上の「Size」項目から容量を確認してみよう。今回はおよそ3GBもの圧縮に成功している。

エミュレータ独自機能を使う

Wii本体にはないエミュレータならではの機能を使って、快適にゲームをプレイしよう。いつでもどこでも自由にデータをセーブし、なんどでもやり直すことができる「どこでもセーブ」機能が便利だ。

1 ステージ前にデータをセーブ



どこでもセーブの有効活用方法を紹介。まずはステージ開始前などのタイミングで状態をセーブしておく。

2 失敗したらデータをロード



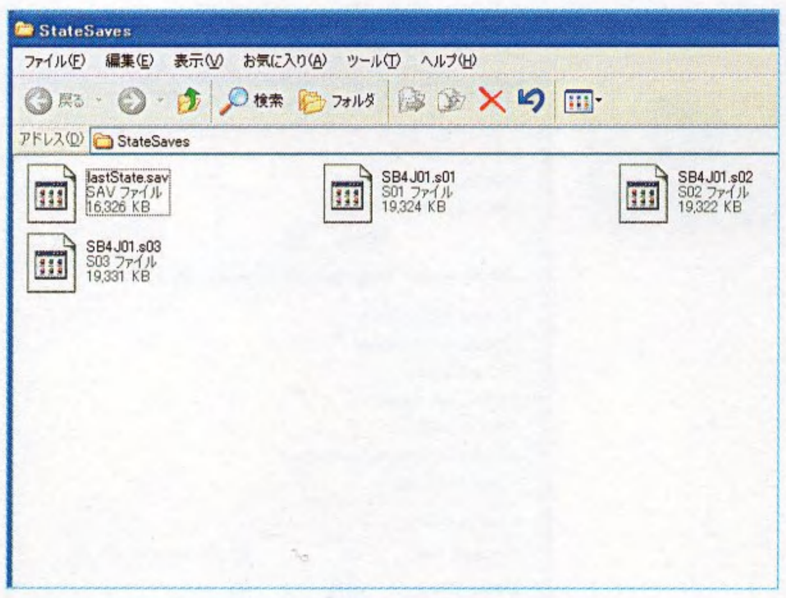
ステージ中にミスしてしまったら、落ち着いてセーブに使用したファンクションキーを押し、データをロードする。

なんどでもやり直しができる「どこでもセーブ」機能

SHIFT＋F1～F8：各スロットに現在の状態をセーブ

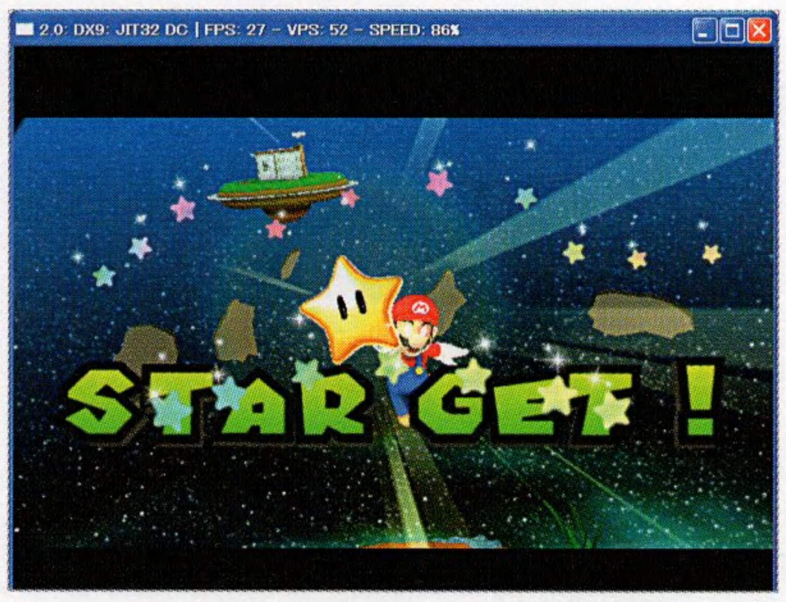
F1～F8：セーブした状態をロード

キーボードの「SHIFT」＋「F1」～「F8」キーを押すと、ファンクションキーに対応するセーブスロットにデータが保存される。保存したデータは、セーブしたときに押した「F1」～「F8」のファンクションキーを押すことで読み込める。



保存したセーブデータは「User」→「StateSaves」フォルダに保存される。ファイル名を個別につけてのセーブも可能。

3 ステージをクリアするまでなんどでもチャレンジ！



ロードしたデータでやり直せば、残りのプレイヤー数に関係なく、何度でもステージクリアに挑戦できる。

Chapter2

Emulator

ファミリーコンピュータ 68

スーパーファミコン 70

ゲームボーイアドバンス 72

ニンテンドーDS 74

ニンテンドー64 76

PCエンジン 78

セガマスターシステム 80

メガドライブ 82

セガサターン 84

プレイステーション 86

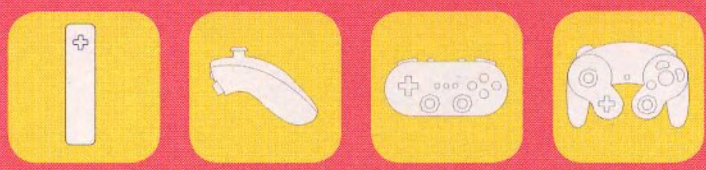


ファミリーコンピュータ



FCE Ultra GX Ver.3.1.7
作者名●Tantric
ファイル名●FCE Ultra GX 3.1.7.zip
URL●http://wiibrew.org/wiki/FCE_Ultra_GX

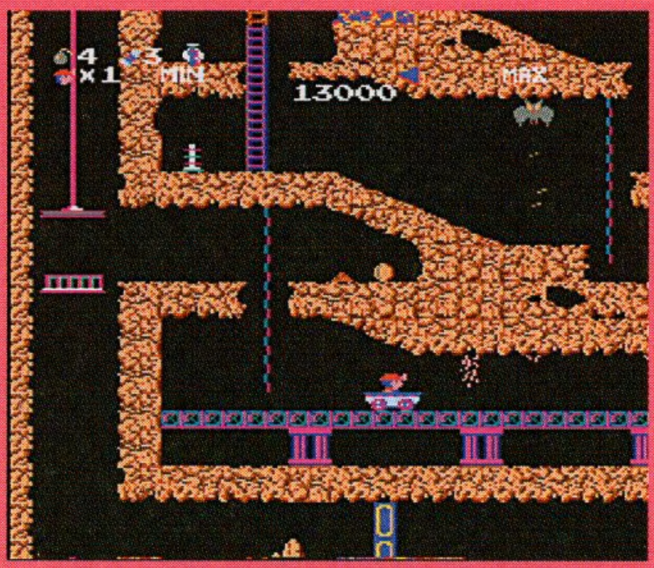
対応コントローラ



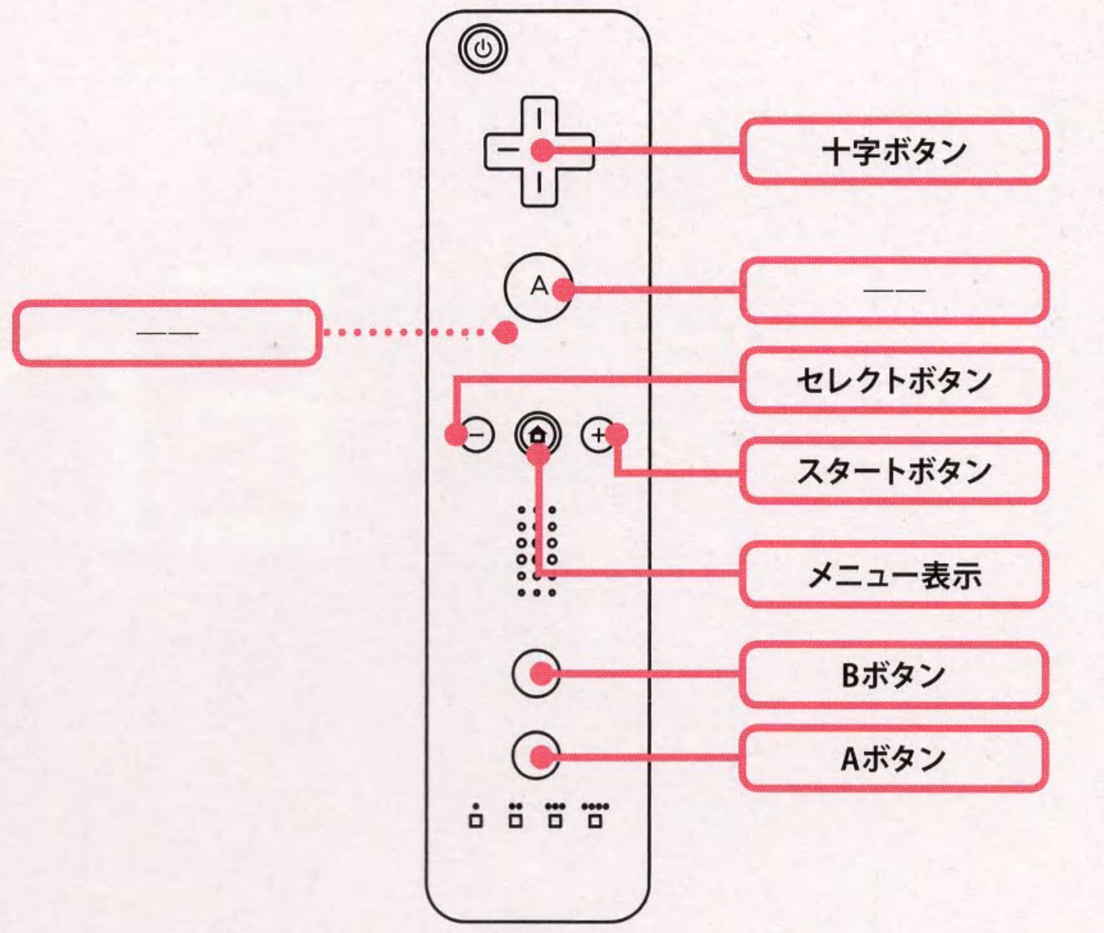
対応機能

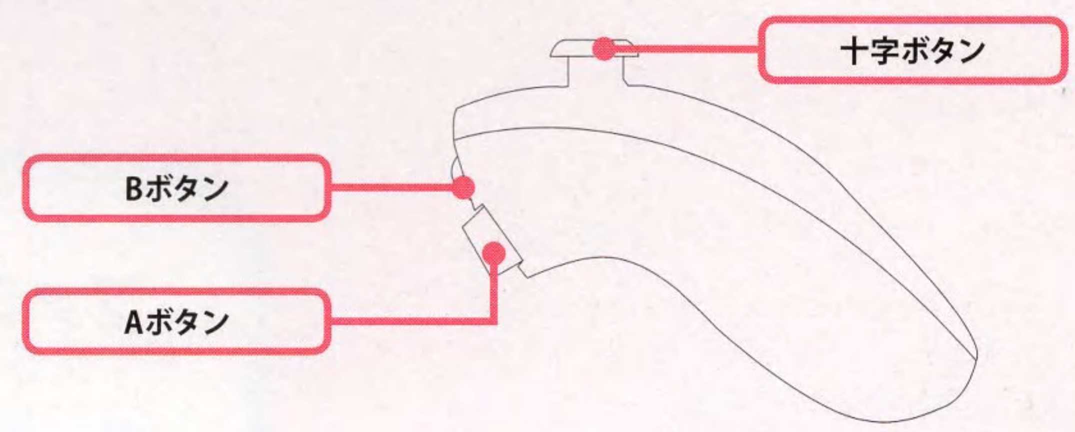
SRAMセーブ&ロード / ステートセーブ&ロード / オンラインアップデート

「FCE Ultra GX」は、ROMカセットからディスクシステムゲームまで対応するファミコンエミュレータである。動作性、再現性ともに非常に優れており、ほとんどのゲームを実機と同様にプレイ可能だ。

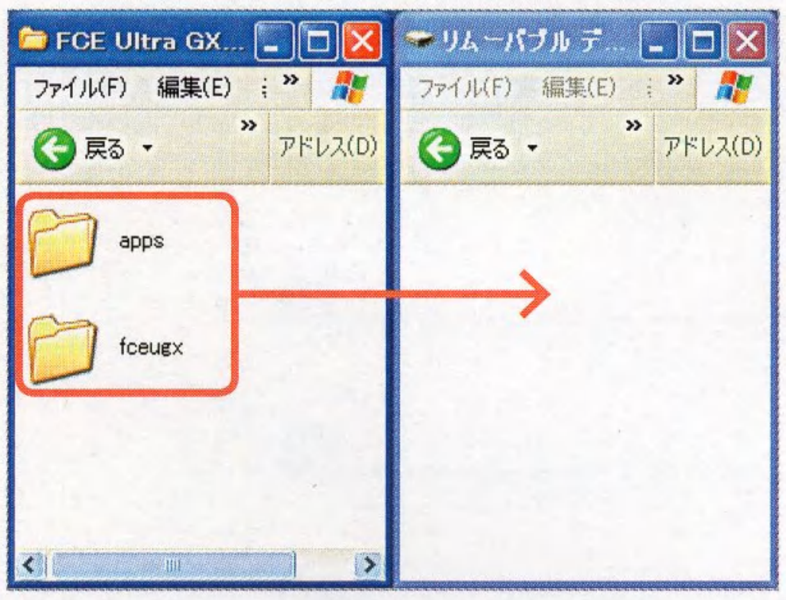


27年前に発売されたファミコンをWiiで再現。ファミコン世代には感動モノだ。



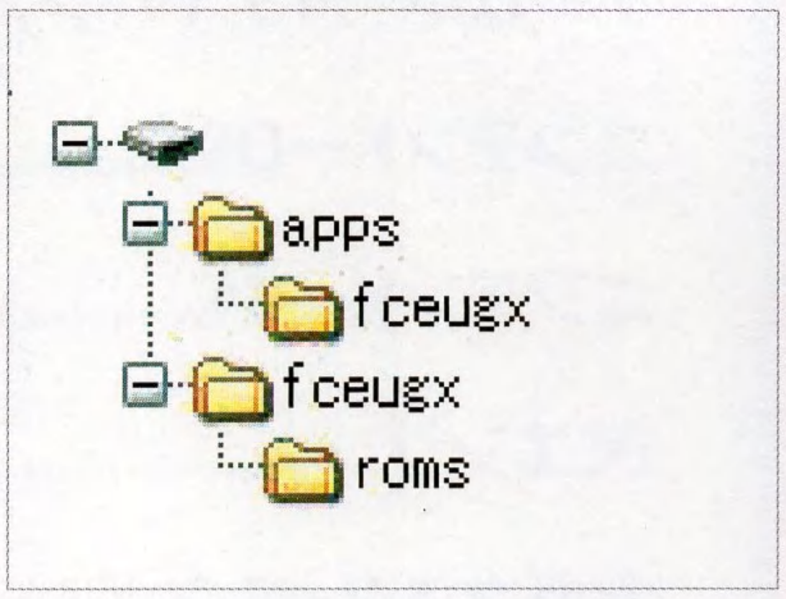


1 PC SDカードにエミュレータをコピーする



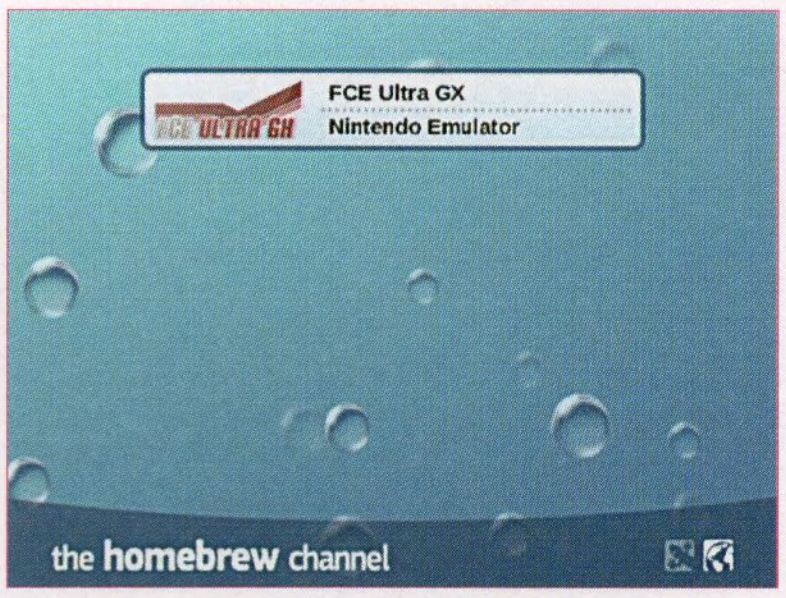
付録CD-ROM収録の「FCE Ultra GX 3.1.7.zip」を解凍して、SDカードのルートに「apps」と「fceugx」フォルダをコピーする。

2 PC ROMファイルをコピーする



「fceugx」内の「roms」フォルダにNES形式のROMファイルをコピーする。ゲームのファイル名は半角英数文字にすること。

3 Wii エミュレータを起動する



HBC上でFCE Ultra GXを選択して「A」ボタン。「Load」で選び「A」ボタンを押して、FCE Ultra GXを起動する。

4 Wii ゲームを選択する



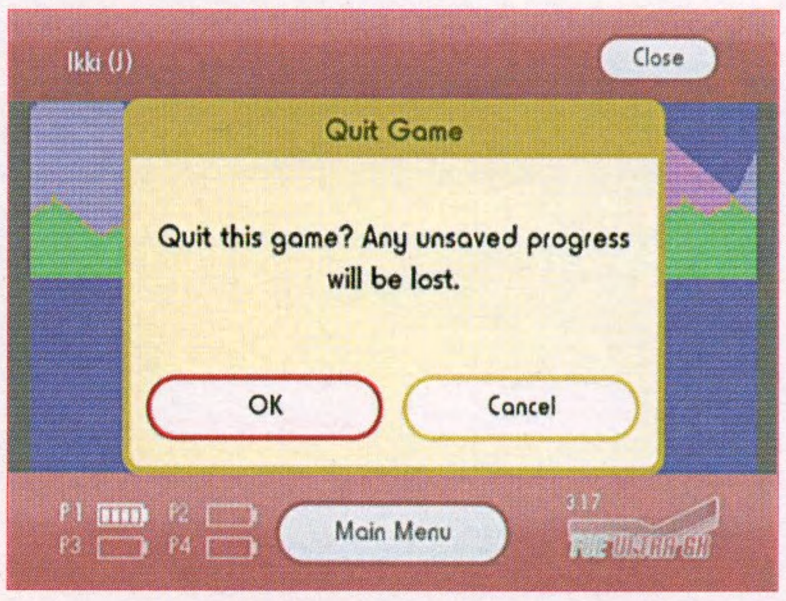
「roms」フォルダにコピーしたROMファイルが一覧表示されるので、遊びたいゲームタイトルを選んで「A」ボタンを押す。

5 Wii ゲームが起動する



ROMファイルが読み込まれてゲームが起動する。往年の名作を心ゆくまで堪能しよう。

6 Wii ゲームを終了する

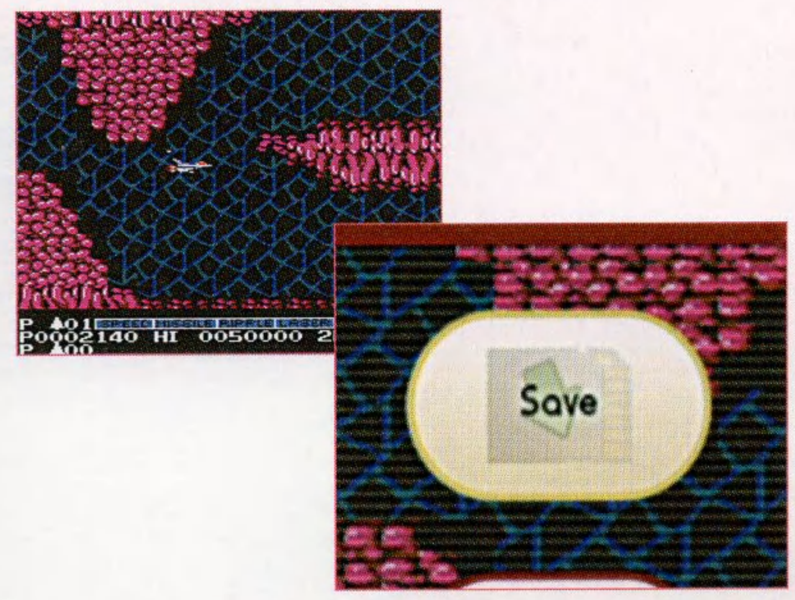


ゲーム中に「HOME」ボタンを押すとメニュー表示になる。「Main Menu」をクリックして、「OK」でゲームを終了できる。

セーブ&ロード機能を使う

FCE Ultra GXにはゲーム中、自由にセーブ&ロードが可能なステートセーブ機能がある。ゲーム本来のセーブ機能とは別に、どんなゲームでも好きなタイミングで状態の保存と再開が可能な便利な機能だ。

1 メニュー画面を表示



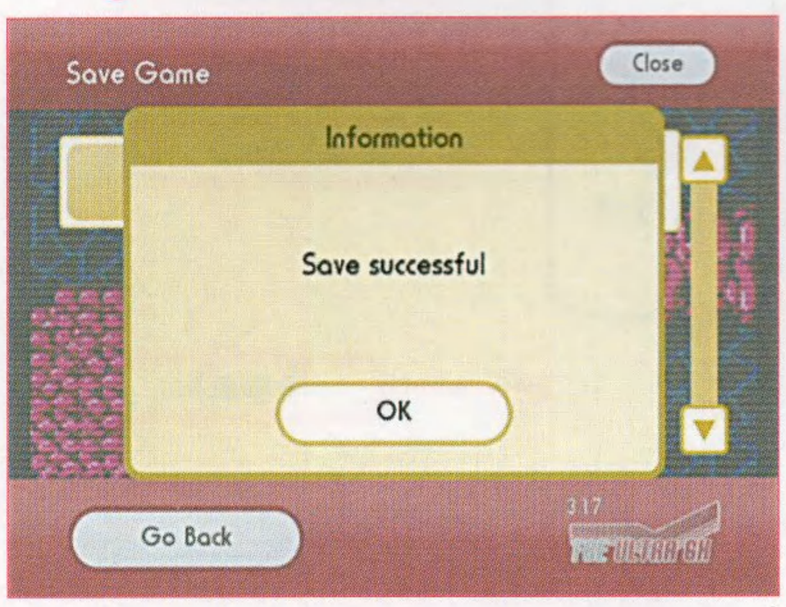
ゲーム中に「HOME」ボタンを押してメニュー画面を表示。「Save」を「A」ボタンで選びセーブ画面を表示する。

2 セーブメニューの選択



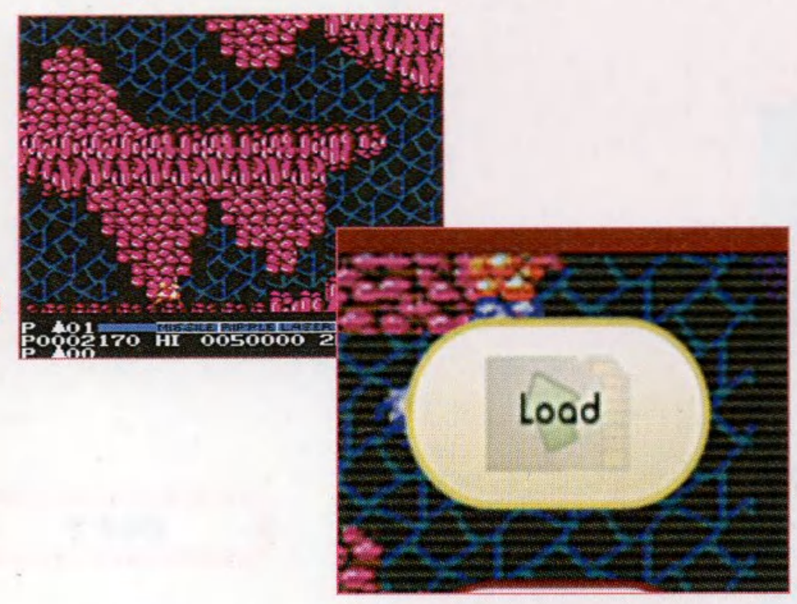
セーブ画面で「New State」を「A」ボタンで選び、現在プレイ中の状態をセーブする。

3 ゲームを途中セーブ



セーブが無事完了すると「Save successful」と表示される。続いて「OK」と押すと、セーブしたデータを確認できる。

4 ゲームをロードする



ゲームオーバーなどプレイに失敗したら「HOME」ボタンを押してメニューを表示。次に「Load」を選択する。

5 セーブ一覧から選択

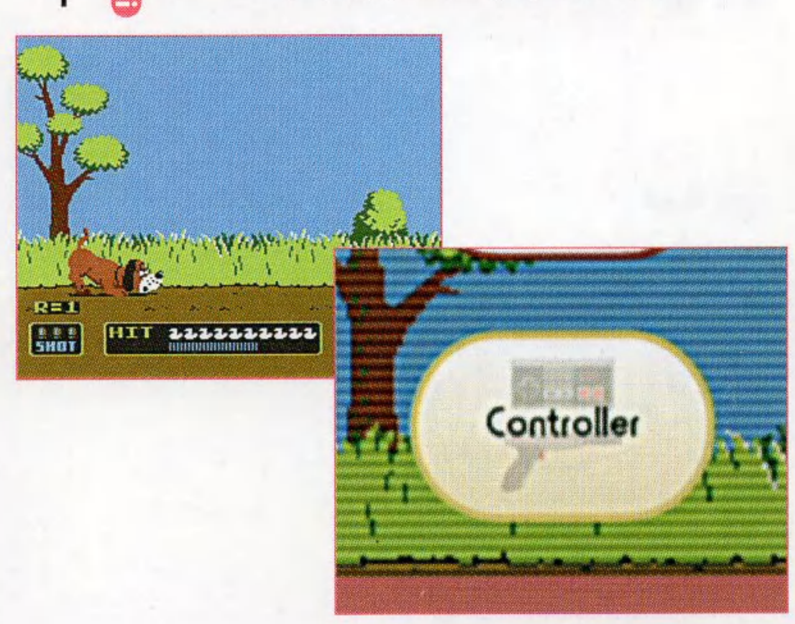


「Load」画面にはステートセーブしたデータがサムネイル付で表示される。やり直したいデータを選択してプレイ再開しよう。

光線銃を使用する

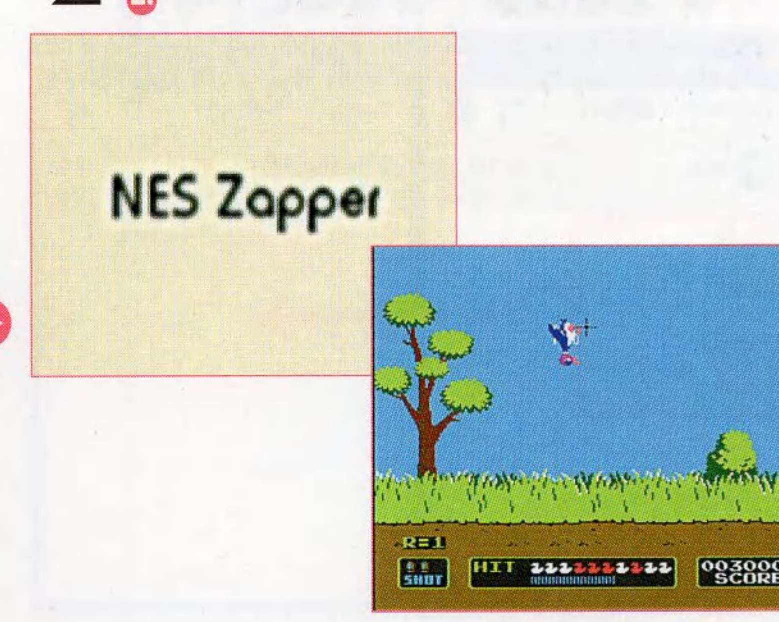
Wiiエミュレータならではの機能として、Wiiリモコンを使った光線銃への対応がある。これにより、本来ブラウン管テレビでしか遊べない光線銃ゲームが液晶モニターでプレイ可能になるのだ。

1 ゲームの設定画面を表示



ゲーム中に「HOME」ボタンを押して、メニュー画面を表示する。「Game Settings」→「Controller」と選択していく。

2 コントローラを変更する

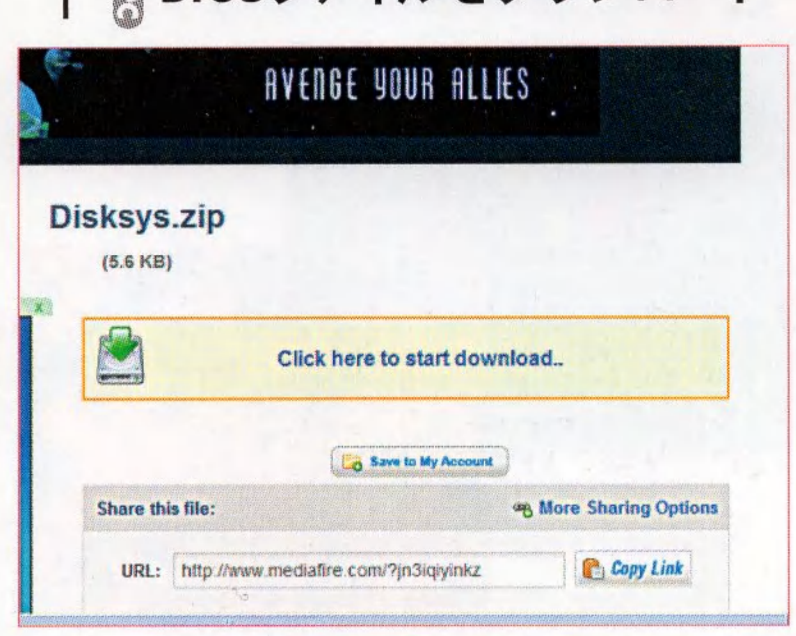


十字ボタンの左右を押して、使用するコントローラを変更する。「NES Zapper」を選択すると、Wiiリモコンを光線銃として使える。

ディスクシステムに対応する

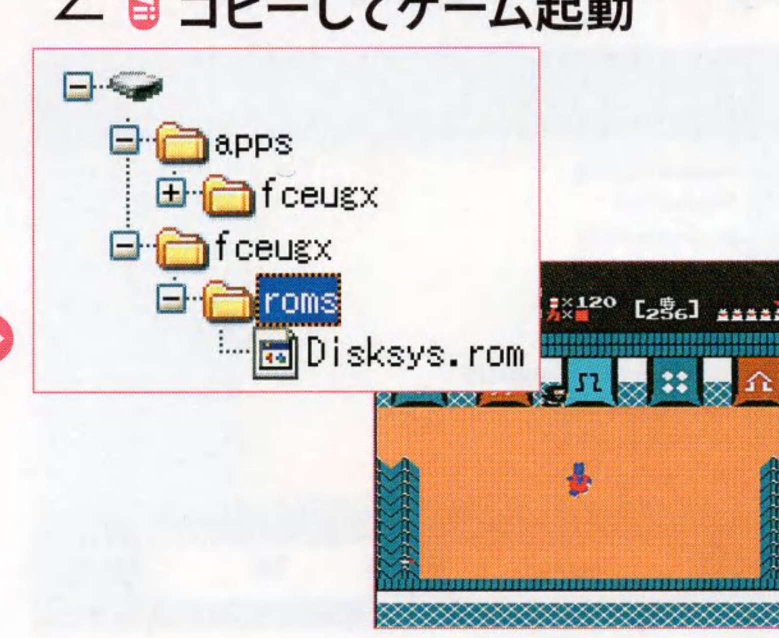
FCE Ultra GXは、ディスクシステムのゲームにも対応している。しかし、ディスクゲームをプレイするには、別途BIOSファイル（ハードを制御するプログラム）が必要になる。

1 BIOSファイルをダウンロード



付録CD-ROM収録のリンクからアップローダサイトに接続。「Click here to～」をクリックし「Disksys.zip」を入手して解凍する。

2 BIOSファイルをコピーしてゲーム起動



ダウンロードした「Disksys.rom」をROMファイルと同じ「roms」フォルダにコピー。これでFDS形式のディスクゲームがプレイできる。



スーパーファミコン

対応コントローラ



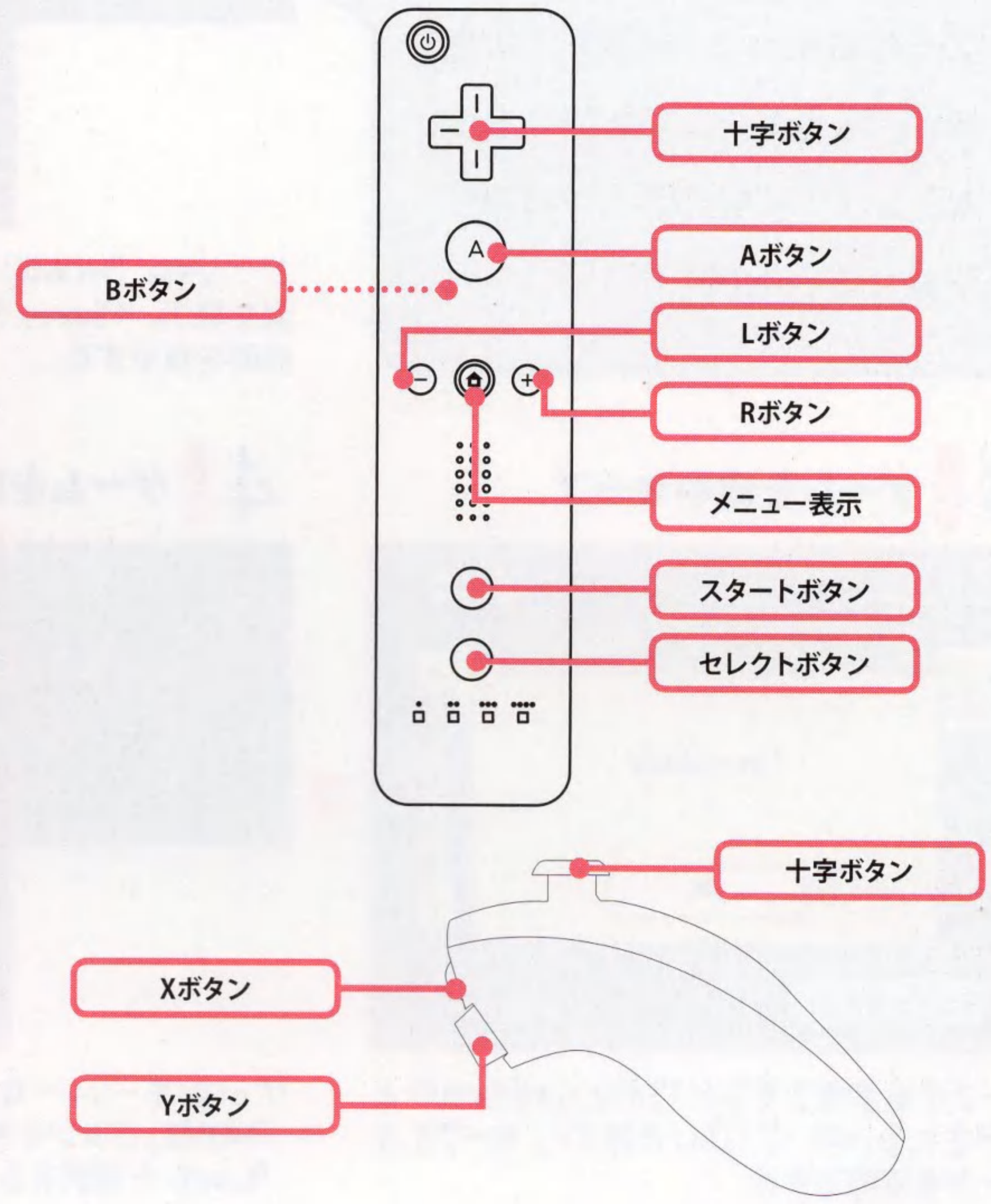
対応機能: SRAMセーブ&ロード / ステートセーブ&ロード / オンラインアップデート

「SNES9x GX」は、スーパーファミコンのソフトがプレイできるWii用エミュレータである。動作は良好で、特殊チップを必要とする一部のソフト以外は問題なく動作し、機能も充実している。

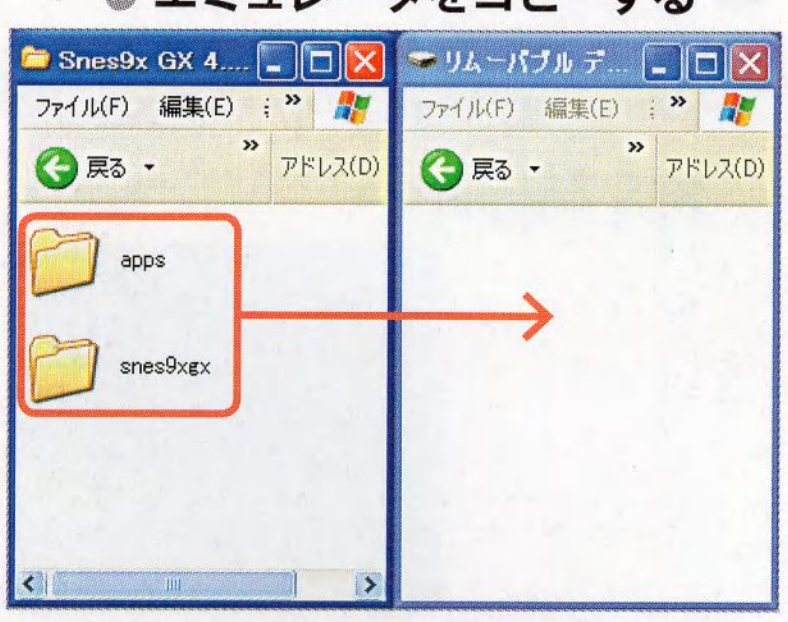


動作はほぼ完璧。使用ボタン数の多いゲームは、GCコントローラやクラコンを使ってプレイしよう。

SNES9x GX Ver.4.1.9
作者名●Tantric
ファイル名●Snes9x GX 4.1.9.zip
URL●http://wiibrew.org/wiki/Snes9x_GX

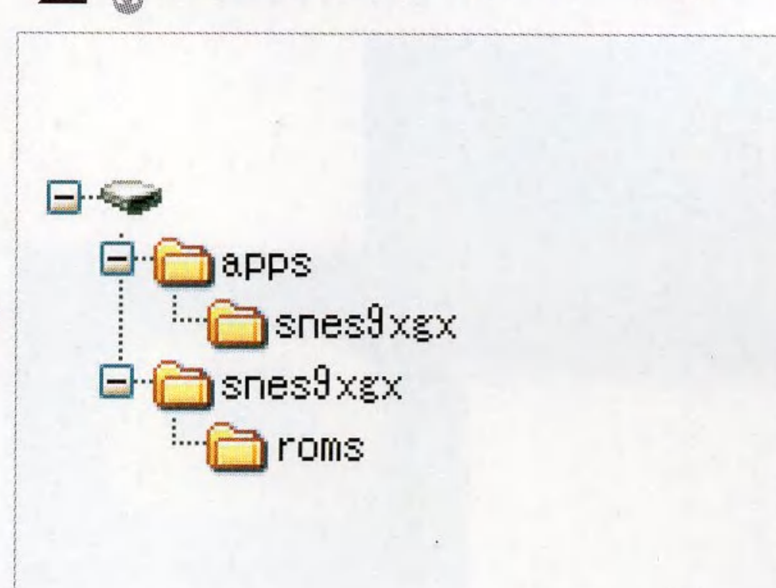


1 PC SDカードにエミュレータをコピーする



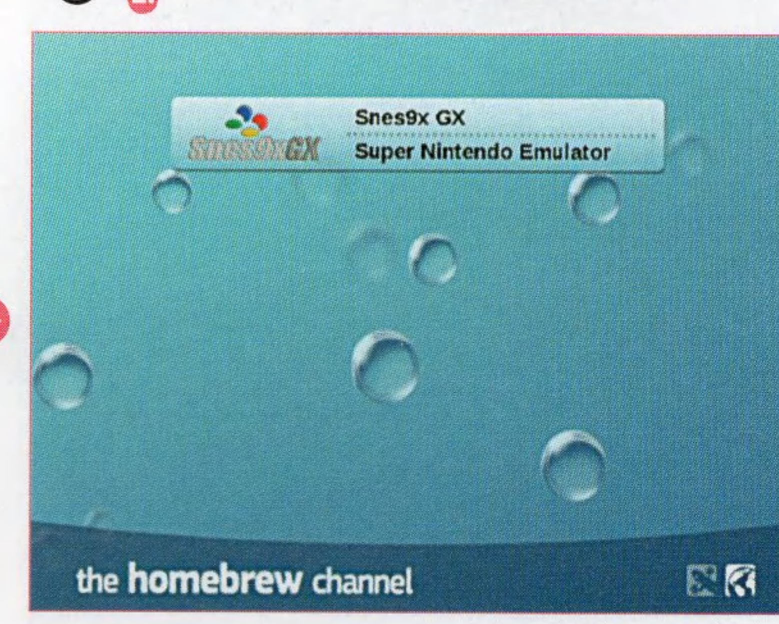
付録CD-ROM収録の「Snes9x GX 4.1.9.zip」を解凍して、SDカードのルートに「apps」フォルダと「Snes9xgx」フォルダをコピー。

2 PC ROMファイルをコピーする



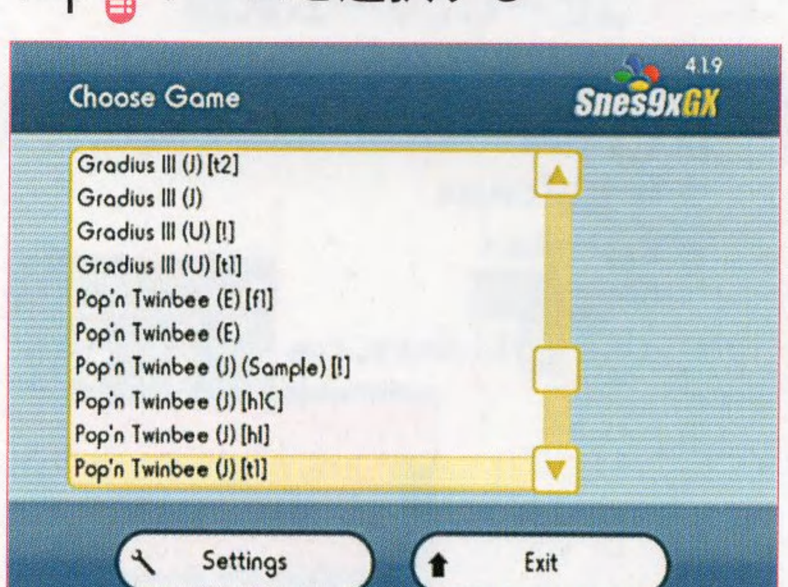
「Snes9xgx」の「roms」フォルダに、SMC形式などのROMファイルをコピーする。ゲームのファイル名は半角英数文字にすること。

3 Wii エミュレータを起動する



HBCに「Snes9x GX」が表示されたら「A」ボタンで選択。「Load」を選択して、Snes9x GXを起動する。

4 Wii ゲームを選択する



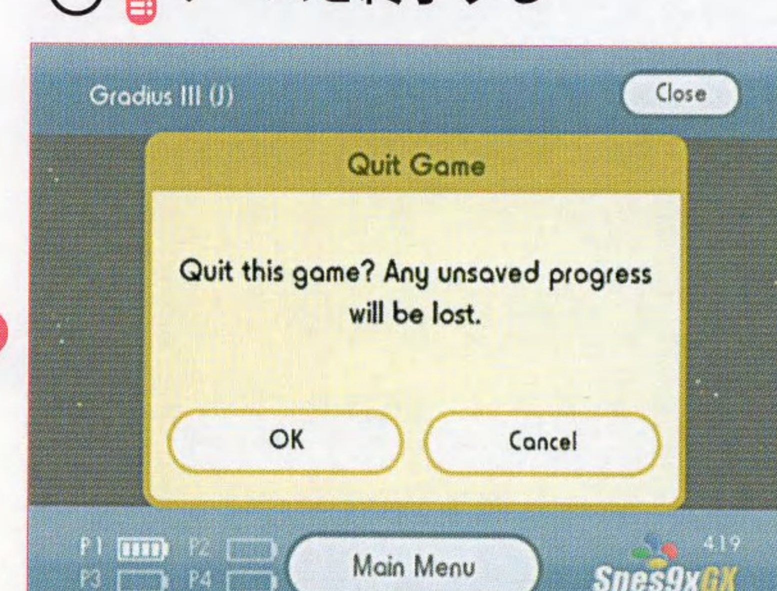
「roms」フォルダにコピーしたROMファイルが一覧表示される。遊びたいゲームタイトルを選んで「A」ボタンで選択する。

5 Wii ゲームが起動する



ROMファイルが読み込まれてゲームが起動する。スーパーファミコンのソフトは、一部を除いてほとんどが動作可能だ。

6 Wii ゲームを終了する

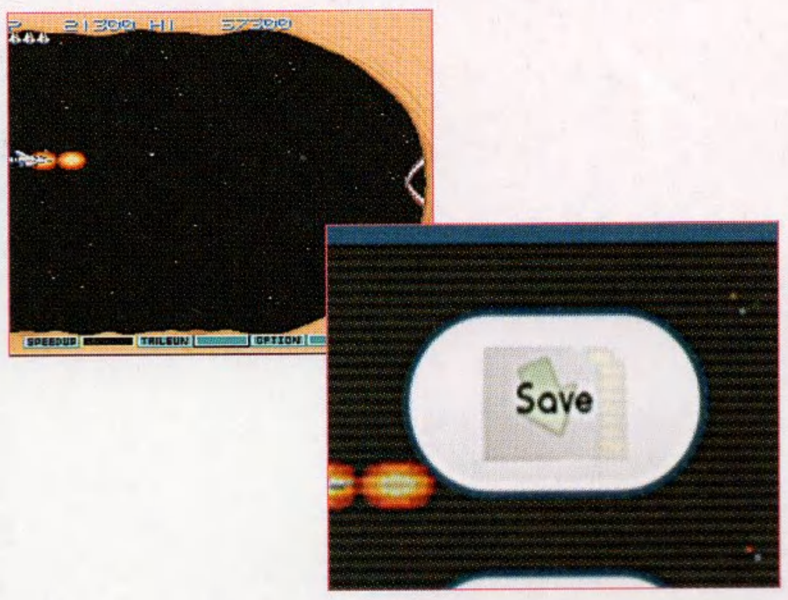


ゲーム中に「HOME」ボタンを押してメニュー画面を表示。「Main Menu」を選び、「OK」でゲームを終了できる。

ステートセーブ&ロード機能

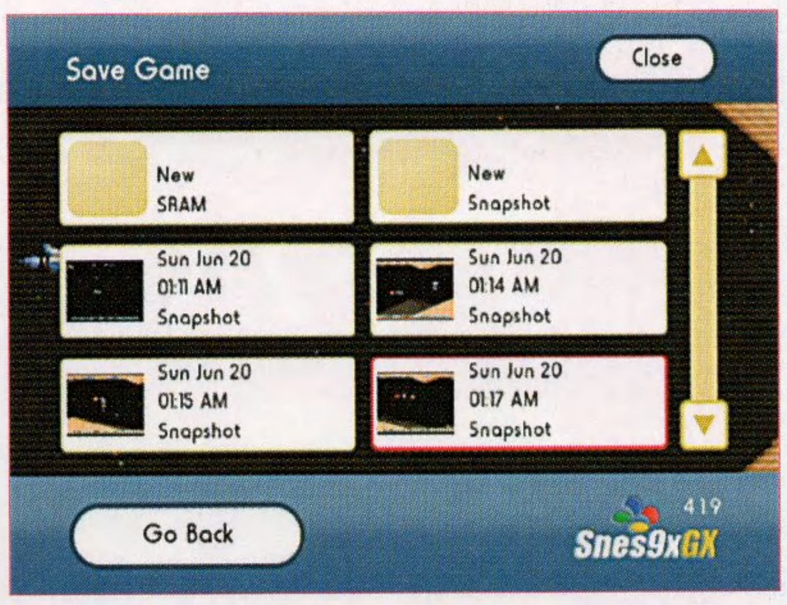
Snes9x GXのステートセーブ&ロード機能は、ゲーム中の好きな状態でセーブができ、いつでもロードしてゲームを再開できる自由度の高い機能だ。まずは、メニュー画面から「Save」を選択してセーブしよう。

1 Wii メニュー画面を表示



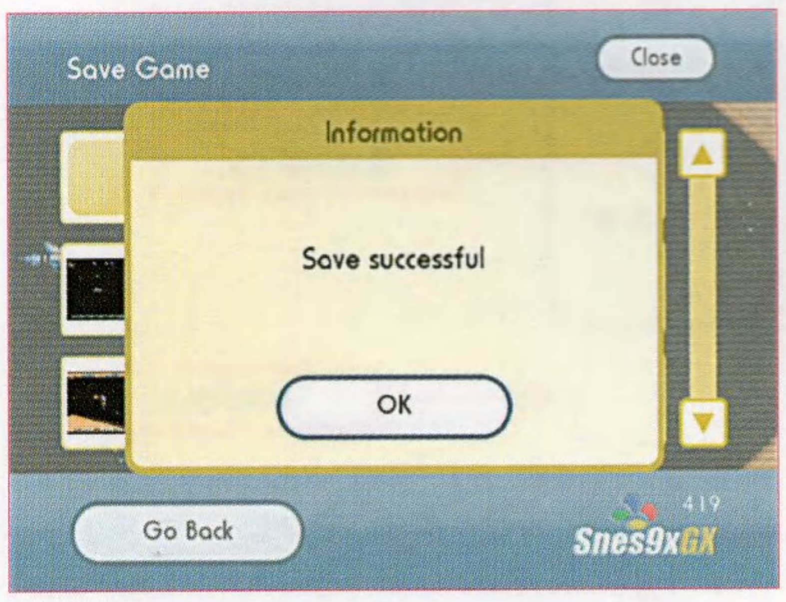
ゲーム中に「HOME」ボタンを押してメニュー画面を表示。「Save」を「A」ボタンで選びセーブ画面を表示する。

2 Wii セーブメニューの選択



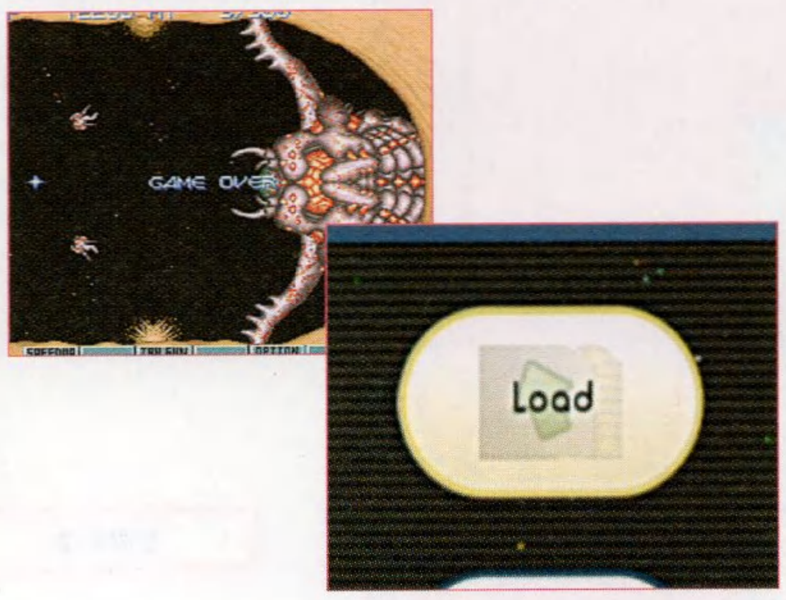
「New State」を選択して、現在プレイ中の状態をセーブする。セーブはデータは好きなだけ作成可能だ。

3 Wii ゲームを途中セーブ



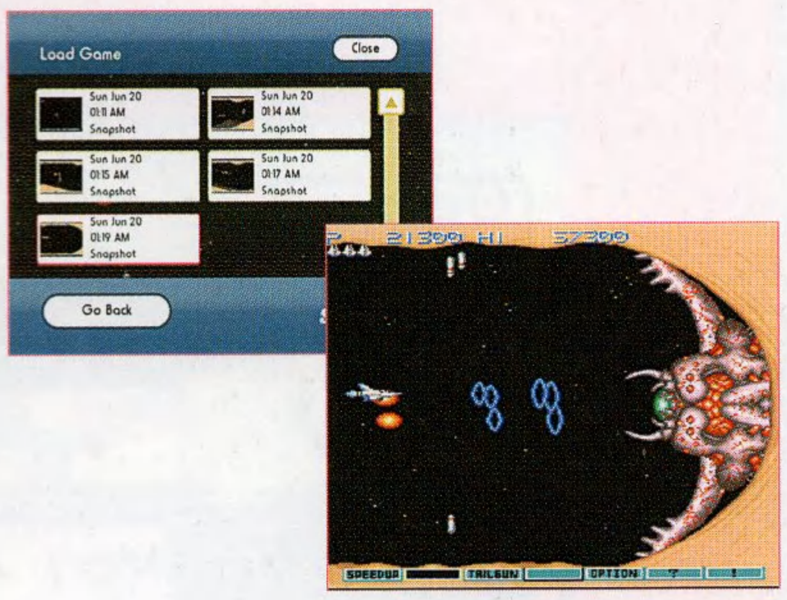
セーブが完了すると「Save successful」と表示される。「OK」を選択してセーブを終了する。

4 Wii ゲームをロードする



ゲームオーバーなどプレイに失敗したら「HOME」ボタンを押してメニューを表示。「Load」を選択する。

5 Wii セーブ一覧から選択



スレートセーブしたデータがサムネイル付で表示されるので、やり直したいデータを選ぶ。

各種周辺機器を使う

Snes9x GXは、Wiiリモコンを使用して各種周辺機器に対応できる。使用する周辺機器は、メニューのセッティング画面からコントローラを選択して変更する。これで、Wiiリモコンが光線銃などの代わりになるのだ。

1 Wii メニュー画面を表示



ゲーム中に「HOME」ボタンを押して、メニュー画面を表示。メニュー項目から「Game Settings」を選択する。

2 Wii コントローラを変更



セッティングメニューを表示したら、一覧から「Controller」を選択、左右で表示を切り替えて使用コントローラを選択する。

スーパースコープ



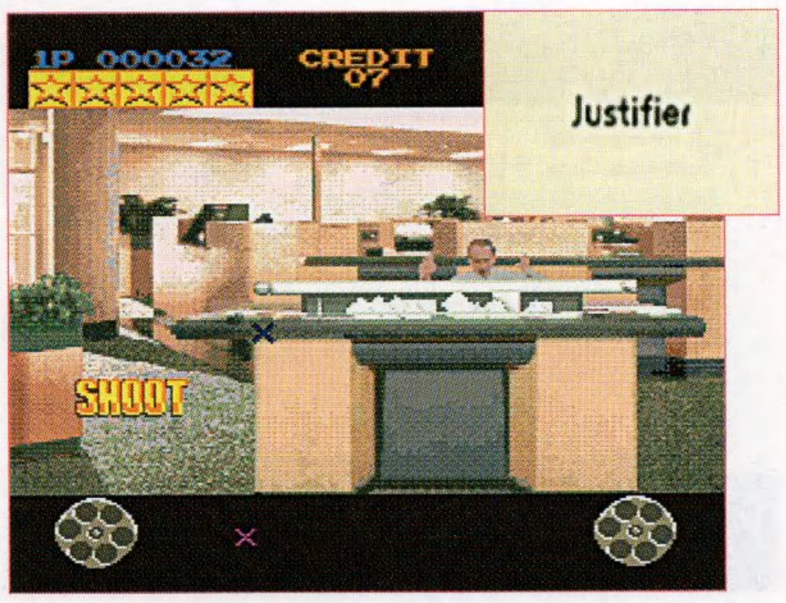
肩撃ち式のバズーカ型光線銃が使用できる。「ヨッシーのロードハンティング」や「X ZONE」といったタイトルに対応している。

スーパーファミコンマウス



スーパーファミコン専用のマウスが使用できる。マリオペイントなどの一部ゲームで使用できるが、操作性はあまりよくない。

Justifier



ふたり同時プレイが可能な光線銃が使用できる。コナミのタイトル「リーサルエンフォーサーズ」専用の機能だ。



ゲームボーイアドバンス

対応コントローラ

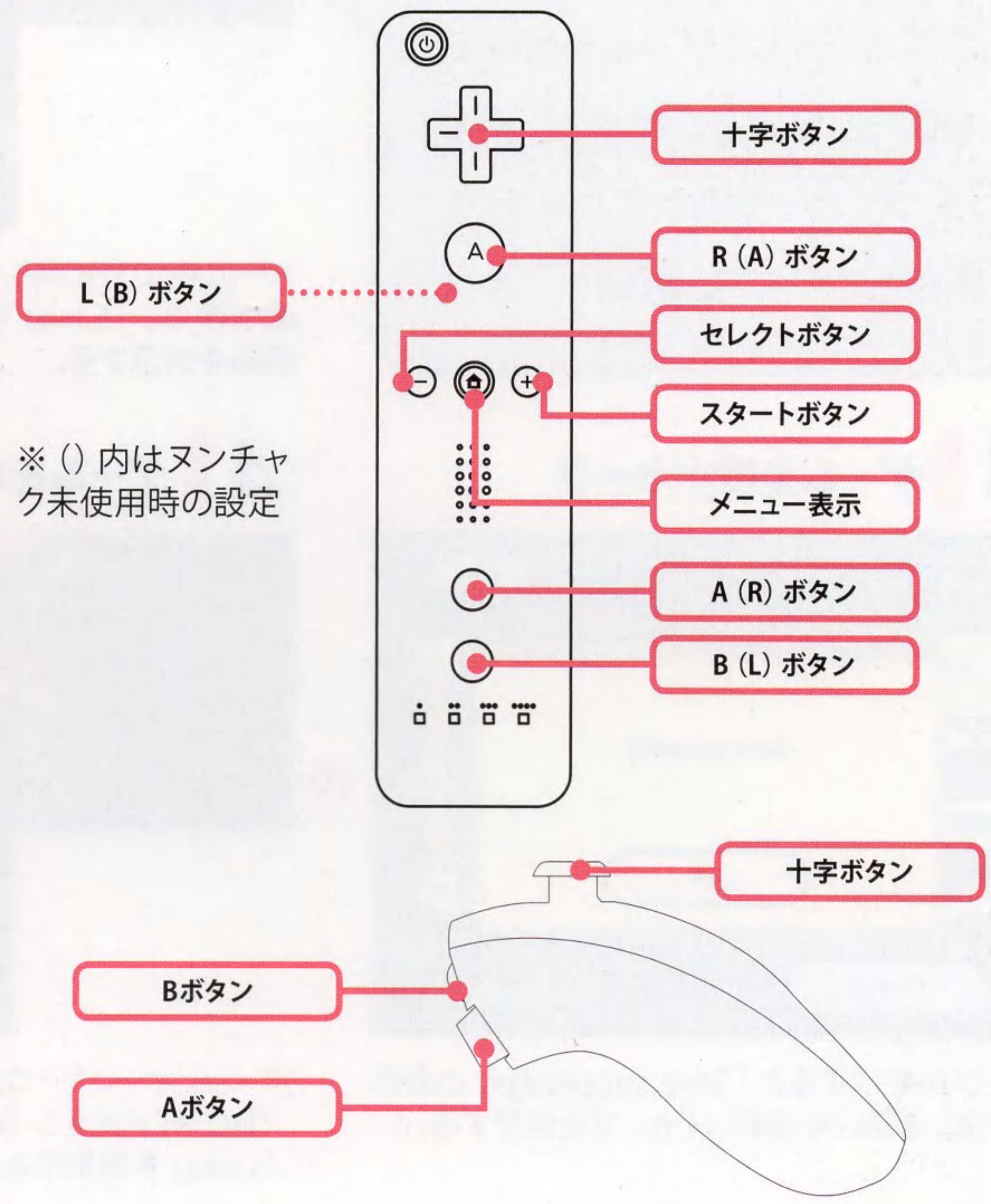
対応機能: SRAM セーブ&ロード / ステート セーブ&ロード / オンライン アップデート

パソコン用ゲームボーイアドバンス（以下GBA）エミュレータのWii版が「Visual Boy Advance GX」だ。GBAのソフト以外にもGBとGBCのソフトにも対応しており、多くのタイトルをプレイできる。



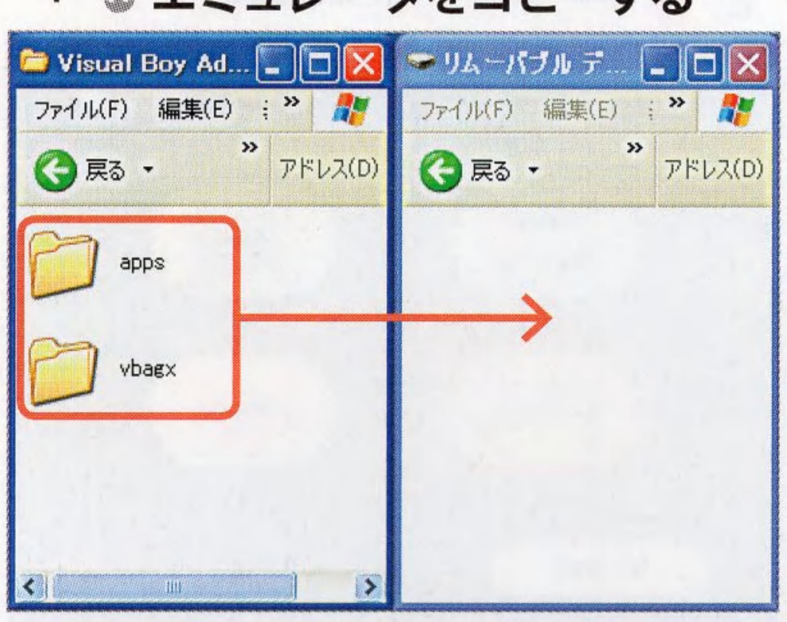
すべてのゲームボーイシリーズに対応しているため、機種ごとに画面表示を設定できる。

Visual Boy Advance GX Ver.2.1.6
作者名●Tantric
ファイル名●Visual Boy Advance GX 2.1.6.zip
URL●http://wiibrew.org/wiki/Visual_Boy_Advance_GX



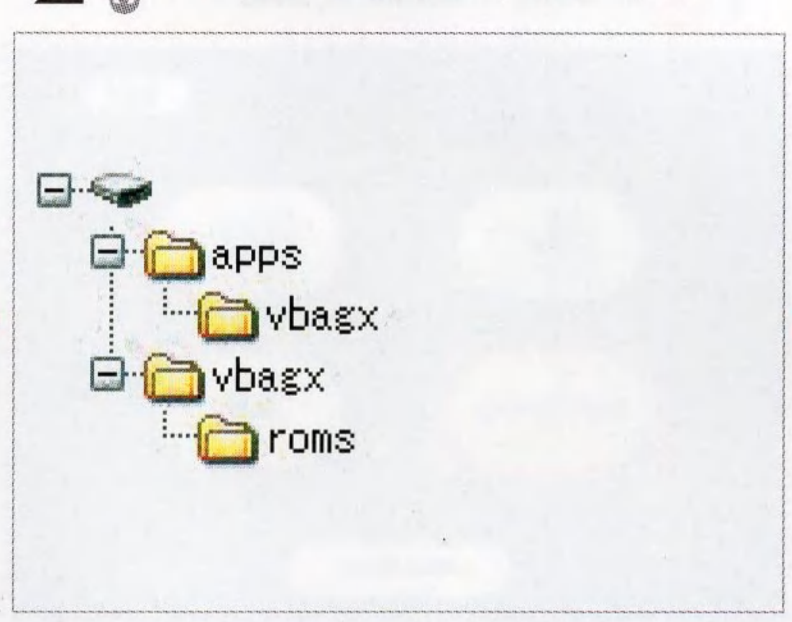
※ () 内はヌンチャク未使用時の設定

1 PC SDカードにエミュレータをコピーする



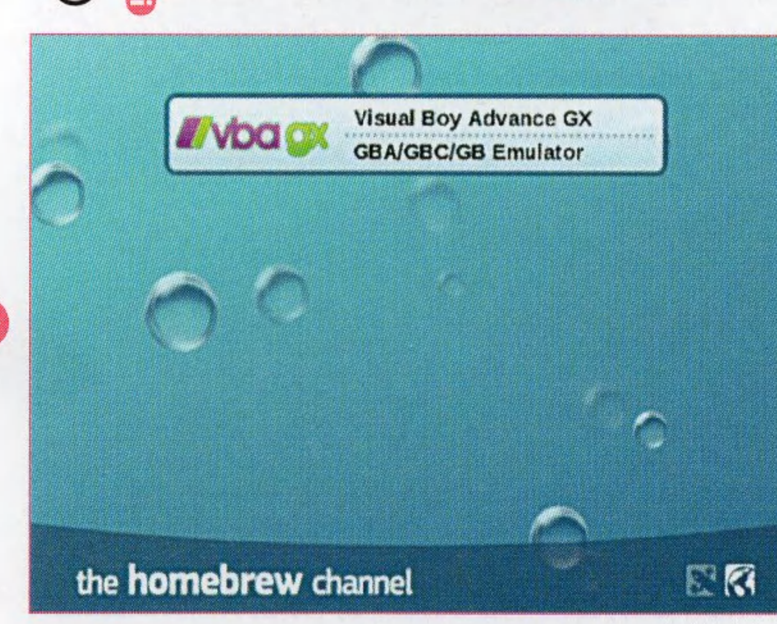
付録CD-ROM収録の「Visual Boy Advance GX 2.1.6.zip」を解凍。SDカードに「apps」フォルダと「vbagx」フォルダをコピーする。

2 PC ROMファイルをコピーする



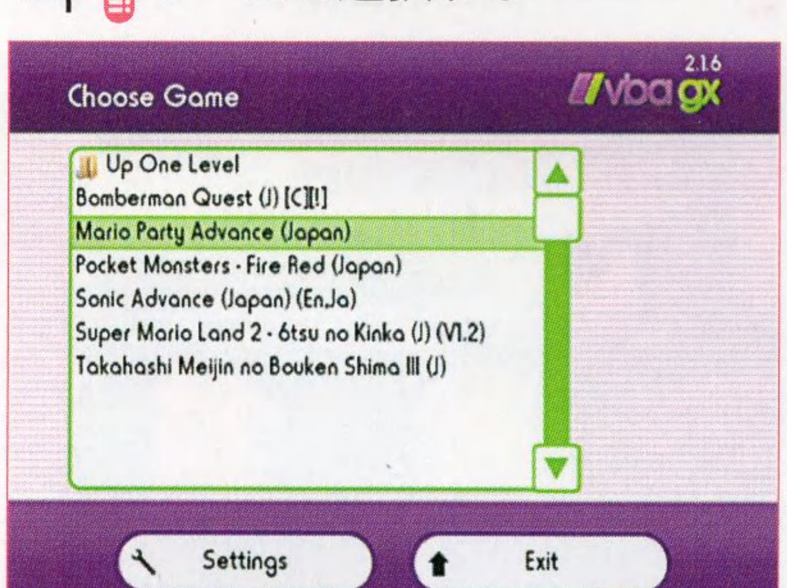
「vbagx」の「roms」フォルダに、GB形式やGBA形式などのROMファイルをコピー。ゲームのファイル名は半角英数文字にすること。

3 Wii エミュレータを起動する



HBCで「Visual Boy Advance GX」を表示したら「A」ボタンで選択。「Load」を選択して、Visual Boy Advance GXを起動する。

4 Wii ゲームを選択する



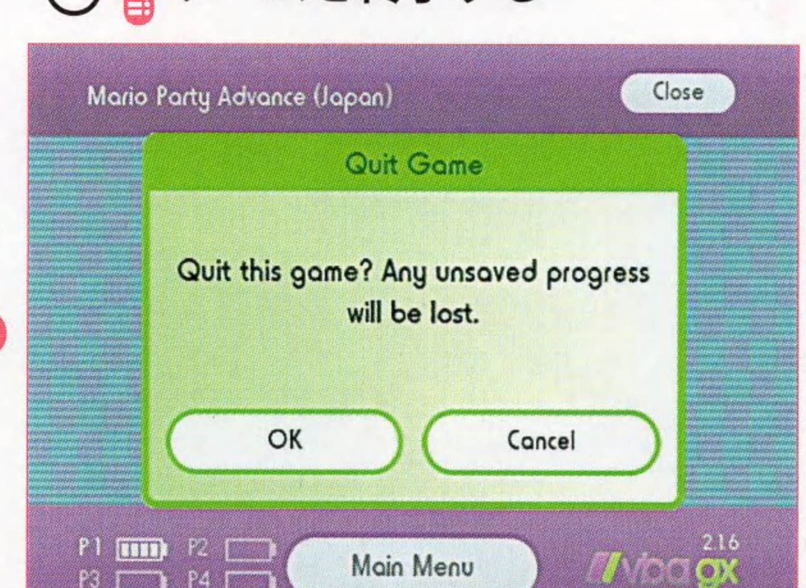
「roms」フォルダにコピーしたROMファイルが一覧表示される。遊びたいゲームタイトルを「A」ボタンで選択する。

5 Wii ゲームが起動する



ROMファイルが読み込まれてゲームが起動する。GBからGBAまで、数々の名作タイトルを遊ぶことができる。

6 Wii ゲームを終了する

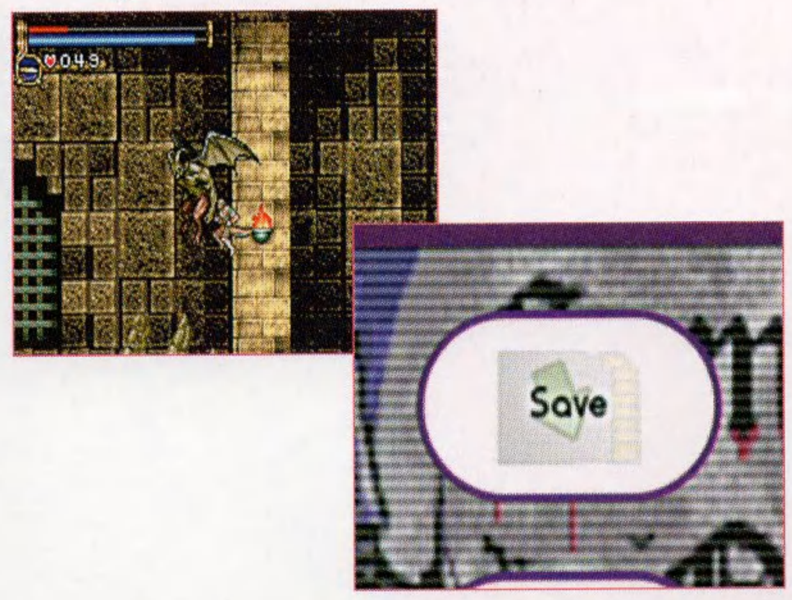


ゲーム中に「HOME」ボタンを押してメニュー画面を表示する。「Main Menu」を「A」ボタンで選択し、「OK」でゲームを終了する。

セーブ&ロード機能を使う

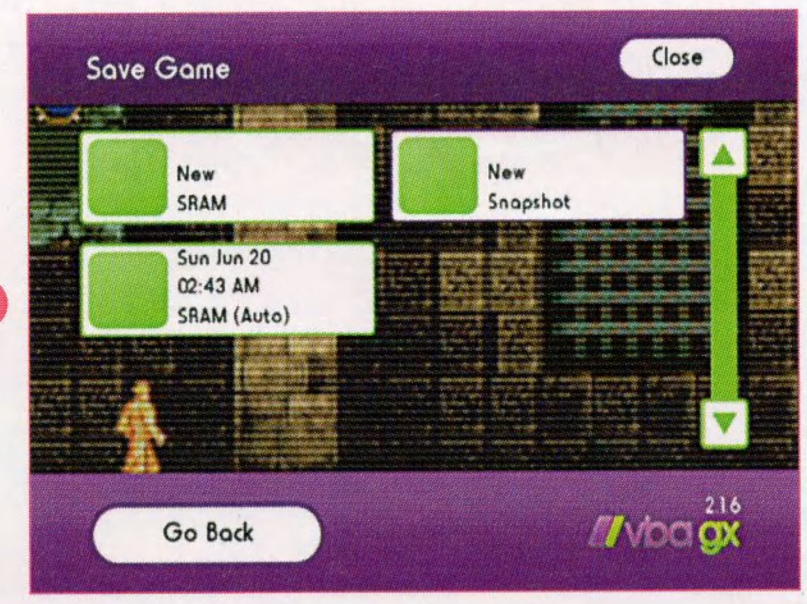
ゲームのセーブ機能の有無にかかわらず、いつでも好きな状態でセーブできるのがステートセーブ機能だ。アクションゲームの難所や、確率によって結果が異なるようなシーンの前に活用すると便利だ。

1 Wii メニュー画面を表示



ゲーム中に「HOME」ボタンを押してメニュー画面を表示する。「Save」を「A」ボタンで選択してセーブ画面を表示する。

2 Wii セーブメニューの選択



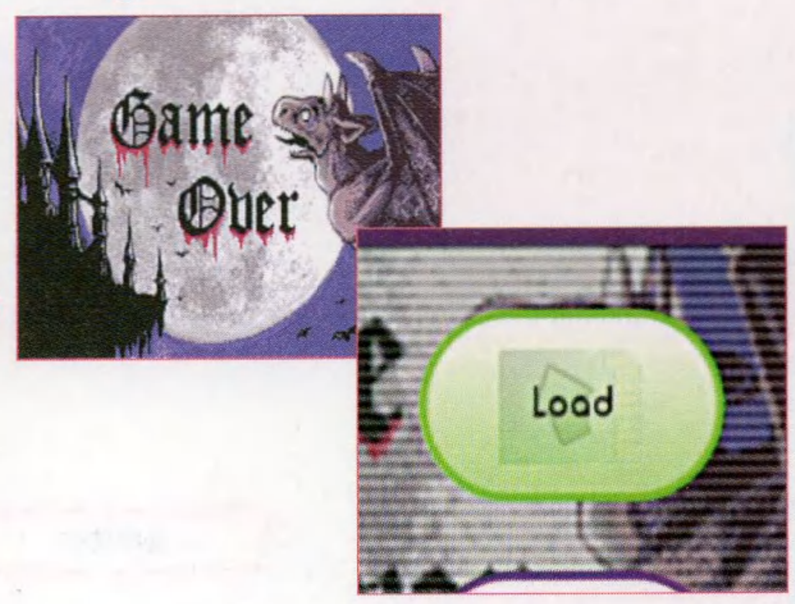
「New State」を選択して、現在プレイ中の状態をセーブする。ステートセーブはいくつでも保存可能だ。

3 Wii ゲームを途中セーブ



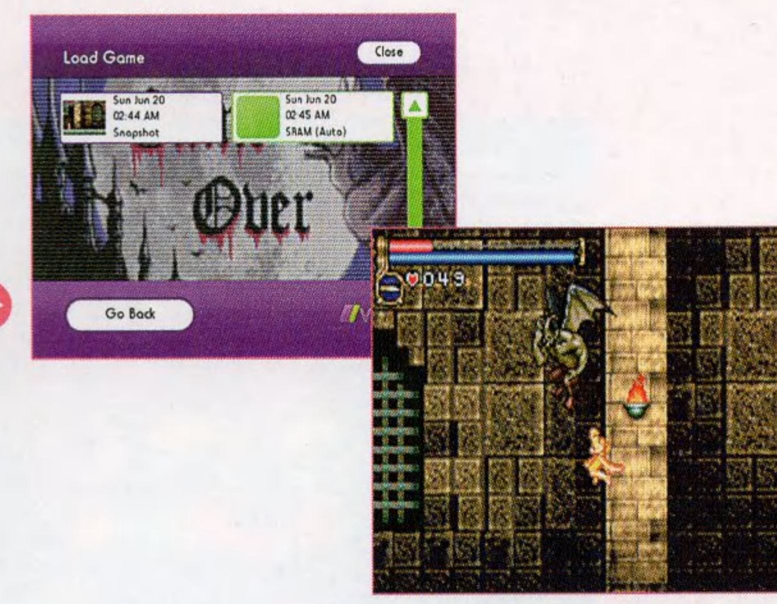
セーブが無事完了すると「Save successful」と表示される。続いて「OK」と押すと、セーブしたデータを確認できる。

4 Wii ゲームをロードする



ゲームオーバーなどプレイに失敗したら「HOME」ボタンを押してメニューを表示して「Load」を選択する。

5 Wii セーブ一覧から選択

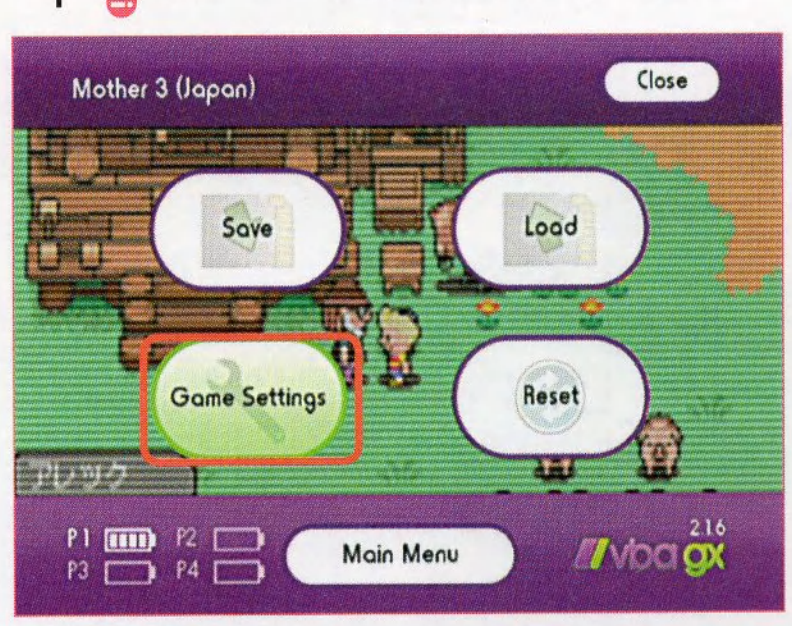


ロード画面にはステートセーブしたデータがサムネイル画像付で表示される。やり直したいデータを選択してプレイ再開しよう。

表示画面の設定

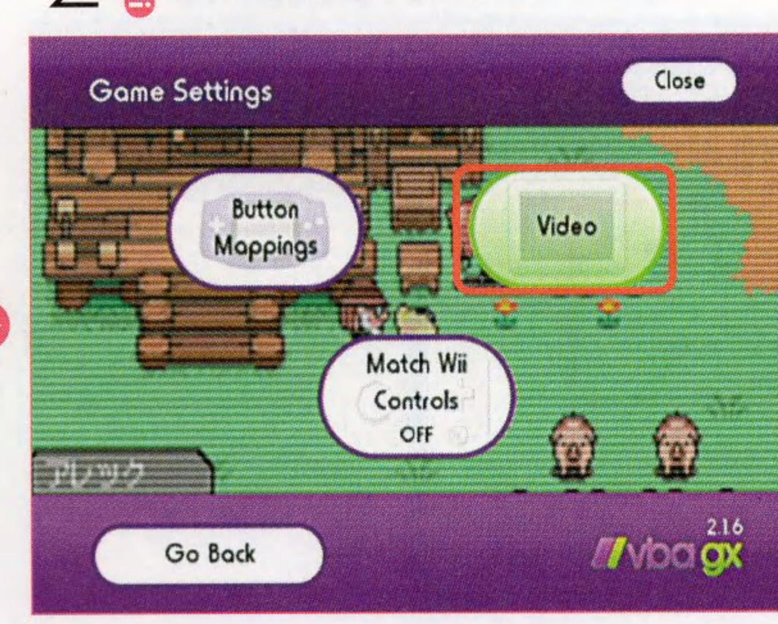
Visual Boy Advance GXの特徴として、多彩な画面設定がある。とくに、ゲームボーイの画面は解像度が低いため、表示が小さくなる。これを調整して、最適な画面サイズを設定しよう。

1 Wii メニュー画面を表示する



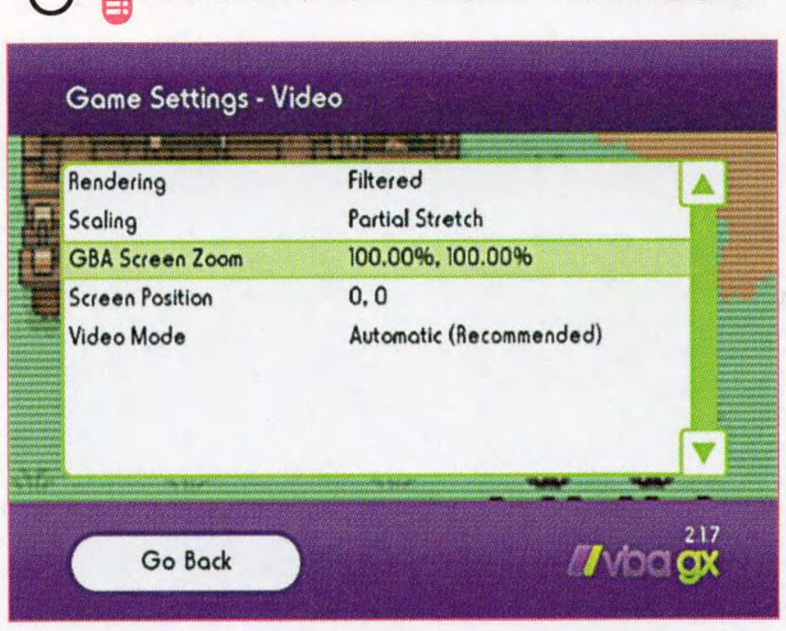
ゲーム中に「HOME」ボタンを押してメニュー画面を表示する。次に「Game Settings」を「A」ボタンで選択する。

2 Wii 画面設定を選択



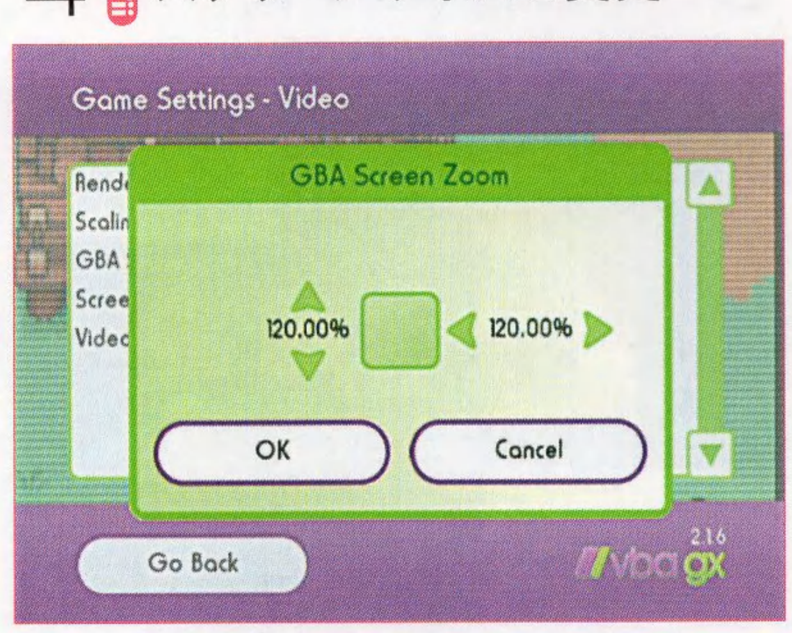
セッティングメニューを表示したら、「Video」を「A」ボタンで選択する。

3 Wii GBAスクリーンズームを選択



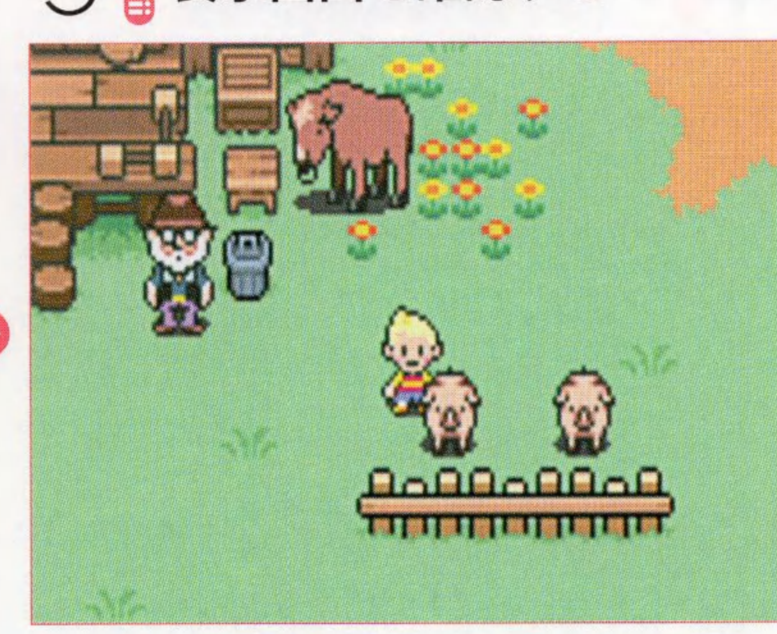
画面設定一覧を表示したら、上下ボタンで移動し「GBA Screen Zoom」を「A」ボタンで選択。

4 Wii スクリーンサイズを変更



十字ボタンの上下で縦の倍率、左右で横の倍率を変更する。

5 Wii 表示画面を確認する

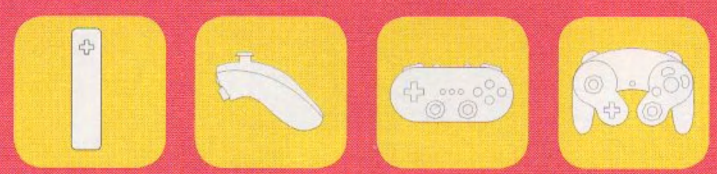


「Go Back」でゲーム画面に戻り、変更した画面サイズを確認する。大きくし過ぎた場合などは、手順1に戻って調整しよう。



ニンテンドーDS

対応コントローラ



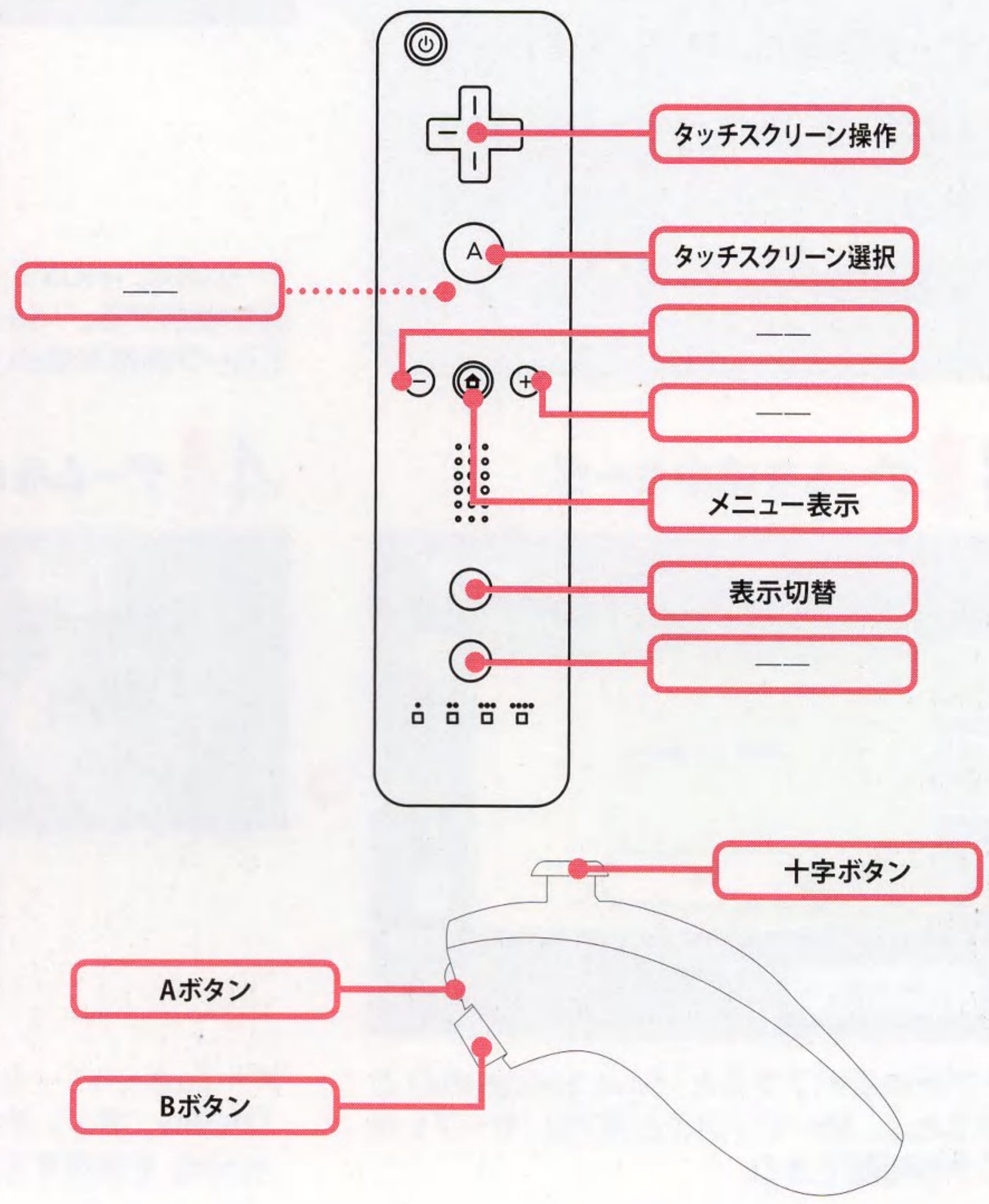
対応機能: **SRAMセーブ&ロード** / ステートセーブ&ロード / オンラインアップデート

「DeSmuME Wii」は、ニンテンドーDSを再現するWii用エミュレータ。Wiiリモコンを利用してタッチペンを再現しているのが面白い。しかし、ゲーム起動率は低く、今後の開発に期待のエミュレータだ。

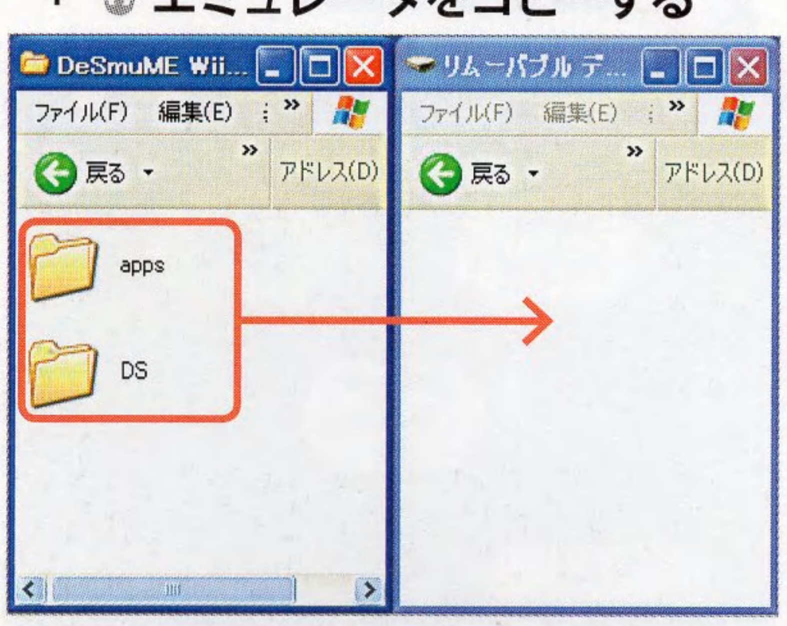


上下2画面構成とタッチペンという、独特なインターフェイスをもつニンテンドーDSの特徴を再現している。

DeSmuME Wii r154
作者名●Arikado, Dancinninja, scanff, baby.lueshi, firnis
ファイル名●DeSmuME Wii r154.zip
URL●http://wiibrew.org/wiki/DeSmuME_Wii

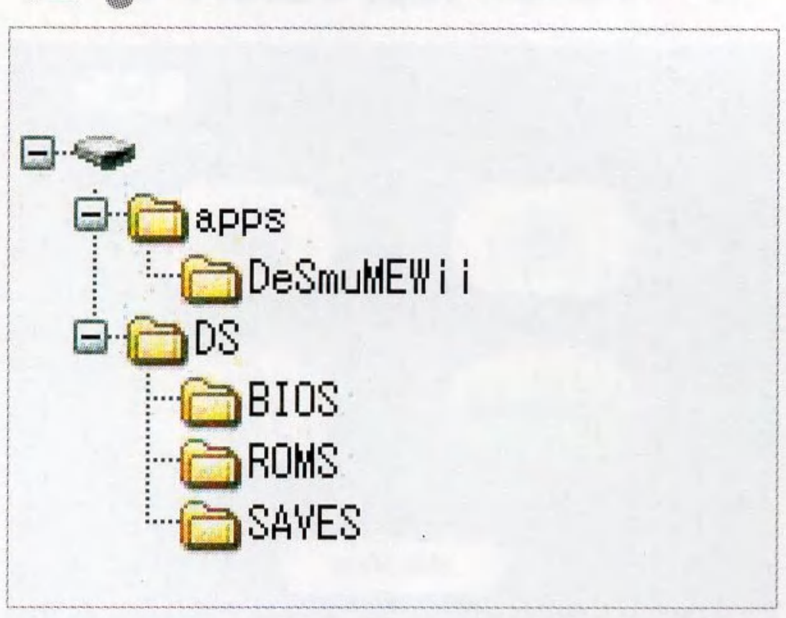


1 SDカードにエミュレータをコピーする



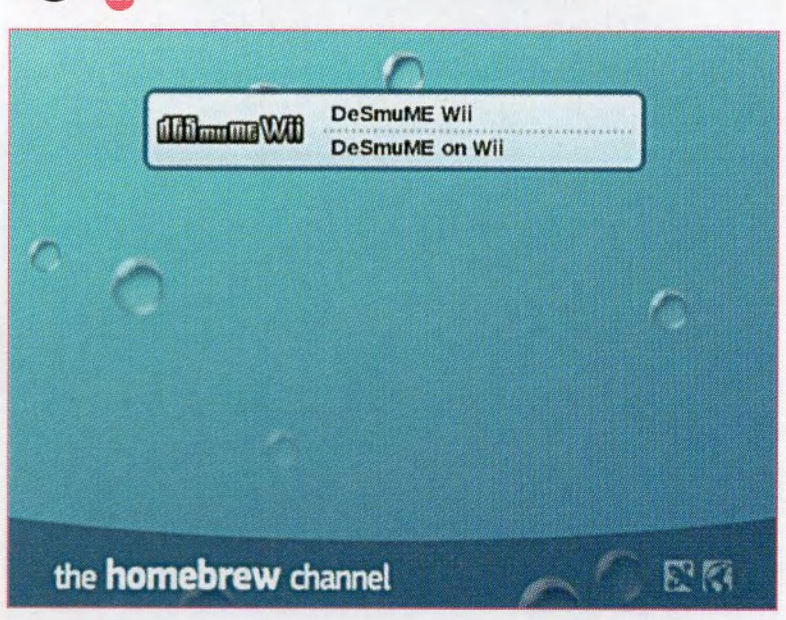
付録CD-ROM収録の「DeSmuME Wii r154.zip」を解凍して、SDカードのルートに「apps」フォルダと「DS」フォルダをコピーする。

2 ROMファイルをコピーする



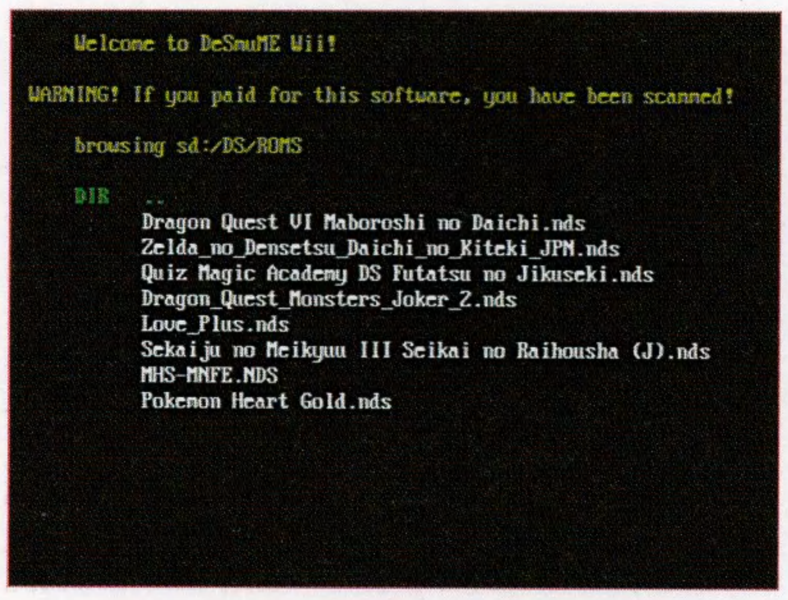
「DS」内の「ROMS」フォルダにNDS形式のROMファイルをコピーする。ゲームのファイル名は、半角英数文字にすること。

3 エミュレータを起動する



HBC上で「DeSmuME Wii」を選択して「A」ボタンで決定。次に「Load」を選び「A」ボタンを押して、DeSmuME Wiiを起動する。

4 ゲームを選択する



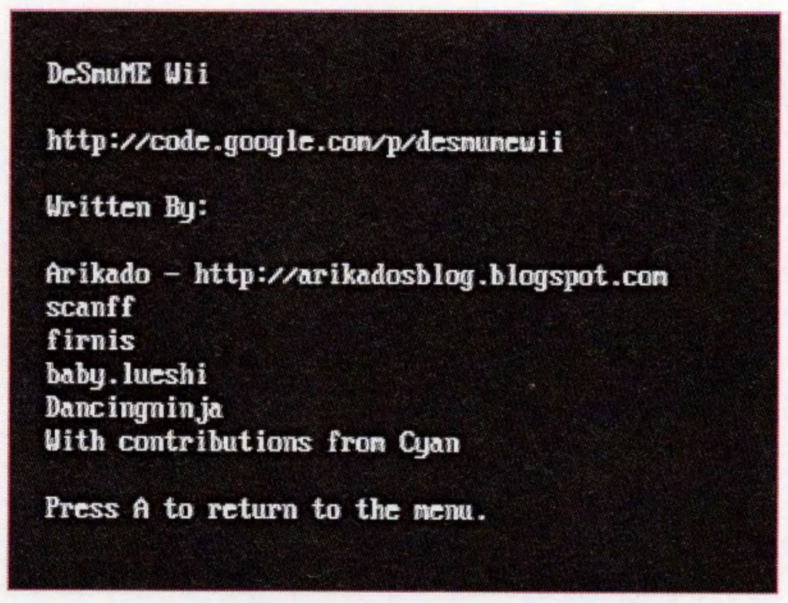
DeSmuME Wiiが起動したら「A」ボタンを押して、ROMファイル一覧を表示。上下で遊びたいゲームタイトルを選び「A」ボタンで決定。

5 ゲームが起動する



ROMファイルが読み込まれて、ゲームが起動する。ゲームの起動までには、少し時間がかかるので慌てず待とう。

6 ゲームを終了する

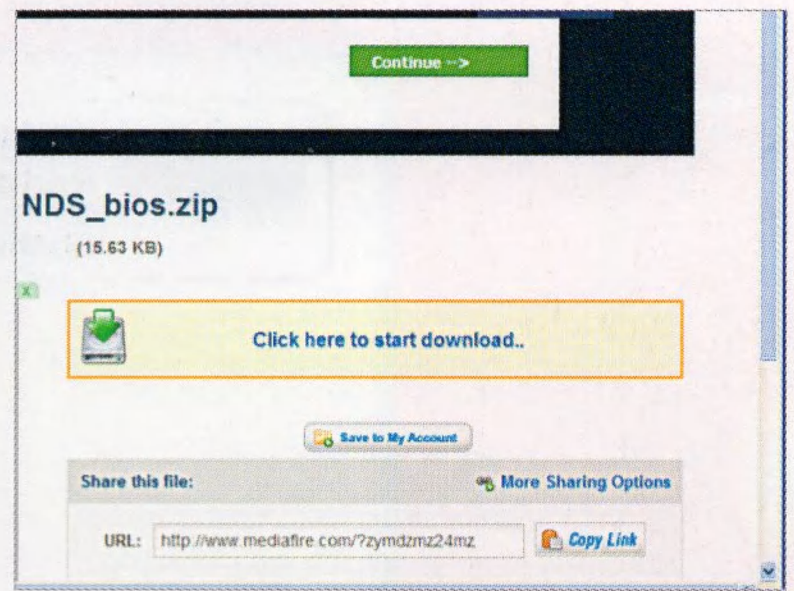


ゲーム中に「HOME」ボタンを押すと、クレジットが表示される。この状態で「A」ボタンを押すとメニュー画面に戻る。

BIOSファイルを導入する

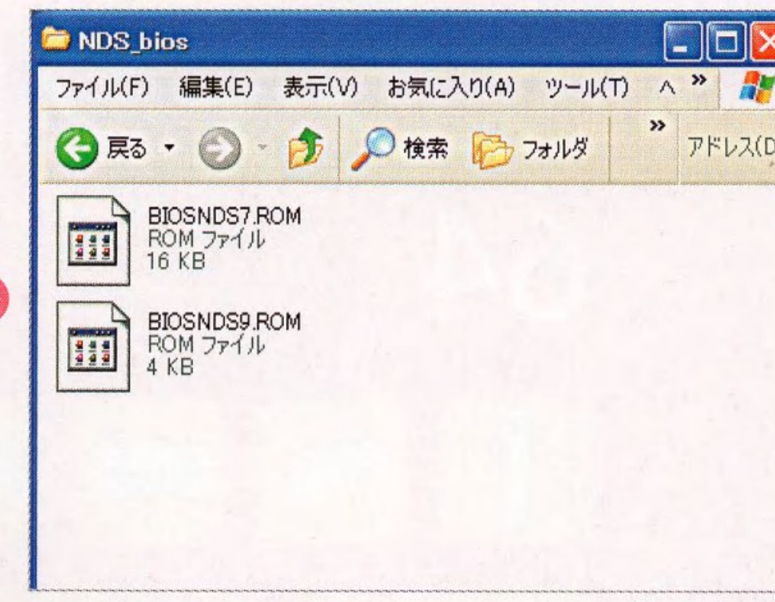
DeSmuME Wiiのゲーム起動率は低く、起動しないゲームも多い。そこで、少しでも起動するゲームを増やすためにBIOSファイル（ハードを制御するプログラム）を導入しよう。

1 PC BIOSのダウンロード



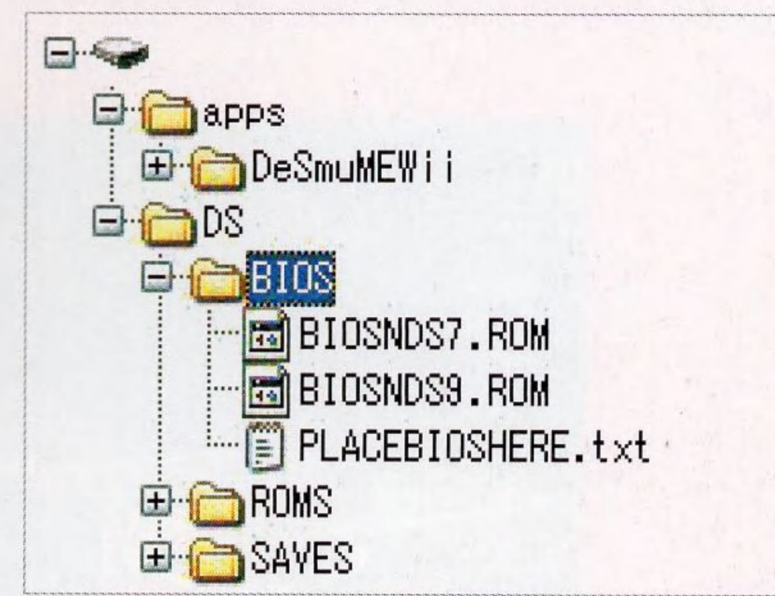
付録CD-ROM収録のリンクからアップローダサイトに接続。「Click Here to～」をクリックし、「NDS_bios.zip」を入手して解凍する。

2 PC ファイルを解凍する



ダウンロードした「NDS_bios.zip」を解凍すると、「BIOSNDS7.ROM」と「BIOSNDS9.ROM」のふたつのBIOSファイルがある。

3 PC BIOSファイルをコピーする



ダウンロードした「BIOSNDS7.ROM」と「BIOSNDS9.ROM」を「DS」フォルダ内の「BIOS」フォルダにコピーする。

DeSmuME Wiiの動作性は高くない **Attention!**

Wii上でニンテンドーDSを再現するDeSmuME Wiiだが、動作性、再現度ともに高いとはいえない。動作は全体的にもっさりとして、まともにプレイするのが厳しい場合もある。動作速度が比較的まともであったとしても、画面表示が乱れているといったこともある。まだ、開発途上のエミュレータなのだ。



ゲームが起動してもオリジナルの画面を再現できないなど、残念な場合も多い。

画面表示の切り替え

DeSmuME Wiiは、ニンテンドーDSの上下2画面という特徴的な構成を1画面で再現するため、画面が見づらいこともある。そんな場合は「1」ボタンを押すことで、画面表示の切り替えが可能だ。

上下画面分割表示



初期状態では上下画面がくっついて表示される。この設定では、実機のように画面を上下に分割して表示する。

左右画面表示



上の画面が左に、下の画面が右にと、画面を左右に表示する。上下の画像が連動しないゲームで使える配置だ。

画面表示切り替えの限界 **Attention!**

一部のゲームは、ニンテンドーDSを縦にもってプレイするが、エミュレータは、縦表示には対応していない。



画面表示を切り替えても、残念ながら画面の向きは変わらない。

上下画面拡大表示



上下の画面を拡大して表示する。画面比率が狂ってしまうので、ゲームを遊ぶには向いてない表示方法だ。

1画面拡大表示

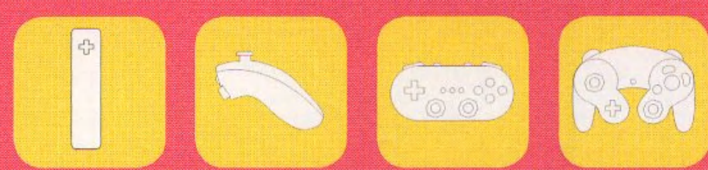


1画面を拡大して表示する。上の画面だけ、下の画面だけと、個別に画面を拡大して表示する。



ニンテンドー64

対応コントローラ



対応機能

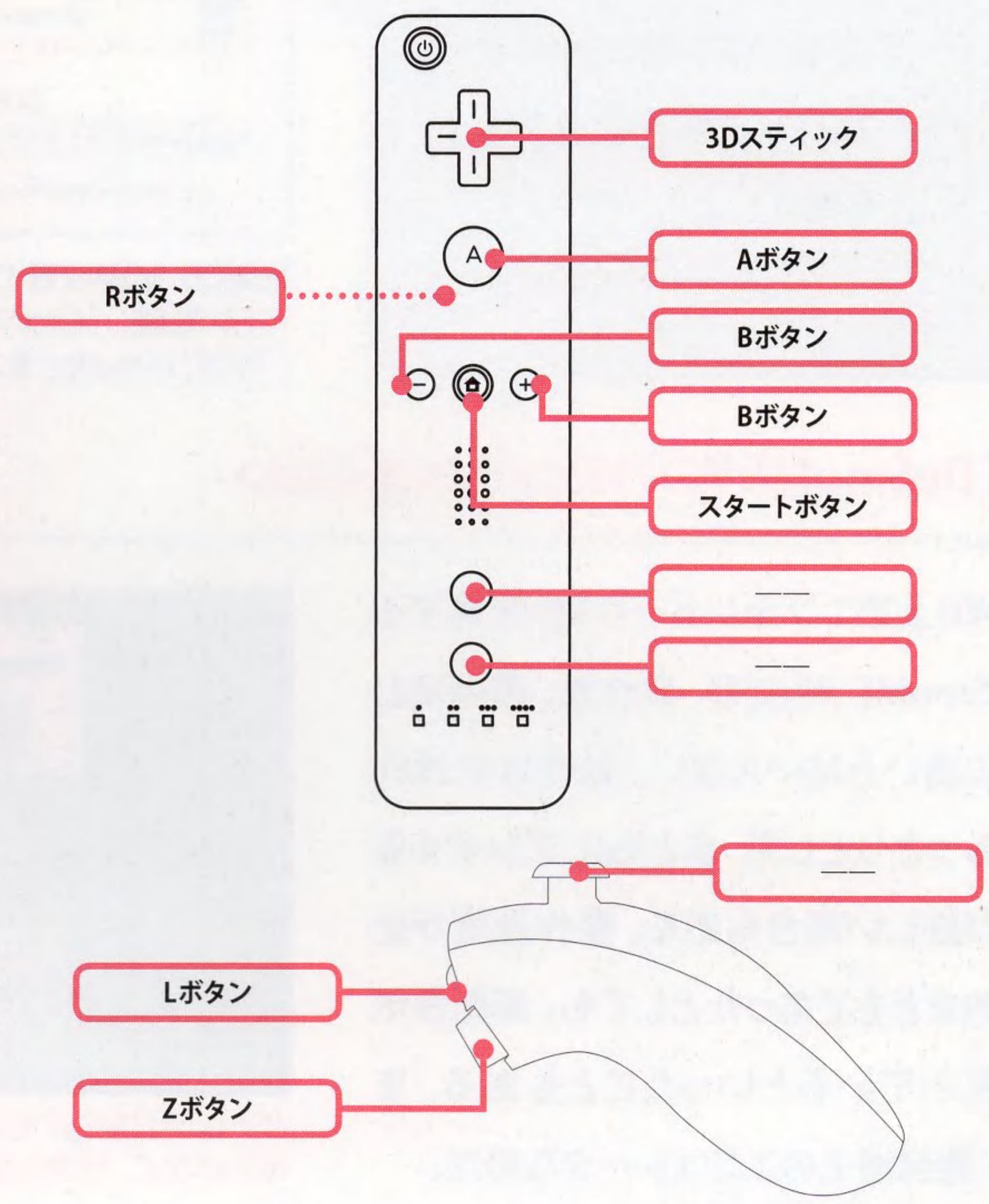
SRAMセーブ&ロード / ステートセーブ&ロード / オンラインアップデート

「Wii64」は、Wiiでニンテンドー64を再現するエミュレータ。扱いやすいインターフェイスが特徴で、実機並の速度で動作する。動作性、再現性ともに非常に優れたエミュレータだ。

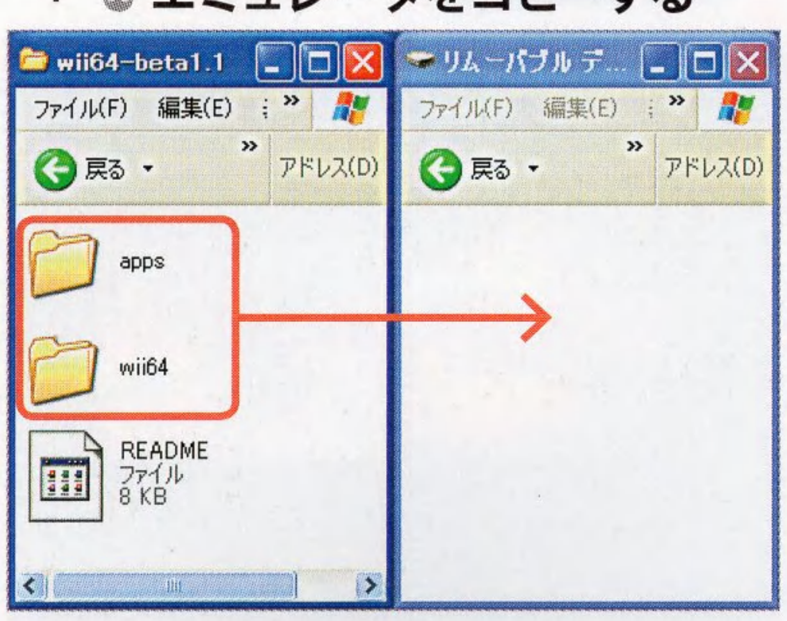


名作の多いニンテンドー64のソフトが、Wii上で完璧に動作、再現されるのだ。

Wii64 Beta 1.1
作者名●tehpola, sepp256, emu_kidid
ファイル名●wii64-beta1.1.zip
URL●http://wiibrew.org/wiki/Wii64



1 SDカードにエミュレータをコピーする



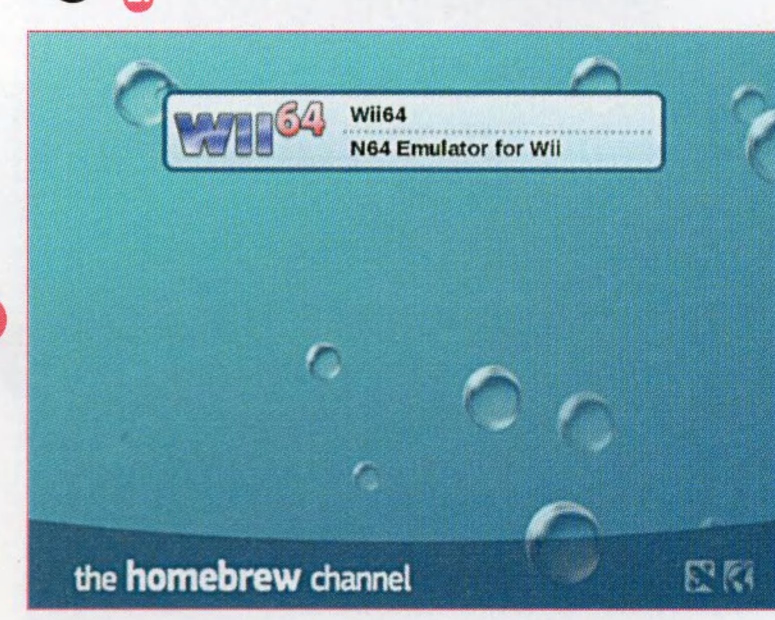
付録CD-ROM収録の「wii64-beta1.1.zip」を解凍して、SDカードのルートに「apps」フォルダと「wii64」フォルダをコピーする。

2 ROMファイルをコピーする



「wii64」の「roms」フォルダに、V64形式などのROMファイルをコピーする。ゲームのファイル名は半角英数文字にすること。

3 エミュレータを起動する



HBCで「Wii64」が表示されたら「A」ボタンで選択。「Load」を選択して、Wii64を起動する。

4 ROMファイルを読み込む



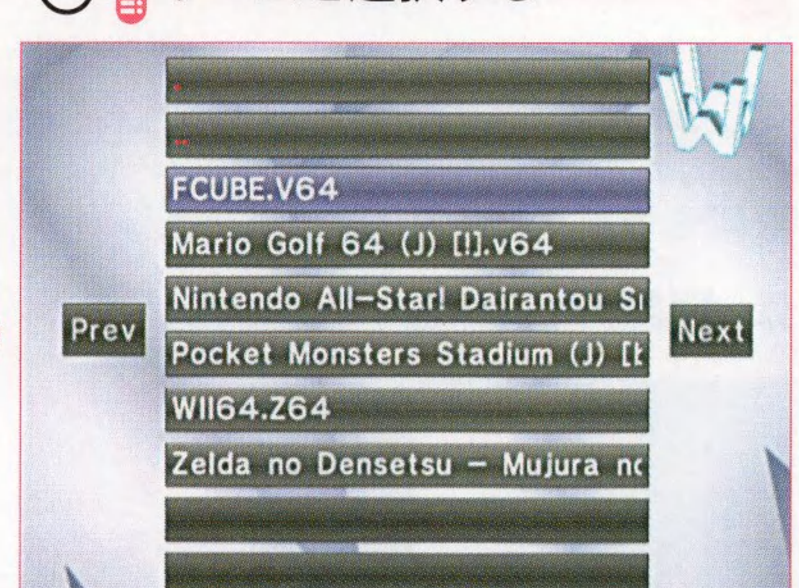
メニュー画面で「Load ROM」を選択して「A」ボタンを押す。

5 ROMフォルダの選択



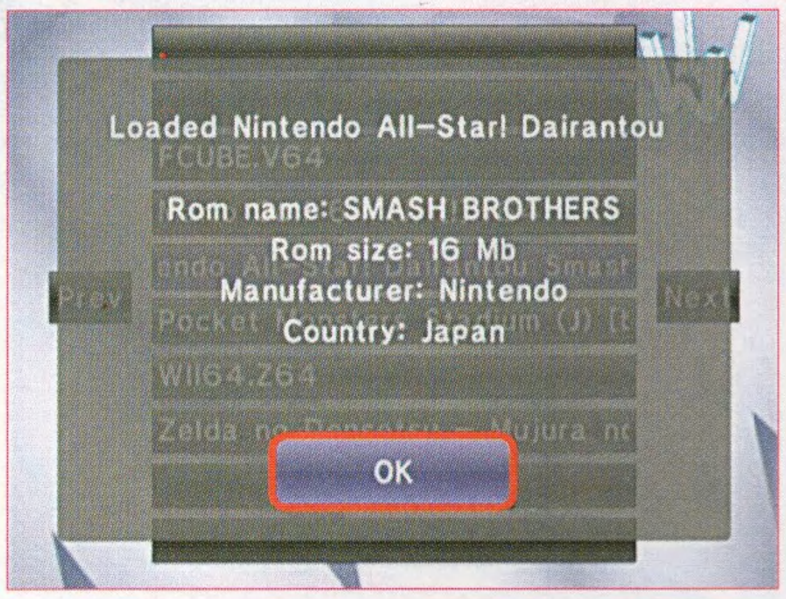
「Load from SD」を選択して「A」ボタン。

6 ゲームを選択する



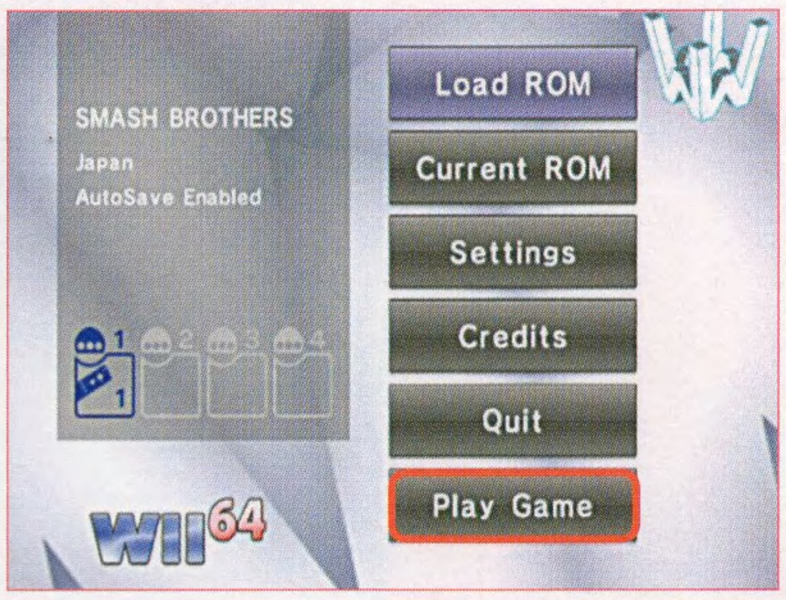
「roms」フォルダ内のROMファイルを一覧表示する。上下で遊びたいゲームタイトルを選び、「A」ボタンで決定。

7 選択したゲームの確認



ROMファイルを読み込むと確認ダイアログが表示される。「OK」を押して次に進む。

8 プレイゲームを選択



メニュー画面に戻るので、上下で移動して「Play Game」を「A」ボタンで選択する。

9 ゲームが起動する

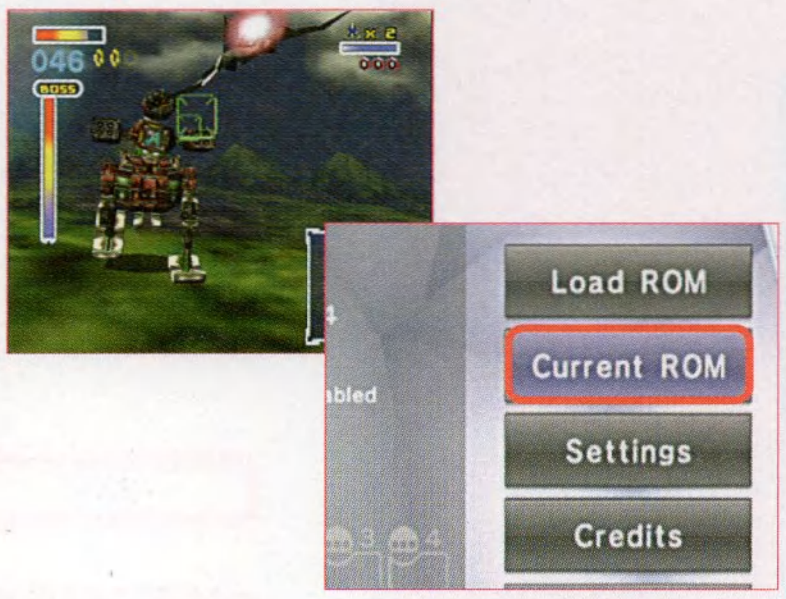


読み込んだゲームが起動する。3Dゲームでも滑らかに動作する、高い再現性を堪能しよう。

セーブ&ロード機能を使う

ゲーム中に自由にゲームのセーブとロードを可能とするのがステートセーブ機能。Wii64では、ゲームの種類に関係なく、好きなタイミングでのセーブが合計10個まで可能だ。

1 メニュー画面を表示



ゲーム中に「HOME」ボタンを押してメニュー画面を表示する。メニューから「Current ROM」を選択して画面を切り替える。

2 セーブするスロットを選択



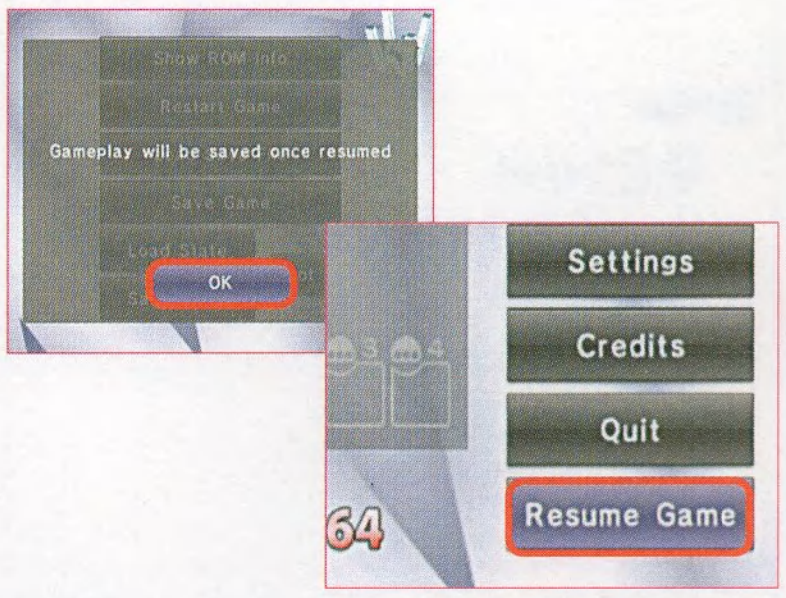
「Slot」を選択して「A」ボタンを押すと「Slot」の数字が0から9まで切り替わるので、セーブする「Slot」を決める。

3 ゲームを途中セーブ



「Save State」を「A」ボタンで選択して、先ほど決めた「Slot」にプレイ中の状態をセーブ。

4 ゲームに戻る



セーブ後、確認ダイアログが表示されるので「OK」を押す。メニューに戻ったら「Resume Game」を選択してゲームを再開する。

5 ゲームをロードする



ゲームオーバーなどでやり直す場合は、「HOME」ボタンを押してメニュー画面を表示して「Current ROM」を選択する。

6 ロードするスロットを選択



前にゲーム状態をセーブした「Slot」を「A」ボタンで切り替えて選択する。

7 ゲームを再開する



「Load State」を選択して「OK」でメニューに戻る。「Resume Game」を選択すると、セーブした状態からゲームが再開できる。

GCコントローラがオススメ Point

ニンテンドー64の特徴的な3DスティックやCボタンの機能は、GCコントローラで代用しよう。



「Settings」から使用ボタンの変更を忘れずにしておこう。

PCエンジン



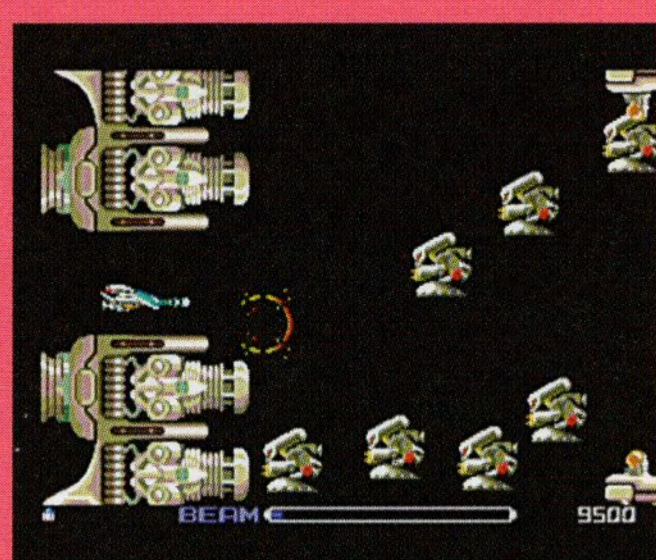
WiiEngine Ver.1.5b
作者名●Hermes
ファイル名●wiiengine1.5B.rar
URL●http://wiibrew.org/wiki/WiiEngine

対応コントローラ

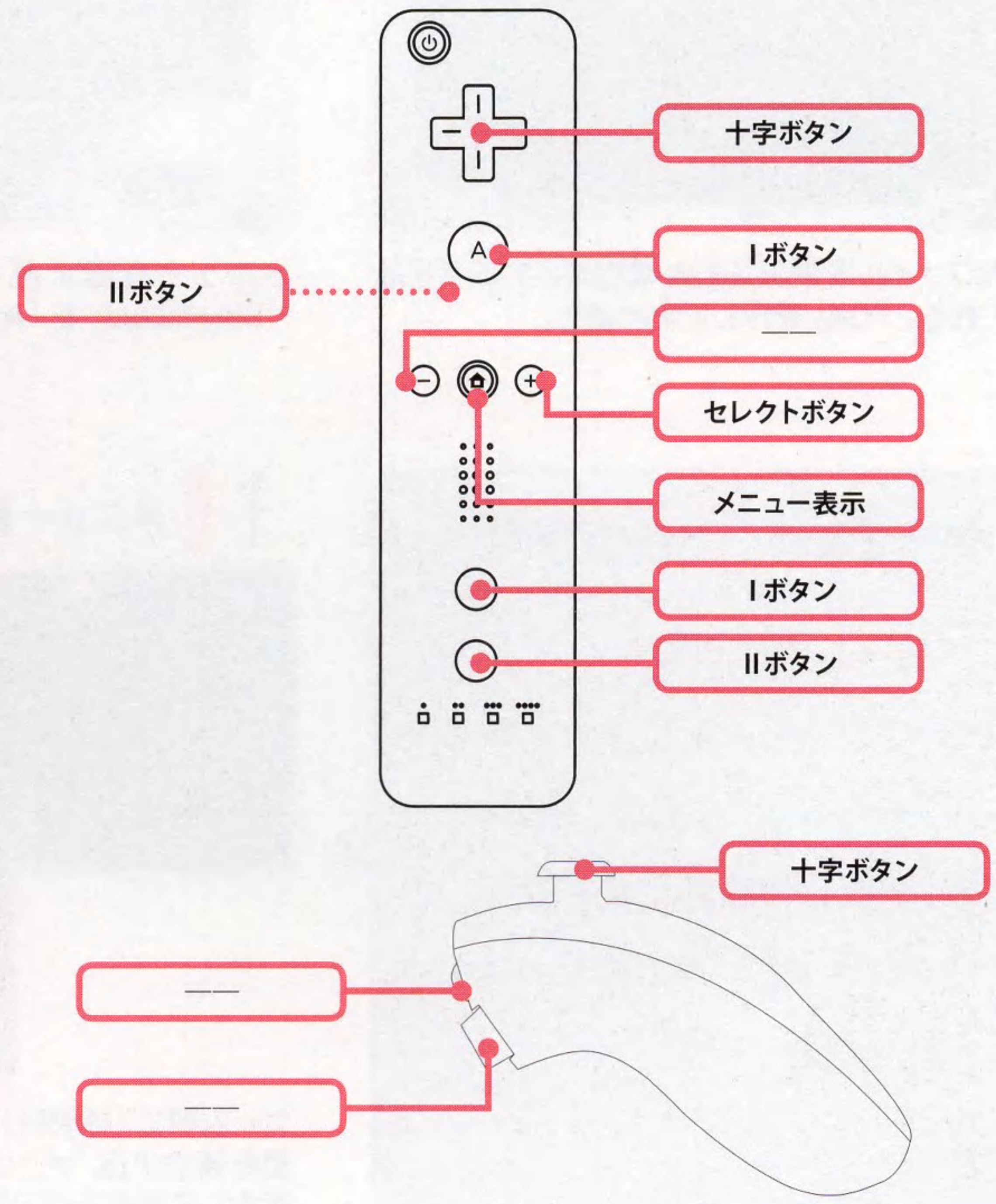


対応機能: SRAM セーブ&ロード / ステート セーブ&ロード / オンライン アップデート

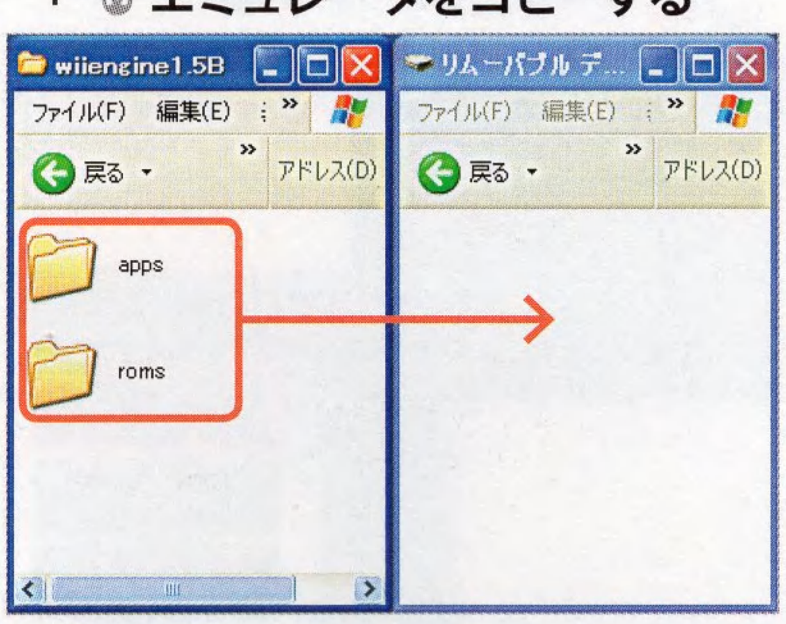
「WiiEngine」は、PCエンジンを再現するWii用エミュレータだ。シンプルなインタフェースだが、機能は十分に備わっている。また、かなり上級者向けの作業を要するがCD-ROM²にも対応可能だ。



ファミコン全盛期に発売されたPCエンジンのグラフィックは、見るものすべてを驚かせた。

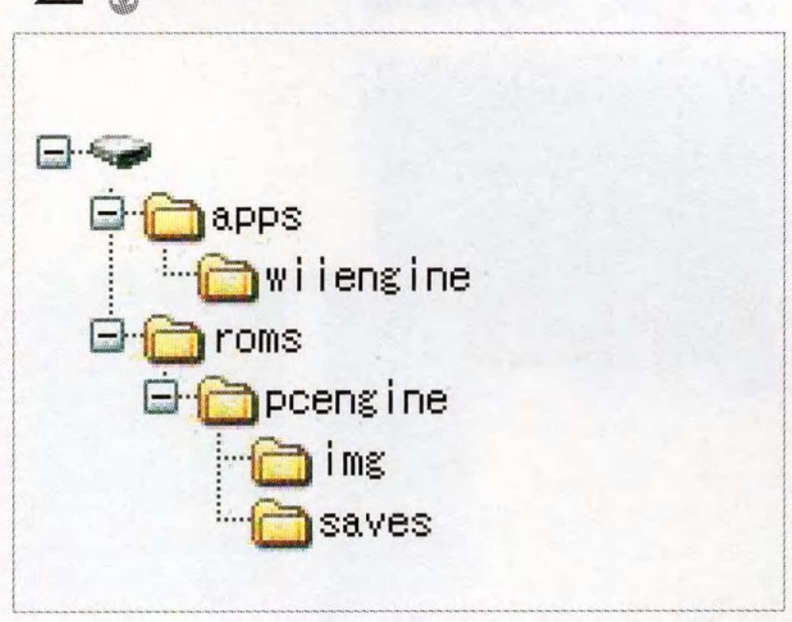


1 SDカードにエミュレータをコピーする



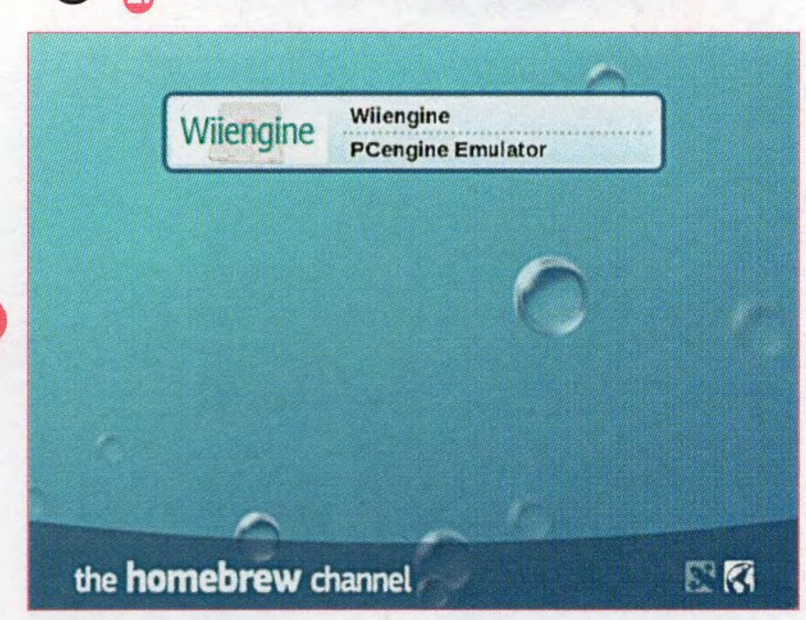
付録CD-ROM収録の「wiiengine1.5B.zip」を解凍して、SDカードのルートに「apps」フォルダと「roms」フォルダをコピーする。

2 ROMファイルをコピーする



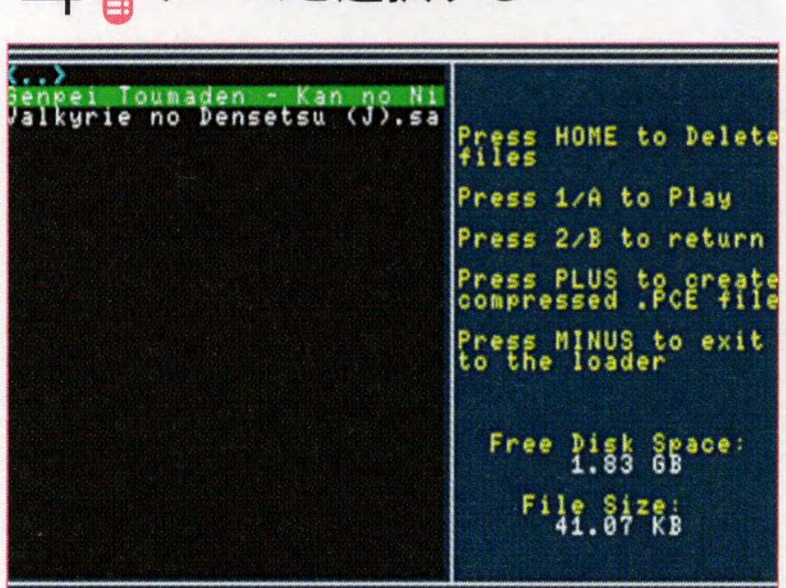
「roms」の「pcengine」フォルダに、PCE形式などのROMファイルをコピーする。ゲームのファイル名は半角英数文字にすること。

3 エミュレータを起動する



HBCで「WiiEngine」を「A」ボタンで選択。「Load」を選択して、WiiEngineを起動する。

4 ゲームを選択する



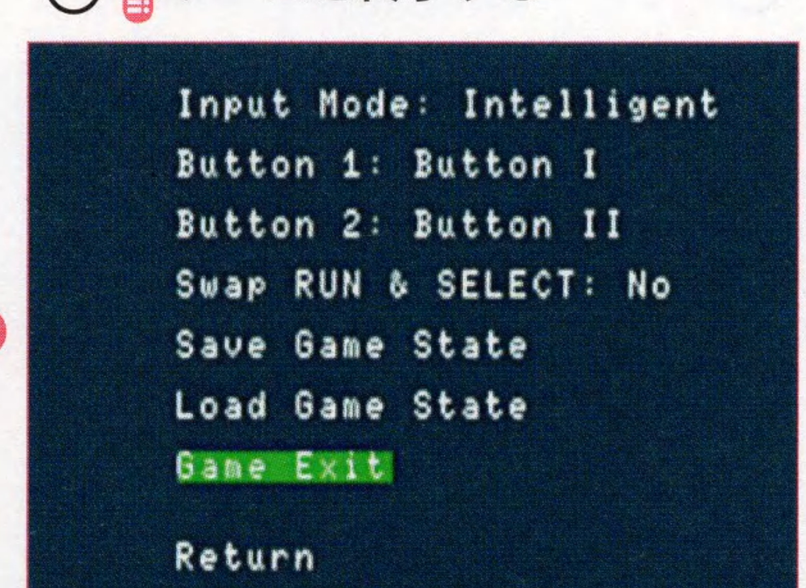
「pcengine」フォルダにコピーしたROMファイルが一覧表示される。十字ボタンで遊びたいゲームを選択し、「A」ボタンで決定する。

5 ゲームが起動する



ROMファイルが読み込まれてゲームが起動する。PCエンジンならではの美しいグラフィックを堪能しよう。

6 ゲームを終了する



ゲーム中に「HOME」ボタンを押してメニュー画面を表示。「Game Exit」を選択して、ゲームを終了する。

ステートセーブ&ロード機能

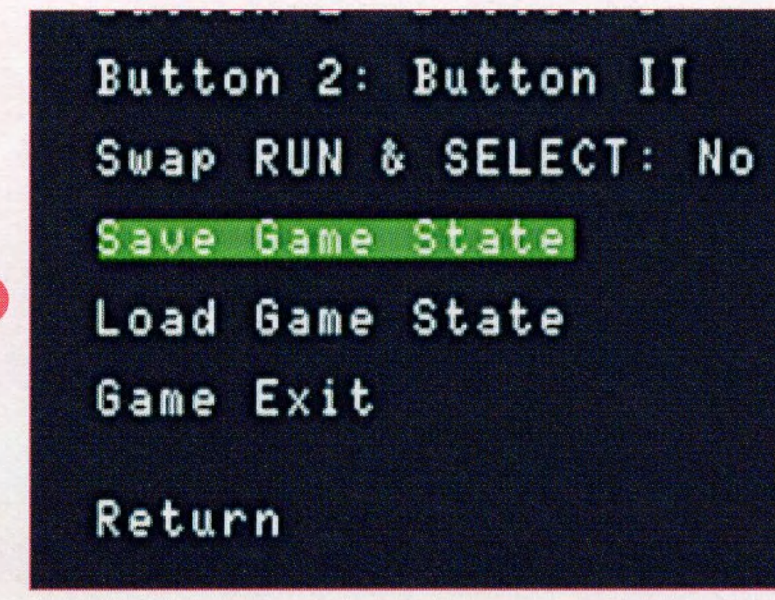
WiiEngineのステートセーブ機能は、ほかのエミュレータとは異なり、ひとつの状態しか保存できない。なので、ステートセーブを行なう際は、本当に必要な状況かよく考えよう。

1 Wii メニュー画面を表示



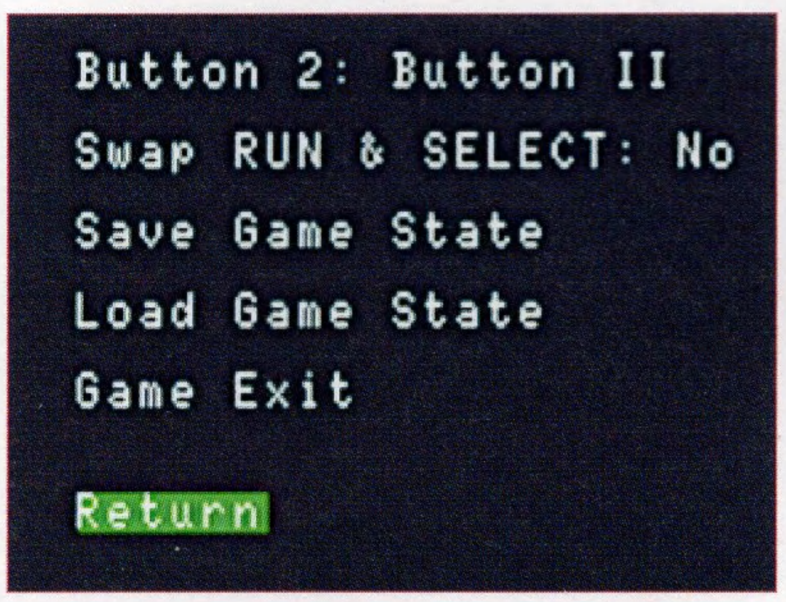
ゲーム中、ボス前などに失敗時の保険としてセーブしよう。「HOME」ボタンを押してメニュー画面を表示する。

2 Wii ゲームをセーブする



上下ボタンを動かし、「Save Game State」を選択して「A」ボタンで決定。画面下の「Game State Saved」の表示でセーブ完了となる。

3 Wii ゲームに戻る



セーブが完了したら、メニュー項目の「Return」を選択して「A」ボタンで決定。これで、ゲームに戻る。

4 Wii ゲームをロードする



ゲームオーバーなどでプレイに失敗したら、「HOME」ボタンを押してメニュー画面を表示。「Load Game State」を選択して決定する。

5 Wii セーブ箇所からやり直す

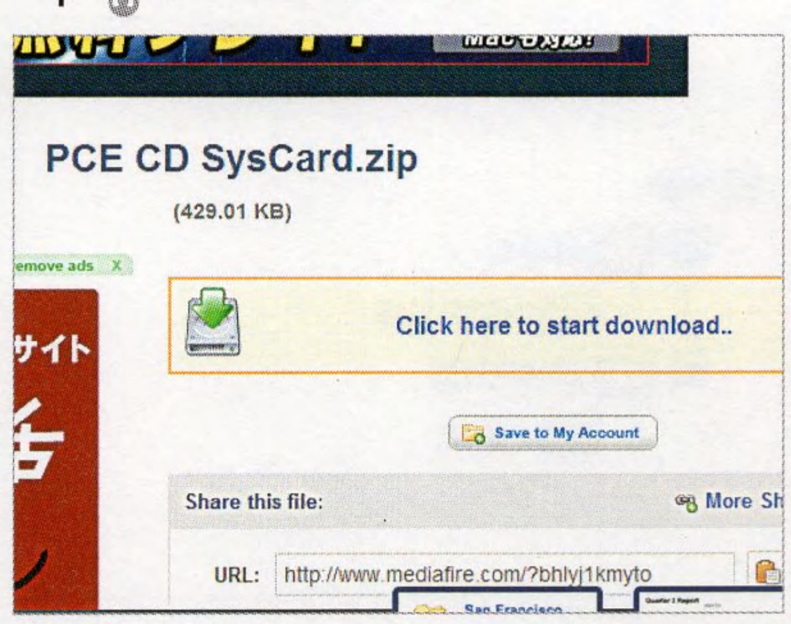


プレイ状態をロードしたら、「Return」を選択する。これで、セーブした失敗前の状態からプレイが再開できる。

CD-ROM²に対応する

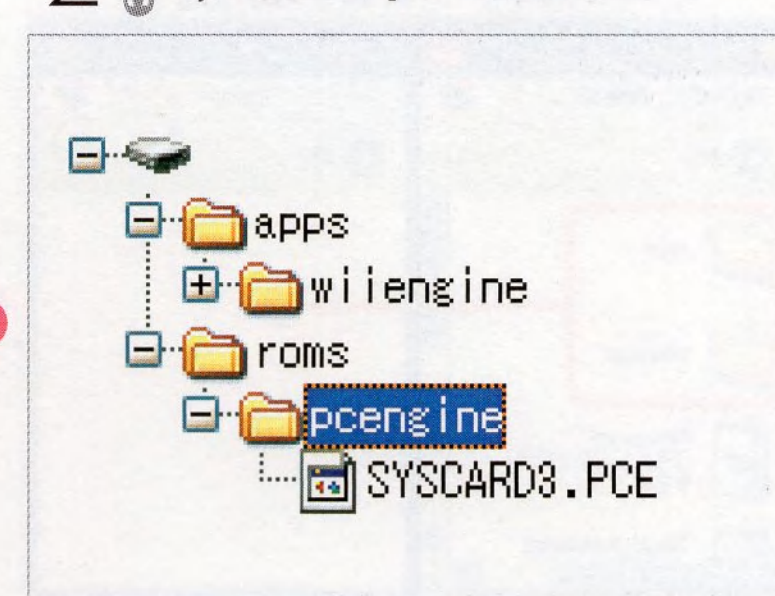
WiiEngineは、CD-ROM²ゲームの起動にも対応している。しかし、そのためにはシステムカードのROMファイルと、CD-ROM²ゲームの加工が必要だ。パソコン上級者ならチャレンジしてみたいテクニックである。

1 PC ファイルをダウンロード



付録CD-ROM収録のリンクからアップローダサイトに接続。「Click Here to~」をクリックし、「PCE CD SysCard.zip」をダウンロードする。

2 PC Syscard3.pceをコピー

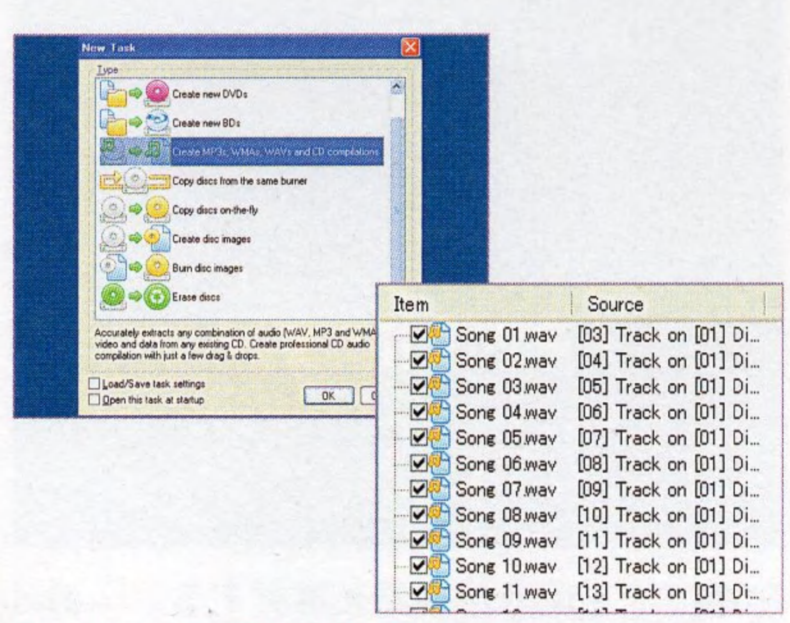


ダウンロードしたファイルを解凍して、「Syscard3.pce」をROMファイルと同じ「pcengine」フォルダにコピーする。

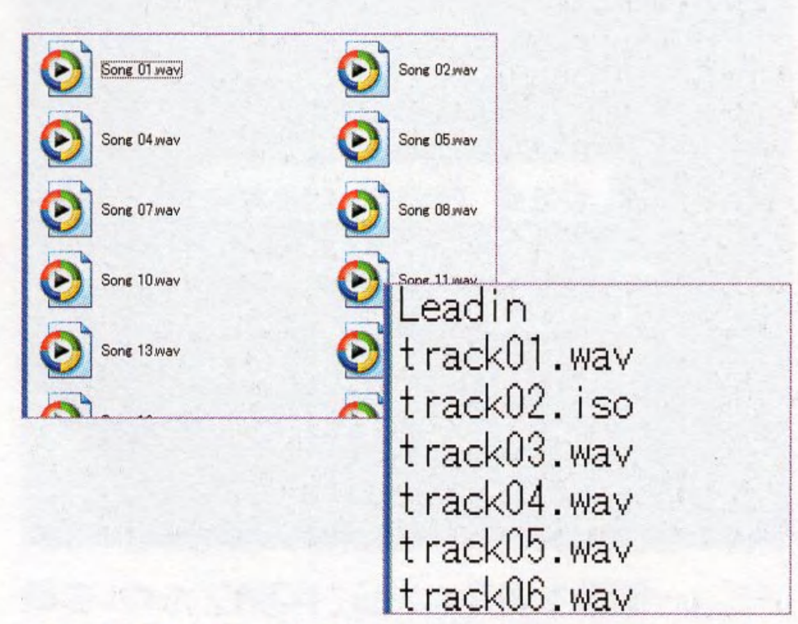
CD-ROM²のデータを加工する

Point

CD-ROM²の加工には、複雑な過程が必要。ゲームCDを「Disk Juggler」で読み込み、データトラックをISO、サウンドトラックをWAVやOGGに変換。そして、それらのトラックリストを作成するといった右のような作業になる。これらの行程を解説したサイトも存在しているので、そちらも参考にしよう。



Disk JugglerでROMを読み込む。音声トラックはWAV形式、データトラックはISO化する。



ファイルを「track01.wav」、「track02.iso」とリネーム。その構成を記述したリストを作成。

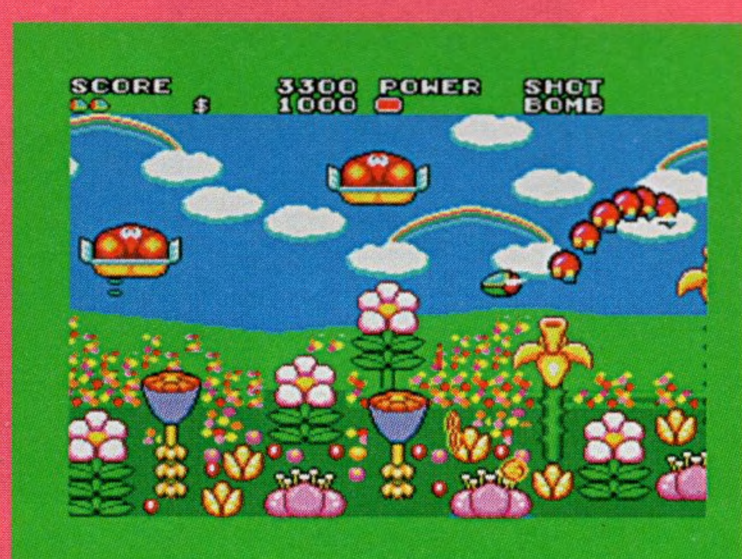


セガ マスターシステム

対応コントローラ

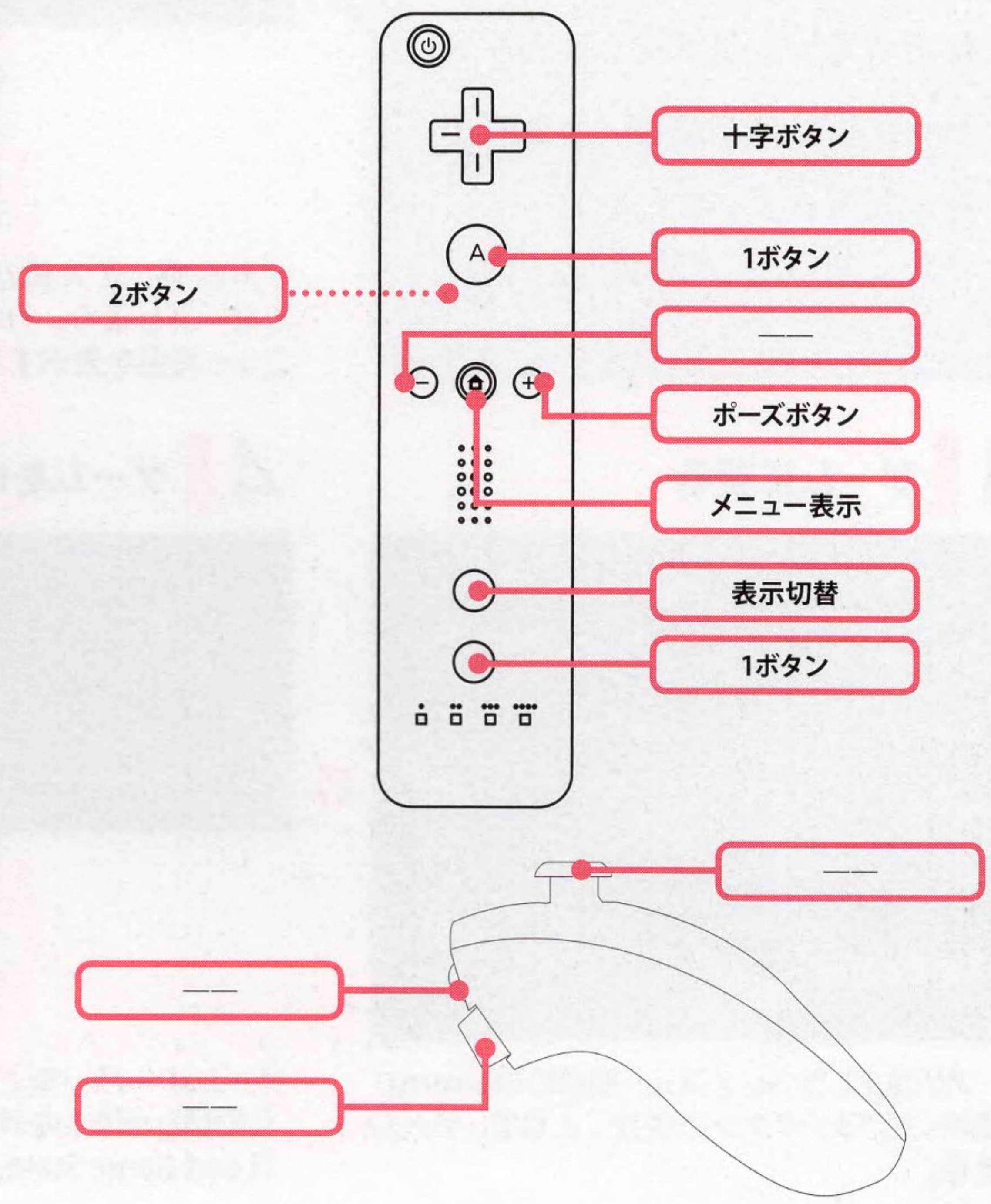
対応機能：SRAM セーブ&ロード／ステート セーブ&ロード／オンライン アップデート

「SMSPlus」は、セガマスターシステム、SG-1000シリーズ、ゲームギアの3機種に対応したセガの8ビットコンシューマゲーム機を再現したWii用エミュレータである。

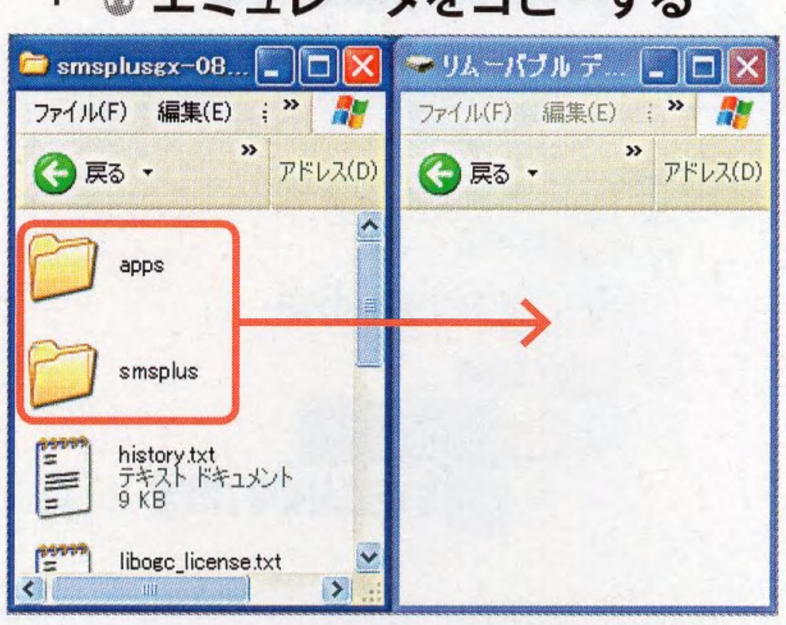


FM音源にも対応し、ファミコンとともに一時代を築いた名機を再現している。

Visual Boy Advance GX Ver.2.1.6
作者名●Tantric
ファイル名●Visual Boy Advance GX 2.1.6.zip
URL●http://wiibrew.org/wiki/Visual_Boy_Advance_GX

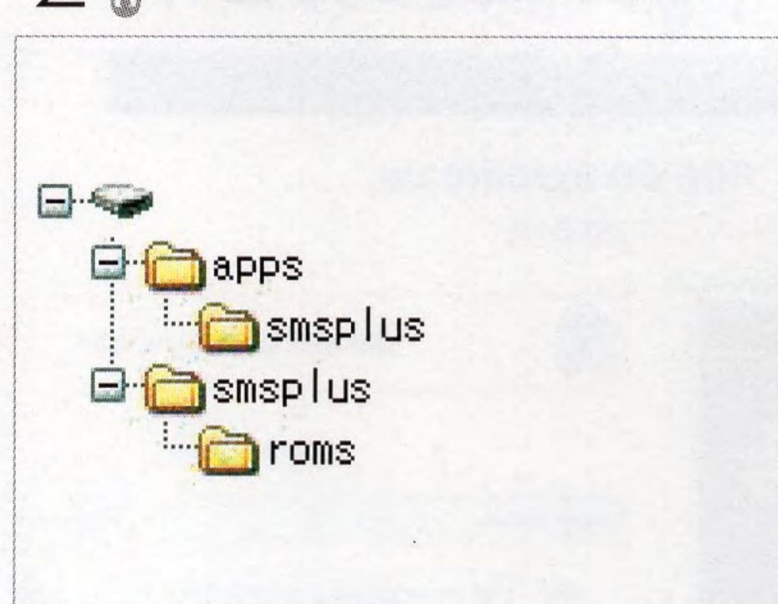


1 PC SDカードにエミュレータをコピーする



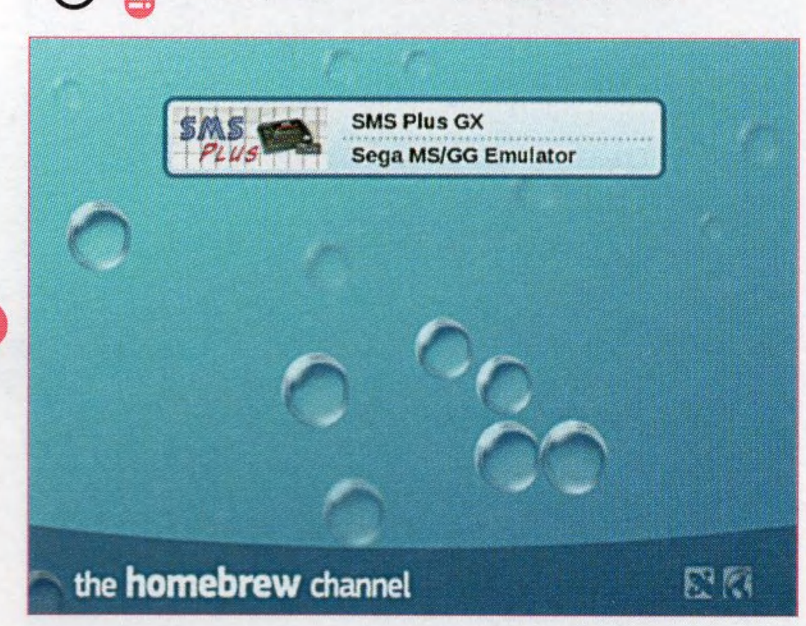
付録CD-ROM収録の「smsplusgx-081214.zip」を解凍して、SDカードのルートに「apps」フォルダと「smsplus」フォルダをコピー。

2 PC ROMファイルをコピーする



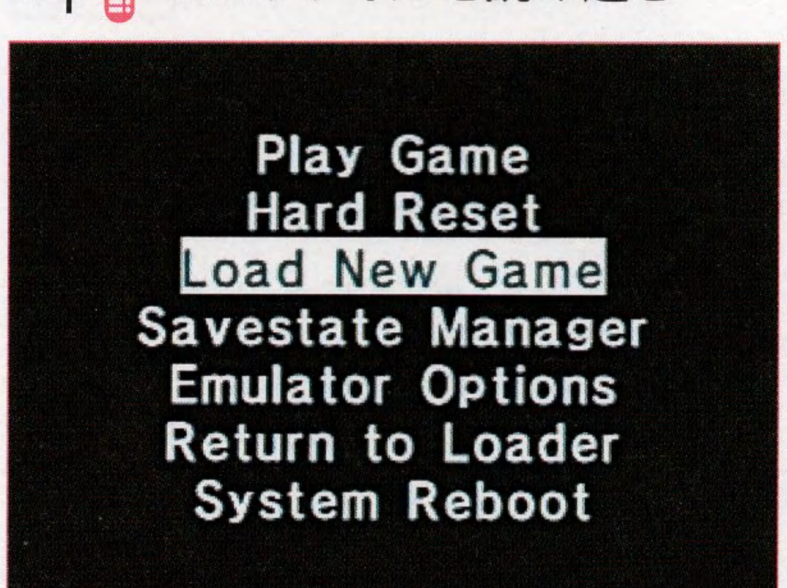
「smsplus」の「roms」フォルダに、SMS形式などのROMファイルをコピーする。ゲームのファイル名は半角英数文字にすること。

3 Wii エミュレータを起動する



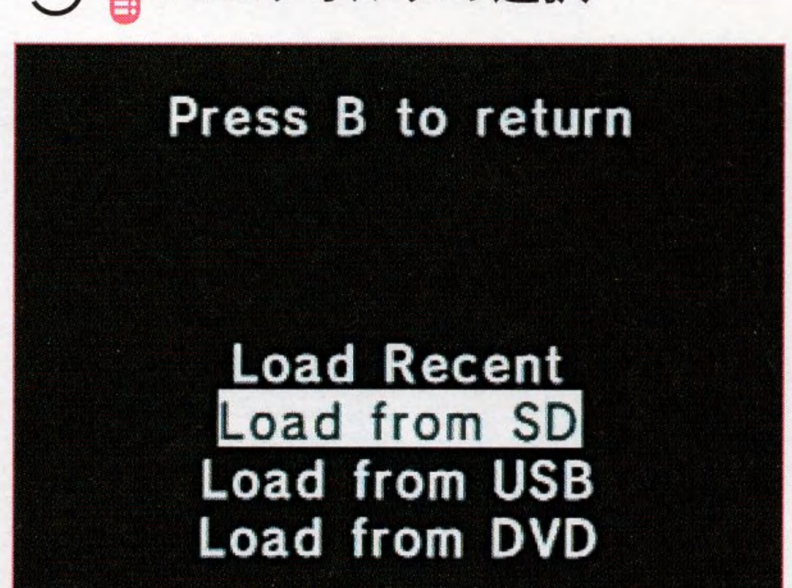
HBCで「SMSPlus」を選択して「A」ボタンを押す。次に「Load」を選択して、SMSPlusを起動。

4 Wii ROMファイルを読み込む



メニュー画面を表示したら、ROMファイルを読み込むために「Load New Game」を選択し、「A」ボタンで決定。

5 Wii ROMフォルダの選択



ROMファイルの保存先を選択する。「Load from SD」を選択して、「A」ボタンで決定。

6 Wii ゲームを選択して起動



ROMファイル一覧からゲームを選択。次にメニュー画面の「Play Game」を選択するとゲームが起動する。

セーブ&ロード機能を使う

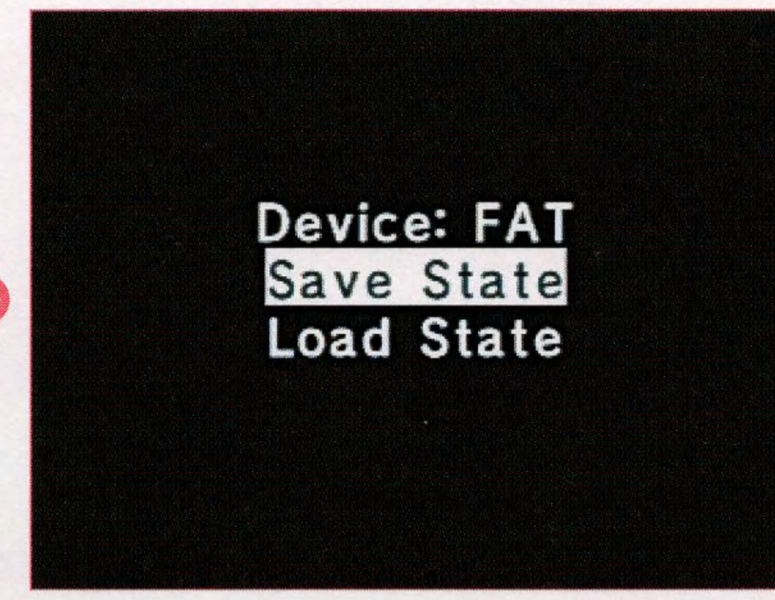
SMSPlusには、ゲーム中に自由にセーブ&ロードが可能なステートセーブ機能がある。ゲーム本来のセーブ機能とは関係なく、どんなゲームでも好きなタイミングで状態の保存と再開が可能だ。ぜひとも活用したい。

1 メニュー画面を表示



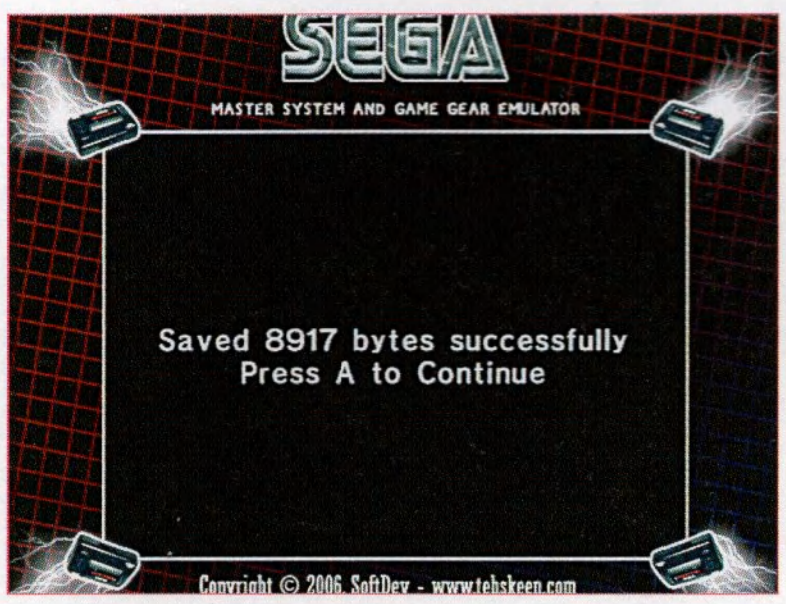
ゲーム中に「HOME」ボタンを押してメニュー画面を表示する。「Savestate Manager」を選択して「A」ボタンで決定。

2 セーブメニューの選択



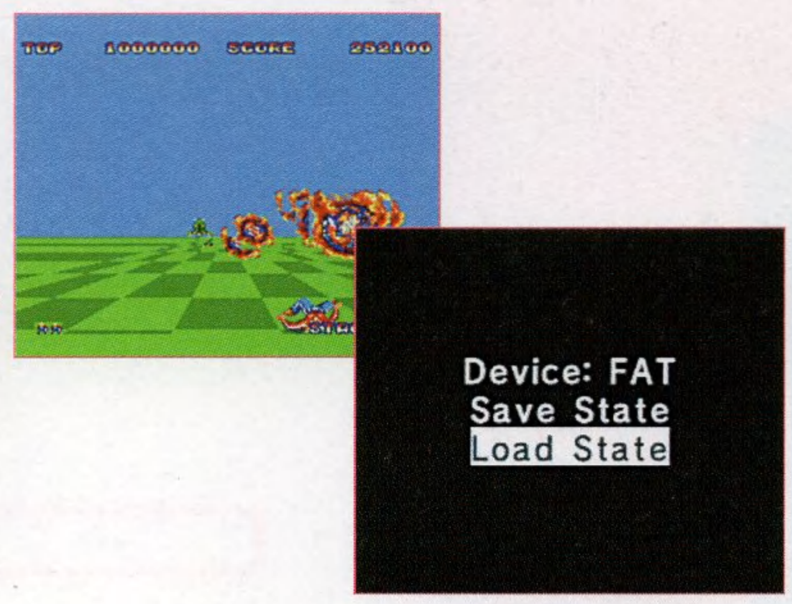
次に「Save State」を選択して「A」ボタンで決定。現在プレイ中の状態がセーブされる。

3 ゲームを途中セーブ



セーブに成功すると、確認ダイアログが表示される。「A」ボタンを押してメニュー画面に戻り、「Play Game」でゲームを再開する。

4 ゲームをロードする



ゲーム中にミスをしたら「HOME」ボタンでメニュー画面を表示。「Savestate Manager」から「Load State」を選択してロードする。

5 プレイゲームを選択する

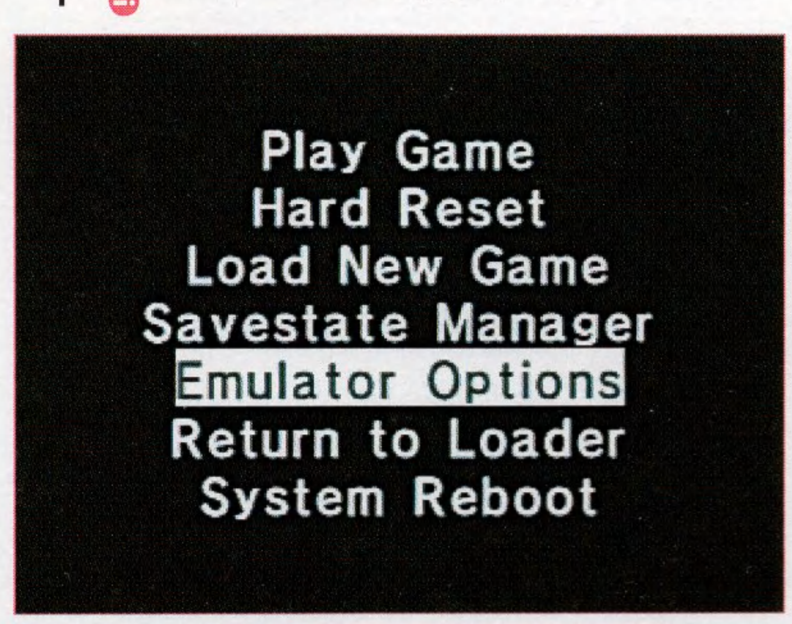


メニュー画面に戻り、「Play Game」を選択してセーブ状態からゲームを再開する。なおステートセーブはひとつしか保存できない。

コントローラの設定

マスターシステムのゲームは、使用ボタン数は少ないが、ふたり同時プレイできるゲームがいくつかある。SMSPlusでは、使用コントローラを設定することで同時プレイに対応可能だ。

1 メニューを表示する



ゲーム中の場合は「HOME」ボタンを押してメニューを表示する。「Emulator Options」を選択して「A」ボタンで決定する。

2 コントローラオプションを選択



次に表示される画面で、「Controls Options」を選択し、「A」ボタンで決定してコントローラ設定画面を表示する。

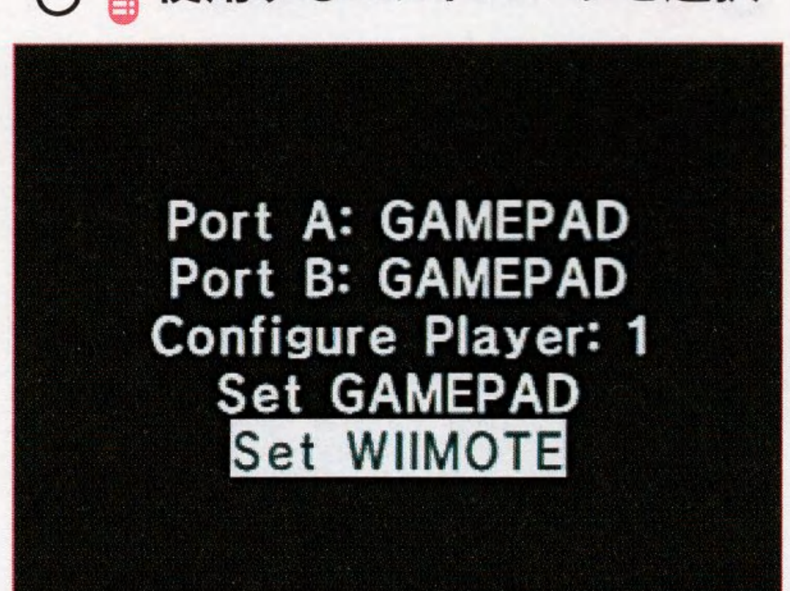
ゲームギアのゲームも遊べる Point

「roms」フォルダにGG形式のROMファイルをコピーすれば、ゲームギアのゲームを起動することも可能だ。



カラーで楽しめた携帯ゲーム機をSMSPlusで再現できる。

3 使用するコントローラを選択



Wiiリモコン以外のコントローラを使用する場合は、「Set ～」を選択して「A」ボタンを使用コントローラを切り替える。

4 使用コントローラを増やす



「PortA:～」及び「PortB:～」を選択し、「A」ボタンで使用コントローラを選択すれば、ふたり同時プレイに対応できる。

メガドライブ



Genesis Plus Ver.1.3.1
作者名●Eke-eke
ファイル名●genplus-gx-1.3.1.7z
URL●http://wiibrew.org/wiki/Genesis_Plus

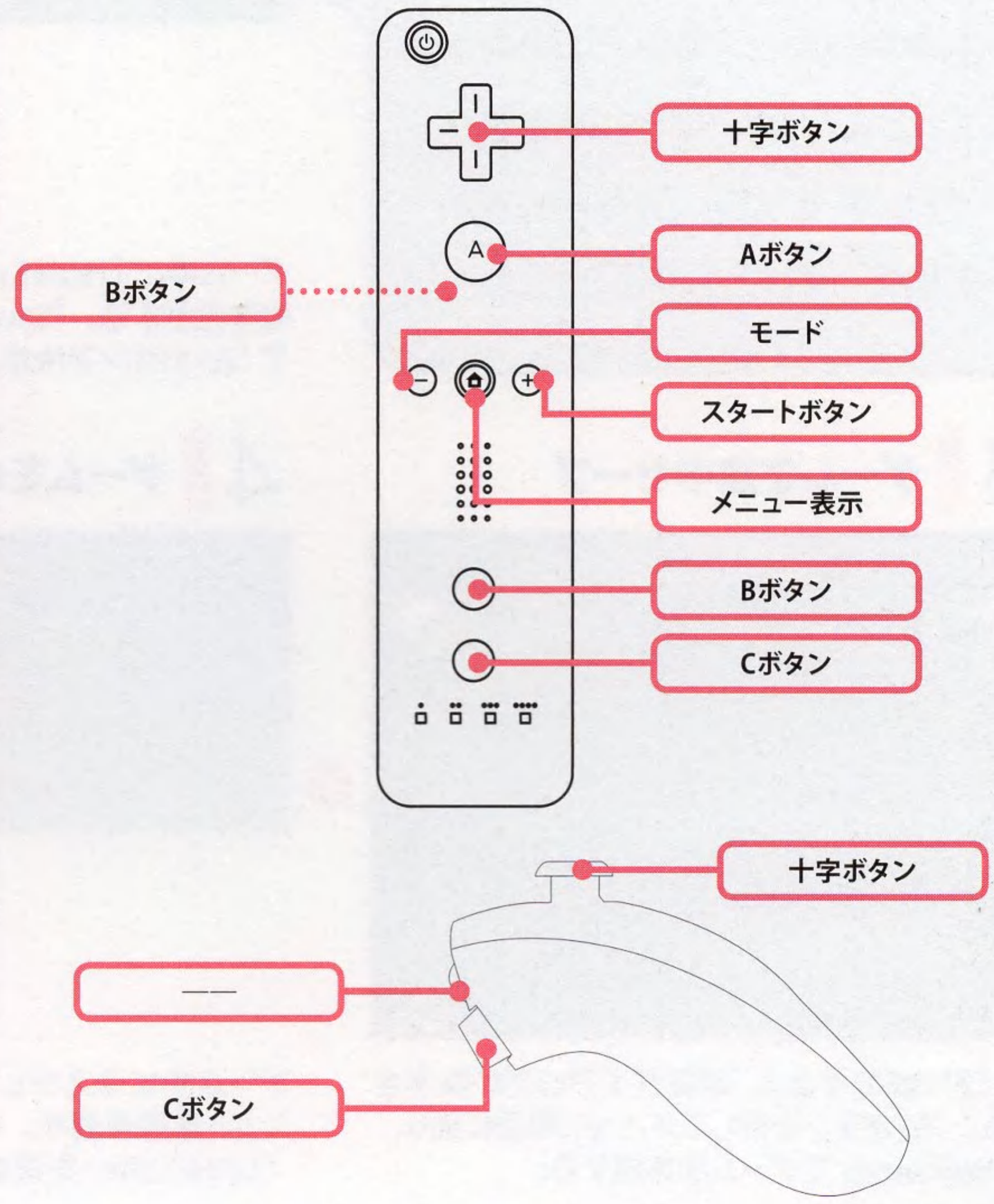
対応コントローラ

対応機能：SRAMセーブ&ロード／ステートセーブ&ロード／オンラインアップデート

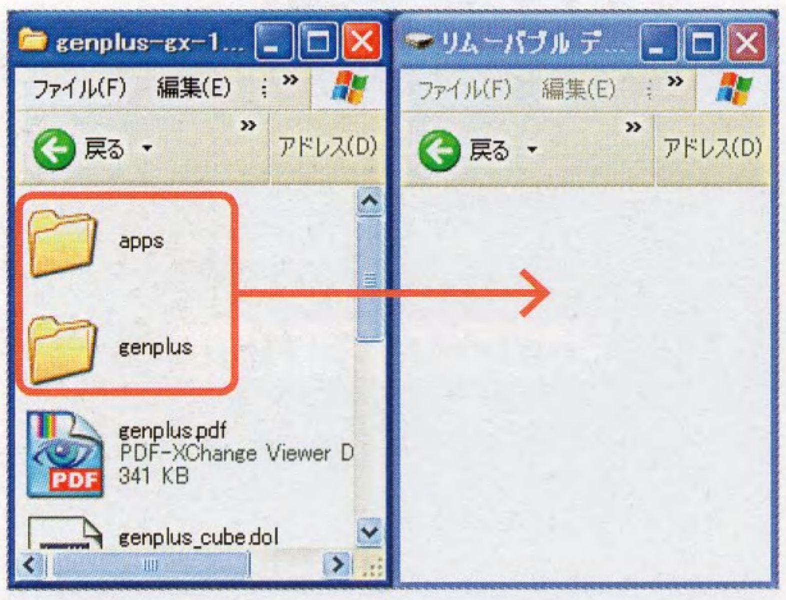
「Genesis Plus」は、Wii上でメガドライブを再現するWii用エミュレータである。メガCDやスーパー32Xには対応していないが、通常のROMカセットゲームなら、ほぼ完璧に再現できる。



メガドライブの名作をWii上で忠実に再現。この再現性の高さが特徴だ。

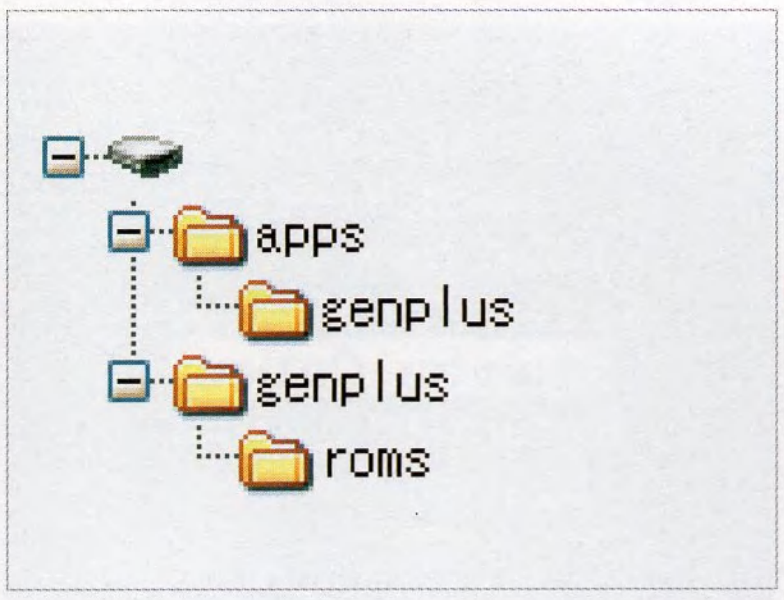


1 PC SDカードにエミュレータをコピーする



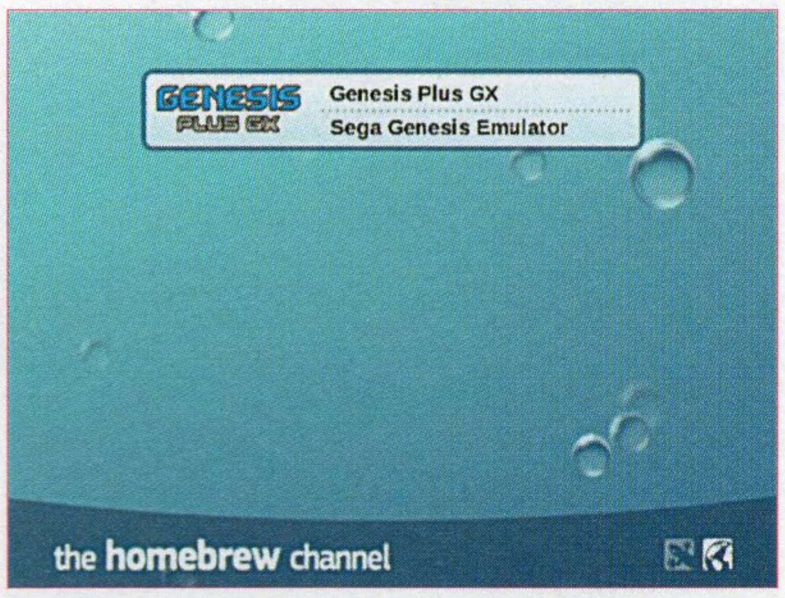
付録CD-ROM収録の「genplus-gx-1.3.1.zip」を解凍して、SDカードのルートに「apps」フォルダと「genplus」フォルダをコピー。

2 PC ROMファイルをコピーする



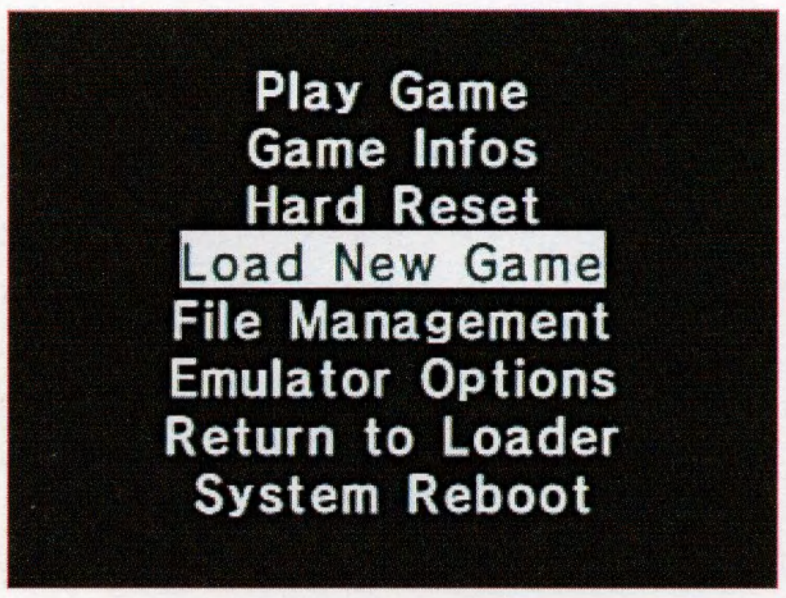
「genplus」の「roms」フォルダに、GEN形式などのROMファイルをコピーする。ゲームのファイル名は半角英数文字にすること。

3 Wii エミュレータを起動する



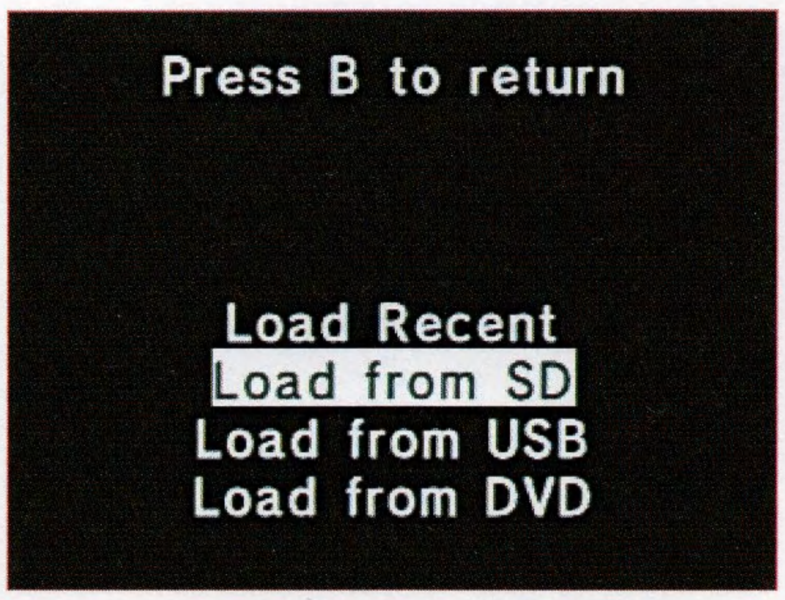
HBCで「Genesis Plus」が表示されたら「A」ボタンで選択。「Load」を選択して、Genesis Plusを起動する。

4 Wii ROMファイルを読み込む



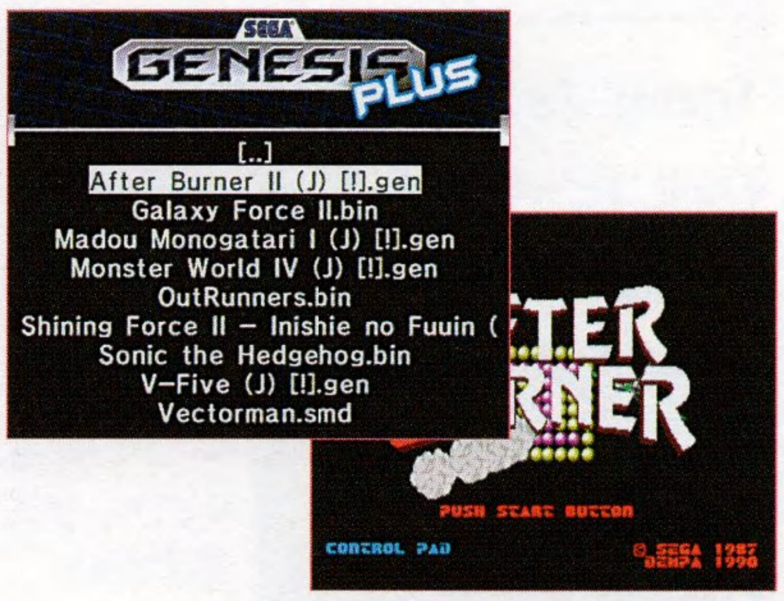
「Load New Game」を「A」ボタンで選択。

5 Wii ROMフォルダの選択



読み込むROMファイルの保存先を選択する。「Load from SD」を選択して「A」ボタン。

6 Wii ゲームを選択して起動

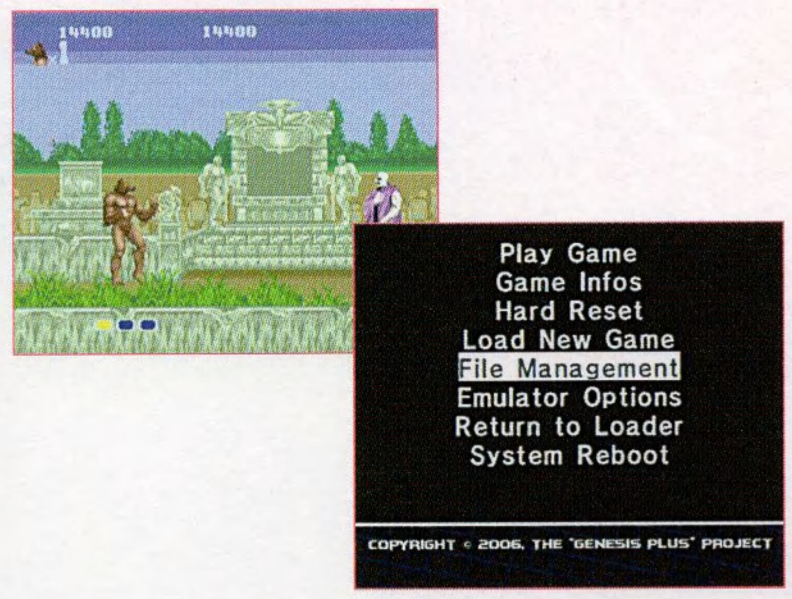


「roms」フォルダ内のROMファイルを一覧から選択し、「A」ボタンで決定。メニュー画面から「Play Game」でゲームを起動する。

セーブ&ロード機能を使う

ステートセーブ機能とは、ゲーム中に自由にゲーム状態のセーブとロードができる機能だ。Genesis Plusでも、好きなタイミングでセーブとロードができる。だが、セーブできるのは1個だけだ。

1 ゲーム中にメニューを表示



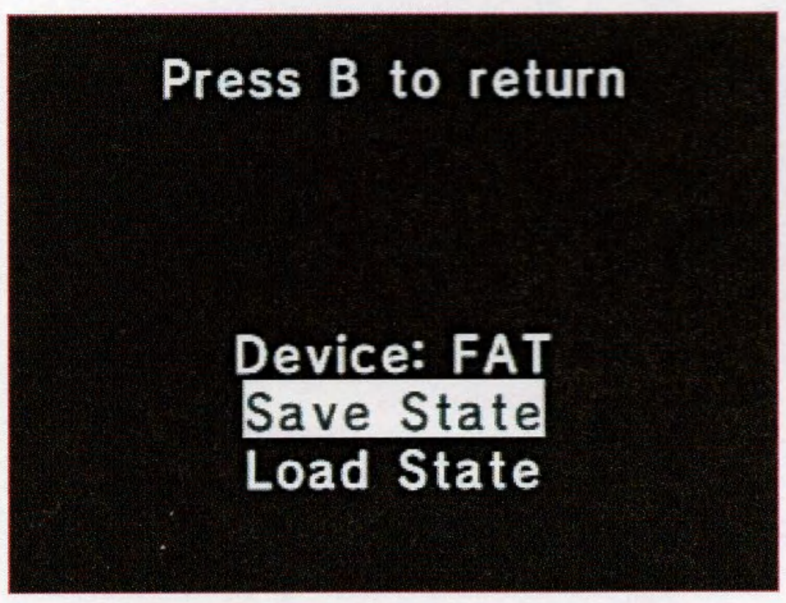
ゲーム中に「HOME」ボタンを押してメニュー画面を表示。「File Management」を選択して、「A」ボタンで決定する。

2 ステートマネージャーを選択



次の画面で「STATE Manager」を選択し、「A」ボタンで決定する。

3 セーブステートを選択



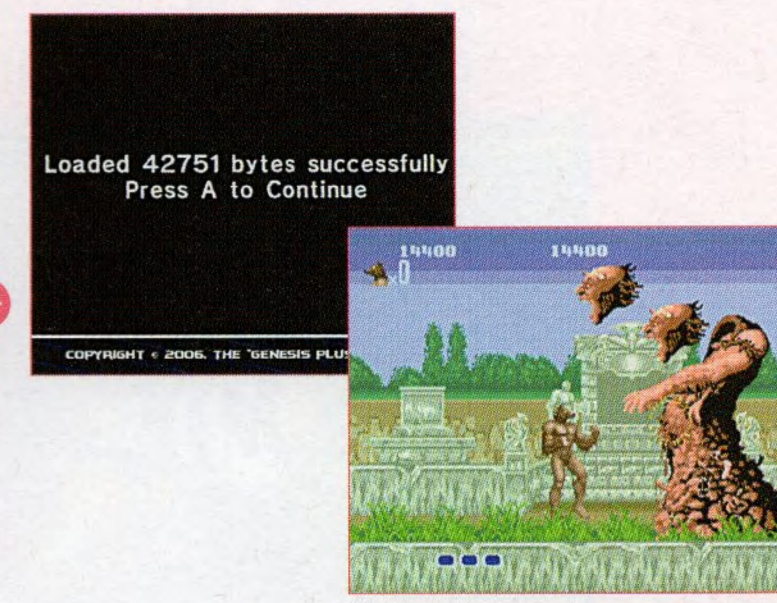
次の画面で「Save State」を選択する。確認ダイアログから「A」ボタンでメニューに戻り、「Play Game」でゲームに戻る。

4 ゲームをロードする



ゲームオーバーになったら「HOME」を押し「File Management」から「STATE Manager」を選択。そして「Load State」を選択する。

5 ゲームを再開する

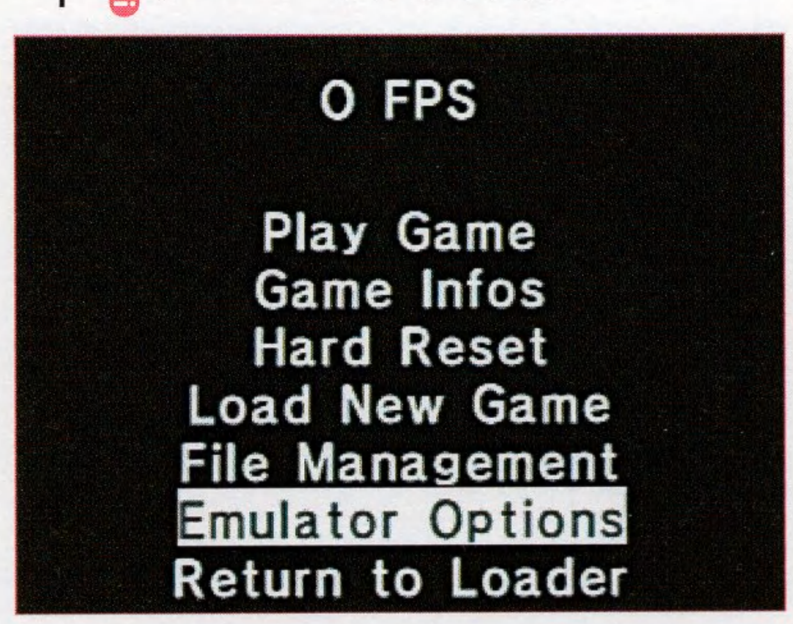


セーブしたゲーム状態がロードされ、確認ダイアログが表示される。「A」ボタンでメニューに戻り、「Play Game」で再開する。

コントローラの設定

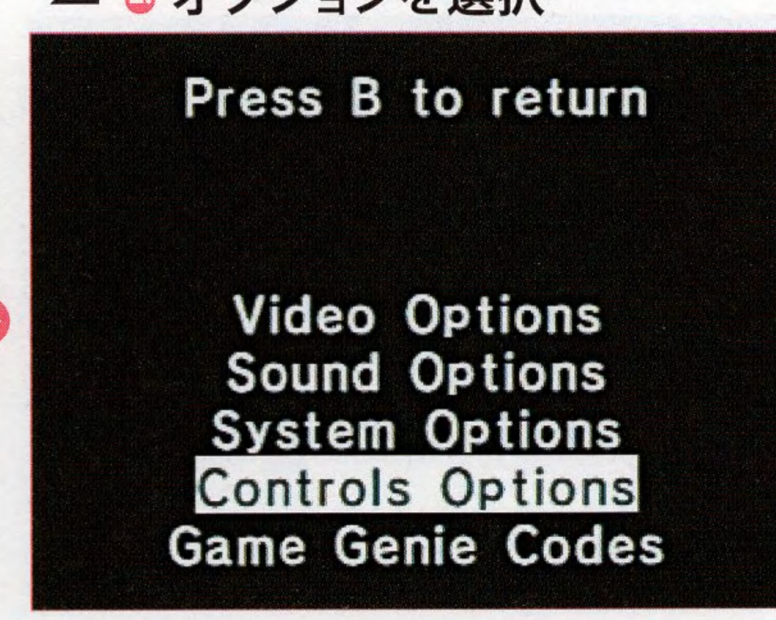
Genesis Plusは、メガドライブの各種周辺機器に対応している。Wiiリモコンをセガマウスに対応させたり、クラコンを6ボタンパッド対応にできる。また、マルチタップの複数同時プレイにも対応可能だ。

1 メニュー画面を表示



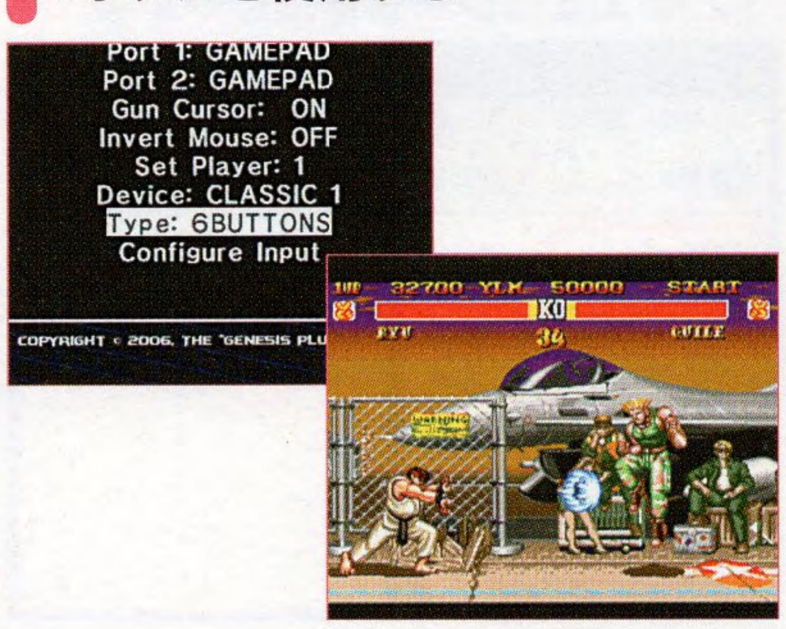
「HOME」ボタンを押して、メニュー画面を表示。「Emulator Options」を選択し、「A」ボタンで決定する。

2 コントローラオプションを選択



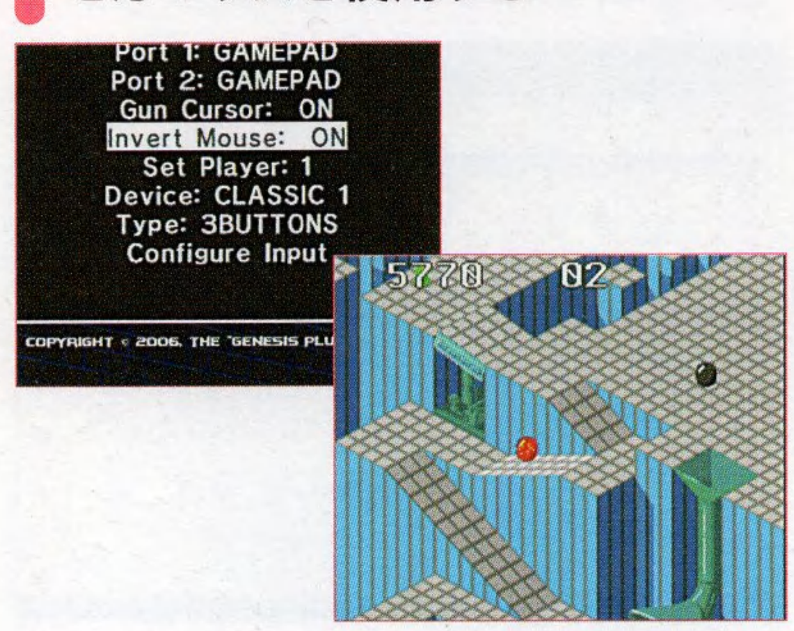
次の画面で「Controls Options」を選択し、コントローラ設定画面を表示する。

6ボタンを使用する



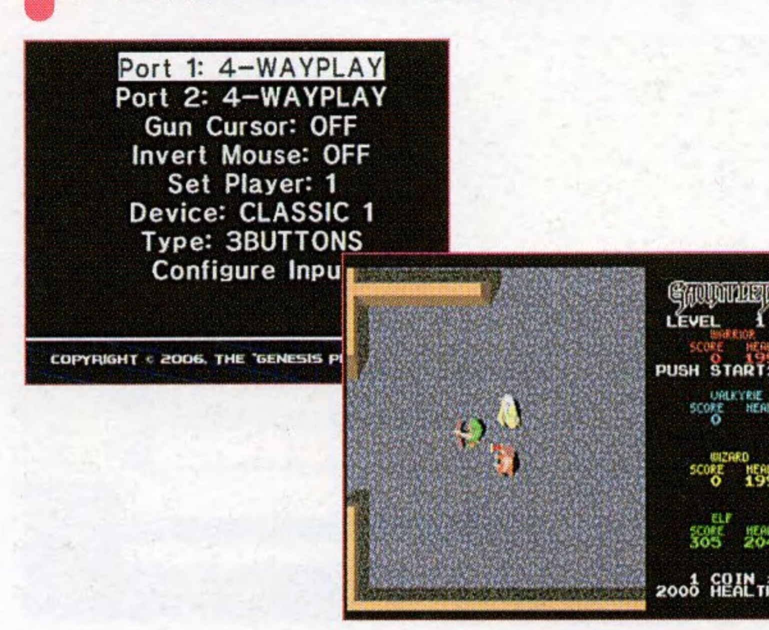
「Set Player:1」の「Device:～」を「A」ボタンで切り替えてクラコンなどを選択。「Type:～」の「6BUTTONS」を選択する。

セガマウスを使用する



「Invert Mouse:～」を選択し、「A」ボタンで「OFF」を「ON」に切り替える。Wiiリモコンがセガマウスとして使用可能になる。

多人数プレイに対応する



「Port:1～」と「Port:2～」を選択し、「4-WAYPLAY」に切り替える。コントローラを用意すれば複数同時プレイが可能だ。



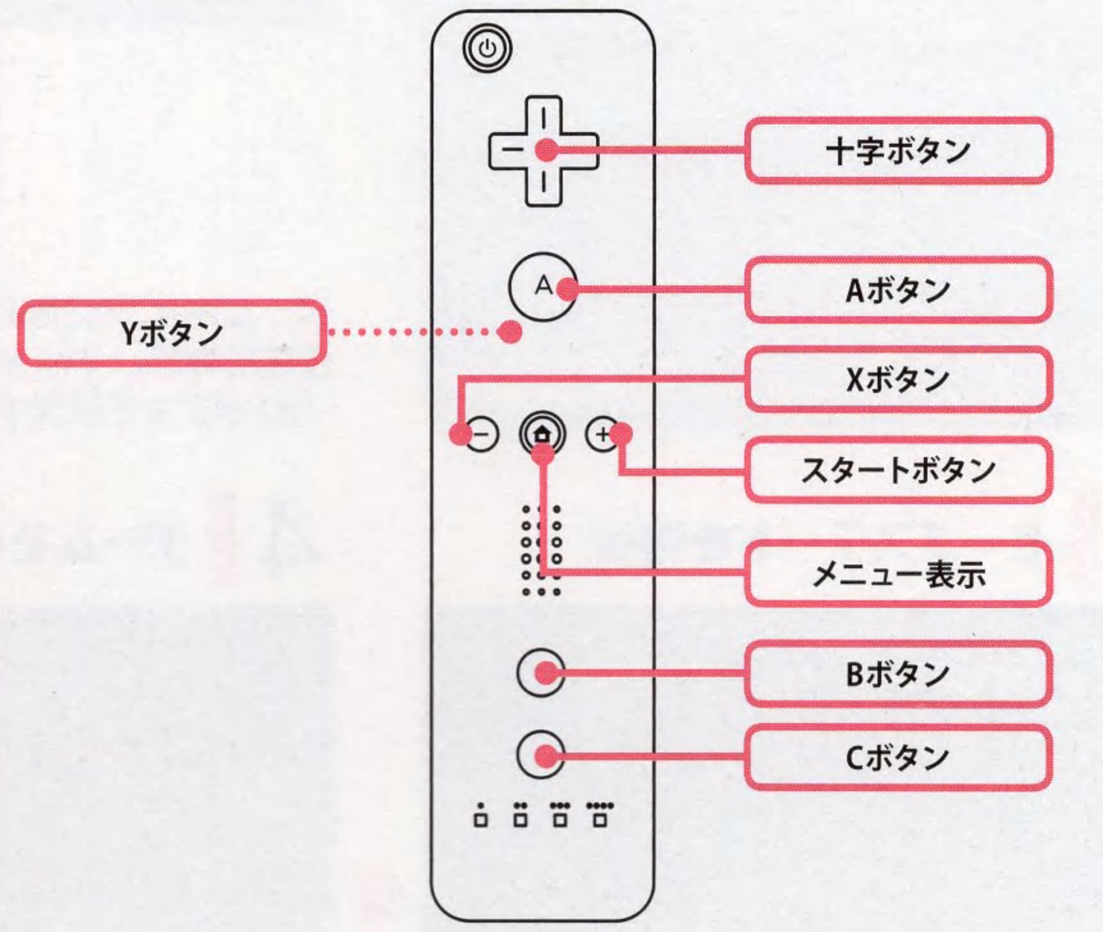
セガサターン

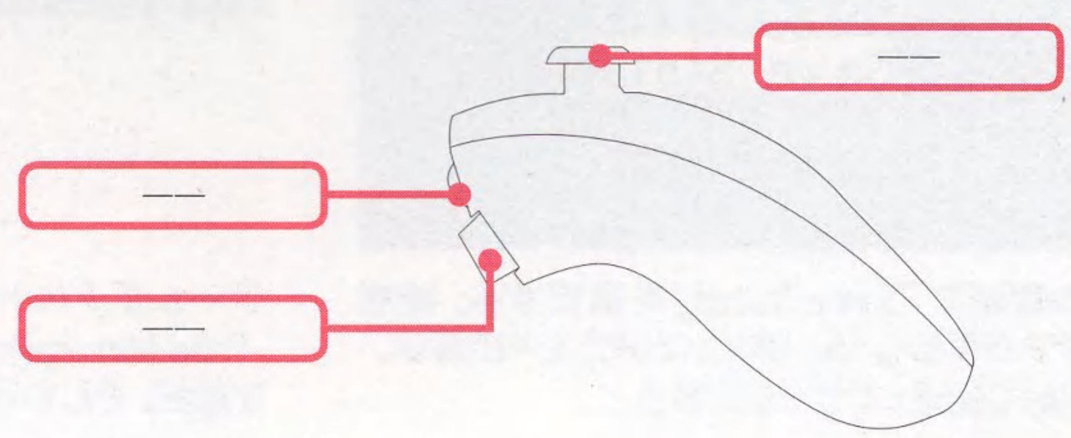
Yabause Wii Unofficial r2411 beta5
作者名●Yabause Team
ファイル名●yabause-r2411wii-beta5.zip
URL●http://wiibrew.org/wiki/Yabause_Wii

対応コントローラ



対応機能: SRAMセーブ&ロード / ステートセーブ&ロード / オンラインアップデート



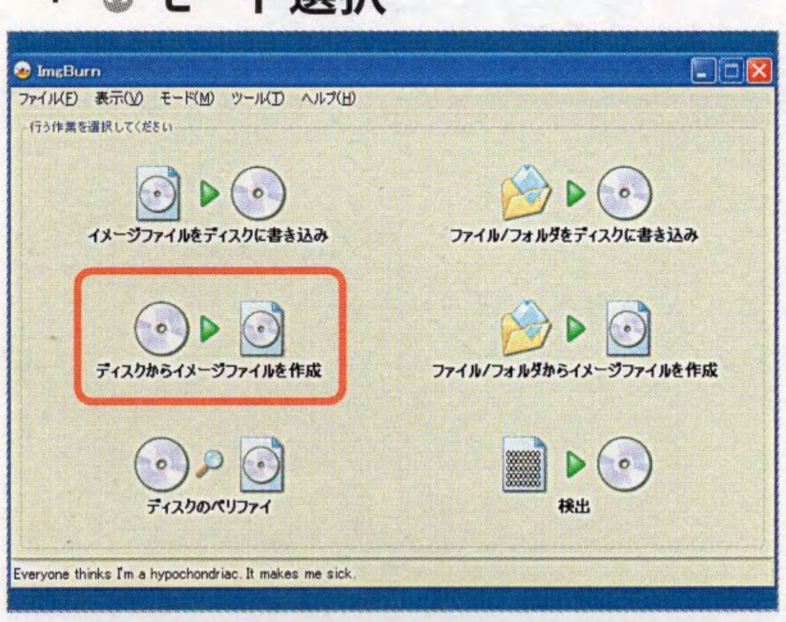


「Yabause Wii」は、パソコン用サターンエミュレータのWii移植版だ。現状での完成度は高いとはいえず、3Dゲームではまともに起動しないことも多い。しかし、2Dゲームならばある程度プレイ可能だ。



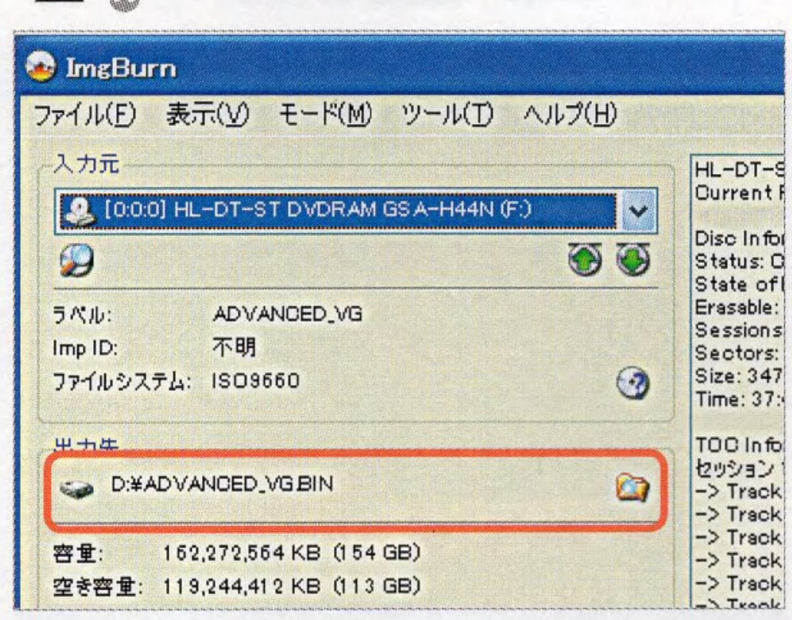
動作速度は良好といえないが、2Dゲームならそれなりの水準で再現可能。今後の更新に期待だ。

1 ImgBurnを起動してモード選択



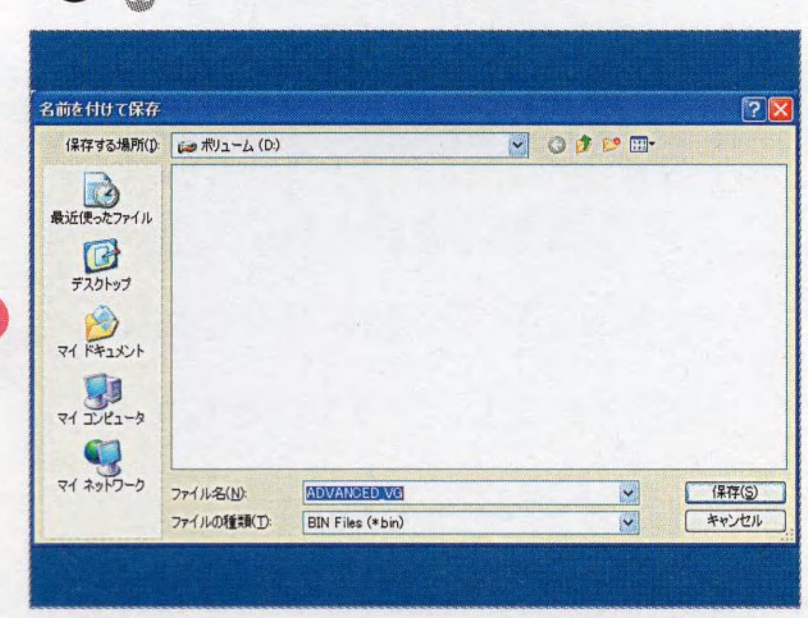
まずサターンのCD-ROMをファイル化する。ImgBurnを起動し、「ディスクからイメージファイルを作成」を選択してクリック。

2 出力先を指定する



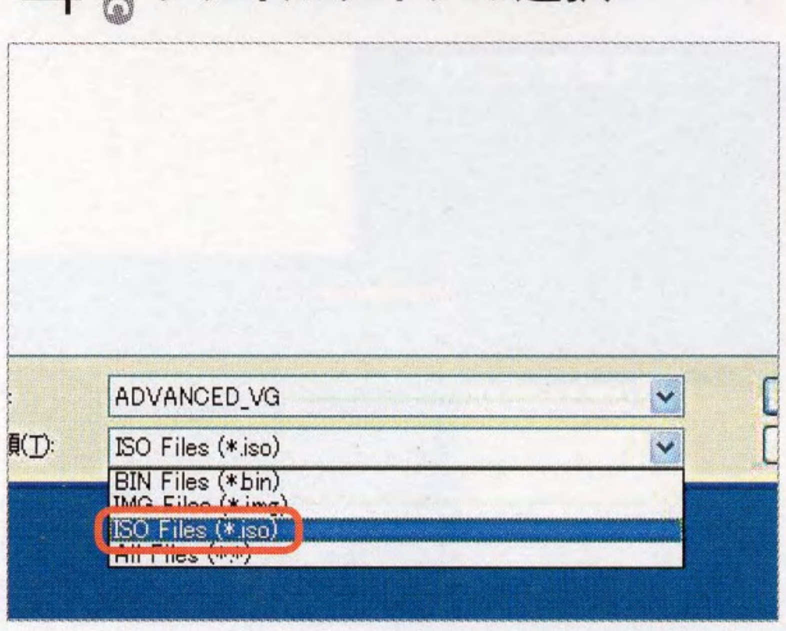
サターンのCD-ROMをドライブにセットし、「出力先」のフォルダアイコンをクリックして出力先フォルダを選択する。

3 ファイル名をつける



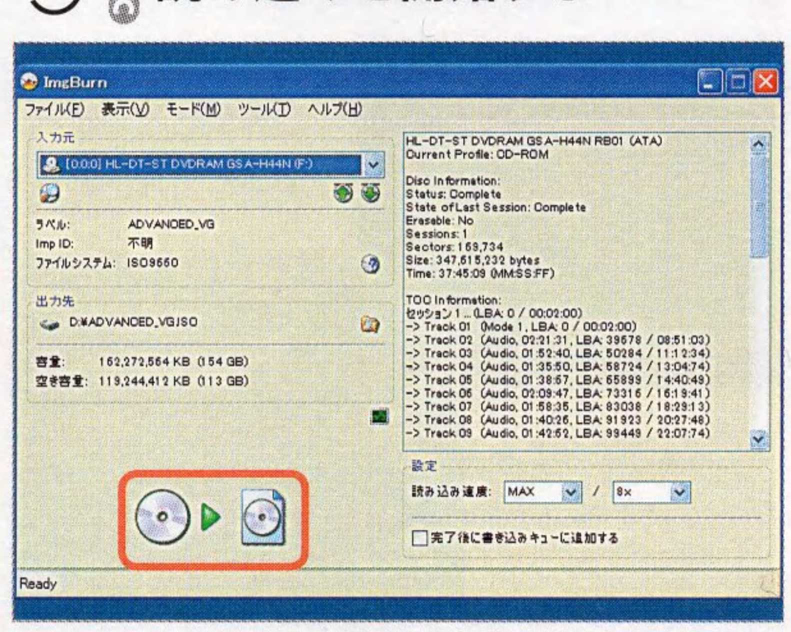
「ファイル名」の欄にゲームタイトルを半角英数文字で入力する。タイトルがわかるようなら変更しなくても問題ない。

4 ファイルタイプの選択



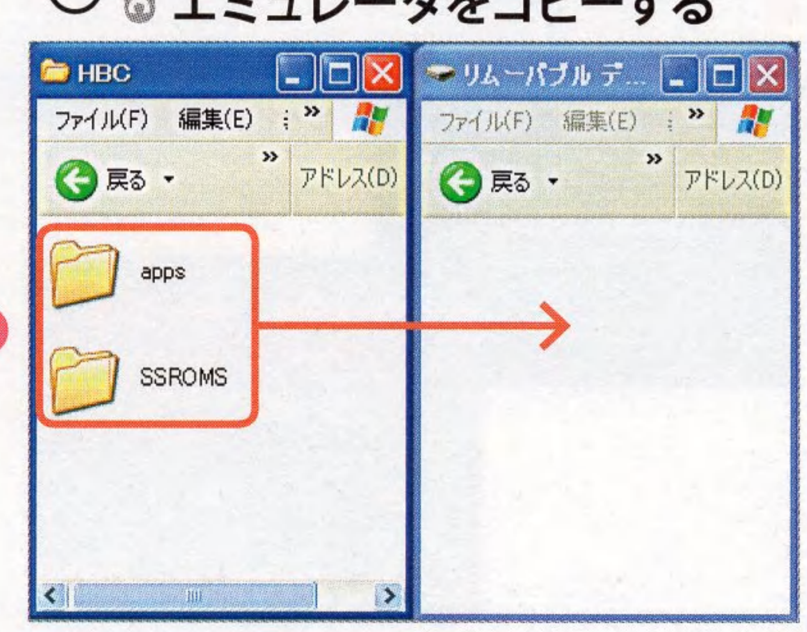
「ファイルの種類」の欄からプルダウンメニューでISO形式を選択する。最後に「保存」ボタンをクリック。

5 読み込みを開始する



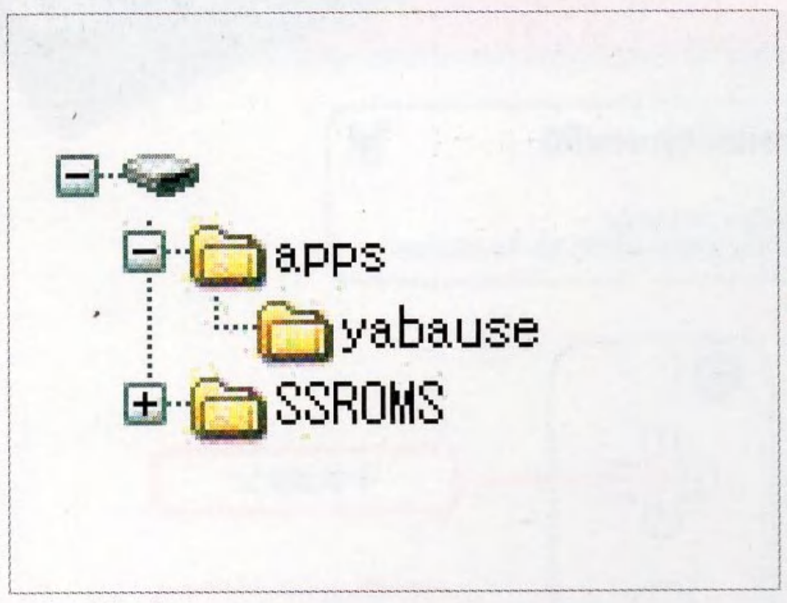
「読み込み開始」ボタンをクリックして、CD-ROMの読み込みを開始する。作業が終了したら、出力先にROMファイルが出力される。

6 SDカードにエミュレータをコピーする



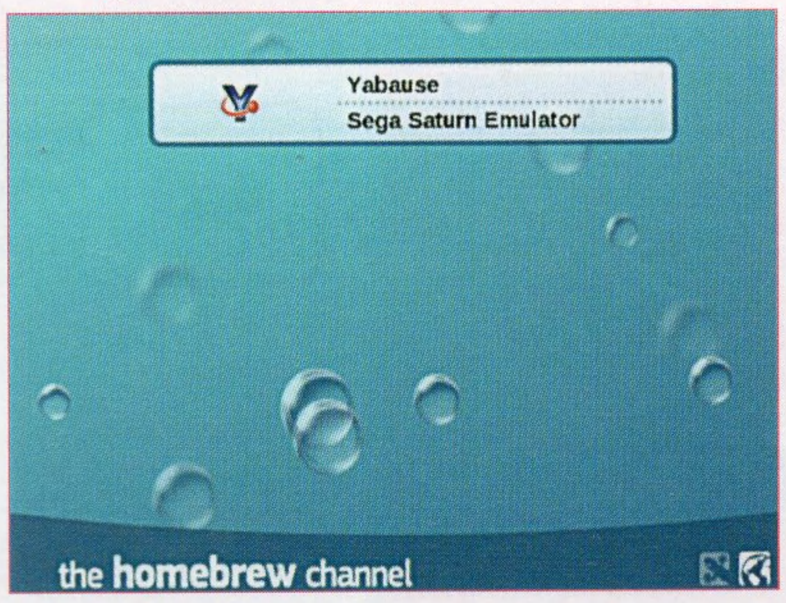
付録CD-ROM収録の「yabause-r2411wii-beta5.zip」を解凍し、SDカードに「apps」フォルダと「SSROMS」フォルダをコピーする。

7 PC ROMファイルをコピーする



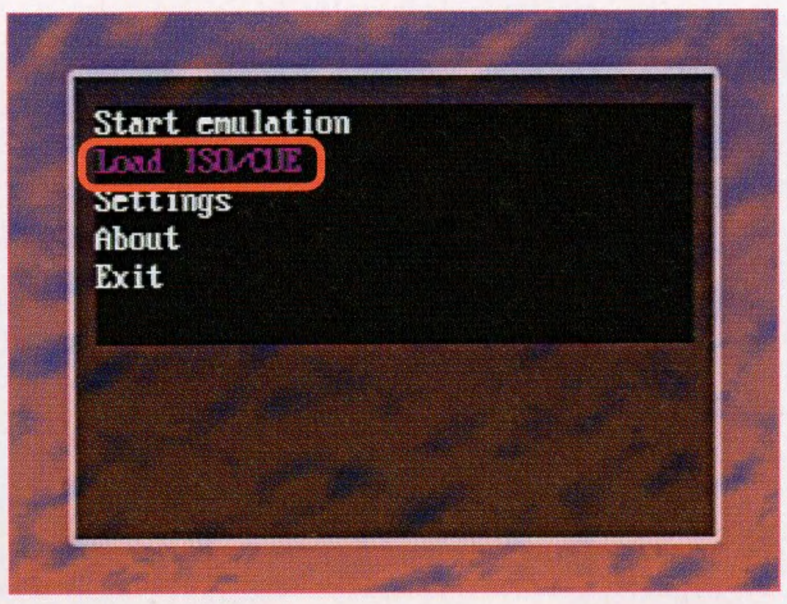
「SSROMS」フォルダに、先ほどファイル化したISO形式のROMファイルをコピーする。ファイル名は半角英数文字でないと表示されない。

8 Wii エミュレータを起動する



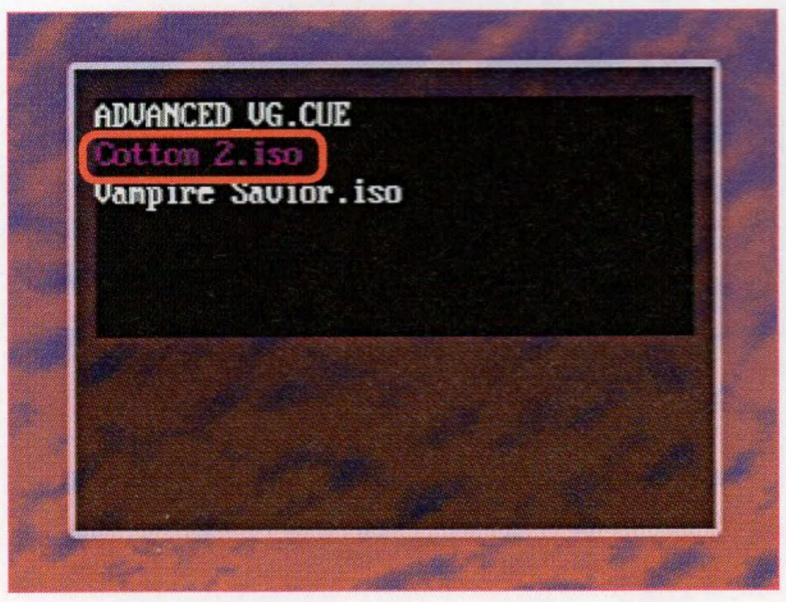
HBCで「Yabause Wii」が表示されたら「A」ボタンで選択。「Load」を選択して、Yabause Wiiを起動する。

9 Wii ROMイメージを読み込む



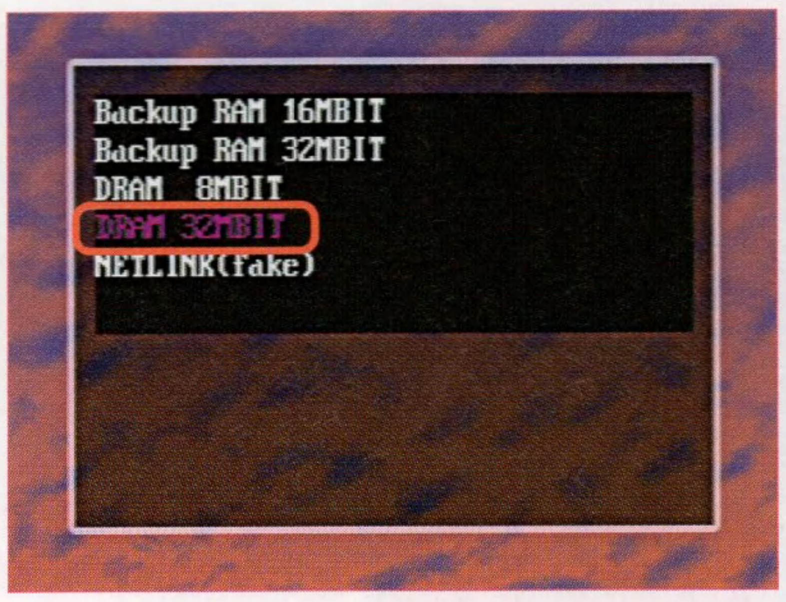
上下で移動し、メニュー画面の「Load ISO/CUE」を選択。「A」ボタンで決定する。

10 Wii ゲームを選択する



「SSROMS」フォルダにコピーしたROMファイルを表示する。上下でゲームタイトルを選択し、「A」ボタンで決定する。

11 Wii カートリッジタイプの選択



次の画面で使用するカートリッジタイプを選択する。上下で「DRAM 32BIT」を選択し、「A」ボタンで決定。

12 Wii スタートエミュレーションを選択



メニュー画面に戻ったら「Start emulation」を選択して決定。選択したROMファイルが読み込まれる。

ポリゴンゲームの再現性は低い

Attention!

次世代ゲーム機と呼ばれて発売されたセガサターン売りのひとつは、3D描画を用いたポリゴンゲームだった。しかし、現状のYabause Wiiはポリゴンゲームの再現性は低く、タイトルによっては起動できない。また、起動できてもまともに再現できないゲームもある。今後のアップデートに期待しよう。



手間ヒマかけてゲームを起動しても、動作状況、再現度ともに低いゲームも多々ある。

13 Wii ゲームが起動する

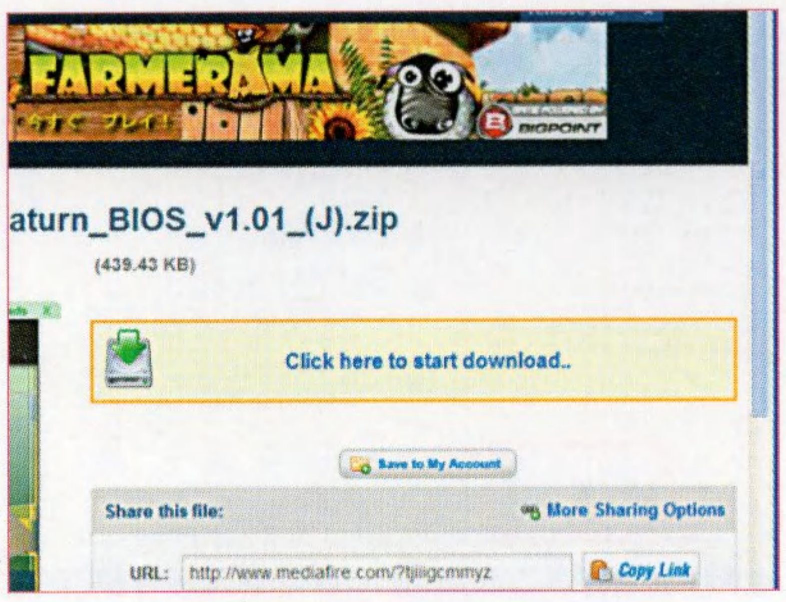


ゲームが起動する。ゲームの起動は、ROMファイルの容量によって変わるが、おおむね少し時間がかかる。

BIOSを導入する

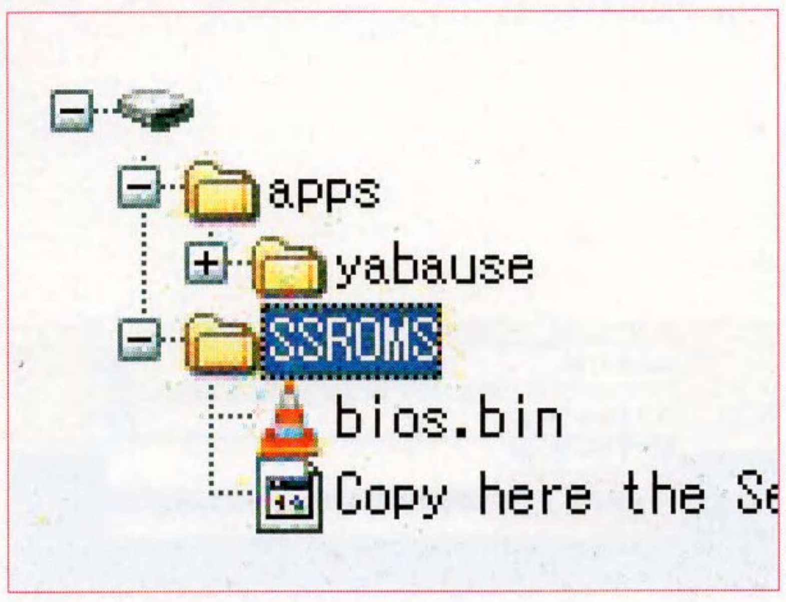
Yabause Wiiは、起動率、再現性ともに低い。この弱点を少しでも改善するためにBIOSファイルを導入しよう。BIOSファイルを導入することで、起動しなかった一部のゲームが起動することもある。

1 Wii BIOSファイルをダウンロード



付録CD-ROM収録のリンクからアップローダに接続。「Click here to〜」をクリックし「Sega_Saturn_BIOS_v1.01_(J).zip」を入手。

2 Wii BIOSファイルをコピーする



「bios.bin」をROMファイルと同じ「SSROMS」フォルダにコピー。エミュレータを起動し、「Settings」でBIOSを有効に設定する。



プレイステーション

対応コントローラ　Card reader

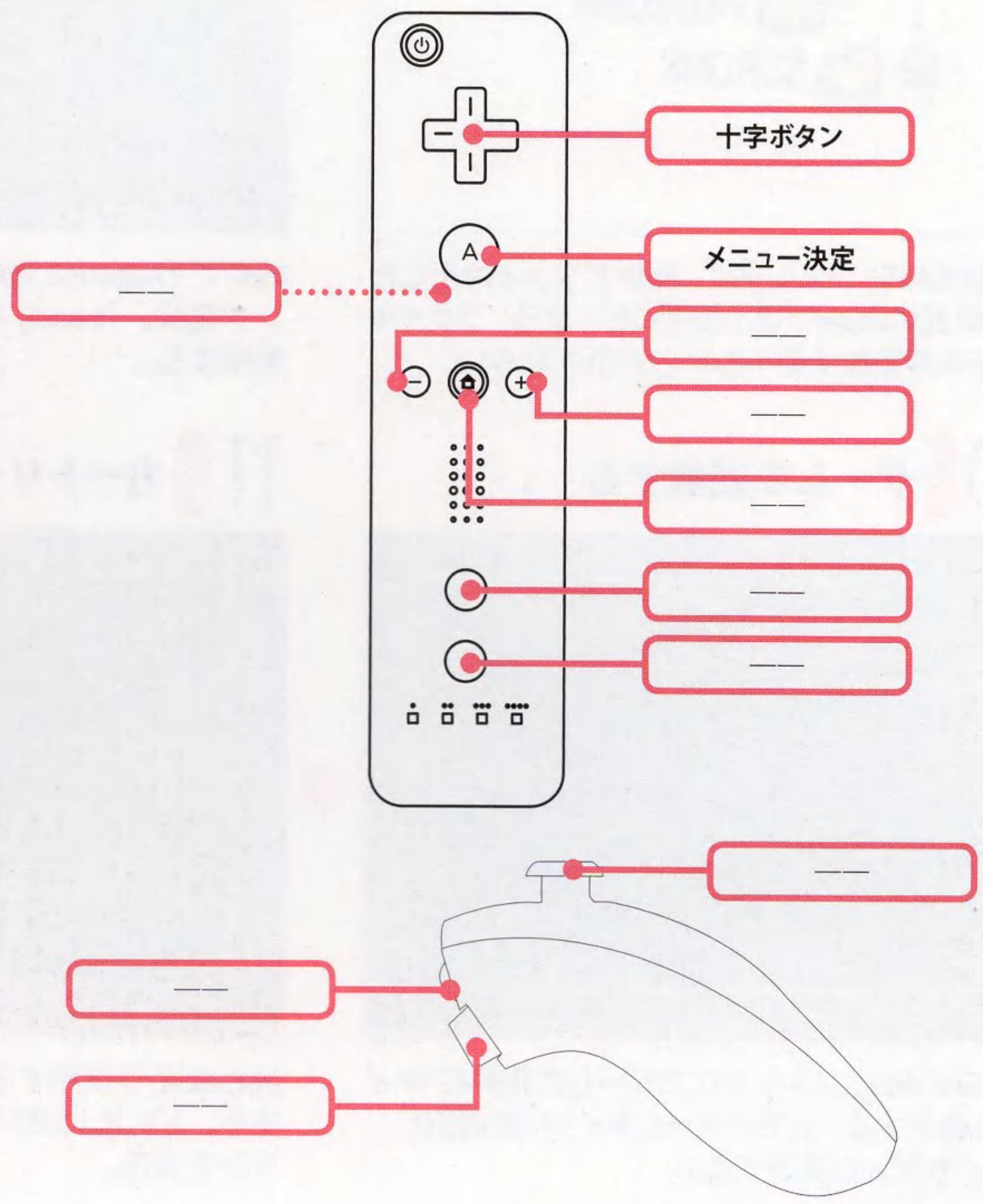
対応機能　SRAM セーブ&ロード　ステート セーブ&ロード　オンライン アップデート

「PCSX-Revolution」は、Wii上でプレイステーション（以下プレステ）を再現するWii用エミュレータだ。まだ開発途上だが起動率は高く、かなりのゲームが起動できる。今後の課題は動作速度だろう。

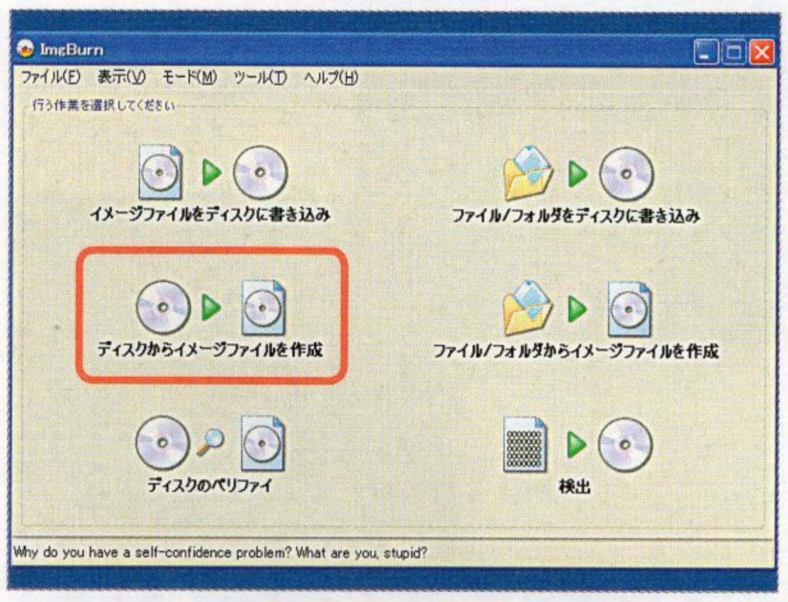


画面左上の数値は動作速度。60だと実機と同じで、30だとその半分になる。

PCSX-Revolution rev50
作者名●Firnis
ファイル名●pcsx-r_wii.tar.gz
URL●http://wiibrew.org/wiki/PCSX-Revolution

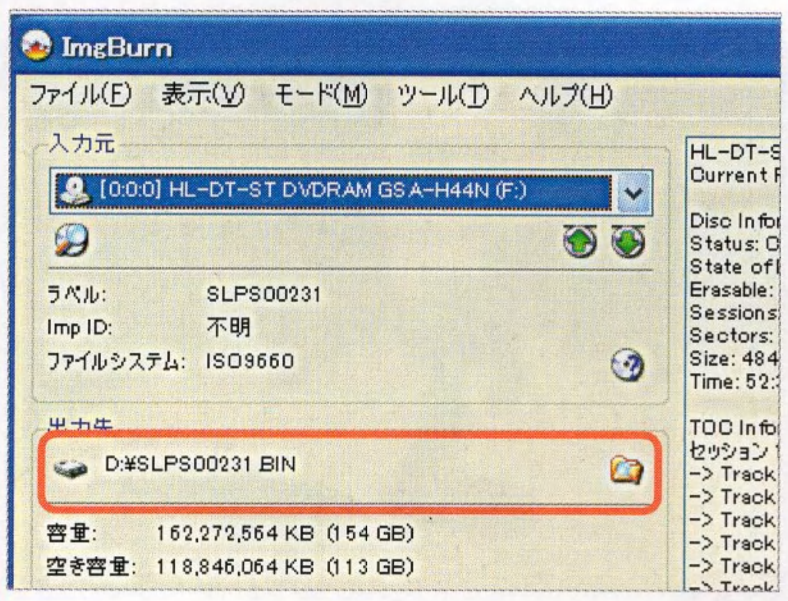


1 ImgBurnを起動してモード選択



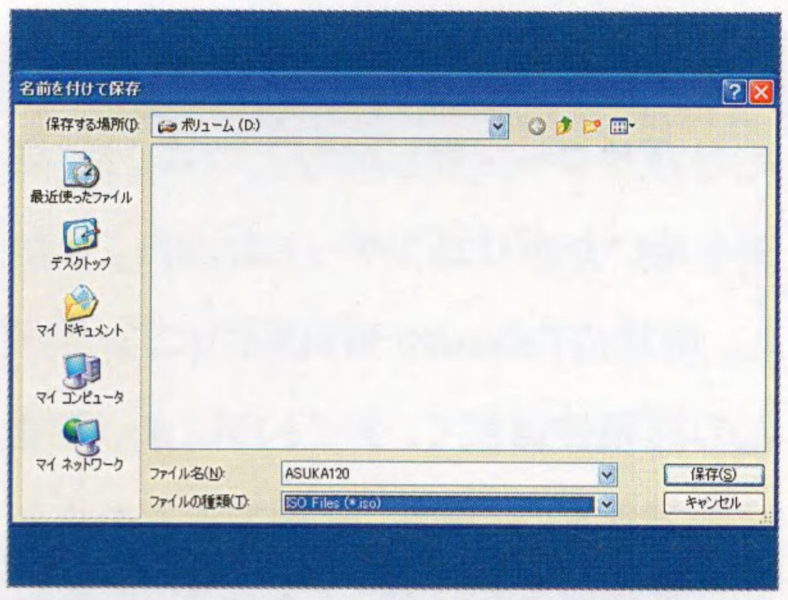
まずプレステのCD-ROMをファイル化する。ImgBurnを起動し、「ディスクからイメージファイルを作成」を選択してクリック。

2 出力先を指定する



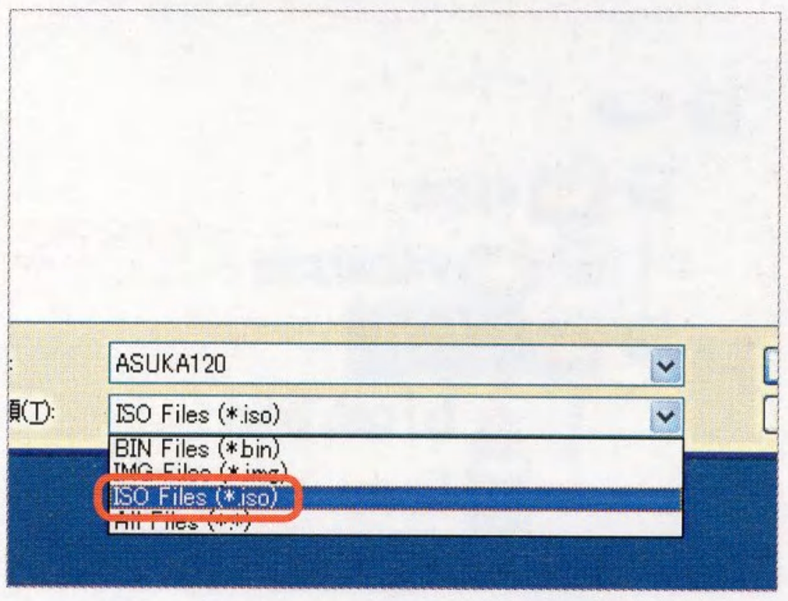
プレステのCD-ROMをドライブにセットし、「出力先」のフォルダアイコンをクリックして出力先フォルダを選択する。

3 ファイル名をつける



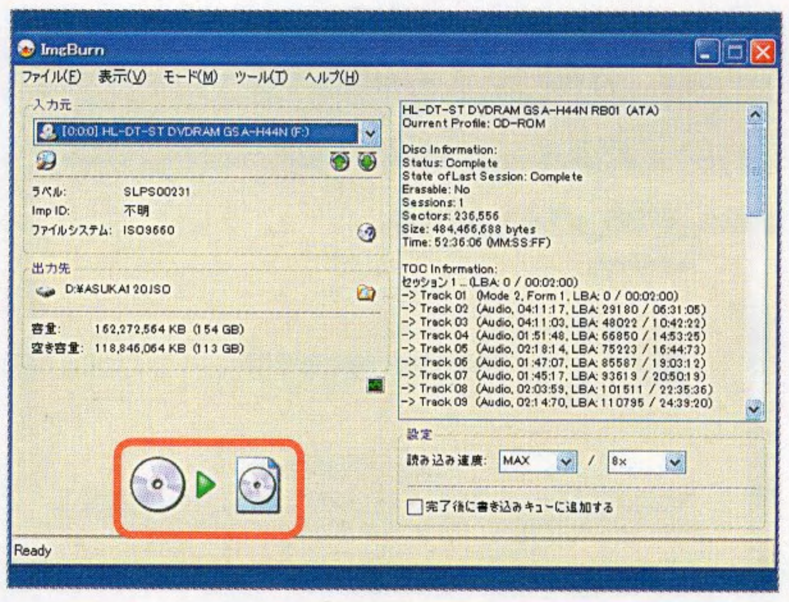
「ファイル名」の欄にゲームタイトルを半角英数文字で入力する。タイトルがわかるようなら変更しなくても問題ない。

4 ファイルタイプの選択



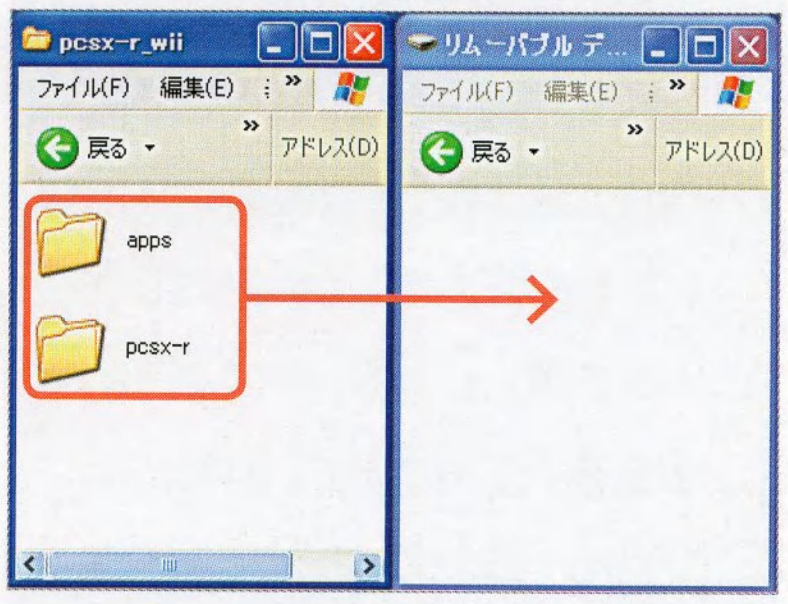
「ファイルの種類」の欄からプルダウンメニューでISO形式を選択する。最後に「保存」ボタンをクリック。

5 読み込みを開始する



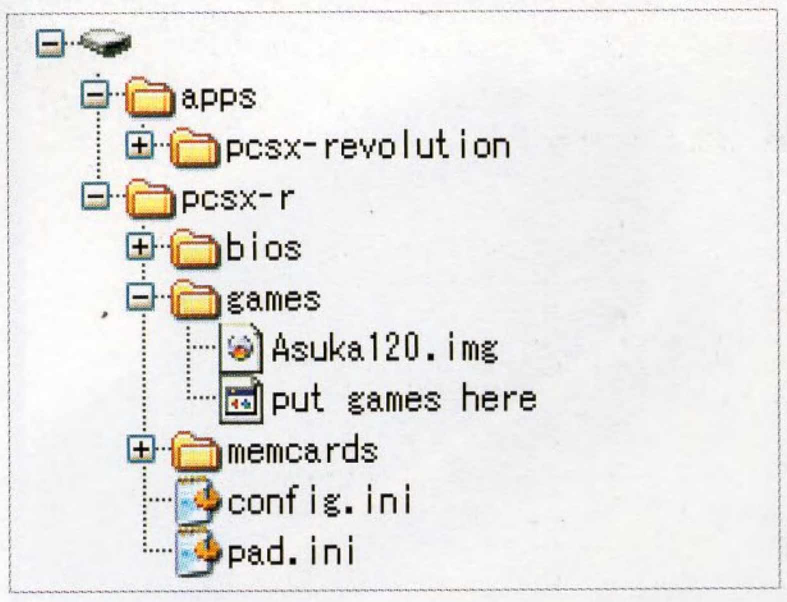
「読み込み開始」ボタンをクリックして、CD-ROMの読み込みを開始する。作業が終了したら、出力先にROMファイルが出力される。

6 SDカードにエミュレータをコピーする



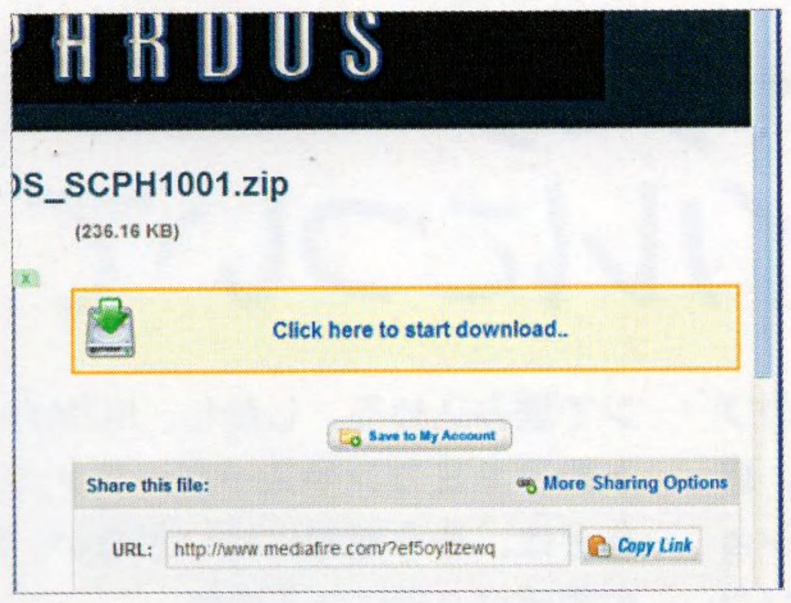
付録CD-ROM収録の「pcsx-r_wii.zip」を解凍し、SDカードのルートに「apps」フォルダと「pcsx-r」フォルダをコピーする。

7 PC ROMイメージをコピーする



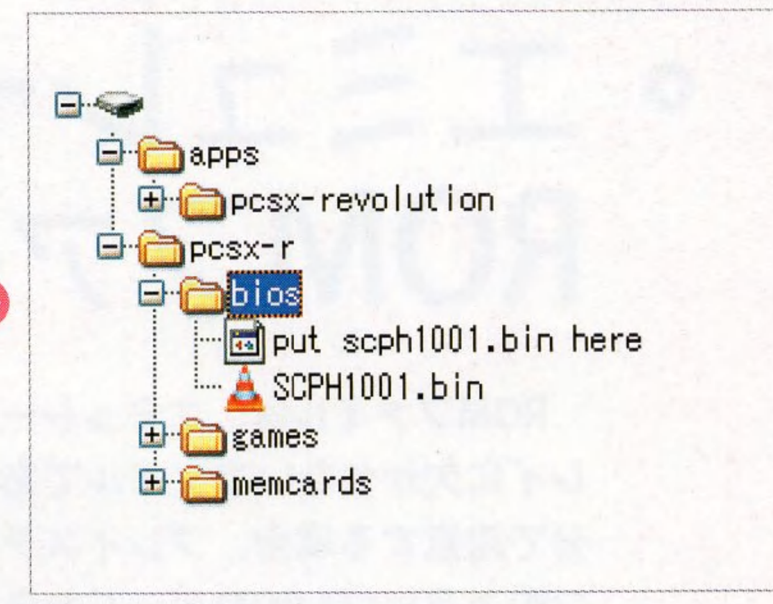
「pcsx-r」の「games」フォルダに、ファイル化したISO形式のROMファイルをコピーする。

8 PC BIOSファイルをダウンロード



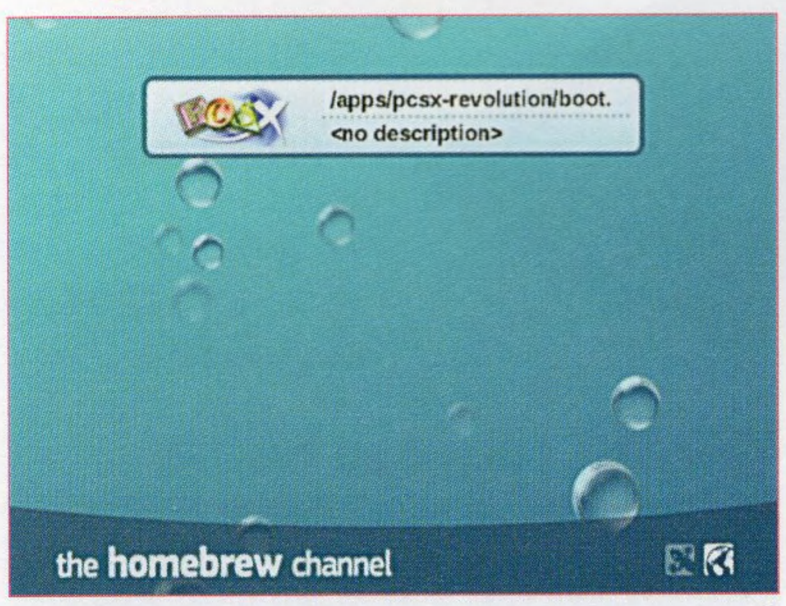
付録CD-ROM収録のリンクからアップローダに接続。「Click here to〜」をクリックし「BIOS_SCPH1001.zip」を入手して解凍する。

9 PC BIOSファイルをコピーする



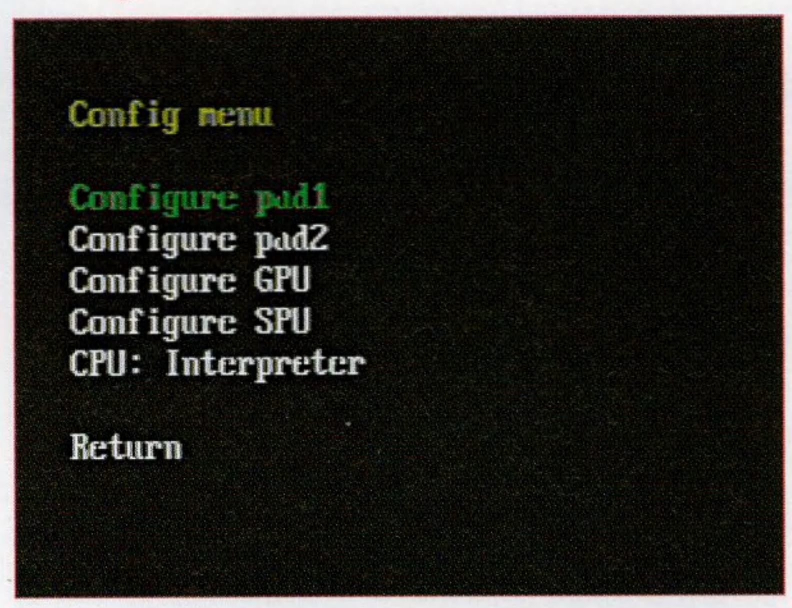
ダウンロードした「SCPH1001.bin」を「pcsx-r」の「bios」フォルダにコピー。

10 Wii エミュレータを起動する



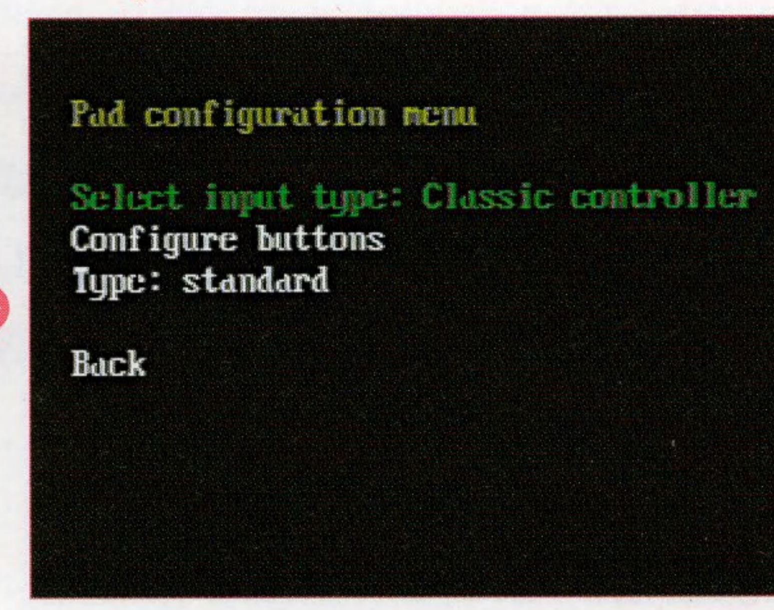
HBCで「PCSX-Revolution」が表示されたら「A」ボタンで選択。「Load」を選択して、PCSX-Revolutionを起動する。

11 Wii コンフィグメニューを表示



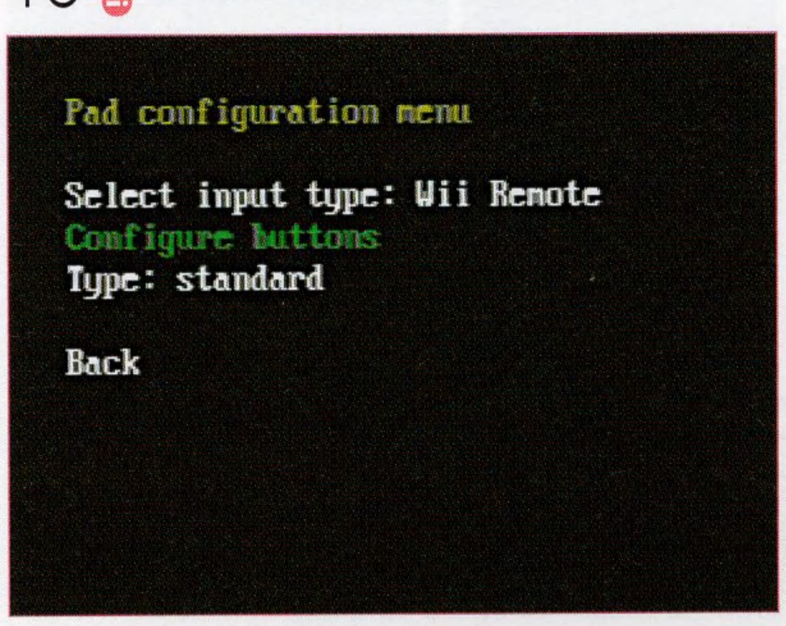
初期状態ではボタン設定されていないので、最初に設定を行なう。メニュー画面の「Config」から「Configure pad1」を選択。

12 Wii 使用コントローラを選択



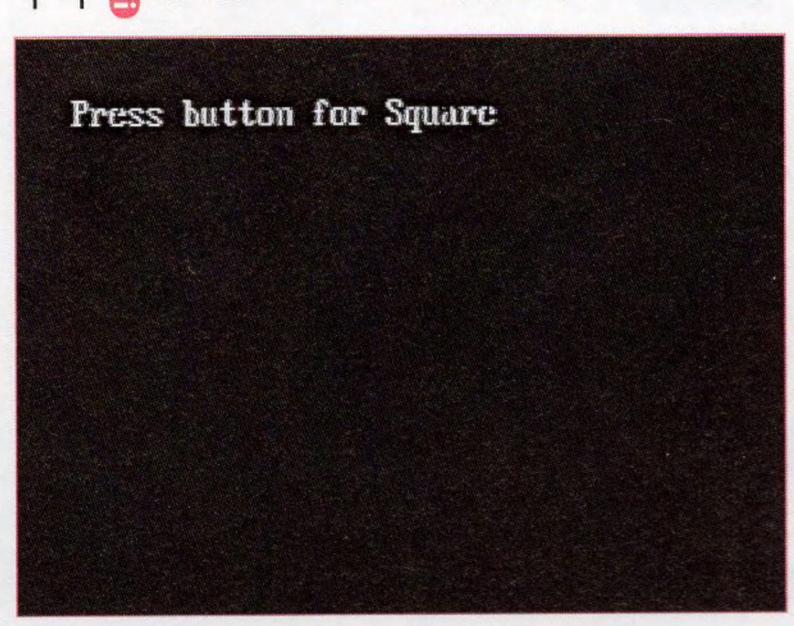
「Select imput type:〜」を選択して設定する。クラコンやGCコントローラなどボタン数の多いコントローラが適している。

13 Wii ボタンのセッティング



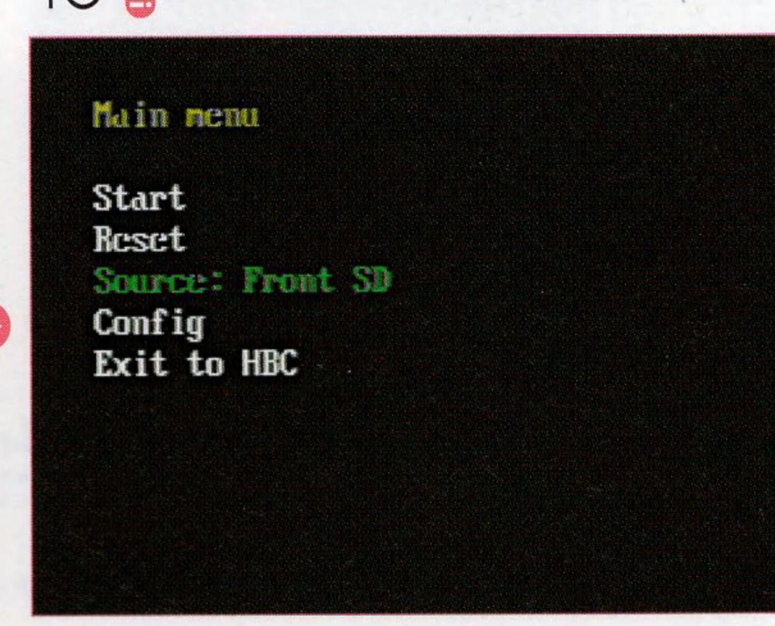
上下で移動し「Configure buutons」を選択。使用するコントローラのボタンを設定する。

14 Wii 使用ボタンを設定する



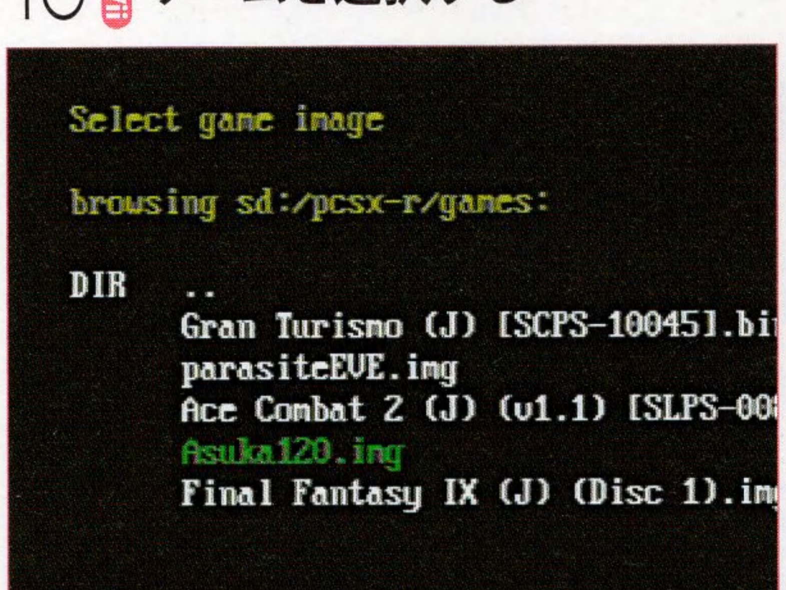
画面上に各ボタン名が表示されので、使用するコントローラで対応するボタンを押していく。

15 Wii ROMイメージを読み込む



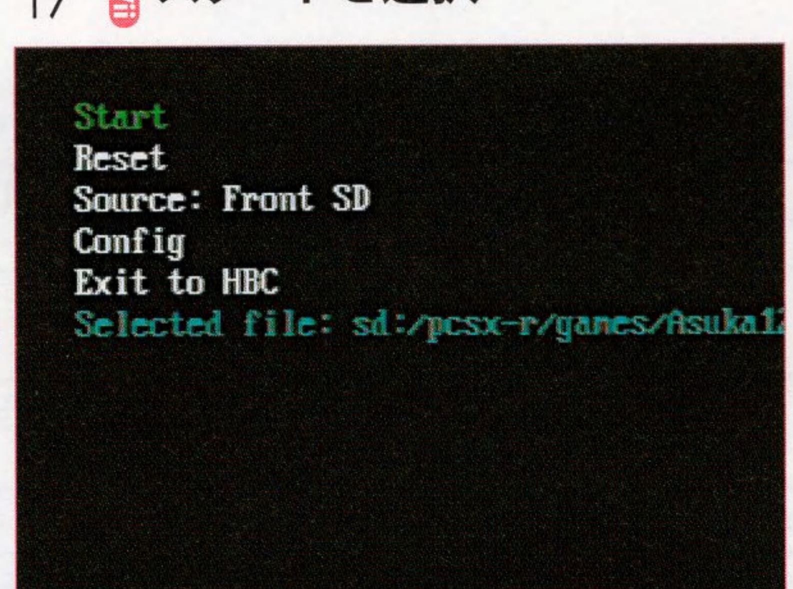
メニュー画面に戻ったら「Source:Front SD」を選択し、「A」ボタンで決定する。

16 Wii ゲームを選択する



「games」フォルダ内にコピーしたROMファイルを一覧表示する。ゲームタイトルを上下で選択し、「A」ボタンで決定する。

17 Wii スタートを選択



メニューに戻ると選択したゲームがメニューの下に表示される。「Start」を選択して「A」ボタンで決定する。

18 Wii ゲームが起動する



ROMファイルが読み込まれゲームが起動する。起動するまで少し時間がかかるが、かなりの数のゲームタイトルが起動できる。

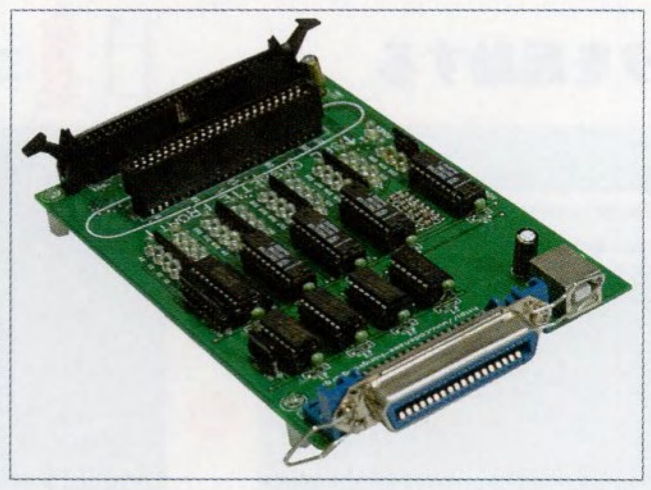
エミュレータのROMファイルについて



ROMファイルは、エミュレータのプレイに欠かせないファイルである。自分で用意する場合、プレイステーションのようにCD-ROMゲームならパソコンで読み込める。しかし、ROMカセットのファミコンやスーパーファミコンなどは、そう簡単にはいかない。専用の機器が必用になるのだ。

ROMの吸い出し機とは?

ROMカセットからパソコンへゲームデータを読み込む特殊な機器の総称を「吸い出し機」という。これを使えば、ゲーム機本体が壊れてしまったとしても、ゲームは吸い出してエミュレータで遊び続けることが可能だ。エミュレータをフル活用するには必須の機器といえる。



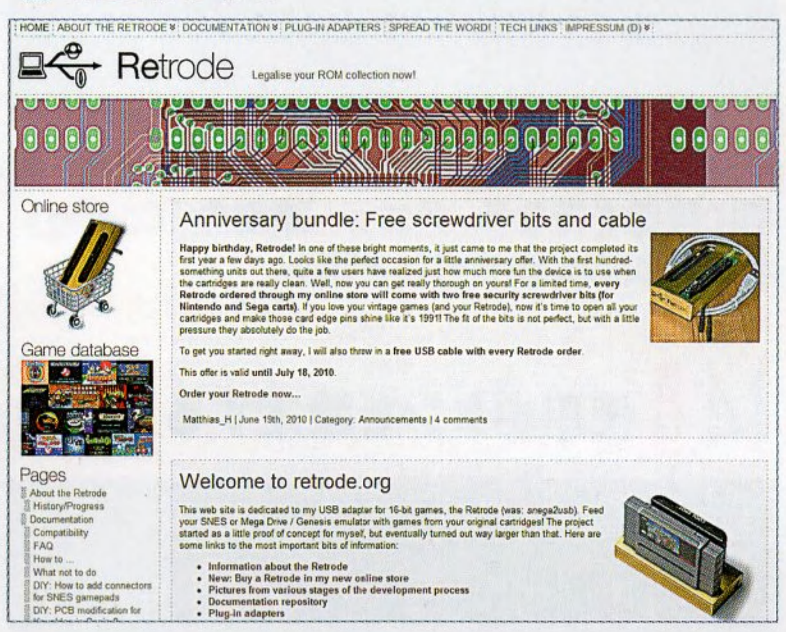
写真はパラレルポート接続の吸い出し機「HONGKONG」。対応はスーファミだけだが、別売のアダプタを使うと他機種の吸い出しも可能だ。

●カッパドギア



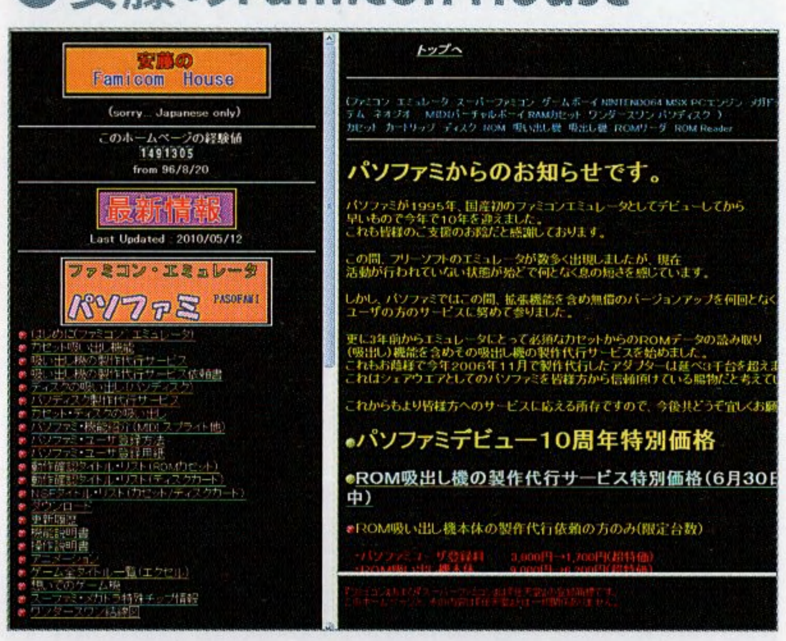
吸い出し機「HONGKONG」を扱うショップ。基本キットの完成品は、5,480円から。

●Retrode



USB接続の吸い出し機を扱う海外サイト。 販売価格は日本円で6,500円（＋送料）ほど。

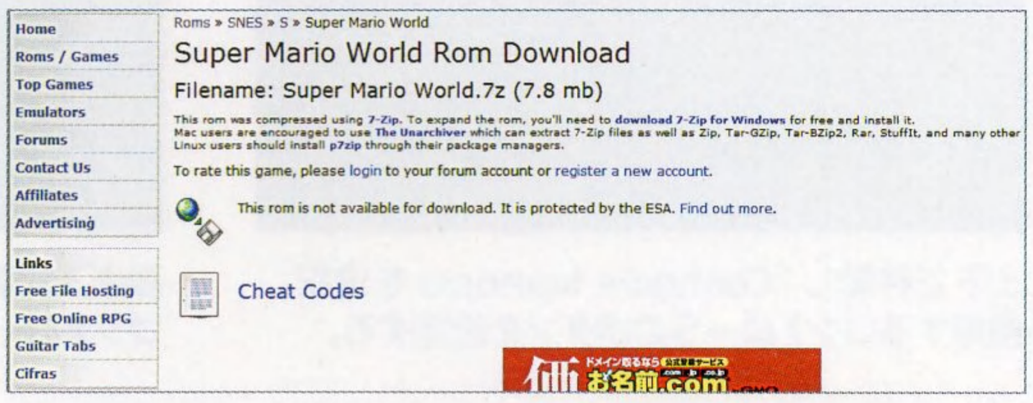
●安藤のFamicon House



吸い出しソフトと吸い出し機を販売する。登録料と基本の吸い出し機セットで7,900円。

ROMサイトとは?

ROMサイトとは、吸い出したROMファイルを違法に配布しているサイトのこと。便利なので利用したいと思うだろうが、ROMサイトからのダウンロードは現在の国内法では違法と判断される可能性が高い。下表のようなサイトの利用は避け、ROMファイルは吸い出し機で作成しよう。



上図は海外のROMサイト。トップページから数クリックでROMファイルをダウンロードできるページにたどりつける。

●海外のおもなROMサイトの例

ROMNation.NET	http://www.romnation.net/	ファミコン、スーファミ、メガドラなどのレトロゲームのROMファイルを多数とりそろえる。
ROM-World	http://www.rom-world.com/	定番レトロハードのROMファイルに加えてセガマスターシステムやゲームギアのROMファイルも入手できる模様。
EMU-Russia	http://emu-russia.net/jp/	レトロゲーム全般に強いROMサイト。日本語表示も可能で、ゲームによってはスクリーンショットと解説文がついている。
NitroRoms	http://ja.nitroroms.com/	新旧ハードのROMファイルを手広く扱うサイト。プレイステーションのCD-ROMなど、大容量のゲームも入手できるようだ。
CoolROM.com	http://www.coolrom.com/r	レトロハードから、サターン、プレステなど比較的新しいハードのROMまでを扱う。
MuvucaGames.COM	http://www.muvucagames.com/	ファミコンからニンテンドウDSまで、任天堂ハードのROMファイルに強いサイト。
3Roms.com	http://www.3roms.com/index.php	任天堂とソニーのゲーム機をメインに扱うROMサイト。セガハードは扱っていない。
FreeRoms	http://www.freeroms.com/	レトロゲーム機中心のROMサイト。シンプルだがゲームの検索性が高く、ROMファイルまですぐに辿りつける。

Chapter3

Free Soft

チートコードでゲームを改造する............ 90

DVD-Videoを再生する..............................94

動画・音楽ファイルを再生する.................96

チャンネルを作成する..............................98

セーブデータをコピーする.......................102

KOF Flames of Courage 104

OpenBOR... 106

Super Mario War Wii 107

OpenTyrian.. 108

QUAKEGX 109

Marjongg Wii...110

チートコードでゲームを改造する

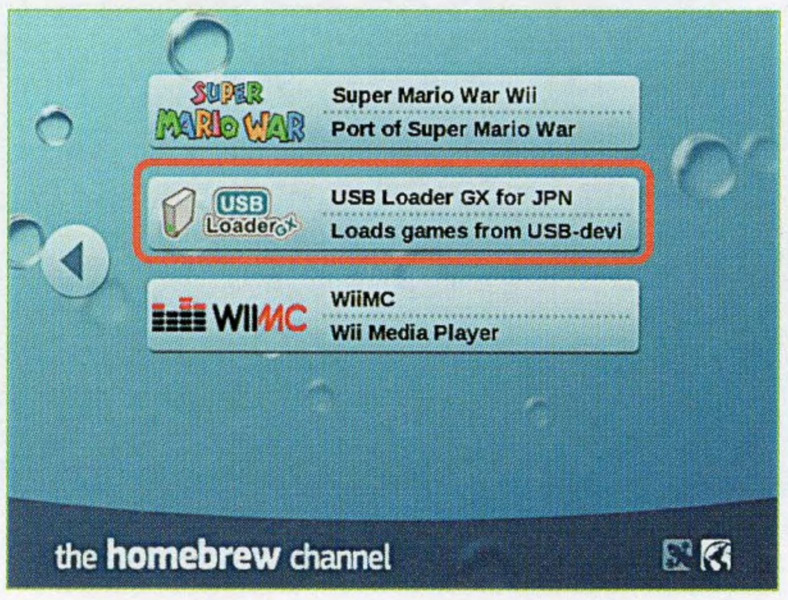
Wii　PC　SD　Card reader　Game　media　etc

キャラクターの残機数やステータスなどを変更するチートコードを使って、Wiiゲームを改造しよう。チートコードはゲームローダーの機能を使ってインターネット上からダウンロードできるため、複雑な手順を覚えなくてもカンタンに改造を楽しめるぞ。

Ocarina Cheat Code Manager Ver.1.1
作者名●Link
ファイル名●codemgr1.2.zip
URL●http://wiird.l0nk.org/wp/

No Soft

1 ゲームローダーを起動する



HBCから「USB Loader GX」を起動する。USB Loader GXの使い方は、Chapter1の解説も参考にしよう。

2 改造したいゲームを選択する



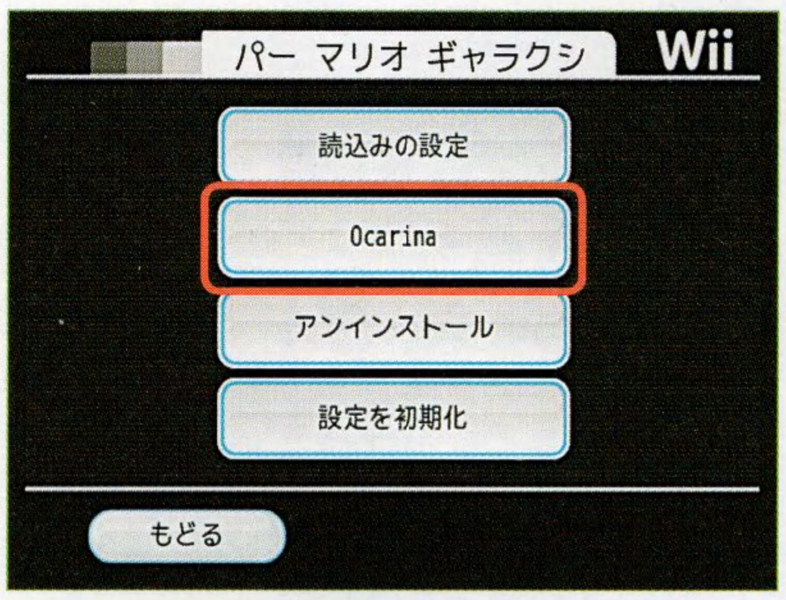
USB Loader GXのゲームメニューから、改造して遊びたいゲームを選択する。

3 設定メニューに移動



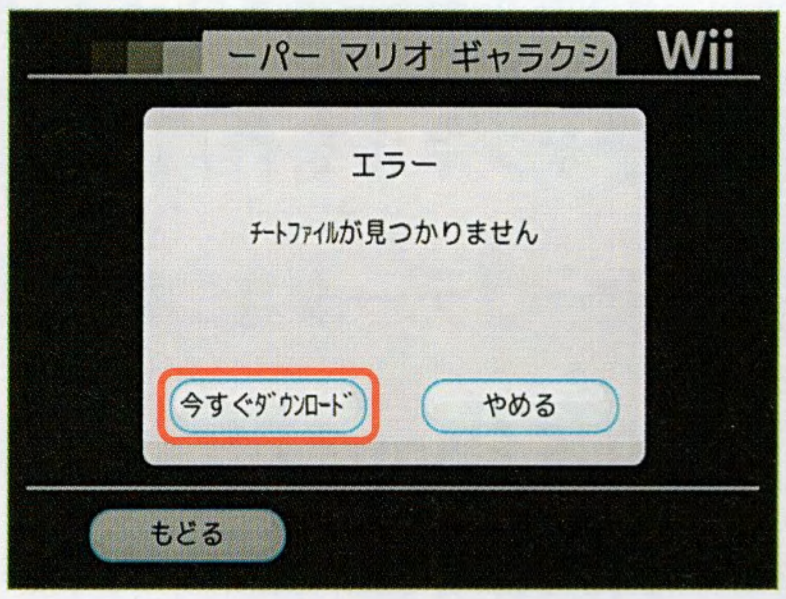
ゲームを選択したら、左下の「設定」ボタンにカーソルを合わせ、「A」ボタンで選択。

4 チートメニューを選択する



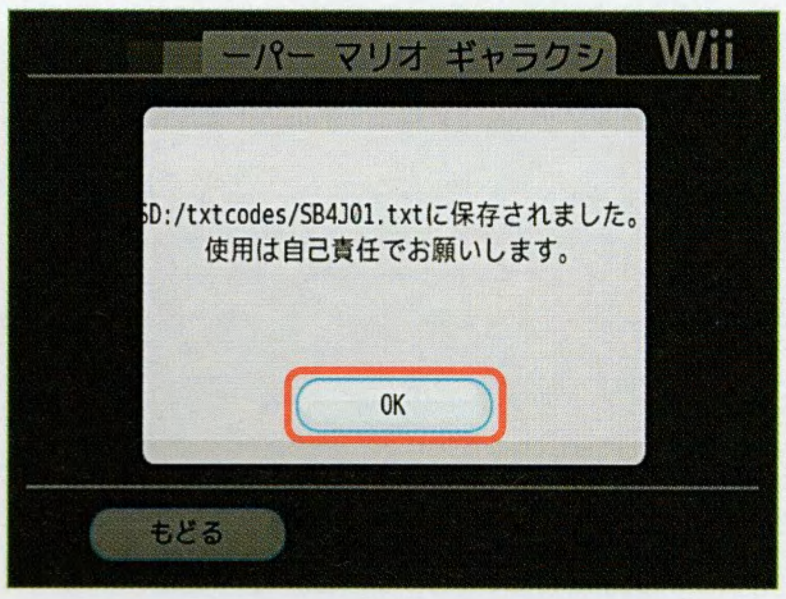
設定メニューの上から2番目にある、「Ocarina」と書かれた項目を選択する。

5 チート項目をダウンロードする



初めてチートコードを利用する場合、上のようなエラーメッセージが表示されるが、かまわず「今すぐダウンロード」を選択する。

6 ダウンロード完了



チートコードのダウンロードが終わったら「OK」を選択。うまくいかない場合はネットへの接続設定を再確認すること。

7 チート項目を選択する



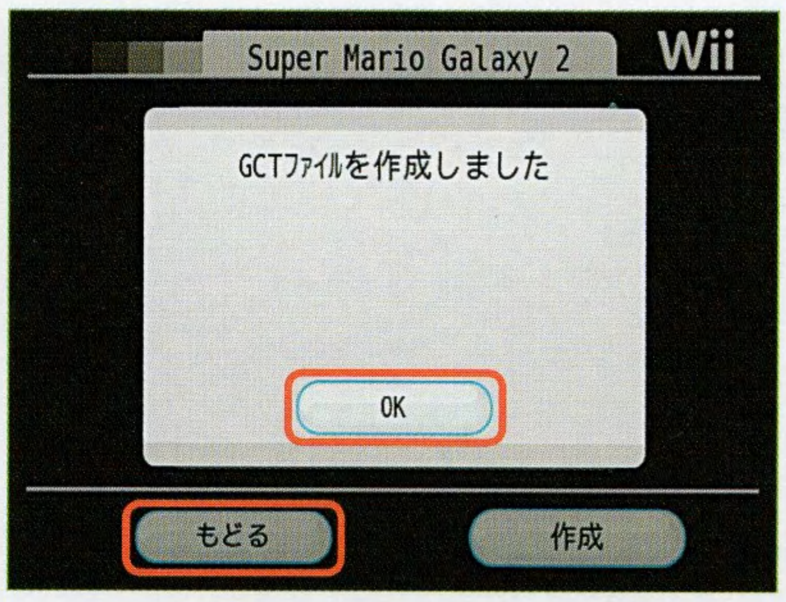
チート内容が表示されるので、改造したい項目を選んで「ON」に変更しよう。複数の項目を同時に選択することも可能。

8 チートファイルを作成する



項目を選択し終えたら、右下の「作成」ボタンを選択。チートファイルを作成する。

9 チートファイルの完成

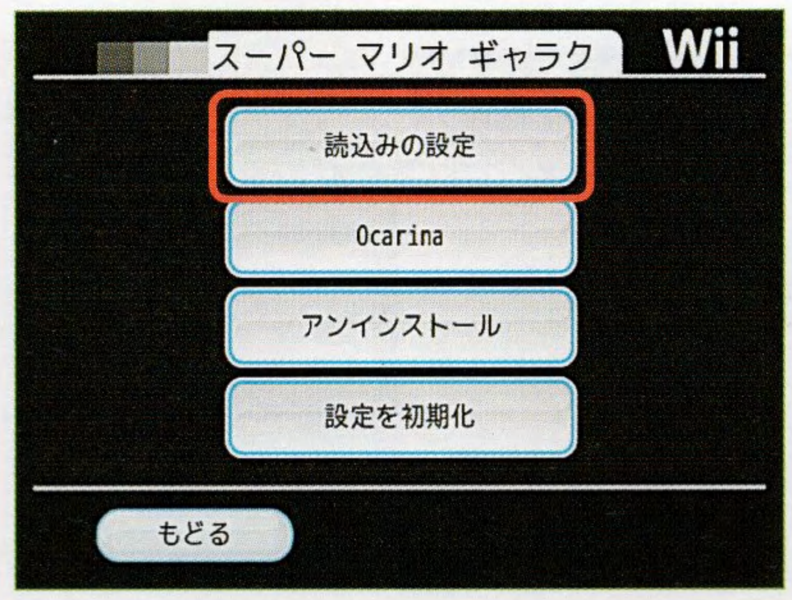


選んだ項目をまとめたチートファイルが、SDカード内に保存される。「OK」ボタンを選択し、「もどる」で設定メニューに戻る。

チートファイルを有効に

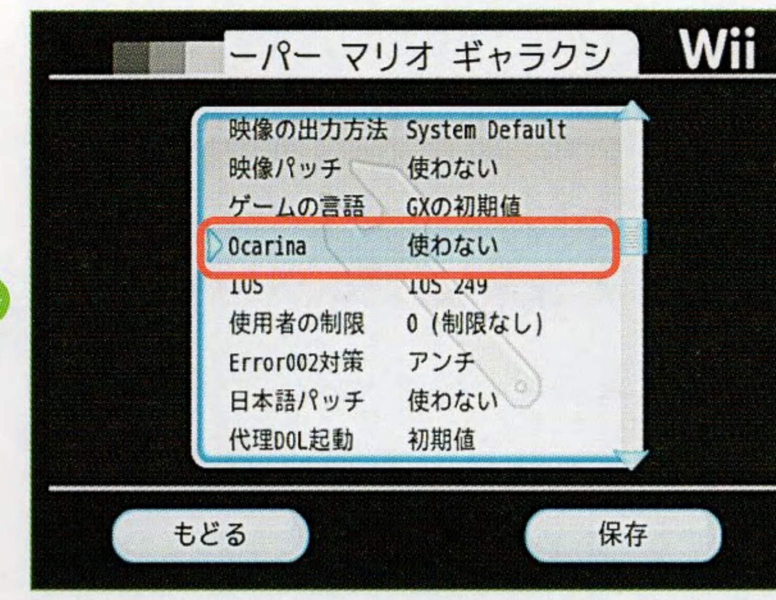
ここまでの手順で作成したチートファイルは、Wii本体にセットしたSDカードに、ゲームタイトルごとに保存されている。ゲーム起動時にこれを読み込み、有効にすることでチートがゲームに反映される。

1 設定メニューに戻る



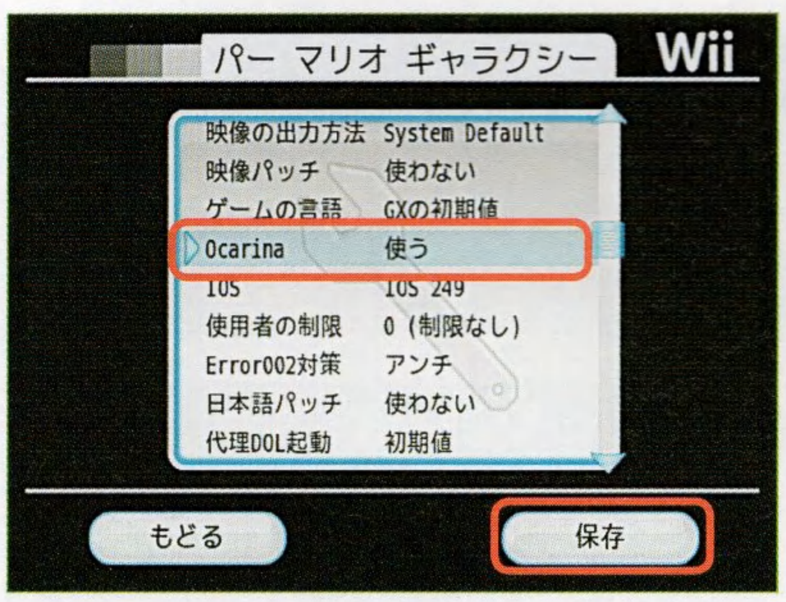
設定メニューに戻ったら、メニューの一番上にある「読込みの設定」を選択。

2 チートを有効にする



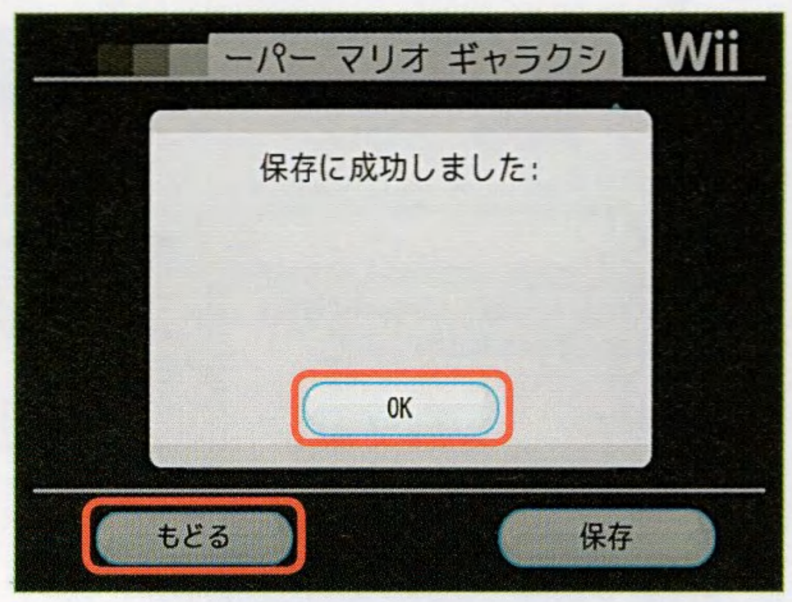
リストの中から「Ocarina」と書かれた項目を選択して「A」ボタンを押す。

3 設定を保存する



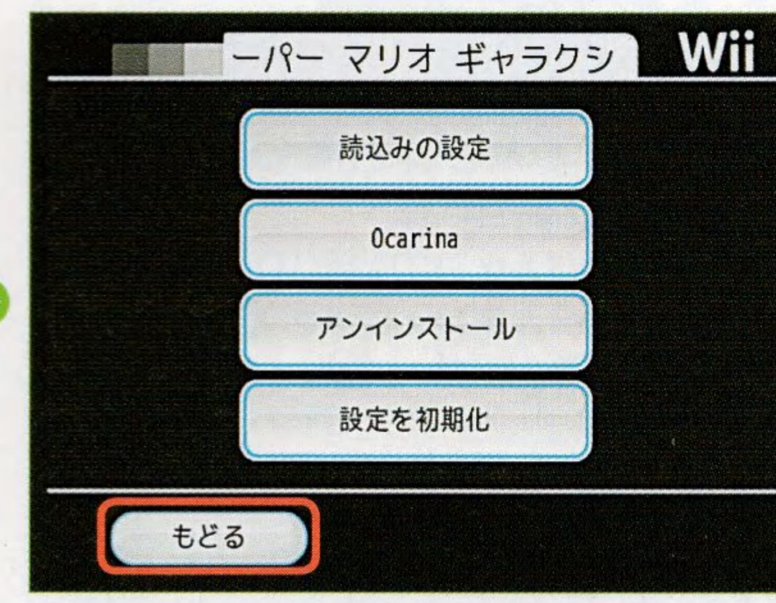
「Ocarina」の設定を「使う」に変更して右下の「保存」を選択。

4 設定メニューに戻る



設定内容を保存したら、「OK」ボタンを選択。続いて「もどる」ボタンを選択してふたたび設定メニュー画面へ。

5 ゲーム選択画面に戻る



すべての設定を終えたら、設定メニュー画面の左下にある「もどる」ボタンを選択。ゲームメニューに戻る。

チートの効果を確認

コードを適用したゲームを起動し、チートが反映されているか確認しよう。なお、チートプレイ中は本来想定していない動作によって、Wiiがフリーズする可能性が高まる。大切なセーブデータは保存しておこう。

1 ディスクアイコンを選択



ゲームメニューから、ディスクのアイコンを選択し、「A」ボタンで読み込む。

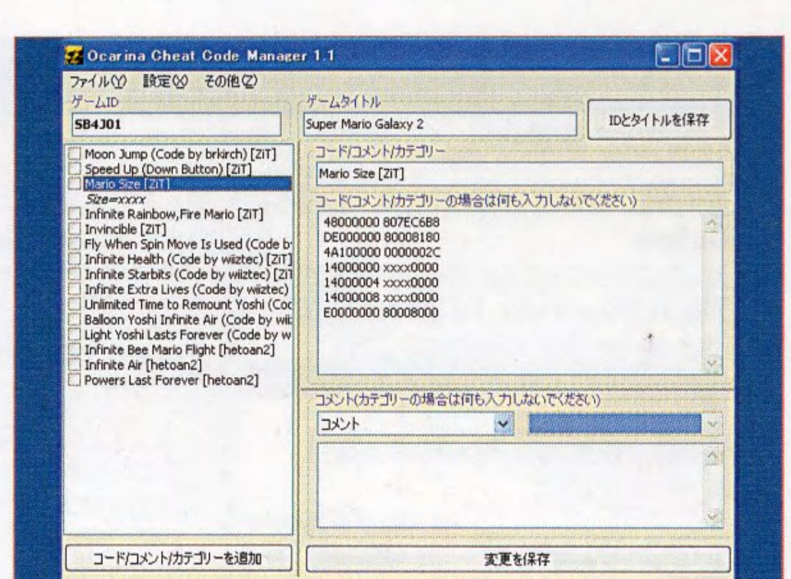
2 ゲームを起動する



ゲームが起動するので、チートの効果が確認できる場面までゲームを進行しよう。

手動での編集が必要なチートコードもある Attention!

ダウンロードしたチートコードの中には、手動で内容を編集しないと効果が現れないものもある。チートコードの編集は、パソコン上で専用のソフトを使って行なう。より幅広いゲームの改造プレイを楽しむため、次ページで紹介している手順を参考に、チートコード編集ソフトの使い方を覚えよう。



専用ソフトではひとつひとつのコードを確認しながら、個別に編集することが可能だ。

3 チートの効果を確認

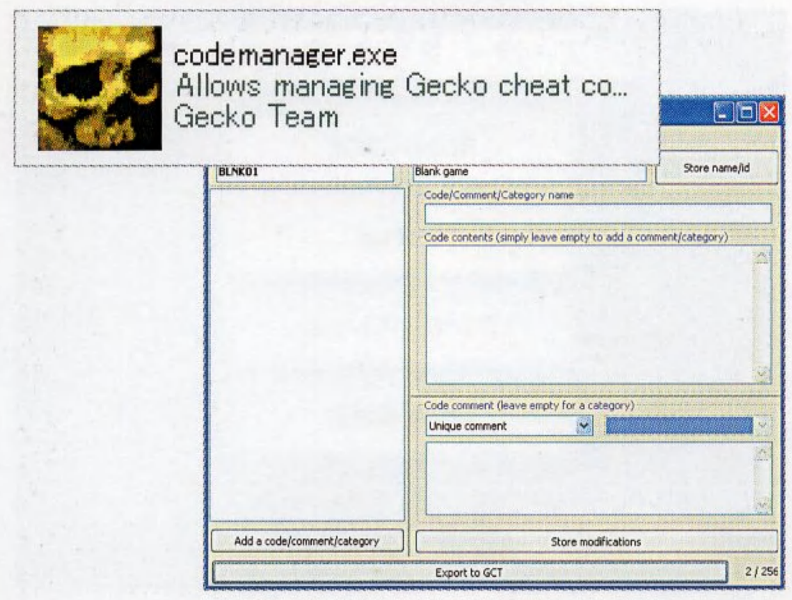


チートが反映されているのを確認しよう。ここでは、「Infinite Starbits」を「ON」にして「星のカケラ」を増加させている。

チートコードを手動で編集する

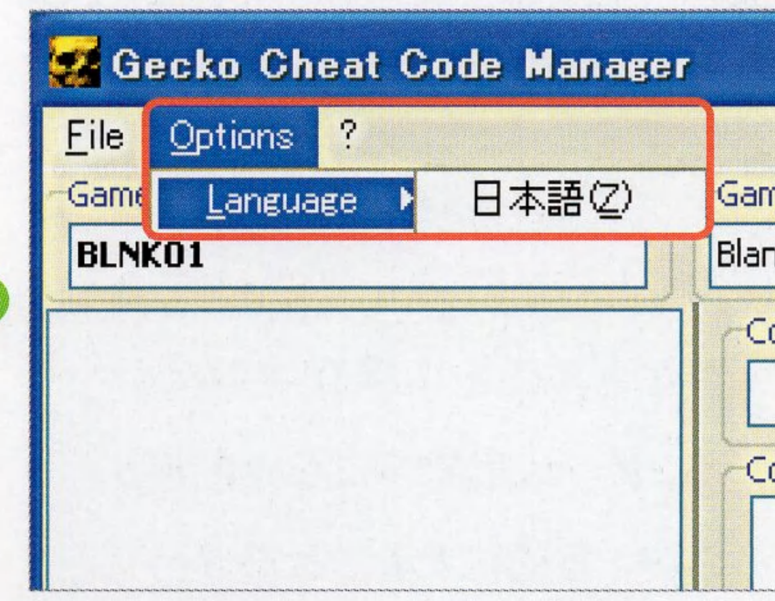
ここではチートコードを手動で編集する改造テクニックを覚えよう。編集には90ページの手順でダウンロードしたコードを使用するため、使用したSDカードをWiiから取り外し、パソコンにセットしておくこと。

1 チートコード編集ツールを起動



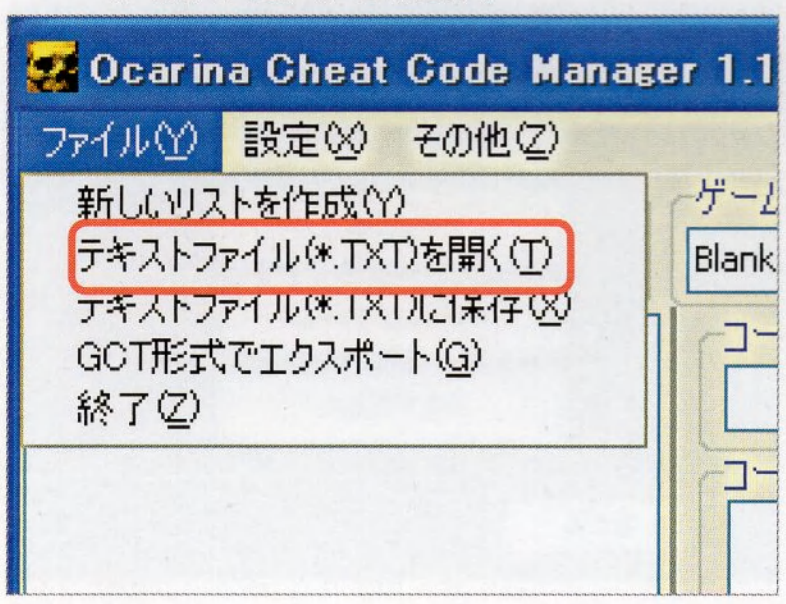
まず編集ツールである「codemgr.1.2.zip」を解凍して、「codemanager.exe」を起動する。

2 表示を日本語化する



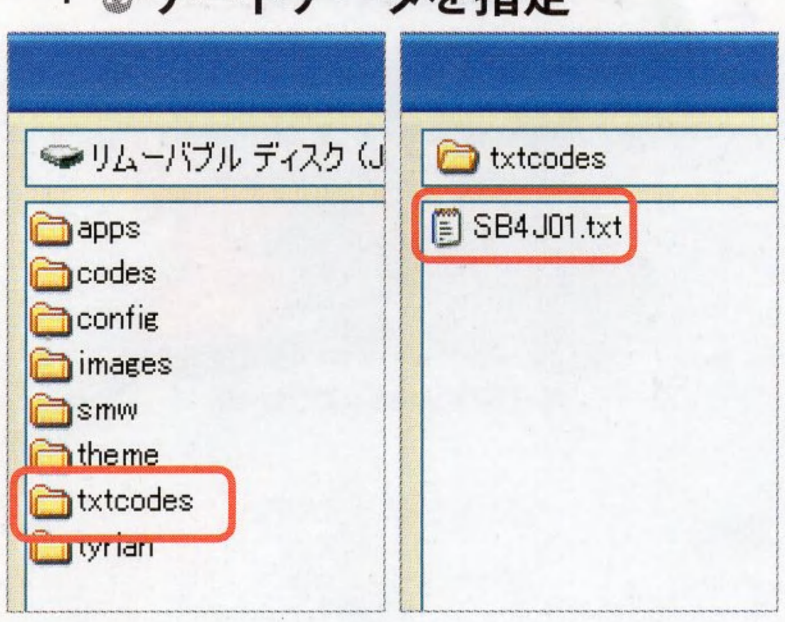
上部メニューから「Options」→「Language」を選択。「日本語」をクリックし、メニュー表示を日本語化する。

3 テキストファイルの読み込みを選択



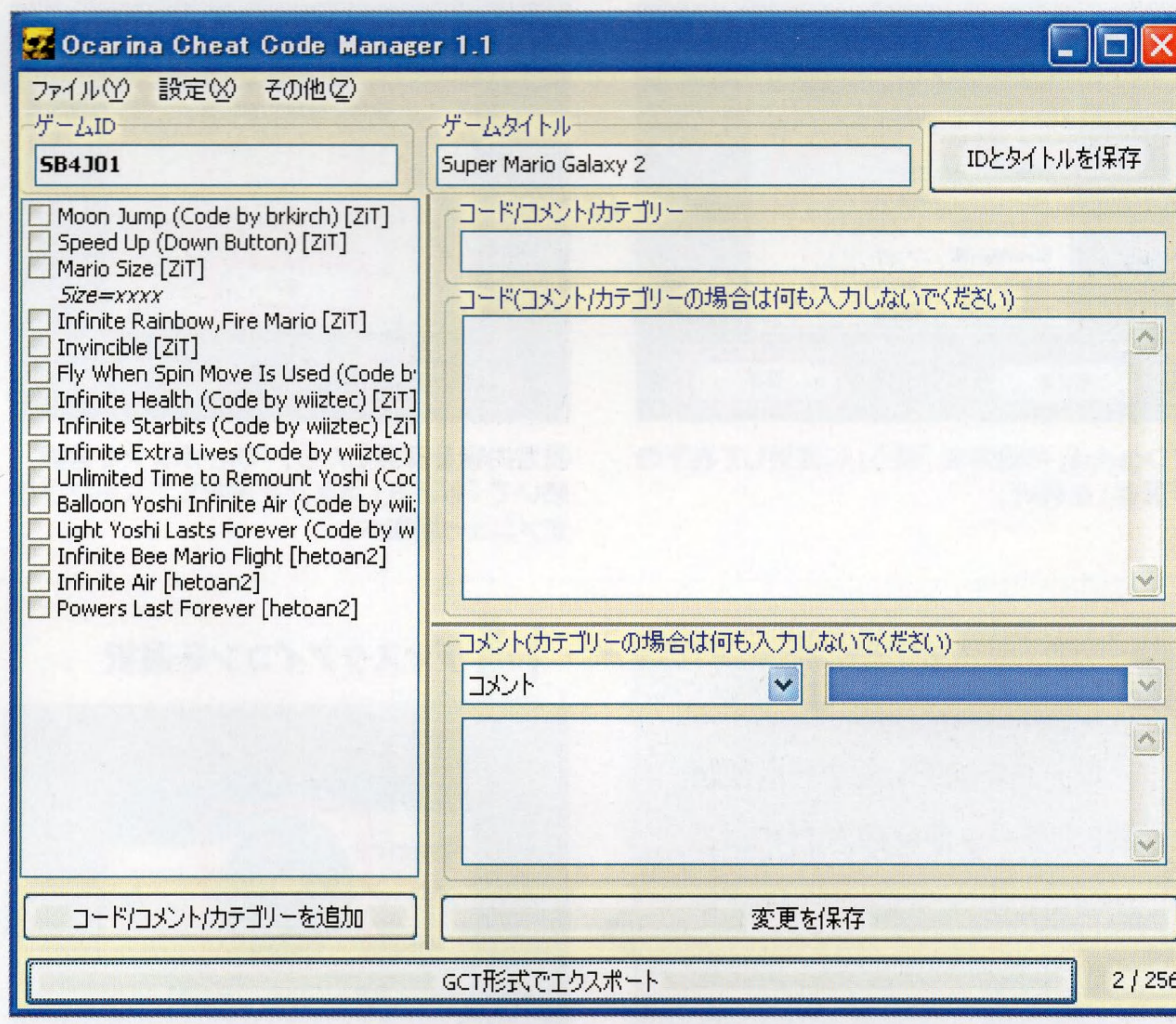
「ファイル」メニューから「テキストファイル(*.TXT)を開く」を選択。

4 SDカード内のチートデータを指定



SDカードを選択し、「txtcodes」フォルダ内のTXTファイルを選択。編集するチートのファイル名は90ページの手順6の段階で確認すること。

5 チートデータファイルを読み込む

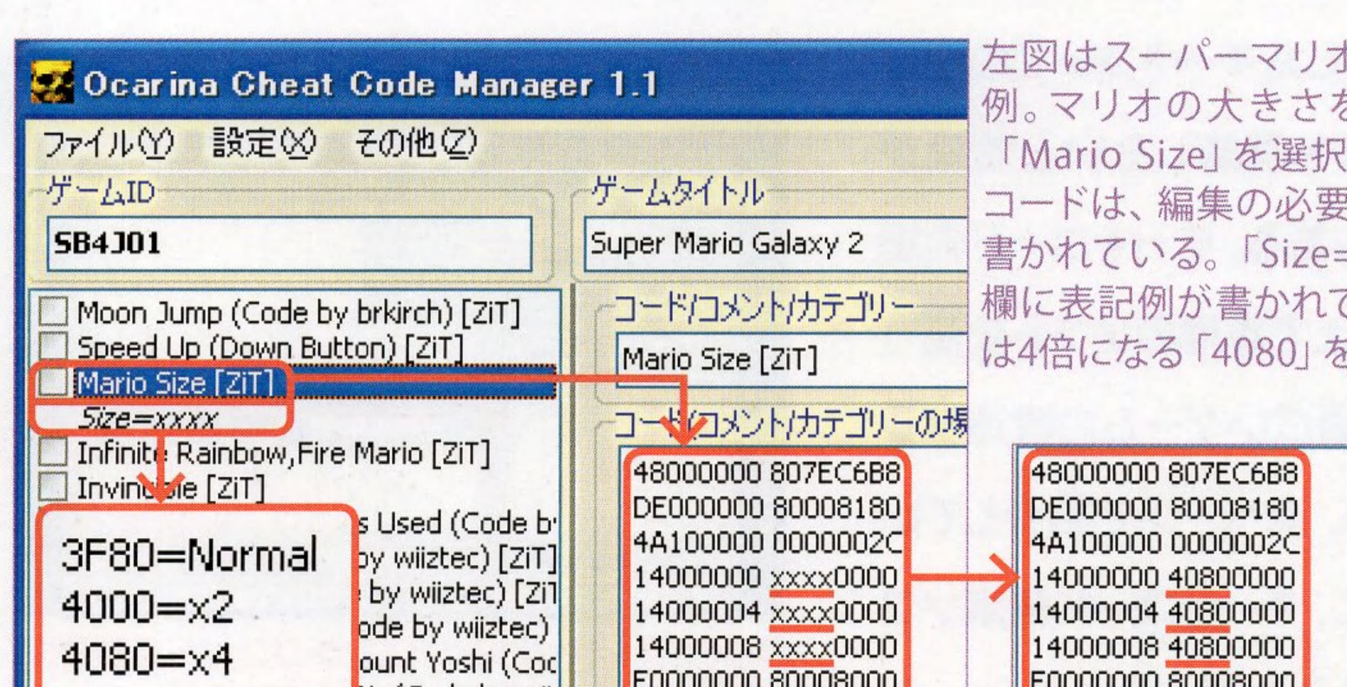


テキストファイルを読み込むと、編集ツール上にチートコードの内容が表示される。左側のリストで選択したチートコードは、右側に表示される。ここを直接編集することで新たなコードを作成する。

テキスト上の表記を確認してチートコードを編集しよう

Point

チートコードの編集方法は、それぞれのコードによって異なる。多くの場合は、編集するコードの下に配置されている説明文を選択すると、右側ウインドウ内の「コメント」欄に具体的な編集方法が表示される。これを参考に目的のコードを作成しよう。

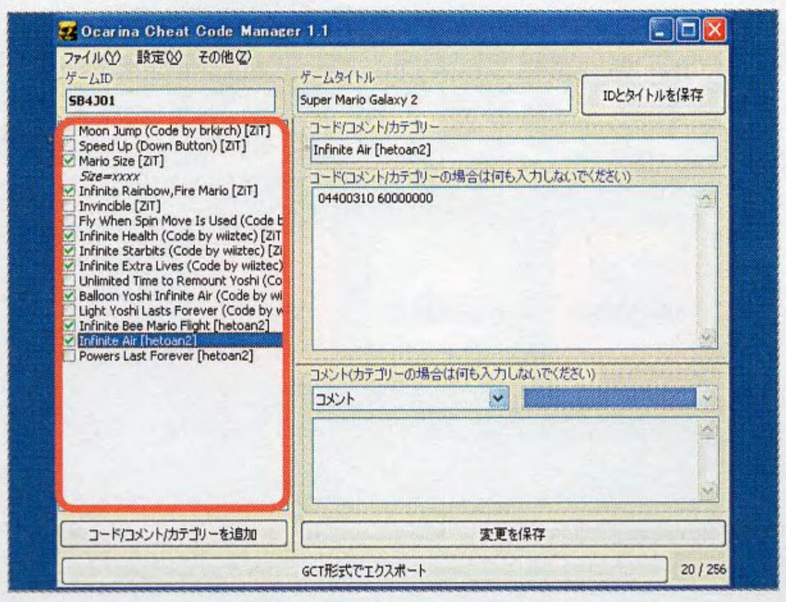


左図はスーパーマリオギャラクシー2の例。マリオの大きさを変更するチート「Mario Size」を選択すると表示されるコードは、編集の必要箇所が「xxxx」と書かれている。「Size=xxxx」のコメント欄に表記例が書かれているので、ここでは4倍になる「4080」を入力した。

チート項目を選択しファイル出力

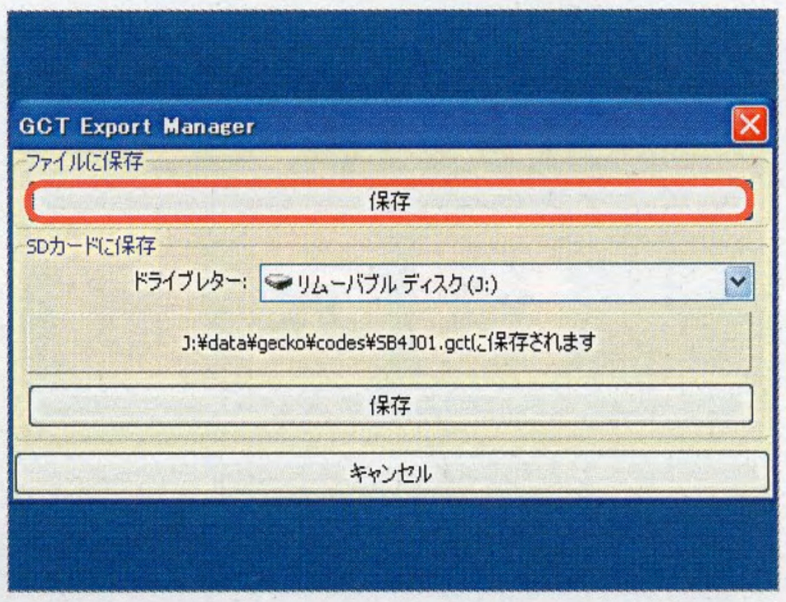
チートコードの編集を終えたら、有効にするチートコードを選択してチートファイルとして出力する。チートファイルの出力先フォルダは、チートコードのテキストを読み込んだフォルダとは異なるので注意しよう。

1 PC 編集したチート項目をチェック



左側のリストから有効にしたい項目を選び、チェックボックスにチェックを入れる。

2 PC ファイルの出力を選択



項目を選んだら下部の「GCT形式でエクスポート」を選択。「ファイルに保存」欄にある上側の「保存」ボタンをクリックする。

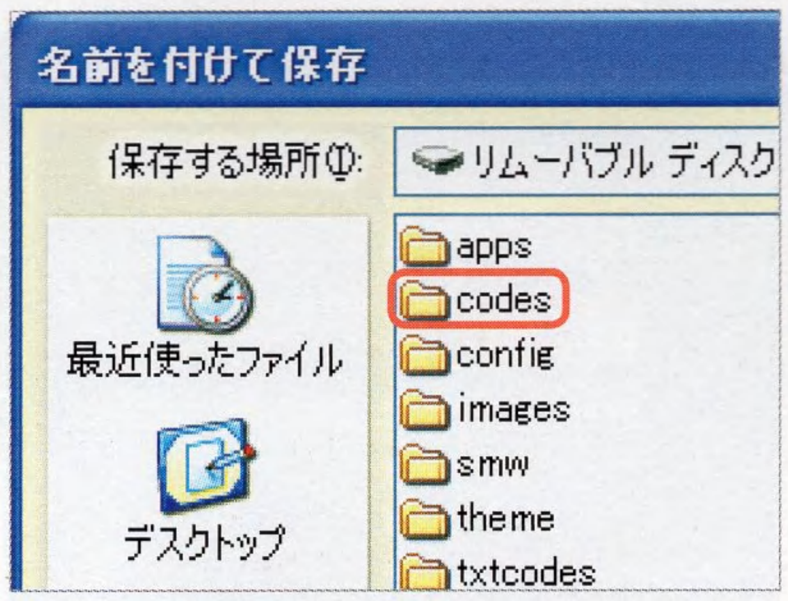
保存先のファイル名 Attention!

複数のチートファイルを保存している場合は、ゲームIDを確認してデータの保存を行なおう。



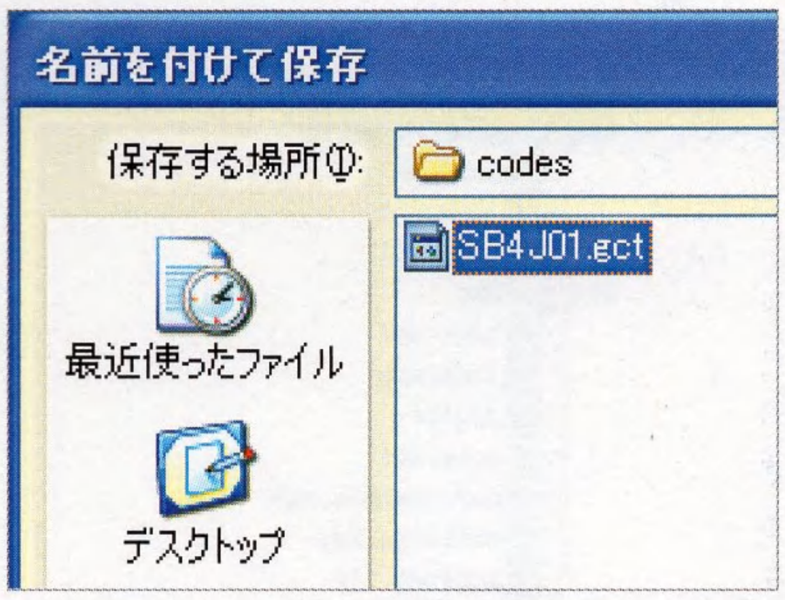
ゲームIDはウインドウ左上に表示される。

3 PC 出力先フォルダを選択



出力先は「codes」フォルダを選択する。

4 PC チートコードを出力する

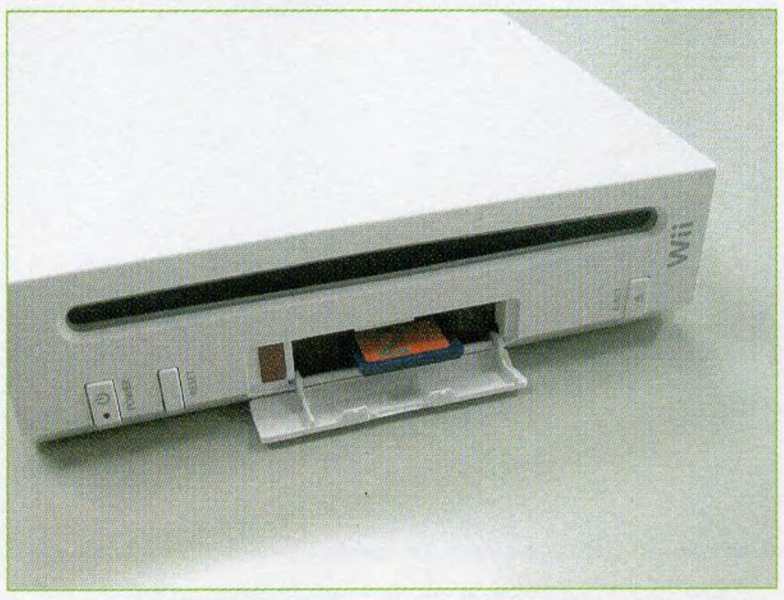


「ゲームID名+.gct」という名前になっているチートファイルを選択し、「保存」ボタンをクリックしてデータを上書きする。

オカリナでチートコードを適用

作成したチートファイルを読み込み、チートを適用しよう。なお、パソコンで編集したあとで再度90ページのチートファイル作成手順を行なうと、編集したファイルが上書きされてしまう。これには十分注意したい。

1 Wii SDカードをWiiにセット



チートファイルを書き込んだSDカードを、ふたたびWii本体にセット。

2 Wii ゲームローダーを起動する



USB Loader GXを起動し、チートの対象となるゲームを選択する。

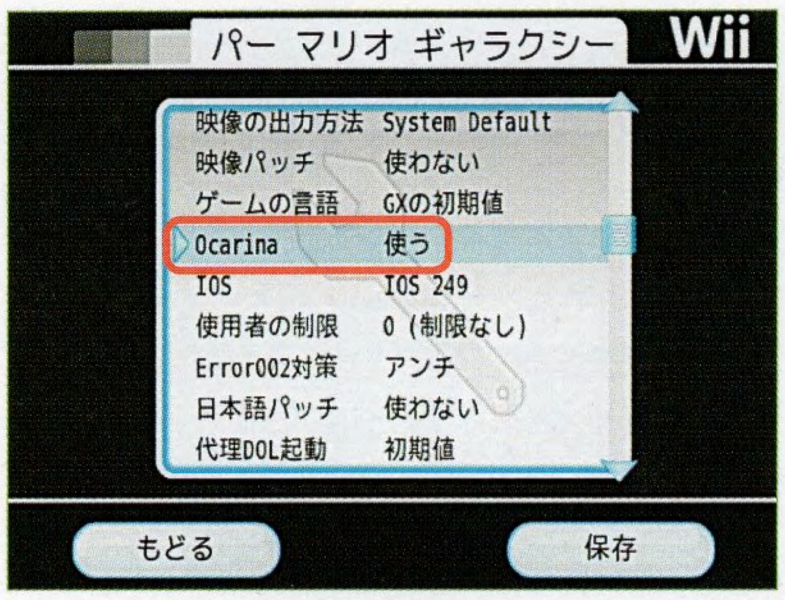
ゲームのフリーズに注意 Attention!

手動でチートコードを編集した場合は、よりフリーズする危険が高まる。コードの編集は正確に行なうこと。



巨大マリオでゲームを進行すると、かならずフリーズするイベントもあるようだ。

3 Wii チートを有効にする



設定メニューから「読込みの設定」を選び、「Ocarina」を「使う」に設定。91ページですでに設定した場合はそのままでOK。

4 Wii ゲームを起動する



ゲームを起動し、チートの適用を確認しよう。マリオが巨大化（4倍サイズ）し、画面からハミだしているのがわかる。

WiiでDVD-Videoを再生する

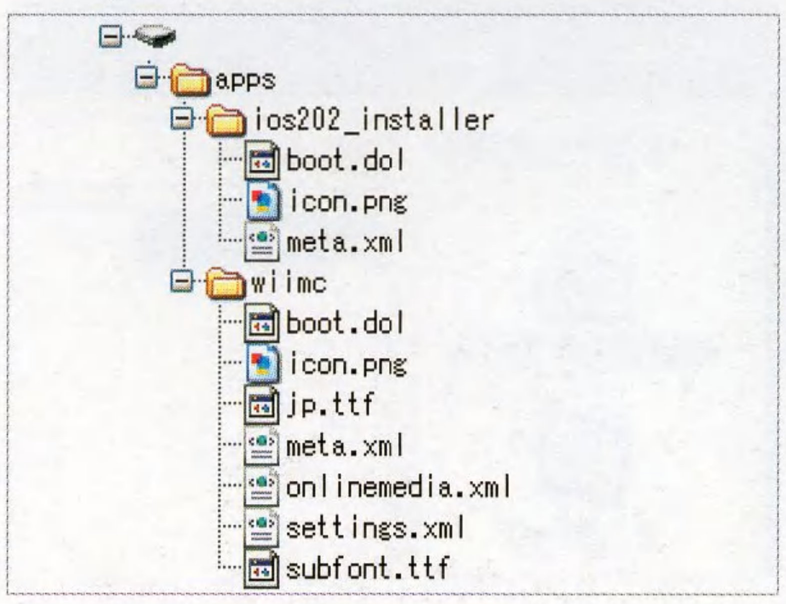
Wii　PC　SD　Card reader　Game　media　etc

ゲームディスクとしてDVDと互換性のあるメディアを使用していながら、DVD-Videoの再生機能をもたないWii。DVDの読み込みを可能にするIOS（内部システムファイル）とDVDプレイヤーソフトの導入で、WiiをDVDプレイヤーにしてしまおう。

WiiMC Ver.1.0.4
作者名●Tantric
ファイル名●WiiMC 1.0.4 (New Install).zip
URL●http://www.wiimc.org/

IOS 202 Installer
作者名●Tantric
ファイル名●IOS 202 Installer.zip
URL●http://www.wiimc.org/

1 ファイルをSDカードに配置



「WiiMC 1.0.4 (New Install).zip」と「IOS 202 Installer.zip」を解凍し、SDカードへコピー。

2 IOSインストーラを起動



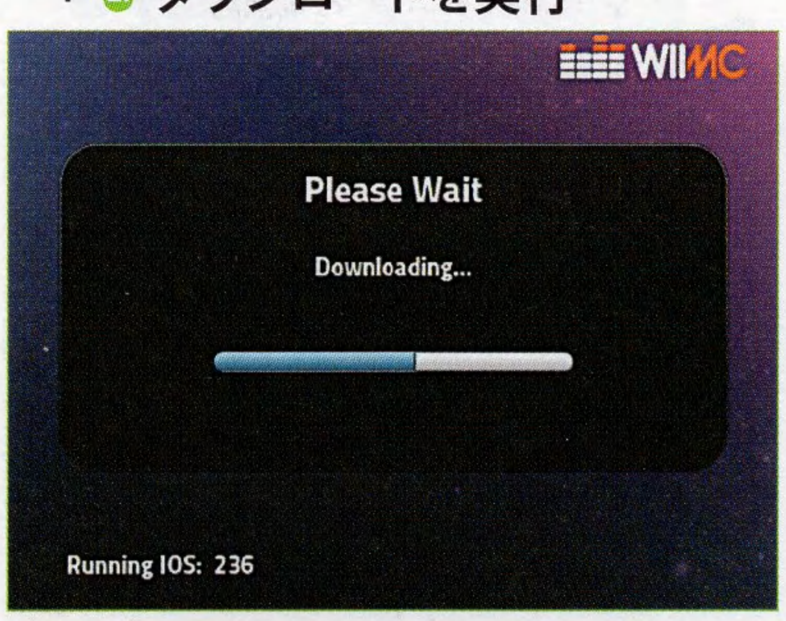
まずはWii本体にDVDの読み込み機能を追加する「IOS 202 Installer」をHBCから起動。

3 IOSファイルのインストールを開始



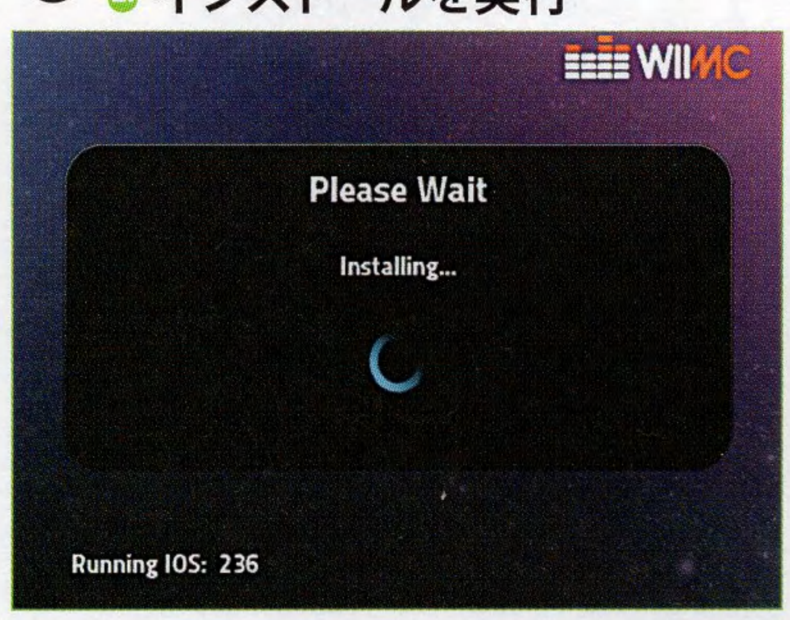
IOSインストーラが起動したら「Install」ボタンにカーソルを合わせ、「A」ボタンで決定する。

4 IOSファイルのダウンロードを実行



IOSファイルのダウンロードが自動的に開始する。エラーが出る場合はWii本体のネットワーク接続を確認しよう。

5 IOSファイルのインストールを実行



ダウンロードが終わると、そのままIOSファイルのインストールに移る。インストールが完了するまでしばらく待とう。

6 IOSのインストールが完了！



「Installation Successful!」と表示されたら中央の「OK」ボタンを選択し、IOSインストーラを終了しよう。

プレイヤーソフトを日本語化

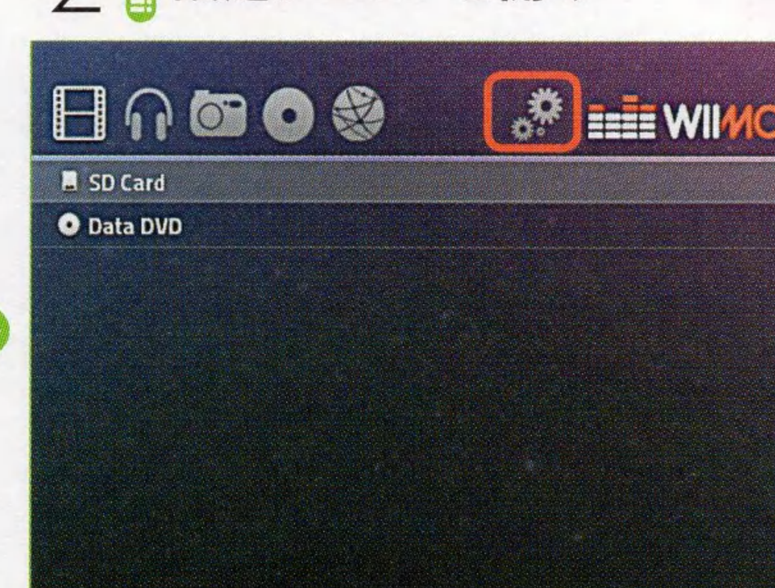
再生に使用するプレイヤー「WiiMC」は海外ソフトのため、初期状態では英語表記になっている。オプション設定を行ない、日本語フォントをダウンロードして表示を日本語にしよう。

1 DVDプレイヤーソフトを起動



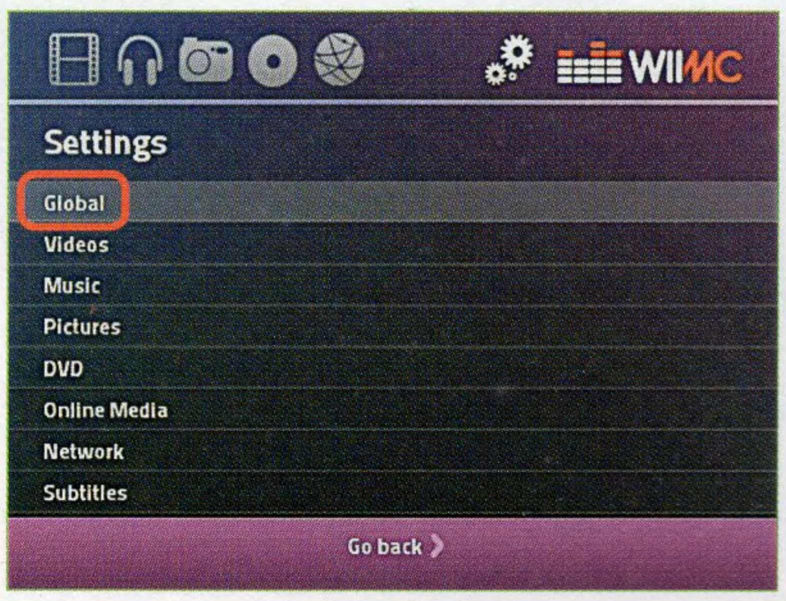
HBCから「WiiMC」を起動。アイコンがIOSインストーラと同じなので間違えないように。

2 設定メニューを開く



WiiMCのメインウインドウ右上にある「歯車型アイコン」にカーソルを合わせ、「A」ボタンを押して設定メニューに移動。

3 グローバル設定を選択



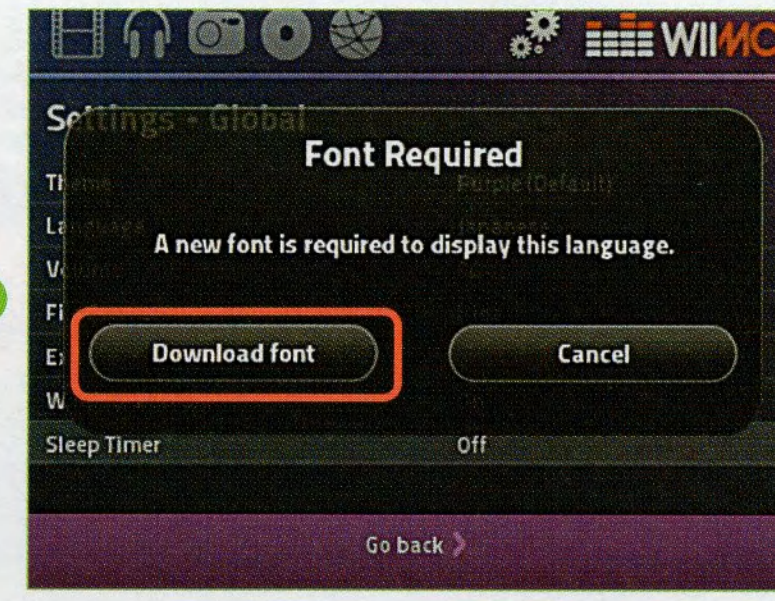
設定メニューから一番上の「Global」を選択。メニュー画面での操作は「A」ボタンで決定、「B」ボタンでキャンセルとなる。

4 言語が日本語になっているのを確認



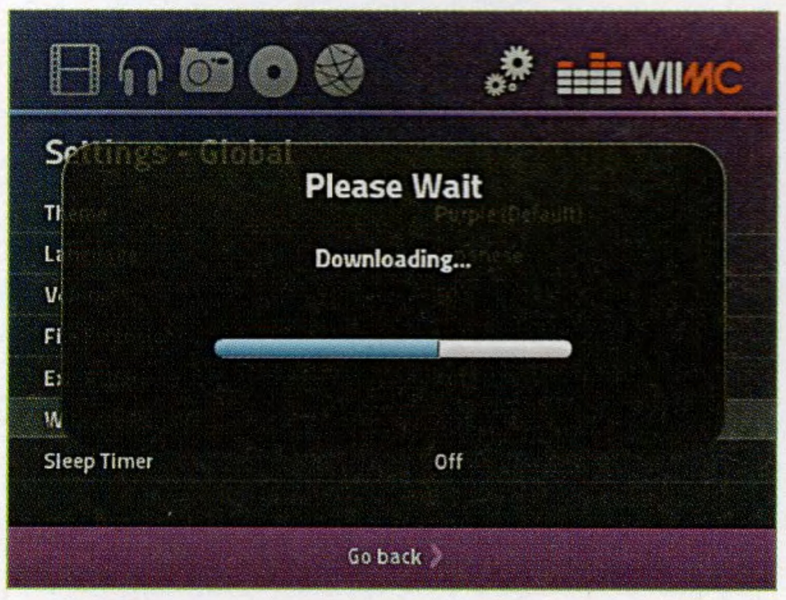
「Language」欄が「Japanese」となっているのを確認したら、そのまま下部の「Go back」を選択する。

5 フォントのダウンロードを開始



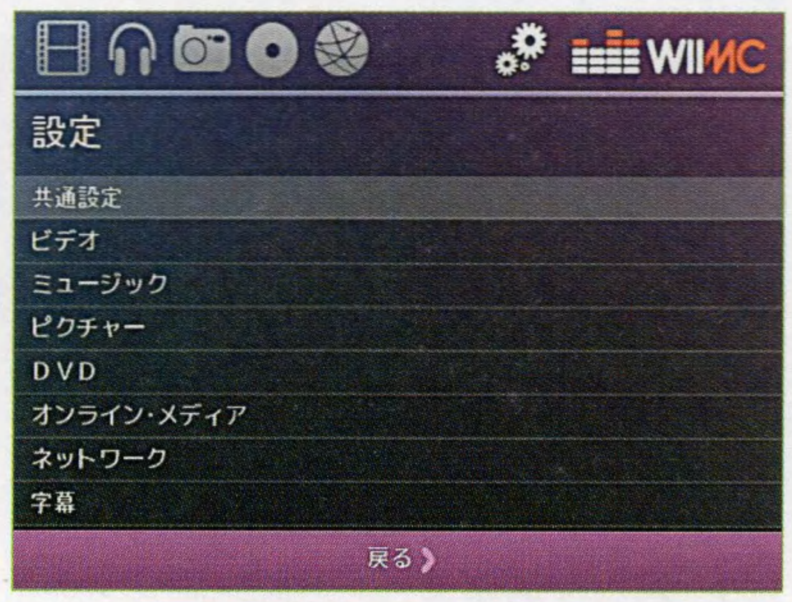
「Font Required」と書かれたダイアログが表示されるので、「Download font」を選択。フォントをダウンロードする。

6 フォントのダウンロードを実行



フォントのダウンロード状況は、画面中央の表示で確認できる。青いゲージがいっぱいになるまでしばらく待とう。

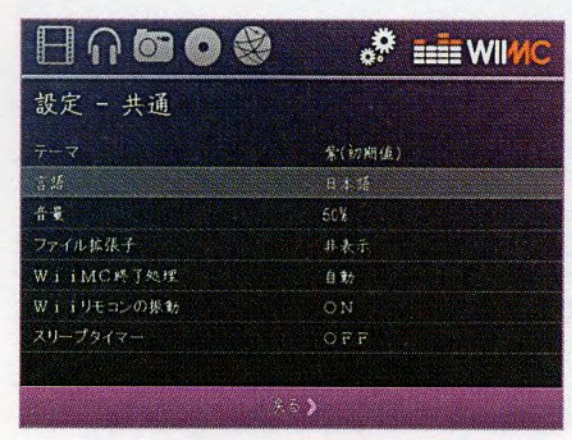
7 日本語化を確認する



ダウンロードが完了したら、設定画面の表記が日本語になっているのを確認しよう。

フォントの差し替えも可能 Point

ダウンロードしたフォントは、別のトゥルータイプフォントに差し替えが可能。最適なフォントを探してみよう。



フォントを「jp.ttf」にリネームし、「WiiMC」フォルダ内に上書きすると変更できる。

WiiでDVDを再生する

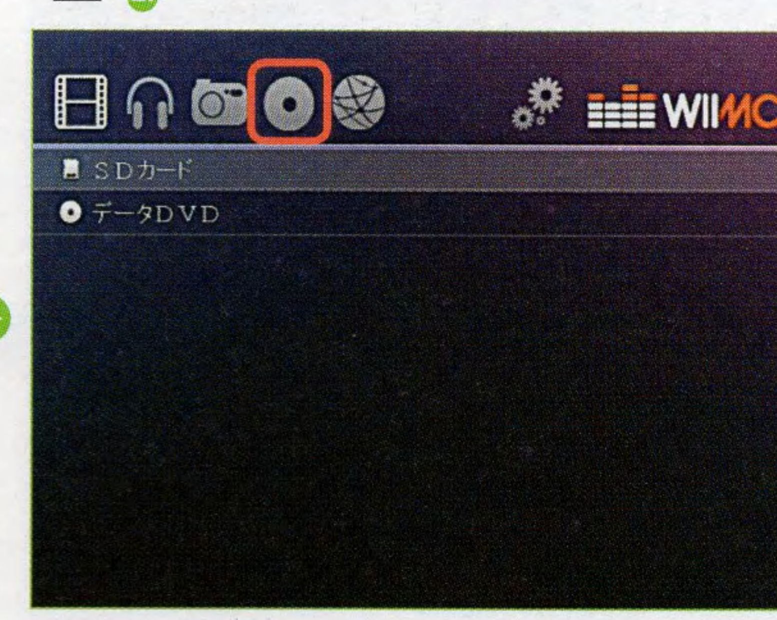
あとはソフトをWiiにセットして再生ボタンを押すだけで、DVD-Videoを再生できる。再生中の早送りや巻き戻しなどの操作はWiiリモコンで行なうので、操作方法を覚えておこう。

1 DVDソフトをWiiのドライブにセット



Wii本体に再生したいDVDソフトをセット。

2 DVDアイコンを選択



WiiMCの上部メニューから、DVDをあらわす円盤状のアイコンを選択。「A」ボタンを押してDVDの再生を開始しよう。

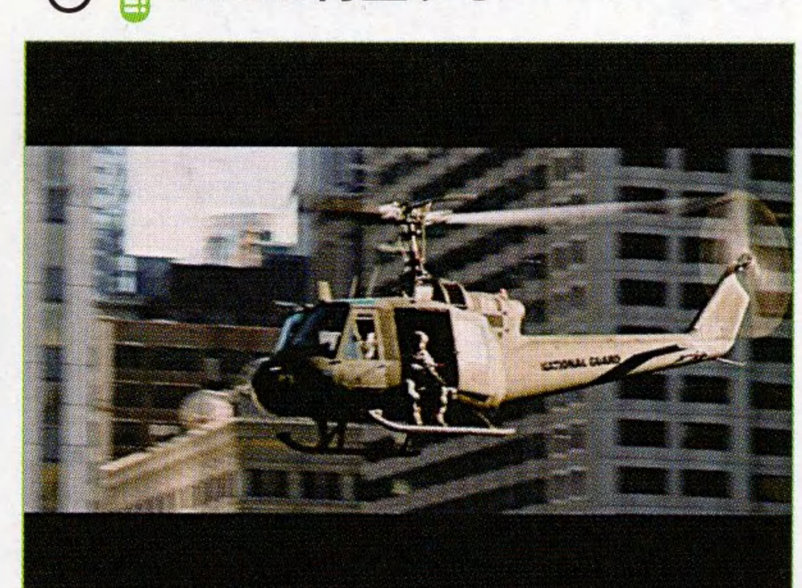
DVD再生中の操作方法 Point

DVD再生中は、Wiiリモコンでさまざまな操作を行なえる。十字キーの上下で字幕と音声のチャンネル変更、左右で30秒のスキップ移動が可能。また、リモコンを画面に向けずに「A」ボタンを押すと一時停止／再生になる。メニュー画面に戻る場合は、HOMEボタンだ。



リモコンを画面に向けると表示されるボタンからは、早送りや巻き戻しなども可能。

3 DVDを再生する



DVDメニューはWiiリモコンの十字キーで選択し、「A」ボタンで決定しよう。ここではWiiリモコンのポインタ操作は使用できない。

動画・音楽ファイルを再生する

Wii PC SD Card reader Game media etc

容量が比較的小さくSDカードなどで手軽にもち運べる、パソコン用の動画ファイルや音楽ファイル。Wiiにこれらのメディアファイルを再生するオリジナルソフトを導入し、リビングのテレビで動画や音楽を再生しよう。

MplayerWii Ver.0.07
作者名●Christophe Thibault
ファイル名●MPlayerWii-0.07.zip
URL●http://ronwarez.com/mplayerwii/

No Soft

Wiiでパソコン用の動画を再生



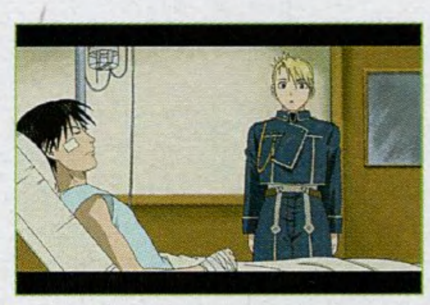
今や動画や音楽ファイルは、容量を節約できるパソコン用データでの保存が常識。Wiiにメディアプレイヤーを導入し、再生可能にしよう。

MplayerWiiの対応ファイル形式

動画ファイル

音楽ファイル

SD画質



動画の大きさは720×480が上限

Wiiの出力解像度は720×480の、いわゆるSD画質が最大。これ以上のサイズの動画を再生すると、フリーズの原因になる。

●対応ファイル形式
AVI,WMV,MKV,OGM,MP3,FLV,MP4,M4V,3GP,QuickTime

●対応動画コーデック
Xvid,DivX,H.264,Windows Media,MPEG-1/2

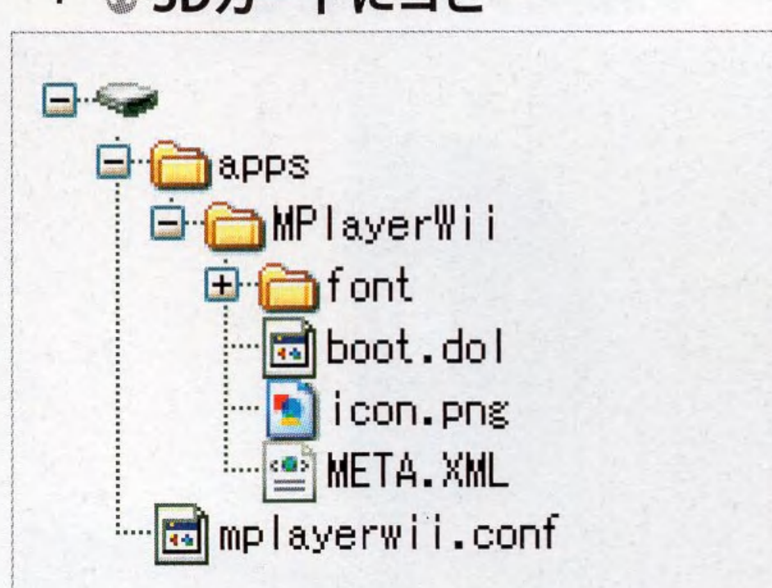
●対応音声コーデック
MP1/2/3,AAC,Windows Media

動画や音声の形式には数多く対応しており、パソコンやネット上などで一般的に使われる形式ならほとんど再生できる。

動画とプレイヤーをコピーする

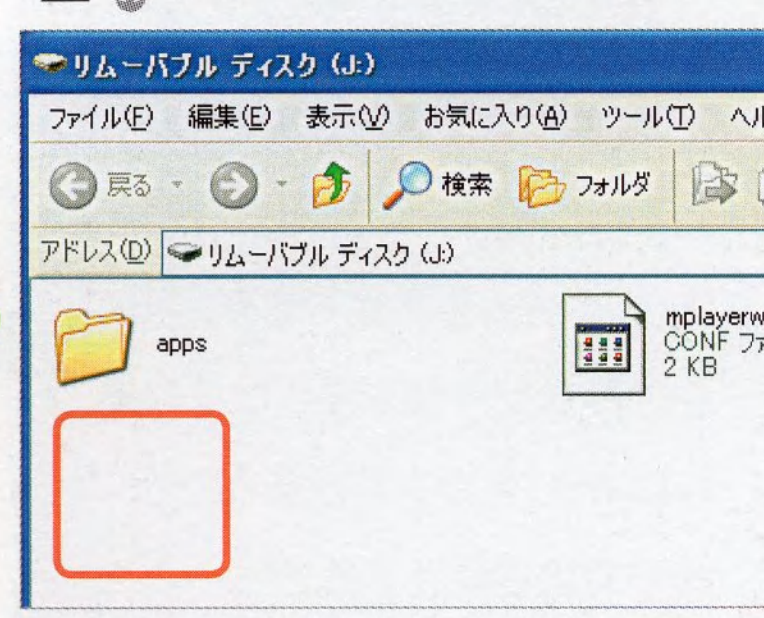
SDカードに、メディアプレイヤーと動画ファイルをコピーする。パソコン用動画ファイルは、DVD-Videoに比べると容量は少ない。しかし、大量にコピーする場合は、大容量のSDカードを用意しておこう。

1 メディアプレイヤーをSDカードにコピー



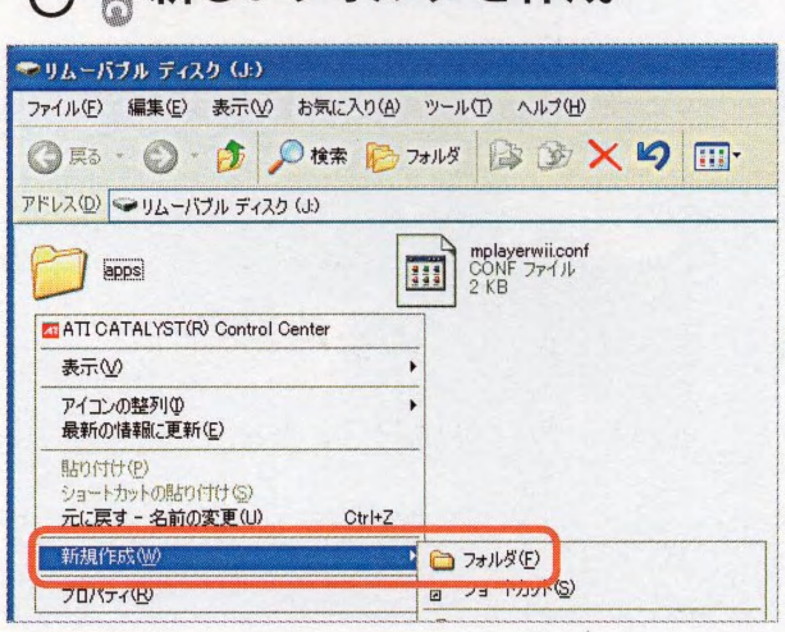
「MPlayerWii-0.07.zip」を解凍し、「apps」フォルダと「mplayerwii.conf」を上図のようにSDカードにコピーしよう。

2 右クリックメニューを開く



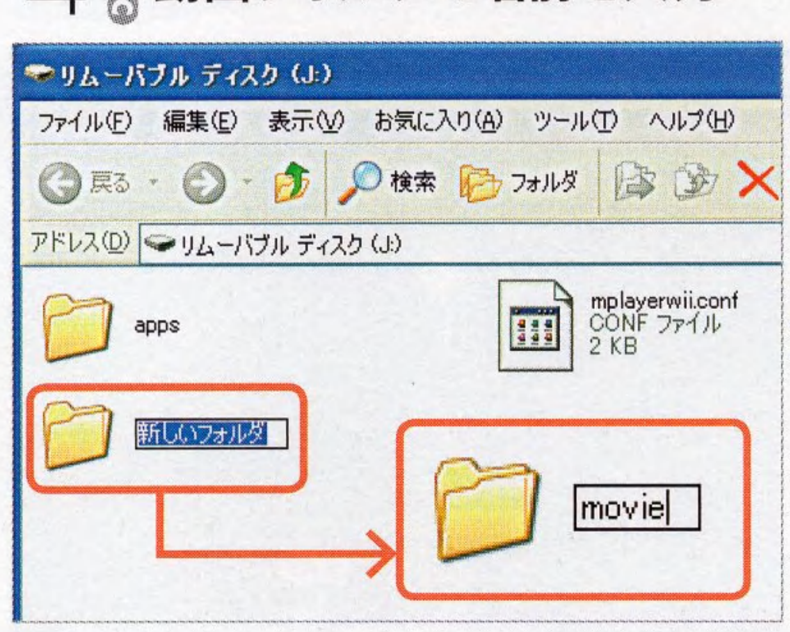
SDカードをエクスプローラなどで開き、ウインドウ上のアイコンを指定していない状態でマウスを右クリックする。

3 新しいフォルダを作成



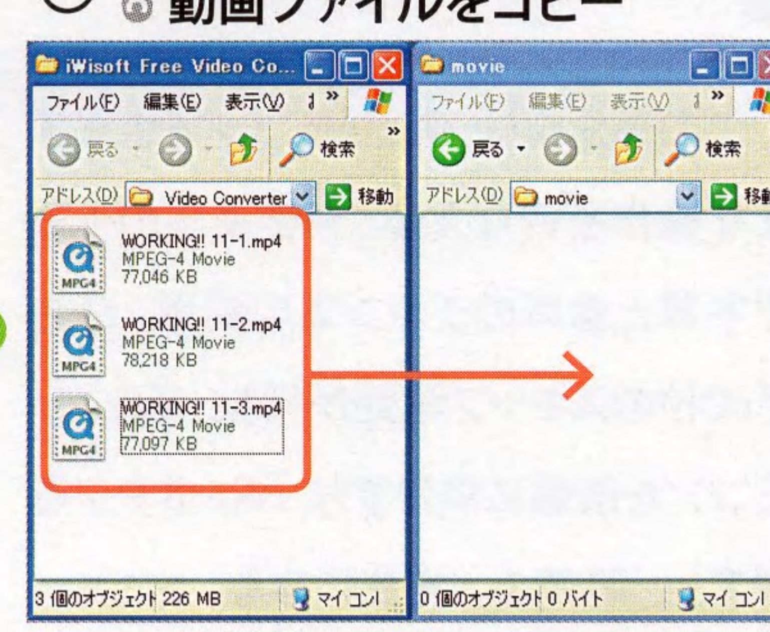
右クリックメニューから「新規作成」→「フォルダ」を選択し、新しいフォルダを作成しよう。

4 動画フォルダの名前を入力



フォルダ名が日本語だとMplayerWiiでは認識できない。「movie」など、わかりやすい名前を半角英数文字で入力しよう。

5 作成したフォルダに動画ファイルをコピー



作成したフォルダ内に、動画ファイルや音楽ファイルをコピーする。

メディアプレイヤーで動画再生

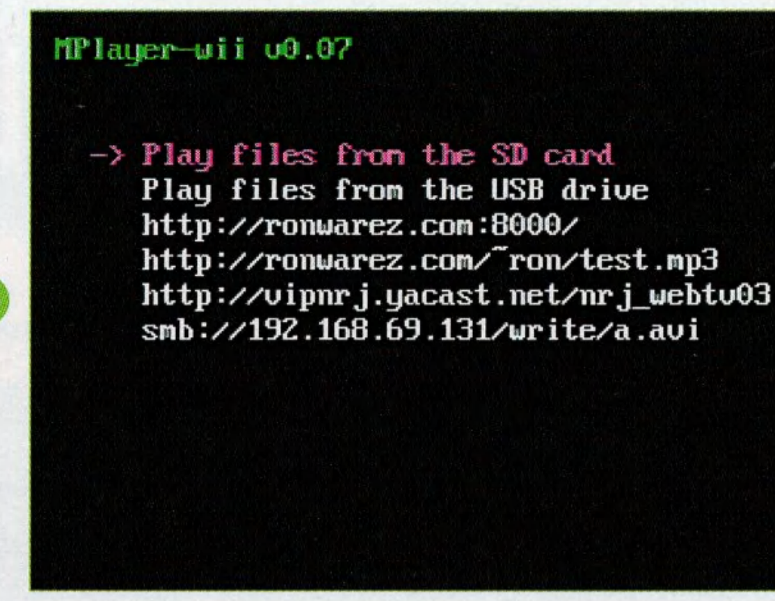
プレイヤーソフトと再生したい動画ファイルや音楽ファイルをコピーしたら、SDカードをWiiにセットしてHBCを起動。これでパソコン用の動画&音楽ファイルをWiiで再生できる。

1 メディアプレイヤーを起動



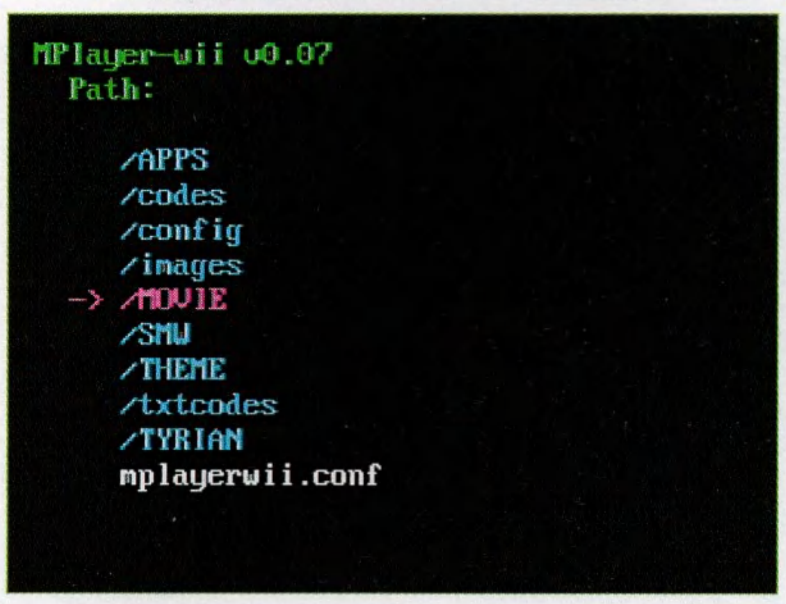
Homebrew channelから、「Mplayer-Wii」を選択。「A」ボタンで起動しよう。

2 リストからSDカードを選択



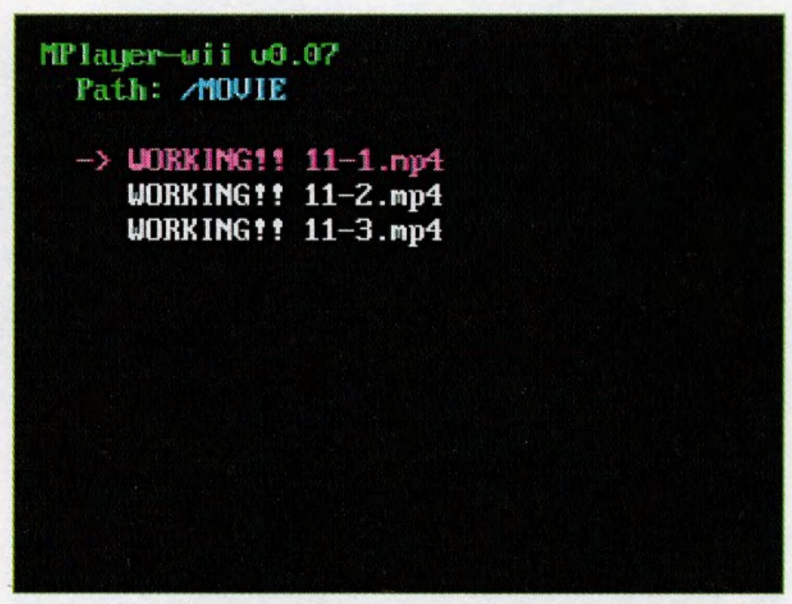
メニューの一番上にある「Play files from the SD card」を「A」ボタンで選択する。

3 動画を保存したフォルダを選択



さきほど動画ファイルをコピーした「movie」フォルダをリモコンの十字キー上下で選択し、「A」ボタンで決定しよう。

4 動画ファイルを選択



フォルダ内の動画ファイルを「A」ボタンで選択。フォルダ選択を間違えた場合、HOMEボタンで前のフォルダ階層に戻れる。

5 動画を再生する

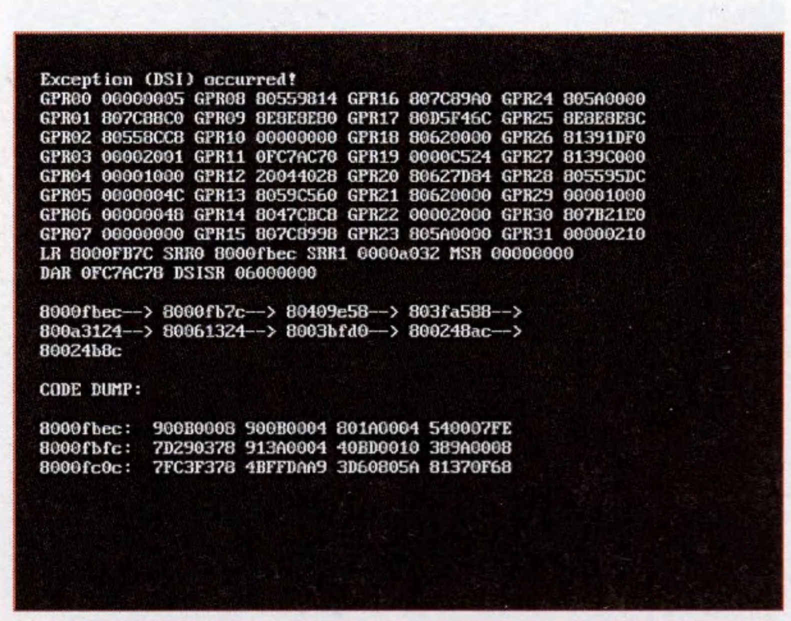


選択した動画の再生が始まる。ファイルメニューに戻るときはHOMEボタンを押そう。

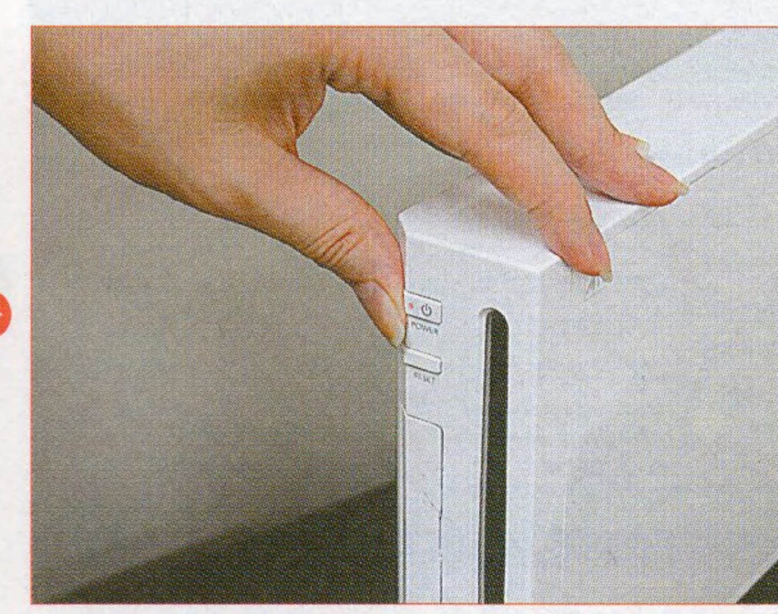
未対応の動画ファイルを再生するとWiiがフリーズしてしまう

Attention!

サイズが720×480を超える動画や、非対応コーデックを含む動画など、MplayerWiiに対応していない動画ファイルを再生すると、Wiiがフリーズしてしまう。この場合、Wiiを強制シャットダウンしよう。なお、再生できない動画ファイルは、パソコンの動画編集ソフトで対応形式に変換するしかない。



動画再生時に上のような英数字の羅列が表示されたら、Wiiがフリーズしてしまった合図。

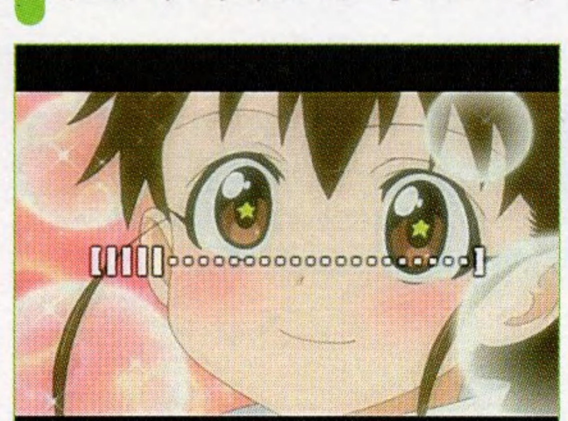


Wii本体前面の電源スイッチを、ランプが赤くなるまで長押しして電源を切ろう。

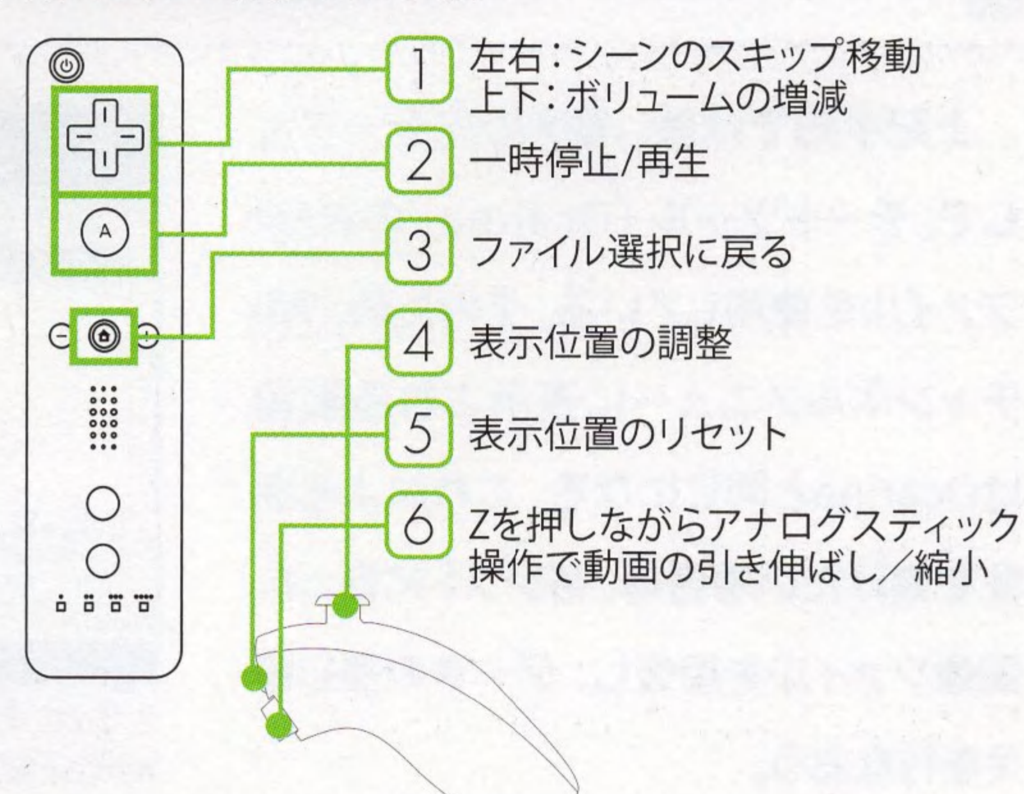
動画再生中の操作方法

動画再生中はWiiリモコンの各ボタンでシーン移動や一時停止などの操作が可能。ヌンチャクコントローラでは、画面の表示位置などが変更できる。縦横比などがおかしい場合はこれで調節しよう。

ヌンチャクコントローラで表示位置の調整が可能



ボリューム変更やシーン移動などの再生操作はリモコンのみでOK。こまかい早送り/巻き戻しはできないが、縦横比を手動で調節できるのはMplayerWiiならではの機能だ。



チャンネルを作成する

Wii PC SD Card reader Game media etc

オリジナルソフトをWiiで起動するには、HBCからソフトを選択する必要がある。しかし、これでは手順が面倒なうえ、起動までの時間もかかってしまう。そこで、オリジナルソフトをWiiのチャンネルメニューに登録して、すばやく起動できるようにしよう。

CustomizeMii Ver.3.11
作者名●Leathl
ファイル名●CustomizeMii 3.11.zip
URL●http://code.google.com/p/customizemii/

Ocarina
作者名●Link
ファイル名●Ocarina.zip
URL●http://www.mediafire.com/?dvkigjopepk

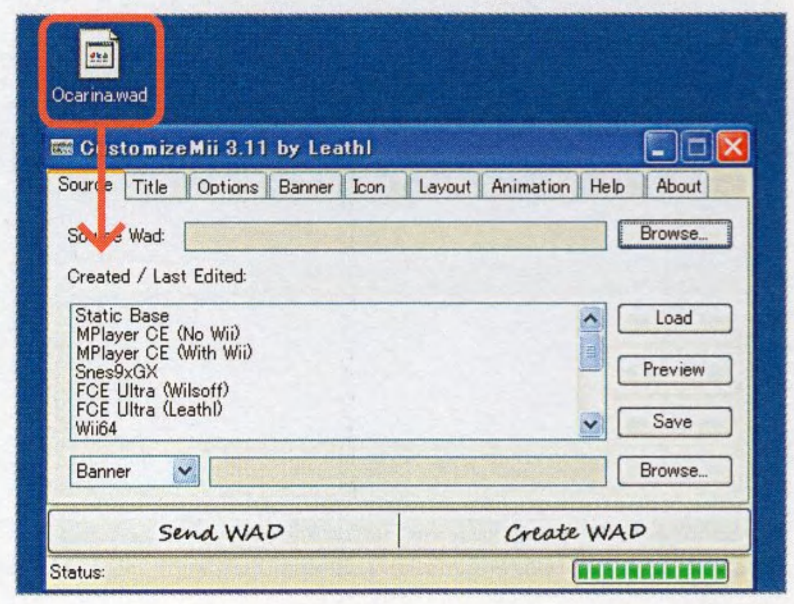
WAD Channels Updater
作者名●Red Squirrel
ファイル名●WADChannelsUpdater.zip
URL●http://www.psp-cheats.it/redsquirrel/

1 WAD編集ツールを起動



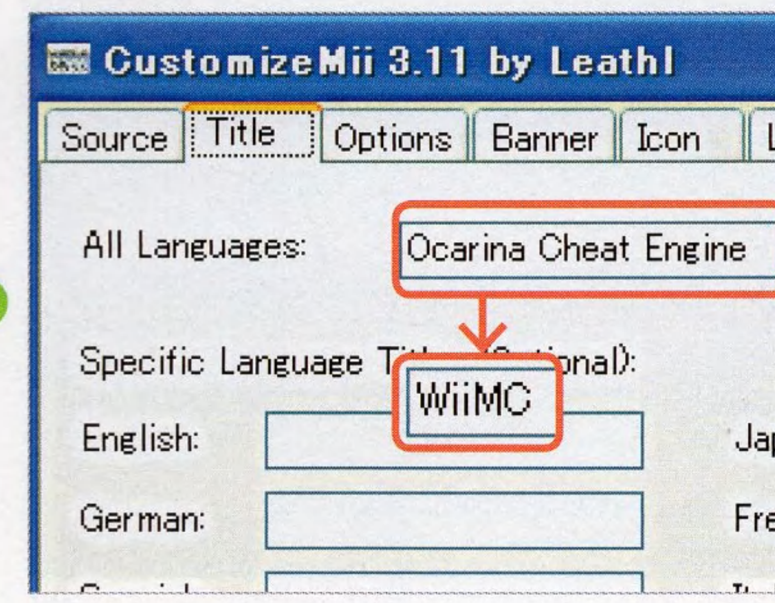
WADファイルの編集を行なう「CustomizeMii」と、編集もとのWADファイルを含むOcarinaを解凍し「CustomizeMii.exe」を起動する。

2 編集もとの WADファイルを読み込む



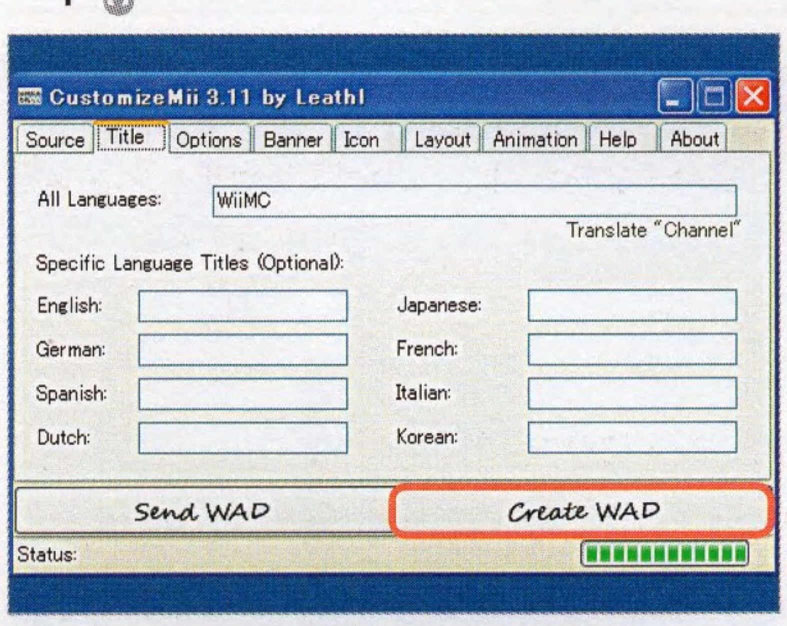
CustomizeMiiのウインドウ上に、「Ocarina.wad」をドラッグ&ドロップする。

3 チャンネル名を入力する



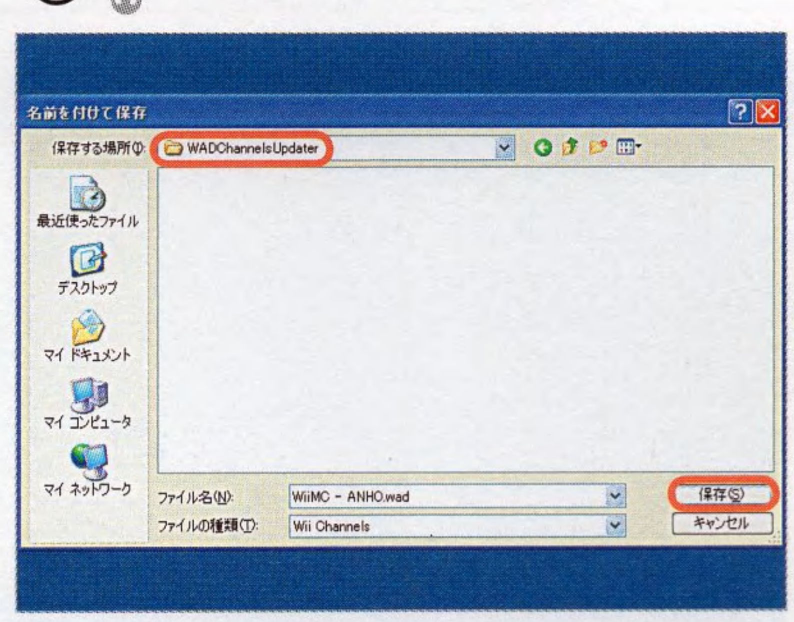
「Title」タブを開き、「All Languages」欄を起動したいオリジナルソフトの名前に変更。ここでは「WiiMC」を入力する。

4 WADの出力ボタンを押す



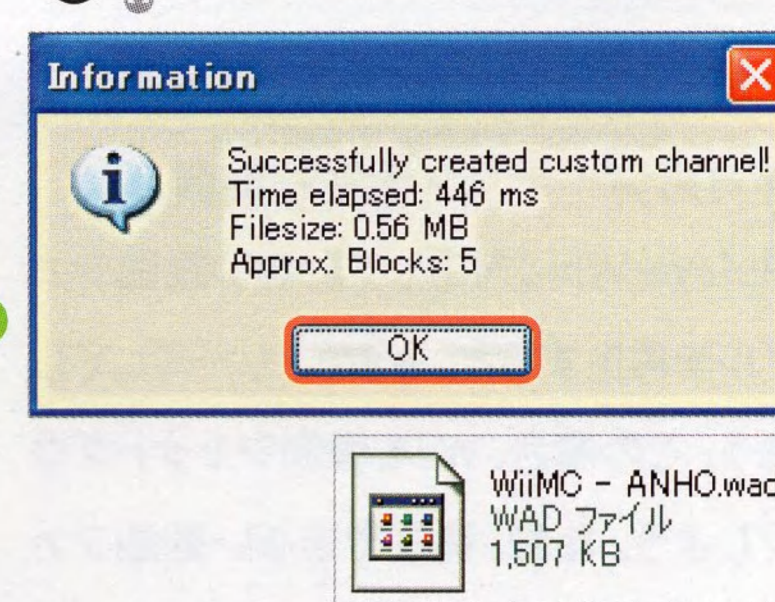
CustomizeMiiのウインドウ右下にある、「Create WAD」ボタンをクリック。

5 出力先フォルダを選ぶ



WADファイルの出力先を選択。次に使用する「WAD Channels Updater」の解凍先を指定して「保存」すると以降の手順が楽になる。

6 出力したファイルを確認する

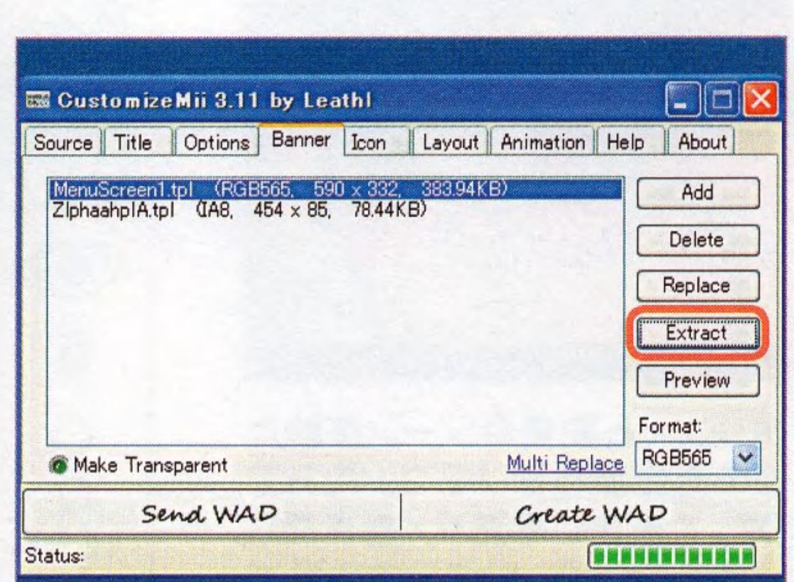


出力が完了すると、上のようなダイアログが表示される。「OK」をクリックして、出力したWADファイルを確認しよう。

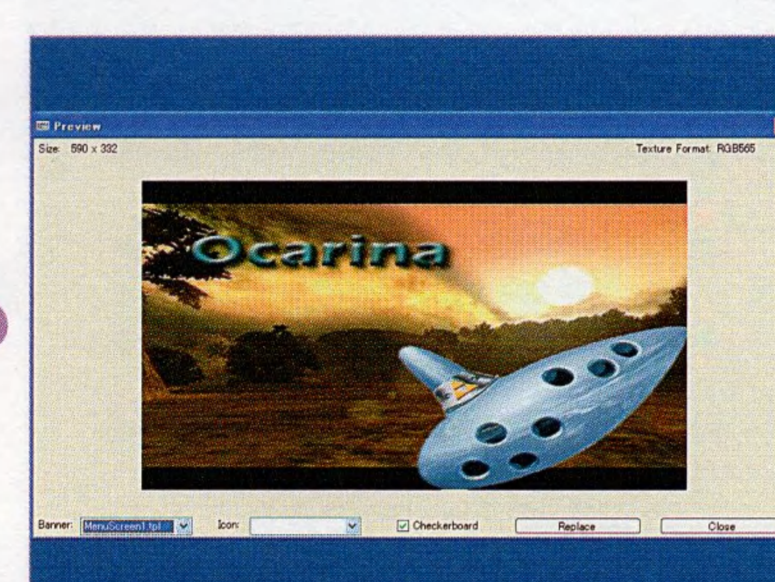
表示する画像の差し替えも可能

Point

上記手順では差し替えの元データとして、チートツール「Ocarina」のWADファイルを使用している。そのため、Wiiチャンネルメニューに表示される画像はOcarinaと同じになる。これによる混乱を避けたい場合は、各ソフトに合った画像ファイルを用意し、データの差し替えを行なおう。



手順3のあとに、「Banner」タブをクリックしてWADに登録されている画像を確認。



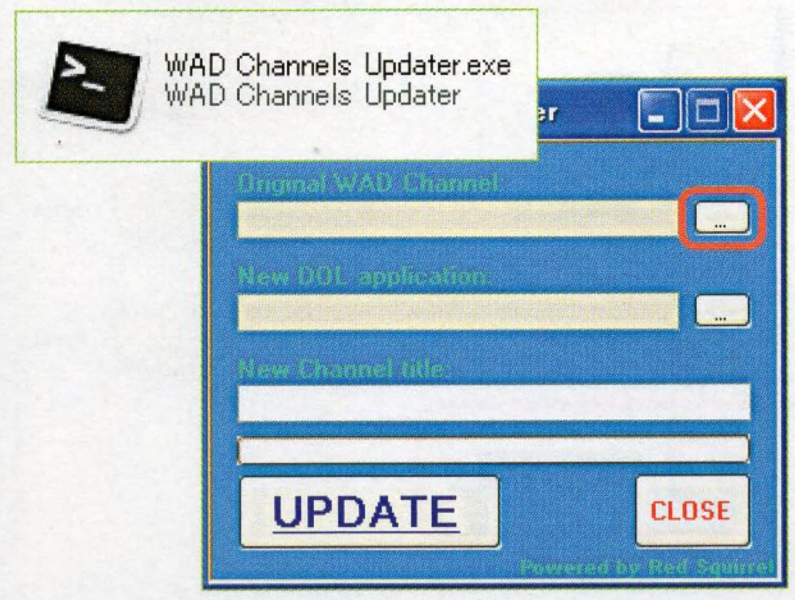
「Preview」で現在の表示を確認し、「Replace」から別の画像を指定しよう。

Chapter1：Copy Game
Chapter2：Emulator
Chapter3：Free Soft

WADファイル内のソフトを変更

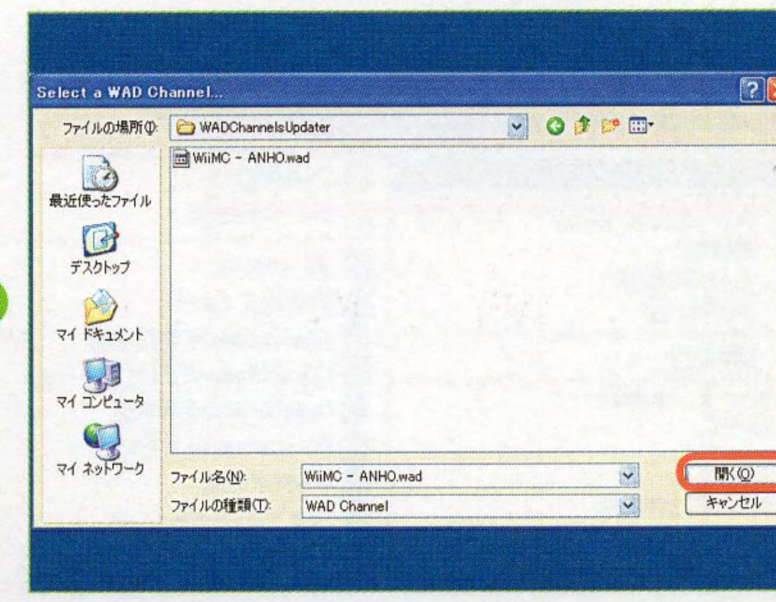
作成したWADファイルには、もとのプログラムであるQcarinaが入っているが、中身のプログラムだけを起動したい別のソフトに差し替えよう。

1 プログラムの差し替えツールを起動



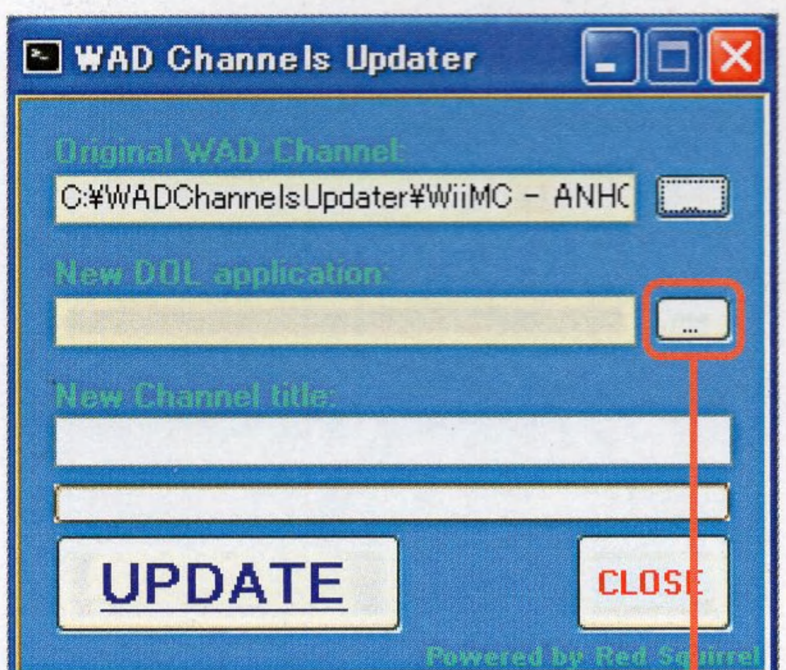
「WAD Channels Updater.exe」を起動し、上部の「Original WAD Channel」欄にある「...」ボタンをクリック。

2 変更もとのWADファイルを選択

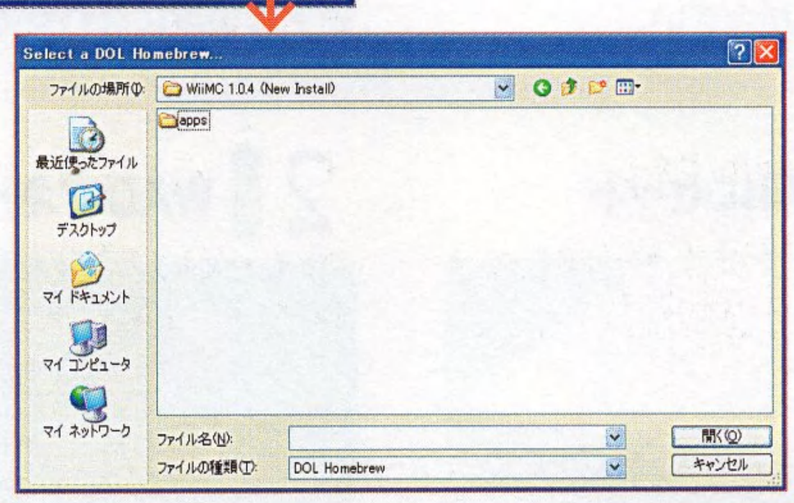


CustomizeMiiで出力したWADファイルを選択し、「開く」で読み込もう。

3 変更先アプリの保存フォルダを開く

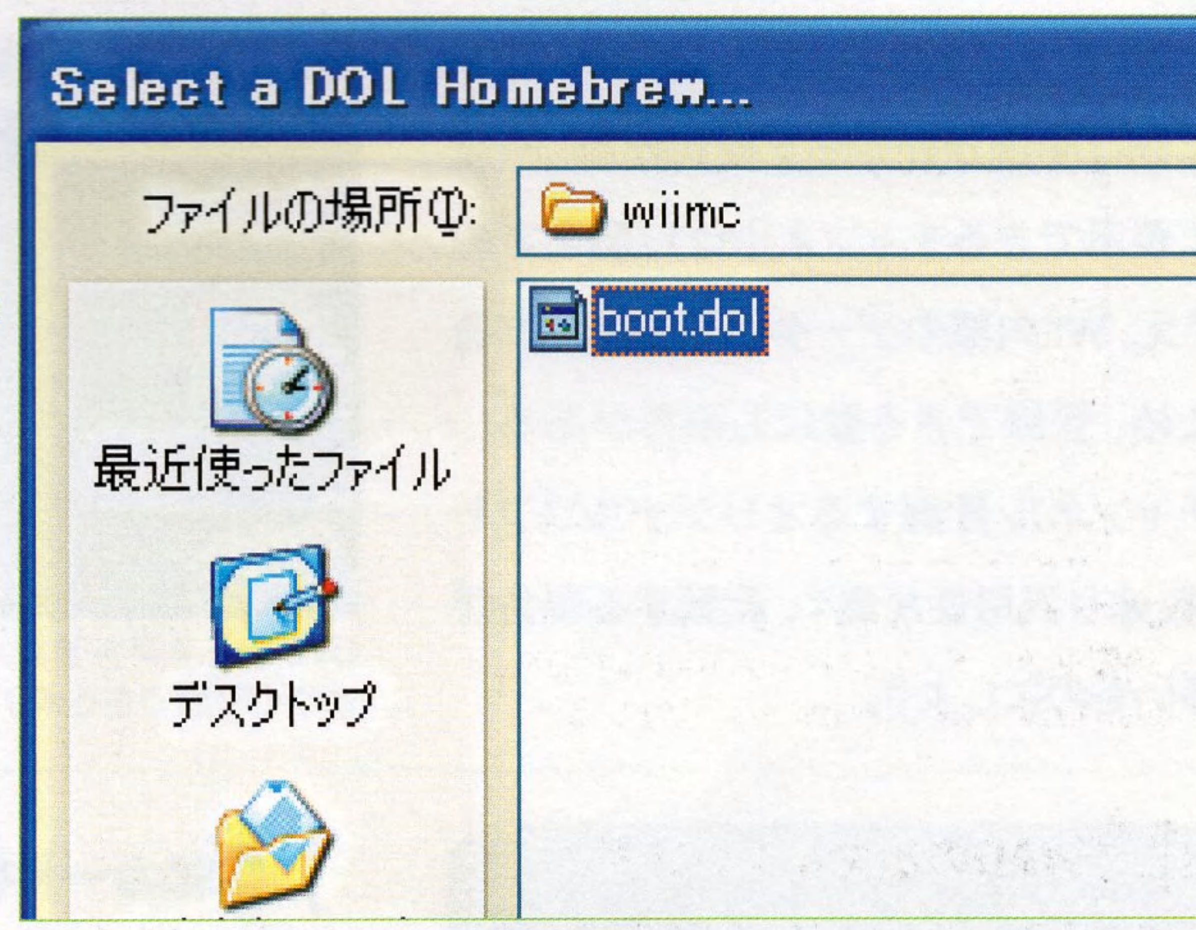


続いて、「New DOL application」欄の「...」ボタンをクリック。



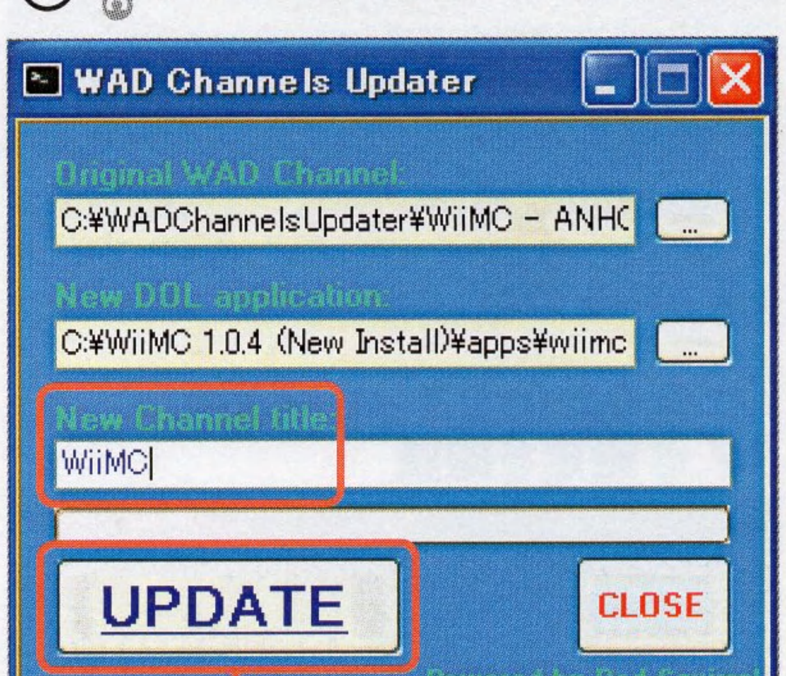
起動したいオリジナルソフトをあらかじめ解凍しておき、「apps」内の「ソフト名」フォルダを選択しよう。

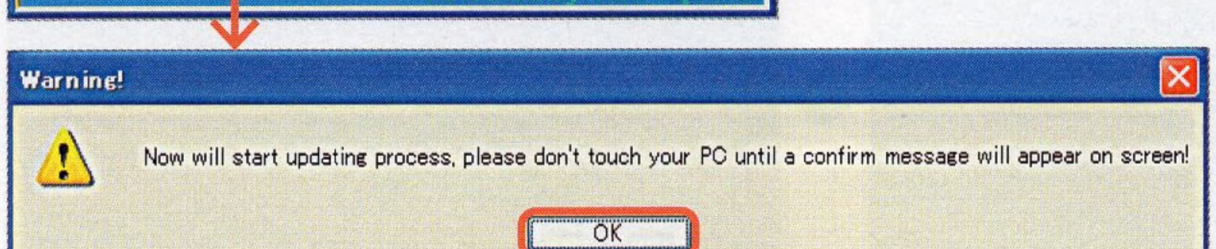
4 変更先のファイルを選択する

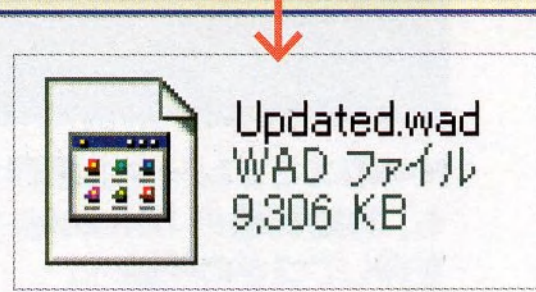


ソフト名フォルダ内の起動ファイル「boot.dol」を指定。「開く」ボタンをクリックする。なお、まれに起動ファイルが「boot.elf」となっているオリジナルソフトもあるが、これは古い形式なので、この手順ではチャンネル登録できない。

5 チャンネル名を入力してファイルを出力する





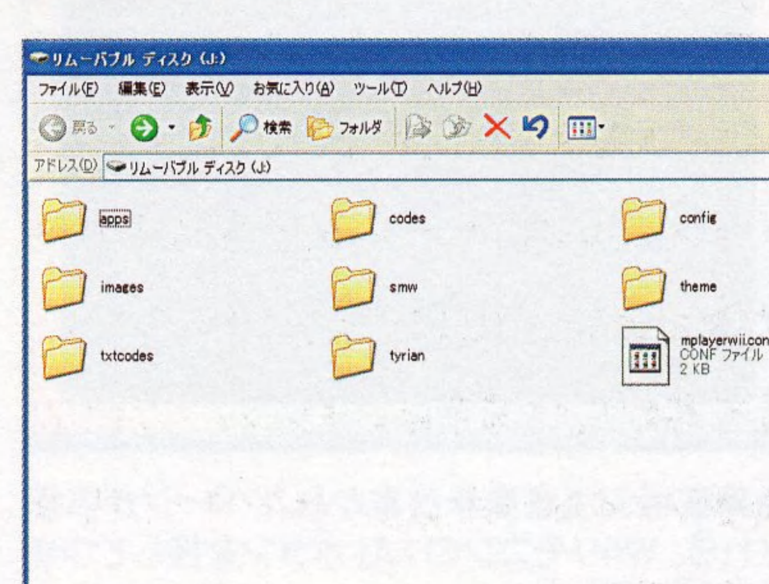


「New Channel title」欄にオリジナルソフトの名前を入力し、「UPDATE」ボタンをクリック。ダイアログが2回表示されるが、どちらも「OK」を押す。WAD Channels Updaterの保存先フォルダに「updated.wad」ができているのを確認。

6 SDカードをパソコンにセット

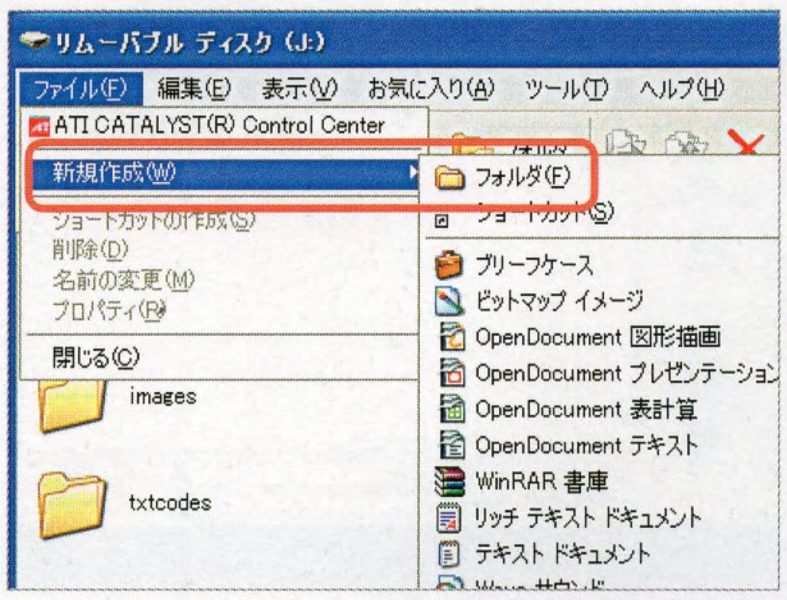


WADファイルをWiiチャンネルに登録するため、コピー先のSDカードをパソコンにセット。



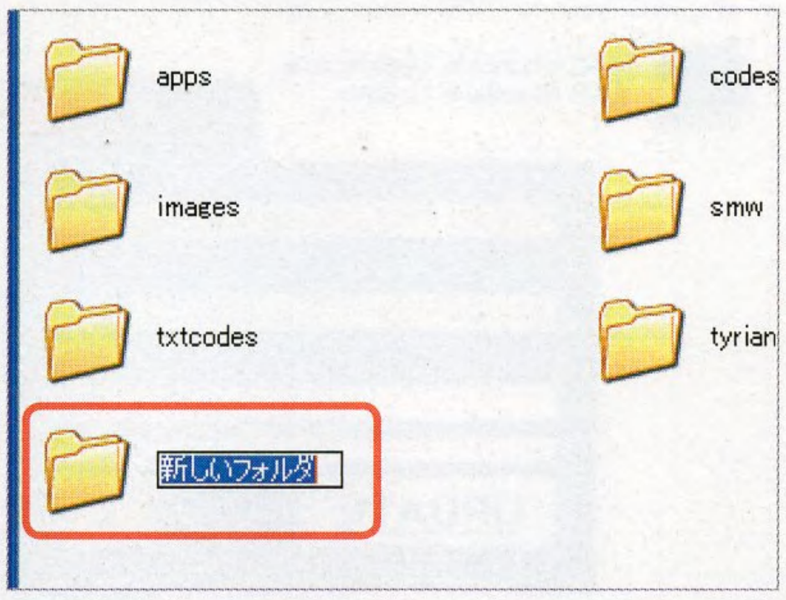
SDカードが認識されたら、エクスプローラなどでフォルダ構造を表示。WADファイルの保存先フォルダをつくる準備を行なおう。

7 PC SDカード内に新規フォルダを作成



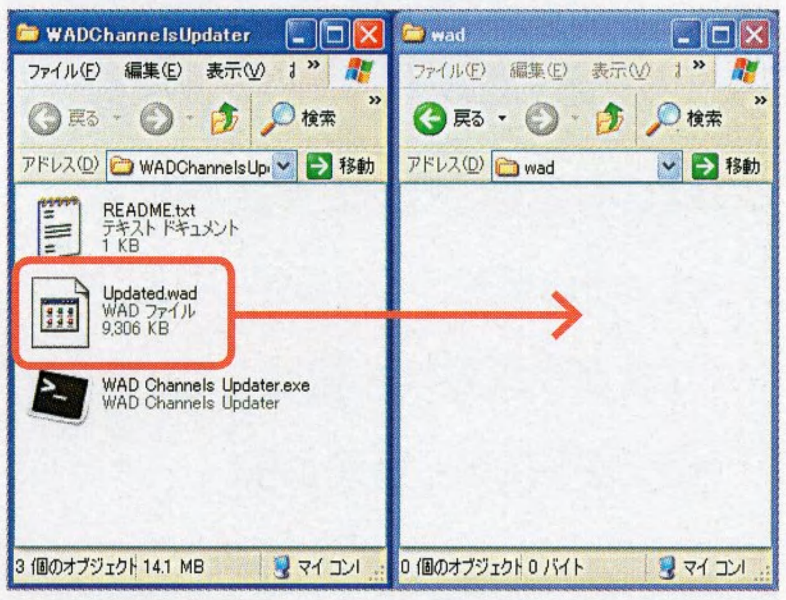
「ファイル」メニューから「新規作成」→「フォルダ」を選択。

8 PC フォルダ名を入力する



新しいフォルダを作成したら、フォルダ名を「wad」に変更。すでに「wad」フォルダがある場合は、作成する必要はない。

9 PC WADファイルをSDカードにコピー



WAD Channels Updaterの保存先フォルダに出力された「Updated.wad」を、作成した「wad」フォルダにコピーする。

チャンネル登録すると便利なオリジナルソフトの例

Point

Wiiチャンネルメニューからのソフト起動は手間がかからず便利だが、一度に表示できるチャンネルは12個までのうえ、Wii内部のデータ領域を使用するため、登録できる数にも限界がある。チャンネル登録するオリジナルソフトは、より汎用性が高く、起動する機会が多いものにしよう。

●メディアプレイヤー



DVDなどを再生するメディアプレイヤーは、すばやく起動できるメリットが大きい。

●ミニゲーム

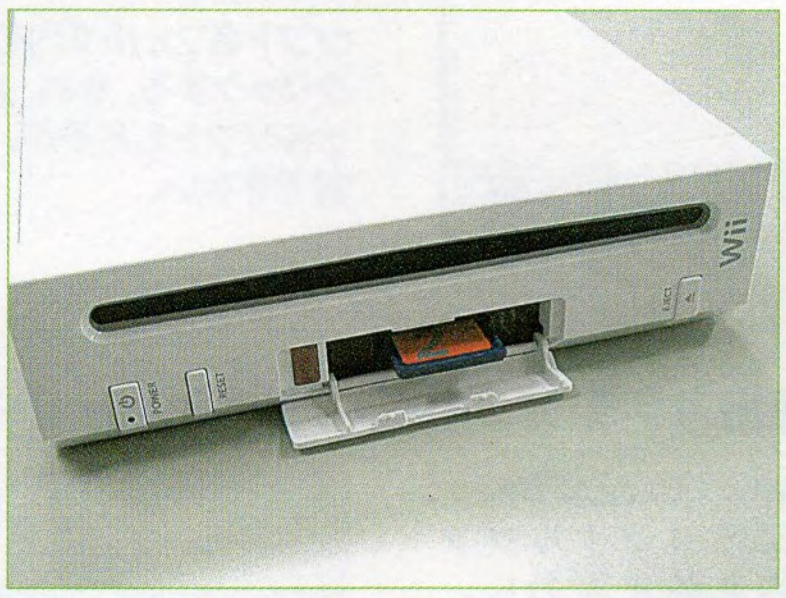


Marjongg Wiiなど、手軽に遊べるゲームは起動する頻度に合わせて登録しよう。

オリジナルソフトを登録する

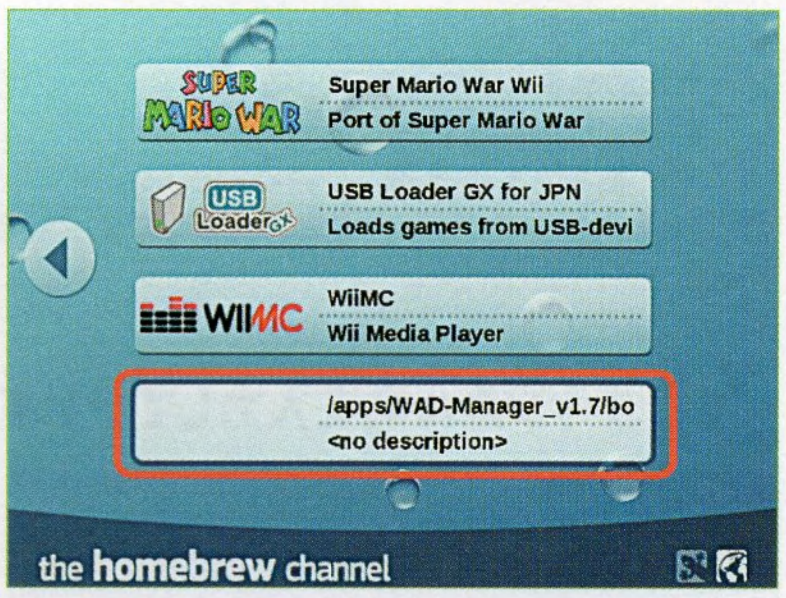
SDカードに保存したWADファイルをWiiチャンネルに登録するには、「WAD Manager」を使用する。導入方法は33ページから紹介しているので、そちらを参考にすること。

1 Wii SDカードをWiiにセット



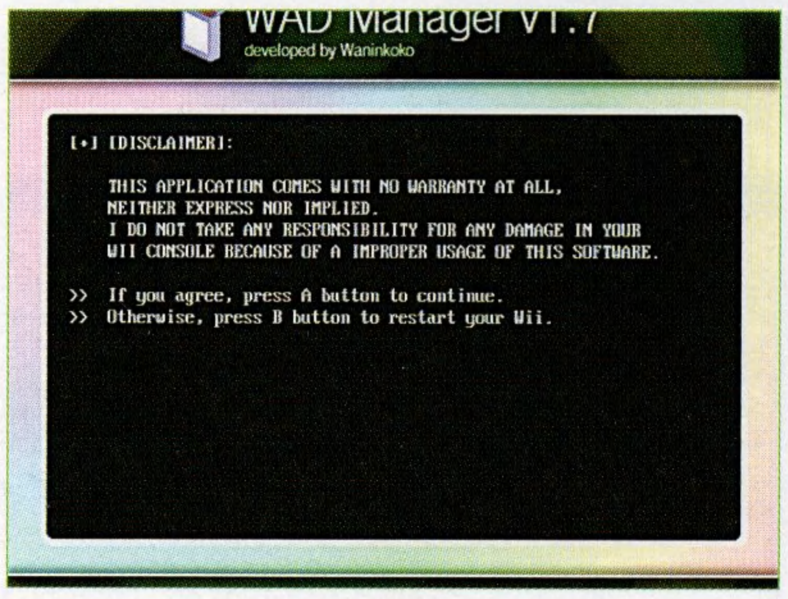
SDカードをカードリーダーから取り出し、Wii本体にセット。Wii本体でHomebrew channelを起動しておこう。

2 Wii WADマネージャを起動する



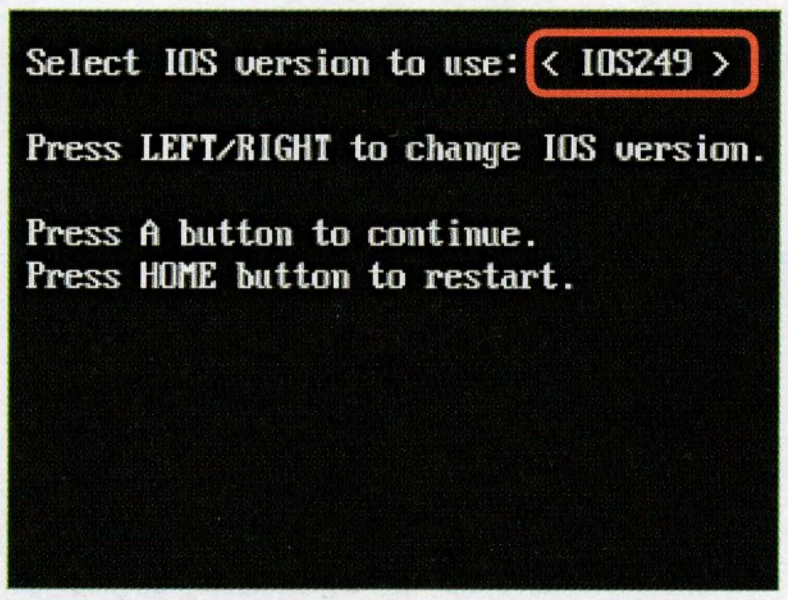
Homebrew channelから「/apps/WAD-Manager〜」を選択。「A」ボタンを押してWADマネージャを起動しよう。

3 Wii 注意書きを確認する



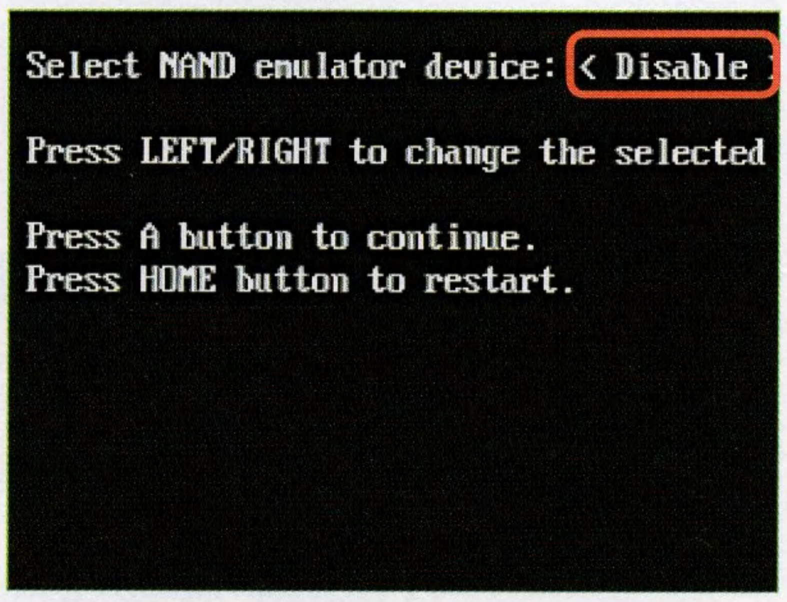
免責事項と注意書きが書かれたページが表示される。Wiiリモコンの「A」ボタンを押してつぎの手順に進もう。

4 Wii 起動に使うIOSファイルを選ぶ



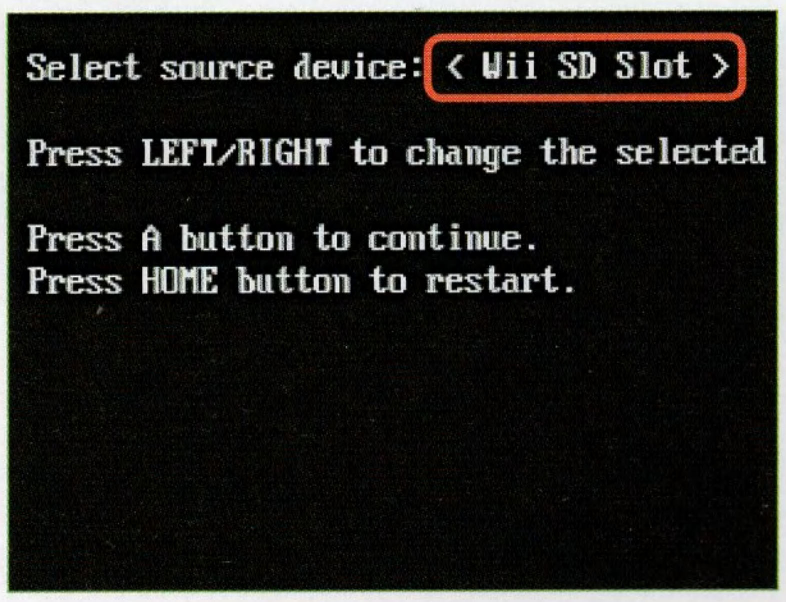
IOSの選択メニューが表示される。初期状態では「IOS249」となっているので、変更せずに「A」ボタンを押そう。

5 Wii NANDエミュレータの設定を確認



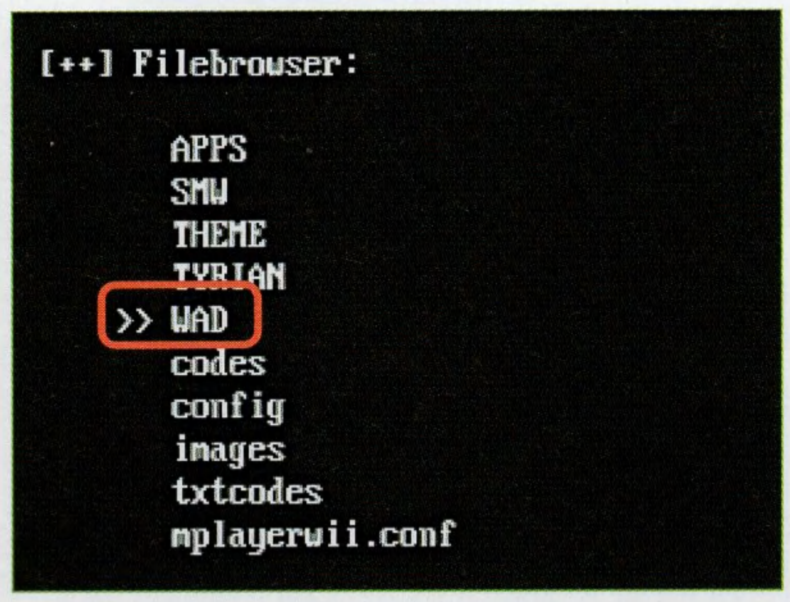
NANDエミュレータの動作を選択する。こちらも、初期状態の「Disable」のまま、「A」ボタンを押してつぎの手順へ。

6 SDカードを選択する



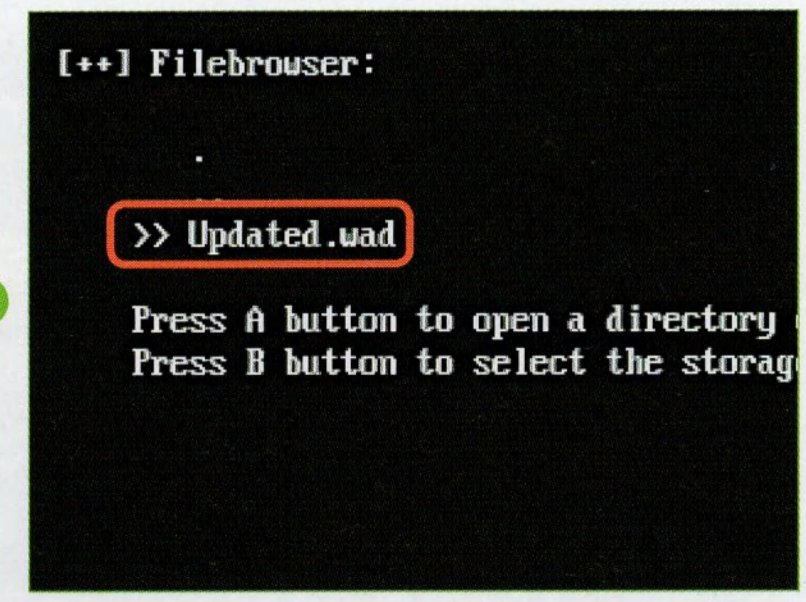
WADファイルの保存先デバイスを選択。「Wii SD Slot」であることを確認して「A」ボタン。

7 WADファイルの保存先を指定



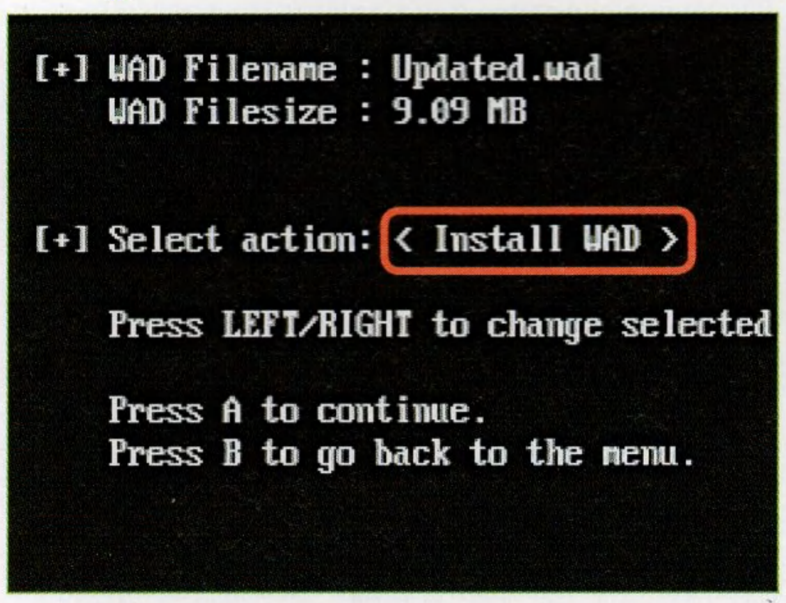
十字キーの上下で「WAD」フォルダを選択し、「A」ボタンで決定。選択を間違えた場合は「B」ボタンで前のフォルダに戻る。

8 登録するファイルを選ぶ



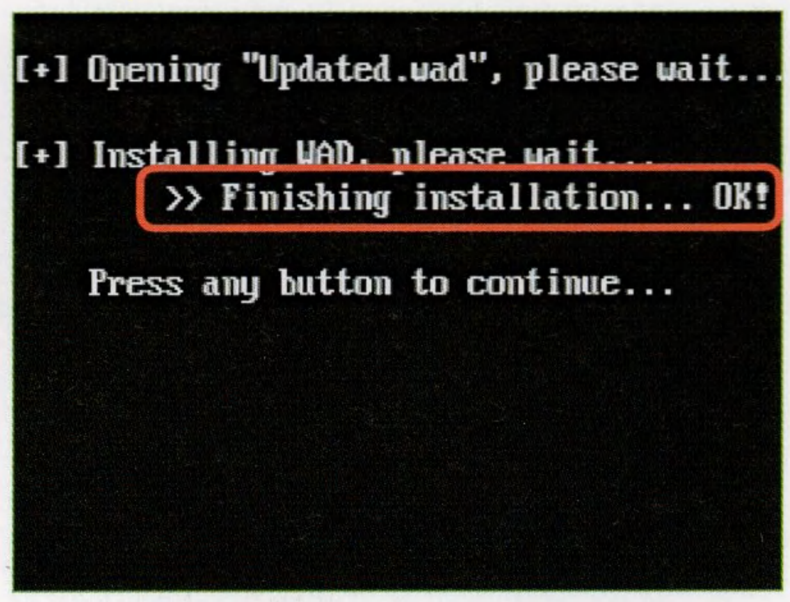
「WAD」フォルダ内にある「Updated.wad」を選択して「A」ボタンを押す。

9 チャンネル登録を開始する



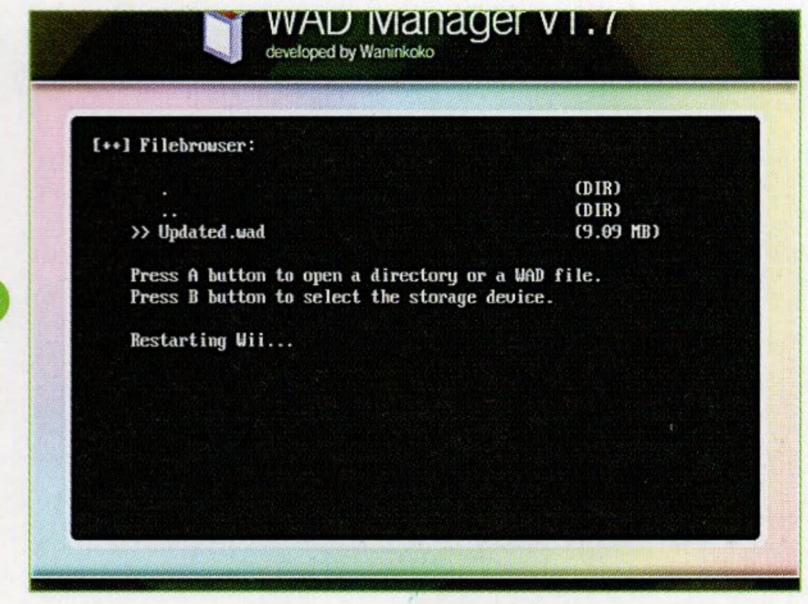
「Select action」欄右側が「Install WAD」になっているのを確認。「A」ボタンを押してインストールを実行する。

10 チャンネル登録完了



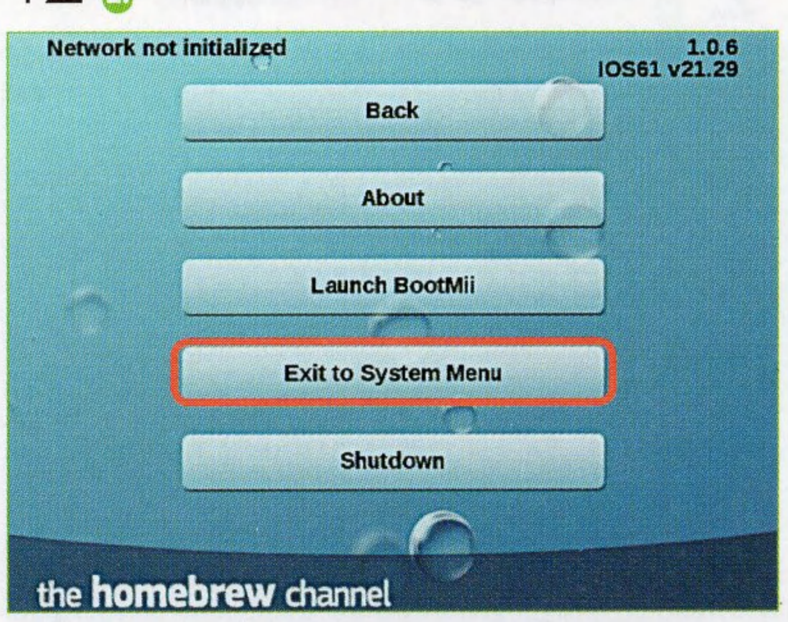
WADファイルがWiiにインストールされるのを待つ。「Finishing installation」と表示されればインストールは完了だ。

11 WADマネージャを終了する



Wiiリモコンのいずれかのボタンを押し、ファイルメニューに戻ったらHOMEボタンでWAD Managerを終了する。

12 Wiiメニューに戻る



HBCに戻ったら再度HOMEボタンを押し、「Exit to System Menu」を選択しよう。

13 Wiiメニューからチャンネルを選択



追加されたチャンネルを選択。「A」ボタンを押してソフトを起動する。

14 オリジナルソフトを起動！

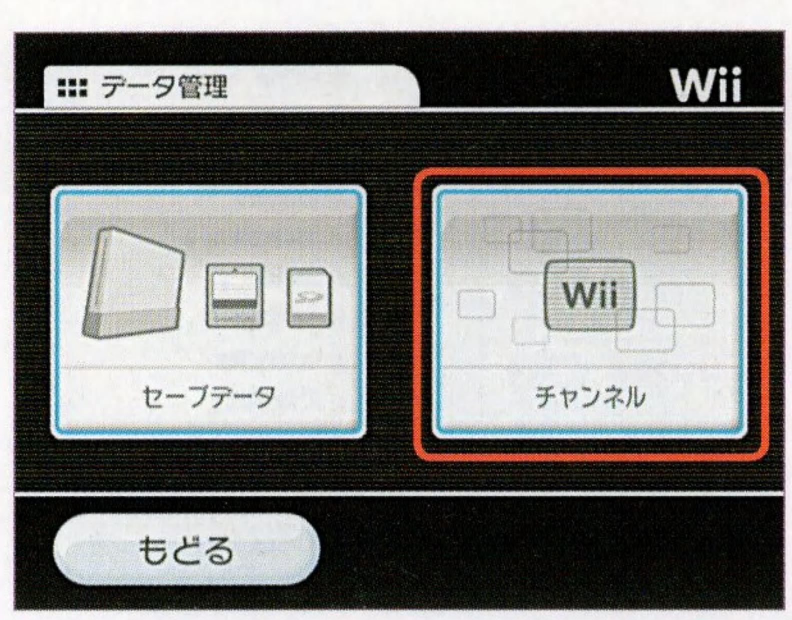


オリジナルソフトが起動したら、あとはHBCから起動した場合と同じように操作できる。

登録したチャンネルの削除はWiiのオプションメニューから

Point

Wii本体内のデータ領域はそれほど大きくない。次々にソフトを登録すると、すぐに容量が足りなくなってしまう。ゲームのセーブデータなどでもWii本体内のデータ領域はに圧迫されていくため、状況に応じて登録したチャンネルの整理と削除を行なおう。



Wiiのオプションメニューから「データ管理」→「チャンネル」を選択。



削除したいチャンネルを選び、メニューから「消去」を選択する。

セーブデータをコピーする

Wii　PC　SD　Card reader　Game　media　etc

Wiiゲームのセーブデータはオプションメニューから SDカードにコピーできる。しかし「モンスターハンター」シリーズなどの一部タイトルは複製不可になっている。これらのゲームでセーブデータをコピーしたい場合は、専用のコピーツールを使おう。

SaveGame Manager Ver.1.0 Alpha
作者名●Waninkoko
ファイル名●Savegame-Manager-v1.0.zip
URL●http://wiibrew.org/w/images/c/cf/Savegame-Manager-v1.0.zip

No Soft

通常はコピーできないゲームでもOK!



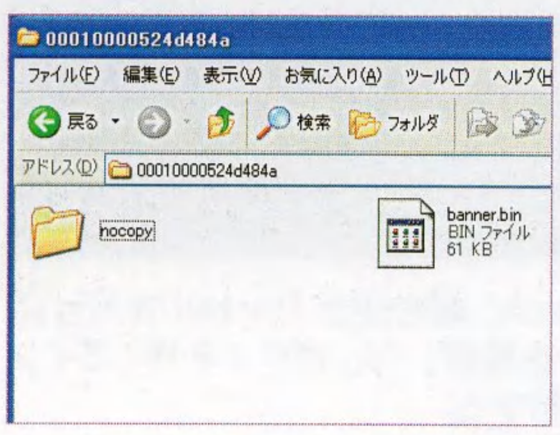
「モンスターハンター3」や「街へ行こうよ　どうぶつの森」は、そのゲーム性ゆえに、複数の環境下でのプレイを推奨していない。



それらのゲームは、Wiiのオプションメニューからデータ管理を選んでも、セーブデータのコピーが不可になっている。

コピーデータの管理 Point

コピーしたセーブデータはSDカード内にひとつしか保存できないので、パソコンにコピーして管理しよう。

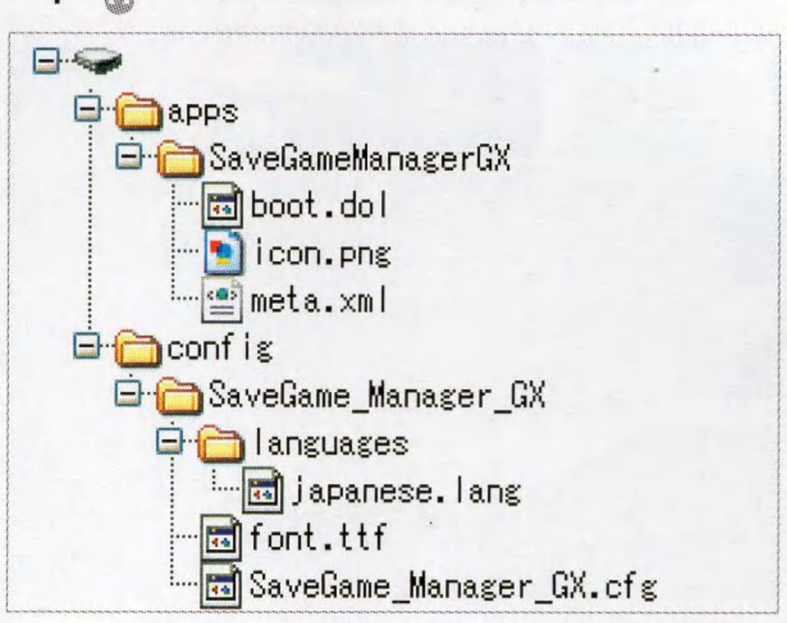


セーブデータはSDカードの「savegames」フォルダに保存される。

セーブデータ管理ツールを起動

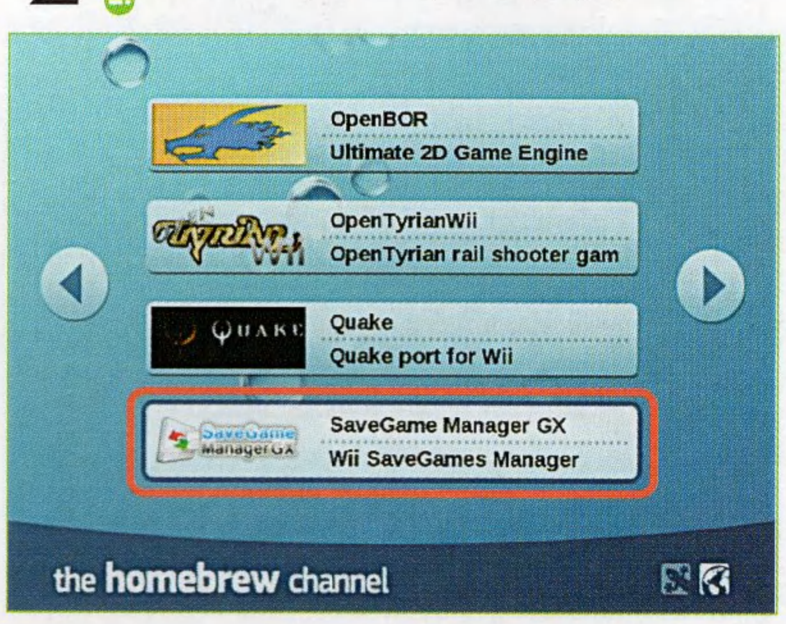
セーブデータ管理ツール「SaveGame Manager」をSDカードに導入して、データをコピーする準備を行なう。セーブデータはそれほど大きくないので、SDカードの容量は極端に少なくなければOKだ。

1 PC SDカードにファイルをコピー



「SGM_GX_JPN_r68.zip」を解凍し、「apps」フォルダと「config」フォルダをまとめてSDカードにコピーする。

2 Wii HBCからツールを選択

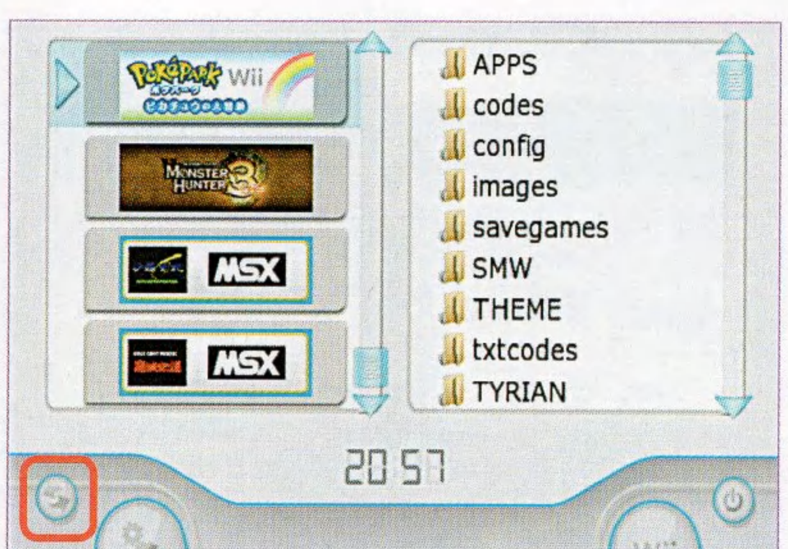


HBCを起動し「SaveGame Manager GX」を選択。「A」ボタンで起動しよう。

Wii内のセーブデータをまとめてコピーする Point

右ページの手順ではセーブデータを指定してコピーしているが、Wii本体に複数のセーブデータを保存している場合、それらをまとめてSDカードにコピーすることもできる。

まとめて保存する場合、セーブデータの数が多いと、SDカードの容量が足りなくなる可能性があるので要注意だ。



セーブデータの一括コピーは、画面左下の矢印アイコンを選択して行なう。

3 Wii セーブデータ管理ツールを起動



SaveGame Managerが起動。画面左側にはWii内のセーブデータが、右側にはSDカード内のフォルダ構造が表示される。

Wiiからセーブデータを抽出

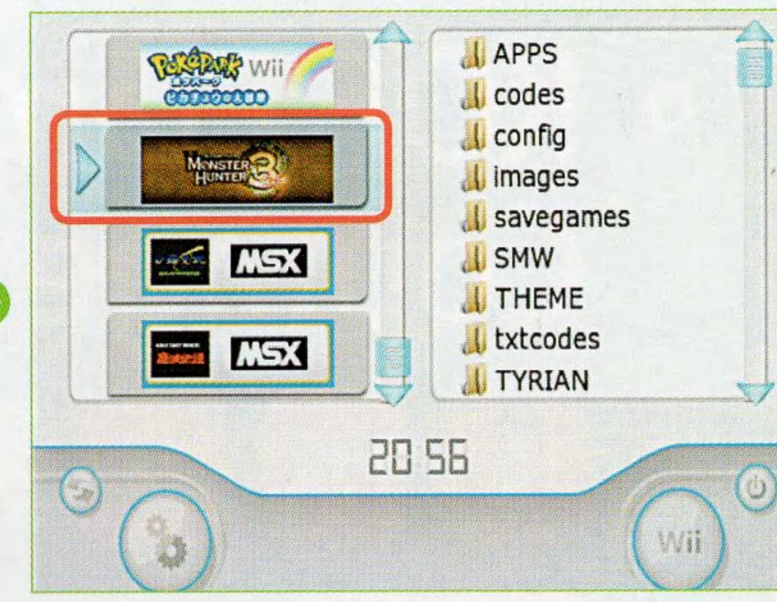
Wii本体内のセーブデータを選択し、個別にSDカードへコピーしよう。抽出したセーブデータはコピー不可のものでなければ、Wii本体の機能でコピーしたデータとの互換性もある。

1 ゲームリストに移動



WiiリモコンのB」ボタンを押し、Wii内のセーブデータリストに操作対象を移そう。

2 コピーしたいゲームを選択



セーブデータのリストから、コピーしたいゲームのアイコンを探し、ポインタを合わせて「A」ボタンを押す。

3 データの抽出を選択



ゲームタイトルと消費するブロック数が表示される。画面中央下部の「Wiiから抽出」ボタンを選択しよう。

4 データの抽出先を選ぶ



抽出先は「初期設定値」を選択すれば、SDカードに抽出される。この初期設定値はオプションから変更が可能だ。

5 データのコピーが完了



データの抽出が完了したら、「OK」ボタンを選択。SDカード内にコピーしたセーブデータはパソコン上で管理しよう。

セーブデータをWiiに書き戻す

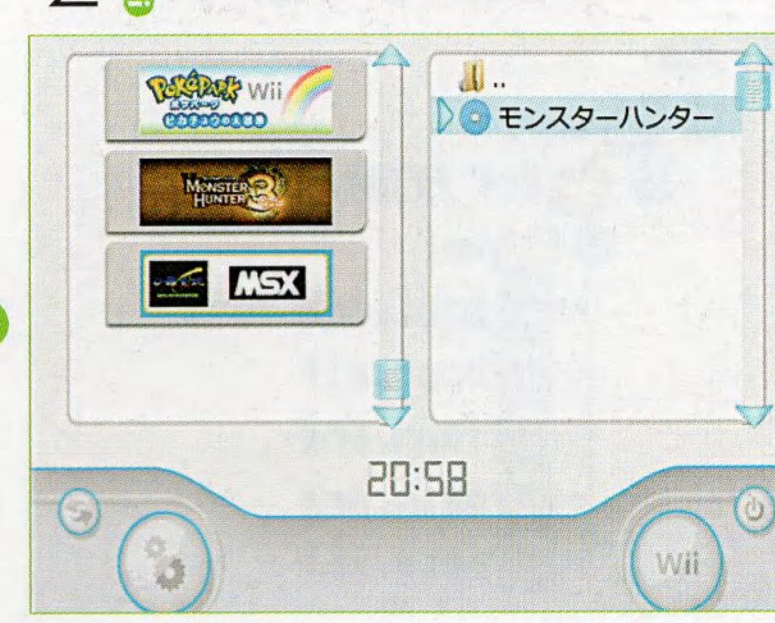
SDカードにコピーしたセーブデータをWii本体に書き戻し、ゲームを再プレイしよう。なお、セーブデータを書き戻した時点で、重複するセーブデータがWiiにある場合、上書きされて消えてしまうので注意が必要だ。

1 セーブデータの保存先フォルダを選ぶ



SaveGame Managerを起動し、右側のSDカードフォルダから「savegames」を選択。

2 セーブデータを選ぶ



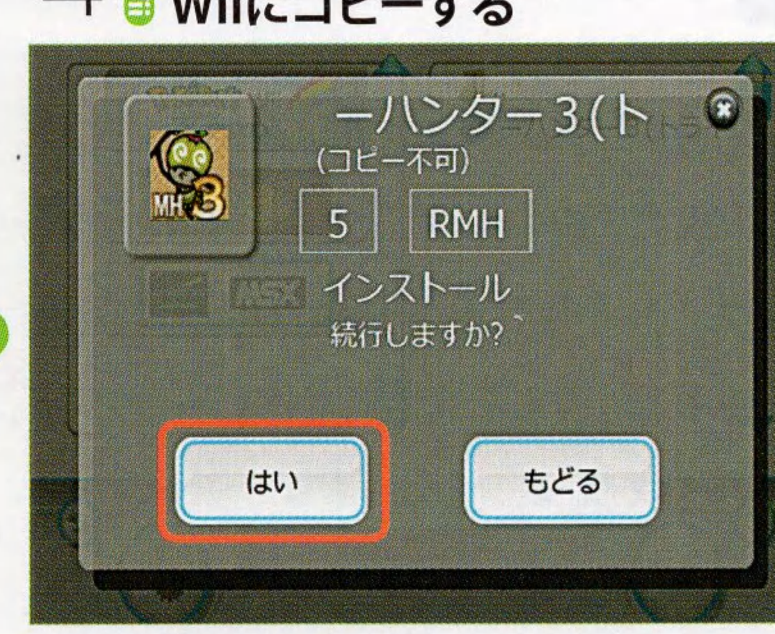
ゲームタイトルがつけられたセーブデータがリスト表示されるので、Wiiに書き戻したいタイトルを選択。

3 インストールを選択



抽出のときと同じく、ゲームタイトルとセーブデータの情報が表示される。「インストール」ボタンを選択しよう。

4 セーブデータをWiiにコピーする



「はい」を選択してセーブデータの書き戻しを実行。このとき、Wiiの電源スイッチなどには決して触れないこと。

オンラインプレイは厳禁 Attention!

セーブデータのコピーを禁止しているゲームは、オンラインプレイを中心としているタイトルがほとんど。一度でもセーブデータを操作してしまうと、サーバとの間にデータのずれが生じ、最悪データの破損に繋がる。そのため、セーブデータを書き戻してからのオンラインプレイは厳禁だ。

KOF Flames of Courage

対応コントローラ



対応機能

SRAM セーブ&ロード / ステートセーブ&ロード / オンラインアップデート

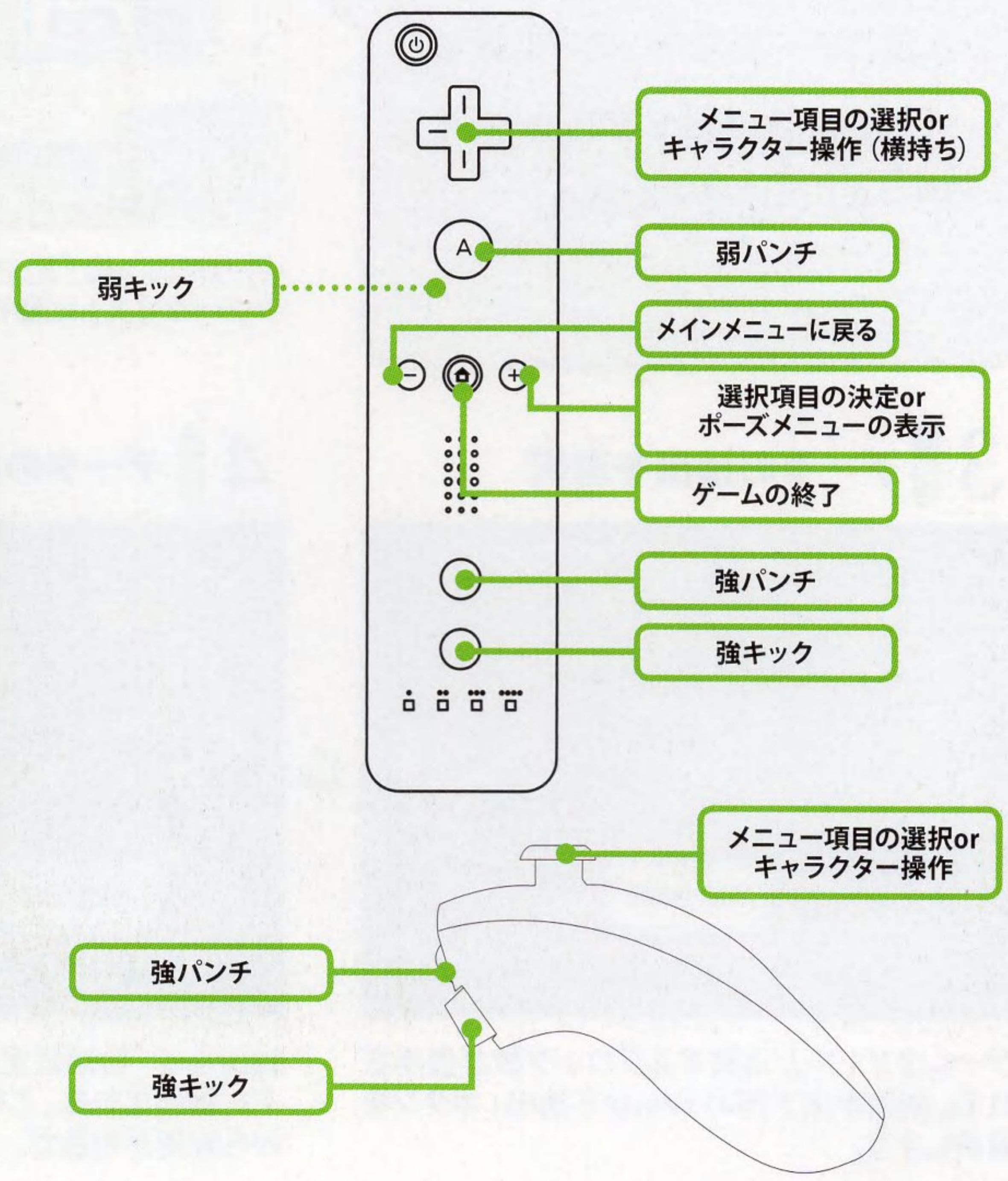
1990年代後半の全盛期を盛り上げた名作シリーズ「King of Fighters」からキャラクターデータを流用し、調整を加えてオリジナルソフトとして作り上げた格闘ゲーム。対戦プレイで盛り上がろう。



KOF'94から'99までをベースに、9人のキャラクターが参戦。ゲームバランスは細かく調整されている。



KOF Flames of Courage Ver.5e
作者名●EG Studio Games
ファイル名●Kof_BENNU_Wii_v5e.zip
URL●http://sites.google.com/site/egstudiogames/

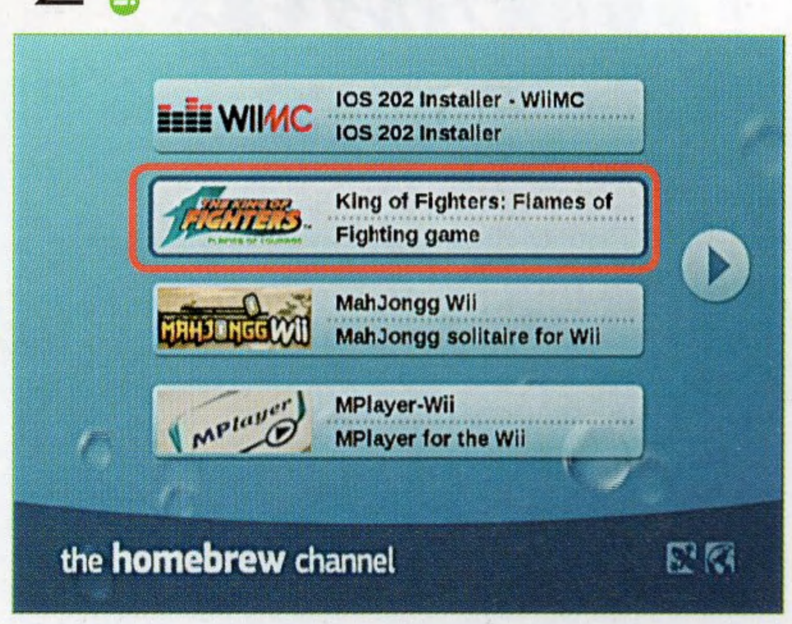


1 SDカードにファイルを配置



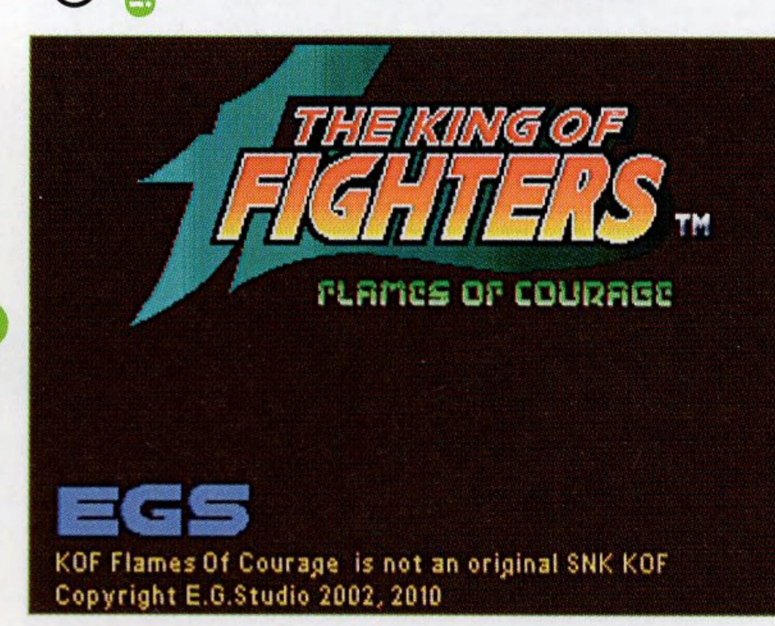
「Kof_BENNU_Wii_v5e.zip」を解凍し、SDカードにコピー。「KOF」フォルダはキャラデータが保存されており、容量は大きめだ。

2 ゲームを起動する



HBCを起動し「KOF Flames of Courage」を選択して起動する。

3 メインメニューに移動

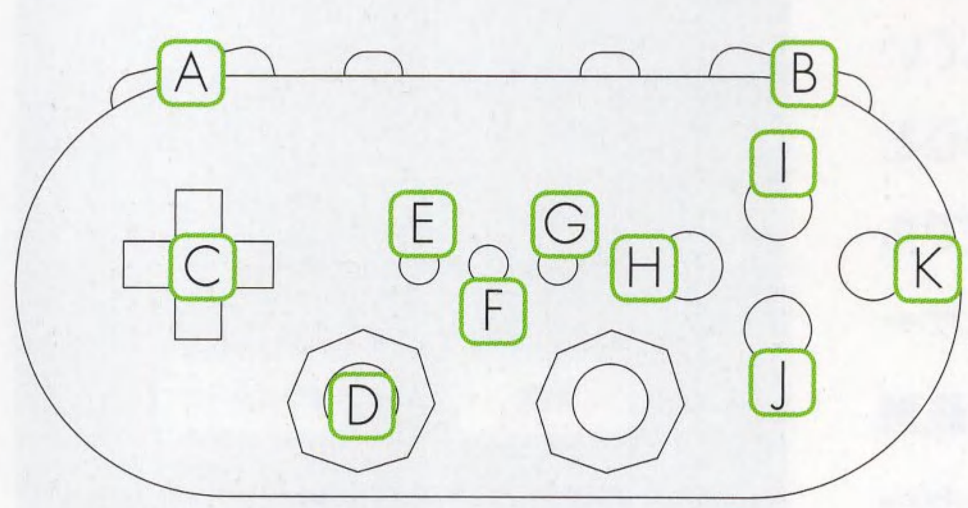


タイトル画面が表示されたら、リモコンの「+」ボタンを押してモード選択に移ろう。

クラシックコントローラでの操作がオススメ

Point

Wiiリモコンでの操作にも対応している「KOF Flames of Courage」だが、格闘ゲームとして正確な操作を行なうのであれば、クラシックコントローラの使用がオススメ。コマンド入力に必要なレバー操作は、十字キーとアナログスティックの両方で行なえる。扱いやすいほうを使おう。



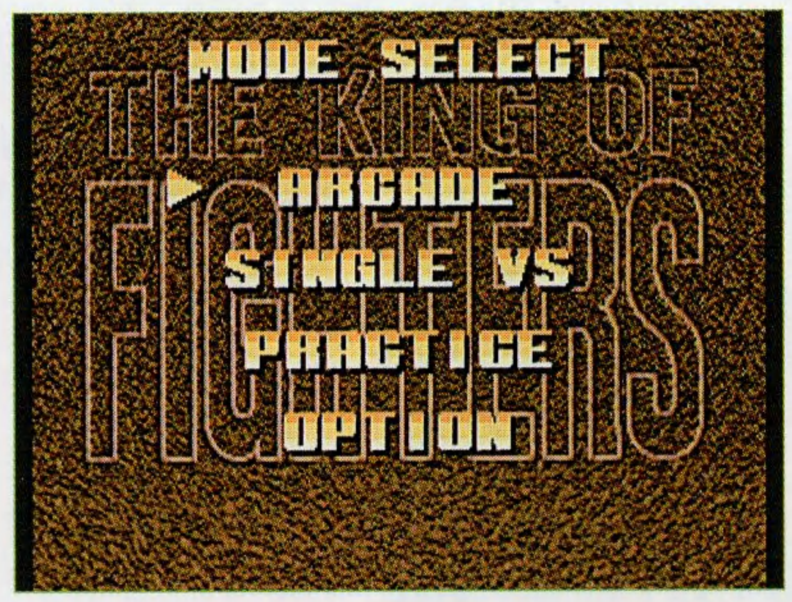
右側の4ボタンに各攻撃ボタンが配置されているほか、「L」・「R」トリガには同時押し入力が割り当てられている。超必殺技を入力する際に便利だ。

- A 前転（弱P＋弱K）
- B 吹き飛ばし攻撃（強P＋強K）
- C D メニュー項目の選択/キャラクター操作
- E メインメニューに戻る
- F ゲームの終了
- G 選択項目の決定
- H 強パンチ
- J 弱パンチ
- I 強キック
- K 弱キック

名作格ゲーをプレイしよう

キャラクターの操作や基本的なシステムは、原作である「King of Fighters」とほとんど変わらないので、プレイ経験があれば、問題なくゲームを楽しめる。未経験の場合は、このページを参考にしよう。

1 アーケードモードを選択



モードセレクトメニューから、一番上の「ARCADE」を十字キーで選択。「+」ボタンを押してゲームをスタートしよう。

2 キャラとストライカーを選択



攻撃ボタンで操作キャラを選択。キャラごとに3人のストライカー（援護キャラ）が用意されているので、こちらも自由に選択しよう。

ゲーム中のメイン画面



- A キャラグラフィック
- B 体力ゲージ
- C 残り時間
- D 勝利ラウンド
- E コンボヒット数
- F パワーゲージ
- G ストライカー
- H 1P操作キャラ

攻防によって増加するパワーゲージが満タンになると、超必殺技が使える。パワーゲージの横に回数が書かれているストライカーは「弱パンチ+強キック」で発動すると援護キャラがサポートしてくれるぞ。

敵を倒して勝ち進もう！



レバーとボタンで攻撃を繰りだし、相手の体力ゲージをゼロにすれば勝利。強力なCPUキャラを打ち倒そう。

必殺技は原作を参考に Point

必殺技などのコマンドはほぼ原作ゲームと同じなので、それらの攻略サイトなどを確認しておこう。

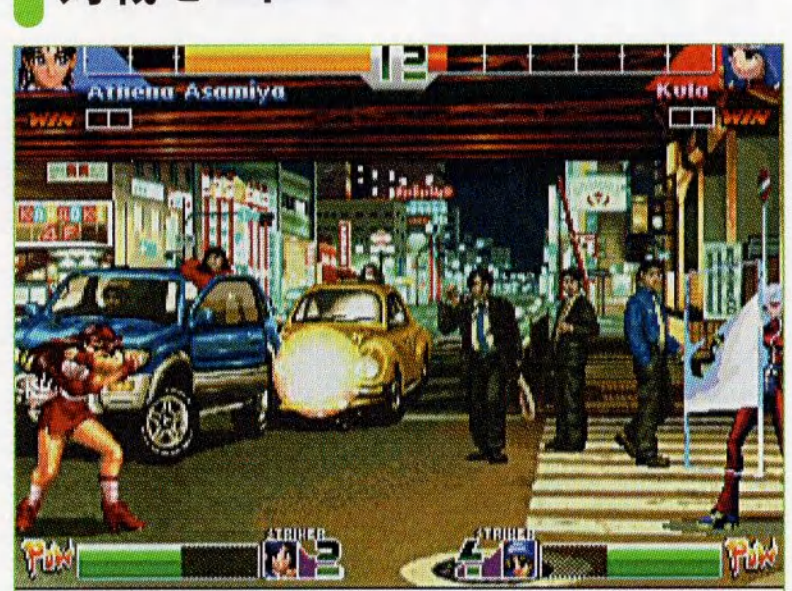


ただし、超必殺技はすべて「↓→+強P+強K」か「↓←+強P+強K」に変更されている。

各種モードを使う

格闘ゲームの醍醐味である対戦プレイも、もちろん可能。友達とアツイ戦いを繰り広げよう。ゲームに慣れていない場合や連続技の研究がしたい場合は、練習モードが便利だ。

対戦モード



「SINGLE VS」を選択して対戦しよう。2P側が先にキャラを選択しないと、ゲームが始まらないバグがあるので注意。

練習モード



「PRACTICE」モードでコマンドや連続技を練習しよう。「+」ボタンでメニューを開き、ゲージなどの状態を変更することもできる。

OpenBOR

対応コントローラ



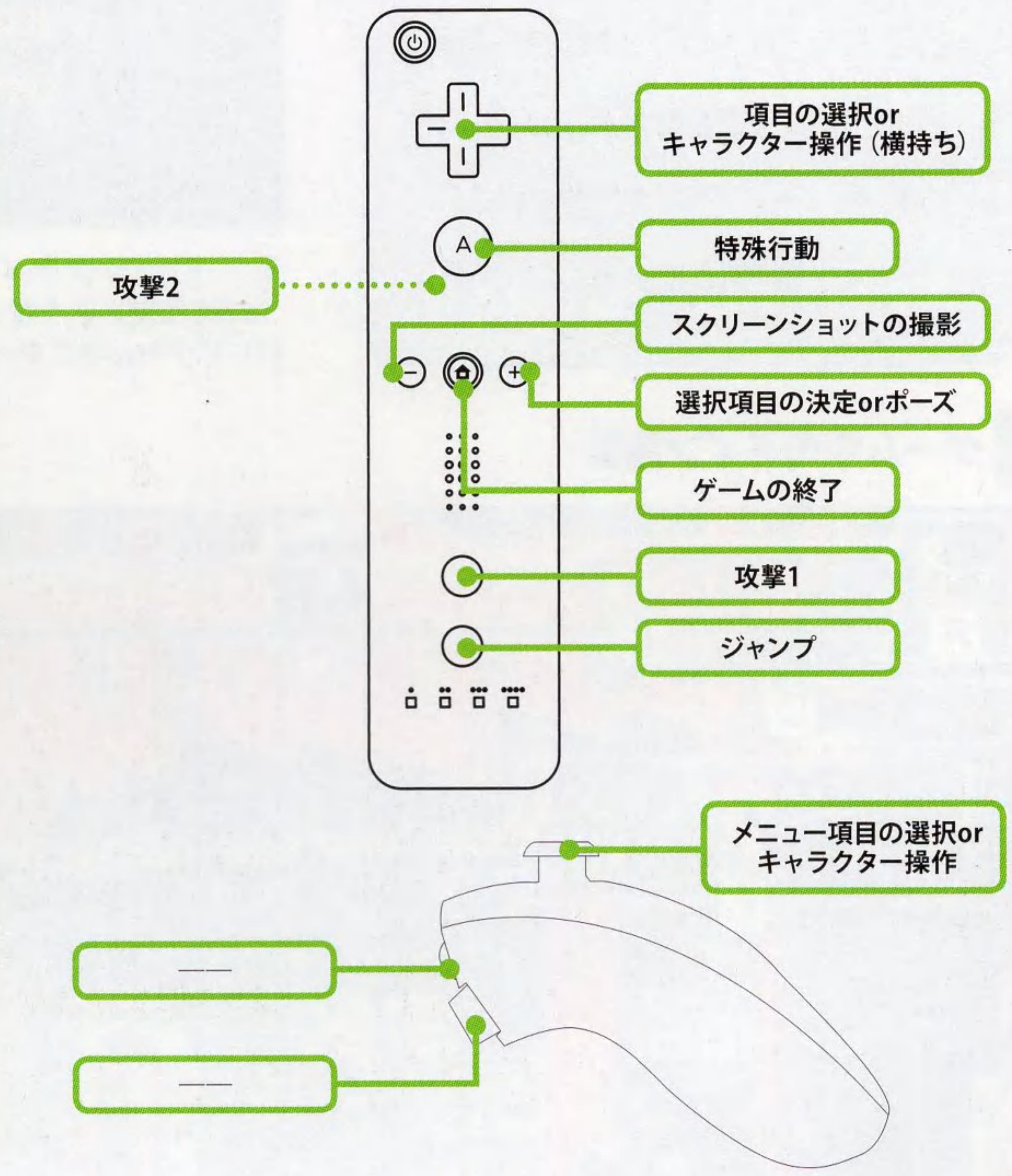
対応機能: SRAMセーブ&ロード / ステートセーブ&ロード / オンラインアップデート

「OpenBOR」は、横スクロールアクションの制作ツール。世界中でつくられているMOD（ゲームパック）を導入し、バリエーション豊かなアクションゲームを楽しもう。



「KOF Flames of Courage」と同様に、キャラクターのグラフィックは、ほかのゲームから流用しているものが多い。

OpenBOR Ver.3.0 bulid 2818
作者名●SX and Plombo
ファイル名●OpenBOR.zip
URL●http://www.lavalit.com/



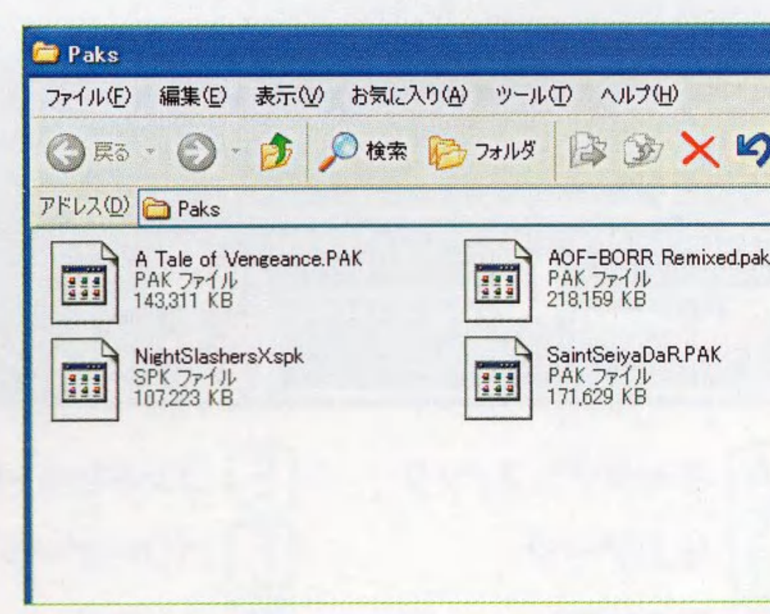
OpenBORの導入

OpenBORをプレイするにはMODと呼ばれるゲームパックが必要になる。付録CD-ROM収録のリンクからMODファイルを入手して「OpenBOR」フォルダ内の「Paks」フォルダへコピーだ。

MODを導入してさまざまなゲームを遊ぼう

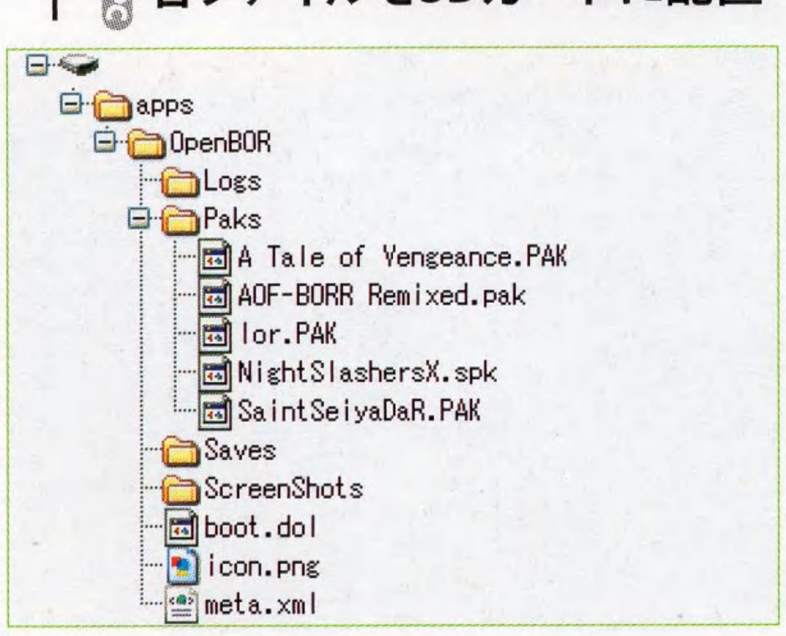


MODは、おもに格闘ゲームからキャラクターデータを流用しているものが多い。メーカーの垣根を越えたオールスターゲームを楽しもう。



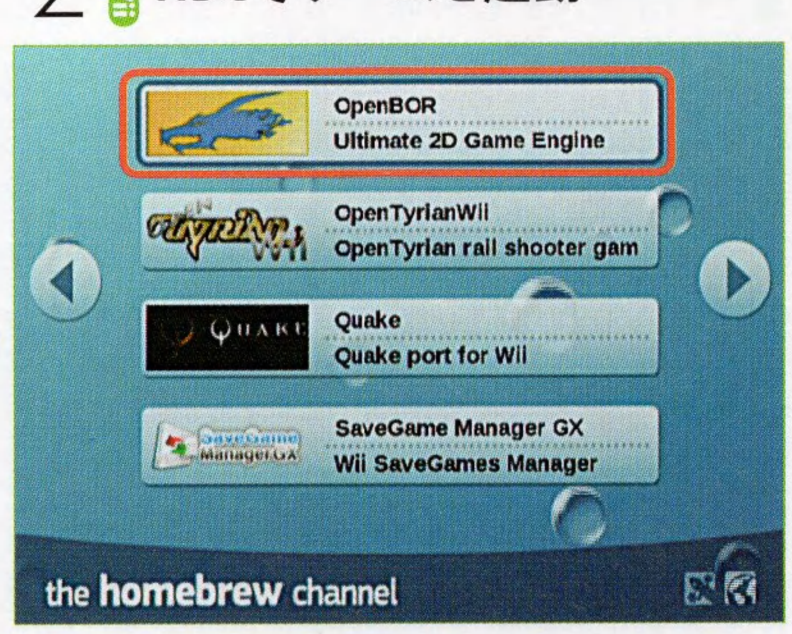
MODは単独のファイルにすべてのデータが入っている。これらを「paks」フォルダに保存し、システムメニューから読み込もう。

1 各ファイルをSDカードに配置



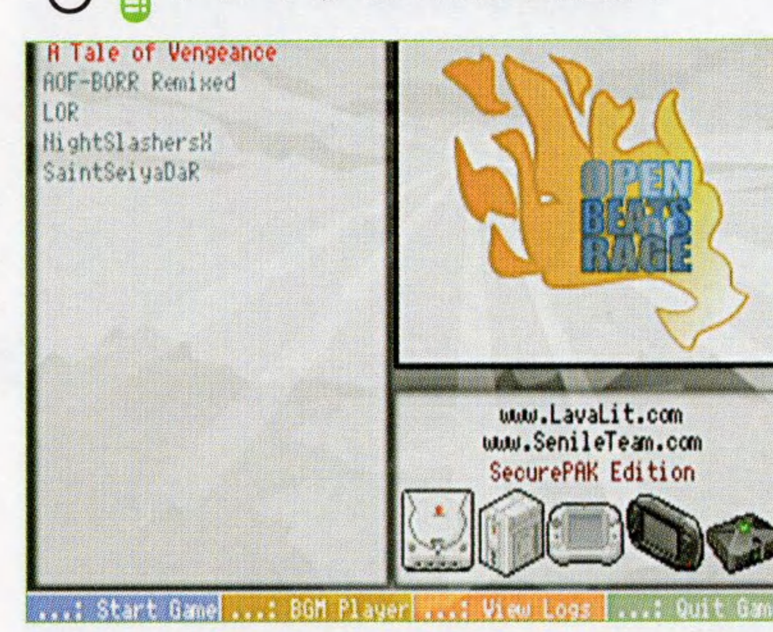
「OpenBOR.zip」を解凍し、SDカードに配置。「paks」フォルダに収録リンクから入手したMODを解凍して配置する。

2 HBCでゲームを起動



SDカードをWiiにセットして起動。HBCから「OpenBOR」を選択する。

3 プレイするMODを選択

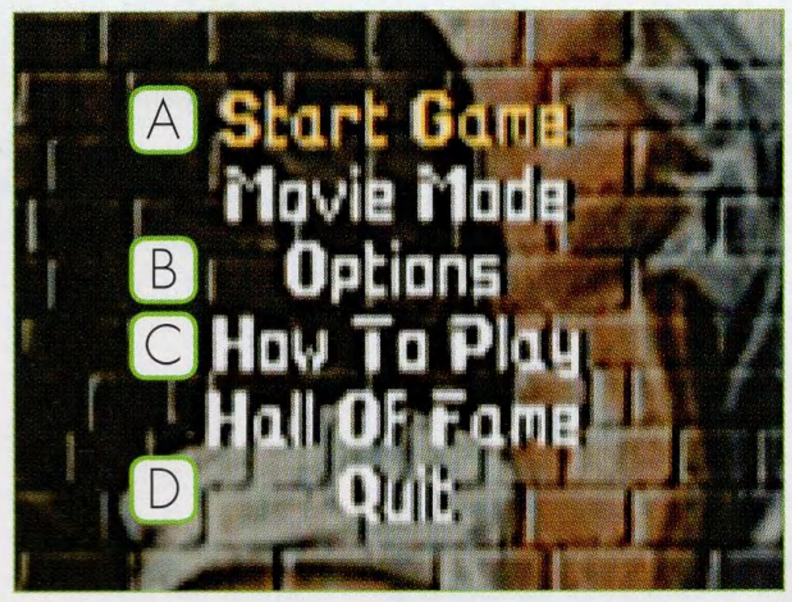


アナログスティックでMODを選び、「+」ボタンで決定。MODの読み込みには時間がかかるので、ゲームが始まるまでしばらく待とう。

A Tale of Vengeanceを遊ぶ

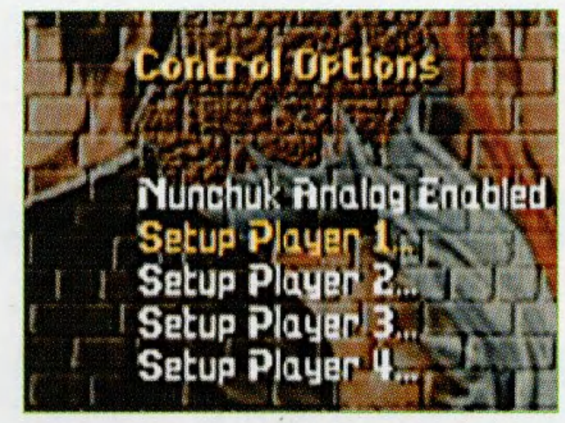
複数の格闘ゲームからデータ流用して作られたオールスターゲーム「A Tale of Vengeance」で遊んでみよう。ゲームバランスが練られており、横スクロールアクションの基本を学べる。

コントローラに合わせてキーコンフィグを行なおう



ゲームが始まったら、「+」ボタンを押してメニューを表示。まずは「Options」メニューからキーコンフィグを行なおう。

A ゲームの開始
B オプション設定
C 操作説明
D ゲームの終了



「Controller Options」から、各ボタンに動作を割り当てておくこと。

1 使用するキャラを決定



「Start Game」でゲームを開始したら、まずは操作するキャラクターを決める。十字キーで選択し、Aボタンで決定しよう。

2 敵を倒して進もう



ステージを右に進み、次々と現れるザコ敵を倒していこう。道中には体力を回復できるアイテムが落ちていることも。

3 ボスを倒して次のステージへ

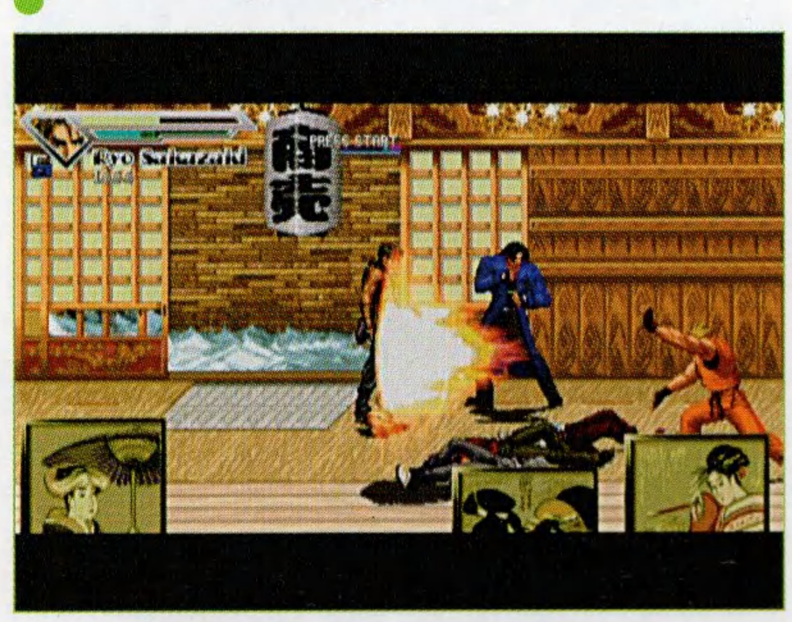


ステージの最後には、強力な攻撃を持つボスが登場。コマンド技やザコ敵の投げつけを駆使し、撃破して次のステージへ進もう。

収録MODの楽しみかた

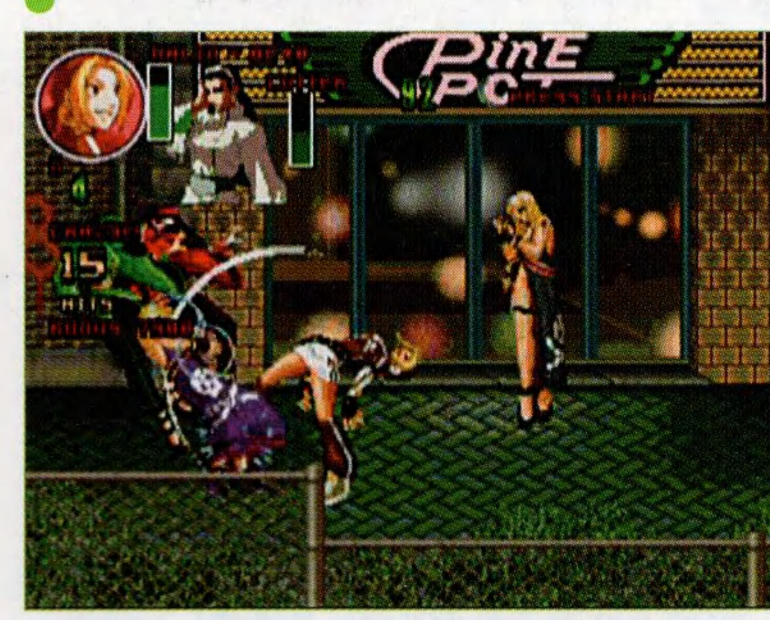
付録CD-ROMには、編集部が厳選したMODへのリンクを多数収録。右の写真を参考に、好きなゲームを見つけだそう。なお、ここで紹介している以外にも無数のMODを配布しているサイトが存在する。

Art of Fighting BOR-Remix III



「龍虎の拳」シリーズのキャラを操る完成度の高いMOD。バイクで街を疾走するステージも。覇王翔吼拳は最初から使用可能。

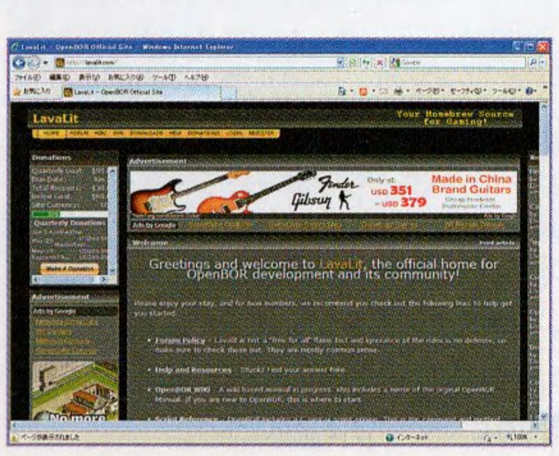
Ladies of Rage



敵・味方ともに、SNKの格闘ゲームに登場する女性キャラだけでつくられたMOD。爽快な乱舞技を繰りだせる。

海外サイトからMODを入手 Point

MODは海外のOpenBOR公式サイトで多数公開されている。ダウンロードには会員登録が必要だ。



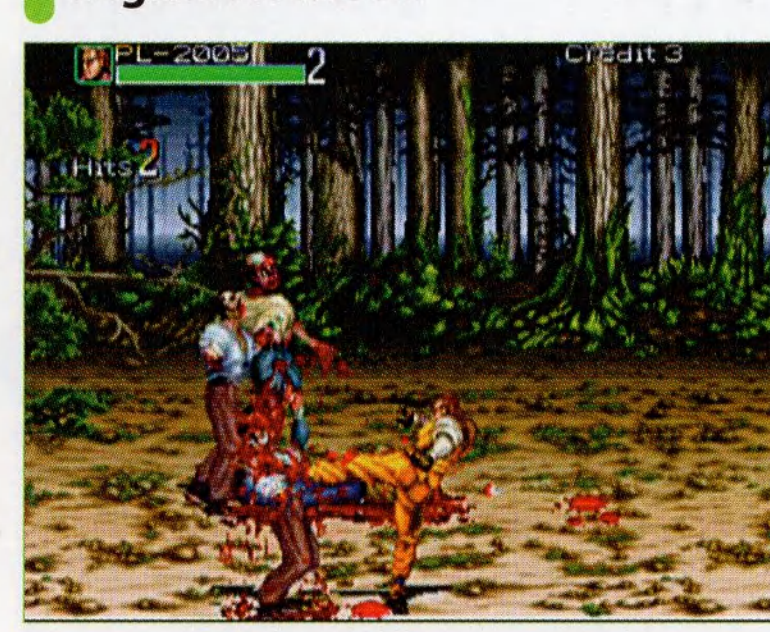
公式サイト「Lavalit」へは、付録CD-ROMのリンクからアクセス。

星闘士星矢　Death&Rebirth



なつかしの名作漫画「星闘士星矢」のキャラとストーリーを再現したMOD。難易度が高く、慎重なゲームプレイが要求される。

NightSlashersX



データイースト製のアーケードゲーム「ナイトスラッシャーズ」を再現したMOD。グロ表現が多いので苦手な人は注意。

Super Mario War Wii

対応コントローラ

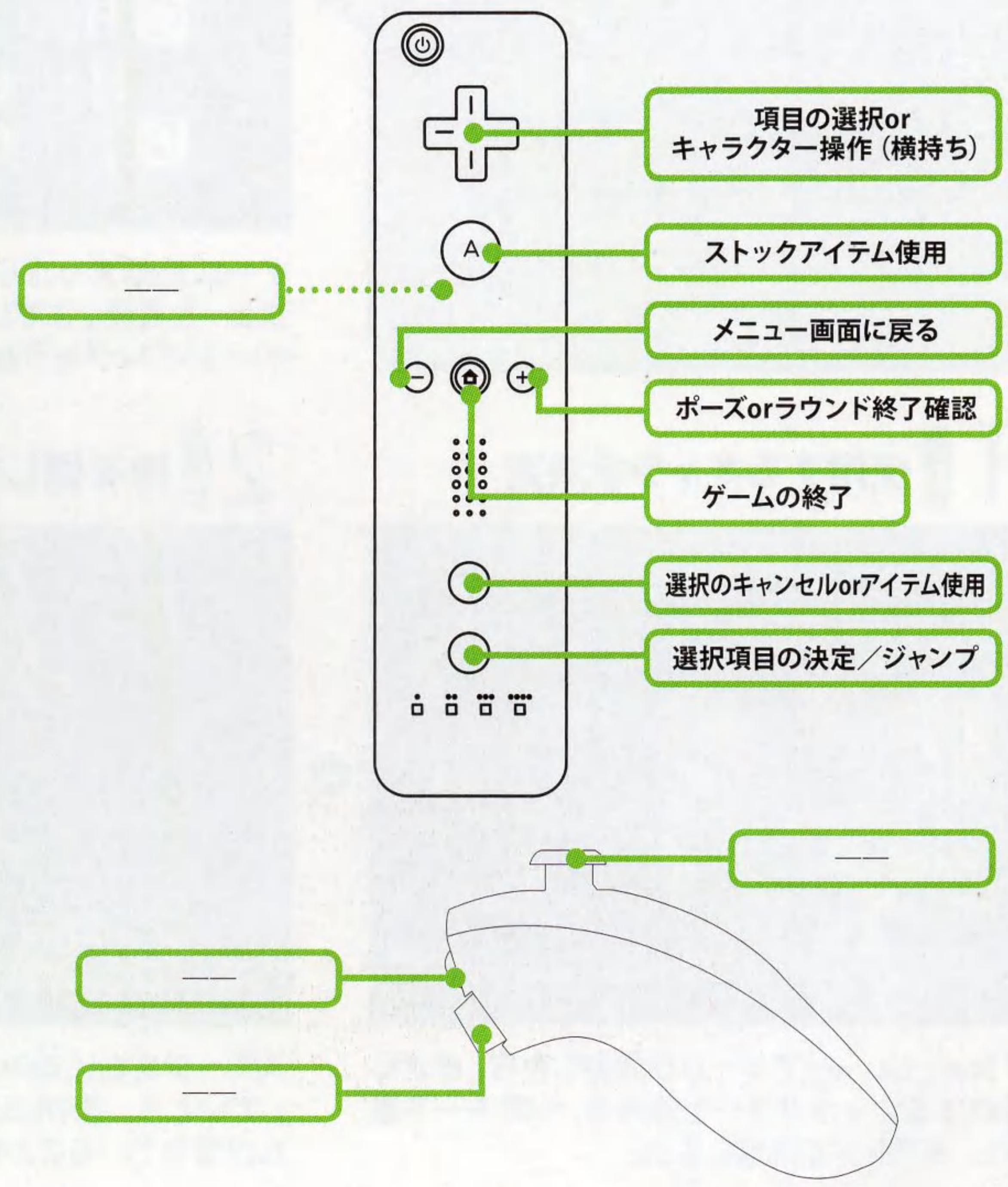
対応機能　SRAMセーブ&ロード　ステートセーブ&ロード　オンラインアップデート

Super Mario War Wii Ver.1.3
作者名●dborth
ファイル名●Super Mario War Wii.zip
URL●http://code.google.com/p/smw-wii/

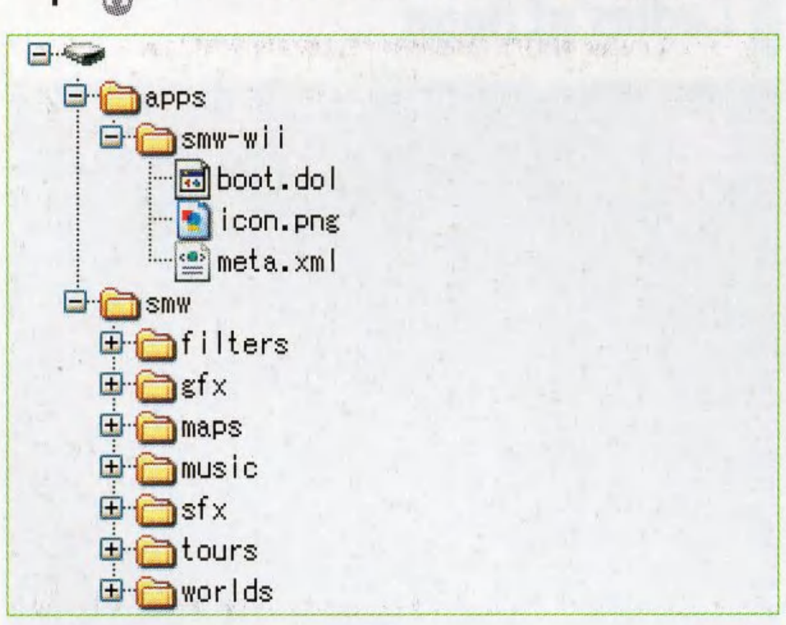
Wiiのお家芸であるパーティーゲームが遊べるオリジナルソフト。グラフィックには「マリオ」シリーズのキャラやブロックを使用している。シンプルなルールなので、年齢を問わず楽しめる。



相手を踏みつけるシンプルなルールに、さまざまなアイテムが加わり、多彩なバリエーションを生みだしている。

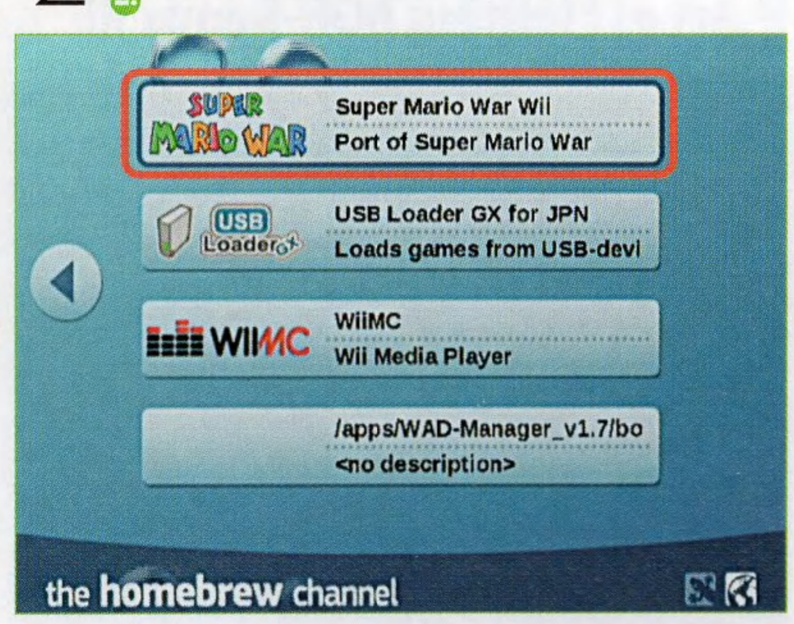


1 PC ファイルをSDカードに配置



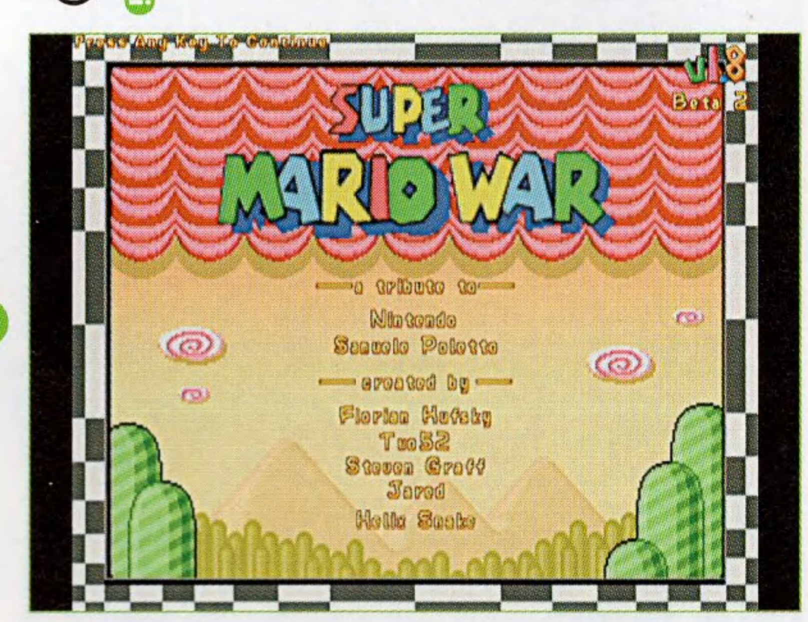
「Super Mario War Wii.zip」を解凍し「apps」と「smw」フォルダをSDカードにコピーする。

2 Wii HBCでゲームを起動



HBCから「Super Mario War Wii」を選択。ゲームを起動しよう。

3 Wii ロードが完了するまで待つ

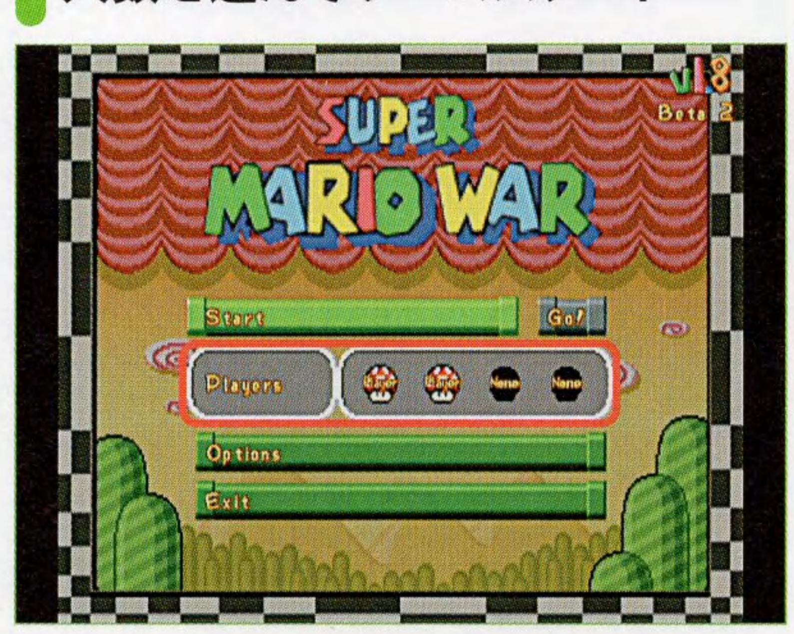


ゲームが起動すると、キャラやステージのデータが読み込まれる。「Loading」の文字が消えたら「+」ボタンを押そう。

多人数でパーティゲームを遊ぼう

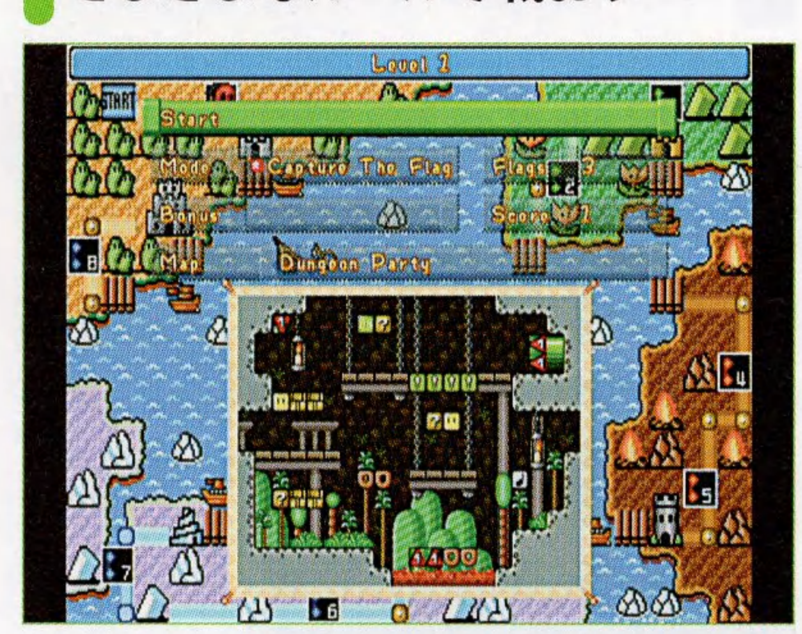
最大4人まで遊べるパーティゲーム。ジャンプして敵を踏みつけるとポイントが入り、時間や得点数などを条件に勝者が決定する。登場するアイテムを駆使すれば、一発逆転も可能だ。

人数を選んでゲームスタート



ゲームメニューから「Players」を選択し、十字キーでプレイヤー数を決めよう。CPU操作キャラを参加させることもできる。

さまざまなルールで戦おう



ステージやルールは一戦ごとに変更できる。「マリオ3」のようなワールドを、対戦しながら進んでいく「World」モードも楽しい。

OpenTyrian Wii

対応コントローラ



対応機能

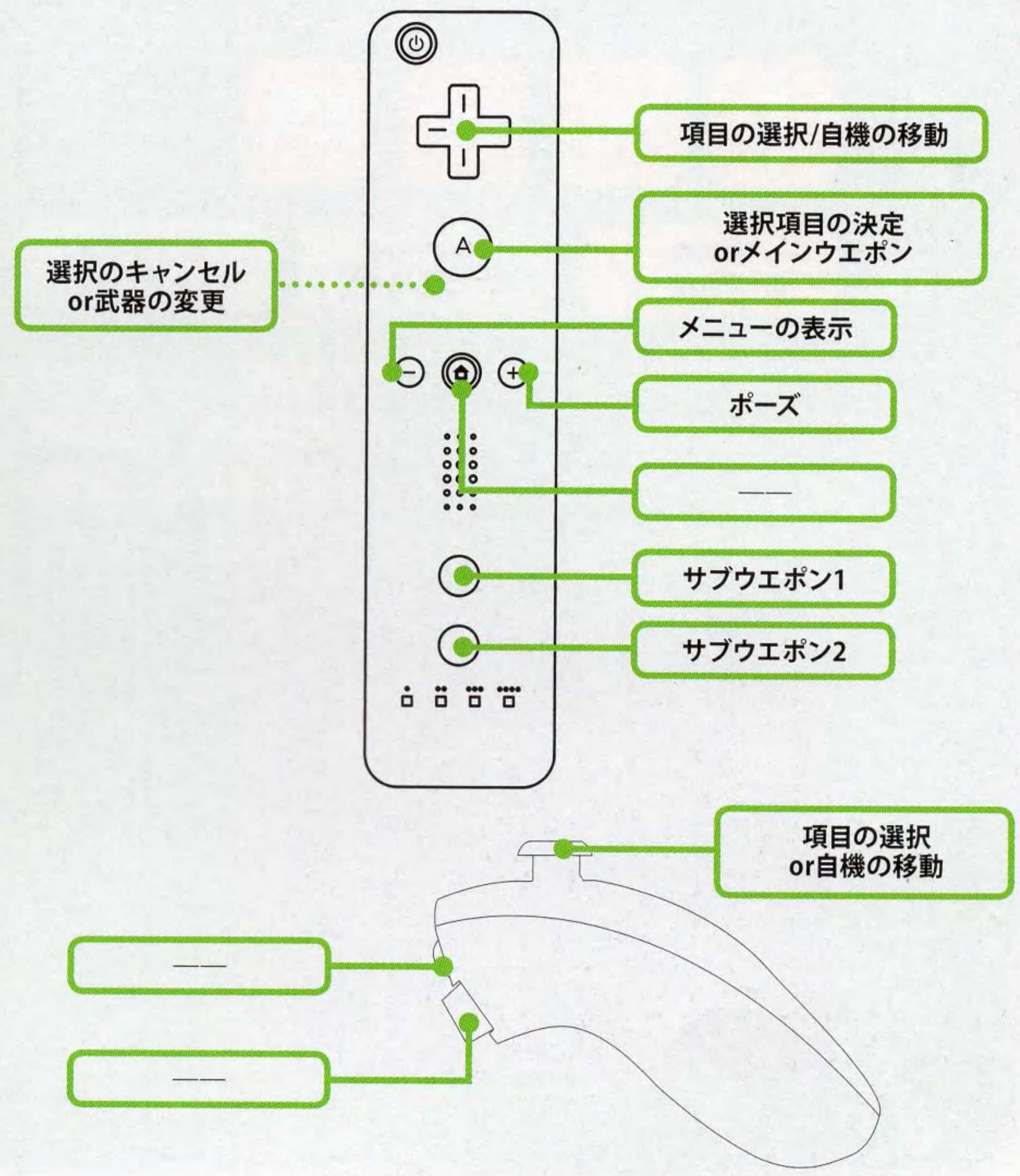
SRAM セーブ&ロード　ステート セーブ&ロード　オンライン アップデート

ステージをクリアしてお金を稼ぎ、自機をカスタマイズいく異色のシューティングゲーム。豊富なステージと機体パーツに加え、初心者から上級者までだれでも楽しめる秀逸なバランスが特徴だ。

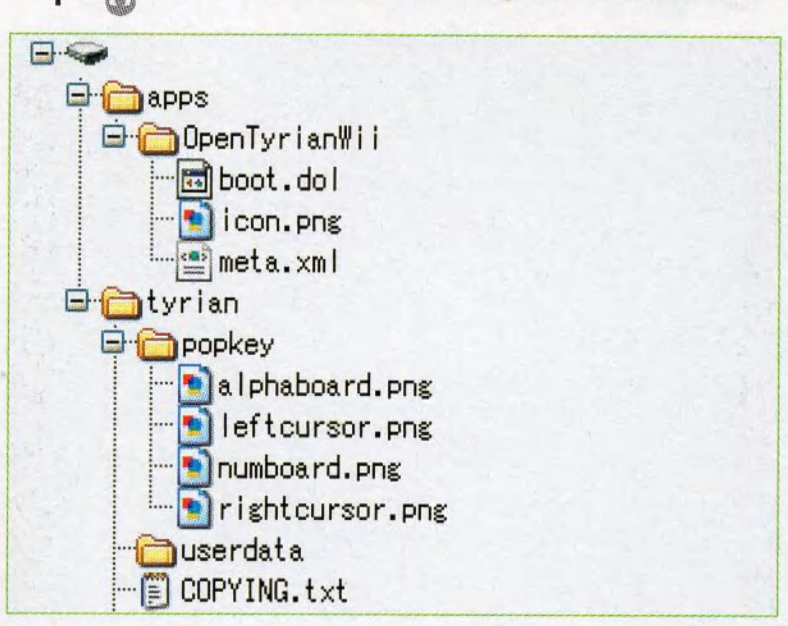


リモコンのポインタ操作による自機の移動が可能。これによりWiiならではの感覚を味わえる。

OpenTyrianWii Ver.1.7
作者名●Molokai
ファイル名●OpenTyrianWii.zip
URL●http://code.google.com/p/opentyrian-wii/

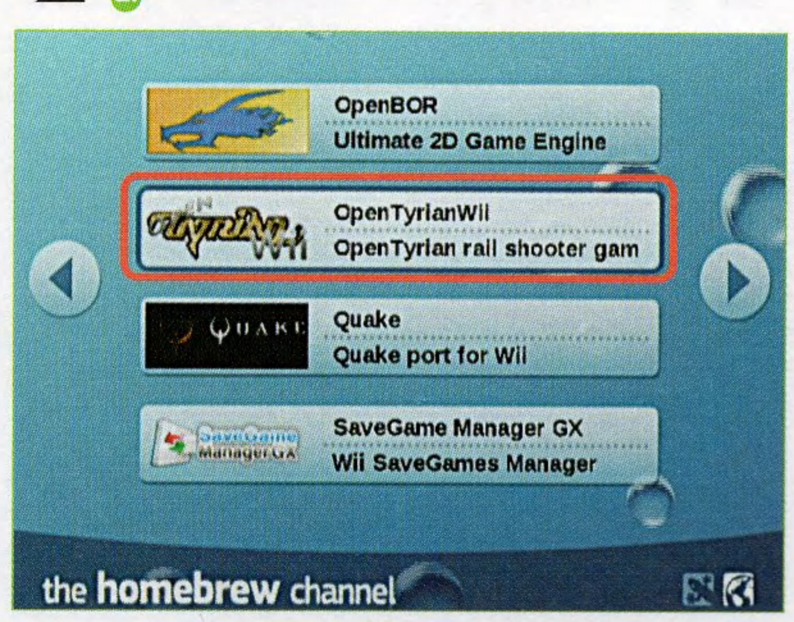


1 ファイルをSDカードに配置



「OpenTyrianWii.zip」を解凍し「apps」フォルダと「tyrian」フォルダをSDカードにコピー。

2 HBCでゲームを起動



HBCから「OpenTyrianWii」を起動。ゲームが始まったら「A」ボタンを押し、メインメニューを表示しよう。

3 ゲームを開始する

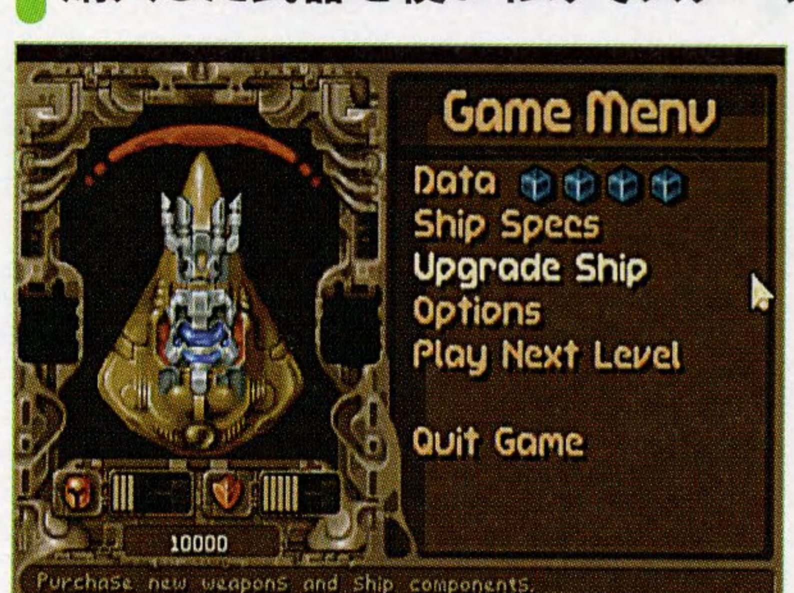


ゲームタイトル画面から十字キーで項目を選択。「A」ボタンで決定しよう。

全ステージクリアを目指そう!

OpenTyrianWiiは、武器やシールドを購入していくことで、さまざまな自機のカスタマイズができる。シューティングゲームの初心者でも、じっくりプレイして強力な装備を入手すれば、クリアは可能だ。

購入した武器を使いわけてステージを進もう



お金に相当するカスタマイズポイントは、初期状態でもかなり多い。まずは「Upgrade Ship」から自機のカスタマイズを行なおう。



ゲーム中は複数の武器を同時に使用できる。攻撃方向を統一して破壊力を重視するか、攻撃範囲を重視するかはプレイヤーしだい。

Quake GX

QuakeGX Ver.0.05
作者名●Eluan/Piko
ファイル名●QuakeGX_0.05-2_Wii.zip
URL●http://code.google.com/p/quake-gamecube/

対応コントローラ



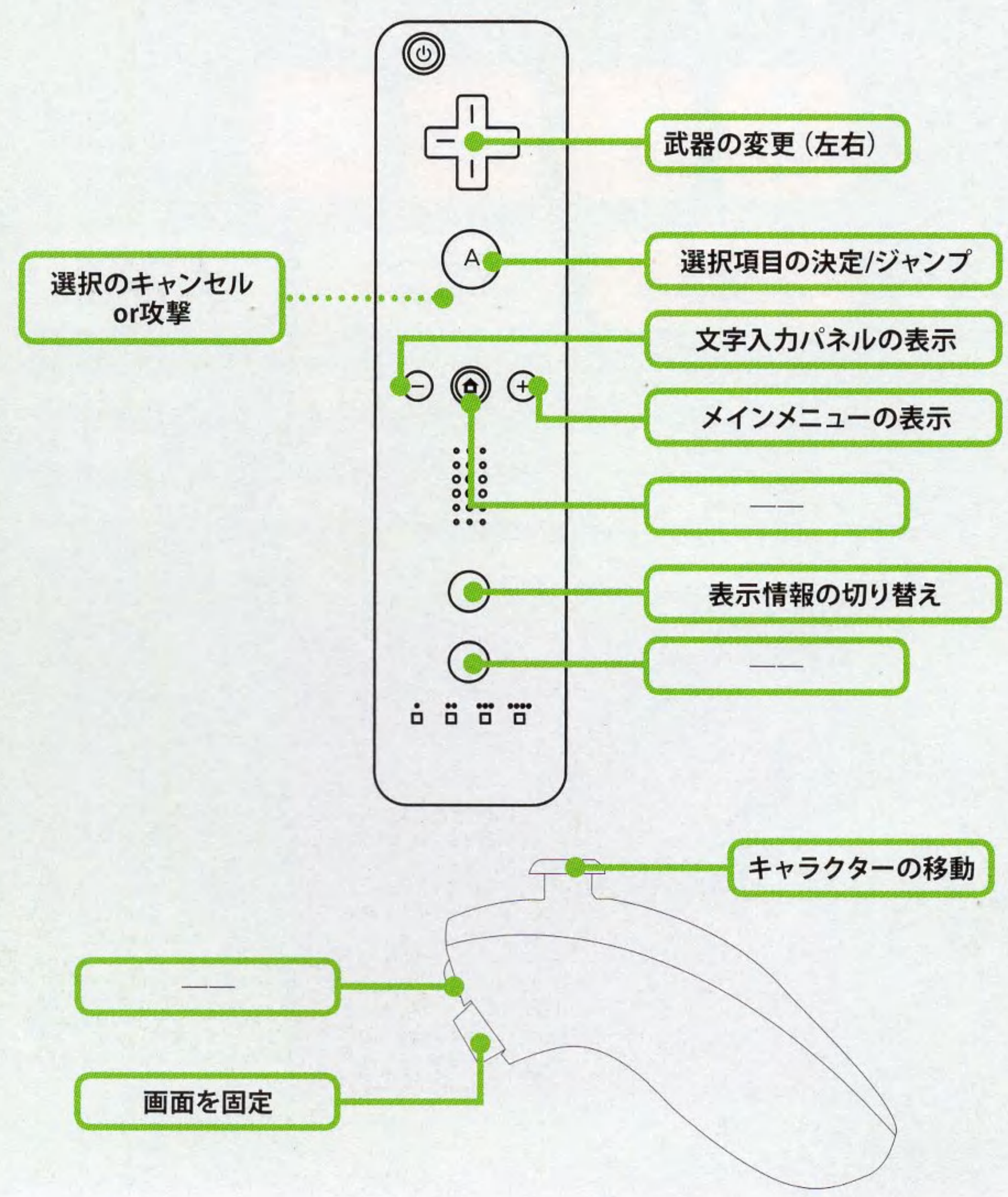
対応機能

SRAMセーブ&ロード　ステートセーブ&ロード　オンラインアップデート

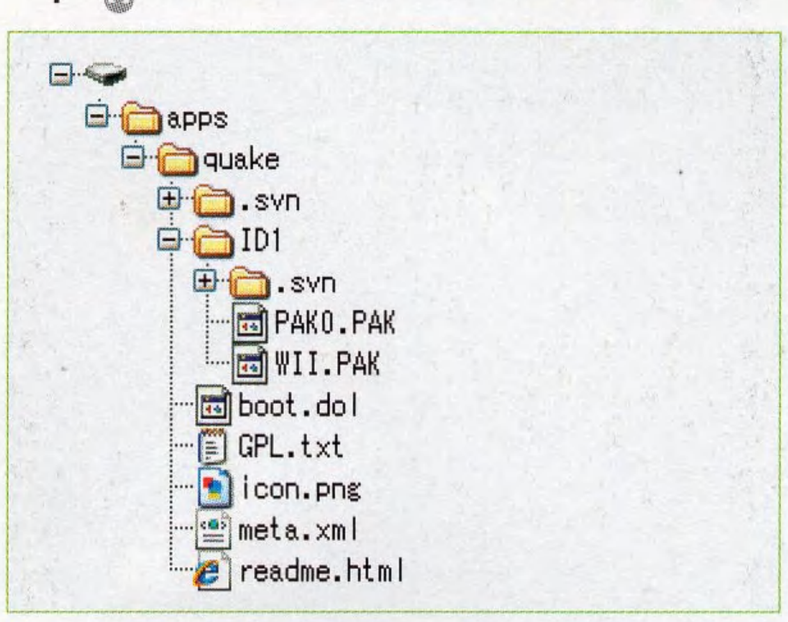
初めて完全3Dグラフィックを採用した、名作FPS（一人称視点シューティング）の移植版。高低差のあるステージと多彩なギミック、豊富な隠し部屋などの存在により、長く遊べるゲームとなっている。



ゲームのクリアにはマップの把握が欠かせない。何度もプレイして自分なりの攻略ルートを見つけよう。

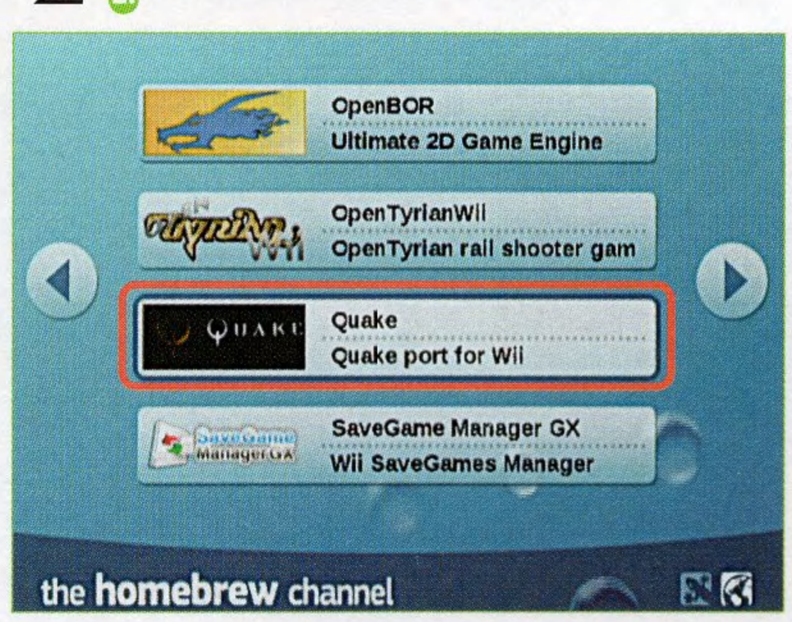


1 ファイルをSDカードに配置



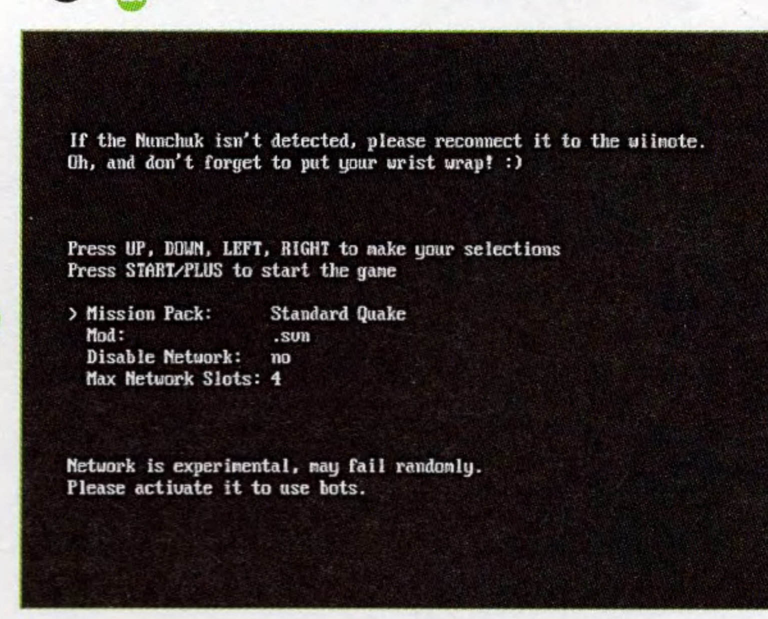
解凍したファイルをSDカードに配置。製品版データやMODを所持している場合、「.svn」フォルダに配置するとプレイ可能になる。

2 HBCでゲームを起動



HBCから「Quake」を選び起動する。

3 読み込み設定を行なう

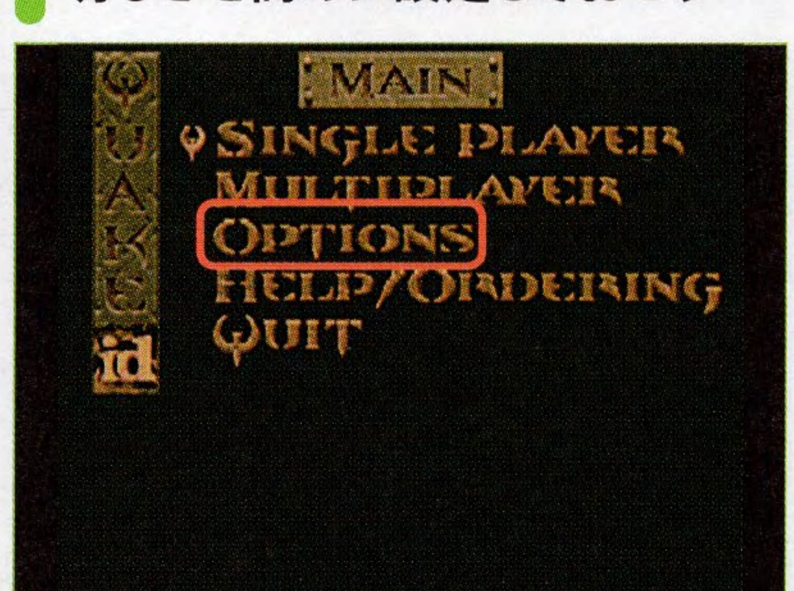


上の画面が表示されたら、「+」ボタンでゲームをスタートする。また、ここでは読み込むデータパッケージを変更することもできる。

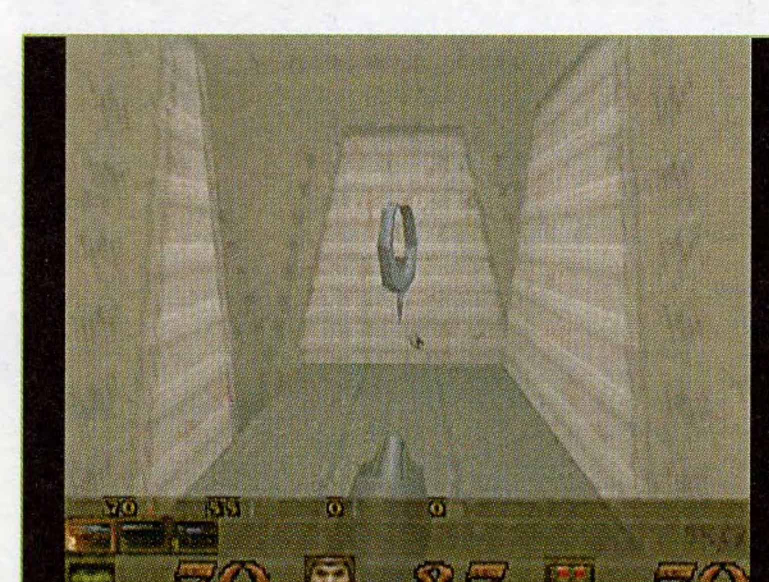
3DFPSの原点を遊ぼう

安定してゲームを遊びたい場合はクラシックコントローラの使用がオススメ。なお、ゲームの演出ではあるが、初期設定では画面が暗い。オプションメニューから明るさを高めに設定すると見やすくなる。

明るさを高めに設定しておこう



ゲームを始める前に、「Options」メニューから「Brightness」のバーを右側に移動しておく。



「Single Player」から難易度を選び、ゲームを進めよう。敵キャラクターを倒し、武器を補充しながら進んでいくのだ。

Marjongg Wii

MahJongg Wii Ver.0.8
作者名●JustWoody
ファイル名●mahjongg_wii_v0_8.zip
URL●http://filetrip.net/f4493-MahJongg-Wii-0-8.html

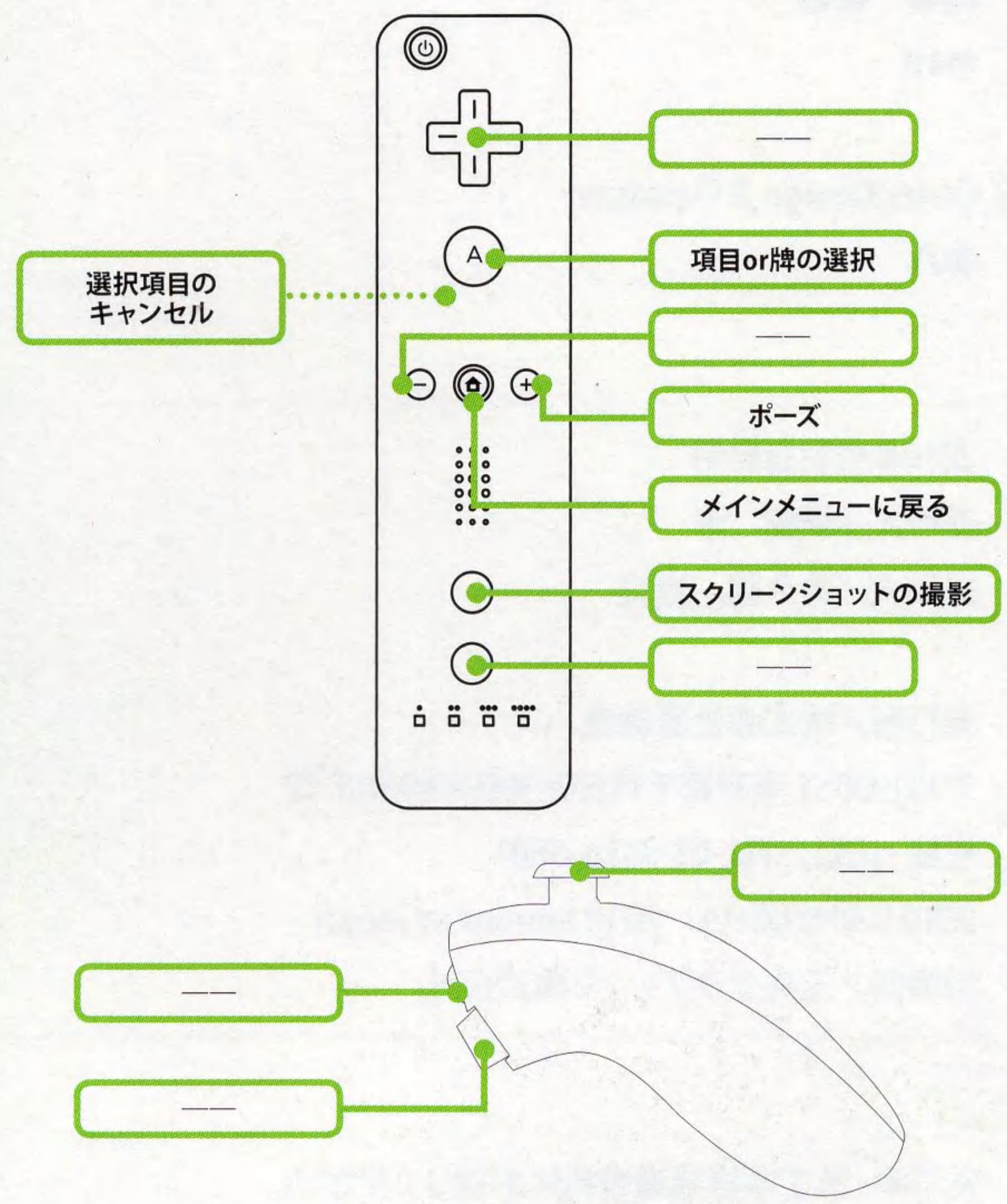
対応コントローラ

対応機能
SRAM セーブ&ロード
ステート セーブ&ロード
オンライン アップデート

麻雀パイを使ったクラシカルなパズルゲーム、「上海」を遊べるオリジナルソフト。時間が限られているときのちょっとした息抜きや、頭の体操に最適だ。ただし、中毒性は高いぞ。



定番パズルだけにゲーム性は完成されている。Wiiリモコンだけで遊べるのも○。

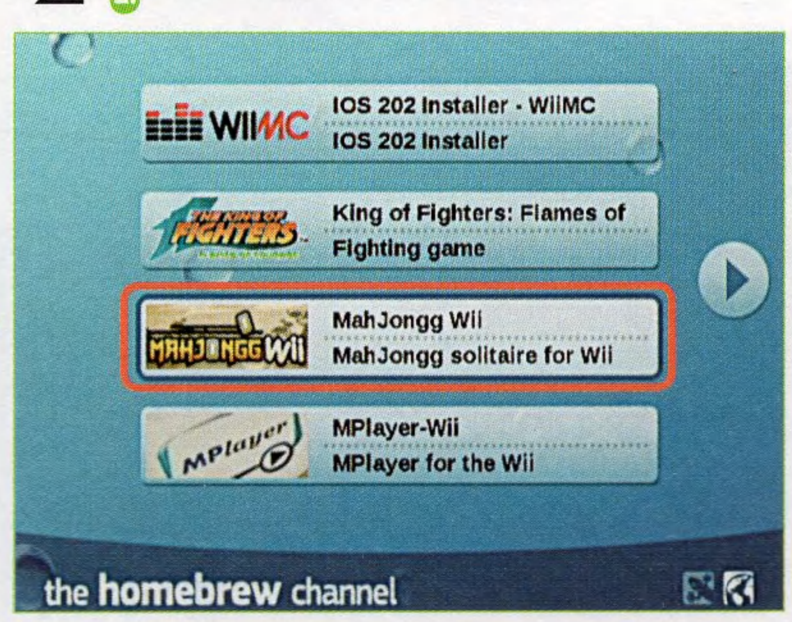


1 PC ファイルをSDカードに配置



「mahjongg_wii_v0_8.zip」を解凍し、ファイルをSDカードにコピー。シンプルなパズルゲームだけに、ファイル容量は小さい。

2 Wii HBCでゲームを起動



HBCで「Marjongg Wii」を選択。「A」ボタンでゲームを起動しよう。

3 Wii ゲームモードを選択

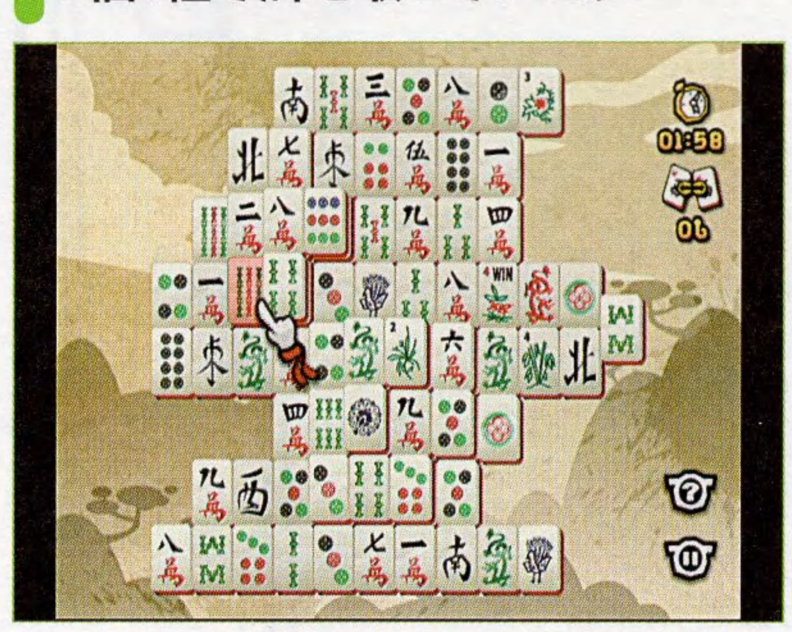


Wiiリモコンのポインタ操作で、ゲームモードを選択。「ゲーム設定」からは表示言語や牌の種類を変更できる。

定番頭脳派ゲームをプレイ!

「上海」のルールは、囲まれていない牌を指定し、同じ絵柄の牌を選んで消していくというもの。Windows Vista以降のOSにも内蔵されているので、ルールがわからない場合は、そちらの説明も参考にしよう。

2個1組で牌を取っていこう



Wiiリモコンでポインタを動かし、「A」ボタンで牌を選択。おなじ牌を選択して消去しよう。選択のキャンセルは「B」ボタンだ。

サポート機能も充実している



「?」アイコンを選択すると、取れる牌を教えてくれる。手詰まり時にはシャッフルも可能だが、上級者なら使わずにクリアしたい。

晋遊舎100%ムックシリーズ

Wiiの裏ワザがわかる本

Editor

下田　大介

西城　達也

matt

Cover Design & Designer

甚八

2010年9月1日発行

発行人／伊藤　淳

編集人／佐久間　康文

発行所／株式会社晋遊舎

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-12

営業・広告／TEL 03-3518-6861

2010 SHINYUSHA　2010 Printed in Japan

印刷所／三共グラフィック株式会社

乱丁本・落丁本は晋遊舎宛にお送りください。

送料小社負担のうえ、お取り替えいたします。

編集部では誌面の内容に関する電話対応をしておりません。

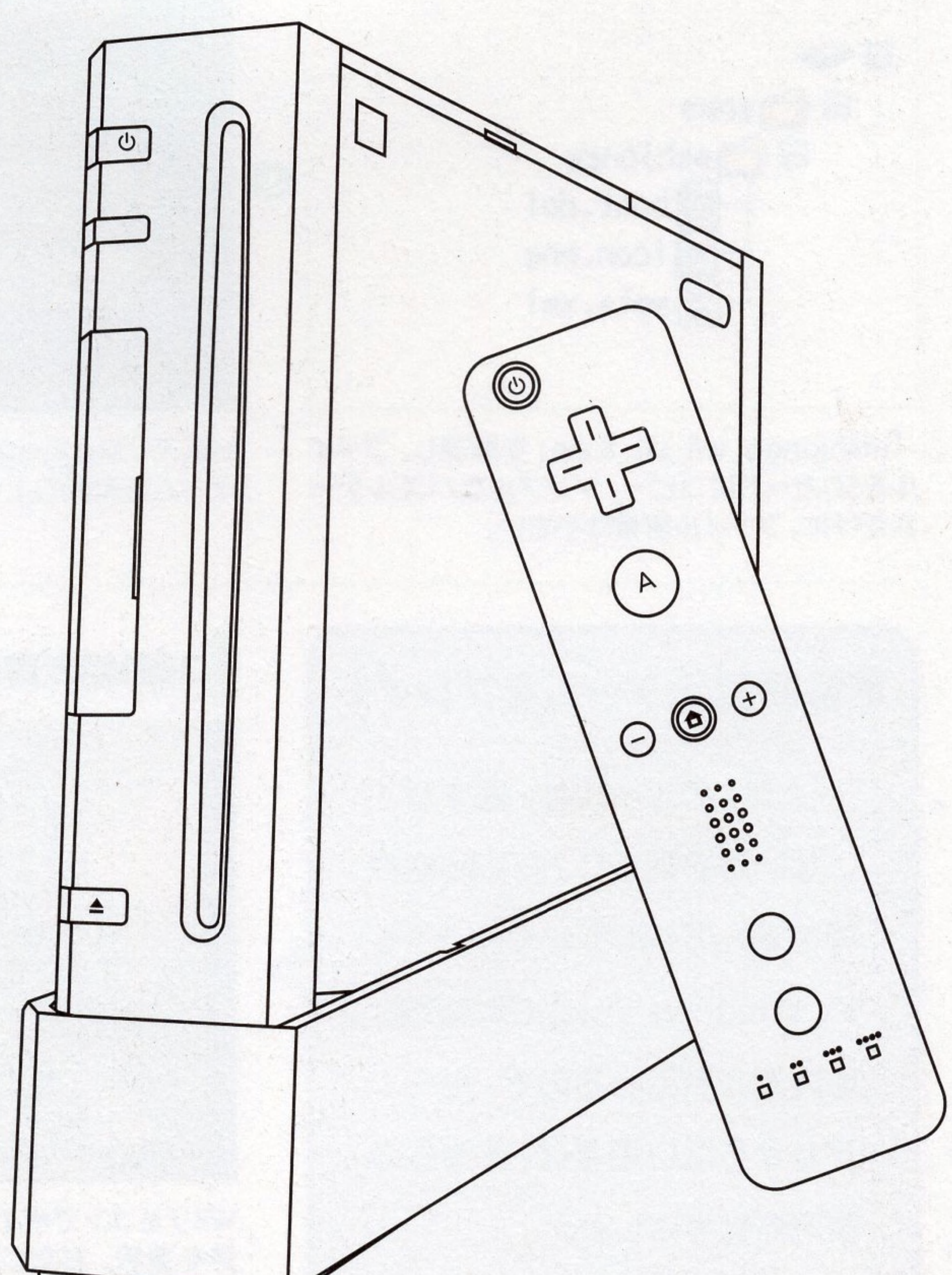
お気づきの点がございましたらFAX、またはメールにてお問い合わせください。

なお、お問い合わせの内容によってはお答えできない、

もしくは日数を要する場合がございます。あらかじめご了承ください。

FAX：03-3518-4191

メールアドレス：mook@shinyusha.co.jp



晋遊舎のパソコン雑誌！全国の書店・コンビニにて

大好評発売中

株式会社 晋遊舎
〒101-0051　TEL03-3518-6861
東京都千代田区神田神保町1-12



iPhoneがさらに楽しく!
Monthly iPhoneアプリ Vol.2
定価590円（税込）大好評発売中



Androidアプリ200本超!
Google Android ベストアプリ
定価590円（税込）大好評発売中



高機能な収録ソフトをくわしく解説！
超実用 フリーソフトの取扱説明書
定価1,100円（税込）大好評発売中



説明書にはない本当の楽しみ方
PlayStation3最新テクニック+torne
定価1,180円（税込）大好評発売中



フリーソフトテクニック満載!
エンターテイメント
パソコン情報誌

Windows100%

定価800円（税込）

毎月
13日
発売



最新スクープ連発!
確かな情報をどこよりも早く!
No.1 ウインドウズ&
インターネット情報誌

iP!【アイピー】

定価800円（税込）

毎月
29日
発売



Chapter1 : Copy Game

製品ゲームを
SDカードやUSBメモリ
ハードディスク、DVD-Rに
バックアップしてプレイ
Wiiだけではなくゲームキューブも
バックアップ可能!

Chapter2 : Emulatar

バーチャルコンソールを
使わなくてもファミコンや
スーパーファミコンなど
レトロゲームがプレイできる
さらに、プレイステーションや
セガサターン、ニンテンドーDSなど
新しいゲーム機も動作!

Chapter3 : Free Soft

DVD-Videoやパソコン用
動画ファイルの再生
ゲーム改造や
オリジナルゲームなど
市販ソフトでは楽しめない
面白さを堪能しよう!

9784863911277
ISBN978-4-86391-127-7
C9455 ¥1219E
1929455012194

2010年9月1日発行
発行人／伊藤淳
編集人／佐久間康文
発行所／株式会社晋遊舎
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-12
営業・広告／TEL 03-3518-6861

雑誌67628-16 Ⓗ2011-07
定価:1,280円(本体1,219円)

©SHINYUSHA 2010 Printed In Japan

印刷所／三共グラフィック株式会社